

やさしい日本語ニュースの語彙分析

—一般ニュースとの語彙特徴の比較と高頻度語彙の意味分野—

近藤めぐみ

(5680140222)

チュラーロンコーン大学文学部東洋言語学科

日本語講座・修士課程

2014年度

氏名 : 近藤めぐみ

論文名 : やさしい日本語ニュースの語彙分析
—一般ニュースとの語彙特徴の比較と高頻度語彙の意味分野—

ページ数 : 312ページ

要旨

本稿の目的は2点ある。1点目は「やさしい日本語」で書かれたニュースと一般のニュースの語彙の特徴を調べ、その違いを明らかにすることであり、2点目は「やさしい日本語」ニュースで高頻度で使用される語彙を抽出し、どのような種類の語彙が多いのか意味分野を中心に語彙の特徴を明らかにすることである。この2点の目的の下、2014年7月と8月の2か月間のNHK NEWS WEB EASY（やさしい日本語ニュース）とNHK NEWS WEB（「やさしい日本語」書き換え前の元の一般ニュース）それぞれ211本を資料に語彙分析を行った。

1点目のニュース間の語彙の違いを明らかにするための調査では、品詞・語種・難易度の観点から分析を行った。語彙分析から導かれた大きな違いは「やさしい日本語」ニュースへの書き換えの過程で、①大幅な漢語名詞の削減②ナ形容詞（大半は漢語形容詞）からイ形容詞（大半は和語形容詞）への置き換え③サ変動詞（大半は「漢語名詞+する」の形）から和語動詞への置き換えが行われていたことである。

2点目の「やさしい日本語」ニュースの高頻度語彙の特徴をみるための調査では、ニュースに高い頻度で現れた語を上位100語・300語・600語で区切り、それぞれの区分の語彙全体・旧日本語能力試験2級以上の語彙の特徴について、意味分野（『角川類語新辞典』）を中心に分析を行った。その結果、高頻度で使用された語彙は大分類「性状」「社会」「変動」「行動」「自然」に属す語彙が多く、難易度が高い高頻度語彙では「社会」「自然」「性状」「心情」に属す語彙が多いことがわかった。

キーワード : ニュース、語彙、やさしい日本語、やさしい日本語ニュース、語種、難易度、品詞、高頻度語彙、意味分野

文学部東洋言語学科
日本語講座
2014年度

院生の署名 : _____
指導教官の署名 : _____

謝辞

指導教官の池谷清美先生はテーマの決定から本稿の完成まで、私の遅々とした歩みを温かく見守ってくださった。本稿執筆の過程で私が池谷先生から学んだことは限りがないが、何よりも大きなことは自分で考えるという姿勢だと思っている。池谷先生は私が論旨の方向を見失ったときにもその道案内をするのではなく、私が自分の頭で考え自分で軌道修正ができるよう、その事実を指摘することで何に迷いがあるのかを確認させ、時間を惜しまれることなく、常に傍らに寄り添い私と私の研究を支えてくださった。

カノックワン-ラオハブナキット片桐先生には私が池谷先生のもとで研究ができるよう環境を調べていただいたことを含め、入学してからあらゆる面で目を掛けていただいた。そして、本稿執筆中も進みがみえないこの研究に、折々励ましや叱咤のお言葉をくださった。

恵泉女学園大学の秋元美晴先生は、私がやさしい日本語ニュースに興味を持った1年次に丁寧に相談に乗ってくださった。また、お忙しい時間の合間に本研究の初稿に目を通してくださった。その際に頂いた貴重なご助言をもとに大幅な加筆をしたことで、本稿完成への道が開けた。

東北大学の上原聡先生は、語彙の分析過程でその意義がみえなくなりそうになったときに相談に乗ってくださった。その際、繰り返しての励ましのお言葉と、本研究で実施した調査に対し、新たな視点からのアドバイスをくださった。

こうした先生方の手助けなくして本稿が完成することは決してなかった。そのため、特にこの4人の先生方には心から感謝の気持ちをお伝えしたいと思う。

また、コースでの授業を通してお世話になったウォラウト-チラソンバット先生、アサダーユット-チューシー先生と山梨県立大学にご転任なされた萩原孝恵先生、語彙分析プログラム使用にあたり丁寧な手ほどきをしてくださった上級生の香山恆毅さん、日々意見を交えた同期をはじめとするみなさん、アンケートに協力してくださった方々、折に触れ温かい言葉を掛けてくださった修了生の方、私の大学院進学を後押ししてくださったカーンチャナブリーラーチャパット大学の先生方、本稿の執筆において、そして修士課程で勉強する過程において私を支え、励ましてくださったすべての方々に、ここに深く感謝の意を申し上げます。

本当にどうもありがとうございました。

2015年1月13日

近藤めぐみ

目次

第一章 序論.....	1
1. はじめに.....	1
2. ニュースと学習の需要、NHK の実践.....	4
2.1. ニュースとは.....	4
2.2. 学習者とニュース.....	4
2.3. NHK やさしい日本語ニュースの実践.....	7
3. 先行研究.....	9
3.1. ニュースに関する先行研究.....	9
3.2. やさしい日本語に関する先行研究.....	11
3.3. NHK によるやさしい日本語ニュースに関する実験.....	12
4. 調査の概要.....	15
4.1. 資料.....	15
4.2. 調査の種類.....	17
4.3. 調査の手続き.....	22
第二章 やさしい日本語ニュースと一般ニュースの語彙特徴.....	26
1. 品詞別の特徴.....	31
1.1. 名詞.....	37
1.2. 動詞.....	43
1.3. 形容詞.....	50
1.4. 副詞・連体詞・接続詞・感動詞.....	52
2. 語種別の特徴.....	57
2.1. 和語.....	62
2.2. 漢語.....	67
2.3. 外来語.....	71
2.4. 混種語.....	75

3. 難易度別の特徴.....	81
3.1. 3-4 級語彙.....	86
3.2. 2 級語彙.....	94
3.3. 1 級語彙.....	100
3.4. 級外語彙.....	107
第三章 やさしい日本語ニュースの高頻度語彙.....	114
1. 高頻度語彙.....	114
1.1. 上位 100 語（カバー率 43%）.....	114
1.2. 上位 300 語（カバー率 63%）.....	152
1.3. 上位 600 語（カバー率 79%）.....	182
2. 難易度が高い語彙の意味分野.....	213
2.1. 上位 100 語（カバー率 43%）.....	213
2.2. 上位 300 語（カバー率 63%）.....	222
2.3. 上位 600 語（カバー率 79%）.....	238
第四章 結論.....	259
1. まとめ.....	259
1.1. やさしい日本語ニュースと一般ニュースの語彙の違い.....	260
1.2. やさしい日本語ニュースの高頻度語彙.....	267
2. 教室活動に向けて.....	272
3. 今後に向けて.....	275
参考文献.....	276
使用プログラム.....	281
資料 1 アンケートの質問項目.....	282
資料 2 アンケートの回答.....	286
資料 3 やさしい日本語ニュースと一般ニュースのタイトル一覧.....	302
資料 4 『角川類語新辞典』（2012）の語彙分類体系.....	308

図の目次

図 1	ニュース接触頻度	5
図 2	日本語ニュース接触頻度	5
図 3	学年別のメディア授業の有無	6
図 4	ニュース授業に対する意見	7
図 5	田中・美濃（2011a）「実験に使った記事の語の級分類」	14
図 6	書き換えによる文と文字の数の変化（一般ニュースを 100 とした場合）	17
図 7	調査対象とする自立語（延べ語数・異なり語数）	27
図 8	品詞別語彙量	32
図 9	書き換えによる品詞別語彙量の変化（一般ニュース語彙を 100 とした場合）	33
図 10	語彙の構成（品詞）	36
図 11	名詞の内訳（普通名詞・固有名詞）	38
図 12	固有名詞の内訳	42
図 13	動詞の延べ語数・異なり語数の比較（語）	45
図 14	本動詞の内訳（サ変動詞・その他（語））	47
図 15	形容詞の内訳（イ形容詞・ナ形容詞）	51
図 16	副詞・連体詞・接続詞・感動詞の使用率	53
図 17	語彙の構成（語種）	59
図 18	国立国語研究所（1987, 1999）メディアの語彙の構成（語種）	60
図 19	国立国語研究所（1987）メディアの語彙の語種別使用率の推移（延べ語数）	61
図 20	和語語彙の構成（品詞）	64
図 21	漢語語彙の構成（品詞）	67
図 22	外来語の使用率	72
図 23	外来語の内訳（表記別）	73
図 24	外来語の使用率（表記別）	74
図 25	混種語の使用率	76
図 26	混種語語彙の構成（品詞）	76
図 27	混種語動詞の内訳（サ変動詞・その他）	77

図 28	混種語名詞の内訳（湯桶／重箱読みの語・その他）	77
図 29	語彙の構成（難易度）	81
図 30	3-4 級語彙の構成（品詞）	87
図 31	3,4 級語彙の構成（品詞、延べ語数）	90
図 32	3,4 級語彙の構成（品詞、異なり語数）	90
図 33	3-4 級語彙の構成（語種）	91
図 34	3,4 級語彙の構成（語種、延べ語数）	92
図 35	3,4 級語彙の構成（語種、異なり語数）	93
図 36	2 級語彙の構成（品詞）	94
図 37	2 級語彙の構成（語種）	97
図 38	1 級語彙の構成（品詞）	100
図 39	1 級語彙の構成（語種）	104
図 40	級外語彙の構成（品詞）	108
図 41	級外語彙の構成（語種）	111
図 42	やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位 100 語の構成	115
図 43	やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位 300 語の構成	152
図 44	やさしい日本語ニュース上位 100 語・300 語の品詞・語種（異なり語数）	167
図 45	やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位 600 語の構成	182
図 46	やさしい日本語ニュース上位 100 語・300 語・600 語の品詞・語種（異なり語数）	197
図 47	やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位 100 語の分布	217
図 48	やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位 300 語の分布	229
図 49	やさしい日本語ニュース高頻度語彙に占める難易度の高い語の比率（大分類）	244
図 50	やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位 600 語の分布	249
図 51	やさしい日本語ニュース・一般ニュース語彙の難易度別使用数（語）	262
図 52	書き換えによる難易度別語彙量の変化（一般ニュース語彙を 100 とした場合）	262
図 53	和語語彙・漢語語彙の難易度別使用数（延べ語数）	266
図 54	和語語彙・漢語語彙の難易度別使用数（異なり語数）	267
図 55	やさしい日本語ニュース高頻度語彙の意味分野（大分類）	268
図 56	やさしい日本語ニュース高頻度語彙の意味分野別の構成（大分類、品詞・語種）	269

図 57 やさしい日本語ニュース高頻度語彙の意味分野（中分類）	270
図 58 語彙の構成（難易度、延べ語数）	272
図 59 語彙の構成（難易度、異なり語数）	272

表の目次

表 1 「生活のための日本語」の調査、ニュースに関する項目（位）	6
表 2 やさしい日本語ニュース書き換え原則と対応（抜粋）	8
表 3 やさしい日本語ニュースの Web 上の工夫（抜粋）	8
表 4 日本語教育に関連のあるニュースの研究	9
表 5 やさしい日本語研究の広がり	11
表 6 田中・美濃（2010）「形態素数変化（全品詞）」	13
表 7 田中・美濃（2010）「書き換え困難語概要」	13
表 8 資料の概要	16
表 9 KH Coder 分析過程の手作業による置き換えの内容	23
表 10 手作業による語種分類の内容	25
表 11 手作業による難易度分類の内容	25
表 12 KH Coder 分析結果と手作業後の延べ語数・異なり語数（語）	27
表 13 1 語の平均使用回数（回）	27
表 14 やさしい日本語ニュース・旧日本語能力試験・初級教科書の語彙量	30
表 15 品詞別使用数（語）	31
表 16 名詞の内訳（普通名詞・固有名詞（語））	37
表 17 名詞 1 語あたりの平均使用回数（回）	38
表 18 普通名詞の内訳（代名詞・その他（語））	39
表 19 固有名詞の内訳（語）	41
表 20 ニュース 1 本あたりの固有名詞の平均使用語数（語）	41
表 21 動詞使用数（語）	43
表 22 ニュース 1 文あたりの動詞の平均使用語数（語）	44
表 23 動詞の内訳（本動詞・補助動詞（語））	46
表 24 動詞 1 語あたりの平均使用回数（回）	47

表 25	本動詞の内訳（サ変動詞・その他（語））	47
表 26	形容詞の内訳（イ形容詞・ナ形容詞（語））	50
表 27	形容詞 1 語あたりの平均使用回数（回）	52
表 28	副詞・連体詞・接続詞・感動詞 1 語あたりの平均使用回数（回）	53
表 29	語種別使用数（語）	57
表 30	和語の品詞別使用数（語）	62
表 31	和語 1 語あたりの品詞別平均使用回数（回）	64
表 32	漢語の品詞別使用数（語）	67
表 33	漢語 1 語あたりの品詞別平均使用回数（回）	70
表 34	外来語の品詞別使用数（語）	71
表 35	外来語 1 語あたりの品詞・表記別平均使用回数（回）	74
表 36	混種語の品詞別使用数（語）	76
表 37	混種語 1 語あたりの品詞別平均使用回数（回）	79
表 38	難易度別使用数（語）	81
表 39	各級の語 1 語あたりの平均使用回数（回）	84
表 40	3-4 級語彙の品詞別使用数（語）	87
表 41	3-4 級語彙の語種別使用数（語）	91
表 42	2 級語彙の品詞別使用数（語）	94
表 43	2 級語彙の語種別使用数（語）	97
表 44	1 級語彙の品詞別使用数（語）	100
表 45	1 級語彙の語種別使用数（語）	104
表 46	級外語彙の品詞別使用数（語）	108
表 47	級外語彙の語種別使用数（語）	110
表 48	やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位 100 語の品詞・語種の分類	117
表 49	やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位 100 語の意味分野	133
表 50	5 語（5%）以上の高頻度語を含む中分類（上位 100 語）	142
表 51	やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位 100 語と一般ニュースとの比較	142
表 52	やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位 100 語と一般ニュースの出現順位（語）	150
表 53	やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位 300 語の品詞・語種の分類	154

表 54	やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位 300 語の意味分野.....	168
表 55	15 語 (5%) 以上の高頻度語を含む中分類 (上位 300 語)	181
表 56	9 語 (3%) 以上の高頻度語を含む中分類 (上位 300 語)	181
表 57	高頻度語を含まない中分類 (上位 300 語)	182
表 58	やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位 600 語の品詞・語種の分類.....	184
表 59	やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位 600 語の意味分野.....	198
表 60	16 語 (2.4%) 以上の高頻度語を含む中分類 (上位 600 語)	212
表 61	高頻度語を含まない中分類 (上位 600 語)	212
表 62	高頻度語が 2 語以下の中分類 (上位 600 語)	212
表 63	難易度別の高頻度語彙の意味分野 (やさしい日本語ニュース上位 100 語中)	213
表 64	難易度が高い高頻度語の数と比率 (上位 100 語、大分類)	215
表 65	難易度が高い高頻度語の数と比率 (上位 100 語、中分類)	215
表 66	難易度が高い高頻度語と小分類内の難易度が低い語 (上位 100 語)	218
表 67	難易度別の高頻度語彙の意味分野 (やさしい日本語ニュース上位 300 語中)	223
表 68	難易度が高い高頻度語の数と比率 (上位 300 語、大分類)	226
表 69	難易度が高い高頻度語の数と比率 (上位 300 語、中分類)	227
表 70	難易度が高い高頻度語と小分類内の難易度が低い語 (上位 300 語)	231
表 71	難易度別の高頻度語彙の意味分野 (やさしい日本語ニュース上位 600 語中)	239
表 72	難易度が高い高頻度語の数と比率 (上位 600 語、大分類)	243
表 73	難易度が高い高頻度語の数と比率 (上位 600 語、中分類)	245
表 74	難易度が低い高頻度語しかない中分類と分類内の低頻度語 (10 語以上の高頻度語を含む分類)	247
表 75	高頻度語が属す小分類数の比較 (上位 100 語・300 語・600 語)	248
表 76	難易度が高い高頻度語と小分類内の難易度が低い語 (上位 600 語)	250
表 77	やさしい日本語ニュースと一般ニュースの語彙特徴をみる調査の項目.....	260
表 78	やさしい日本語ニュースと一般ニュースで大きな違いがみられた原因.....	261
表 79	やさしい日本語ニュース高頻度語彙の意味分野 (大分類)	267
表 80	やさしい日本語ニュース高頻度語彙の意味分野 (中分類、難易度が高い語彙)	271

第一章 序論

1. はじめに

本稿の目的は2点ある。1点目は「やさしい日本語」で書かれたニュースと一般のニュースの語彙の特徴を調べ、その違いを明らかにすることである。2点目は「やさしい日本語」のニュースで高頻度で使用される語彙を抽出し、どのような種類の語彙が多いのか、意味分野を中心に語彙の特徴を明らかにすることである。

日本語の日報紙などの一般のニュースは、元来日本語を母語とする読者のために制作されており、日本語非母語話者、特に母語話者レベルの日本語の使い手になっていない学習者を読者としては想定していない。そのため、新聞等を生教材として授業を行うためには学習者の日本語レベルがニュースで使用される漢字や語彙が理解できるレベルに達するのを待たねばならず、初級など低いレベルの学習段階でニュースを素材に授業を行うことは困難である。

実際、現在市販されているニュースを扱った教材では初級学習者を対象としたものは稀であり、初級からニュースを取り入れようという研究も岡崎（1993a, 1993b）など一部にとどまる。また、日本語教材リスト編集委員会編（2008）が紹介する国内外の日本語教材約4,000点のうち新聞等のニュースを取り入れた教材は14点で、そのうち、初級と中級の教材はそれぞれ1冊ずつ、その他の12点は中上級あるいは上級教材である。そして、同書で取り上げられた初級・中級学習者向けの教科書はいずれも聴解教材であり、読解を扱った初級や中級の教材は含まれていない。さらに、先述の初級と中級の2点の教材は現在ではどちらも発行から20年ほど経過しても再版はされておらず、時事を扱っているだけに内容の古さが問題となる。このため、読解に限らず聴解でも初級や中級段階で現在使用できるニュースを素材とした教材があるとは言い難い。

しかし、筆者が以前勤務したタイの日本語学校には、学習開始後2-3か月が経過すると、早く日本語のニュースを聞いたり読んだりできるようになりたい、あとどのくらいでニュースがわかるようになるのかと口にする社会人の初級学習者が一人ならずいた。同校では学習者は週に3-4時間のペースで日本語の授業を受けていたため、そうした意見を聞く度、初級が終わるのにも1年以上、ニュースを理解できるようになるには更に数年を要するだろうと思っただが、学習者の意欲を削ぐことを恐れそのことは口にできなかった。また、仮に初級段階ではニュースは難しいのだと説明しようとも、「漢字が多い」「難しい言葉がたくさん」などといった漠然とした印象しか筆者は持ち合わせず、学習者が納得のいくような説明ができるとは思えなかった。

実際、日本在住者に目を向ければ、「テレビや新聞のニュースの表現は外国人にとって難しく、ニュースが十分に理解できない方は少なくありません」（田中他 2013b: 32）といった

指摘もあり、ニュースの日本語が難しいということは一般論としてある。そのため「漢字が多い」「難しい言葉がたくさん」といった筆者の認識が正しいものだとしても、表記は聴解では無関係であり、読解でも漢字に振り仮名を振れば対処できる問題である。語彙も、難易度の高い語彙を難易度の低い初級語彙に置き換えれば初級学習者でも日本語のニュースに接することが可能ではないかとの憶測が立つ。

しかし、語彙の置き換えは漢字の読みを音声やルビで補うほどには容易ではない。それでも、日本国内では災害時や公共の場などで外国人等に情報を提供するのに「母語ではなく日本語をやさしくして外国人にもわかるようにしようという考え」（田中他 2013b: 33）があり、広く一般に使用されている日本語を非母語話者にもわかりやすいようなやさしい語彙や表現の日本語で書き換えようという試みがなされており、そうした趣旨で書き換えられた日本語文の中にはニュース記事も含まれている。

そういった日本国内で暮らす外国語母語話者を対象に書かれた「やさしい日本語」は本来情報提供を目的としており、それ自体が日本語教育の現場で使う素材だと考えられてはいない。しかし、目的が情報提供であろうと日本語教科書の中の読解文であろうと、読者として日本語非母語話者を想定していることには変わりなく、国内在住者のために書かれた「やさしい日本語」も国外での教育活動に活かせるのではないかというのが筆者の考えである。

実際、「やさしい日本語」によるニュースは一般のニュースでは難しくてわからない外国人を中心とした読者・視聴者のために書き換えられたニュースであり、当然、ニュースの難易度は下がる。そのため、早い段階からニュースを学びたいと考える学習者に対し「やさしい日本語」によるニュースの提供を選択肢とすることは検討の余地がある。その場合、「やさしい日本語」ニュースの高頻度語彙が明示されていれば、「やさしい日本語」によるニュースのレベルをもう一段階下げることができるのではないだろうか。ただし、「やさしい日本語」のニュースを教材とする場合、注意すべきは学習者が最終的に目標とするニュースは調整されていない一般のニュースであり、「やさしい日本語」ニュースではないという点である。そのため、一般ニュース導入前の前段階として「やさしい日本語」ニュースを使用するならば、一般ニュースとの違いを知っておく必要があると考えた。

そこで、本稿ではNHKのWebサイトで公開されている「やさしい日本語」ニュース（NHK NEWS WEB EASY）と一般のニュース（NHK NEWS WEB）の語彙を比較し、その違いを探るとともに、「やさしい日本語」ニュースで使用される高頻度語彙の調査を行うこととした。「やさしい日本語」によるニュースといった場合、実際には日本国内ではNHK以外にもラジオによる地域ニュースの配信等の実践（栗又他 2013）がある¹。しかし、地域のラジ

¹ RADIOBERRY やさしい日本語地域ニュース 76.4 FM (<http://www.ajiken.jp/blog/>) では過去のラジオ放送を Web サイトで聞けるようになってはいるが、Web サイトで可能なのはあくまで「試聴」であり、限られたごく一部の記事しか聞くことができない。また、このやさしい日本語地域ニュースはラジオでも現在は配信されていない。

オ放送等を生教材とし、タイの教室活動につなげるには音声取得の点で難がある。それに対し、NHKではWebサイトで平日は毎日4-5本の「やさしい日本語」ニュースを安定して発信しており、常に新しい「やさしい日本語」ニュースが国外からも容易に取得できる。また、NHKの「やさしい日本語」ニュースは書き換えられる前の元の一般ニュースを併せて読むことができ、「やさしい日本語」のニュースと一般ニュースを比べるに適当な資料となると考えた。さらに、NHKでは母語話者を対象に「やさしい日本語」ニュースの読解実験を実施しており、日本語の自然さが保証されている（田中・美濃 2011b）。以上の理由から、本稿での調査対象をNHKの「やさしい日本語」ニュースとその元の一般ニュースとすることにした。

田中・美濃（2010）はNHKの「やさしい日本語」ニュース制作過程で行われた実験に基づき、「やさしい日本語」ニュースは「構文的には3級以下のやさしい文法におさまっている（中略）分野固有の用語、固有名詞などを中心にかなりの難語が残っている（中略）やさしくする上で、最大の問題は語彙、特に名詞である」（同:7）と報告している。そのため、「やさしい日本語」ニュースを一般ニュース導入の前段階として用いる場合、文法事項は3-4級²と心得ておけばいいとわかるが、田中・美濃（2010）では語彙に関しての説明はわずかで、具体的な品詞・語彙等の構成や、どういった意味分野に属する語が不足しているのかといったことは明らかにされていない。また、NHKの「やさしい日本語」のニュースではすべての漢字に振り仮名が振られている（田中他 2013b: 47）ため、表記については別段配慮の必要がない。そのため、本稿では文法や表記ではなく語彙に焦点を絞って調査を実施することとした。

本稿は四章構成で、第一章が序論、第二章および第三章が本論、第四章が結論である。第一章は4節からなり、2節でニュースの定義をし、タイの日本語学習経験者へのアンケートからニュース学習の需要について、また、NHKの「やさしい日本語」ニュースの実践について述べ、論を進める上での前提事項を確認する。3節ではニュースおよび「やさしい日本語」に関する先行研究について、また、NHKが行った実験について述べる。4節では本稿の調査に使用する資料と調査の方法について述べる。

第二章・第三章では語彙調査から得られた結果を述べ、考察を加える。そのうち、第二章ではNHKの「やさしい日本語」ニュースと元の一般ニュースについて、1節で品詞、2節で語種、3節で難易度の観点からそれぞれのニュースを構成する語彙の特徴について考える。第三章では「やさしい日本語」ニュースの高頻度語彙について意味分野を中心にその特徴を明らかにする。1節では上位100語、上位300語、上位600語で区切ったすべて語彙について、2節では1節と同様の区切りにおける語のうち、難易度が高い語について述べる。第四章は3節からなり、1節で調査から得られた結果をもとに考察し、結論としてNHKの「やさしい日本語」ニュースと一般ニュースの違いと「やさしい日本語」ニュースの高頻度語彙について

² 本稿で断りなく、14級、級外、出題範囲といった言葉を使用した場合、旧日本語能力試験を指す。

述べる。2節で「やさしい日本語」ニュースの教室の場における活用について考え、3節で今後の展望について述べ、本稿の結びとする。

2. ニュースと学習の需要、NHKの実践

2.1. ニュースとは

『現代国語例解辞典 第二版』ではニュースを「新しい出来事の知らせ。特に、新聞や放送により報道される出来事。また、それを扱う新聞記事や放送番組」と定義している。『明鏡国語辞典 第二版』ではニュースを「①一般に知られていない新しい出来事。また、その知らせ。②新聞・ラジオ・テレビなどによる報道」と定義している。2点の国語辞典より、ニュースとは本来は「新しい出来事」全般を指すが、新聞記事や放送番組などメディア媒体を通じて発信されるものを指すことも多く、転じて、ニュースを取り上げている新聞記事や放送番組それ自体をもニュースの言葉が含意可能だとわかる。

そういった複数の解釈が可能な「ニュース」ではあるが、本稿で扱うのはNHKのWebサイトで配信されている読む形式のニュースであるため、本稿では断りのない限り「ニュース」を「メディアが配信する報道文」に限定した狭い意味で使用する事とする。なお、時事・世論調査等の区別はせず、どちらもニュースとして扱う。

2.2. 学習者とニュース

国際交流基金編（2013）によれば、2012年時点でのタイの日本語学習者の約68%は中等教育段階の学習者で、高等教育段階の学習者は全体の約15%、高等教育段階における日本語専攻の学習者に限っては全体の約5.6%に過ぎないという。そうしたタイの日本語学習者の学習目的をみると「日本語そのものへの興味」「日本語でのコミュニケーション」「マンガ・アニメ・J-POP等が好きだから」に次ぐ4番目に「将来の就職」65.2%が挙げられている。全世界平均では「将来の就職」を学習目的に挙げているのは42.5%で、タイは20%以上も高い。しかし、タイ人学習者が「将来の就職」を見据えて日本語の学習に取り組んでいるのだとしても、実際に将来仕事を持ったときに日本語を活かせるかどうかは中等教育や高等教育の段階ではわからない。また、就職を活かせるかどうかに限らず、学習時点ではわからなかった授業の価値が後に理解できるようになるということも往々にしてあるのではないだろうか。

このため、今回学習者に対してニュース³の授業に関する需要を調べるアンケートを行うにあたり、現在の学習者ではなく、学習経験者に意見を問うことにした。また、ニュースの授業は先に述べた教材の不足や使用される語彙の難しさ等から、初級の授業ではあまり取り入

³ 「読む」形式に限らず、メディア媒体を通じて発信されるもの。

れられていないと想定し、高等教育（学士課程）で日本語を専攻した卒業生を対象に、学部生時代の授業を振り返ってもらうと同時に、現在のニュースとの関わりについて問うアンケートを実施した⁴。

アンケートはインターネット上でを行い、12の大学の卒業生計37名⁵から協力を得た。協力者の現在の職業は日本語通訳・大学院生が大半だが、日本語教師・会社員・公務員・無職等の方もいた。また、大学入学前の日本語学習時間は0時間から300時間以上までさまざま、大学卒業時の日本語のレベルもN1-4、1-3級とさまざまであった。

普段ニュースを見たり聞いたりしているかという問いでは図1に示すように、約84%が「毎日」「ときどき」見たり聞いたりしていると答え、利用媒体はインターネット・テレビ・新聞が多かった。ニュースに接する理由としては、〔現状把握〕⁶のように、時事についていくことを挙げた回答が多かった。反対に、ニュースに接していない協力者の理由としては、時間がないことを挙げた回答が大半だった。そのため、ニュースの言語を問わなければ、協力者の多くが時事に遅れないために日常的にニュースに接する必要があると考えていることがわかった。

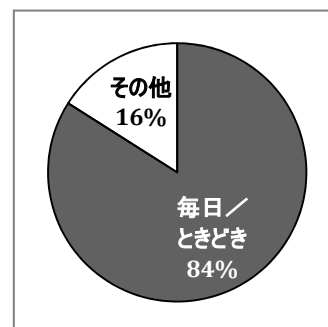


図1 ニュース接触頻度

日本語のニュースについては図2に示すように、協力者の約51%が「毎日」「ときどき」見たり聞いたりしていると答え、言語を問わないニュースの視聴者・読者よりも比率は低いものの、協力者の半数以上が日常的に日本語のニュースに接していることがわかった。ニュースの獲得手段はインターネットが最多で、そのほかの媒体利用者はいずれの媒体も10名以下だった。ニュースに接する理由としては時事を把握するほかに、日本語学習を目的に挙げた協力者が15名いた。

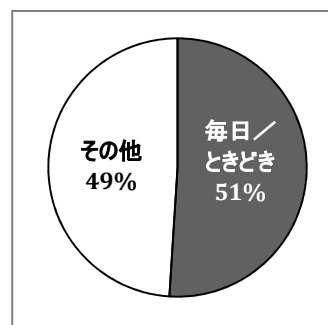


図2 日本語ニュース接触頻度

また、〔日本人と仕事してるから、たまに日本人と話しかける度には日本に関するニュースの方が話が早いです〕のように仕事を意識したものや、自分の趣味・関心事のためニュースに接しているという回答も得られた。ニュースに接していないという協力者からは、時間がないという理由のほか、興味がない、読みにくい、タイ語のほうが楽といった回答が得られた。こうしたことから、日本語ニュースに接していない卒業生も多いものの普段日本語ニュースに接している卒業生は時事についていくという目的以外にも、学習の手段として、あるいは仕事や趣味に活か

⁴ アンケートの質問項目は稿末資料1、結果の詳細は稿末資料2。アンケートの実施にあたっては9人に予備調査を行い、質問項目を見直し本調査を実施した。

⁵ 38名から回答を得たが1名は日本語非専攻の卒業生だったため、結果には反映させていない。

⁶ 以下、本節〔亀甲括弧〕内は協力者の回答からの直接引用。

すためといったように、いろいろな目的からニュースを活用していることがわかった。

なお、協力者の中には日本在住者もあり、日本で暮らす協力者はニュースを通して〔現在、日本で話題になっていること〕や〔日本での事情〕を知る必要があると考えていた。国立国語研究所日本語教育基盤情報センター（2009）が日本語を母語としない国内在住者に対して行った「生活のための日本語」の調査では、全 100 項目のうち、聴解も含めたニュースに関する項目は表 1 に示すように 3 項目あった。

表 1 「生活のための日本語」の調査、ニュースに関する項目（位）

言語行動	ニーズ順 ⁷	可否順 ⁸	頻度順 ⁹
テレビやラジオから災害情報を得る	5	73	40
テレビやラジオでニュースを見聞きする	7	75	2
新聞を読む	17	8	41

（国立国語研究所日本語教育基盤情報センター2009:10-11 を基に作表）

表 1 に示したように、「テレビやラジオから災害情報を得る」「テレビやラジオでニュースを見聞きする」「新聞を読む」の 3 項目とも日本語でできるようになりたいというニーズは高く、日本での生活に必要な言語行動だと認識されている。この結果は本稿でのアンケート協力者の意見と同様である。こうした意見から、卒業後日本へ仕事や留学等に行く可能性のある学生にとって、在学中のニュースの授業は有意義だと思われる。

続いて、学部生時代に受けたメディアを題材とした日本語の授業についての設問の回答の概要を図 3 に示す。大学 1 年次では受講していない学習者が大半であったが、2 年次では新聞読解やニュース聴解などの科目としての授業は少ないものの、読解等の授業の中で勉強したという回答が多かった。3-4 年次になると、ニュース等メディアの科目も、ほかの科目でメディアが扱われる例も多くなっていた。メディアを扱った授業は漢字・語彙・文法・翻訳などに焦点を当てたものや、文化や時事などの意味理解に焦点を当てたものなど多岐にわたっていた。

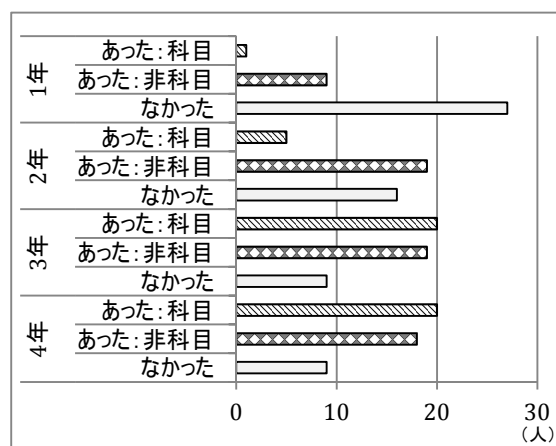


図 3 学年別のメディア授業の有無

ニュースの授業が開講された／されなかった理由についての考えを問うと、ニュースの授の受講経験のない 4 名の協力者はニュースのレベルが高いことや、学生の能力に差があるこ

⁷ 日本語でできるようになりたい人が多い行動。

⁸ 日本語でできない人が多い行動。

⁹ 言語によらず、頻度の高い行動。

とを理由に挙げていた。受講経験者は「語彙を増やす」「練習」などのほか、日本の文化・状況・社会を理解するという、仕事・実生活で必要、といったことも理由に挙げていた。しかし履修当時は図4に示すように「ニュースの授業を通して、日本語の力が伸びたと気がします」「日本語の勉強になるだけでなく、日本文化・日本人の見方も勉強になりました」という好意的な感想を持っていた協力者ばかりではなく、「難しい」「つまらない」「大変だった」などマイナスの感想を抱いていた協力者も多かった。

現在から当時の授業を振り返っての意見を求めると、受けなければ「本当の日本は分からないと思う」「今の能力までいかないと思います」といった意見のほか、就職を意識した「残念だと思います。（中略）入社するときにニュースの読解試験があるかもしれません」といった意見があり、受けたことで日本語能力が向上した、日本への理解が深まったという意見が多かった。

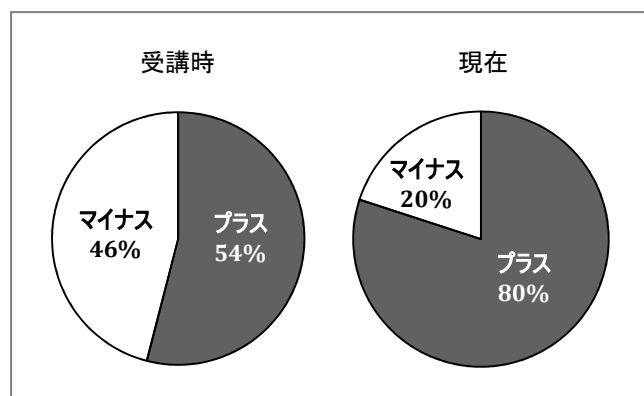


図4 ニュース授業に対する意見

また、「もっとニュース、新聞の読み方の授業があつたら、いいなと思います」といったようにニュースを題材とした授業の拡大を望む声、「1年生のときから勉強した方がいいじゃないかと思う」といったようにニュース授業開始の前倒しを望む声も聞かれた。加えて、「楽しくなかったが、やはり仕事に役立っていると感じています」という意見に示されるように、受講時ではなく現在になって授業の意義がわかったという意見も多く、図4に示したような結果となった。なお、語彙・表現・漢字等の日本語能力向上に関する意見と、日本事情がわかる等の内容に関する意見は受講時・現在ともにほぼ半々ずつであった。以上のアンケート結果から、従来よりも早い段階からニュースの授業を受けたいという需要はあると考えた。

2.3. NHK やさしい日本語¹⁰ニュースの実践

次に、本稿で調査対象とするNHKのやさしい日本語ニュース、NEWS WEB EASYの実践について述べる。在日外国人の増加を受け、NHKでは2012年4月から土日祝日を除く月曜日から金曜日までの毎日、普通のニュースをやさしい日本語ニュースに書き換えてWebサイトで提供する公開実験を開始した（田中他 2013a: 25）。2013年4月下旬から本格公開となり、現在では平日毎日4-5本のニュースがNHKのWebサイトで公開されている（田中他 2013b: 56）。表2にNHKがやさしい日本語ニュースの書き換え原則としている内容について示す。

¹⁰ 本節以降、「やさしい日本語」の括弧を省く。

表2 やさしい日本語ニュース書き換え原則と対応 (抜粋)

	原則	実際	対応
語彙	3-4 級語彙	かなり不足	解説を付す(辞書の使用/説明等の記事への埋め込み)
文法	3-4 級文法	超えてしまう場合あり	自然さを優先
文長	1 文 50 文字以下	単純に短くすると意味が変化	係り受けに注意し、原文の意味を保持
削除	重複/周辺の情報の削除	リード文と本文との重なり、記事全体から見て周辺の情報の存在	記事全体から判断し、削除

(田中他 2013a:22-23, 2013b:38 を基に作表)

表2に示したとおり、NHKのやさしい日本語ニュースでは書き換えに際し、出題基準3-4級の語彙・文法を原則としていることに加え、文長を調整したり、削除により分量を減らしたりしている。こうした原則を設けたことから、田中他(2013a)は、NHKのやさしい日本語ニュースは「2級に向けた勉強をしている外国人や中級準備レベルの外国人であればほぼ理解可能」(同:23)だと考えている。また、NHKがやさしい日本語ニュースにおいて実施しているのは日本語の語彙や文法の難易度を下げることばかりではなく、表3に示すようなWeb上の工夫もある。

表3 やさしい日本語ニュースのWeb上の工夫 (抜粋)

	Web上の工夫
表記	すべての漢字にルビ
辞書	2級以上の難しい語にカーソルをあてると小学生用の辞書の説明
解説	辞書にない難しい語は本文中に括弧書きか連体修飾で説明
単語の色分け	地名・人名・組織名を色表示し、意味がわからなくても判断可
合成音声	やや遅めのスピードの合成音声による原稿の読み上げ
リンク	元のニュースへのリンクがあり、多くは映像と音声付で閲覧可能

(田中他 2013b:47-48 を基に作表)

表3に示したような難易度を下げるときの工夫は難易度を下げることには役立つばかりではなく、庵(http://www13.plala.or.jp/yasashii-nihongo/news_web_easy.pdf)が「聴解の練習にも使えます。さらに、元のニュースの原稿も参照できるため、この『「やさしい日本語」ニュース』をきっかけにさらに上のレベルの日本語を学びたいという学習者も利用することができます」と提案するように複数の利用方法が考えられる。加えて、田中・美濃(2011b)では母語話者に行った読解実験を基に、「やさしい日本語ニュースは元ニュースと同じレベルの自然さを持つ」(同:762)と報告しており、NHK NEWS WEB EASYで使われている日本語はやさしい日本語という調整された日本語であっても、自然さの面では教育活動に活かす上での問題はないと考えられる。

3. 先行研究

本節ではニュースおよびやさしい日本語に関する先行研究について述べる。また、NHKのやさしい日本語ニュース制作者の行った実験についても述べる。

3.1. ニュースに関する先行研究

日本語教育での応用を目的としたニュースの研究は、表4に示すように「読む」ニュースである新聞やインターネットの記事と、「見聞きする」ニュースであるテレビやラジオの放送とを、語彙・表現・構成の観点から研究したものと、実践研究とに分けることができる。また、読解についてはニュースタイトルの構成や機能を分析した研究もある。以下、語彙・表現・構成、ニュースタイトル、実証研究の順に述べる。

表4 日本語教育に関連のあるニュースの研究

		語彙・表現・構成	タイトル	実証研究
[読解]	新聞 ネット記事	今田 (1963) 中山 (2001)	落合 (2009) 湯浅 (2014)	佐藤 (1989), 伴他 (1995)
[聴解 ¹¹]	テレビ放送 ラジオ放送	鈴木・横田 (1992) 岡崎 (1993b) 金庭・川村 (1999) 金庭 (2010)		遠藤 (1988), 市川 (1991) 岡崎 (1993a, 1993b) 椎名・楊 (2001) 金庭 (2002, 2004)

表4に示した先行研究のうち、語彙に焦点を当てた研究は、今田 (1963)、鈴木・横田 (1992)、中山 (2001)、金庭 (2010) の4本である。そのうち、「読む」形式のニュースには、今田 (1963)、中山 (2001) の2本の研究があるが、それぞれ新聞で使用された疑問名詞、外来語を調査対象としており、どちらも新聞を構成する語彙の一部を扱った研究であることから、新聞記事の語彙の全体像を見るには至っていない。

「見聞きする」形式のニュースには、鈴木・横田 (1992)、金庭 (2010) の研究がある。鈴木・横田 (1992) はテレビニュースを上級の聴解授業に応用するため、具体的な表現・語彙の抽出・整理を目的に行われた研究で、その結果を「選挙ニュース」でよく使われる表現・語彙等のリストの形で著しているが、「日常の会話や日本語教育の中で扱われにくいと判断されるもの」「ことばとしては既習でも、日常の会話などと使われ方が違うと考えられるもの」(同: 95) をリストに含めたとの記述があり、選定基準のあいまいさに疑問が残る。そうしたあいまいさを排除し、ニュースに使われる旧日本語能力試験1級該当語約8,000語を超える語彙について意味分野ごとに『分類語彙表』を用いた分類を行ったのが、金庭 (2010) の研究であり、金庭 (2010) は「ニュース語彙の難易度、ニュースで扱われる語の分野、それ

¹¹ テレビニュースを素材とはしているが、多くは聴解材料として扱われていた。

らの語がニュース文に出現する位置について明らかにし、(中略)教師がニュースを指導する際、留意すべき点について考え」(同: 65) ている。しかし、金庭 (2010) はテレビニュースを題材としており、「読む」形式のニュースとは使用する語彙に違いがみられる可能性がある。また、対象とされた言語資料は 1997 年 6 月のもので、2014 年現在では 17 年が経過しておりニュースに使用されている語彙に変化が生じている可能性がある¹²。なお、鈴木・横田 (1992)、岡崎 (1993b)、金庭・川村 (1999) の研究はラジオやテレビの表現や構成について扱った研究であり、鈴木・横田 (1992) を除いては語彙についての言及はされていないことから、3 本の研究成果からは「読む」形式のニュースの語彙構成についてはわからない。

ニュースタイトルを扱った研究としては、新聞記事を対象とした落合 (2008)、インターネットの Yahoo トピックスの見出しを研究対象とした湯浅 (2014) の研究が挙げられるが、どちらもニュース本文については調査対象としていない。また、2 本の研究はニュースタイトルの技法や機能についての研究であり、語彙については明らかにされていない。

実証研究の「読む」形式のニュースでは新聞記事を対象とした伴他 (1995)、佐藤 (1989) の研究があるが、どちらも語彙を対象とはしていない。「見聞きする」形式のニュースでは、遠藤 (1988)、市川 (1991)、岡崎 (1993a, 1993b)、椎名・陽 (2001)、金庭 (2002, 2004) の研究がある。そのうち語彙に焦点を当てた研究としては、ニュース語彙の連語指導を提案した金庭 (2002) の研究が挙げられるが、金庭 (2002) は 459 種類の文末表現のうち出現率の高い上位 20 位までの動詞に限定し連語の予測テストを実施したもので、ニュースの語彙の全体像を捉えることを念頭においた研究ではない。

日本語教育ではなく、メディアの語彙そのものの特徴を調べた研究としては、国立国語研究所 (1987, 1999) 等が挙げられる。国立国語研究所 (1987) は 1906 年から 1976 年までの雑誌『中央公論』を対象に行った調査であり、そのうち語彙については各年度の類似度・安定度・変化・意味分野等について報告している。国立国語研究所 (1999) は 1989 年 4-6 月の 3 か月間に全国放送の 6 放送局 7 チャンネルが放送したすべての番組を対象に行った調査であり、高頻度語彙の分析・番組ジャンルの特徴・話者の属性から見た特徴等について報告している。双方の調査とも対象とした資料は膨大で詳細な調査結果が得られているが、国立国語研究所 (1987) は調査対象はメディアとはいってもニュースではなく、国立国語研究所 (1999) は番組のジャンルで「報道系」という分類はあるものの、「スポーツ系」等の分類もあることから完全にニュースと重なる分類はない。そうしたことから、国立国語研究所 (1987, 1999) の研究においても「読む」形式のニュースの語彙について明らかにされたとは言い難い。

このように、ニュース等のメディアを対象とした研究は盛んになされてきた。しかし、

¹² 時事英語を扱った田中 (1996) によれば、100 年前の新聞と現在の新聞では異なり語数を 5 万語と換算した場合、約 2000 語が新しい語に置き換えられていたという。時事日本語においても、外来語の使用が増える等、語彙に変化が生じている可能性が考えられる。

「読む」形式のニュースを対象に語彙特徴や高頻度で使用される語彙を明らかにすることを目的に行われた調査はまだ不十分である。加えて、時事に関わる語彙は田中（1996）が行った調査のように変化している可能性がある。そのため本稿では、最新の「読む」形式のニュースを資料に語彙特徴や高頻度で使用される語彙について明らかにしていきたい。

3.2. やさしい日本語に関する先行研究

やさしい日本語は、1995年1月に発生した阪神・淡路大震災で、日本語に堪能でない外国人住民を情報被災者にさせてしまった経緯から研究が始まり（佐藤 1999、柴田 1999、松田 1999、水野 2006）、現在でも弘前大学社会言語学研究室（<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/EJ3mokuji.htm>）などで研究が続けられている。その後、災害時に限らずさまざまな場面でやさしい日本語の必要性が叫ばれるようになり、日本語非母語話者と日本語母語話者との関わりの中での言語として、多方面から研究が進められ、現在では表5に示すようにやさしい日本語が何かわからなくなるほどまでに、その広がりは大々くなっている。

表5 やさしい日本語研究の広がり

			共通言語	教育の対象
母語話者対 非母語話者	母語話者が 調整	[災害時]	弘前大学 (Web 上) 減災のための「やさしい日本語」研 究会 (Web 上)	
		[平時]	庵・岩田・森 (2011), 柳田 (2013), 野田 (2014), 宇佐美 (2014)	
	両者が調整		光元 (2014)	
	非母語話者 が調整		森 (2013), 岩田 (2013)	庵 (2009, 2011) 岩田 (2014)
その他			柴崎 (2014), 柳田 (2014) 木谷・築島 (2014)	岡 (2013)

表5に示したように、最近では災害時に限った研究（弘前大学等）のほか、日常生活の中での母語話者と非母語話者の日本語の妥協点を考えようという研究（庵・岩田・森 2011、柳田 2013、宇佐美 2014、野田 2014、光元 2014）がある。また、母語話者対母語話者（柳田 2013、柴崎 2014）、非母語話者対非母語話者（木谷・築島 2014）、あるいは母語を問わず、対人関係の中でやさしい日本語のあるべき姿を考える研究（柳田 2014）等さまざまな研究がなされている。そして、そうした研究の多くは言語の使い手として不自由のない側が言語の学習者等にわかりやすいレベルの日本語を考えるという趣旨のものが多い。またやさしい日本語を現時点で確定していない変容していくべき言語としてとらえているものが大半である。なお、NHKのやさしい日本語ニュースも共生社会に生きる日本語非母語話者や子どもといった成人の日本語母語話者レベルの日本語の使い手になっていない読者を想定し制作されてい

るもので、田中 (http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/kyouiku/taikai/26/program/pdf/shiryo_05.pdf) は、今後の課題として「やさしい日本語の改良」を挙げており、NHKのやさしい日本語ニュースを確立したものだと考えていない。

教育の対象としてやさしい日本語をとらえた研究としては、表4に示したように、庵(2009, 2011)の初級の文法項目を考えるもの、岩田(2013)の公的文書で使われる文法項目から公的文書基本文法を提案するもの、岩田(2014)の看護師国家試験で頻出する語彙・文法等を明らかにすることで、特定の非母語話者にとって必要な日本語知識を検討するもの等がある。そのうち、語彙を取り上げた研究としては、公的文書をやさしい日本語に書き換えた森(2013)、看護師国家試験で使用される語彙を調査した岩田(2014)が挙げられる。森(2013: 99)では、在日外国人が日常生活で目にする公的文書(自治体による文書)「原文」に対し、逐語訳・意識・要約を施し、それぞれに使用されている語彙を調べ、「『やさしく書き換えよう』とした意識の集合体による『帰納的な語彙の分類』の可能性を模索」している。NHKのやさしい日本語ニュースは、一般の「原文」があり、それを書き換えた文章を検討するという点では、森(2013)と共通するものである。岩田(2014)では、看護師候補者(非母語話者)を想定し、看護師国家試験対策に関する文法・語彙シラバス(教育内容)を考えるという文脈でやさしい日本語を捉え、実際の過去の試験で使われた語彙から、必須の語彙、特に名詞語彙のシラバス作成に向けた研究を行っている。

このようにやさしい日本語の研究はさまざまな広がりを見せているが、日本語母語話者が調整する日本語という趣旨のやさしい日本語と比べると、日本語教育に活かすという趣旨のやさしい日本語の研究はまだ少ない。本稿では日本語教育のために書かれた文章ではないやさしい日本語を日本語教育の場で教材として使用する際にどういった点に配慮する必要があるのかについて一般ニュースとの比較から考える。教育の観点に立つ点では、庵(2009, 2011)、岩田(2013, 2014)、森(2013)と共通するが、素材が日本語非母語話者のために制作されたやさしい日本語であり、そのやさしい日本語を流動的なものではなく、すでに確立されたものとして扱う点で相違している。

3.3. NHKによるやさしい日本語ニュースに関する実験

本項ではやさしい日本語ニュースに関しての取り組みのうち、NHKのやさしい日本語制作者らが行った研究(田中・美濃 2010, 2011a, 田中他 2012)について述べる。田中・美濃(2010, 2011a)はやさしい日本語ニュースの作成の過程で行われた実験であり、田中他(2012)は公開実験サイトを評価するために行われた実験である。

田中・美濃(2010)は災害に関する地震・豪雨・台風・噴火・津波の5種類の一般ニュース546本と、外国人に職業として日本語を教えた経験がない日本語母語話者A、Bが書き換えたやさしい日本語のニュースとを比較した研究である。その中で、田中・美濃(2010)は品

詞別の異なり語数、書き換え後の品詞別の語彙量の変化、書き換え困難語の分類について報告している。表6に田中・美濃（2010）の調査結果を転載する。

表6 田中・美濃（2010）「形態素数変化（全品詞）」

品詞	元記事	A	B	品詞	元記事	A	B
名詞	4,788	3,888	3,919	接続詞	18	17	19
動詞	863	497	467	連体詞	17	17	18
副詞	149	83	87	助動詞	15	11	11
形容詞	94	82	80	感動詞	5	5	5
助詞	85	61	65	その他	1	0	2
接頭詞	40	29	28				
記号	19	21	21	合計	6,094	4,711	4,722

（田中・美濃 2010:4 より転載）

表6にみられるように、田中・美濃（2010）は全品詞を対象に詳細に数量の変化を記録している。ただし、「形態素」「品詞」の区分があいまいであり「接頭詞」という一般的には品詞として扱われないものを品詞としている点、「接頭詞」はあっても「接尾詞」や序数詞等は分類に加えていない点、「記号」や「その他」という何を指しているのかを明らかにしていない区分がある点に問題がある。続いて、田中・美濃（2010）で生じていた書き換え困難語490語について、表7として田中・美濃（2010）による7分類を転載する。

表7 田中・美濃（2010）「書き換え困難語概要」

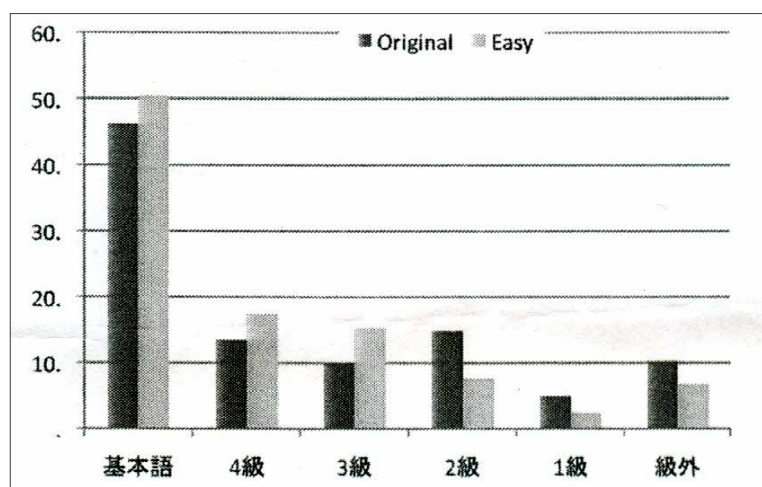
分類	特徴	例	コメント
特殊概念	特殊な意味を持っており対応する平易語が見つからない	接待, 吹き抜け, 感染, 不審者	上位概念にすると意味が異なってしまう。
抽象的概念1	概念が広すぎて同等の平易語が見つからない	福祉, 公共事業, 国際社会, 環境問題, 政治活動	言い換えると説明的, あるいは例の羅列になる
抽象的概念2	文脈によって平易語が異なる	影響, 対処	「地震の影響」→「地震で建物が壊れた」 「金融危機の影響」→「景気が悪い」といった言い換えが必要
分野固有用語		補正予算案, マグマ, 水蒸気爆発, 震度, 被災地, 被害, 秘書官, 自治体	固有表現に近い職業名や分野に特有の用語
文化に関係した語		ひな人形, お内裏さま, 歌舞伎, 唐草, 位牌, ひわだぶき	
頻出語	頻度が高いので書き換ええない方が適切	記者会見, お年寄り, 住民	「お年寄り」→「おじいさん, おばあさん」とすると冗長
慣用表現	共起関係にある語	布団をしく 布団を干す	「しく, 干す」を別な語にすると印象が変わる

（田中・美濃 2010: 5 より転載）

表7に示したとおり、田中・美濃（2010）では書き換え困難語を7種に分類しているが、「分類」の中に「抽象概念2」という書き換え可能な分類が含まれている点に疑問がある。また、「特徴」の説明では「概念が広すぎて同等の平易語が見つからない」のような記述もあり、書き換え困難語の7分類はあくまで作業者の便宜上の分類であり、読み手を意識しての分類ではない。

このように、田中・美濃（2010）は品詞の数を異なり語数のみで数え延べ語数は計量していない点、品詞の区分があいまいである点、書き換え困難語の分類を作業者の視点で行っている点に疑問が残る。また、対象とした資料が公開実験以前のものあることに加え、現行のニュースとは異なり日本語教育未経験者によって書き換えられた文章であることから、現行のニュースで再度調査を行う必要がある。

次に、田中・美濃（2011a）について述べる。田中・美濃（2011a）では日本国内の留学生（大半が中国語母語話者）43名を対象に災害に関するやさしい日本語ニュースと一般ニュースの読解テストを実施している。実験に使用されたニュースの語彙の難易度は図5に示すとおりである。



（田中・美濃 2011a: 3 より転載）

図5 田中・美濃（2011a）「実験に使った記事の語の級分類」

図5で「基本語」と分類されたのは、「助詞、助動詞、数字、記号など」（田中・美濃 2011a: 3）で、3-4級の語彙が多いとはいえ、2級や級外の語彙も高い比率で存在している。こうしたテキストを用いて、中級準備・中級・上級のレベルの協力者に対し読解テストを実施したところ、内容理解の問題については、すべてのレベルでやさしい日本語ニュースの理解が一般ニュースの理解を上回ったが、両者の正答率の開きから「上級より、中級、中級準備といった相対的に低いほうの学力水準に効果的だった」（同: 5）という結果を導いている。また、協力者の大半が中国語母語話者だったことから漢語と和語について考察を加えている

が、語種による語彙の計量はしていない。なお、田中・美濃（2011a）は図5にも示したようにニュースの難易度を級分類からもみてはいるが、対象としたニュースはやさしい日本語ニュース4本、一般ニュース5本の計9本のみで、かつニュースの内容も災害記事に限られていることから、語彙の構成を量的にみるには十分な資料だとは言い難い。また、語種について、考察はあるものの計量はされていない。

最後に、田中他（2012）について述べる。田中他（2012）はNEWS WEB EASYの公開実験の過程で、外国語母語話者（漢字圏・非漢字圏）と子ども（小・中学生）に対して実施したやさしい日本語ニュースと一般ニュースの正解率・あきらめ率・回答時間を測定した実験である。実験の結果、正答率はやさしい記事のほうが高く、あきらめ率はやさしい記事のほうが低く、回答時間はやさしい記事のほうが短いという結果が出たことから、やさしい記事には一定の効果があると説明している。しかし、協力者がさまざまな日本語レベルにあったにもかかわらずレベル別の正答率等を出していない点、漢字圏と非漢字圏の協力者に日本語レベルの差があった点に問題があり、田中他（2012）のNHKのやさしい日本語が2級準備レベル（現在のN3取得レベル）だという想定を裏付けることはできておらず、どの日本語レベルの非母語話者に効果があるのかは明らかにされていない。そのため本稿では、ニュースで使用されている語彙を1-4級と級外に分類し、どのレベルの語彙がどの程度使われているのかを明らかにしたい。

4. 調査の概要

4.1. 資料

本稿の調査で使用する言語資料は、NHKのWebサイトからニュース掲載日当日、あるいは掲載から数日以内に入手した2014年7月と8月¹³の2か月間のNHK NEWS WEB EASY（やさしい日本語ニュース）とNHK NEWS WEB（書き換え前の元の一般ニュース）¹⁴である。本稿でNHKのやさしい日本語ニュースを対象とする理由は、NHKのやさしい日本語ニュースは①ラジオ放送等と異なり海外でも取得が容易であり、授業で使用しやすいリソースである②公開実験を経て本格公開に至っており、安定して配信されるニュースである（田中他 2013b: 56）③書き換え前の一般ニュースも閲覧可能で、両者を比較することが可能である④日本語母語話者への読解実験により日本語の自然さが保証されている（田中・美濃 2011b）という以上4点である。

¹³ NHK NEWS WEB EASYは平日に限って配信されている。ただし、元のニュースは平日配信されたもの、週末配信されたものの区別はなく使われている。

¹⁴ やさしい日本語ニュースと一般ニュースのタイトルは稿末資料3。

本調査で使用するニュース資料の概要は表 8 に示すとおりである。表 8 に示すように、やさしい日本語ニュースは元の一般ニュースより分量が少ない。やさしい日本語への書き換えで分量が減るとするのは、公的文書のやさしい日本語書き換えコーパスを作成した森（2013）とは異なる傾向である¹⁵。森（2013）による公的文書の書き換えでは、原文 1,001,694 字を逐語訳した際、総文字数が 1,121,926 字に増えていた。これは、逐語訳というすべてを隈なく訳そうという訳出の性質が招いた結果だと考えられる。

表 8 資料の概要

	一般ニュース	やさしい日本語ニュース
ニュースの本数	211 本	211 本
ニュース全体の文の総数(タイトルを除く)	1,896 文	1,695 文
ニュース 1 本あたりの文の数	5-34 文	5-13 文
ニュース 1 本あたりの文の平均	約 9.0 文	約 8.0 文
ニュース全体の文字の総数	139,656 字	71,748 字
ニュース 1 本あたりの文字数	399-2,809 字	223-491 字
ニュース 1 本あたりの文字数平均	約 662 字	約 340 字
ニュース 1 文あたりの文字数平均(タイトルを除く)	約 72 字	約 40 字

NHK ニュースのやさしい日本語への書き換え実験段階でも「書き換えを行うと、説明的な表現を使う、複合語を開くなどするため、総文字数は一般に増加する」（田中・美濃 2010: 6）との記述がみられ、田中・美濃（2010）の実験では書き換え後の総文字数は書き換え前の 1.04-1.06 倍に増加していたという。しかし、公開実験を経て本格公開に至っている現行の NHK のやさしい日本語ニュースでは、表 8 に示したように元の一般ニュースの長短にかかわらずある程度短い分量に調整されており¹⁶、逐語訳はされていないことがわかる。

また、NHK のやさしい日本語ニュースと一般ニュースを比べた場合、文の数の下限やニュース 1 本あたりの文の数にさほど違いはない¹⁷。そこで、文の数と文字数の書き換えによる減

¹⁵ 「原文に比べ、逐語訳では分量が増えています。これは、逐語訳では語としては短くなる傾向があるものの『わかりやすい説明』のために、むしろ単語数は増加していることを示しています。例えば、原文では『就労先』だった語が、逐語訳で『仕事をする所』に書き換えられた場合、原文では『就労+先』で 2 語だったのが、『仕事+を+する+所』のように 4 語に増えるのです」（森 2013: 104）

¹⁶ ニュースタイトルに限っては、現行の本格公開でも書き換えにより文字の分量が増えている。211 本のニュースタイトルの文字総数は一般ニュースでは 3,446 字だが、やさしい日本語ニュースでは 4,585 字である。

¹⁷ 同じく NHK ニュースを扱った金庭・川村（1999）の資料ではニュース 1 本あたりの平均文数は 5.36 文であり、本データと大きく異なる。金庭・川村（1999）は 1997 年 6 月の朝 7 時のニュースを扱っているのに対し、本調査では特定の時間帯のニュースを対象としていない。時間帯によりニュースの長さの違いがあるかは不明だが、2014 年 7-8 月現在の NHK のニュースが 1997 年次のものよりも長くなっている可能性も考えられる。

少率をみるため、図6に一般ニュースの総文字数・文の数を100とした場合のやさしい日本語ニュースの文字数・文の数を示す。

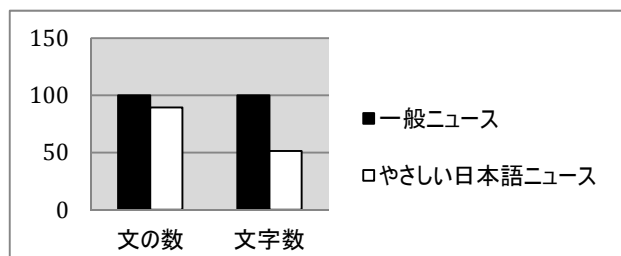


図6 書き換えによる文と文字の数の変化（一般ニュースを100とした場合）

図6に示したように、ニュース全体の文字数がやさしい日本語ニュースと一般ニュースでは2倍程度の開きがある一方、やさしい日本語ニュースと一般ニュースの文の数にさほど大きな違いがみられないのは、やさしいニュースでは1文あたりの文字数を抑えているためである。NHKのやさしい日本語ニュースの公開実験時に文長（文の長さ）に配慮する必要があるとの考察¹⁸がニュースの本格公開でも活かされていることがわかる。

4.2. 調査の種類

本稿では2種類の調査を行う。一つ目はやさしい日本語ニュースと一般のニュースの語彙の違いを明らかにするための調査で、やさしい日本語ニュースと一般のニュースの語彙を品詞・語種・難易度の観点から延べ語数・異なり語数で比較する。二つ目はやさしい日本語ニュースで高頻度で使用される語彙を抽出するための調査で、高頻度で使用される語彙を上位100語・300語・600語で区切り、その品詞・語種・難易度・意味分野を明らかにする。

はじめに、本稿での調査対象に語彙を選んだ理由について述べる。田中・美濃（2010）はNHKのやさしい日本語ニュースは準備段階では構文的には3級以下のやさしい文法におさまっているが、語彙はかなりの難語が残っているため、最大の問題は語彙であると指摘している。その後自然さの観点で若干の修正がなされ、「伝達表現などニュースで発達している文法項目については拡張する」（田中・美濃 2011b: 758）と文法も一部3-4級外のを許容されはしたものの、結局のところ「特に、語彙を厳しく制限すると、自然性の要件を満たすことが難しくなるため、これを緩和した」（同: 759）というように、3-4級の範囲を超えるのは文法よりも語彙であることがわかる。また、既述のようにNHKのやさしい日本語ニュースで

¹⁸ 「ニュースは短時間に多くの情報を伝えようとするので1文が長くなる傾向がある。文が長くなると係り受けが複雑になることが多い。そこで、やさしい日本語にするためには文を短くするのが効果的である。ニュースのやさしい日本語では原則として1文を50文字以下にした。ただし、文を単純に短くすると意味が変わることがあるので注意を要する」（田中他

はすべての漢字にルビが振られており、表記はさほど問題にはならない。そのため、本稿では文法や表記ではなく語彙を調査対象とした。

語彙を調査対象とするにあたってはNHKニュースで使用されていた語彙を分類する必要がある。本調査ではニュースの語彙の分類を目的とし、語彙分析プログラムとしてKH Coderを使用することとした。語彙分析プログラムとしてKH Coderを選択した最大の理由は「抽出語検索」が可能な点である。「抽出語検索」により抽出した語彙の原文での扱われ方を活用形を含めて遡って確認でき、抽出時の「未知語」を手作業で完全に処理でき、最終的な未知語を生じさせることがなくなる。加えて、KH Coderの備える機能「複合語の検出」「強制抽出語の設定」「抽出結果のフレーズ・詳細確認」等も有用であると判断し、KH Coderの採用を決めた。また、KH Coderと共に用いる辞書は茶筌とMeCabのうち、KH Coderに内蔵されている茶筌を採用する。これは、MeCabを使用する場合は別途MeCabのユーザー辞書を作成する必要がある一方、茶筌では辞書作成の必要はなくひらがなのみの表記の語を別集計するなどKH Coderが手を加えた機能も使用可能となるためである。

次に、上述の2種類の調査について説明する。一つ目の調査でやさしい日本語ニュースと一般のニュースの語彙の違いを明らかにするのは、2種類のニュースの語彙の違いが明らかになれば、やさしい日本語をニュースの教材として採用する場合、授業を行うにあたって配慮すべき点を心得ておくことができると考えたためである。本稿ではやさしい日本語ニュースと一般ニュースの違いをみるにあたり、それぞれのニュースがどのような語彙群で構成されているのかを、品詞・語種・難易度の観点で延べ語数・異なり語数から観察する。以下、品詞、語種、難易度を調査対象とした理由について品詞から順に説明する。

まず、品詞を対象とした理由について述べる。語彙の構成を調べた研究には、大規模なものでは国立国語研究所(1987, 1999)等があり、『分類語彙表』に基づき、「体の類」「用の類」「相の類」の3分類で語彙の構成を調べている。ただし、本稿の調査と最も関連があるのは、NHKのやさしい日本語ニュース制作者らが公開実験前に行った田中・美濃(2010)の研究であり、田中・美濃(2010)では語彙の構成を『分類語彙表』による3分類ではなく、品詞で分類している。また、「やさしくする上で、最大の問題は語彙、特に名詞である」(同:7)といった品詞に関する言及もあり、品詞で分類を行うことが適当だと判断した。

ただし、表6「田中・美濃(2010)『形態素数変化(全品詞)』」については既述のように、「形態素」「品詞」の区分があいまいであり「接頭詞」という一般的には品詞として扱われないものを品詞としている点、「接頭詞」はあっても「接尾詞」や序数詞等は分類に加えていない点、「記号」や「その他」という何を指しているのかを明らかにしていない区分がある点に問題があり、同様の分類をすることはできない。

そのため、本稿では田中・美濃(2010)の12分類のうち、該当する語が明らかでない「接頭詞」「記号」「その他」と付属語の助詞・助動詞を除く、名詞・動詞・副詞・形容詞・接続詞・連体詞・感動詞の7種類の品詞で分類を行うこととした。付属語の助詞・助動詞を対象

外としたのは、付属語は「単独では文節を構成できず、常に自立語の下について文節を構成する語」（『日本語文法がわかる事典』2005: 253）であり、たとえやさしい日本語ニュースと一般ニュースとで付属語の多少がみられたとしても、それは自立語に起因するものであることから、付属語の多少を述べる結果的には自立語の多少を述べることに繋がってしまうというような重複した観点をあらかじめ排除しておくためである。

なお、品詞分類にあたってはKH Coderと茶釜による分類を『明鏡国語辞典 第二版』の見出し語を参考に修正を加えた。『明鏡国語辞典 第二版』を参考としたのは、「看護師」「少子化」「通信教育」「海賊版」「介護サービス」等、比較的新しい言葉を含めて、特に合成語に関して多くの見出し語があり、語彙を認定するのに適当だと判断したためである。

次に、語種を対象とした理由について述べる。上述の田中・美濃（2010）では語種については調査対象としていない。ただし、NHKのやさしい日本語ニュースを扱った研究で、「ニュースをやさしい日本語で書き換える場合、一般に漢語を和語で開く」（田中・美濃 2011a: 5）というように、やさしい日本語による書き換えで語種に変化が生じることが指摘されている。しかし、田中・美濃（2011a）はニュースの理解度を測るための実験の報告であり、語種の変化についての詳細はわからず、「一般に」というのがどの程度の頻度で起こりうるのか、どういった語彙構成の変化を招いているのかはわからない。こうしたことを受け、本稿で語種を対象とすることがやさしい日本語ニュースと一般ニュースの違いを明らかにすることにつながると考え、語種も調査対象とした。なお、外来語の判断は『明鏡国語辞典 第二版』および『広辞苑 第六版』を参考にし、漢字語彙の漢語・和語・混種語の判断は『新漢語林 第二版』を参考にした。

続いて、難易度を対象とした理由について述べる。やさしい日本語ニュースは一般ニュースをやさしく書き換えたものであるため、語彙についても難易度には大きな違いがみられるはずである。実際、図5「田中・美濃（2011a）『実験に使った記事の語の級分類』」に示したように、田中・美濃（2011a）では読解実験試料に対して級分類による難易度を示しており、やさしい日本語ニュースと一般ニュースの間に違いがあることがわかる。そのため、本稿でも難易度を調査対象に含めた。なお、本稿では語の難易度を旧日本語能力試験の出題基準に基づいて判定する。これは、NHK NEWS WEB EASYが旧日本語能力試験の出題基準に基づいてやさしい日本語への書き換えを行っており、初級教科書等ほかの基準を用いることで複数の基準が併存してしまうことを避けるためである。

語彙の難易度を分類するにあたっては「リーディング・チュウ太」を用い、『日本語能力試験出題基準』（2002）で適宜修正を加えた。分類に「リーディング・チュウ太」を用いたのは、リーディング・チュウ太は語彙チェッカー機能により、入力した文章を単語に区切り、各単語の難易度を「旧日本語能力試験出題基準」に準拠して判定が可能（川村 2013: 201）なためである。ただし不完全な部分もあるため、『日本語能力試験出題基準』（2002）も併用した。

なお、難易度の分類に際しては基本的に固有名詞を数に含めない。これはNHKのやさしい日本語ニュースNHK NEWS WEB EASYでは人名・地名・組織名は色で示され、その人物や地名を知らずともその語が人名・地名・組織名であることがわかることから、ほかの黒字で書かれている語とは難易度の点で異なる要素が入っていると判断したため、固有名詞の色分け表示がない一般ニュースも含め数に計上しないこととした。また、人名・地名・組織名を除くその他の固有名詞についても、「富士山」のように日本語を学んだことのない外国語母語話者でも知っているような有名な語であったり、(1) bに示すやさしい日本語ニュース文で使われた「よさこい祭り」のように、前後にその語の説明がある例が多いことから、色分けされた語と同じく難易度がその語だけで判断される語ではないと考え、集計から除く。加えて、補助動詞も難易度別の分類からは除く。これは、補助動詞は出題基準からは難易度を判断することができないためである。

(1) a. 高知の夏を彩る「よさこい祭り」は、(後略) (般:144)¹⁹

b. 高知県高知市では毎年8月に「よさこい祭り」という踊りの祭りがあります。(や:144)

なお、本稿で品詞・語種・難易度での語彙の構成をみるにあたり、延べ語数と異なり語数で計量する。これは、延べ語数と異なり語数での計量にはそれぞれに長所があり、双方を用いることでより多角的に語彙特徴をとらえることが可能だと考えたためである。以上、一つ目の調査の観点について説明した。続いて、二つ目の調査の観点について説明する。

二つ目の調査で、やさしい日本語ニュースで高頻度で使用される語彙を抽出し、その意味分野等を明らかにするのは、やさしい日本語ニュースを教材として使用する場合、高頻度語彙の抽出により読解に必要となる語彙を特定することが可能だと考えたためである。また、高頻度語彙が明示されていれば、必要に応じて語彙リストを作成したり語彙学習をさせたりすることにより、より早い段階でのニュース提供も視野に入れることが可能だと考えたためでもある。

高頻度語彙を対象とした調査では、やさしい日本語ニュースで使用された語彙を使用頻度順に並べ、上位100語・300語・600語で区切り、上述の調査と同様に、品詞・語種・難易度の構成を延べ語数と異なり語数で確認し、その意味分野を示す。また、上位100語・300語・

¹⁹ 以下、ニュース文の引用で(や:144)(般:144)のような記述をした場合、それぞれ、ニュース番号144のやさしい日本語ニュース、ニュース番号144の一般ニュースからの引用であることを示す。なお、NHK NEWS WEBでは英数字や記号が基本的に全角で「8月」のように示されるが、一部「50万人」のような表記のゆれもある。また、「▽」のような記号、「わかりづらい」のような表記がニュース文に現れる場合もある。こうした全角の数字や全角と半角の組み合わせ、記号、一般には見慣れない表記等についても修正は加えず、ニュース原文からそのままの引用とした。ただし、引用文中の下線や斜体字等の強調はすべて筆者が付したものである。

600語に含まれるの難易度が高い語彙²⁰について全体とは別に意味分野を示す。

はじめに、上位100語・300語・600語の基準について示す。それぞれのカバー率は43%・63%・79%である。はじめの区切りとして100語を設定したのは、それ以下では語彙群として扱うには少数で、カバー率も非常に低かったが、上位100語で40%を超えたためである。上位600語については、カバー率がおおよそ80%になるため設定した。その中間点として、カバー率がおおよそ60%で、語数もおおよそ中間点に位置する上位300語を設定し、結果として上位100語・300語・600語の区切りとなった。

上位100語・300語・600語について品詞・語種・難易度の構成を延べ語数と異なり語数で示すのは、語彙全体との比較が可能となるためである。意味分野を対象とするのは、語彙を頻度順のリストとして並べただけではどういった語彙が含まれているのかの判断が主観的になりかねないため、主観性を排除し高頻度語彙をグループ化する目的で意味分野を調査対象とした。また、意味分野を上位100語・300語・600語の高頻度語彙全体と難易度の難易度の高い語彙で別々にみるのは、読解に必要な語彙として、高頻度語彙全体を把握する必要がある場合もあれば、難易度の高い語彙のみが必要な場合もあると考えたためである。

なお、意味分野の特定にあたっては『角川類語新辞典』（2012）を使用する。ニュース語彙の特徴を分析した金庭（2010）では『分類語彙表』により意味分野を特定していた。実際、「『分類語彙表』は、完全に客観的とはいえないが全体の一貫性がある、網羅的で詳細な、数少ないシソーラスである」（早津2010:7）といった指摘もあり、意味分野を特定するには『分類語彙表』は有益な資料となりうる。

しかし、『分類語彙表』（1996）は客観的であるが故か【300心】に含まれる語彙には「稚気・幻聴・座り心地」のような語彙も含まれているなど、語彙集合をみてもどういう意味分野の語彙と規定されているのか、『分類語彙表』を開いて確認しなければわからないような分類が少なくない。この点について荻野（1990）は『分類語彙表』の最小グループの中にも同義語や対義語だとは考え難い語が混じっていることを「テント」と「のれん」を例に述べている。こうした『分類語彙表』の意味分野のわかりにくさに対し、『角川類語新辞典』

（2012）には大項目・中項目・小項目すべての意味分類に【410心】「知識・感情・意思などの精神的な働きのもとになるもの」といった説明の語が添えられ、意味分野の解釈が容易で、わかりやすい分類である。

このわかりやすさについては主観的な部分があることは否めない。しかし、やさしい日本語ニュースの高頻度語彙の意味分野を特定する目的の一つに、より早い段階でのニュース提供も視野に入れることが可能となることを先に挙げたように、やさしい日本語で書かれたニュースをより「やさしい」ものにするための手段となりうるのであれば、わかりやすいとい

²⁰ NHKのやさしい日本語ニュースでは34級範囲内の語彙による書き換えを原則としているため、本稿では34級語彙を難易度が低い語彙、34級の範囲におさまらない2級以上の語彙を難易度が高い語彙と考える。

う「やさしさ」を優先し、意味分野を特定することには価値があると考えた。そのため、本調査では『分類語彙表』ではなく『角川類語新辞典』を採用することとした。

4.3. 調査の手続き

本項では、前項で述べた調査の手続きについて記す。第一に KH Coder を用いての語彙を分類および品詞別に分類する過程について、第二に語種別に分類する過程について、第三に難易度別に分類する過程について、第四に高頻度語彙を抽出し、意味分野を特定する過程について示す。

第一に、語彙分析プログラム KH Coder を用いて語彙を分類する過程と、それに伴って行われる品詞を分類する過程について以下に示す。

- 1) jEdit を使用して、ニュース原稿を KH Coder で使用可能なファイル形式である Shift-JIS に変換する。
- 2) KH Coder により分析を行う。その際、辞書として KH Coder に内蔵されている茶釜を選択する。
- 3) KH Coder の解析を Excel で表示し、修正を加える。
- 4) 修正した分析データを「名詞」「動詞」「形容詞」「副詞」「連体詞」「接続詞」「感動詞」²¹に分類する。
- 5) 得られた語彙を計量する。

なお、上記 1) から 3) では手作業により修正を加えている。そのため、表 9 に手作業で変更をした内容を示す。

²¹ 自立語の品詞分類は『日本語文法がわかる事典』（2005）に従った。

表9 KH Coder 分析過程の手作業による置き換えの内容

	手作業で行った内容	基準・手段・理由・注意事項等	例
1)	波型「～」、マイナス「-」を削除	jEdit で保存不可	「セブニーイレブン」→「セブンイレブン」
2)	「語の取捨選択」で抽出対象を指定	「非自立語」を除くすべてにチェック	「名詞」「その他」→抽出対象 「否定助動詞」→抽出非対象
	予め把握できている固有名詞を「強制抽出語」に指定	NHK NEWS WEB EASY で色分けされた固有名詞	「いわき仲買組合」「チャンウォン」
	「複合語の検出」を行い、適宜「強制抽出語」に追加	基準は『明鏡国語辞典 第二版』 ²² の見出し語の有無	「可能+性」「民主+主義」
3)	強制抽出した「タグ」の語を該当箇所に分類	ニュース本文で確認	「いわき仲買組合」→組織名 「チャンウォン」→地名
	「未知語」を該当箇所に分類 分割ミスは修正の上分類	「抽出語検索」「抽出結果のフレーズ・詳細確認」およびニュース本文で確認	「フォロワー」→名詞 「汰」→「壮汰(人名)」
	可能動詞が抽出された場合は、動詞原形にし合算	「抽出結果のフレーズ・詳細確認」で可能動詞であることを確認	「楽しめる」→「楽しむ」
	送り仮名にゆれがある場合は、一方に合算	基本的に出現数が多いほうに合算	「終わる」と「終る」 「取り引き」と「取引」
	表記のゆれがある場合は、一方に合算	固有名詞でないことを確認	「うなぎ」と「ウナギ」 「兄弟」と「きょうだい」
	同音異字語は適宜一方に合算	辞書で一つの見出し語で扱われる場合 1 語と判断 固有名詞でないことを確認	「会う」と「逢う」 「町」と「街」
	抽出された“複合語”を適宜分割	辞書の見出し語にあるものは 1 語、見出し語にないものはそれぞれの自由形態素の見出し語に分割 ²³	「通信販売」→1 語 「起工式」→「起工」「式」の 2 語

²² 以下、表9内で断りなく辞書といった場合、『明鏡国語辞典 第二版』を指す。

²³ 姫野（1999）は複合語を構成する要素について意味の保持等の観点から考察を加え、複合語を構成する要素が単独で使われる場合の意味の合算がそのまま複合語の意味になることはないことを説明しているが、語の認定基準を明白にする目的で、ここでは『明鏡国語辞典 第二版』見出し語の有無で語の認定をした。

	手作業で行った内容	基準・手段・理由・注意事項等	例
3)	抽出された“派生語”を適宜書き換え	辞書の見出し語にあるものは派生語 1 語、見出し語にないものは拘束形態素をのぞく自由形態素のみで 1 語	「世界観」→1 語 「世界中」→「中」を除き「世界」で 1 語
	助数詞は基本的に削除	助数詞は拘束形態素であるため 辞書の見出し語にあるものはそれぞれ 1 語と認定	「一つ」→1 語／「一隻」→削除
	固有名詞の分類を確認、修正	人名・地名など複数の解釈ができる語の分類を「抽出結果のフレーズ・詳細確認」およびニュース本文で確認	「花屋敷」→組織名／絵画の作品名 「厚生」→組織名(厚生省)／人名
	「サ変名詞」に分類された語は、サ変名詞、サ変動詞、形容動詞に分類し、集計	ニュース本文および「抽出結果のフレーズ・詳細確認」で 1 語ずつ確認。造語成分を伴うことで品詞が変わる語は、辞書の見出し語の有無にかかわらず別集計 ²⁴	サ変名詞「組織」 →名詞「組織」／動詞「組織する」 形容動詞「組織的な」
	「副詞可能」「副詞」に分類された語は名詞と副詞、連体詞・接続詞・形容動詞に分類	ニュース本文および「抽出結果のフレーズ・詳細確認」で 1 語ずつ確認。造語成分を伴うことで品詞が変わる語は、辞書の見出し語の有無にかかわらず別集計 ²⁵	「近く」→名詞／副詞(あまり遠くない将来) 「ある」→連体詞 「一方」→接続詞／形容動詞「一方的な」
	「形容動詞」に分類された語は形容動詞と名詞、動詞、連体詞に分類	ニュース本文および「抽出結果のフレーズ・詳細確認」で 1 語ずつ確認。造語成分を伴うことで品詞が変わる語は、辞書の見出し語の有無にかかわらず別集計 ²⁶	「自由」→形容動詞「自由な」 名詞「自由化」／動詞「自由化する」 「更」→連体詞「更なる」
	動詞連用形と同形の名詞は動詞とは別集計	辞書の見出し語の有無にかかわらず	「立て直し」
	「その他」に分類された語のうち、自立語はそれぞれの品詞に分類、非自立語と記号は削除、語と認められない文字(列)は確認後、訂正	ニュース本文および「抽出結果のフレーズ・詳細確認」「抽出語検索」でそれぞれ確認 ²⁷	「大きな」→連体詞 / 「では」→接続詞 「ながら」「か月」「、」→削除 「おこし」→「町おこし」
	すべての語の分類を再確認	品詞分類の誤り、助詞や造語成分等が残されていないか、複数箇所 1 語を別集計していないか	「億」と「1 億」を別集計→「億」に合算

²⁴ 『日本語文法がわかる事典』(2005)を参考にした。

²⁵ 『現代副詞用法辞典』(1994)、『日本語学習者のための副詞用例辞典』(1989)、『日本語文法がわかる事典』(2005)を参考にした。

²⁶ 『日本語文法がわかる事典』(2005)を参考にした。

²⁷ 此島(1983)、『日本語文法がわかる事典』(2005)、『明鏡国語辞典 第二版』を参考にした。

第二に、上述の過程を経て得られた語彙を手作業で語種別に分類する過程を表 10 に示す。
なお、語種は和語・漢語・外来語・混種語の 4 種である。

表 10 手作業による語種分類の内容

	手作業で行った内容	基準・理由・注意事項	例
1)	固有名詞を削除	固有名詞の語種を特定しても日本語の授業に活かさないため	「大阪」→和語、「東京」→漢語 「神奈川」→混種語
2)	記号・アルファベットの語を外来語に種別	日本語由来の頭文字等の有無を確認	「%、km、NGO」→外来語
3)	かな表記の語を和語・外来語等に種別	『明鏡国語辞典 第二版』 『広辞苑 第六版』による	「すべて」→和語、「たくさん」→漢語 「たばこ、ゼロ」→外来語 「カラオケ、プレーする」→混種語
4)	かな交じりの語を和語・混種語等に種別	『明鏡国語辞典 第二版』、 『広辞苑 第六版』、 『新漢語林 第二版』による	「白い、切れ目」→和語 「親せき」→漢語 「気持ち、準じる」→混種語
5)	漢字表記の語を和語・漢語・混種語等に種別	『明鏡国語辞典 第二版』、 『広辞苑 第六版』、 『新漢語林 第二版』による	「犬、水際」→和語 「僕、現在」→漢語 「地元 ²⁸ ・頭文字」→混種語

表 10 の過程を経て、KH Coder によって分類した語彙は品詞と語種の属性別に分けられた。
その語彙を語種別に計量、さらにそれぞれの語種の中で品詞別に計量する。

第三に、第一・第二の段階を経て得られた語彙を難易度別に分類する手続きを記す。

- 1) 「リーディング・チュウ太」により級を分類する。
- 2) 「リーディング・チュウ太」の分類結果に、修正を加える。
- 3) 得られた語彙を計量する。

なお、上記 2) では手作業により修正を加えた。そのため、表 11 に手作業で変更をした内容を示す。

表 11 手作業による難易度分類の内容

手作業で行った内容	基準・注意事項	例
固有名詞・補助動詞を削除	a. 固有名詞であるかを確認 b. 出題基準に記載がある語彙は残す	a. 「米」→米国かコメか b. 「日本」「アフリカ」
分割された語彙の修正	一つの語彙が文字ごとに級分類された場合	「考/える(級外/1 級)」 →「考える(3 級)」

²⁸ 「荷台」「赤字」等の湯桶読み、「地元」「新型」等の重箱読みの語は『新・はじめての日本語教育 基本用語辞典』(2004) にならい、混種語に分類した。

手作業で行った内容	基準・注意事項	例
同音異字語を一部別集計	複数の級の間にまたがる場合	「逢う(会う)」→4 級 「遭う」→2 級
連語を一部、語と認定	出題基準で語として扱われている場合	「気を付ける」1 語 「付ける」1 語
多義語を一部別集計	出題基準で意味ごとに級が異なる場合 異なり語数は初出の級レベルのみ 1 語 延べ語数はそれぞれの級での出現数	「できる(英語ができる)」→4 級 「できる(銀行ができる)」→3 級
派生語の級の調整	語基と接辞がそれぞれ出題基準にあれば 高い一方の級に属す語と認定 一方しか出題基準になければ、級外語彙	「放射+性(1 級/2 級)」→1 級 「准+教授(級外/2 級)」→級外
複合語の級の調整	複合語が出題基準にない場合、それぞれの 語基が出題基準にあっても級外語彙	「取り除く(1 級)」→1 級 「取り+持つ(4 級/4 級)」→級外
分類された級の確認	実際の級とは別の級に分類された語	「間(あいだ)」2 級→3 級

第四に、高頻度語彙を抽出し、意味分野を特定する過程について示す。

- 1) 第一作業で得られたやさしい日本語ニュースの語彙を Excel で高頻度順に並べ替える。
- 2) 上位 100 語・300 語・600 語を含む頻度の語彙で区切る。
(各分類の最低使用回数は 31 回・12 回・6 回)
- 3) 2) で得られた語彙の構成を品詞・語種・難易度で分類する。
- 4) 2) で得られた語彙の意味分野を『角川類語新辞典』(2012) で文脈に基づき確認する。
- 5) 多数の語が含まれる意味分野を特定する。
- 6) 4) で得られた結果のうち、難易度が高い語彙の意味分野を確認する。
- 7) 難易度の高い語が多数含まれる意味分野を特定する。

以上、調査の手続きについて述べた。第二章・第三章ではこうした手続きを経て得られた調査結果を記し、また結果に対し考察を加える。

第二章 やさしい日本語ニュースと一般ニュースの語彙特徴

NHK のやさしい日本語ニュース NHK NEWS WEB EASY とその元の一般ニュース NHK NEWS WEB を使ってニュースの特徴をみるための調査を行った。その際に KH Coder を使用して付属語・拘束形態素・記号等を除く自立語を抽出した。KH Coder で初めに抽出した記号・付属語等すべてを含む延べ語数と異なり語数、第一章「4.3.調査の手続き」で示した手作業を経て考察に使用する自立語の延べ語数・異なり語数は表 12 に示すとおりである。

表 12 KH Coder 分析結果と手作業後の延べ語数・異なり語数（語）

	一般ニュース		やさしい日本語ニュース	
	KH Coder	手作業後	KH Coder	手作業後
延べ語数	84,495	38,736	44,014	18,153
異なり語数	6,959	6,413	3,467	2,584

表 12 に示したとおり、やさしい日本語ニュース・一般ニュースともに、手作業により延べ語数・異なり語数が大きく変化した。なお、やさしい日本語ニュースでは異なり語数が約 3,500 語から 2,600 語に 900 語近く数が減っているのに対し、一般ニュースでは約 7,000 語から約 6,400 語に 600 語程度しか数が減っていない。これは、語彙の計量をやさしい日本語ニュースから順に行っており、やさしい日本語ニュースの手作業による語彙認定で把握できた複合語等を一般ニュースの計量に反映させ、あらかじめ強制抽出語に指定したことから、一般ニュースでは一つの語が複数語に分割される例が比較的少なかったためである。次に、図 7 に手作業後に得られたやさしい日本語ニュースと一般ニュースの延べ語数・異なり語数の分量を示す。

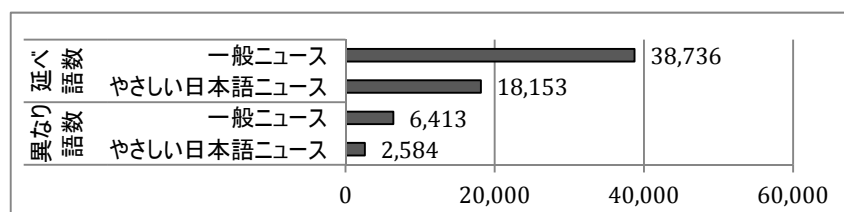


図 7 調査対象とする自立語（延べ語数・異なり語数）

図 7 に示したように、やさしい日本語ニュースと一般ニュースを比較すると、やさしい日本語ニュースは一般ニュースより延べ語数では約 53%、異なり語数では約 60% 使用された語彙が少なく、元の一般ニュースからやさしい日本語ニュースへの書き換えにより大幅な語彙量の削減がみられた。ただし、延べ語数と異なり語数の語彙の削減率に差があることからわかるように、やさしい日本語ニュースで使用された語 1 語あたりの平均使用回数は一般ニュースで使用された 1 語あたりの平均使用回数よりも多かった。表 13 にやさしい日本語ニュース・一般ニュースそれぞれの 1 語あたりの平均使用回数を示す。

表 13 1 語の平均使用回数（回）

	一般ニュース	やさしい日本語ニュース
延べ語数/異なり語数	約 6.0 回	約 7.0 回

表 13 に示したとおり、一般ニュースでは 1 語の平均使用回数が約 6 回だったのに対し、やさしい日本語ニュースでは約 7 回に増えており、一つの語が繰り返し使われた結果、異なり

語数が抑えられることとなっていた。ここで、一つの語が繰り返し使われた例として、動詞「始める」について述べる。「始める」はやさしい日本語ニュースでは43回、一般ニュースでは37回使用された語で、回数の面で大差はない。しかし、使用頻度の高い語から順に並べた場合、やさしい日本語ニュースでは上位58番目、一般ニュースでは上位189番目に位置する語であり、大きな違いがある。実際に使用されたニュース文をみると、やさしい日本語ニュースと一般ニュースの同じ箇所を表すのに使用された「始める」は(2)(3)に示すようなものが17例、一般ニュースでは「始める」を使っていなかった箇所で、やさしい日本語ニュースで「始める」が使われた例は(4)(5)に示すようなものが26例、一般ニュースで「始める」が使われていた前後の日本語がやさしい日本語ニュースで省略されていた例は20例あった。

- (2) a. ロシア軍は、北方領土の択捉島と国後島で軍事演習を始めたことを明らかにし、（後略）。（般: 156）
- b. ロシア軍は12日から、北方領土の択捉島と国後島で訓練を始めました。（や: 156）
- (3) a. 最近の医療用の機器は電波の影響を受けにくいものが増えてきたうえ、携帯電話が発する電波も以前より弱くなっていることから、多くの病院では携帯電話の使用を認め始めています。（般: 48）
- b. 携帯電話から出る電波も前より弱くなるなどしているため、使ってもいいことにする病院も増え始めています。（や: 48）
- (4) a. 子どもたちは「トーマス」列車が力強く走り出すと、（後略）。（般: 47）
- b. 子どもたちは機関車が走り始めると、大きな声を出して喜んで、（後略）。（や: 47）
- (5) a. 日本やアメリカなどが共同で進めている世界最大の望遠鏡の建設開始が、日本時間の29日、正式に発表され、ことし10月にアメリカ・ハワイ島の標高4000メートルの山頂で起工式が行われることになりました。（般: 98）
- b. 世界でいちばん大きくて、直径が30mの望遠鏡をつくる計画が進んでいます。望遠鏡は、アメリカのハワイ島にある高さ4000mの山の頂上につくります。ことし10月に工事を始めることが決まりました。（や: 98）

つまり、やさしい日本語ニュース・一般ニュースで同じ内容について書かれている文脈では、両方のニュースで使用される「始める」とやさしい日本語ニュースでのみ使用される「始める」の2種類しかない。そして、そうした文脈で使用された「始める」対応箇所はそれぞれのニュースで43か所あり、やさしい日本語ニュースでは43か所中43か所で「始める」が使用されている。一方、一般ニュースでは43か所中17か所で「始める」が使用され、残りの26か所では「開始する」「設置する」「行動に出る」「乗り出す」「初の」「環境整備に当たる」「先を争って」等19種類の語や表現、「始める」と合わせて43か所に20種類の表現が使用されており、1語あたりの平均使用回数はやさしい日本語ニュースのほうが多い。た

だし、一般ニュースに限って「始める」が使用された文脈もある。しかし、そうした「始める」を含む前後の箇所はやさしい日本語ニュースでは省略されていたため、一般ニュースの「始める」に該当する「始める」以外の語や表現は存在しない。そのため、やさしい日本語ニュース・一般ニュースの「始める」対応箇所はやさしい日本語ニュースでは43か所で1種類の語が使用され、一般ニュースでは63か所で20種類の語が使用されていたことになる²⁹。ただし、一般ニュースで使用されている「設置する」や「乗り出す」といった語がやさしい日本語ニュースの「始める」対応箇所以外でも使用されている例は(6)に示すように存在する。

- (6) a. パリで3年ぶりとなる演奏会に臨み、スイスにみずから設置した音楽塾、スイス国際音楽アカデミーの若手の弦楽奏者25人と共に、バッハの協奏曲とバルトークの「ディベルティメント」の2曲を披露しました。(般:7)
- b. 小澤さんは1日、フランスのパリでコンサートを開きました。病気で休んだあと、パリで指揮をするのは初めてです。コンサートでは、小澤さんがスイスに作った音楽学校の25人がバッハとバルトークの曲を弾きました。(や:7)

しかし、「始める」1語に対し20種類の元の語や表現があように、(6) bで使用された「設置する」の書き換えられた語である「作る」についても、「設置する」に限らずさまざまな語や表現から書き換えられたものである。このように、元の一般ニュースでいろいろな語や表現が使用されていても、同じ文脈を書き換えているやさしい日本語ニュースでは同一の語が多用されることも少なくなく、表13に示したように、やさしい日本語ニュースと一般ニュースを比較すると、やさしい日本語ニュースのほうが1語あたりの平均使用回数が多いという結果になった。

また、異なり語数でニュースの語について考えた場合、対象としたやさしい日本語ニュースで使用された自立語は2,584語であり、その2,584語を知っていればその期間のやさしい日本語ニュースは問題なく読めるということになる。一概に語数のみでの比較できないが、語を数の面に限って出題基準と比べた場合、出題基準では3級の語が1,500語、2級の語が6,000語とされており、やさしい日本語ニュースで使用された語の異なり語数は3級の語よりおよそ1,000語多く、2級の語の40%程度である。また、やさしい日本語ニュースの2,584語

²⁹ 表9「KH Coder分析過程の手作業による置き換えの内容」に示したとおり、本稿では語の認定は基本的に『明鏡国語辞典 第二版』に従っている。そのため、「増え始める」のような文字列は「増える」と「始める」の2語と数えている。ただし、こうした語を複合語として認めた場合、(3) (4)の例にも示したように使用例は多く、やさしい日本語ニュースでは「飛び始める」「使い始める」「咲き始める」「滑り始める」「建て始める」「つくり始める」「走り始める」「増え始める」「調べ始める」「運び始める」「投げ始める」の異なり語数11語、延べ語数16語、一般ニュースでは「横切り始める」「認め始める」「増え始める」「取り始める」「冷え込み始める」「働き始める」の異なり語数6語、延べ語数7語が使用されていた。

の中には 614 語の固有名詞が含まれるため、固有名詞を除くと語数は 1,970 語であり、さらに 3 級の語数に近づく。表 14 に示すのは、出題基準、日本語初級教科書『みんなの日本語』全 50 課、『あきこと友だち』全 30 課で提出される語³⁰との語数の比較である。

表 14 やさしい日本語ニュース・旧日本語能力試験・初級教科書の語彙量

	やさしい日本語 ニュース	3 級	『みんなの日本語』	『あきこと友だち』
異なり語数	1,970	1,500	1,844	1,761

表 14 に示したように、異なり語数をみた場合、NHK のやさしい日本語ニュースで使用された語数は初級教科書や 3 級と比べ、最も多い。しかし、2 冊の初級教科書を中心にやさしい日本語ニュースと 3 級の語を比べた場合、やさしい日本語ニュースとの差が 126-209 語、初級修了レベルとされる 3 級との差が 261-344 語であり、初級教科書との語彙量の開きはやさしい日本語ニュースのほうが小さい。こうした実態からすれば、やさしい日本語ニュースで使用された語は数の面では初級から大きくかけ離れてはいるとは言えない。しかし、ニュースや初級教科書で使用されている語をみると、それぞれに含まれている語は異なる。例えば、4 級の語「ゆうべ」は『みんなの日本語』においても『あきこと友だち』においてもそれぞれ (7) に示すような使用例があるが、今回対象としたやさしい日本語ニュースでは 1 度も使用されていなかった。

- (7) a. ゆうべは ^ね寝ないで、サッカーの ^{しあい}試合を ^み見ました。(『みんなの日本語』初級 2: 72)
 b. ゆうべの 日本の ドラマは よかったです。(『あきこと友だち』2: 121)

こうした「ゆうべ」のように初級教科書で提出されていながらニュース文で使用例がなかった語は少数ではなく、4 級語彙のわずか 800 語の中にも「喫茶店」「向こう」「汚い」等、数多く存在する。また、田中他 (2013a) は、NHK NEWS WEB EASY の公開実験では基本的に 3-4 級の語彙で書き換えることを原則としたものの、1,600 語³¹の多くは日常生活で使う単語であり、ニュースに出てくる単語はかなり不足していると述べており、その例として「接待、公共事業、補正予算案、お内裏様」(同: 22) の例を挙げている。

こうした実態から、数の面だけではやさしい日本語ニュースの語彙の特徴は捉えられないと考えられる。そのため、本節ではやさしい日本語ニュースがこういった語彙群で構成されているのか、その語彙特徴を明らかにすることを目的に、一般ニュースで使用された語彙と品詞・語種・難易度の観点から比較する。

³⁰ 『みんなの日本語 初級Ⅱ 第 2 版 本冊』、『あきこと友だち』第 6 冊のそれぞれの索引に掲載されている語数。

³¹ 出題基準の語彙にあいさつ語等表現を加えた数だと思われる。

1. 品詞別の特徴

本節では、やさしい日本語ニュースと一般ニュースについて、品詞の観点からその語彙特徴を明らかにしていく。品詞分類は原則として『日本語文法がわかる事典』（2005）に従ったが、日本語教育文法では「～な」の形をとる「きれいな」のような語は形容動詞ではなく形容詞に分類することが一般的³²であるため、形容動詞の項目は設けず形容詞に含めた。また、「わたし」「それ」のような語は同事典と同様、代名詞のカテゴリーは設けず、名詞に分類した。感動詞についても同事典の分類³³に従い、呼びかけや挨拶に用いられる「もしもし」「おはよう」のようなものも表現ではなく語として扱った。やさしい日本語ニュースと一般ニュースから得られた自立語の品詞別の語数を表 15 に示す。

表 15 品詞別使用数（語）

		名詞	動詞	形容詞	副詞	連体詞	接続詞	感動詞
延べ語数	一般ニュース	26,184	10,043	1,260	612	364	271	2
	やさしい日本語ニュース	10,533	5,824	822	546	283	142	3
異なり語数	一般ニュース	4,621	1,353	266	143	13	16	1
	やさしい日本語ニュース	1,955	441	115	61	5	5	2

表 15 に示したとおり、NHK ニュース全体で使われていた自立語の品詞は延べ語数でみた場合、名詞、動詞、形容詞、副詞、連体詞、接続詞、感動詞の順に多かった。ただし、異なり語数はやさしい日本語ニュース・一般ニュースともにわずかではあるが連体詞・接続詞・感動詞で延べ語数とは多少の順位に違いがみられた。ここで、具体的なニュース例として、やさしい日本語ニュースで最も文字数が少ないニュース全文を(8)に取り上げる。なお、(8)の1行目はニュースタイトルである。

(8) 徳島県徳島市で「阿波おどり」が始まる

徳島県徳島市の夏の祭り「阿波おどり」が12日から始まりました。浴衣やはっぴを着た

「連」という踊りのグループが、夕方から6つの会場で踊りました。男性は体を低くして力強く踊ります。女性は手を高くあげて優しく踊ります。ことしは台風で祭りの準備が遅れましたが、前の日に急いで作業を行って間に合いました。愛知県から来た男性は「初めて踊りを見ましたがすごいですね」と話していました。徳島市の「阿波おどり」は15日までです。

(や: 149)

³² 初級教科書『みんなの日本語』『あきこと友だち』ではいずれも形容詞として扱われている。

³³ 「(ア) 感情の動きをそのままに表すもの」「(イ) 呼びかけや挨拶に用いられるもの」「(ウ) 応答に用いられるもの」(『日本語文法がわかる事典』2005: 75)

(8)に示したニュースで使用された自立語は名詞・動詞・形容詞・副詞の4種類であり、名詞から順に延べ語数は38語・16語・5語・1語で、異なり語数は25語・13語・5語・1語である。このように、具体的なニュースを1本取り上げてみても、名詞が最も多く、次いで動詞、形容詞、副詞の順に多いというのはニュース211本の合計と違いがない。しかし、品詞別の数の多少について、田中・美濃（2010）の研究では対象とされた12の形態素の異なり語数は名詞、動詞、副詞、形容詞、助詞、接頭詞、記号、接続詞、連体詞、助動詞、感動詞、その他の順で多いとの結果が出ていたが、本稿の調査では形容詞と副詞の順序が田中・美濃（2010）の結果と入れ替わっていた。本調査では異なり語数で形容詞は副詞の2倍近く多く使われており、その数は容易には使用順位が入れ替わらないと思われるほどに開きがある。

こうした違いが生じた要因としては田中・美濃（2010）の使用したニュースが公開実験以前の「実験」としての試みで、現行のニュース文とは異なり原文の省略等を行っていなかったこと、書き換えが日本語教育非経験者によって行われたこと、災害ニュースのみを扱っていたこと等が考えられるものの、正確な要因は不明である。しかし、こうした語彙使用の違いから、現行の本格公開に至っているやさしい日本語ニュース文と公開実験以前に書かれたやさしい日本語ニュース文とでは使用されている日本語の性質が異なっているということがわかる。ただし、当然ながら本稿の調査は田中・美濃（2010）との共通点も多く観察された。図8は、表15の品詞別語彙量をグラフに示したものである。

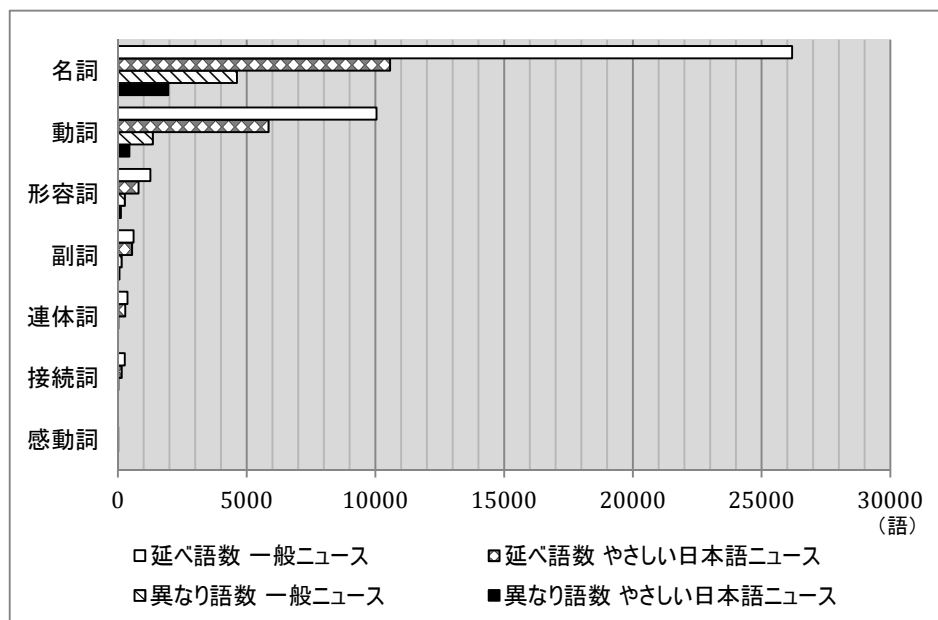


図8 品詞別語彙量

図8に示したように、本稿の調査は田中・美濃（2010）の結果と同様、名詞がほかの品詞と比べて極めて多く使用されていた。また、動詞は名詞より出現数は少ないものの、比較的多く使用されていた。一方、形容詞以下、副詞・連体詞・接続詞・感動詞の5種の品詞は名詞や動詞と比べると格段に使用数が少なかった。

以上、NHKのやさしい日本語ニュース・一般ニュースの語彙量を品詞面でみた結果、名詞の使用が際立って多いことがわかった。次に、一般ニュースからやさしい日本語ニュースへの書き換えによる語彙量の変化をみる。

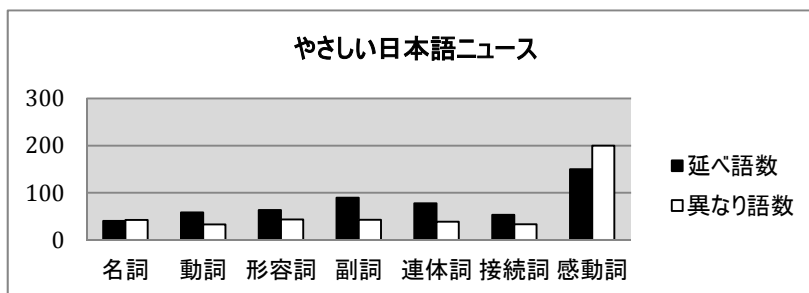


図9 書き換えによる品詞別語彙量の変化（一般ニュース語彙を100とした場合）

図9に示したのは一般ニュースの延べ語数・異なり語数をそれぞれ100と換算した場合のやさしい日本語ニュースで使われる語彙量の変化である。感動詞を除く6種の品詞では、一般ニュースと比べると異なり語数の使用率が延べ語数の使用率よりも低く、概ね40%以下である。特に動詞や連体詞ではそれぞれ使用率が30%、25%程度と低く、一般ニュースの異なり語数の3分の1、あるいは4分の1で書き換えが行われていた。なお、図7にも示したとおりやさしい日本語ニュースで使用されたすべての品詞を合計した語彙の異なり語数は一般ニュースの約40%であり、動詞よりもその使用率は高い。

動詞がほかの品詞の語よりも書き換えにより使用率を大きく下げた原因を「作る」を例に説明する。「作る」は一般ニュースでは34回、やさしい日本語ニュースでは約3倍の105回使用された動詞である。(9)aに示すのは一般ニュース文の例だが、その中に「作る」は1度も使われていない。しかし、(9)aにおいて下線をつけた箇所は(9)bに示すやさしい日本語ニュース対応箇所ではすべて「作る」に置き換えられていた。

- (9) a. 東京都は、各地で①準備を進める参考にしてもらおうと、自治体などで②すでに始まっている多言語対応の取り組みを紹介するサイトを③開設しました。このなかでは、静岡県などが富士山の登山で安全を呼びかけるため、英語や韓国語など3か国語のパンフレットを④作成したことや、東京・三鷹市のNPOが観光地図に特殊なペンで触れると英語や中国語など4か国語の音声で案内情報を知らせてくれる仕組みを⑤導入していることなど、およそ70件の取り組みが紹介されています。（般: 165）
- b. 東京都は、いろいろな県や市などが①作った外国語の看板などを紹介するウェブサイトを②作りしました。これから③作ろうとしている区や市などに参考にしてもらおうと考えました。静岡県は、富士山に安全に登ってもらうために、英語や韓国語など3つの外国語で書いたパンフレットを④作りしました。また、東京の三鷹市のNPOは、特別なペンで触ると英語や中国語など4つの外国語で説明する地図を⑤作りしました。（や: 165）

こうした「作る」のように、さまざまな動詞の書き換え語として使用された難易度の低い動詞は多い。そして、ほかの品詞では動詞ほどいろいろな語の書き換えに使用できる難易度の低い語が数多く存在する品詞はなかった。このため、動詞の異なり語数は一般ニュースと比較した場合、やさしい日本語ニュース全体の異なり語数よりもその使用率が小さくなっていった。

さらに、図9において目を引くのは感動詞が100%を超えている点である。ほかの6種類の品詞が副詞と連体詞の延べ語数を除けば50%前後であるのに対し、感動詞は延べ語数・異なり語数ともに一般ニュースを大きく上回っている。表15で示したように感動詞の延べ語数は2-3語、異なり語数は1-2語で非常に限られた数であるとはいえ、このように使用された語数が書き換えにより一般ニュースよりも増加するというのはほかの品詞にはみられない傾向であった。なお、やさしい日本語ニュース・一般ニュースで異なり語数1語、延べ語数2語使用された語は「わっしょい」であり、やさしい日本語でのみ使用された語は(10)に示す「ありがとう」である。

- (10) a. ネイマール選手は「(中略) 僕のために書いてくれたメッセージなどすべての応援と愛情に感謝したい」と心境を話しました。(般: 24)
- b. ネイマール選手は「(中略) 皆さんからの応援と愛情、ありがとうございます」と話しました。(や: 24)

一般ニュース(10) aで「感謝する」という動詞が使用されていた箇所に、やさしい日本語ニュース(10) bでは「ありがとう」が使用されていた。感動詞には上述の「わっしょい」のように3-4級を超える語も多い。しかし、(10)に示した「ありがとう」のように難易度が低い語もあり、やさしい日本語への書き換えではこうした(10)の例のように、ほかの品詞に代わって使用されうる感動詞もあることがわかった。

また、延べ語数と異なり語数の使用語彙の変化率の差が大きい品詞として、副詞と連体詞が挙げられる。この2種類の品詞では一つの語が繰り返し使われる比率がほかの品詞と比べ、格段に高い。そのうちやさしい日本語ニュースでは副詞の異なり語数は一般ニュースの50%を下回ってはいるものの延べ語数では一般ニュースの90%程度であり、高い比率で使用されていた。やさしい日本語ニュースで使用されたすべての品詞を合計した語彙の延べ語数を一般ニュースの延べ語数と比べると、50%以下である。それにもかかわらずやさしい日本語ニュースで使用された副詞が、延べ語数にして一般ニュースの90%程度の値を示すのは、一般ニュースでは副詞が用いられていない箇所でやさしい日本語ニュースでは副詞が使用される場合があったためである。その例として(11)(12)に「約」が使用された文脈を挙げる。

- (11) a. 日本ハムはハムやソーセージ、レトルト食品など、合わせて284品目を、伊藤ハムは230品目を対象に値上げや実質的な値上げを行い、上げ幅は平均で10%程度になるということです。(般:3)
- b. 日本ハムと伊藤ハムは200以上の品物の値段を平均で約10%上げます。(や:3)
- (12) a. ひょうは、およそ3分間、集中的に降ったということです。(般:5)
- b. 一部の場所で約3分の間、ひょう(=小さな氷の塊)が強く降りました。(や:5)

(11)(12) a の一般ニュース文ではそれぞれ「程度」「およそ」という名詞が使用されていた箇所がやさしい日本語ニュースでは(11)(12) b に示したように副詞「約」に書き換えられていた。なお、「約」はやさしい日本語ニュースでは122回使用されていたのに対し、一般ニュースでの使用はわずか2回に限られた。また、一般ニュースでの2回の使用はいずれも(13)(14) a に示すようにニュースタイトルでの使用であり、ニュース本文では全く使用されていなかった。

- (13) a. 西之島 面積が噴火前の約6倍に(般:87)
- b. 西之島 噴火が続いて6倍の大きさになる(や:87)
- (14) a. 英語教育強化へ指導助手約100人採用(般:138)
- b. 外国人の新しい英語の先生100人が東京の高校で教える(や:138)

副詞とは反対に名詞ではわずかながら異なり語数の使用率が延べ語数の使用率を上回っていた。これは書き換えにより語彙量が減った6種類の品詞のうち、名詞に限ってみられた特徴である。ただし、こうした結果が招かれたのは名詞の異なり語数が特別多いためではない。むしろ名詞の異なり語数の減少率はほかの品詞と大差はなく、延べ語数の減少率が7種の品詞で最も大きいことからこうした結果が生じていた。(15)に示すのは同じ内容について述べているやさしい日本語ニュース・一般ニュース文である。

- (15) a. (前略) ①車の②安全 ③性能を高める④ために、⑤最新の⑥無線 ⑦通信の⑧技術を使った⑨車や⑩道路の⑪安全 ⑫システムの⑬研究 ⑭開発が活発に進められています。(般:166)
- b. (前略) ①交通 ②安全の③ために④無線を使った⑤車や⑥道路の⑦安全 ⑧システムを開発しています。(般:166)

(15)に示した文はほかの品詞と比べ名詞が圧倒的に多いが、ニュース文の中から特に名詞が多い文を提示したのではなく、ごく標準的な文である。(15)の名詞をみた場合、一般ニュース(15) a には14語、書き換えられたやさしい日本語ニュース(15) b には8語の名詞が使用されており、書き換えにより名詞の延べ語数は60%弱になっている。(15) a で「最新の無線通

信の技術を使った車」が(15) bでは「無線を使った車」に置き換えられ、「車」に掛かる修飾成分が減らされているが、ニュース全体の意味を把握する上では、(15) bの文でも差し支えない。このように、やさしい日本語ニュースへの書き換えにおいては、段落や文章全体を省略する例ばかりではなく、名詞を中心にあってもなくてもニュース文理解に支障がないと思われる箇所も削られる傾向にあった。こうしたことから、名詞の延べ語数はほかの品詞と比べた場合、減少率が大きくなっていた。

一方、(15)の文で動詞の使用数をみると、(15) aでは「高める、使う、進める」の3語、(15) bでは「使う、開発する」の2語使用されており、名詞ほどには語数の減少がみられなかった。続いて、図10にニュースで使用された品詞別の語彙の構成を示す。

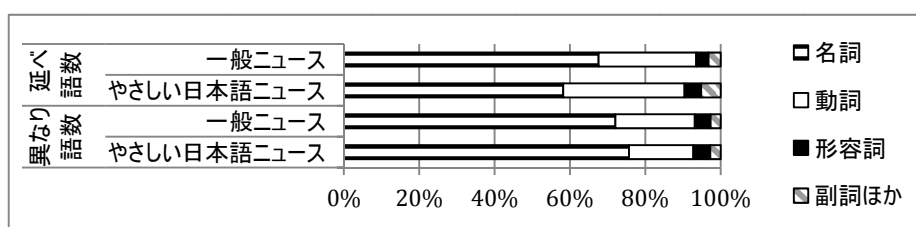


図10 語彙の構成 (品詞)

やさしい日本語ニュースで使用された自立語の全品詞に占める名詞の比率は、図10に示したように延べ語数・異なり語数を比べると、延べ語数のほうが20%近く少ない。こうした名詞の構成は、延べ語数の比率が異なり語数の1.5-2倍程度の動詞の構成とは大きく異なる。一般ニュースではやさしい日本語ニュースほどには名詞と動詞の使用率に大きな違いはないが、やさしい日本語ニュースと同様に延べ語数のほうが名詞の使用率が小さく、動詞の使用率が大きい。このことから、動詞は名詞と比較すると限られた範囲の語が繰り返し使われる一方で、名詞は1語が使用される頻度が動詞ほどには高くないとわかる。

実際、7種類の品詞で最も使用頻度が高かった語はやさしい日本語ニュース・一般ニュースともに補助動詞「いる」であり、やさしい日本語ニュースでは841回、一般ニュースでは1,373回使用されていた。なお、名詞で最多使用回数の語は、やさしい日本語ニュースでは「人(ひと)」で使用回数は317回、一般ニュースでは「こと」で使用回数は653回である。また、使用回数1回の動詞はやさしい日本語ニュース・一般ニュースでそれぞれ133語・542語、名詞はそれぞれ573語・1,314語である。こうした数値からも、動詞のほうが高い頻度で使用される語が多いことがわかる。以下、語彙量の多い名詞から順に品詞別のNHKニュースの語彙の構成をみる。

1.1. 名詞

まず、NHK のやさしい日本語ニュースと元の一般ニュースに含まれていた名詞の普通名詞、固有名詞の語数を表 16 に示す。

表 16 名詞の内訳（普通名詞・固有名詞（語））

		普通名詞	固有名詞	名詞全体
延べ語数	一般ニュース	22,534	3,650	26,184
	やさしい日本語ニュース	8,531	2,002	10,533
異なり語数	一般ニュース	3,536	1,085	4,621
	やさしい日本語ニュース	1,341	614	1,955

表 16 に示したとおり、やさしい日本語ニュース・一般ニュース、また延べ語数・異なり語数を問わず、普通名詞は固有名詞よりも数多く使用されていた。ニュースでは特定の一個人が行ったことから会社組織、地方自治、内閣、国際的な組織等の国内外で起きた出来事までさまざまな内容が報じているため、固有名詞が多く出現するとはいえ、当然ながら普通名詞を上回るほどには使われてはいなかった。特に延べ語数では普通名詞と固有名詞で使用割合に大きな差が出ており、固有名詞 1 語あたりの平均使用回数は普通名詞と比べ、少ないことがわかる。やさしい日本語ニュースの場合、固有名詞のニュース 1 本当たりの平均使用回数は延べ語数約 9.5 語、異なり語数約 2.9 語である。(16) に固有名詞が延べ語数 11 語、異なり語数 3 語使用されたニュースを例に取り上げる。

- (16) ブラジルで行っているサッカーのワールドカップの準決勝で、8 日、ブラジルとドイツが試合をしました。ドイツは、ゴールの前に速いパスをしたりして、前半に5 点、後半に2 点取って、7-1でブラジルに勝ちました。ドイツが決勝に進むことになりました。ドイツは2002 年にも決勝に進んでいます。ブラジルは夢だった自分の国での優勝ができなくなりました。この試合で、ドイツのクローゼ選手はワールドカップで16 点目のゴールをしました。クローゼ選手は、ワールドカップでゴールがいちばん³⁴多い選手になりました。（や: 32）

（下線部：普通名詞、斜体字：固有名詞）

(16) に示したやさしい日本語ニュースにおける固有名詞の延べ語数は、平均値を若干上回るものの、固有名詞の延べ語数・異なり語数が平均値に近いニュースである。このニュースでは固有名詞も多く用いられているが、普通名詞は固有名詞よりも約 2.5 倍多く用いられていた。続いて、図 11 にニュースで使用された普通名詞・固有名詞の構成を示す。

³⁴ 『明鏡国語辞典 第二版』では、序列が最高であるという意味の「一番」は名詞であるとされている。

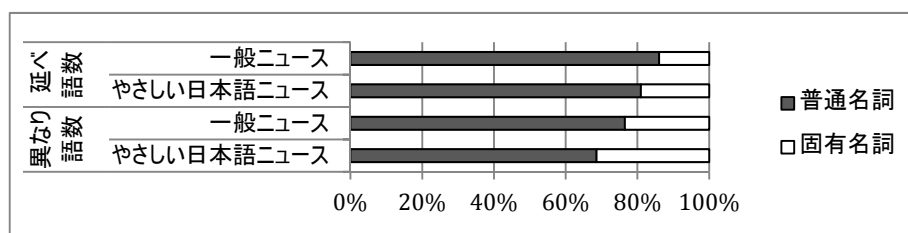


図 11 名詞の内訳 (普通名詞・固有名詞)

図 11 は表 16 に示したやさしい日本語ニュースと一般ニュースで使われた普通名詞・固有名詞の内訳を示したものである。やさしい日本語ニュース・一般ニュース、延べ語数・異なり語数のうち、一般ニュースの延べ語数、やさしい日本語ニュースの延べ語数、一般ニュースの異なり語数、やさしい日本語ニュースの異なり語数の順に固有名詞の使用率が小さかった。続いて、表 17 で名詞 1 語の普通名詞と固有名詞の平均使用回数の違いをみる。

表 17 名詞 1 語あたりの平均使用回数 (回)

	普通名詞	固有名詞	名詞全体
一般ニュース	6.4	3.4	5.7
やさしい日本語ニュース	6.4	3.3	5.4

表 17 に示したとおり、普通名詞と固有名詞を比べると普通名詞はやさしいニュース・一般ニュースともにどちらも 2 倍近い頻度で使用されていた。固有名詞の使用回数が平均 3 回強となったのは、1 本のニュースでしか使われなかった固有名詞でも、組織名や人名など 2-3 回繰り返し現れる語があったり「日本」や「東京」など非常に高い頻度で使われる語³⁵があったりしたことで、平均使用回数が押し上げられたためである。一方、普通名詞の平均使用回数は 6 回強である。ニュース 1 本あたりの文字数はやさしい日本語ニュースで約 340 字、一般ニュースで約 662 字で、やさしい日本語ニュースの場合、1 本のニュースに 3 回以上現れる語はそれぞれのニュースに 10 語未満であることが多い。そのため、普通名詞 1 語が平均して 6 回強使われているのであれば、多くの普通名詞は 1 本のニュースのみではなく複数のニュースの中で繰り返し使われた語であると考えられる。

また、ここで注目したいのは、やさしい日本語ニュースと一般ニュースではどちらも普通名詞・固有名詞 1 語あたりの平均使用回数にほぼ違いがみられないとはいえ、名詞全体でみた場合、やさしい日本語ニュースのほうが平均使用回数が少ない点である。前述のとおり、やさしい日本語ニュースでは限られた難易度の低い語彙でニュースを構成することを原則とし、表 13 「1 語の平均使用回数 (回)」に示したとおり、やさしい日本語ニュースと一般ニュースの自立語の 1 語の平均使用回数はそれぞれ約 7 回・約 6 回で、やさしい日本語ニュース

³⁵ 「日本」「東京」はやさしい日本語ニュースでは順に 131 回・90 回、一般ニュースでは順に 149 回・118 回使用されていた。

のほうが多い。そうしたことから、使用する語彙に制約のあるやさしい日本語ニュースよりも制約のない一般ニュースのほうが幅広い語を使える分1語あたりの使用回数が少なくなるという可能性が考えられるが、その反対の結果となった。

この結果については表 17 に示したように、やさしい日本語ニュースと一般ニュースで平均使用回数に違いがあるのは普通名詞ではなく固有名詞である。やさしい日本語ニュースへの書き換えではニュース文の長さを調整し、重複する内容を省略する目的でリード文が削られていた例が多かった。(17)(18)の a に示すのは一般ニュースのリード文の例で、それぞれ 5-6 語の固有名詞を含んでいるが、これらのリード文はやさしい日本語ニュースへの書き換えで完全に削除されていた。

- (17) a. J R 東日本は、羽田空港の利用客増加を見込んで検討していた空港と東京都心を結ぶ新しい鉄道路線について、空港と東京、新宿、新木場の3つの駅を結ぶ3路線で開業を目指すことを明らかにしました。(般: 176)
- b. (対応箇所なし) (や: 176)
- (18) a. ロシアの当局はアメリカの大手ハンバーガーチェーン、マクドナルドの一部の店舗について、衛生管理に問題があるとして営業停止の処分にし、ウクライナ情勢を巡るアメリカの制裁への対抗措置の一環ではないかと受け止められています。(般: 184)
- b. (対応箇所なし) (や: 184)

ただし、リード文に含まれた固有名詞はリード文に続くニュース本文では1回以上使用されている。そのため、リード文の削除は固有名詞の異なり語数減少にはつながっておらず、延べ語数のみを減らしていると言える。こうした固有名詞を多く含むリード文がやさしい日本語ニュースへの書き換えで削られたことが一因となり、やさしい日本語ニュースにおける固有名詞、ひいては名詞1語の平均使用回数を下げることにつながったと考えられる。

続いて、普通名詞・固有名詞それぞれの内訳をみる。先述のとおり、本調査では品詞分類の際、代名詞を名詞の中に含めている。しかし、森田(1991: 13)が代名詞は一般の普通名詞とは異なり、場面との関係性が強いと述べているように、代名詞は一般の名詞とは異なる一定の性質を兼ね備えている。そのため、ここでは普通名詞に含まれる代名詞を取り出し、その数と使用率を表 18 に示す。

表 18 普通名詞の内訳(代名詞・その他(語))

		普通名詞(除代名詞)		代名詞	
		語数	%	語数	%
延べ語数	一般ニュース	22,285	98.9	249	1.1
	やさしい日本語ニュース	8,461	99.2	70	0.8
異なり語数	一般ニュース	3,521	99.6	15	0.4
	やさしい日本語ニュース	1,331	99.3	10	0.7

ニュースの語彙の中で名詞、特に普通名詞の使用が際立って多いことは先述のとおりだが、その中で使われている代名詞は表 18 に示したとおり、やさしい日本語ニュース・一般ニュースの延べ語数・異なり語数ともに全体の 1% 前後である。「読む」形式のニュースの発信者は一人であり、発言の引用などを除き、人代名詞は使われない。また、明確に情報を伝える必要があることから、事物代名詞も避けられる傾向があると思われる。ここではどのような人代名詞や事物代名詞が使用されていたのか、順に例を挙げる。まず、(19) に人代名詞が使用された例を示す。

- (19) a. 「僕³⁶の夢はワールドカップの決勝を戦うことだった。でもそれはもうできない。(中略)」と涙をこらえながら笑顔でメッセージを伝えました。(般: 24)
- b. 「僕の夢はワールドカップの決勝に出ることでしたが、もうできません。(中略)」と泣かないようにしながらメッセージを伝えました。(や: 24)

(19) のような人代名詞には「僕」のほか、「私」「あなた」「誰」があったが、「誰」を除きすべて発言の引用文の中で使用されていた。次に、(20) b に事物代名詞が使用された例を示す。

- (20) a. 墜落についてウクライナのポロシェンコ大統領は、「テロリストが民間の旅客機を撃墜した」と述べ、親ロシア派の武装集団が撃墜したものだとして強く非難しました。(般: 66)
- b. ウクライナの政府は、飛行機が落ちたのは親ロシア派(=ロシアに考え方が近い人たち)のグループが撃つたためだと言いました。そして、これはテロだと言っています。(や: 66)

(20) b のような事物代名詞は具体物を差すのではなく、文脈指示として使用されていた。なお、(20) a はやさしい日本語ニュース文 (20) b 書き換え前の原文だが、(20) b とは異なり、事物代名詞は用いられていない。

続いて、固有名詞の内訳を表 19 で確認する。ここでは固有名詞を地名・組織名・人名・その他の 4 種に分類する。地名・組織名・人名を取り出して集計するのは、NHK NEWS WEB EASY では 3 種類の固有名詞に色をつけて表示する機能があり、固有名詞の種類をみるに当たって妥当な分類だと思われたためである。なお、ニュース文から得られた地名・組織名・人名を除く「その他の固有名詞」とは作品・祭り・川・公園などの名称で、それぞれ「風立ちぬ」「天神祭」「玄倉川」「汐吹公園」などの語が該当する。

³⁶ 対象としたニュースで「僕」という人代名詞が使用されたのは、外国人の発言が翻訳引用された場合に限られた。日本人の発話に出てこなかった「僕」という語が (19) の話者のような 20 代の男性の自称として訳出されていることを考えれば、「僕」が一種の差別語だとも言える。

表 19 固有名詞の内訳（語）

		地名	組織名	人名	その他
延べ語数	一般ニュース	1,909	750	599	392
	やさしい日本語ニュース	1,098	433	266	205
異なり語数	一般ニュース	382	259	314	130
	やさしい日本語ニュース	231	171	136	76

表 19 に示したように、固有名詞は一般ニュースの異なり語数を除き、地名、組織名、人名、その他の順に多い。特に地名の延べ語数ではやさしい日本語ニュース・一般ニュースでそれぞれ使用数が 1,000 語を超えており、際立った多さである。これは、どういった内容のニュースでも「どこで」という情報がほぼ漏れなく発信されている一方で、組織名や人名はメーカーやスポーツの話題などニュースの内容によってはどちらか片方しか用いられない場合も少なくないことが影響したと考えられる。そこで、地名等のそれぞれの固有名詞がニュース 1 本あたりにどの程度使用されているのか、表 20 に固有名詞の平均使用回数を示す。

表 20 ニュース 1 本あたりの固有名詞の平均使用語数（語）

	地名	組織名	人名	その他
一般ニュース	9.0	3.6	2.8	1.8
やさしい日本語ニュース	5.2	2.1	1.3	1.0

地名の使用回数が際立って多いことは先に述べたが、ニュース 1 本あたりで換算した場合、やさしい日本語ニュースでは約 5 回、一般ニュースでは約 9 回使用されていた。分量を限られたやさしい日本語ニュースでも平均して約 5 回も地名が使われていることから、どこに関するニュースなのかというように、「地名」はニュースの中では欠かさずに伝えられることが多いと思われる。しかし、実際には調査で使用したやさしい日本語ニュースの中には 1 語も地名を含まないニュースは「ハムやチョコレートなどの値段が上がる」（や: 3）、「会社の秘密の情報をコピーした容疑で男を逮捕」（や: 65）、「収入が少ない家庭 子どもの栄養のバランスが悪い可能性」（や: 187）等 24 本、比率にして 10% 強ありニュースでは地名が多く使われるものの、地名を含まないニュースもある程度存在している。

また、組織名はやさしい日本語ニュースでは平均約 2 回、人名は約 1.3 回使用されていた。組織名が平均 2 回ということは、同じ組織名を 2 回使う以外に、二つの組織が列挙される場合、ある組織の下位あるいは上位組織という形で情報が伝えられる場合など複数の使われ方が考えられる。人名が組織名の半数程度に抑えられているのは、何かの組織が行ったり起こしたりして報道されるに至った内容では (21) に示す例のように、その組織の誰がどうしたというのではなく、その組織が行ったり起こしたりした内容としてニュースが発信されているためだと考えられる。

- (21) a. 目の不自由な人のスマートフォンの利用を支援しようと、NTTは、従来より簡単に文字の入力ができるソフトを開発し、年内の実用化を目指すことにしています。（般: 192）
- b. NTTは、目に障害がある人のために、今までより簡単にスマートフォンに文字を入れることができるソフトウェアを作りました。（や: 192）

さらに、地名・組織名・人名と比べ、その他の固有名詞は出現数が少ないことから、ニュースで多く使用される固有名詞は、大きな区分として地名・組織名・人名の3種類が挙げられることがわかった。続いて、図12に固有名詞の構成を示す。

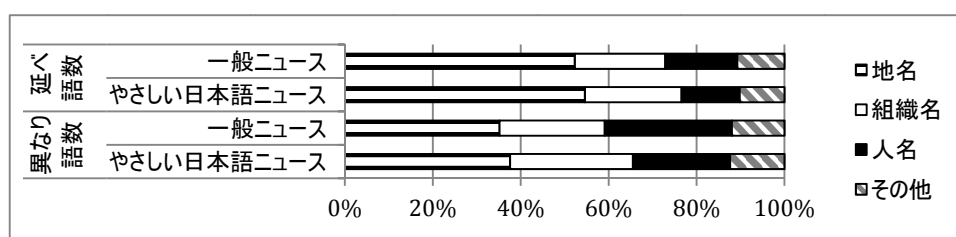


図12 固有名詞の内訳

固有名詞のうち、地名がほかの固有名詞と比べて多く使われていることは既述のとおりである。実際、図12に示したとおり、延べ語数では全体の固有名詞に占める地名の使用率は50%を上回っていた。しかし、地名の使用率は異なり語数ではやさしい日本語ニュース・一般ニュースともに40%を割り込んでいた。一方、延べ語数では比較的使用率の低かった人名の使用率が異なり語数では20%強と大きな比率を占めていた。つまり、表20にも示したように人名は地名と比べた場合、一語一語が高い頻度では使われていないということになる。ニュースは国内外のさまざまな地域で起きたさまざまな出来事が報道されるとはいえ、日本について言及したニュースが圧倒的に多い³⁷、というように話題に上りやすい地域が存在する。加えて、地名の多様性は国名や県名、市町村名で考えた場合、人名ほどの豊富さはない。そうした理由から異なり語数では地名の使用率が下がり、人名の使用率が上がったものと考えられる。

やさしい日本語ニュース・一般ニュースで使用回数が最も多い地名はどちらも「日本」で、それぞれ131回・149回使用されたのに対し、使用回数が最も多い人名はやさしい日本語ニュースでは「小保方」、一般ニュースでは「ジョコ」それぞれ13回で、「日本」の使用回数の10分の1以下である。ただし、使用回数1回の地名はやさしい日本語ニュース・一般ニュースでそれぞれ104語・163語、人名はそれぞれ90語・204語であり、使用回数1回の語はやさしい日本語ニュースでは地名、一般ニュースでは人名のほうが多かった。

³⁷ 「日本」はやさしい日本語ニュースでは使用頻度上位11位、一般ニュースでは12位である。

以上、NHK ニュースで使われた名詞をみた結果、普通名詞と固有名詞では普通名詞の使用率が高く、全体的にみれば普通名詞は固有名詞よりも頻繁に使われる傾向にあることがわかった。ただし、普通名詞のうち代名詞については使用がわずかであった。固有名詞は、地名、組織名、人名、その他の順に使用率が高かった。また、地名と人名では、地名のほうが高い頻度で使われる語があることがわかった。

1.2. 動詞

ここでは、名詞に次いで語数の多かった動詞について述べる。まず、表 21 にやさしい日本語ニュースと一般ニュースで使われた動詞の延べ語数と異なり語数を示す。

表 21 動詞使用数 (語)

	延べ語数	異なり語数
一般ニュース	10,043	1,353
やさしい日本語ニュース	5,824	441

表 21 に示したとおり、延べ語数はやさしい日本語ニュースで 6,000 語弱、一般ニュースで 10,000 語強使われていたため、やさしい日本語ニュースへの書き換えで動詞の延べ語数はおよそ 40% 減ったこととなる。全品詞でみた場合、延べ語数は本章冒頭で図 7 「調査対象とする自立語 (延べ語数・異なり語数)」に示したように半数以下となっていた。このように、動詞の延べ語数はほかの品詞と比べ、減少率が小さい。その要因として、(22) に示すように、やさしい日本語ニュースでは元の一般ニュースで使われていた難易度の高い名詞を説明する目的で動詞が使用される例が少なくなかったことが挙げられる。

(22) a. 進化の過程で恐竜にいつ羽毛が備わったのか (後略)。(般: 88)

b. 恐竜がいろいろな種類に分かれたあと、鳥に近い種類の恐竜の羽毛がいつ生えたか (後略)。(や: 88)

また、(23) に示すような、やさしい日本語ニュースと一般ニュースでのタイトルのつけ方の違いも存在する。(23) a に示すように、一般ニュースではタイトルが体言止め、あるいは助詞で終わっている例が非常に多く、(24) a のような発言の引用を除けば、一般ニュースでは動詞で終わっているタイトルは 16 例、全体のおよそ 8% しかない。一方、やさしい日本語ニュースでは動詞で終わっているタイトルは動詞の原形のものだけでも 128 例、およそ 60% に上る。このように、ニュースタイトルが動詞を使って書き換えられることが多かったことも、動詞の延べ語数の減少率がさほど大きくならなかった一因だと考えられる。

- (23) a. 所在不明の小・中学生 全国で397人 (般: 136)
 b. どこにいるかわからない小学生と中学生が397人もいる (や: 136)
- (24) a. 「脱法ハーブ 気持ちいいのでやった」 (般: 29)
 b. 「ハーブ」を吸ったあと運転した事故が何度も起きる (や: 29)

しかし、やさしい日本語ニュースの動詞の延べ語数が比較的に多いとはいえ、使用された割合は一般ニュースの6割程度である。また、動詞の延べ語数をやさしい日本語ニュース・一般ニュースのニュース文1文あたりでみた場合、大きな違いがあった。それぞれの211本のニュースで使用された文の数は第一章「4.1. 資料」の表8「資料の概要」に記したとおりそれぞれ1,695文、1,896文であり、文の数はやさしい日本語ニュース・一般ニュースの違いはさほどない。1文あたりに使われた動詞の延べ語数は以下の表22で示すとおりである。

表22 ニュース1文あたりの動詞の平均使用語数(語)

	一般ニュース	やさしい日本語ニュース
延べ語数/文の数	約5.3語	約3.5語

表22に示したとおり、やさしい日本語ニュース・一般ニュースともに平均的にみればニュース1文につき複数の動詞が含まれていた。ただしその数は異なり、1文あたりにはやさしい日本語ニュースで使用された動詞は一般ニュースの約3分の2である。やさしい日本語ニュースでは「やさしい日本語にするために、長文を分割」(田中他 2013a: 23)する必要が掲げられていることから、長文が分割され複文が減らされた結果、1文あたりの動詞の数が抑えられたと考えられる。(25)に動詞の数が減らされた例を示す。

- (25) a. シュトラウスは、アルプスの山々に①登り作曲のアイデアを②得て③いたと④言われることから、今回の会場は、そのうち高さ1800メートル以上の山の山頂が⑤選ばれ、会場にはヘリコプターを⑥使ってピアノが⑦運ばれました。(般: 174)
 b. シュトラウスはアルプスの山に①登りながら、曲のアイデアを②考えました。このため、会場は1800m以上の山の頂上に③して、ヘリコプターでピアノを④運びました。(や: 174)

やさしい日本語ニュース文(25)bでは、一般ニュース文(25)aで7語使われていた動詞が4語に減らされ、さらに2文に書き換えられていた。こうした(25)のような書き換えにより、やさしい日本語ニュースの1文あたりの動詞の延べ語数の平均が一般ニュースのおよそ3分の1程度になっていた。次に、やさしい日本語ニュース・一般ニュースそれぞれの延べ語数と異なり語数の使用語数の違いについて延べる。

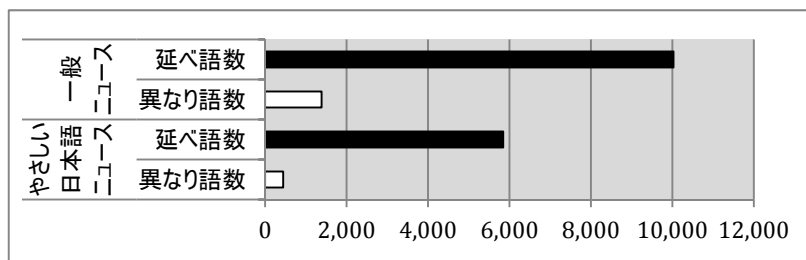


図 13 動詞の延べ語数・異なり語数の比較（語）

図 13 に示したのはやさしい日本語ニュース・一般ニュースの延べ語数・異なり語数の量的な違いで、やさしい日本語では約 13 倍、一般ニュースでは延べ語数は異なり語数の約 7 倍との結果が出た。これは、やさしい日本語ニュースでは平均約 13 回、一般ニュースでは動詞 1 語が平均約 7 回使われているという計算になる。つまり、どちらのニュースでも一つ一つの動詞が繰り返しいろいろな文脈で使われているということだが、やさしい日本語ニュースへの書き換えにより 1 語の動詞の使用回数が一般ニュースの 2 倍程度に増えており、やさしい日本語ニュースで使用される動詞は、名詞や一般ニュースで使用される動詞よりも高頻度で使用される語彙を特定することが容易だと考えられる。

実際、(9) に例示した「作る」では、一般ニュースでは多様な語や表現が用いられている文脈が「作る」という和語動詞にすべて置き換えられていた。このように、難易度の低い動詞で代用できる語がある場合には、そういった難易度が低い語が多用され、難易度の高い動詞等の使用が抑えられ、結果的に異なり語数が減らされることとなった。

- (9) a. 東京都は、各地で①準備を進める参考にしてもらおうと、自治体などで②すでに始まっている多言語対応の取り組みを紹介するサイトを③開設しました。このなかでは、静岡県などが富士山の登山で安全を呼びかけるため、英語や韓国語など 3 か国語のパンフレットを④作成したことや、東京・三鷹市の NPO が観光地図に特殊なペンで触れると英語や中国語など 4 か国語の音声で案内情報を知らせてくれる仕組みを⑤導入していることなど、およそ 70 件の取り組みが紹介されています。（般: 165）
- b. 東京都は、いろいろな県や市などが⑥作った外国語の看板などを紹介するウェブサイト⑦を作りました。これから⑧作ろうとしている区や市などに参考にしてもらおうと考えました。静岡県は、富士山に安全に登ってもらうために、英語や韓国語など 3 つの外国語で書いたパンフレットを⑨作りしました。また、東京の三鷹市の NPO は、特別なペンで触ると英語や中国語など 4 つの外国語で説明する地図を⑩作りしました。（や: 165）

続いて、動詞の下位分類をみる。はじめに、やさしい日本語ニュースと元の一般ニュースに含まれていた本動詞と補助動詞の内訳を表 23 に示す。

表 23 動詞の内訳（本動詞・補助動詞（語））

		本動詞	補助動詞	全体
延べ語数	一般ニュース	8,422	1,621	10,043
	やさしい日本語ニュース	4,830	994	5,824
異なり語数	一般ニュース	1,337	16	1,353
	やさしい日本語ニュース	428	13	441

表 23 に示したように、やさしい日本語ニュース・一般ニュースのいずれも、補助動詞は異なり語数ではごく少数であるものの、延べ語数では非常に多く使用されていた。(26) に示すのは、ニュース文における本動詞と補助動詞の使用例である。

- (26) a. 戦争の悲惨さや平和の尊さについて考えて **もらおう**と、広島に投下された原爆で犠牲になつた人たちの遺品などを集めた展示会が東京・調布市で始まりました。この展示会は、広島と長崎の原爆の日や終戦の日を迎える 8月に調布市が毎年開いています。会場の調布市文化会館には、広島に投下された原爆で犠牲になつた人たちの遺品などおよそ70点が展示されています。(般: 162)
- b. 東京の調布市は、戦争の悲惨さや平和の大切さについて考えて **もらおう**と、毎年8月に展示会を開いています。調布市文化会館には、広島に落とされた原爆で亡くなつた人たちが着ていた物など約70の展示があります。(や: 162)

(下線部：本動詞、**斜体字**：補助動詞)

やさしい日本語ニュース文(26) b では延べ語数で動詞9語中3語が補助動詞、一般ニュース文(26) a では動詞13語中3語が補助動詞であり、(26)の中で補助動詞はそれぞれ延べ語数で動詞の約33%、約23%を占める。表23に示したように、補助動詞はやさしい日本語ニュース・一般ニュースにおける延べ語数の約16-17%を占めているため、(26)は平均値よりも補助動詞がやや多い箇所ではあるが、こうした文においては補助動詞「いる」や「もらう」がなければ文が成り立たない。このように、補助動詞「いる」や「もらう」が不可欠とされる文も少なからずあり、延べ語数が非常に多くなっていた。

なお、やさしい日本語ニュースで使用された補助動詞13語は使用頻度が高い順に「いる」「くる」「いく」「もらう」「くださる」「なる」「しまう」「おく」「くれる」「あげる」「みる」「やる」「ござる」で、一般ニュースで使用された異なり語数16語の補助動詞は使用頻度が高い順に「いる」「いく」「くる」「おる」「もらう」「しまう」「ある」「くれる」「まいる」「いたす」「いただく」「みる」「やる」「おく」「くださる」「ござる」である。続いて、表24に本動詞と補助動詞1語あたりの平均使用回数を示す。

表 24 動詞 1 語あたりの平均使用回数 (回)

	本動詞	補助動詞	全体
一般ニュース	6.3	108.1	7.4
やさしい日本語ニュース	11.3	71.0	13.2

表 23 に示したとおり、全体数の上では本動詞の数が圧倒的に多い。そのため、本動詞の平均使用回数は全体の平均使用回数に近い。一方、補助動詞はやさしい日本語ニュース・一般ニュースではそれぞれ 100 回・70 回以上と全体の平均使用回数と比べ極めて多く用いられている。補助動詞は「動詞のうち、実質的意味を失い、前の語句に添えて補助的な意味を付け加えるもの」（『日本語文法がわかる事典』2005: 272）と定義されており、それ自体で独立した意味を持つわけではなく、異なり語数は少ない。それでも、(26) にも例示したように、ニュース文では非常に数多く用いられており、ニュース文を構成する上で欠くことのできない要素である。

次に、本動詞のうちサ行変格活用の動詞（サ変動詞）の使用数について述べる。サ変動詞は日本語教育では 3 グループの動詞などとして特別に扱われ、名詞に「する」をつけて動詞化された経緯から、「名詞+する」に還元できるなど本動詞の中でも特徴ある動詞である。表 25 に本動詞に占めるサ変動詞とその他の本動詞の内訳を示す。

表 25 本動詞の内訳（サ変動詞・その他（語））

		サ変動詞	その他	全体
延べ語数	一般ニュース	2,714	5,708	8,422
	やさしい日本語ニュース	786	4,044	4,830
異なり語数	一般ニュース	600	737	1,337
	やさしい日本語ニュース	127	301	428

表 25 に示したとおり、やさしい日本語ニュースと一般ニュースのサ変動詞の延べ語数を比べると、一般ニュースでは使用数が比較的多いが、やさしい日本語ニュースでは比較的少ない。そして、延べ語数に関して言えば、「する」の 1 語がサ変動詞全体の語数に占める割合は比較的大きい。表 25 に示したのはサ変動詞「する」も含んだ総数であったため、「する」を別集計した本動詞の内訳とその割合を図 14 に示す。

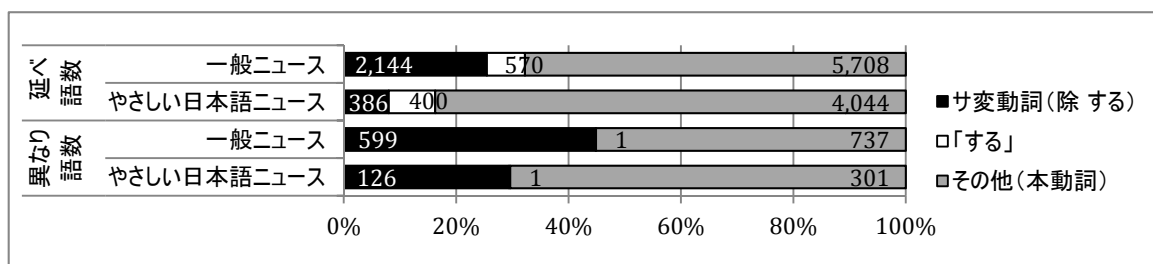


図 14 本動詞の内訳（サ変動詞・その他（語））

一般ニュースにおけるサ変動詞の使用は、延べ語数でみた場合表 25 に示したようにやさしい日本語ニュースと比べ際立って多いが、図 14 に示したように「する」を除くサ変動詞の使用率をみると、一般ニュースとやさしい日本語ニュースとではさらに差が開いている。やさしい日本語ニュースで使用されたサ変動詞の比率は一般ニュースで使用されたサ変動詞のおよそ 3 分の 1 である。これについて、一般ニュースで使用されたサ変動詞は「懸念する」「増水する」「開幕する」のように「漢字熟語＋する」の形がその大半を占め、サ変動詞の構成要素である漢字熟語は概念を表す語など難易度が高いものも少なくなかった。こうしたことから、やさしい日本語ニュースではサ変動詞の使用が限定的であったと考えられる。実際、(27) に示す「修正する／発生する」が「変える／起きる」に書き換えられた例のように、サ変動詞はサ変動詞以外の本動詞よりも難易度が高い語が多く、書き換えの対象とされた例が目立った。

- (27) a. このため気象庁はこれまでの予測を修正し、「この夏にエルニーニョ現象が発生する可能性は低くなった」と発表しました。(般: 43)
- b. このため、気象庁は 6 月の発表を変えて、「ことしの夏、エルニーニョ現象が起きる可能性は低くなった」と発表しました。(や: 43)

(27) で使用された「修正する／発生する」はそれぞれ 2 級／1 級の語であり、「変える／起きる」はそれぞれ 3 級／4 級の語であることから、この場合、サ変動詞を和語動詞に変えるということが語の難易度を下げることにつながっている。また、動詞 1 語対 1 語の書き換えばかりではなく、(28) に示すように一般ニュース (28) a で使用されていた 1 語の「上昇する」というサ変動詞をやさしい日本語ニュース (28) b では「高くなる」というほかの品詞や表現を使って書き換えが行われるような例もあった。

- (28) a. 東京都中央卸売市場での今月 1 2 日時点の野菜の卸売価格は、主な 1 4 品目のうち 9 品目で平年より上昇しています。(般: 160)
- b. 東京都中央卸売市場では、1 4 種類のうち 9 種類の野菜の値段が、いつもの年より高くなりました。(や: 160)

(28) に使用された「上昇する」「高い」はそれぞれ 1 級、4 級の語であり、書き換えることで語の難易度が下がっている。このようにサ変動詞の中には書き換えの対象とされた語も多かったことから、やさしい日本語ニュースにおいて、本動詞に占めるサ変動詞の比率は一般ニュースより低くなっていた。しかし、必ずしもすべてのサ変動詞が難しく、対する和語動詞が易しいわけではない。(29) に示すニュースタイトルのように、一般ニュース (29) a で使用されていた「訪れる」という和語の 1 級の語がやさしい日本語ニュース (29) b では「旅行する」

という4級のサ変混種語動詞に書き換えられた例や、一般ニュース(30)aで「懸念が強まる」という級外と1級の語彙を使用した表現がやさしい日本語ニュース(30)bでは「心配する」という3級のサ変動詞に書き換えられたように、サ変動詞以外の語や表現がサ変動詞に書き換えられることで難易度を下げるといった例も中にはみられた。

(29) a. 訪れたい都市 京都市が世界1位 (般: 16)

b. 旅行したい都市 京都市が世界で1番になる (や: 16)

(30) a. 地球温暖化による海面上昇がそのまま進めば津波などによって島が水没してしまうのではないかと懸念が強まっています。(般: 190)

b. このまま地球の気温が上がって海の水の高さが上がると、津波などがあつたときに島が海に沈んでしまうと心配しています。(や: 190)

しかし、数の上ではサ変動詞がサ変動詞以外の動詞に書き換えられたことで動詞の難易度が下がった例のほうが多い。ただし、やさしい日本語ニュースでもサ変動詞は800語近く使用されており、延べ語数4,830語の本動詞に占める使用数は決して少なくはないのは、「旅行する」「心配する」のように難易度の低いサ変動詞も一定数存在していることが一因にある。

一方、異なり語数でみると、一般ニュースではサ変動詞は本動詞全体の過半数に近い600語であり、多様なサ変動詞が使われている。また、やさしい日本語ニュースでも127語あり、一般ニュースの4分の1以下ではあるものの、やさしい日本語ニュースで使われた形容詞の異なり語数が115語であることと比較すれば、やさしい日本語ニュースにおいてもサ変動詞の使用数は比較的多いとも言える。このようにニュースでサ変動詞が多く用いられる理由として、上述のように難易度の低いサ変動詞が存在していることに加え、田中他(2013b)が例示した「接待する³⁸」のようにニュースの中で避けられない語が存在していることが関係していると考えられる。

以上、ニュースで使用された動詞についてみた。動詞では1語あたりの平均使用回数がやさしい日本語ニュースで約13回、一般ニュースで約7回であり、全品詞平均のそれぞれ約7回、約6回よりも多かった。また、ニュース1文あたりの動詞の使用語数はやさしい日本語ニュースで3.5語、一般ニュースで5.3語であり、やさしい日本語ニュースでは1文に使用される動詞の数が比較的小さいことがわかった。動詞の内訳では、本動詞と補助動詞を比べると、補助動詞は異なり語数ではわずかにもかかわらず延べ語数では比較的多く使われていた。やさしい日本語ニュースでもその使用率が高いことから実質的な意味を持たないとはいえ補助動詞はニュースにおいて欠かせない要素であると言える。さらに、本動詞の内訳としてサ変

³⁸ 「ニュースで使う『接待』という語はほとんど『(不法な)見返りを期待してごちそうする』という狭い意味で使われます。これを『接待』の基本的な意味を持つやさしい表現、『ごちそうする』で置き換えると意味が伝わりません」(田中他2013b: 36)

動詞を取り上げた。サ変動詞は、やさしい日本語ニュースの約 30%、一般ニュースの異なり語数の 40% 強を占めていた。延べ語数でみればそれぞれ使用率は減るものの、依然としてやさしい日本語ニュースでは約 15%、一般ニュースでは約 30%を占めていた。

1.3. 形容詞

本調査で対象としたニュースの自立語で、名詞、動詞に次いで多く使用された品詞は形容詞である。ここでは NHK のやさしい日本語ニュースと一般ニュースで使われた形容詞の構成について考える。なお、既述のとおり本調査では形容動詞も形容詞に含めて扱っており、以下形容動詞を「ナ形容詞」と記す。また、「大きい」「素早い」など辞書形が「～い」の形をとる形容詞は「イ形容詞」と記す。まず、やさしい日本語ニュースと一般ニュースで使われたイ形容詞とナ形容詞の延べ語数・異なり語数を表 26 に示す。

表 26 形容詞の内訳（イ形容詞・ナ形容詞（語））

		イ形容詞	ナ形容詞	全体
延べ語数	一般ニュース	691	569	1,260
	やさしい日本語ニュース	620	202	822
異なり語数	一般ニュース	100	166	266
	やさしい日本語ニュース	71	44	115

表 26 に示したように、使用された形容詞の数に注目すると、延べ語数ではやさしい日本語ニュース・一般ニュースともにイ形容詞の使用数はナ形容詞の使用数よりも多い。ただし、実際には一般ニュースについてはイ形容詞がほとんど用いられていない文脈もあり、(31) のようにやさしい日本語ニュースと一般ニュースの一部を取り出し、使用された形容詞をみると、やさしい日本語ニュースではすべてイ形容詞、一般ニュース文ではすべてナ形容詞といった例も珍しくはなかった。

- (31) a. 隔離された地域では、物流が滞って食料などの確保が困難になり、（中略）シエラレオネでも、政府が非常事態宣言を出して、感染が深刻な地域を隔離したり、集会を禁止したりしています。しかし、感染が終息する兆しは一向に見えず、エボラ出血熱に感染して死亡する医療スタッフも相次ぐなかで、医療機関などは危機的な状況に陥っています。（般: 146）
- b. 3つの地域では食べ物などが少なくなって困っています。（中略）シエラレオネでも、エボラ出血熱の人が多い地域への出入りなどを禁止しています。しかし、エボラ出血熱の人が少なくなる様子はありません。エボラ出血熱で亡くなる医者なども増えていて、病院で病気の人を治療することができなくなっています。（や: 146）

（下線部は形容詞。a,b の下線を施した箇所には対応がない）

また、ナ形容詞の使用数について、やさしい日本語ニュースではイ形容詞の3分の1未満である一方、一般ニュースではイ形容詞の使用数にかなり近いという違いがみられた。異なり語数についてはやさしい日本語ニュースではイ形容詞の使用数のほうが多い一方、一般ニュースではナ形容詞の使用数が多かった。次に、全体数を100とした場合のイ形容詞とナ形容詞の使用率について考える。

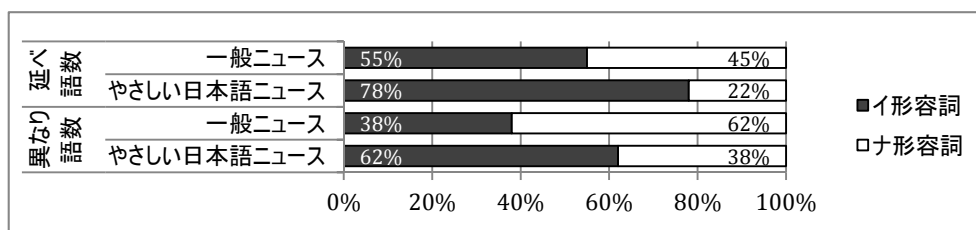


図 15 形容詞の内訳 (イ形容詞・ナ形容詞)

図 15 に示したとおり、延べ語数ではやさしい日本語ニュース・一般ニュースともにイ形容詞の使用率がナ形容詞の使用率を上回った。特にやさしい日本語ニュースではイ形容詞の使用率が8割近くにまで及んでいる。こうしたやさしい日本語ニュースでのイ形容詞の使用を押し上げた要因として2種類の例が観察された。一つ目は熟語がイ形容詞に書き換えられた例であり、二つ目はナ形容詞がイ形容詞に書き換えられた例である。まず、一つ目の熟語がイ形容詞に書き換えられた例を(32)に示す。

- (32) a. 野党側は (中略) エルドアン首相が大統領になれば強権支配につながるとの批判を強めています。(般: 142)
- b. 野党はエルドアン首相が大統領になったら、政府の言うとおりになるように、強い力で政治を支配する心配があると言っています。(や: 142)

(32) の例では、「強権」が「強い力」に書き換えられたことにより、級外の語が3-4級の語になり、語の難易度が下げられていた。次に、二つ目のナ形容詞がイ形容詞に書き換えられた例を(33)に示す。

- (33) a. 最終ランナーを務めた石川選手は「被災地の思いをつないだ、たすきをかけて走ることができ光栄です。(中略)」と話していました。(般: 135)
- b. 石川選手は「たくさんの人の思いが入ったたすきをもらって走ることができてうれしかったです」と話していました。(や: 135)

(33)においても「光栄」が「うれしい」に書き換えられたことで、元ニュースで級外の語が使用された箇所が3級の語に置き換えられ難易度が下げられていた。次に、やさしい日本語ニュース・一般ニュースそれぞれに使用されたイ形容詞・ナ形容詞の平均使用回数を表27に示す。

表27 形容詞1語あたりの平均使用回数(回)

	イ形容詞	ナ形容詞	全体
一般ニュース	6.9	3.4	4.7
やさしい日本語ニュース	8.7	4.6	7.1

先に表13「1語の平均使用回数(回)」で示したように、やさしい日本語ニュースと一般ニュースにおける自立語1語あたりの平均使用回数は約7.0回、約6.0回である。表27に示した形容詞の平均使用回数はイ形容詞については、全品詞平均を1-2回程度上回るものであり、比較的使用頻度が高い。一方、ナ形容詞についてはいずれのニュースでも平均使用回数は全品詞の平均を下回っていた。このことから、対象としたニュースで使用された形容詞はナ形容詞よりもイ形容詞のほうが基本的な語で、かつ、高頻度で使用される語が多いと考えられる。また、形容詞全体については図15に示したやさしい日本語ニュース・一般ニュースのイ形容詞・ナ形容詞の使用率の違いも反映し、やさしい日本語ニュースはイ形容詞の値に近く、全品詞平均使用回数とほぼ変わらなかったが、一般ニュースはイ形容詞とナ形容詞のほぼ中間値で、全品詞の平均使用回数を2.3回程度下回る数値であった。

以上、ニュースで使用された形容詞について考えた。延べ語数ではやさしい日本語ニュース・一般ニュースともにイ形容詞の使用が多く、イ形容詞1語の平均使用回数は全品詞の平均よりも多い。特に、やさしい日本語ニュースでは約8割がイ形容詞であり、イ形容詞1語あたりの平均使用回数も多かった。異なり語数でもやさしい日本語ニュースは依然としてイ形容詞の使用が多いが、一般ニュースではナ形容詞の使用が上回り、それぞれのニュースでのイ形容詞とナ形容詞の構成が反転していた。なお、延べ語数・異なり語数ともにやさしい日本語ニュースのほうがイ形容詞の使用率が高い原因として、熟語等の書き換えでもともと形容詞が存在しなかった文脈でイ形容詞が挿入されるようになっていること、元のニュースではナ形容詞で書かれていた文がイ形容詞に置き換えられていることを指摘した。

1.4. 副詞・連体詞・接続詞・感動詞

やさしい日本語ニュースと一般ニュースで使われた品詞別の傾向について、ここでは名詞・動詞・形容詞に比べ出現数の少なかった副詞・連体詞・接続詞・感動詞について一括して述べる。まず、上記の4種の品詞の使用がニュース語彙全体の中で非常に限られたものであることを図16に示す。

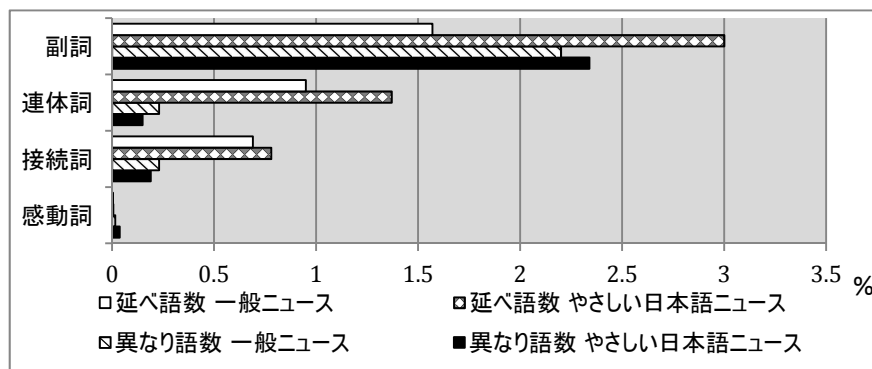


図 16 副詞・連体詞・接続詞・感動詞の使用率

図 16 に示したのは、やさしい日本語ニュース・一般ニュースで使用された自立語の延べ語数・異なり語数をそれぞれ 100 と換算したときの副詞・連体詞・接続詞・感動詞が使用された比率である。4 種類の品詞の中では最も数の多い副詞でも全体の 1.6% から 3% 程度の比率でしか使われておらず、最も数の少ない感動詞に至っては使用率は 0.05% 以下である。次に、やさしい日本語ニュース・一般ニュースにおける副詞・連体詞・接続詞・感動詞 1 語あたりの平均使用回数を表 28 に示す。

表 28 副詞・連体詞・接続詞・感動詞 1 語あたりの平均使用回数 (回)

	副詞	連体詞	接続詞	感動詞
一般ニュース	4.3	28.0	16.9	2.0
やさしい日本語ニュース	9.0	56.6	28.4	1.5

表 28 に示したように、連体詞・接続詞はやさしい日本語ニュース・一般ニュースともに、1 語あたりの平均使用回数が非常に多い。特に連体詞は、やさしい日本語ニュースでは自立語平均約 7 語の約 8.1 倍の 56.6 回、一般ニュースでは自立語平均約 6 語の 4.7 倍の 28.0 回であり、1 語が繰り返し用いられる回数が極めて多い。このため、上記の 4 種類の品詞のうち、連体詞と接続詞については延べ語数・異なり語数ともに自立語に占める語数が決して多くはなく、かつ使用回数が非常に多いことから、高い頻度で使用される語彙を特定しやすい品詞だと言える。また、副詞の平均使用回数はやさしい日本語ニュースでは自立語平均より高いものの、一般ニュースでは自立語平均を下回っている。感動詞はいずれのニュースでも平均使用回数が最も少ない自立語である。以下、4 種類の品詞について使用率の高い副詞から順に述べる。

副詞の延べ語数は本節冒頭で表 15 「品詞別使用数 (語)」に示したように、やさしい日本語ニュースで 546 語、一般ニュースで 612 語であり、2 種類のニュースではその使用数に大差はない。しかし、やさしい日本語ニュースと一般ニュースとではその語彙量が大きく異なるため、使用率でみた場合、図 16 に示したようにやさしい日本語ニュースの使用率は一般ニュースの使用率の約 2 倍となっている。このように使用率に差が出た一因として、(11) (12) に示したように一般ニュース文では「程度」「およそ」という名詞が使用されていた箇所がやさしい日本語ニュースでは副詞「約」に書き換えられていた点が挙げられる。

- (11) a. 日本ハムはハムやソーセージ、レトルト食品など、合わせて284品目を、伊藤ハムは230品目を対象に値上げや実質的な値上げを行い、上げ幅は平均で10%程度になるということです。(般:3)
- b. 日本ハムと伊藤ハムは200以上の品物の値段を平均で約10%上げます。(や:3)
- (12) a. ひょうは、およそ3分間、集中的に降ったということです。(般:5)
- b. 一部の場所で約3分の間、ひょう(=小さな氷の塊)が強く降りました。(や:5)

「約」は一般ニュースでは2回しか使用されていないにもかかわらず、やさしい日本語ニュースでは122回使用された語である。その結果、やさしい日本語ニュースで使用された副詞の延べ語数の5語に1語以上は「約」となり、この1語が副詞の使用率に与えた影響は大きい。また、「約」ほどには使用頻度は高くはないが、一般ニュースで副詞が使用されていなかった箇所で、書き換えにより副詞が用いられるようになったものとして「これから」が挙げられる。(34)にその例を示す。

- (34) a. 「今後はネガティブな感情を伴う記憶を多く持つ、うつ病のような症状のマウスで実験を行い、さらに脳の詳しい仕組みの解明を進めていきたい」と話しています。(般:208)
- b. 「これからうつ病のようなマウスで実験をして、脳についてもっと研究していきたいです」と話しています。(や:208)

(34) bに示した「これから」は、やさしい日本語ニュースでは32回、一般ニュースでは5回使用された副詞で、やさしい日本語ニュースのほうが使用回数が多い。やさしい日本語ニュースでは、(34)に示したように、名詞「今後」の書き換え語として「これから」が使用される例が少なくなかった。このように、「約」や「これから」など、もともと一般ニュースでは名詞が使用されていた箇所で使用される福祉が存在したため、やさしい日本語ニュースにおける副詞の延べ語数は一般ニュースと比べ、使用率が高くなったと考えられる。

続いて、連体詞について述べる。連体詞は4種類の品詞の中では2番目に延べ語数が多いが、異なり語数では接続詞の使用数をわずかに下回っている。これは、連体詞の平均使用回数は表28に示したようにいずれのニュースともに多く、延べ語数が多くても異なり語数はあまり多くはなかったためである。特に、やさしい日本語ニュースにおいては連体詞は「この」「大きな」「その」「どの」「小さな」の5語しか用いられていなかった。なお、最も使用回数が多い連体詞はいずれのニュースでも「この」であり、やさしい日本語ニュースでは182回、一般ニュースでは257回使用されていた。なお、使用回数1回の連体詞はやさしい日本語ニュースでは0語、一般ニュースでは6語あった。

接続詞の平均使用回数はやさしい日本語ニュースで約28回、一般ニュースで約17回であり、連体詞ほどではないが、どちらのニュースでも比較的高い。なお、やさしい日本語ニュース

の接続詞の平均使用回数が一般ニュースよりも多かったのは、やさしい日本語ニュースでは意味を損なわない範囲で複文を避け、文の長さを短くすることが原則（第一章「2.3. NHK やさしい日本語ニュースの実践」表2「やさしい日本語ニュース書き換え原則と対応（抜粋）」）とされているため、(35)に示すように一般ニュースで接続助詞が使用された文脈で接続詞が使用されていたこと、また、(36)に示すように、動詞の連用形接続で文がつけられた部分に接続詞を挿入して2文にするような例がみられたことが背景にある。

- (35) a. たばこを吸う人の割合は、ピーク時の昭和41年には49.4%とほぼ2人に1人でしたが、その後は徐々に減少し、（後略）。（般: 107）
 b. 割合がいちばん高かった1966年は49.4%で、半分ぐらいの人が吸っていました。しかし、そのあとはだんだん少なくなって、（後略）。（や: 107）
- (36) a. ハスは朝の咲き始めが美しく見えるということで、公園の池には朝から大勢の人が見物に訪れ、... 写真を撮ったり、ゆっくりと散策したりして花を楽しんでいました。（般: 17）
 b. 蓮は咲き始める朝、特に美しく見えるため、池には朝から大勢の人が来ています。そして、写真を撮ったり、花を見ながらゆっくり散歩したりしています。（や: 17）

また、やさしい日本語ニュースで用いられた接続詞は「そして」「しかし」「また」「でも」「次に」の5語だが、そのうち「次に」は1回しか使用されておらず、「でも」は(37)に示すような引用文の中でのみ使用された語である。そのため、やさしい日本語ニュースにおいて、接続詞はほぼ「そして」「しかし」「また」の3語しか用いられておらず、必然的に1語の使用回数が上がったものと思われる。

- (37) a. 「僕の夢はワールドカップの決勝を戦うことだった。でもそれはもうできない。しかし、神が望めばみんなが次の試合を勝ち抜き、優勝を達成してくれる。（後略）」（般: 24）
 b. 「僕の夢はワールドカップの決勝に出ることでしたが、もうできません。でも³⁹、ブラジルは優勝すると思っています。（後略）」（や: 24）

感動詞はやさしい日本語ニュース・一般ニュースでは異なり語数がそれぞれ2語・1語と非常に少なかった。これは「呼び掛け・応答や感情の動きを表す」（『日本語文法がわかる事典』2005: 75）という感動詞の性質が、ニュースという報道文においては格別必要とはされないためだと考えられる。それでも異なり語数・延べ語数で一般ニュースよりもやさしい日本語ニュースのほうが使用が多い背景には(10)に示すように、一般ニュースでは「感謝する」

³⁹ 先述の「僕」同様、今回対象としたニュース文において接続詞「でも」が用いられたのはやさしい日本語ニュース・一般ニュースともに外国人の発話を翻訳引用した箇所に限られ、日本人の発話の中では全く使用されていなかった。

という動詞を使った表現が、やさしい日本語ニュースへの書き換えで「ありがとう」という感動詞を含む表現に置き換えられた、という 1 例が存在したためである。

- (10) a. ネイマール選手は「(中略) 僕のために書いてくれたメッセージなどすべての応援と愛情に感謝したい」と心境を話しました。(般: 24)
- b. ネイマール選手は「(中略) 皆さんからの応援と愛情、ありがとうございます」と話しました。(や: 24)

また、やさしい日本語ニュース・一般ニュースに共通して用いられた感動詞は「わっしょい」であり、(38) のように使用されていた。

- (38) a. 2 3 日は気温が 3 3 度を超えて厳しい暑さとなりましたが、女性たちは「わっしょい、わっしょい」と大きな声を出したり、(後略)。(般: 79)
- b. 2 3 日の大阪はとても暑くて、気温は 3 3 ° C 以上になりました。女性たちは「わっしょい、わっしょい」と大きな声を出して元気に歩きました。(や: 79)

こうした (38) のような掛け声であれば、ニュースの中でも臨場感を出す目的で用いられることもあるだろうが、明らかに掛け声であるわかる書き方がされていれば、知らない語であっても意味がわからないと混乱することはないと思われる。また、「感謝する」を「ありがとう」に置き換えたような例については、今回調査対象としたのニュースでは上記の 1 例しか見当たらなかった。しかし、NHK ニュースではやさしい日本語にする過程で、「ありがとう」に書き換えられた例のように、ほかの品詞に属する難易度の高い語を感動詞で代用するという手段がとられるという可能性は考えられる。

このように、副詞・連体詞・接続詞・感動詞はいずれも全体に占める比率は小さいが、それぞれに特徴があった。副詞はやさしい日本語ニュースと一般ニュースの延べ語数に大差がなく、使用率ではやさしい日本語ニュースが一般ニュースの約 2 倍であった。その一因として、元のニュースで名詞が用いられていた箇所が副詞に置き換えられていた例を挙げた。連体詞は 1 語あたりの平均使用回数が非常に多く、やさしい日本語ニュースでは 62 回、一般ニュースでは 28 回であった。接続詞も連体詞ほどではないが、使用回数が多い。なお、接続詞の使用回数はやさしい日本語ニュースのほうが一般ニュースよりも多い。その原因として一般ニュースで接続助詞が使用されている箇所、動詞の連用形接続で文が続く箇所が書き換えで接続詞にされていた例を挙げた。感動詞は非常に数が少なかったが、やさしい日本語ニュースでは一般ニュースでは動詞を含む表現が使用されていた箇所が感動詞を含む表現に書き換えられていた例があった。

2. 語種別の特徴

前節ではやさしい日本語ニュースと一般ニュースについて、品詞の観点からその特徴をみた。引き続き、本節では語種の観点からやさしい日本語ニュースと一般ニュースの特徴について考える。なお、本節でニュースから得られた自立語を語種に分類するにあたり、その対象から固有名詞を除いた。固有名詞を除外したのは、第一章「4.2. 調査の種類」で表 10「手作業による語種分類の内容」に記したように、「大阪」「東京」「神奈川」等を和語・漢語・混種語に分類することに意味を見出せないためである。また、表 10 に示したとおり、「%」や「kW」などの記号を使った単位、「NGO」「ATM」などのアルファベットの頭文字による表記は外来語として集計し、湯桶読み・重箱読みの語は混種語に分類した。やさしい日本語ニュースと一般ニュースから得られた自立語のうち、固有名詞を除いた語種別の和語・漢語・外来語・混種語の使用数を表 29 に示す。

表 29 語種別使用数 (語)

		和語	漢語	外来語	混種語
延べ語数	一般ニュース	14,408	16,277	1,727	2,674
	やさしい日本語ニュース	9,585	4,894	947	725
異なり語数	一般ニュース	1,597	2,580	415	736
	やさしい日本語ニュース	788	765	230	177

表 29 に示したように、ニュースに使われた語彙を語種で分類すると、延べ語数ではやさしい日本語ニュース・一般ニュースともに和語と漢語が圧倒的多数を占めていた。ただし、やさしい日本語ニュース・一般ニュースでは和語と漢語の出現傾向は異なり、やさしい日本語ニュースでは漢語は和語の約半数しか使われていなかったのに対し、一般ニュースでは漢語が和語の使用数を上回っていた。

異なり語数でもやさしい日本語ニュースでは漢語よりも和語の使用数が多く、一般ニュースでは漢語の使用数が和語の使用数よりも多かった。ただし、やさしい日本語ニュースの和語と漢語の使用数を比較すると、延べ語数では和語と漢語の割合が約 2 対 1 だったのに対し、異なり語数では和語と漢語の使用数がかなり近かった。このことから、やさしい日本語ニュースでは和語と漢語の異なり語数はさほど変わらないが、和語のほうが漢語よりも高頻度で使われていることがわかった。(39) に、ニュースの中での和語・漢語の使用例を示す。

- (39) a. 小保方リーダーは、電子的に施錠され、複数のカメラで 24 時間監視された 研究室で 実験を行います。ことし 4 月から STAP 細胞の 検証実験を 進めている 理化学研究所のチームとは 別の建物で 行うという ことです。(般: 79)

- b. 4月から、理化学研究所は本当にSTAP細胞を作ることができるか確かめる実験をしていました。そして、小保方さんも別の建物で実験をすることになりました。理化学研究所によると、小保方さんは鍵があつて、出たり入ったりした人の記録が残る部屋で実験をします。部屋の中には2台以上のカメラがあつて、24時間ビデオを撮っています。(や: 79)
(下線部: 和語、斜体字: 漢語)

一般ニュース(39)aにおいては、固有名詞を除く自立語で和語と漢語は8対9(和語約47%、漢語約53%)で使用されており、和語と漢語の使用比率は平均値とほぼ同じである。やさしい日本語ニュース(39)bにおいては和語と漢語は26対9(和語約74%、漢語約26%)であり、和語の使用量は漢語の3倍であり、和語と漢語の使用比率は平均値とは異なるが、(39)a,bの比較から、一般ニュースでは漢語が多く、やさしい日本語ニュースでは和語が多いことがわかる。また、やさしい日本語ニュース文(39)bで2度以上使用された和語は「する」「いる」「ある」「部屋」「こと」の5語、漢語は「実験」の1語である。このように、ニュース文の1例からも、やさしい日本語ニュースにおいて和語の使用頻度が高く、漢語の使用頻度が低いという実例をみることができる。

また、外来語と混種語について、表29に示したように延べ語数・異なり語数ともにやさしい日本語ニュースと一般ニュースの間で使用数の多い語種が入れ替わっており、やさしい日本語ニュースでは延べ語数・異なり語数ともに外来語が、一般ニュースでは延べ語数・異なり語数ともに混種語が他方よりも多く使用されていた。その要因として、(40)に示すように、一般ニュース(40)aで使用された「コメントする」という混種語がやさしい日本語ニュース(40)bへの書き換えで「メッセージを出す」というように混種語以外の語を使って置き換えられるというものが考えられるが、こうした例はあまり多くはみられなかった。

- (40)a. 「すべての関係者の皆さまに、多大なご迷惑をおかけすることを深くおわびいたします。必ずきちんと治して戻ってまいります。(後略)」とコメントしています。(般: 39)
- b. 「仕事を休んで迷惑をかけることを皆さまに深くおわびします。必ずしっかり治して戻ってきます」とメッセージを出しました。(や: 39)

一般ニュースにおいて混種語が多い主な要因は、サ変動詞が多いことである。一般ニュースにおいて混種語のサ変動詞は異なり語数563語、延べ語数2,062語使用されているが、やさしい日本語ニュースでは異なり語数110語、延べ語数363語であり、やさしい日本語ニュースでは一般ニュースの5分の1程度しか混種語のサ変動詞が使用されていない。このように語種の観点から語彙特徴を捉えようとした場合でも、本章1節で述べた品詞が密接に関係していることがわかる。次に、固有名詞を除く自立語全体における語種別の使用率を図17に示す。

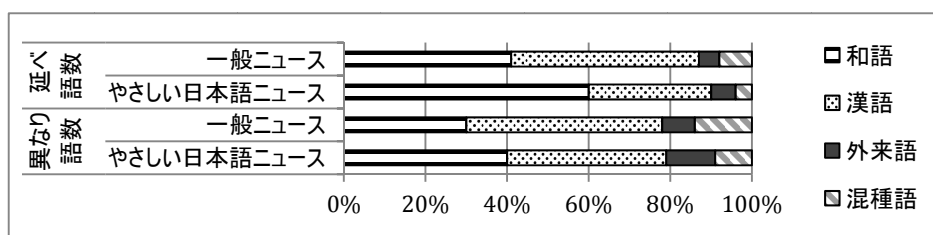


図 17 語彙の構成 (語種)

図 17 に示したように、延べ語数では和語・漢語を合わせた使用率がやさしい日本語ニュース・一般ニュースともに全体の 90% 弱を占めており、外来語と混種語の使用は 2 種類の語種を併せても 10% 強と多くはない。一方、異なり語数では和語を除く 3 種類の語種の使用率がいずれも延べ語数よりも高い。このため、やさしい日本語ニュース・一般ニュースを問わず和語は他の語種よりも一つの語が高い頻度で使われていたことがわかる。特にやさしい日本語ニュースにおける外来語・混種語の異なり語数は延べ語数の約 2 倍であり、ニュースの中で使用される語の種類は比較的豊富だが、使用される語の 1 語あたりの使用頻度は低いとわかる。

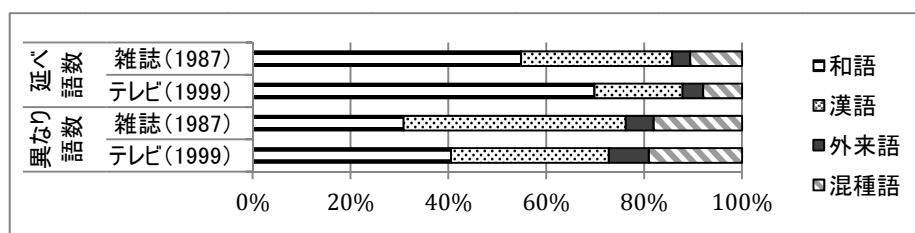
また、やさしい日本語ニュースと一般ニュースを比べると、表 29 にも示したように和語と漢語の使用率が大きく異なる。これは、(41) に示すニュースタイトルのように、元の一般ニュースに使用されていた漢語が和語に書き換えられる例が非常に多くみられたことに起因している。一般ニュース (41) a では「早期発見」「血液検査」のように漢語の熟語が用いられている箇所がやさしい日本語ニュース (41) b では「早く見つける」「血の検査」のように熟語を崩し、和語を中心に書き換えられていた。

(41) a. がん早期発見の新たな血液検査法開発へ (般: 171)

b. 血の検査でがんを早く見つける方法を研究する (や: 171)

さらに、本稿の調査ではメディアの語彙の語種を扱ったほかの調査とは和語と漢語の比率に関して異なる要素を含む結果が出た。以下、国立国語研究所 (1987, 1999) の調査結果と比較する。

国立国語研究所 (1987) は 1906 年から 1976 年までの雑誌『中央公論』を対象に行った調査で、国立国語研究所 (1999) は 1989 年 4-6 月の 3 か月間に全国放送の 6 放送局 7 チャンネルが放送したすべての番組を対象に行った調査である。図 18 に国立国語研究所 (1987) のうち 1976 年の結果を「雑誌」、国立国語研究所 (1999) の結果を「テレビ」とし語種別の延べ語数と異なり語数を示す。



(国立国語研究所 1987:54, 1999:84 を基に作図)

図 18 国立国語研究所(1987, 1999) メディア語彙の構成 (語種)

図 18 に示したように、国立国語研究所 (1987, 1999) の調査は双方とも延べ語数では和語、漢語、混種語、外来語の順に使用率が高い。異なり語数では調査によって和語と漢語の使用順位が 1 位と 2 位で入れ替わっているものの、3-4 位の語種は混種語、外来語の順に使用率が高い。国立国語研究所 (1987, 1999) の調査の目立った違いとしては、国立国語研究所 (1987) の雑誌を対象とした調査では、漢語の使用率が国立国語研究所 (1999) のテレビ放送を対象とした調査よりも、延べ語数・異なり語数ともに高い点が挙げられる。

そこで、雑誌とテレビ放送という調査対象の違いについて考える。雑誌とテレビ放送はいずれも大衆を対象としたメディアである点で共通している。しかし、雑誌は音声がない「読む」媒体であり、テレビ放送は国立国語研究所 (1999) ではその音声を対象としていたことから「聞く」媒体として捉えられていたと言える。そのため、雑誌とテレビ放送は同じメディアであるとはいえ、「読む」媒体であるか「聞く」媒体であるかという点で性格が異なる。

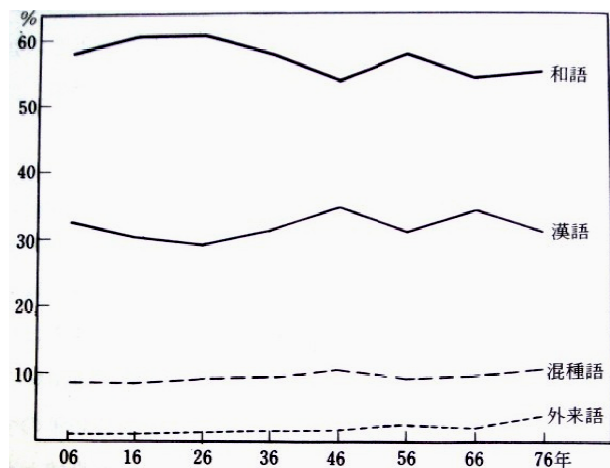
その一例を挙げれば、「読む」媒体では同音語の漢字表記による区別が可能なのに対し、「聞く」媒体では表記による区別ができず、情報の受け手が個々に判断しなければならないという違いがある。この点に関し『日本文法用語辞典』(1989: 63) には、漢語は「同音の漢字が多いため、でき上がった熟語にも同音異義の語が非常に多くなる」との説明がある。こうしたことから、「聞く」媒体では同音異義語の問題が生じるが、「読む」媒体では漢字で語を見分けられるため同音異義語の使用に制限がかけられにくいという違いがあると考えられる。このため、国立国語研究所 (1987, 1999) の調査でも「読む」媒体と「聞く」の媒体という調査対象の違いが漢語使用の多少に影響を及ぼし、その使用率に違いを生じさせる結果につながっていたと考えられる。

国立国語研究所 (1987, 1999) の調査を本稿の調査と比べると、国立国語研究所 (1987) が行った「読む」媒体である雑誌を対象とした調査の異なり語数は、同じく「読む」媒体である本稿の調査の一般ニュースとはほぼ同じ構成だが、延べ語数では国立国語研究所 (1987) は本稿の調査よりも 15% 程度和語が多かった。一方、国立国語研究所 (1999) の「聞く」媒体であるテレビ放送を対象として行われた調査の語種の構成をみると、国立国語研究所 (1987) や一般ニュースよりもやさしい日本語ニュースの語種構成に近かった。このことから、やさしい日本語ニュースの語種構成は国立国語研究所 (1987, 1999) の調査と比較する限りにおい

て、「読む」媒体よりも「聞く」媒体、すなわち、書きことばよりも話しことばに近い語種の構成で書かれていると言える。

ただし、国立国語研究所（1987, 1999）の調査は実施から年月が経過しており、言語資料の古さを多少感じさせるものである。そのため、図 19 として国立国語研究所（1989）の延べ語数でみた雑誌の 70 年間の語種の変化の

グラフを転載する。図 19 に示すように、1906 年から 1976 年までの 70 年間に発行された雑誌『中央公論』に占める語種の使用率は多少の変動や、外来語や混種語の多少の増加を除けば、さほど大きな変化はみられていない。70 年の期間を通して和語の使用が最も多く全体の約 60%、漢語は約 30% である。混種語と外来語は調査の最後の 10 年で増加傾向にあるため一概には言えないが、和語と漢語の比率は過去 70 年間から推察して、調査から 40 年経った現在でも大きな変化はないのではないと思われる。



（国立国語研究所 1987:54 より転載）

図 19 国立国語研究所（1987）メディアの語彙の語種別使用率の推移（延べ語数）

他方、本稿の調査では延べ語数をみた場合、一般ニュースの和語・漢語の使用率は図 17 に示したとおり、約 40%・約 45% であった。国立国語研究所（1987）、本調査ともにどちらも一種の雑誌、あるいはニュースしか対象としていないため一概には言えないが、対象とした資料に限っては、ニュースは雑誌と比べた場合、延べ語数では和語よりも漢語が多用されやすいと考えられる。

以上、やさしい日本語ニュース・一般ニュースで使用されていた和語・漢語・外来語・混種語について述べた。やさしい日本語ニュースは一般ニュースと比べて和語の使用率が高く、やさしい日本語ニュースで使用された和語は異なり語数で全体の約 40%、延べ語数で約 60% あり、漢語は異なり語数で約 30%、延べ語数で約 40% ある。また、外来語と混種語では外来語のほうが使用率が高かった。やさしい日本語ニュースのこうした語種の構成は国立国語研究所（1999）のテレビ放送の語彙調査の語種構成と似通っており、国立国語研究所（1987, 1999）と比べる限りにおいて、やさしい日本語ニュースの語種の構成は書きことばよりも話しことばに近いということがわかった。

一般ニュースはやさしい日本語ニュースよりも和語の使用率が低く、漢語の使用率が高かった。特に異なり語数では漢語は和語のおよそ 1.5 倍多く使用されていた。また、外来語よりも混種語の使用率のほうが高い点もやさしい日本語ニュースとは異なっていた。本稿の調査の一般ニュースの語種構成を国立国語研究所（1987）の結果と比較すると、異なり語数につ

いては非常に似通った構成であったが、延べ語数については本稿調査の一般ニュース語彙のほうが国立国語研究所（1987）よりも漢語の使用率が高かった。以下、和語、漢語、外来語、混種語の順に語種別にその特徴をみる。

2.1. 和語

本項では、和語について述べる。秋元（2010: 59-60）は和語について、豊富な語彙があり、日常生活で最も広い範囲で繰り返し使われるが、抽象的な概念を表す語彙は乏しいと説明するが、動詞については名詞の特徴とは逆に抽象的な概念を表すと述べている。そのため、和語とはいっても品詞によって異なる特徴があることがわかる。表 30 に和語の名詞（普通名詞）・動詞・形容詞・副詞・連体詞・接続詞・感動詞の使用数を示す。

表 30 和語の品詞別使用数（語）

		名詞	動詞	形容詞	副詞	連体詞	接続詞	感動詞
延べ語数	一般ニュース	4,601	7,875	859	471	363	237	2
	やさしい日本語ニュース	2,747	5,440	647	299	283	142	3
異なり語数	一般ニュース	612	740	119	98	12	15	1
	やさしい日本語ニュース	337	319	77	43	5	5	2

表 30 に示したように、やさしい日本語ニュースの異なり語数を例外とすれば、和語の使用数が最も多い品詞は動詞である。本章「1. 品詞別の特徴」で表 15「品詞別使用数（語）」に示したように、今回対象としたやさしい日本語ニュース・一般ニュースで使用された自立語のうち、最も使用数の多い品詞が名詞であったことを考慮すれば、名詞における和語の使用は動詞と比較した場合少ないことがわかる。これは名詞は漢語・外来語・混種語などさまざまな語種に分かれる一方で、動詞には活用があるため、和語を除いては混種語にしかなりえず、和語の使用数が伸びたことが影響している。(42) に、やさしい日本語ニュース・一般ニュースで和語名詞・和語動詞が使用された例を示す。

- (42) a. 今月 9 日に投票が**行われた**インドネシアの大統領選挙は、貧しい家庭出身のジョコ・ウィドド氏が元軍人の対立候補を**破って**当選し（中略）ました。（中略）当選したジョコ氏は 22 日夜、ジャカルタで勝利演説を**行い**、「すべてのインドネシア国民にとっての勝利だ。誰が1 番で誰が2 番だったかは**忘れ**再び**1 つ**になろう」と**述べ**、激しい選挙戦で**生じた**国を二分する政治対立の解消を**呼びかけ**ました。（般: 74）
- b. インドネシアでは 9 日に大統領を**選ぶ**選挙の投票が**あり**ました。そして、首都ジャカルタの知事のジョコ・ウィドド氏が大統領になることが**決ま**りました。（中略）。ジョコ氏は 22 日夜ジャカルタで「誰が1 番で誰が2 番だったか**忘れ**ましょう。インドネシアは**1 つ**になりましょう」と**話**しました。（や: 74）（下線部：和語名詞、斜体字：和語動詞）

やさしい日本語ニュース(42) bでは、和語の名詞は5語、和語の動詞は7語であり、動詞のほうが2語多い一方で、一般ニュース(42) aでは、和語の名詞は7語、和語の動詞は8語であり、動詞のほうが1語多い。ニュース文の中には、(42) aにもみられるように漢語の名詞が非常に多い。しかし、和語に限って名詞と動詞を比べた場合、(42)の例のように、動詞のほうが延べ語数が多かった。

また、形容詞と副詞を本章「1. 品詞別の特徴」で表15「品詞別使用数(語)」に示した品詞別使用数と比較すると、和語の使用率はそれぞれの品詞の約45-80%で、形容詞と副詞の半数近く、あるいはそれ以上の語が和語である。なお、和語の使用数が45-65%程度と比較的少なかったのは一般ニュースの形容詞である。これは本章「1.3. 形容詞」で述べたように、一般ニュースにおけるナ形容詞の使用率の高さと関連がある。ナ形容詞は「光栄」「深刻」といった漢語が多いが、そうした漢語のナ形容詞は(33)に示すようにやさしい日本語への書き換えで「うれしい」のような和語のイ形容詞に書き換えられた例が少なくなかった。このため、やさしい日本語ニュースへの書き換え前の一般ニュースでは和語形容詞が比較的少なかった。

- (33) a. 最終ランナーを務めた石川選手は「被災地の思いをつないだ、たすきをかけて走ることができ光栄です。(中略)」と話していました。(般: 135)
- b. 石川選手は「たくさんの人の思いが入ったたすきをもらって走ることができてうれしかったです」と話していました。(や: 135)

ただし、和語の形容詞はイ形容詞であり、漢語の形容詞はナ形容詞であるというように明確に分かれているわけではない。一般ニュースで使用された和語の形容詞のうち、イ形容詞は異なり語数91語・延べ語数675語、ナ形容詞は異なり語数28語・延べ語数184語ある。また、やさしい日本語ニュースについても和語の形容詞のうちイ形容詞は異なり語数69語・異なり語数609語、ナ形容詞は異なり語数8語、延べ語数38語であり、和語の形容詞の内訳はイ形容詞が多いとはいえ、ナ形容詞も一定数存在する。なお、やさしい日本語ニュースで使用された8語の和語のナ形容詞は「いろいろ」「どんな」「静か」「同じ」「好き」「真っ赤」「平ら」「豊か」である。

連体詞・接続詞・感動詞の3種類の品詞について、異なり語数はいずれの分類でもごく少数である。この3種類の品詞の和語の使用数は全語種の総数と比べて大きな違いはなく、連体詞・接続詞・感動詞の大部分は和語で構成されている。実際その例外として挙げられるのは、一般ニュースで使用された連体詞の混種語「確たる」と副詞の漢語「一方」の2語だけである。なお、一般ニュースで使用された1語の感動詞は和語である。他方、やさしい日本語ニュースで使用された連体詞は「この」「大きな」「その」「どの」「小さな」、接続詞は「そして」「しかし」「また」「次に」「でも」のそれぞれ5語、感動詞は「わっしょい」「ありがとう」の2語ですべて和語である。続いて、図20に和語の品詞別の構成を示す。

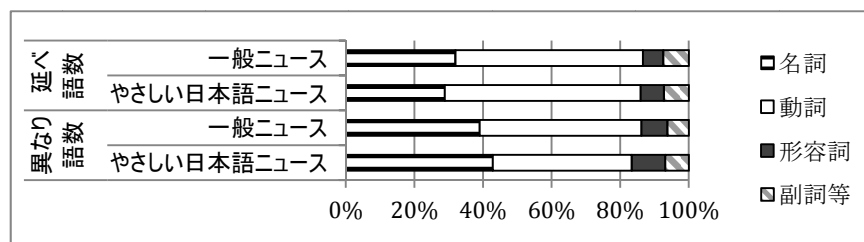


図 20 和語語彙の構成 (品詞)

やさしい日本語ニュースの異なり語数を除いて動詞の使用数が他の品詞を上回ることが既に述べたが、図 20 に示したとおり、ニュースで使用された動詞の比率は異なり語数よりも延べ語数のほうが大きい。このことは、和語の動詞は和語の自立語全体の平均よりも使用頻度が高いことを示している。また、名詞でも使用率に違いがみられた。異なり語数ではやさしい日本語ニュースの名詞使用率は一般ニュースよりも高かったが、延べ語数では逆転し、やさしい日本語ニュースでの名詞使用率は一般ニュースの使用率よりも低かった。次に、表 31 に和語 1 語あたりの品詞別平均使用回数を示す。

表 31 和語 1 語あたりの品詞別平均使用回数 (回)

	名詞	動詞	形容詞	副詞	連体詞	接続詞	感動詞
一般ニュース	7.5	10.6	7.2	4.8	28.2	16.6	2.0
やさしい日本語ニュース	8.2	17.0	8.4	7.0	56.6	28.4	1.5

表 31 に示したように、使用数の多かった名詞・動詞・形容詞・副詞の 4 種類の品詞では動詞のみ 2 桁の使用回数となり、名詞・形容詞・副詞よりも高い頻度で使われていた。特にやさしい日本語ニュースにおいて、動詞は平均 17 回使用されており、やさしい日本語ニュースの全自立語の平均 7.0 よりも 2.4 倍程度使用頻度が高かった。そして、これはやさしい日本語ニュースにおける動詞 1 語あたりの平均使用回数 13.2 回よりも 1.3 倍程度高い数値である。

これほどまでに和語動詞の使用率が高いのは、一つに平均使用回数が一般ニュースで約 108 回、やさしい日本語ニュースで約 71 回の補助動詞がすべて和語であることが挙げられる。また、やさしい日本語ニュースでの平均使用回数が多いのは (9) に挙げた「作る」のように、一般ニュースではさまざまな語や表現が使用されていても、やさしい日本語ニュースでは難易度の低い語への書き換えが行われた結果、異なり語数が減り、動詞 1 語あたりの平均使用回数が多くなっていた例がみられたためである。加えて、難易度の低い語は本章「1.2. 動詞」で記したように、サ変動詞等よりも和語動詞のほうが比較的多いことも和語動詞の使用回数が多くなった一因と言える。

- (9) a. 東京都は、各地で①準備を進める参考にしてもらおうと、自治体などで②すでに始まっている多言語対応の取り組みを紹介するサイトを③開設しました。このなかでは、静岡県などが富士山の登山で安全を呼びかけるため、英語や韓国語など 3 か国語のパンフレットを④作成

したことや、東京・三鷹市のNPOが観光地図に特殊なペンで触れると英語や中国語など4か国語の音声で案内情報を知らせてくれる仕組みを◎導入していることなど、およそ70件の取り組みが紹介されています。（般: 165）

- b. 東京都は、いろいろな県や市などが㊦'作った外国語の看板などを紹介するウェブサイトを㊦'作りしました。これから㊦'作ろうとしている区や市などに参考にしてもらおうと考えました。静岡県は、富士山に安全に登ってもらうために、英語や韓国語など3つの外国語で書いたパンフレットを㊦'作りしました。また、東京の三鷹市のNPOは、特別なペンで触ると英語や中国語など4つの外国語で説明する地図を㊦'作りしました。（や: 165）

ただし、上述のように和語の動詞の平均使用回数が多いのはやさしい日本語ニュースに限ったことではなく、一般ニュースにおいても言えることである。一般ニュースの1語あたりの自立語平均使用回数6回、動詞の平均使用回数6.3回と表31に示した一般ニュースの和語動詞の平均使用回数を比較すると、和語動詞は動詞の平均使用回数と比べ1.7倍程度多く使用されていた。これは、補助動詞の平均使用回数が非常に多いことに加え、和語の動詞には多義語が多く存在することも一因にある。「入る」という動詞を例にとれば、(43)(44)に示すように、やさしい日本語ニュースでは「入る」が用いられても一般ニュースでは「入る」ではなく、サ変動詞やそのほかの品詞を含む語や表現が使われている場合もあった。

- (43) a. 猛烈な雨が降りました。（中略）プサン市では、浸水した地下道で（後略）。（般: 196）
 b. プサン市でもたくさんの雨が降って、地下の道に水が入って、（後略）。（や: 196）
 (44) a. 成田空港で、出入国審査にかかる時間を短縮しようと、旅行者の顔とパスポートの顔写真を自動的に照合するシステムの実証実験が始まりました。（般: 119）
 b. 外国から日本に入るときなどに、パスポートを確認する時間を短くするための新しいシステムの実験が成田空港で始まりました。（や: 119）

しかし、一般ニュースの中でも「入る」は(45)-(48) aに例示するように、「宿泊棟に入る」「飛行に入る」「日本の会社に入る」「停戦期間に入る」等、その多義性を活かしさまざまな文脈で使用されていた。こうしたことが、一般ニュースにおいても和語の動詞の平均使用回数を押し上げた一因であると考えられる。

- (45) a. オフィス棟の中のフィットネス施設や宿泊棟に入る日本旅館の利用者、（後略）。（般: 56）
 b. （対応箇所なし）（や: 56）
 (46) a. 離陸後10分ほどで安定した飛行に入ると、（後略）。（般: 83）
 b. 出発してから10分ぐらいで（後略）。（や: 83）
 (47) a. 「（前略）日本に留学して、日本の会社に入るのが夢です」と話していました。（般: 153）

- b. 「私の夢は、将来日本に留学して日本の会社に入ることです」と話していました。（や: 153）
- (48) a. 期限を決めない長期的な停戦期間に入ることで合意しました。（般: 199）
- b. 戦いをやめることを決めました。（や: 199）

なお、やさしい日本語ニュースの「入る」についても、(49) (50) bに示すような人や物が建物や別のものの中に収まるという意味のほか、(51)-(55) bに示すように、「点が入る」「組織に入る」「間に入る」等さまざまな多義的な使われ方がみられた。

- (49) a. 銅銭50種類、4万枚以上が詰まっていました。（般: 35）
- b. つぼの中には、銅で作った昔のお金が4万枚以上入っていました。（や: 35）
- (50) a. すべての出入り口がロシア当局によって封じられ、営業できなくなっていました。（般: 184）
- b. 店の入り口や出口を全部閉めて、誰も入ることができないようにしました。（や: 184）
- (51) a. 両チーム無得点のまま延長でも決着がつかず、（後略）。（般: 38）
- b. どちらのチームもよく守って、点が入りませんでした。（や: 38）
- (52) a. OECDがことし5月に公表した加盟する34か国のデータによりますと、（後略）。（般: 57）
- b. OECDに入っている34の国の中で、（後略）。（や: 57）
- (53) a. 特にスマートフォンは保存されているデータが多く、（後略）。（般: 72）
- b. 特にスマートフォンにはたくさんの情報が入っているため、（後略）。（や: 72）
- (54) a. 文化庁の推計ではこの1年間で、著作権の侵害による被害の総額は中国の違法サイトによるものだけでも少なくとも5600億円に上るといことです。（般: 93）
- b. 「海賊版サイト」があるため、アニメや本などを作った会社にはお金が入りません。（や: 93）
- (55) a. イスラエルとイスラム原理主義組織ハマスは（中略）隣国エジプトの仲介の下、間接的な協議を重ね、（後略）。（般: 199）
- b. エジプトがイスラエルとハマスの間に入って、話し合いが続いていました。（や: 199）

また、ニュースで使用された語彙量は動詞よりもはるかに少ないが、連体詞・接続詞の平均使用回数は表31に示したようにほかの品詞と比べ、際立って多い。しかしながら、既述のとおり連体詞・接続詞の和語の使用数はすべての語種の合計数とほぼ変わらないことから、これは和語の連体詞・接続詞の特徴ではなく、連体詞・接続詞それ自体にみられた特徴である。また、感動詞を例外とすれば、すべての品詞でやさしい日本語ニュースの和語1語あたりの平均使用回数は一般ニュースの使用回数を上回っていた。さらに、やさしい日本語ニュースに限って言えば、1本のニュースの中では使用回数の多い語でも3-7回程度しか使用されていない。

その点を考慮して表 31 をみると、感動詞を除けば、やさしい日本語ニュースでは和語 1 語あたりの平均使用回数が 7 回を上回っており、和語はいずれの品詞に属する語でも 1 本のニュースでのみ使われる語よりも複数のニュースにわたって使われる語が多いということが出来る。

以上、和語について述べた。最も使用数が多い品詞はやさしい日本語ニュース・一般ニュースともに動詞であった。加えて、動詞は使用頻度も高く、やさしい日本語ニュースで平均 17 回、一般ニュースで平均 11 回程度用いられていた。これは、和語の動詞がさまざまな名詞と結びつき、さまざまな文脈で使用されていたことが影響したためである。また、品詞全体をみた場合、やさしい日本語ニュースの和語 1 語あたりの使用回数は感動詞を除いて一般ニュースの使用回数よりも多かった。さらに、やさしい日本語ニュースの感動詞以外の和語は 1 本のニュースの中だけではなく、複数本のニュースの中で使われている語が多いということがわかった。

2.2. 漢語

前項の和語に引き続き、本項では漢語を取り上げる。今回対象とした調査において、固有名詞を除く自立語のうち、やさしい日本語ニュースでは延べ語数・異なり語数ともに和語が最も多く使用されていたが、書き換え前の元の一般ニュースでは延べ語数・異なり語数ともに漢語が最も多く使用されていた。

漢語は「漢字で書かれ、音読みで読まれる語」（秋元 2010: 61）と定義されるように、漢字以外の要素である活用語尾を含む動詞やイ形容詞は漢語にはなりえない。そのため、漢語は和語と比べ、存在する品詞の数が限られる。それでも本節冒頭の図 17 「語彙の構成（語種）」に示したように NHK のニュースでは漢語の使用率は和語と同様に高く、上述のように一般ニュースにおいてはその使用数は和語を上回っている。どのような品詞で漢語が多く用いられているのか、漢語の品詞別使用数を表 32 に、品詞別使用数を図 21 に示す。

表 32 漢語の品詞別使用数（語）

		名詞	形容詞	副詞	接続詞
延べ語数	一般ニュース	15,796	363	84	34
	やさしい日本語ニュース	4,519	136	230	0
異なり語数	一般ニュース	2,421	129	29	1
	やさしい日本語ニュース	727	34	13	0

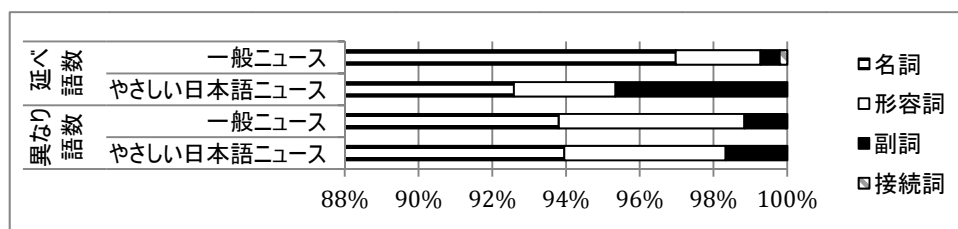


図 21 漢語語彙の構成（品詞）

表 32 に示したとおり、ニュースで使われている漢語はその圧倒的多数が名詞（普通名詞）である。これは、秋元（2010）の「漢語は名詞が全体の 90% 以上を占める」（同: 62）という指摘と重なるものであり、図 21 に示したように、一般ニュースの延べ語数では 90% を大きく上回り、97% 程度使用されていた。(56) を例にとれば、一般ニュースの (56) a では下線部の音読みの箇所はすべて名詞である。(56) b のやさしい日本語ニュースでは動詞「確認する」と副詞「約」が含まれるものの、大半は名詞であり「確認する」は漢語ではなく混種語である。

しかし、このようにやさしい日本語ニュース・一般ニュースを問わず使用された漢語の大半が名詞であるとはいえ、(56) でも観察されるように「出国手続きを行う旅行者」がやさしい日本語ニュースへの書き換えで「旅行する人」に置き換えられる等の過程を経て、やさしい日本語ニュースでは漢語使用数が減らされている。そうした結果、図 21 に示したようにやさしい日本語ニュースの漢語名詞数が一般ニュースと比べ、少なくなったと考えられる。

- (56) a. 出国手続きを行う旅行者はパスポートを機械にかざしたあと顔の撮影場所に立ち、早い人で 20 秒ほどで審査を終えていました。（般: 119）
- b. 旅行する人はパスポートを機械に置いたあと、顔の写真を撮る場所に立ちます。早い人で 約 20 秒で確認が終わりました。（や: 119）

やさしい日本語ニュースの延べ語数を除いて、名詞に次いで漢語の使用数が多かったのは形容詞である。なお、イ形容詞は和語か混種語にしかなりえないため、得られた漢語の形容詞はすべてナ形容詞である。図 21 に示したように、ニュースで使用された漢語形容詞の比率は一般ニュースとやさしい日本語ニュースとで目立った違いは観察されておらず、どちらのニュースも異なり語数が延べ語数の比率よりも高かったことから、使用頻度がほかの品詞よりも低いとわかる。実際、やさしい日本語ニュースでも異なり語数 34 語のうち、使用頻度が 1 度の語は 11 語あり、一般ニュースでは使用された 136 語の漢語のナ形容詞のうち、およそ半数の 65 語は 211 本のニュースを通し 1 度しか使用されていなかった。

しかし、全体的に漢語の形容詞の使用回数が少ない中で、やさしい日本語ニュース・一般ニュースともに「必要」の 1 語はほかの語と比べて群を抜いて使用数が多く、一般ニュースで 35 回、やさしい日本語ニュースで 20 回使われていた。なお、一般ニュースで「必要」の語が用いられていた箇所はその前後の文脈が省略されていない限り、(57) のように表現を変えることはあっても、「必要」が別の語に置き換えられるということはほぼ例外なくなかった。一方、一般ニュースで「必要」以外の語が用いられていた箇所でやさしい日本語ニュースでは「必要」が用いられた例は、(58) に示す例のようにまれにみられた。

- (57) a. 必要であれば今後も空爆を続ける意向を示しており、（後略）。（般: 140）
- b. 必要な場合はこれからもイスラム過激派組織に空爆を続けるつもりです。（や: 140）

- (58) a. インフラの整備が欠かせないことから、（後略）。（般: 166）
 b. 交差点などに機械をつける工事が必要なので、（後略）。（や: 166）

3番目に漢語の使用数が多かった品詞、副詞では、異なり語数はやさしい日本語ニュースが一般ニュースの半数以下だが、延べ語数ではやさしい日本語ニュースのほうが3倍近く多かった。これは、既述のように「約」という副詞が一般ニュースでは2回しか用いられていない一方、やさしい日本語ニュースでは122回用いられたという結果が反映されたものである。なお、やさしい日本語ニュースの副詞の延べ語数は230語であったため、「約」がわずか1語で残りの12語の合計よりも数多く使用されていたことになる。

ただし、漢語の副詞に関してはやさしい日本語ニュースから「約」を除いても、異なり語数13語のやさしい日本語ニュースで使用された漢語の副詞の延べ語数は、異なり語数29語の一般ニュースの延べ語数よりも多い。これは、やさしい日本語ニュースでは122回使用された「約」のほかにも、「たくさん」「いちばん⁴⁰」の語がそれぞれ63回・28回と非常に多く使用されたのに対し、一般ニュースにおいて10回以上使用された漢語の副詞は「比較的」1語で、使用回数は11回であったことが影響したものである。なお、一般ニュースにおける漢語副詞「たくさん」「いちばん⁴¹」の使用はそれぞれ4回・3回、やさしい日本語ニュースにおける「比較的」の使用は皆無である。そして、やさしい日本語ニュースで「たくさん」「いちばん」が使用された(59)(60)bについてはそれぞれ(59)(60)aのような一般ニュース文が対応し、一般ニュース(61)aで「比較的」が使用された箇所は(61)bのようなやさしい日本語ニュース文が対応しており、特定の1語対1語といった書き換えはあまりみられなかった。

- (59) a. サーフィンの経験豊富な犬が姿勢を低くしてしっかりと波を捉え、（後略）。（般: 49）
 b. サーフィンの経験がたくさんある犬は、体を低くして（後略）。（や: 49）
 (60) a. ギエムさんの（中略）代表作「ボレロ」を披露しました。（般: 163）
 b. ギエムさんのバレエでいちばん人気がある「ボレロ」を踊りました。（や: 163）
 (61) a. 太陽光や風力と違って天候に左右されずに発電できることから、比較的安定した再生可能エネルギーとして注目されています。（般: 46）
 b. 太陽の光や風を使った発電と違って、天気に関係なく発電ができます。いつでも同じぐらいの電気をつくることができるため、多くの人が関心を持っています。（や: 46）

最後に、やさしい日本語ニュースでは全く使用されなかった品詞、接続詞について述べる。一般ニュースで異なり語数1語、延べ語数34語用いられた接続詞は「一方」である。(62)に

⁴⁰ 『明鏡国語辞典 第二版』において、「程度が最高である」という意味での「いちばん」は副詞とされている。

⁴¹ 一般ニュースでの表記は「一番」。

示すように、一般ニュースで使用された「一方」という語がやさしい日本語ニュースでは書き換えが行われず、接続詞なしで文が続けられるような例があった。漢語接続詞の異なり語数は1語であったため、「一方」の有無が漢語の接続詞の有無を決めることになった。

- (62) a. 東京電力によりますと、作業は、（中略）順調に進めば来年3月ごろから凍結を始める計画です。一方、凍土壁とは別に、汚染水の海への流出を防ぐため、建屋の海側にある地下のトンネルに流れ込む汚染水を凍らせて氷の壁を作る工事では、2か月がたった今も十分に凍っていません。（般: 34）
- b. 東京電力によると、早い場合で来年3月ごろから土を冷やし始める計画です。福島第一原子力発電所では、汚染水が海に出ていかないように、地下のトンネルの汚染水で氷の壁を作る別の工事も行っています。しかし、工事が始まって2か月過ぎても汚染水は十分に凍っていません。（や: 34）

続いて、表33に漢語1語あたりの品詞別の平均使用回数を示す。

表33 漢語1語あたりの品詞別平均使用回数（回）

	名詞	形容詞	副詞	接続詞
一般ニュース	6.5	2.9	2.9	34.0
やさしい日本語ニュース	6.2	4.0	17.7	

表33に示したように、名詞はどちらのニュースも平均使用回数は6回強であり、和語の名詞のやさしい日本語ニュース・一般ニュースでの平均使用回数、それぞれ8.2回・7.5回よりも一般ニュースでは1回、やさしい日本語ニュースでは2回少なく、漢語名詞は和語名詞と異なり、やさしい日本語ニュースのほうが1語あたりの平均使用回数が少なかった。これは、やさしい日本語ニュースにおいては極めて多く使用される漢語の名詞が少なかったことが一因にある。やさしい日本語ニュースで80回以上使用された漢語名詞は最も多い「県」141回のほか、「市」「会社」の3語に限られるが、一般ニュースでは最も数多く使用された漢語名詞「県」202回を筆頭に、80回以上使用された語は「市」「万」「女性」「調査」「去年」「円」「事故」の8語あった。

形容詞はやさしい日本語ニュース・一般ニュースともに使用回数が少なく、和語の形容詞の平均使用回数、それぞれ平均で8.4回・7.2回の半数以下であり、特に一般ニュースでの使用回数が少なかった。漢語の形容詞の中には、先に提示した「必要」のようにある程度いろいろな文脈で使用可能な語も存在する。しかし、今回ニュースから得られた語の多くは「攻撃的」「傲慢」「清廉」等、和語の形容詞の「高い」「多い」「新しい」等と比べ、格段に使用範囲が限られる語が多かった。実際、漢語形容詞のうち対象としたニュース文で1回しか使用されなかった語はやさしい日本語ニュースで34語中11語、一般ニュースで136語中

65 語と多数である。こうしたことから、漢語形容詞は語の種類は比較的豊富ではあるものの、1 語あたりの使用回数は少ないという特徴があることがわかった。

副詞は和語の副詞と比べればやさしい日本語ニュース・一般ニュースともに使用回数は低い。漢語の副詞に限って比べれば、ニュースによる平均使用回数の差が大きい。これは先にも述べたように、「約」や「たくさん」「いちばん」といったやさしい日本語ニュースでのみ高頻度で使用された語が複数あったためである。漢語の接続詞は平均使用回数が 34 回であり、数多く使用されているが、既述のとおり本調査で得られた漢語の副詞は一般ニュースで使用された「一方」1 語のみである。そのため、漢語接続詞の特徴というよりも「一方」という語の特徴だと言える。

以上、ニュースで使用された漢語について品詞別に検討した。最も使用数が多いのは名詞（普通名詞）で、やさしい日本語ニュース・一般ニュース、延べ語数・異なり語数を問わず 90% 以上を占めていた。次に使用が多いのは形容詞（ナ形容詞）だが、1 語あたりの使用頻度は漢語のほかの品詞と比べた場合、低かった。3 番目に多く使用されたのは副詞で、やさしい日本語ニュースの延べ語数においてその比率が高かった。これは、使用頻度が極端に高い「約」という語の存在が影響したものである。最も使用が少ないのは接続詞で、やさしい日本語ニュースでは使用されず、一般ニュースでも異なり語数 1 語であった。

2.3. 外来語

本項では和語、漢語に引き続き外来語について述べる。外来語は本節冒頭で表 29「語種別使用数（語）」、図 17「語彙の構成（語種）」にも示したように和語・漢語と比較するとその使用数は少なく、使用率は 10% 前後である。外来語は「借用語の中でも特に語形や意味が日本語化した西欧語系のもの」（秋元 2010: 63）を指すとされる。そのため、外来語も漢語と同様に外来語以外の要素が活用語尾として含まれる動詞やイ形容詞は存在しない。さらに、連体詞や副詞・接続詞にもなりえず、「外来語はその大多数が名詞」（同: 65）というように、今回のニュースから収集された外来語も表 34 に示すとおりその大半が名詞であり、やさしい日本語ニュースで使用された外来語はすべて名詞であった。

表 34 外来語の品詞別使用数（語）

		名詞	形容詞
延べ語数	一般ニュース	1,720	7
	やさしい日本語ニュース	947	0
異なり語数	一般ニュース	409	6
	やさしい日本語ニュース	230	0

なお、一般ニュースで使用されていた 6 語の形容詞は「スムーズ」「コンパクト」「エネルギーギッシュ」「スリリング」「ネガティブ」「モダン」である。こうした外来語形容詞を含

む文脈はその大半が省略されていたが、(63) aの文については唯一、やさしい日本語(63) bに書き換えがなされていた。このように、(64) (65) aに示すような外来語の形容詞はやさしい日本語へ書き換える過程で削除される場合が多いことから、それ自体がニュースの根幹を成すような情報を持っているわけではなく、あくまで修飾語であり、外来語の形容詞はニュースを補足する補助的な役割を担っている場合が多いと考えられる。

- (63) a. スリリングな体験をしたいという大勢の人たちがすでに長蛇の列を作っているということで、(後略)。(般: 42)
- b. 怖さを楽しみたいという大勢の人たちがウォーターライダーに並びました。(や: 42)
- (64) a. 前半の静かな曲調をじっくりと聞かせたあと後半は体全体を使ってエネルギーに指揮し、力強い演奏に仕上げました。(般: 7)
- b. (対応箇所なし) (や: 7)
- (65) a. 選手全員がコンパクトな陣形の中で、前線から激しくボールを奪う堅い守りを軸とし、(後略)。(般: 84)
- b. (対応箇所なし) (や: 84)

次に、やさしい日本語ニュース・一般ニュースで使用された固有名詞を除く自立語に外来語が占める比率を図 22 に示す。

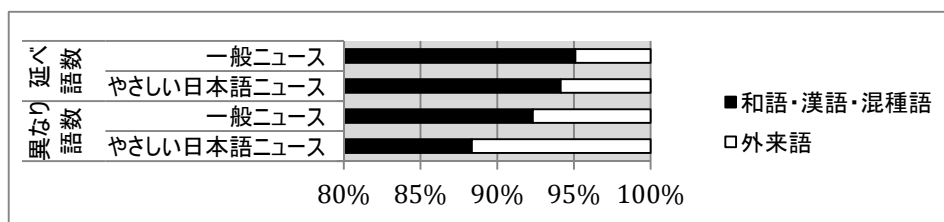


図 22 外来語の使用率

図 22 に示したように、やさしい日本語ニュース・一般ニュースともに異なり語数よりも延べ語数のほうが使用率が低かったが、やさしい日本語ニュースと一般ニュースを比べた場合、延べ語数・異なり語数ともにやさしい日本語ニュースの使用率のほうが延べ語数で 1%、異なり語数で 4% 程度高かった。この 1-4% という使用率はごくわずかにも感じられるが、これをやさしい日本語ニュースの総語数で換算した場合、延べ語数で約 160-650 語、異なり語数で約 20-80 語であり、少ない語数だとは言いきれない。

外来語の使用に関し、国立国語研究所「外来語」委員会編(2006: 14)が日本人に対して「外来語・略語の意味が分からなくて困った経験の有無」を 4,500 人に対して尋ねる調査を実施したところ、協力者の 77% が「しばしばある」「時々ある」と回答したという。国立国語

研究所「外来語」委員会編（2006）の調査は日本人に対して行ったものだが、中山（2001）は外来語について「多くの学習者が外来語に対して抱いている苦手意識」（同:98）のように述べ、日本語学習者にとっても外来語は「難しい」語種であると指摘している。しかしながら、今回対象とした一般ニュースからやさしい日本語ニュースへの書き換えをみると、中には外来語は必ずしも難しくはないという判断がなされたものがあるように見受けられた。(66) aは一般ニュース、(66) bはやさしい日本語ニュースのタイトルである。

(66) a. 東京五輪 環境負荷軽減へ新たな指針（般: 123）

b. 東京オリンピックのためにCO2などを少なくしたい（や: 123）

4年に1度のスポーツの祭典を表すのに、一般ニュースでは、ニュースタイトルは「五輪」、本文中は「オリンピック」というように2か月間のニュースを通じ、明確に語の使い分けがなされていた。しかし、やさしい日本語ニュースには「五輪」は1度も使用されず、ニュースタイトルも含めすべて「オリンピック」の語が使用されていた。実際には「五輪」「オリンピック」はどちらも級外語彙である。しかし、書き換えの際に「五輪」が使用されず、「オリンピック」の語が選ばれた背景には、漢語の「五輪」よりも外来語の「オリンピック」のほうが難易度が低いという意識が働いていたのではないだろうか。

しかし、こうした「オリンピック」の例にみるような和語・漢語が外来語に書き換えられた例は多くはない。そのため、やさしい日本語ニュースへの書き換えで外来語の使用率が高くなったということは外来語については語彙の難易度を下げられていないということになる。しかし、外来語に関しては音声を伴わない場合、その表記によって難易度が大幅に変化する場面がある。本調査においても、「パーセント」「%」のように同じ音声で発音される語でも表記が異なるものがあった。これにより難易度は変化すると考えられるため、図23に外来語のカタカナ表記、アルファベットと記号による表記の使用率を示す。

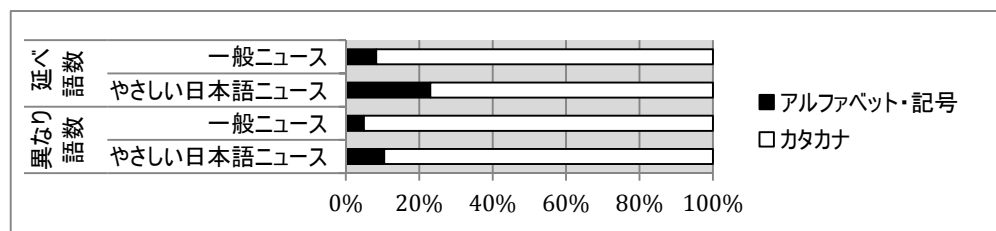


図23 外来語の内訳（表記別）

やさしい日本語ニュースでは図23に示したように、一般ニュースと比べ、延べ語数・異なり語数ともに外来語のアルファベットや記号による表記の比率が高い。そのため、外来語に関してもやさしい日本語ニュースに書き換える際に一定の配慮がされていると言える。しか

し、そうしたアルファベットや記号による表記の比率を考慮しても、図 24 に示すように依然としてやさしい日本語ニュースに占める外来語の使用率は異なり語数において、一般ニュースよりも高い。

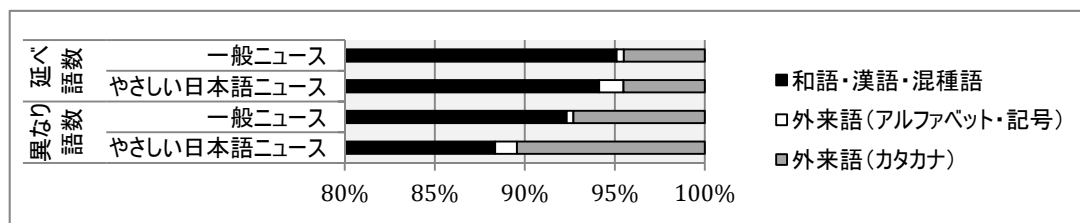


図 24 外来語の使用率（表記別）

したがって、外来語を他の語種と比べて難しい語種だと仮定した場合、外来語についてはNHKのやさしい日本語ニュースはやさしい日本語に書き換えられていないことになる。続いて、表 35 に外来語 1 語あたりの平均使用回数を示す。

表 35 外来語 1 語あたりの品詞・表記別平均使用回数（回）

	名詞			形容詞
	全体	カタカナ ⁴²	記号 ⁴³	
一般ニュース	4.2	4.1	7.1	1.2
やさしい日本語ニュース	4.1	3.5	9.1	

表 35 に示したとおり、外来語の名詞はやさしい日本語ニュース・一般ニュースともに 4 回強だが、表記別にみた場合アルファベット・記号表記ではやさしい日本語ニュースのほうが、カタカナ表記では一般ニュースのほうが、平均使用回数が多かった。なお、外来語の形容詞については上述した 6 語で、1 語を除いては 1 度ずつしか使用されていなかった。

一般ニュースのカタカナ表記の外来語名詞で使用頻度が極めて高い語としては、「メートル」「キロ」「センチ」等の単位を表す語が挙げられるが、そのほかにも「グループ」「インターネット」「バス」「サイト」等のニュースを通して 20 回以上使用された語も少なくはない。やさしい日本語ニュースでは単位は基本的にカタカナ表記ではなく「m」「km」等が用いられていたため、カタカナ表記の使用頻度が高い語に単位は含まれないが、そのほかの語については使用回数は異なっても含まれる語の種類に大きな違いはなかった。こうしたことから、外来語はたとえ難易度の高い語であっても、高い頻度で使用される単位以外の語を難易度の低い別の語に置き換えるということが困難であったと考えられる。

⁴² カタカナ表記による語。

⁴³ 記号やアルファベット表記による語。

ただし、一般ニュースで比較的高頻度で用いられていた「サイト」について、一般ニュースでは「サイト」のみの記載であったり、「インターネットのサイト」「ネット上のサイト」等の記載であったりというように揺れがみられたが、やさしい日本語ニュースではニュースタイトルを除いては基本的に「ウェブサイト」に統一されていたことから、外来語の中でも「サイト」よりも「ウェブサイト」のほうがやさしいといった判断がなされたものと思われる。

以上、ニュースで使われた語彙のうち、外来語について述べた。NHK ニュースから得られた外来語を品詞別に分けた場合、そのほぼすべては名詞語彙だったが、一般ニュースでは形容詞（ナ形容詞）もわずかながら使用されていた。また、やさしい日本語ニュースと一般ニュースを比べると、やさしい日本語ニュースのほうが外来語の使用率が高かった。加えて、やさしい日本語ニュースにおいては外来語に占めるアルファベットや記号による表記の語が比較的に多いという特徴がみられた。

2.4. 混種語

前項まで、語種の単種、和語・漢語・外来語について順に述べた。本項では複種、混種語を扱う。混種語は本節冒頭表 29「語種別使用数（語）」、図 17「語彙の構成（語種）」に示したように、和語・漢語の使用数より大幅に数が少ない語種である。混種語を外来語と比較した場合、やさしい日本語ニュースでは外来語よりも使用数が少ないが、一般ニュースでは外来語よりも使用数が多かった。また、やさしい日本語ニュース・一般ニュースにおける混種語の使用率は固有名詞を除く自立語の 5-10% 程度を占めていた。

秋元（2010）は、混種語を「合成語の一種で、語種の異なる語や、また、語種の異なる接頭辞・接尾辞が結合してできた語」（同: 67）と定義しているが、本調査では前述のとおり『新・はじめての日本語教育 基本用語辞典』（2004）に従い、湯桶読み・重箱読みも混種語に含めている。混種語は和語・漢語・外来語の組み合わせでいろいろな種類のものであり、名詞のほか、動詞・形容詞等さまざまな品詞の語が想定されるが、ニュースの中での出現数はさほど多くはなかった。

混種語は湯桶読み・重箱読みを例外とすれば、基本的には二つ以上の語種の語が組み合わせられて作られた語であり、「省エネ」「ハッキングする」のように出題基準の範囲内に収まらない級外の語も多い。そのため、混種語の使用数の多少が読解文としてのニュースの難易度を左右する要素の一つになりうると考えられる。

まず、混種語がやさしい日本語ニュース・一般ニュースで使用された固有名詞を除く自立語に占める比率を図 25 に示す。図 25 に示すように、混種語の使用率をみた場合、やさしい日本語ニュース・一般ニュースともに異なり語数よりも延べ語数のほうが使用率が低い。そのため、混種語をニュースのすべての語彙と比べた場合、使用頻度が低いと言える。

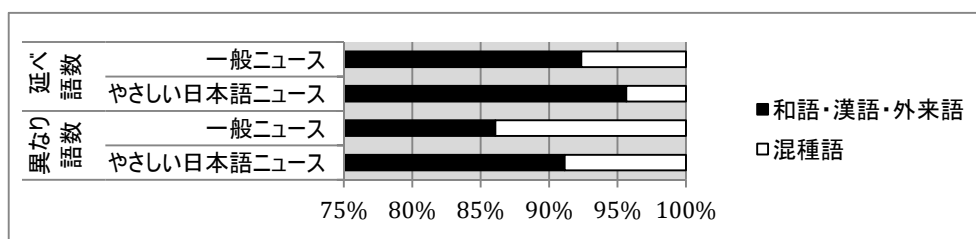


図 25 混種語の使用率

また、やさしい日本語ニュースと一般ニュースを比べた場合、図 25 に示したようにやさしい日本語ニュースのほうが延べ語数で 3% 程度、異なり語数で 5% 程度低くなっていた。このように混種語の使用数が書き換えで少なくなったのは、(67) のように、混種語を使わずに表現できる文脈が少なからず存在したためである。

(67) a. 雨期を迎えているネパールとインドで大雨による洪水や地滑りが相次ぎ、(後略)。

(般: 164)

b. ネパールやインドは、今、雨がたくさん降る季節です。(中略) たくさん雨が降って、川の水があふれたり、山が崩れたりしました。(や: 164)

次に、表 36 にそれぞれの品詞で使用された混種語の数、図 26 にそれぞれの品詞で使用された混種語の構成を示す。

表 36 混種語の品詞別使用数 (語)

		名詞	動詞	形容詞	副詞	連体詞
延べ語数	一般ニュース	417	2,170	31	55	1
	やさしい日本語ニュース	309	384	15	17	0
異なり語数	一般ニュース	94	613	12	16	1
	やさしい日本語ニュース	46	122	4	5	0

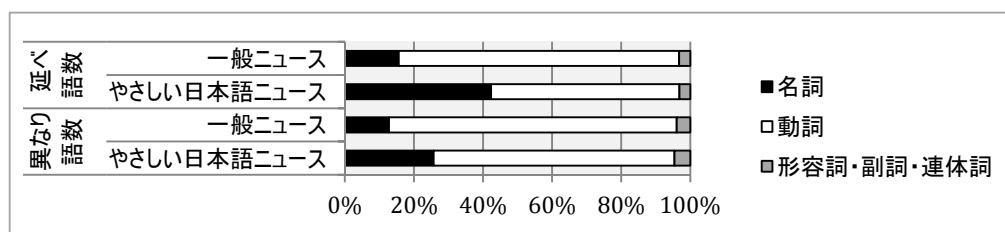


図 26 混種語語彙の構成 (品詞)

表 36 に示したように、混種語で際立って多かったのは一般ニュースでの動詞の使用数である。異なり語数では混種語の名詞の 6 倍強、延べ語数でも名詞の 5 倍強使われていた。一般ニ

ユース全体の語彙量は本章「1. 品詞別の特徴」で表 15「品詞別使用数（語）」に示したように名詞が動詞の 2.6-3.5 倍程度多いことからしても、混種語における動詞の多さは特徴的である。加えて、やさしい日本語ニュースについても一般ニュースほどではないものの、動詞の使用数は名詞よりも多く、異なり語数では 3 倍弱使われていた。ただし、延べ語数は名詞と動詞とではさほどの違いがなく、図 26 に示したようにやさしい日本語ニュースの延べ語数は他の分類よりも動詞の使用率が少ない一方で名詞の使用率が高かった。このことから、やさしい日本語ニュースで使用された混種語の名詞は動詞よりも使用頻度が高いと言える。

また上述のとおり、混種語では動詞の使用数が多いが、これはサ変動詞をつくる「～する」の生産性の高さが反映されたものである。対象とした NHK のニュースで使用されていたサ変動詞の中には「値上げする」「取り引きする」など和語も一部みられたが、多くは「連動する」「ノミネートする」のように異なる語種の語と結びついて混種語を生成しているものであった。こうしたことから、混種語の動詞に占めるサ変動詞の割合は、図 27 に示すように高いものとなった。

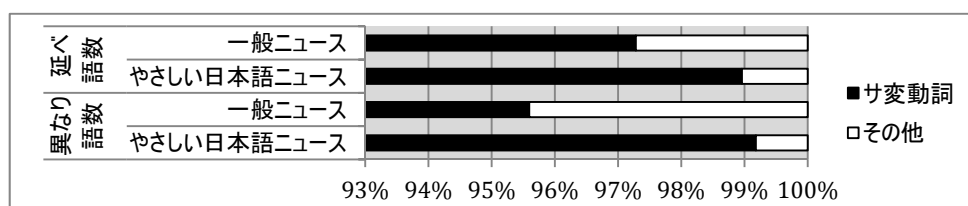


図 27 混種語動詞の内訳（サ変動詞・その他）

図 27 に示したように、やさしい日本語ニュースと一般ニュースで使用された混種語動詞のうち、約 95-99% はサ変動詞である。サ変動詞以外の混種語動詞の例としては、「講じる」「役立つ」「封じ込める」などの例が挙げられ、一般ニュースでは異なり語数 27 語、延べ語数 59 語であったが、やさしい日本語ニュースでのサ変動詞以外の混種語動詞は「頑張る」1 語であり、延べ語数は 4 語であった。

続いて、混種語の名詞における湯桶読み・重箱読みの使用について考える。本調査では湯桶読み・重箱読みを混種語に含めていることは上述したが、秋元（2010）が「重箱読みの語や（中略）湯桶読みをする語を混種語とする考え方もある」（同: 68）というように、湯桶読みや重箱読みの語を混種語する考えは広く受け入れられているものだとは言い難い。

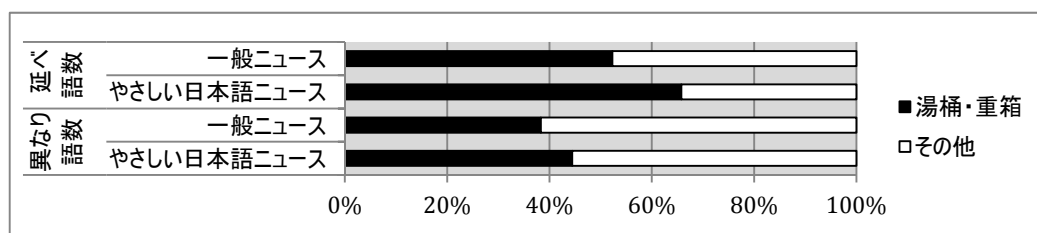


図 28 混種語名詞の内訳（湯桶／重箱読みの語・その他）

図 28 に示したのは、やさしい日本語ニュース・一般ニュースで使用されていた混種語の名詞の中での湯桶読み・重箱読みの使用率であり、混種語名詞に占める湯桶読み・重箱読みの比率は混種語の名詞全体のおよそ半数であった。このため、湯桶読み・重箱読みを混種語として認めないという立場では、表 36 に示した混種語名詞の使用数は約半数となり、混種語のうち動詞の使用数がさらに群を抜いて多いという結果が導かれることとなる。

混種語の形容詞について、イ形容詞はやさしい日本語ニュースでは「すばらしい」「しかたない」の 2 語あった。そのうち、「すばらしい」は使用回数 10 回で比較的高い頻度で用いられていた。一般ニュースでは上記 2 語に加え、「余儀ない」「素早い」「気持ちいい」「興味深い」「愛くるしい」「注意深い」「いち早い」「切ない」の異なり語数 10 語が用いられていた。そのうち、最も頻度が高い語はやさしい日本語ニュースと同様に「すばらしい」で 8 回使用されており、「余儀ない」5 回、「素早い」4 回のように複数回使用された語もあった。(68) (69) に「余儀ない」「素早い」がやさしい日本語に書き換えられた例を示す。

(68) a. 東京電力福島第一原子力発電所の事故で避難を余儀なくされ、(後略)。(般: 201)

b. 2011 年 3 月に福島県にある東京電力の原子力発電所で事故がありました。このため、川俣町に住んでいた渡邊はまさんは、家を出て福島市で生活をしなければならなくなりました。(や: 201)

(69) a. このあともドイツは中盤でブラジルからボールを奪い、ゴール前に素早くパスをつないで、5 分間で 3 点を追加し、前半だけで 5 対 0 と大きくリードしました。(般: 32)

b. ドイツは、ゴールの前に速いパスをしたりして、前半に 5 点、(後略)。(や: 32)

「余儀ない」は (68) に示した例のように、1 語対 1 語での書き換えはされておらず、該当する部分が同じ情報を含むような別の表現に書き換えられていた。また、「素早い」については前後の文脈が省略されている例が多かったものの、(69) に示すように、対応箇所がある場合には類義語の「速い」が用いられていた。

一方、混種語のナ形容詞もイ形容詞と同様に使用数は少なく、やさしい日本語ニュース・一般ニュースともに異なり語数は 2 語で、やさしい日本語ニュースでは「大好き」と「だめ」、一般ニュースでは「大好き」と「気軽」が使用されていた。(70) a に「だめ」が使用された (70) b のやさしい日本語ニュース文の元のニュース文を示す。

(70) a. 「タイム・ワーナー側が断ったため、現在は協議していない」(般: 59)

b. 「タイム・ワーナーがだめだと言ったため、今は相談していない」(や: 59)

(70) b に示した「だめ」はやさしい日本語ニュースでのみ使用された語だが、元の一般ニュースでは (70) a に示したように「断る」が使用されていた。「断る」は 2 級の語、「だめ」は

3級の語であり、「断る」という行為を表す動詞を「だめと言う」というように発言に置き換えることで意味を変えずに難易度を下げていた。「だめ」は形容詞ではあるが、発言の引用であることから、この(70)の書き換えは(10)に示した「感謝する」という行為を表す動詞を「ありがとう」という感動詞を含む表現に書き換えられていた例と類似したものである。

(10) a. ネイマール選手は「(中略) 僕のために書いてくれたメッセージなどすべての応援と愛情に感謝したい」と心境を話しました。(般: 24)

b. ネイマール選手は「(中略) 皆さんからの応援と愛情、ありがとうございます」と話しました。(や: 24)

なお、一般ニュースでのみ使用されていた混種語のナ形容詞「気軽」を含む前後の文はやさしい日本語ニュースへの書き換え過程で削除されていた。混種語の副詞については、混種語の形容詞よりも使用数が多い。しかし、異なり語数でみた場合、やさしい日本語ニュース・一般ニュースともに出現した語のおよそ半分は1回しか使用されていない。ただし、「特に」のように、やさしい日本語ニュースや一般ニュースで10回前後と、ほかの混種語の副詞よりも数多く使われる語も中には存在した。

混種語の連体詞は一般ニュースでのみ使用され、やさしい日本語ニュースでは使用されていない。なお、一般ニュースで使用された語は「確たる」で、やさしい日本語ニュースへの書き換えでは「確たる」を含む前後の文は省略されていた。

最後に、混種語の品詞別の使用頻度について述べる。表37に混種語1語あたりの平均使用回数を示す。

表 37 混種語 1 語あたりの品詞別平均使用回数 (回)

	名詞			動詞			形容詞	副詞	連体詞
	全体	湯・重 ⁴⁴	その他	全体	サ変	その他			
一般ニュース	4.4	6.1	3.4	3.5	3.6	2.2	2.6	3.4	1.0
やさしい日本語ニュース	6.7	9.8	4.1	3.1	3.1	4.0	3.8	3.4	

表37に示したように、混種語はいずれの品詞でも平均使用回数が10回を超える分類はなく、ほかの語種と比較し、平均使用回数は低い。ただし、やさしい日本語ニュースの固有名詞を除く自立語の平均使用回数7回、一般ニュースの6回と比べると、名詞についてはやさしい日本語ニュースの語彙が比較的平均値に近い。また、湯桶読み・重箱読みの語についてはやさしい日本語ニュース・一般ニュースともに平均使用回数を上回っていた。特にやさしい日本語ニュースについては平均して1語が10回近く使用されていたことになる。

⁴⁴ 湯桶読み・重箱読みの語。

和語・漢語の名詞の平均使用回数はやさしい日本語ニュースではそれぞれ 8.2 回・6.2 回、一般ニュースではそれぞれ 7.5 回・6.5 回であり、ニュースで使用された湯桶読み・重箱読みの語は和語・漢語と比較し使用回数に大きな違いはみられない。湯桶読み・重箱読みでやさしい日本語ニュースで 20 回以上使用された語は「場所」「値段」「仕事」「大勢」の 4 語、一般ニュースで 20 回以上使用された語は「地元」「試合」「場所」「大勢」の 4 語であり、いずれも特別使用範囲が限られる語ではなく、こうした結果が生じたと思われる。なお、一般ニュースで平均使用回数が高かった「地元」「試合」について、「試合」はやさしい日本語ニュースにおいても 13 回と比較的多く使用されていたが、「地元」の使用例はなく、(71) に示すような書き換えがなされていた。

- (71) a. 福島県の人が地元の魚を食べる機会が少なくなっていることを受けて、6 日、地元で取れたカニやメヒカリを味わってもらおう試食会が福島県いわき市で開かれました。(般: 25)
- b. 福島県の人がふるさとの魚を食べる機会も少なくなっています。このため、福島県いわき市の沖で取れた魚の料理を無料で食べる会をいわき仲買組合が開きました。(や: 25)

(71) に示したように、「地元」は「ふるさと」や地名を含む表現に置き換えられていた。なお、「ふるさと」と「沖」は 2 級の語、「地元」は 1 級の語であるため、語の難易度は下げられている。ただし、1,2 級の語はいずれも難易度の高い語であることに違いはなく、「地元」という 1 級の語 1 語を 2 回使用していた文脈を「ふるさと」「沖」という 2 級の語を 2 語使用する文脈に書き換えたことが結果的に文をやさしくしているかについては疑問が残る。

また、混種語の名詞のうち、湯桶読み・重箱読みの語を除いた語についてはやさしい日本語ニュース・一般ニュースともに平均使用回数が少ない。この分類に含まれる語の中には「エボラ出血熱」や「危険ドラッグ」のように使用回数がやさしい日本語ニュース・一般ニュースともに高い語もあった。しかし、そうした語も含め「定置網」「ヨウ素」「お中元」のように限られた内容でしか使用できない語が大半を占めており、平均使用回数が多くはならなかった。動詞・形容詞・副詞・連体詞についても平均使用回数が少ない。これは、これらの品詞に目立って多く使用されていた語がなく、使用回数 1 回の語も少なくなかったためである。

以上、ニュースで使われた混種語についてみた。混種語の品詞は動詞が最も多く、動詞の 95% 以上はサ変動詞であった。また、混種語の名詞の約半数は湯桶読み・重箱読みの語であった。さらに、一般ニュースで使われていた混種語の中には、ほかの語種の語で書き換えられる語が少なからず存在することがわかった。加えて、混種語は湯桶読み・重箱読みの語を例外とすれば、和語・漢語と比べ平均使用回数が少ない語種だとわかった。

3. 難易度別の特徴

本章ではやさしい日本語ニュースと一般ニュースの語彙特徴を明らかにするため、1節で品詞、2節で語種の観点からニュースで得られた語彙を観察した。本章の最終節として3節では、やさしい日本語ニュースと一般ニュースの語彙を難易度の観点から観察する。

なお、既述のとおり本調査では旧日本語能力試験の出題基準を基に語彙の難易度を判定している。ただし、固有名詞と補助動詞は難易度の判定を出題基準から行うことは不可能なため対象外とし、外来語のうち記号・アルファベットによる表記の語は出題基準の記載の有無にかかわらず難易度が低いと判断し、4級語彙に計上した。また、先述のように本稿では3-4級の語彙を難易度が低い語彙、2級以上の語彙を難易度が高い語彙と考えている。これはNHKが提供しているやさしい日本語ニュースには基本的に3-4級語彙で書き換えを行うという原則（田中他 2013a: 22）があるためである。はじめに、対象としたニュースから得られた固有名詞と補助動詞を除く自立語の難易度別の使用数を表 38、使用率を図 29 に示す。

表 38 難易度別使用数（語）

		4級	3級	2級	1級	級外	計
延べ語数	一般ニュース	7,613	5,120	10,736	4,280	5,721	33,470
	やさしい日本語ニュース	7,583	3,409	2,627	509	1,029	15,157
異なり語数	一般ニュース	482	407	1,611	884	1,923	5,307
	やさしい日本語ニュース	467	396	616	134	342	1,955

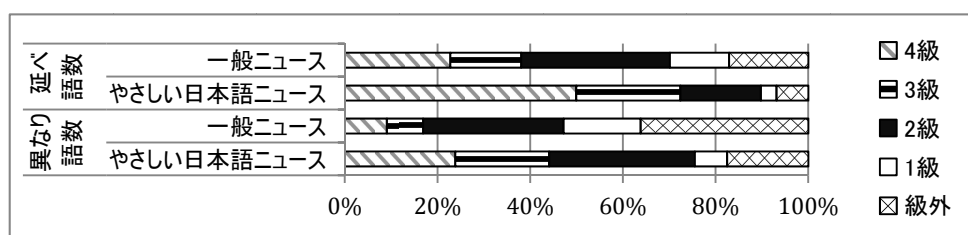


図 29 語彙の構成（難易度）

まず、異なり語数について述べる。表 38 に示したように、やさしい日本語ニュースから得られた語彙は一般ニュースの3分の1強、およそ37%だが、やさしい日本語ニュースと一般ニュースの3-4級の異なり語数を比べると、使用数はほぼ同じである。他方、2級以上の語彙についてはやさしい日本語ニュースの使用数が一般ニュースでの使用数を大きく下回っていた。ただし、やさしい日本語ニュースの語彙量は一般ニュースよりも限られていることから、使用率の面では図 29 に示したように、3-4級語彙ではやさしい日本語ニュースが一般ニュースの約2倍の割合になっている。また、2級語彙はやさしい日本語ニュース・一般ニュースともにほぼ同じ割合で、1級と級外の語彙ではやさしい日本語ニュースが一般ニュースのおよそ

2分の1の割合であった。

やさしい日本語ニュースに限ってみれば、2級、4級、3級、級外、1級の順に使用数が多い。NHKでは一般ニュースからやさしい日本語ニュースへの書き換えを3-4級語彙の範囲内で行うことを原則としているとはいえ、実際には異なり語数では2級の語彙が最も多いという結果が出た。こうした2級語彙の極端なまでの使用数の多さは、出題基準で対象としている語彙が4級800語、3級1,500語、2級6,000語、1級10,000語というように2級で語彙が大幅に増加していることに起因したものだと考えられる。

難易度の低い3-4級語彙と難易度の高い2級以上の語彙に二分すると、やさしい日本語ニュースでは難易度の低い語彙は45%程度、一般ニュースでは17%程度であり、やさしい日本語ニュースのほうが難易度が低い語彙の使用率が当然ながら高い。それでも、依然として使用率は半分に届いていない。語数で見ればやさしい日本語ニュースでは難易度の低い語は863語、難易度の高い語は1,092語である。固有名詞を除いても2か月間のニュースで異なり語数にして1,000語以上の難易度の高い語が残されており、3-4級語彙が「やさしい語彙」であるとするれば、NHKのやさしい日本語ニュースが「やさしい語彙」で書かれているとは言い難い。

しかし、一般ニュースにおいては難易度の低い語彙・難易度の高い語彙はそれぞれ889語・4,418語であり、難易度の高い語彙はやさしい日本語ニュースのおよそ4倍である。こうした数の比較から、やさしい日本語ニュースは必ずしも「やさしい語彙」だけで読めるわけではないものの難易度の高い語彙が大幅に減らされているニュースであることがわかる。(72)でやさしい日本語ニュース・一般ニュースにおける難易度の高い語彙の使用実態をみる。

- (72) a. ウクライナ①政府のグロイスマン②副③首相は21日、④首都キエフで⑤会見し、⑥すべての⑦遺体を⑧確認したとして「⑨捜索⑩活動は⑪終了した」と⑫述べました。⑦遺体は⑬保冷⑭設備を⑮備えた⑯列車に⑰収容され、21日夜、⑱日本時間22日⑲未明に⑳現場を出発しました。⑦遺体の㉑移送を㉒巡っては、㉓現地を㉔掌握する親ロシア派が㉕妨害して㉖列車を㉗動かさせませんでした。㉘墜落から4日を㉙経て親ロシア派との間で㉚合意に㉛達したことで㉜ようやく㉝移送が始まりました。(般: 71)
- b. ウクライナのグロイスマン①副②首相は21日、「③遺体をさがす④活動は終わりました」と言いました。21日夜、③遺体を⑤列車に⑥乗せてウクライナのハリコフに⑦運び始めました。今まで、親ロシア派(=ロシアに⑧考えが近い人たち)が邪魔をして、③遺体を⑥乗せた⑤列車は出発できませんでした。親ロシア派と⑨話し合っ、出発することができました。(や: 71)

(72) はどちらも同じ内容を伝えたニュースの一部である。一般ニュース(72) aにおいては難易度の高い語は異なり語数31語、延べ語数35語用いられていた。一方、やさしい日本語ニュース(72) bにおいて使用された難易度の高い語は異なり語数9語、延べ語数13語であり、一

般ニュースの3分の1程度に抑えられている。その理由として「ウクライナ政府」から「ウクライナ」に、「保冷設備を備えた列車」から「列車」に記述を変えたように、省略されてもニュースの理解に支障がない難易度の高い語を含む文脈が省略されていたことが挙げられる。

なお、表38に示したように2級以上の難易度の高い語彙は延べ語数では一般ニュースで20,737語、やさしい日本語ニュースで4,165語、異なり語数では順に4,418語、1,092語使われており、やさしい日本語ニュースでは延べ語数・異なり語数で一般ニュースの80%・75%に当たる数の語が減らされていた。例示した(72)ではやさしい日本語ニュース(72)bの難易度の高い語の数は延べ語数では一般ニュース(72)aの63%、異なり語数では71%減らされており、ニュース全体よりも難易度の高い語数の減少率が小さい。ただし、やさしい日本語ニュースへの書き換え過程で削除された多くの段落にも難易度の高い語があるため、(72)が全体と比べ難易度の高い語があまり減らされていないニュースだというわけではない。

また、やさしい日本語ニュースでは常に難易度の高い語彙の異なり語数が延べ語数よりも少ないわけではない。本章「2.4. 混種語」で例示した(71)の「地元」の例のように、一般ニュースで難易度の高い語1語が複数回使用されていた箇所がやさしい日本語ニュースで難易度の高い語2語で書き分けられたような例も一部存在していた。

- (71) a. 福島県の人が地元の魚を食べる機会が少なくなっていることを受けて、6日、地元で取れたカニやメヒカリを味わってもらおう試食会が福島県いわき市で開かれました。(般: 25)
- b. 福島県の人がふるさとの魚を食べる機会も少なくなっています。このため、福島県いわき市の沖で取れた魚の料理を無料で食べる会をいわき仲買組合が開きました。(や: 25)

次に、延べ語数について述べる。やさしい日本語ニュースと一般ニュースの使用数を比べると、4級語彙は双方ほぼ同数だが、使用率はやさしい日本語ニュースが2倍程度高く、やさしい日本語ニュースでは延べ語数全体の約半数の語彙が4級語彙で構成されていた。出題基準の4級語彙はわずか800語であり、NHKでは3-4級語彙での書き換えを原則としていたにもかかわらず3級語彙と比べ4級語彙が圧倒的に多く使用されているということは一つの特徴だと言える。ただし、「cm」等の単位や「LCC」のようなアルファベット表記の語を4級語彙として計上したことが4級語彙の延べ語数を数多く見せている一因でもある。また、3-4級語彙についてやさしい日本語ニュースと一般ニュースを比べると、一般ニュースでは約38%だった3-4級語彙が、やさしい日本語ニュースでは約73%とおよそ倍の使用率になっていた。(73)に難易度の低い語彙・高い語彙がやさしい日本語ニュース・一般ニュースでどのように分布しているのか、その実例を示す。

- (73) a. 香港では1日、イギリスから中国に返還されて17年となったのにあわせ、中国共産党の1党支配に批判的な市民団体の呼びかけで大規模なデモ行進が行われました。参加者は香

港の中心部を練り歩き、香港で中国政府の影響力が強まり高度な自治が損なわれているなどとして、中国政府に対して香港の自由な社会を尊重するよう訴えました。(般:9)

- b. イギリスが中国に香港を返してから17年になりました。1日、中国の政治を共産党だけが行っているのはよくないと考えている団体が、香港で大きなデモを行いました。この団体によると、デモには約50万人が参加しました。デモに参加した人たちは、香港の中心を歩きながら、中国の政府は香港の自由な社会を大切にするように言いました。(や:9)

(下線部:3-4級語彙、斜体字:2級以上の語彙)

一般ニュース文(73)aにおいては、固有名詞と補助動詞を除く自立語のうち難易度の低い語は延べ語数で7語、難易度の高い語は24語で、難易度の高い語は難易度の低い語の約3.4倍ある。一方、やさしい日本語ニュース文(73)bにおいては難易度の低い語・難易度の高い語はそれぞれ20語・10語で、難易度の高い語は難易度の低い語の2分の1である。

対象としたニュース全体では延べ語数は3-4級の使用数はやさしい日本語ニュース・一般ニュースでさほど変わらないとはいえ、わずかにやさしい日本語ニュースのほうが少ないが、上記の(73)に示す例文では一般ニュースにおける3-4級語彙は比較的少ない。これは、やさしい日本語ニュース・一般ニュースの分量の違いから生じた結果である。やさしい日本語ニュースへの書き換えにより、文字数でみた場合、ニュースの分量は第一章「4.1.資料」表8「資料の概要」に示したように元のニュースのほぼ半分になっている。そのため、ニュース文全体ではいずれのニュースにも同程度に3-4級語彙が含まれていても、やさしい日本語ニュースとそれに対応する一般ニュースの文を比較した場合、一般ニュースに含まれる3-4級語彙は必然的に少なくなっている。

続いて、延べ語数と異なり語数を比較する。使用率をみると、やさしい日本語ニュースでは4級語彙の延べ語数は約50%、異なり語数の約2倍であった。一般ニュースの4級語彙の使用率についても延べ語数は異なり語数の約2倍であり、やさしい日本語ニュースと同様の結果となった。対する最も難易度が高い級外語彙の延べ語数はやさしい日本語ニュース・一般ニュースのどちらのニュースでも比率にして、異なり語数の約半分しか使用されていなかった。4級から級外までの5段階のレベルを比べると、ニュースを問わず、級の低い語彙ほど延べ語数の比率が異なり語数と比べて高く、級の高い語彙ほど延べ語数の比率が低いことから、級の低い語彙ほど使用頻度が高く、級の高い語彙ほど使用頻度が低いとわかる。表39にやさしい日本語ニュースと一般ニュースでのそれぞれの級別語彙の平均使用回数を示す。

表39 各級の語1語あたりの平均使用回数(回)

	4級	3級	2級	1級	級外
一般ニュース	15.8	12.3	6.6	5.0	3.0
やさしい日本語ニュース	16.2	8.6	4.3	4.0	3.0

表 39 に示したとおり、それぞれの級に該当する語が 1 語あたり平均何回使用されたかをみると、上述のとおり、やさしい日本語ニュース・一般ニュースともに級が上がり語の難易度が高くなるほど、1 語あたりの使用回数が少なくなっていた。このことから、ニュースで高い頻度で使用される基本的な語は下の級ほど高い割合で存在していることがわかる。また、2-4 級の語彙は級によって使用回数に大きな違いがあったが、2 級以上の語彙では級による平均使用回数に大きな差はなかった。さらに、それぞれの級別語彙の平均使用回数をやさしい日本語ニュース・一般ニュースで比べると、4 級語彙ではやさしい日本語ニュースの使用回数が一般ニュースの使用回数を上回ったが、1-3 級では一般ニュースの使用回数がやさしい日本語ニュースよりも多く、級外語彙では双方のニュースの平均使用回数が変わらなかった。

そこで、ここでは級外語彙の平均使用回数が書き換えにより減らなかった理由について考える。級外語彙の使用は表 38 に示したようにやさしい日本語ニュースでは一般ニュースの 5 分の 1 以下で、少ない。書き換えによる級外の語の減らされ方の例として (74) を挙げる。

(74) a. 天皇皇后両陛下が菊の花で飾られた式壇に着かれたあと、安倍総理大臣が「戦没者の皆様の貴い犠牲の上に今、私たちが享受する平和と繁栄があります。そのことを片時たりとも忘れません。歴史に謙虚に向き合い、その教訓を深く胸に刻みながら、今を生きる世代、そして明日を生きる世代のために国の未来を切り拓いてまいります」と式辞を述べました。
(般: 161)

b. 式では、安倍総理大臣が「戦争で亡くなった人たちのおかげで、日本は平和で豊かな国になりました。そのことを決して忘れません」と言いました。(や: 161)

(下線部: 書き換えで省略された箇所、斜体字: 級外の語)

級外の語の減らし方としては (74) に挙げた例のように、一般ニュース (74) a で存在した級外の語を含む文脈がやさしい日本語ニュース (74) b で省略されているようなものや、下の級の語彙で書き換えられたものなどが数多くあった。(74) a に現れた「皇后」「陛下」「菊」「壇」「総理」「戦没」「片時」「切り拓く」「式辞」の 9 語の級外の語についてみれば、やさしい日本語ニュース全体を通して使用されたのは「総理」1 語で使用回数は 4 回である。一般ニュースでは順に 1 回・2 回・2 回・2 回・11 回・3 回・1 回・1 回・1 回の計 24 回で平均使用回数はおよそ 2.7 回であり、その平均使用回数はやさしい日本語ニュースよりも少ない。

また、書き換え後も使用されている級外の語として少なからず存在したのは (75) (76) b のやさしい日本語ニュース文で使われていた語のように、省略できる文脈でなく、かつ、スポーツ用語や病名などの専門用語の中には置き換えられる語が存在しない、あるいは置き換えることが難易度を下げることにはつながらない語である。

(75) a. ドイツがボールを支配してクロス選手を中心とした連係でゴールを狙ったのに対し、アルゼンチンはエースのメッシ選手のドリブル突破などを起点に攻め(後略)。(般: 44)

- b. ドイツは、クローズ選手などがシュートしました。アルゼンチンは、メッシ選手がドリブルしながら進んでいきました。(や: 44)
- (76) a. 「手足口病」や、発熱やのどの腫れなどの症状が出る咽頭結膜熱、いわゆる「プール熱」の患者も増えていて、今後、流行する恐れがあるということです。「ヘルパンギーナ」を含め、これらの病気は子どもが夏にかかりやすい感染症で、いずれもせきやくしゃみなどで感染し、(後略)。(般: 68)
- b. ヘルパンギーナや手足口病、咽頭結膜熱は、せきやくしゃみなどでうつります。(や: 68)
- (下線部：級外語彙)

(75)に現れた「連係」「エース」「ドリブル」「シュートする」「ドリブルする」の5語の級外の語はやさしい日本語ニュース全体を通して、異なり語数2語、延べ語数3語用いられ、平均使用回数は1.5回で、一般ニュースでは異なり語数3語、延べ語数5語用いられ、平均使用回数はおよそ1.7回である。また、(76)に現れた「手足口病」「発熱」「腫れ」「咽頭結膜熱」「プール熱」「ヘルパンギーナ」の6語の級外の語はやさしい日本語ニュース全体を通して、異なり語数4語、延べ語数11語用いられ、平均使用回数は2.75回で、一般ニュースでは異なり語数6語、延べ語数10語用いられ、平均使用回数はおよそ1.7回である。

このように、やさしい日本語ニュースにおいては級外の語の使用は少なくなっていたものの、1語あたりの使用回数については一般ニュースと比較しても少なくなかった。続いて、それぞれの級別の語彙がどのような品詞や語種の語で構成されているのか、下位レベルの語彙から順に述べる。

3.1. 3-4 級語彙

NHKでは一般ニュースからやさしい日本語ニュースへの書き換えを3-4級語彙で行うことを原則としている。そのため、NHKでは3-4級語彙を一つの語彙群として捉えていると判断し、ここでは3-4級の語彙を一括して扱う。ただし、3級と4級受験の目安として、『日本語能力検定試験出題基準』(2002)では4級は150時間程度学習し初級前半を修了したレベル、3級は300時間程度学習し初級後半を修了したレベルと定められていたように、4級合格レベルであるか、3級合格レベルであるかによって初級で扱える教材になりえるか否かが異なる。

しかしながら、実際には図29「語彙の構成(難易度)」に示したように、やさしい日本語ニュースにおいても異なり語数では3-4級語彙は50%に届いておらず、初級後半レベルなどでやさしい日本語ニュースを教材として使用するのには困難が伴うと思われる。それでも、図29にみられるように3-4級語彙の分布はそれぞれに異なり、初級前半・初級後半とされる語彙がそれぞれどのように分布しているのかみることによりやさしい日本語ニュースの語彙のレベルをより明確に測ることが可能になると考えた。そのため、3級と4級の語彙の比較も行い、共通点や相違点についても考えることとする。まず、3-4級語彙の品詞別の使用数を表

40、その構成を図 30 に示す。

表 40 3-4 級語彙の品詞別使用数 (語)

		名詞	動詞	形容詞	副詞	連体詞	接続詞	感動詞
延べ 語数	一般ニュース	6,953	4,207	718	326	344	185	0
	やさしい日本語ニュース	5,123	4,257	778	409	283	141	1
異なり 語数	一般ニュース	505	240	86	46	5	7	0
	やさしい日本語ニュース	483	229	91	50	5	4	1

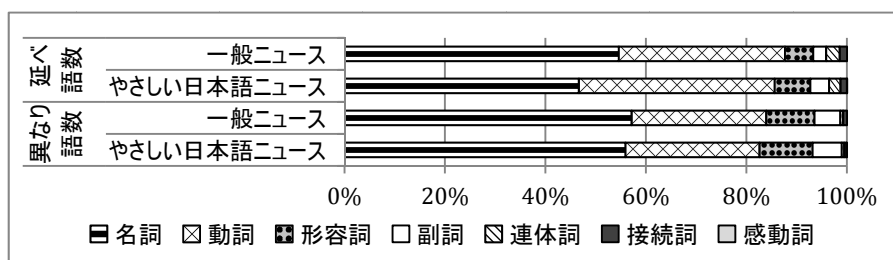


図 30 3-4 級語彙の構成 (品詞)

表 40 に示したように、ニュースで使用された 3-4 級語彙はやさしい日本語ニュース・一般ニュースともにさほどの違いはみられなかった。しかし、接続詞については、使用数がもともと少数ながらも、やさしい日本語ニュースでは一般ニュースの 2 分の 1 程度の語しか使われておらず、ほかの品詞とは異なる結果となった。使用された接続詞を列挙すると、やさしい日本語ニュースでは「そして」「しかし」「でも」「また」の 4 語、一般ニュースではその 4 語に加えて、「それに」「すると」「または」の 3 語の計 7 語である。

なお、一般ニュースで使われた 7 語の接続詞のうち、双方のニュースで共通して使われていた 4 語は 4 級の語、残りの 3 語は 3 級の語である。本来、書き換えは 3-4 級語彙で行うことが原則とされているため、一般ニュースで使用された 7 語の接続詞に対して使用の制限はかからないはずである。しかし、このように 3 級の接続詞のみが削除されていたことから、やさしい日本語ニュースでは 3 級語彙に対しても書き換えの際一定の制限が加えられているとも考えられる。しかし、4 級語彙のほうが基礎的な語彙が多いことから偶然招かれた結果であるとも考えられ、書き換え基準についての判断はつかなかった。

また、連体詞は接続詞と同様に異なり語数は少ないものの、延べ語数はやさしい日本語ニュース・一般ニュースともに接続詞よりも 100 語以上多く使用されていた。なお、やさしい日本語ニュースで使用された連体詞は使用数が多い順に「この」「大きな」「その」「どの」「小さな」の 5 語、一般ニュースで使用された連体詞は「この」「その」「大きな」「どの」「あの」の 5 語であり、やさしい日本語ニュースでは「あの」、一般ニュースでは「小さな」の使用例はなかった。(77) は「小さな」が使用されたやさしい日本語ニュースとその元のニュース、(78) a は「あの」が使用された一般ニュースの例である。

- (77) a. 昭和の風景をイメージしたジオラマには、日本で初めて時速200キロを超えた「0系」と呼ばれる初代の車両の模型が走っています。(般: 62)
- b. 昭和の景色の中を、東海道新幹線の最初の車両「0系」が走る小さな模型もあります。(や: 62)
- (78) a. 「あのような時間帯にゴールを決められたのは、(後略)」(般: 44)
- b. (対応箇所なし) (や: 44)

(77) b では「小さな模型」という語句が使用されているが、(77) a には「模型」との記述しかない。しかし、「小さな」は書き換えの際に加えられた情報ではなく、(77) a の「ジオラマ」という削除した語に含まれていた意味を補うためのものである。(78) a のような「あの」の使用例は1例で、やさしい日本語ニュースではこの発言は省略されたことから、やさしい日本語ニュース文で「あの」に対応する文は得られなかった。

また、表 40 に示した語数について、接続詞以外で特徴がみられた品詞は形容詞と副詞である。形容詞・副詞はほかの品詞の語彙とは違い、延べ語数・異なり語数ともにやさしい日本語ニュースの語数が一般ニュースよりも多かった。形容詞のうちやさしい日本語ニュース・一般ニュースで共通した語は79語あり、やさしい日本語ニュースにのみ用いられた語は14語、一般ニュースにのみ用いられた語は7語あった。こうした片方のニュースでのみ使用された語の大半は使用頻度が低い語である。ただし、「有名」についてはやさしい日本語ニュースでは12回と比較的多く使用されていたにもかかわらず、一般ニュースでは1語も使用されていなかった。(79) (80) にやさしい日本語ニュースで「有名」が使用された例とそれに対応する一般ニュース文を示す。

- (79) a. メドページェフ首相は、訪問先で撮影した写真をインターネット上に掲載するなどツイッターで頻繁に情報発信することで知られていて、(後略)。(般: 159)
- b. メドページェフ首相は、ツイッターでよく情報を出すことで有名です。(や: 159)
- (80) a. 大阪の三大夏祭りの一つ「天神祭」が24日から始まるのを前に、(後略)。(般: 79)
- b. 大阪の有名な夏のお祭り「天神祭」をみんなに楽しんでもらおうと、(後略)。(や: 79)

やさしい日本語ニュースで「有名」が使用された元の文では、(79) a のように「知られている」という動詞からの書き換えや、(80) a のような「三大〇〇」といった熟語からの書き換えなどがあつた。副詞は形容詞よりもやさしい日本語ニュース・一般ニュースで共通して用いられた語は少なく31語で、やさしい日本語ニュースにのみ用いられた語は19語、一般ニュースにのみ用いられた語は15語あつた。そのうち、やさしい日本語ニュースでのみ使用された「もっと」と「いつも」はそれぞれ31回・10回と比較的多く使用されていた。一方、一般ニュースでのみ使用された語の中に高頻度で用いられたものはなかった。まず、(81) (82) にやさ

しい日本語ニュースで「もっと」が使用された例とそれに対応する一般ニュースを示す。

- (81) a. 今後もさらに理解してもらえようPRを続けていきたい (般: 12)
 b. もっと多くの人に協力してもらおうことができるようにPRを続けていきたいです (や: 12)
- (82) a. 感染に菌止めがかからない状況に危機感を示しました。 (般: 115)
 b. NGOは、今のままではエボラ出血熱はもっと広がってしまうと言っています。 (や: 115)

(81) に示した例のように、「もっと」が使用された文脈では「さらに」のように1対1で対応する語が存在するものもあった。しかし、(82)のように文全体の意味だけを残し、全く別の表現に書き換えている例も22例と少なからずあり、具体的に対応する語があったのは「さらに」と対応する6例のほか、「最大限」「一層」「引き続き」と対応するそれぞれ1例であり、「もっと」に対応する語が一般ニュースには存在しないもののほうが多かった。次に、(83)(84)にやさしい日本語ニュースで「いつも」が使用された例とそれに対応する一般ニュース文を示す。

- (83) a. ふだん見ることができない海の生き物の夜の様子を観察する (後略)。 (般: 180)
 b. 海で生きる動物が、夜は何をしているのか、いつもはなかなか見ることができません。
 (や: 180)
- (84) a. キャベツが平年より23%高くなっているほか、(後略)。 (般: 160)
 b. キャベツはいつもの年より23%、白菜も41%高くなりました。 (や: 160)

「いつも」についても、(83)に示すように1対1で対応する語が存在するような例、先に例示した(80)の「三大夏祭り」が「有名な夏のお祭り」に書き換えられた例と同様、「平年」という語を分解し、「いつもの年」と説明をするような形に書き換えた(84)のような例などがあった。こうした形容詞「有名」や副詞「もっと」「いつも」の例から、やさしい日本語ニュースにおいては一般のニュースではニュースの語彙として使用されていない難易度の低い語であっても比較的高頻度で出現する語が存在することがわかった。

使用率について、やさしい日本語ニュース・一般ニュース、延べ語数・異なり語数のいずれの分類でも名詞、動詞の2種類の品詞で80%を超えており、3番目に多い形容詞は全体の10%以下である。また、その他の副詞・連体詞・接続詞・感動詞の4種類の品詞は合計しても全体の10%にも満たなかった。異なり語数と延べ語数とを比べた場合、使用率の高い3種類の品詞は名詞と形容詞では異なり語数が、動詞では延べ語数の比率が高かった。こうした結果から、使用率が高い名詞・動詞・形容詞の中で、3-4級の語彙の1語あたりの使用頻度が高い品詞は動詞であり、名詞や形容詞は動詞と比べ使用頻度が低いことがわかった。

続いて、3級と4級それぞれの語彙の延べ語数・異なり語数の使用比率を示す。まず、図31に延べ語数の品詞別構成を示す。

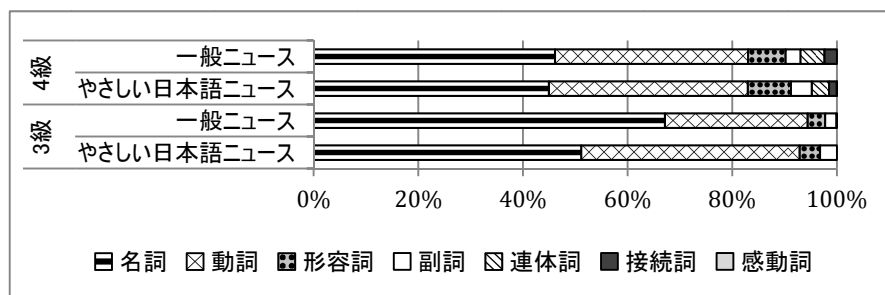


図 31 3, 4 級語彙の構成 (品詞、延べ語数)

図 31 に示したように 4 級語彙ではやさしい日本語ニュースと一般ニュースの品詞別の構成はほぼ変わらなかった。一方、3 級語彙では名詞と動詞の構成が異なり、やさしい日本語ニュースは動詞が、一般ニュースは名詞がそれぞれ 10% ほど高かった。また、3 級と 4 級の構成の違いとしては 3 級では 4 級よりも名詞が多いことが挙げられ、やさしい日本語ニュース・一般ニュースを問わず 3 級では名詞が 50% を上回っていた。動詞は級の違いよりも、やさしい日本語ニュース・一般ニュースの違いのほうが大きく、そのほかの形容詞・副詞・連体詞・接続詞・感動詞は合計しても 3 級の使用率は 4 級の使用率の半分以下の 10% 以下であった。

このことから、使用数の少なかった形容詞・副詞・連体詞・接続詞・感動詞については初級の中でもより基本的な 4 級語彙が多く使われていることがわかった。なお、形容詞・副詞・連体詞・接続詞・感動詞の中でニュースを問わず 30 回以上の頻度で用いられた語として、形容詞「高い」「多い」、副詞「初めて」、接続詞「そして」、連体詞「この」の 5 語が挙げられる。次に、図 32 に異なり語数の品詞別の構成を示す。

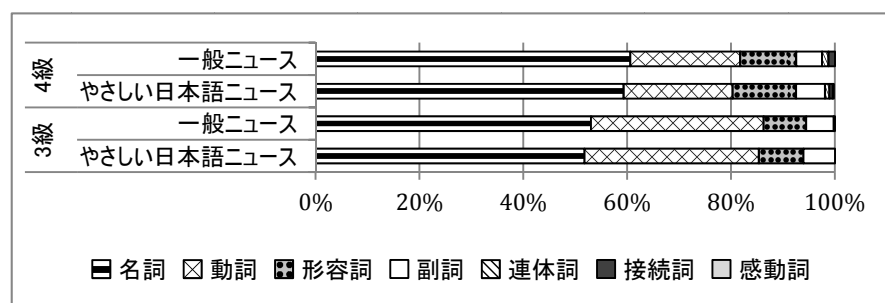


図 32 3, 4 級語彙の構成 (品詞、異なり語数)

図 32 に示したとおり、異なり語数では 3 級も 4 級もそれぞれの級でニュースによる品詞の構成に目立った違いはなく、いずれの分類でも名詞、動詞、形容詞、副詞の順に多かった。3 級と 4 級を比べると、4 級では名詞と形容詞が、3 級では動詞が比較的にかかった。名詞と動詞の比率をみると、4 級では名詞が動詞の約 4 倍使用されていた一方で、3 級では約 1.5 倍程度の使用であった。しかし、延べ語数は図 31 に示したように異なり語数とは逆に、4 級では動詞が、3 級では名詞が比較的にかかったことから、4 級語彙では名詞より動詞が、3 級語彙では

動詞より名詞が高頻度で使用されていたと言える。

ただし、やさしい日本語ニュース・一般ニュースで共通して 50 回以上使用されていた名詞と動詞をみると、4 級語彙では名詞は「人」「会社」「%」「子ども」「万」「前」「ことし」「去年」、動詞は「する」「なる」「ある」「できる⁴⁵」「言う」「話す」「出る」「使う」のそれぞれ 8 語である一方、3 級語彙では名詞は「ため」「世界」「女性」、動詞は「増える」「行う」「よる」のそれぞれ 3 語であり、高頻度語の数については品詞による違いよりも、級による違いのほうが大きかった。

次に、やさしい日本語ニュースと一般ニュースで使用された 3-4 級語彙の語種別の構成について述べる。表 41 に語種別の使用数、図 33 にその構成を示す。

表 41 3-4 級語彙の語種別使用数 (語)

		和語	漢語	外来語	混種語
延べ語数	一般ニュース	8,338	3,542	516	337
	やさしい日本語ニュース	7,724	2,538	354	376
異なり語数	一般ニュース	498	263	68	60
	やさしい日本語ニュース	488	254	59	62

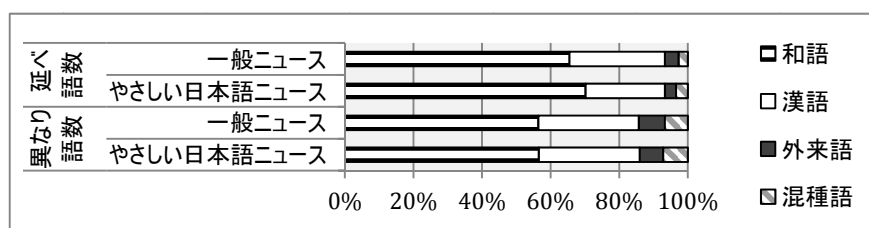


図 33 3-4 級語彙の構成 (語種)

表 41 に示したように、異なり語数ではやさしい日本語ニュース・一般ニュースによる違いはほぼみられないが、和語・漢語・外来語は一般ニュースでの使用数がわずかに多く、混種語はやさしい日本語ニュースでの使用数が多い。一方、延べ語数については一般ニュースを 100 とした場合、やさしい日本語ニュースでの使用数は和語は 90% 強、漢語・外来語は 70% 前後、混種語は異なり語数と同様にやさしい日本語ニュースのほうが使用数が多く 110% 強であった。異なり語数は表 40 「3-4 級語彙の品詞別使用数 (語)」や表 41 でニュースによる語数の大きな違いがみられなかったことから示されるように、やさしい日本語ニュース・一般ニュースで共通して使用される 3-4 級語彙が多かった。

外来語・混種語を例にとれば、外来語では双方のニュースで共通している語は 43 語、やさしい日本語ニュースでのみ使用される語は 16 語、一般ニュースのみで使用される語は 25 語であり、混種語では双方のニュースで共通している語は 47 語、やさしい日本語ニュースでのみ

⁴⁵ 一般ニュースでの表記は「出来る」。

使用される語は 15 語、一般ニュースのみで使用される語は 13 語である。このように一方のニュースにのみ使用された 3-4 級の外来語・混種語の使用回数は基本的に少なかった。ただし、やさしい日本語ニュースでのみ使用された混種語「値段」については使用数が多く、26 回であった。(85) にやさしい日本語ニュースで「値段」が使用された箇所と書き換え前の一般ニュースを示す。

(85)a. ハムやチョコレートも値上げのほか価格を変えずに量を減らす実質値上げが行われました。

(般: 37)

b. ハムやチョコレートも値段が上がったり、同じ値段で量が少なくなったりしています。

(や: 37)

(85) に示した例のように、やさしい日本語ニュースで 3 級の語「値段」が使用されていた箇所は元のニュースでは「価格」「値上げ／値上げする」の語が対応する場合が大半であった。なお、「価格」は 2 級の語で一般ニュースでの延べ語数は 33 語、「値上げ／値上げする」は級外の語で一般ニュースでの延べ語数は 52 語であり、どちらの語もやさしい日本語ニュースでは全く使用されていなかった。

3-4 級語彙の語種別の使用率は図 33 に示したように、やさしい日本語ニュース・一般ニュース、延べ語数・異なり語数の区別を問わず和語が全体の 60% 前後と最多で、次いで漢語が 20% 以上であった。また、延べ語数と異なり語数の構成にニュースによる違いはほとんどなかったものの、延べ語数ではやさしい日本語ニュースのほうが一般ニュースよりも 5% 弱和語が多く、その分漢語が少なかった。異なり語数と延べ語数を比べると、和語は延べ語数での比率が、漢語・外来語・混種語は異なり語数での比率が高かった。特に外来語と混種語については両者の差が大きかった。こうした結果から 3-4 級語彙を語種でみた場合、和語、動詞、外来語・混種語の順に使用頻度が高いことがわかった。続いて、3 級と 4 級語彙の延べ語数・異なり語数での使用率の比較をする。はじめに延べ語数の構成を図 34 に示す。

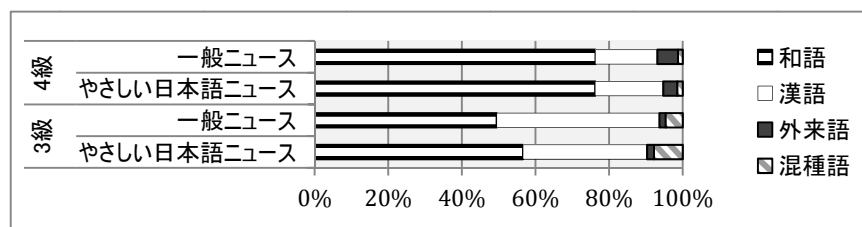


図 34 3, 4 級語彙の構成 (語種、延べ語数)

図 34 に示したとおり、延べ語数ではそれぞれの級でやさしい日本語ニュース・一般ニュースの違いによる大きな構成の違いはない。しかし、一部には違いがみられ、4 級語彙ではやさしい日本語ニュースの外来語の比率が、3 級語彙では漢語の比率が一般ニュースよりも多少低

く、3級の混種語の比率はやさしい日本語ニュースが一般ニュースよりもわずかに高い。また、4級と3級の語彙を比べると、いずれも和語、漢語の順に多いが、3位4位は4級と3級で入れ替わり、4級では外来語が、3級では混種語の比率が高かった。また、使用順位の入れ替わりこそなかったものの、3級と4級では和語と漢語の比率に大きな違いがみられた。

4級語彙では和語が全体の約75%で、漢語が約15%だったが、3級語彙では和語が約50-55%、漢語が約35-40%であった。外来語・混種語の多少については既述したが、この特徴はニュース語彙全体のものとは異なる。ニュース語彙全体では、本章「2. 語種別の特徴」で図17「語種別使用率」に示したように、一般ニュースでは混種語が、やさしい日本語ニュースでは外来語が多いという結果が出ている。そのため、3-4級以外の級の語彙で外来語・混種語の比率に大きな差がある級があり、全体数に影響を与えていると考えられる。次に、3級語彙と4級語彙の異なり語数を図35で比較する。

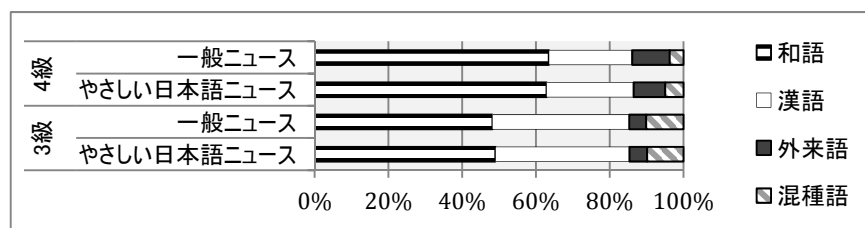


図35 3,4級語彙の構成（語種、異なり語数）

図35に示したように、3-4級語彙の語種別の使用率を異なり語数で見ると、それぞれの級のやさしい日本語ニュース・一般ニュースの語種の構成はどちらもほぼ同じである。4級語彙は使用率の高い順に和語、漢語、外来語、混種語で、3級語彙では高い順に和語、漢語、混種語、外来語となっており、延べ語数と多少の順位に違いはない。加えて、4級語彙と3級語彙を比較した場合4級語彙では3級語彙よりも和語の比率が、3級語彙では4級語彙よりも漢語の比率が高いのも延べ語数の結果と同様であった。また、外来語と混種語については3-4級間で多い語種が入れ替わってはいるものの、両者を合算した比率はすべての分類でおよそ15%程度で、3-4級のレベルによる違いもなく、語種別比率の大半を占める和語・漢語以外の使用率はニュースを問わずほぼ一定していることがわかった。

以上、NHKがやさしい日本語ニュース書き換えの原則とした3-4級の語彙について品詞と語種の特徴について述べた。3-4級語彙の品詞は名詞、動詞、形容詞の順に多く、その他の副詞・連体詞・接続詞・感動詞の使用率は合算しても10%に満たなかった。3級語彙と4級語彙を比べると、異なり語数では3級の名詞の比率が4級よりも低く、3級の動詞の比率は4級よりも高かったが、延べ語数では逆に、3級の名詞の比率が4級よりも高く、3級の動詞の比率は4級よりも低かった。このことから、名詞と動詞の使用頻度をそれぞれの級で比べた場合、3級語彙では名詞、4級語彙では動詞の使用頻度が高いことがわかった。

語種については、3-4級語彙ではいずれの分類でも和語が最も多く、次いで漢語が多いが、4級と3級ではその比率は異なり、4級語彙のほうが和語が高い比率で使用されていた。また、外来語と混種語に関しては3-4級全体ではやさしい日本語ニュース・一般ニュース、延べ語数・異なり語数の違いを問わず使用率はほぼ同率だったが、級で比べると、4級では外来語が、3級では混種語が比較的多く使用されていた。延べ語数と異なり語数の構成については、分類を問わず、和語の延べ語数の使用率は異なり語数より高く、漢語・外来語・混種語は異なり語数の使用率のほうが高いことから、和語は他の3種の語種よりも高い頻度で用いられているということがわかった。また、本項で例示した「有名」「もっと」「いつも」「値段」のように3-4級語彙の中にはやさしい日本語ニュースでは比較的高頻度で使用されている語であっても、一般ニュースでは全く使用されていない語が存在することがわかった。

3.2. 2級語彙

前項では難易度が低い3-4級語彙について述べた。本項では2級語彙について述べる。2級以上の語彙はNHKのやさしい日本語ニュースにおいて書き換えが推進される語彙である。しかし、実際には2級レベルの語彙の使用数は本節冒頭の表38「難易度別使用数（語）」に示したとおり、ほかの級の語と比べて非常に多かった。これは、出題基準では2級語彙は3-4級語彙1,500語の4倍の6,000語とされていることから、3-4級で不足している語の多くが2級語彙で補われたためだと考えられる。そうしたニュースで多用された2級語彙がどのような種類の語彙で構成されているのか、品詞と語種の面から述べる。表42に2級語彙の品詞別の使用数、図36に品詞別の構成を示す。

表 42 2級語彙の品詞別使用数（語）

		名詞	動詞	形容詞	副詞	連体詞	接続詞
延べ語数	一般ニュース	7,873	2,234	367	205	11	46
	やさしい日本語ニュース	1,937	488	39	133	0	0
異なり語数	一般ニュース	1,037	433	79	56	3	3
	やさしい日本語ニュース	435	149	22	9	0	0

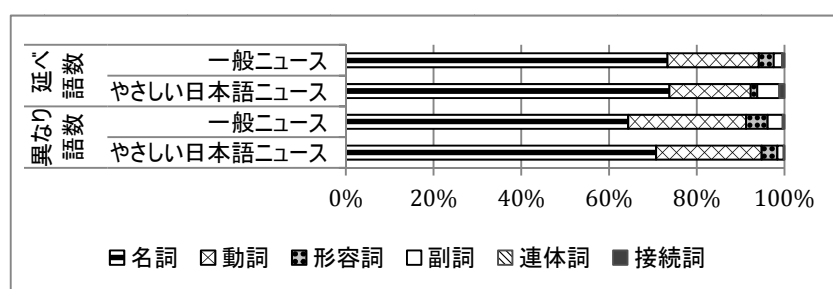


図 36 2級語彙の構成（品詞）

表 42 に示したように、2 級語彙は異なり語数・延べ語数ともにやさしい日本語ニュース・一般ニュースによる違いが大きく、「3.1.3-4 級語彙」の表 40 「3-4 級語彙の品詞別使用数（語）」に示した 3-4 級語彙では異なり語数については双方のニュースの分類別の使用数の差がさほどなかったことと対照的である。また、いずれのニュースでも使用数は異なり語数では名詞、動詞、形容詞、副詞の順に多い。連体詞と接続詞は一般ニュースでは同数、やさしい日本語ニュースでは 2 級語彙の中に連体詞と接続詞はない。品詞別にやさしい日本語ニュースで使用された異なり語数をみると、一般ニュースと比べ最も減少率が小さかったのが名詞で、一般ニュースの約 42% の語が使用されていた。そのほかの品詞ではやさしい日本語ニュースで動詞・形容詞が一般ニュースの 30% 前後、副詞が 16% 程度使用されていた。

延べ語数においてもやさしい日本語ニュース・一般ニュースともに名詞が最多で、次いで多いのは動詞である。名詞・動詞よりも使用数が少ない品詞をみると、やさしい日本語ニュースでは副詞、形容詞、接続詞の順に、一般ニュースでは形容詞、副詞、接続詞、連体詞の順に多かった。異なり語数と延べ語数を比較したとき、特徴的な品詞としてやさしい日本語ニュースの形容詞と副詞が挙げられる。形容詞は異なり語数 22 語、延べ語数 39 語で 1 語あたりの平均使用回数は 2 回未満だが、副詞は異なり語数 9 語、延べ語数 133 語で平均使用回数は 15 回程度である。ただし、やさしい日本語ニュースで使用された 2 級の副詞語彙 9 語のうち 6 語は使用回数 1 回で、延べ語数が大きくなったのは 122 回使用された「約」1 語によるところが大きい。また、一般ニュースでのみ使用された連体詞 3 語は「いわゆる」「ある」「ほんの」で、「いわゆる」が 9 回、ほかの 2 語は 1 回ずつ使用されていた。(86) に「いわゆる」の使用例とその書き換え例を示す。

(86) a. 中高年への実施が義務づけられている、いわゆる「メタボ健診」の（後略）（般: 90）

- b. メタボリックシンドロームは、内臓のまわりに脂肪がたまって血圧などが高くなることです。生活習慣病になる危険が高くなるため、健康診断などでメタボリックシンドロームかどうか 40 歳以上の人を調べることになっています。（や: 90）

「いわゆる」は、(86) a に示した「いわゆる『メタボ健診』」や「いわゆるシベリア抑留」（般: 152）、「いわゆる『逆転現象』」（般: 102）のように、必ずしも正式名称ではなくても一般に使用されている馴染みがある語句の前に使用されていたが、やさしい日本語ニュースにおいては「いわゆる」が修飾していた語句は用いられず、(86) b のように概念の説明をする箇所が補われている場合が多かった。これは、やさしい日本語ニュースの読者には「メタボ健診」等が馴染みがない語である可能性が高く、使用することがニュースの理解の助けにならないことから不必要な記述と判断されたものと思われる。

接続詞について、一般ニュースでは「ただ」「それでも」「一方」の 3 語が使用されていた。(87) a に「ただ」、(150) a に「それでも」の使用例を示す。

- (87) a. 5月の国際線の輸送実績は（中略）全日空が、輸送実績を示す代表的な指標の1つで日本航空を上回り、国際線での両社の立場がきつ抗していることを示す結果となりました。
（中略）ただ、国際線の利用客数では、日本航空が全日空を上回る状態が続いています
（般: 36）
- b. 全日空は、（中略）5月の成績がよくなったと説明しています。国際線を利用した客の数では、日本航空のほうが全日空より多くなっています。（や: 36）
- (88) a. 波のうねりが強くなり、サーフボードから落ちたりひっくり返ったりする犬が相次ぎました。それでもサーフィンの経験豊富な犬が姿勢を低くしてしっかりと波を捉え、（後略）
（般: 49）
- b. 波が高かったため、サーフボードから落ちる犬がたくさんいました。しかし、サーフィンの経験がたくさんある犬は、（後略）。（や: 49）

(87) に示したように、「ただ」は省略しても前後の流れに影響がなく、書き換え過程で削除される例が多かった。(88) aの「それでも」は、(88) bに示したように「しかし」に書き換えられていた。本章1節「品詞」でも既述のように、やさしい日本語ニュースにおいて用いられた接続詞は「そして」「しかし」「また」「でも」「次に」の5語で、発言の引用を除けば逆接の接続詞は「しかし」1語である。難易度の低い「しかし」という逆接の機能を持つ接続詞があるため、「それでも」のように「しかし」と同様の逆接の機能を持つ難易度の高い語は必要とされなかったものと思われる。なお、「一方」については(62)に示したように、「ただ」と同様に省略されたまま文が続けられていた。

- (62) a. 東京電力によりますと、作業は、（中略）順調に進めば来年3月ごろから凍結を始める計画です。一方、凍土壁とは別に、汚染水の海への流出を防ぐため、建屋の海側にある地下のトンネルに流れ込む汚染水を凍らせて氷の壁を作る工事では、2か月がたった今も十分に凍っていません。（般: 34）
- b. 東京電力によると、早い場合で来年3月ごろから土を冷やし始める計画です。福島第一原子力発電所では、汚染水が海に出ていかないように、地下のトンネルの汚染水で氷の壁を作る別の工事も行っています。しかし、工事が始まって2か月過ぎても汚染水は十分に凍っていません。（や: 34）

やさしい日本語ニュース・一般ニュース、延べ語数・異なり語数による使用率の違いについては、図36に示したとおりさほどみられず、ニュースに使用された2級語彙はいずれの分類でも名詞が約7割と圧倒的多数を占めていた。名詞の使用率が3-4級語彙では全体の50%前後だったこと比べても、2級語彙に占める名詞の比率は高い。また、2級語彙では名詞以外の品詞で3-4級語彙よりも使用率が増えた品詞はなく、2級語彙で補われた3-4級語彙で書き

換えられなかった語彙には、特に名詞が多かったと言える。実際、田中他（2013a）では3-4級で書き換えられない語の例として「接待、公共事業、補正予算案、お内裏様」が挙げられているが、そうした語例がすべて名詞であるのは書き換えられない語彙には名詞が多いことが反映されたものであろう。

また、動詞は延べ語数の比率が異なり語数の比率よりも低く、2級の動詞は2級の名詞よりも使用頻度が低いことがわかる。そのほかに2級語彙にみられた特徴として、やさしい日本語ニュースでは一般ニュースよりも副詞の使用率が高いことが挙げられる。これは先にも述べたように「約」という1語の副詞が一般ニュースでの使用回数は2回である一方、やさしい日本語ニュースでは122回使われていたことが影響したものである。続いて、2級語彙の語種別の使用数を表43、語種別の構成を図37に示す。

表 43 2 級語彙の語種別使用数（語）

		和語	漢語	外来語	混種語
延べ語数	一般ニュース	2,562	6,887	396	891
	やさしい日本語ニュース	652	1,616	185	174
異なり語数	一般ニュース	463	849	79	220
	やさしい日本語ニュース	190	311	47	68

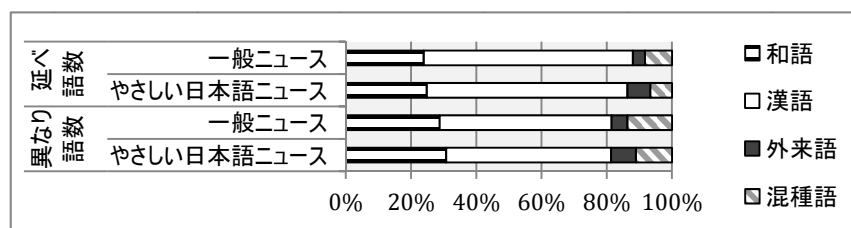


図 37 2 級語彙の構成（語種）

表 43、図 37 に示したように、2 級語彙で使用された語彙で最も多いのは漢語であり、和語の 1.5-2.5 倍程度使用されていた。この結果は和語の比率が最も高かった先述の 3-4 級語彙の語種構成（図 33）とは大きく異なり、4 級、3 級、2 級を順に比べれば、級が上がるほど和語の比率が低く、漢語の比率が高くなっている。田中他（2013a）が指摘しているように、3-4 級の語彙の多くは日常生活で使う単語である。2 級での漢語の比率が高い原因としては、「日常生活で使う単語」という 3-4 級語彙にはもともと漢語語彙の提出が少なく、3-4 級の語彙ではニュースに使用される漢語語彙が和語語彙と比べてその不足が著しく、2 級語彙の多用につながったことが考えられる。(89) b を例に、やさしい日本語ニュースの 2 級の漢語語彙について考える。

(89) a. 東京電力は、新たに護岸沿いなどでくみ上げた汚染された地下水を一定の基準まで浄化したうえで海に排水する計画で、すでに福島県漁連には計画を説明し、今後、地元の漁協に

も了承を求めていく方針です。(中略)東京電力は「地元の漁業者の同意なく排水することはない。仮に海に放出したとしても汚染水が直接海に流出している現在の状況が改善される」としています。(般: 133)

- b. 東京電力は「放射性物質を少なくした水を海に流しても、汚染水がそのまま海に流れている今よりは、海への影響が少なくなります。しかし、漁業をしている人たちが納得しない場合は、海に流しません」と言っています。(や: 133) (下線部、2級の漢語語彙)

(89) b では、「物質」「汚染」「影響」「漁業」という4語の2級の漢語語彙が使用されていた。これらに書き換え可能な3-4級の語は実際存在しないのかと検討してみれば、「物質」を4級の和語「もの」に、「汚染」を3級の和語「汚れた」に等、いくつか書き換え候補にできると思われる語は存在する。しかし、そうした語で書き換えを行った場合、書き換えで得られる表現は「放射性的なもの」や「汚れた水」であり、語の解釈が「放射性物質」や「汚染水」よりも広がってしまう恐れがある。田中他(2013a: 22)では3-4級での原則の書き換えから外れる語に「特殊な意味や広い意味を表す単語」を挙げており、その結果(89) b の例のようにやさしい日本語ニュースでも2級漢語が多く使われる結果につながっていたと考えられる。

また、2級語彙の語種では3-4級の語彙よりも外来語・混種語を合わせた使用率が高く、本章2節の図17「語彙の構成(語種)」に示したニュース文全体の外来語・混種語の数値に3-4級語彙(図33)と比べ、近い。そのため、外来語と混種語は出題基準の下位レベルの語彙に含まれていた使用数自体が少なく、3-4級の語彙で書き換えられない語も存在する⁴⁶ため、上のレベルである2級語彙の使用率が高くなったと考えられる。

2級の外来語語彙でやさしい日本語ニュース・一般ニュースともに最も高い頻度で使用された語は「グループ」であり⁴⁷、それぞれ35回・37回使用されていた。しかし、「グループ」の語が使用された文脈は必ずしも常に双方のニュースで同じではなく、やさしい日本語ニュース・一般ニュースで共通して「グループ」が使用された例、やさしい日本語ニュースにのみ「グループ」が使用された例、一般ニュースにのみ「グループ」が使用された例がそれぞれみられた。まず、双方のニュースで共通して「グループ」が使用された例を(90)に示す。

- (90) a. 研究グループでは、将来、宇宙空間で牛などの哺乳類を繁殖させることにつながる結果だとしています。(般: 106)
- b. 研究グループは、将来、宇宙で牛などの哺乳類を増やすことができるかもしれないと言っています。(や: 106)

⁴⁶ 国立国語研究所「外来語」委員会編(2006)には、外来語の書き換えに関して「適切な言い換えができればよいのですが、言い換えることでかえって概念があいまいになり、混乱が生じることも考えられます」(同: 22)との記述があり、必ずしもすべての外来語の書き換えが有効であるわけではないことを指摘している。

⁴⁷ 一般ニュースでは「グループ」に加え、「チーム」も最多の37回使用されていた。

「グループ」の使用例としては、(90)に示した「研究グループ」が最も多い。ほかに類似したものとしては、「トヨタ自動車のグループ」「ベネッセのグループ会社」などの企業集団を表すものや、アナウンス大会や踊りなどのイベントにおけるチームという意味で使用された例があった。次に多いのは、一般ニュースでは「グループ」が使用されていない箇所、やさしい日本語ニュースにのみ「グループ」が使用された文脈である。(91)に例を示す。

(91) a. ガザ地区でのイスラエル軍とイスラム原理主義組織ハマスとの戦闘を巡っては、(後略)。
(般: 173)

b. ガザ地区では、イスラエルの軍とパレスチナのハマスというイスラム教のグループが戦っています。(や: 173)

(91) aの「イスラム原理主義組織」が(91) bでは「グループ」を使って書き換えられていたが、同様の例として一般ニュースで「サルコジ前大統領(中略)みずからの陣営」(般: 10)、「親ロシア派の武装集団」(般: 66)等が使用されている文脈が「サルコジ氏のグループ」(や: 10)、「親ロシア派のグループ」(や: 66)のように「グループ」を使用して書き換えられている例があった。

ただし、「陣営」は級外語彙だが、「組織」「集団」「グループ」はいずれも2級語彙である。そのため、「グループ」を「組織」「集団」「陣営」に対応する書き換えと考えるのではなく、(91)に下線を付したようにあくまで「イスラム原理主義組織ハマス」の書き換えが「パレスチナのハマスというイスラム教のグループ」であると考えるのが適当である。続いて、(92)に一般ニュースで「グループ」が使用されていながら、やさしい日本語ニュースでは「グループ」の語が使用されていなかった例を示す。

(92) a. 恐竜のうち鳥に近いグループには羽毛があり、進化の過程で恐竜にいつ羽毛が備わったのか研究者の議論の対象となっていました。(後略)。(般: 88)

b. 今まで専門家は、恐竜がいろいろな種類に分かれたあと、鳥に近い種類の恐竜の羽毛がいつ生えたかを研究していました。(や: 88)

(92)に示したような、一般ニュースで「グループ」が使用された文脈がほかの語に書き換えられた例はごく少数である。そして、(92)では「グループ」を「種類」に置き換えているが、実際は「グループ」「種類」共に3級の語である。それにもかかわらず「グループ」が書き換えの対象とされたのは、(92) aで使用された「グループ」の語の解釈が難しいと判断されたためであろう。『明鏡国語辞典 第二版』には「グループ」の意味が3種類載せられ、「①共通の目的を持つ人々の集団。仲間。②共通の性質などで分類した一団。③同じ系列に属する組織」と定義されている。この場合、やさしい日本語への書き換えにおいて同辞典の

①と③の意味は理解が容易だが、②の(92)aに示したような意味は理解が困難だという区別がされていたとわかる。また、「入る」「作る」のような和語の多義性については先述したが、外来語でも「グループ」のように高頻度で使用される語の中には意味の多義性を持つものがあることがニュースの使用例から確認できた。

以上、ニュースで使用されていた2級語彙について品詞と語種の観点から述べた。品詞では名詞が最多で全体の70%程度を占めた。そして、動詞の使用が3-4級語彙よりも減っていたことから、動詞は級の低い語でもニュースで使える語彙が多いが、名詞は3-4級語彙では不足が著しく、2級語彙の大量使用につながったと考えられる。また、語種では漢語の使用率が最も高かった。3-4級の語彙では和語の使用が多かったことを踏まえれば、3-4級の語彙ではニュースに使用される漢語語彙が和語語彙以上に不足しており、2級の漢語語彙が多用されたと考えられる。加えて、2級語彙は3-4級語彙よりも外来語・混種語の使用率が高かったが、これは3-4級内には外来語や混種語の語彙が少ないことが反映された結果だと思われる。

3.3. 1級語彙

ニュースで使用されていた1級の語彙は本節冒頭で図29「語彙の構成(難易度)」に示したとおり一般ニュースの異なり語数を除けばほかの級よりも非常に数が少ない。本項ではそうした1級語彙について、その構成と使用された語について品詞と語種の観点から述べる。まず、表44に品詞別の使用数を、図38にその使用率を示す。

表44 1級語彙の品詞別使用数(語)

		名詞	動詞	形容詞	副詞	接続詞
延べ語数	一般ニュース	3,102	1056	90	29	3
	やさしい日本語ニュース	469	36	4	0	0
異なり語数	一般ニュース	550	279	42	12	1
	やさしい日本語ニュース	118	15	1	0	0

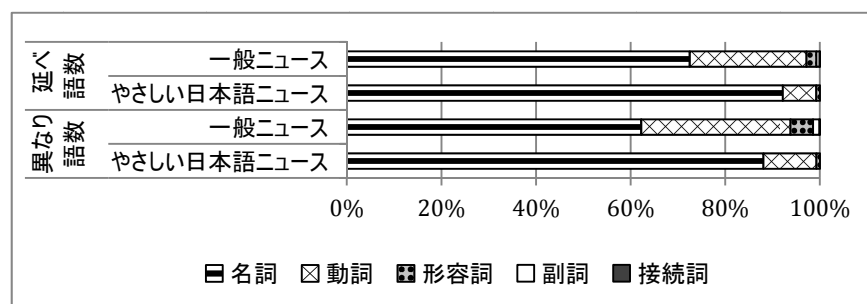


図38 1級語彙の構成(品詞)

表44、図38に示したように、1級語彙に占める名詞の比率は非常に高い。特にやさしい日本語ニュースにおける名詞の使用率は高く、およそ90%である。前項までの出題基準の下位

レベル 2-4 級の品詞・語種の構成では延べ語数・異なり語数の構成の違いが大きく、やさしい日本語ニュース・一般ニュースの違いはさほどなかった。しかし、1 級語彙の品詞構成では、図 38 に示したように、延べ語数・異なり語数による違いよりもやさしい日本語ニュース・一般ニュースの違いのほうが大きかった。

やさしい日本語ニュースでは先述のように名詞の使用率が全体の約 90% で、動詞は比較的使用率が低いが、一般ニュースでは名詞の使用率は約 60-70% で、その分動詞の使用率が比較的高い。図 30 「3-4 級語彙の構成（品詞）」と図 36 「2 級語彙の構成（品詞）」に示した 3-4 級と 2 級の品詞構成においても名詞の比率は高いものの、そうした 2-4 級語彙と比べても、図 38 に示した 1 級語彙における名詞の使用率の高さは顕著である。こうした結果から、名詞には難易度にかかわらずニュースで必要とされる語は広く分布しているが、動詞は名詞と比較した場合、下の級の語で書き換え可能な語の割合が高いと考えられる。ただし、使用できる語彙に制限がかけられていない一般ニュースでは動詞も難易度にかかわらず多用な語が使われたため、やさしい日本語ニュースと比べると 1 級語彙における動詞が比較的高い割合で存在したと考えられる。

前項で 2 級語彙について述べる中で、3-4 級語彙で足りない語彙としては名詞が多いと述べた。しかし実際には、名詞語彙は 2 級までの約 6,000 語でも不足するものが少なからずあり、やさしい日本語ニュースでの 1 級の名詞語彙が 100 語以上の使用されることにつながったと考えられる。なお、やさしい日本語ニュースにおいて 10 回以上使用された 1 級の名詞は多い順に「がん」「津波」「放射性」「システム」「爆弾」「原爆」「決勝」「災害」「収支」の 9 語だが、最多の「がん」の使用回数は 18 回であり、際立って多く用いられた語はなかった。また、一般ニュースにおいて 10 回以上使用された 1 級の名詞は 73 語あるが、上述の 9 語のうち「収支」と「爆弾」の 2 語の使用は限られ、「収支」は使用回数 7 回、「爆弾」は 1 か所も使用例がなかった。(93) に「収支」の使用例を示す。

(93) a. ことしの上半期の「経常収支」は 5 0 7 5 億円の赤字と、（後略）。（般: 137）

b. 貿易収支や第一次所得収支などを足した「経常収支」は 5 0 7 5 億円の赤字になりました。（や: 137）

「収支」がやさしい日本語ニュースのほうが多く用いられたのは、「収支」に書き換えられた別の語が存在するわけではなく、(93) に示したように、やさしい日本語ニュースでは「収支」の分類を説明する目的で「収支」の語が多用されたことが原因である。(94) として、「爆弾」の語が使用された文と書き換え前の文を示す。

(94) a. イスラエル軍による激しい空爆や砲撃が行われています。（般: 96）

b. イスラエルの軍隊が今月 8 日から飛行機で爆弾を落としたり、ロケットで爆弾を発射したりしています。（や: 96）

(94) に示したように、一般ニュースにおいては「爆弾」の手法を特定する「空爆」「砲撃」のような語が用いられていた。なお、今回対象としたニュースにおいては、「爆弾」の大半は「空爆」を指していた。こうした例から、一般ニュースにおいては「飛行機で爆弾を落とす」のような表現は使われず「空爆」のように1語で端的に事象を表す語が用いられるが、そうした語は出題基準に含まれないものも少なくなくやさしい日本語ニュースにおいては使用が限定的であったと考えられる。また、1級の名詞語彙のうち、使用回数1回の語はやさしい日本語ニュースで60語、一般ニュースで180語あった。このように、どちらのニュースでも使用頻度が低い語は1級の名詞語彙全体の半数程度あった。

動詞はやさしい日本語ニュースと一般ニュースの語数の差が極めて大きい。やさしい日本語ニュースで使用された動詞16語のうち10語は混種語のサ変動詞であり、残りの5語は和語動詞であった。サ変動詞10語は「避難する」「治療する」「開発する」「着陸する」「抗議する」「予想する」「デザインする」「展示する」「審査する」「妊娠する」である。そのうち「避難する」は使用回数7回で、比較的多く用いられていた。上記の10語のうち「治療する」は一般ニュースでは使用されていなかったが、名詞「治療」は一般ニュースでも使用されており、一般ニュースでは「治療」が動詞を伴う場合、「治療を行う」「治療に専念する」のように使用されていた。

また、やさしい日本語ニュースで使用された5語の和語動詞は「担う」「取り締まる」「ひっかく」「腫れる」「傷つける」で、高頻度で用いられた語はなく、「取り締まる」「腫れる」の2語は一般ニュースでの使用例はなかった。(95)に「取り締まる」の使用例と一般ニュースにおけるその対応箇所を示す。

- (95) a. 去年、東京・三鷹市で起きたストーカー殺人事件を受けて（中略）規制の在り方について検討を進め、（後略）。（般: 125）
- b. ストーカーの事件が増えているため、専門家などの会議は、ストーカーをどう取り締またらいいか話し合っていました。（や: 125）

「取り締まる」は(95)のように、「規制の在り方」に対応する表現として用いられていた。「規制」は「取り締まる」と同じく1級の語だが、「在り方」の「ある」については4級の語の所有や存在の「ある」よりも語の解釈が困難なことから、「取り締まる」という1級の語1語の使用に改められたものと思われる。なお、やさしい日本語ニュースの「腫れる」対応箇所は一般ニュースでは、級外の名詞「腫れ」が使用されていた。こうした例から、難易度が高いとされる1級の語とはいえ、「取り締まる」「腫れる」のように書き換えることで難易度を下げる役割を果たす語が少なからずあることがわかった。

形容詞について、やさしい日本語ニュースで使用された1語はナ形容詞「活発」である。「活発」はやさしい日本語ニュースで4回、一般ニュースで7回用いられており、(96)(97)に示すような使用例がある。

(96) a. 噴火の規模が大きくなっているほか火口には赤い溶岩も見え、活発な活動が続いている。

(般: 87)

b. 活発な噴火が続いています。(や: 87)

(97) a. マウスを別の場所に移し、メスのマウスと一緒に過ごさせながら海馬に光を当て電気刺激の体験を思い出させます。すると、マウスは当初、電気刺激の体験を思い出すと脳の中で「怖い」という感情を示す領域が活性化していましたが、(後略)。(般: 208)

b. 電気ショックの経験を思い出したマウスは、初めは脳の「怖い」という気持ちを示すところが活発になっていました。(や: 208)

また、一般ニュースの形容詞を図 38 に示したように異なり語数でみた場合、ほかの 3 分類の形容詞よりも比率が高かった。一般ニュースで使われていた 1 級の形容詞の多くはナ形容詞であったが、「尊い」「切ない」などイ形容詞の使用も多少みられた。ただし、ナ形容詞もイ形容詞も全体としては使用回数が 1-2 回であり、最多で 9 回使用された「大幅」のような語も中にはあるものの数は少なく、延べ語数では高い使用率にはならなかった。

副詞について、一般ニュースでのみ用いられた 12 語のうち 8 語は使用回数が 1 回で、全体として使用回数は少ない。ただし、「極めて」は 13 回と比較的高頻度で使用されていた。

「極めて」は発言の引用で用いられる場合が多かったが、一部発言の引用以外でも用いられていた。(98) a に「極めて」が発言の引用で用いられていた例を示す。

(98) a. 「(前略) 人種や宗教、考え方の違いを超えて、スポーツで一緒になろうという祭典なので、極めて大きな外交的努力がいる話だと考えている」と述べ、(後略)。(般: 85)

b. (対応箇所なし) (や: 85)

「極めて」は (98) a に示したように発言の引用で用いられる場合が多く、そうした発言はやさしい日本語ニュースへの書き換え過程ですべて省略されていた。発言の引用箇所以外では (99) のような使用例があり、「極めて」が類義語の「とても」という 4 級の語に書き換えられ、大幅に難易度が下げられていた。

(99) a. エボラ出血熱は、エボラウイルスが引き起こす致死率が極めて高い感染症で、(後略)。

(般: 109)

b. 「エボラ出血熱」は高い熱が出て亡くなる危険がとても高い病気です。(や: 109)

また、一般ニュースで使用された 1 語の接続詞は「かつ」で使用回数は 3 回、(100) a のような使用例がみられたが、やさしい日本語ニュースでは対応箇所はすべて段落ごと削除されていたため対応する表現は収集できなかった。

- (100) a. 九州電力は「今後とも、原子力規制委員会の審査に、真摯（しんし）かつ丁寧に対応するとともに、更なる安全性・信頼性向上への取り組みを、自主的かつ継続的に進め、原子力発電所の安全確保に万全を期してまいります」というコメントを出しました。（般: 61）
- b. （対応箇所なし）（や: 61）

次に、1級語彙の語種別の使用数を表 45、その構成を図 39 に示す。

表 45 1 級語彙の語種別使用数（語）

		和語	漢語	外来語	混種語
延べ語数	一般ニュース	740	2,695	155	690
	やさしい日本語ニュース	47	370	55	37
異なり語数	一般ニュース	187	477	39	181
	やさしい日本語ニュース	19	82	20	13

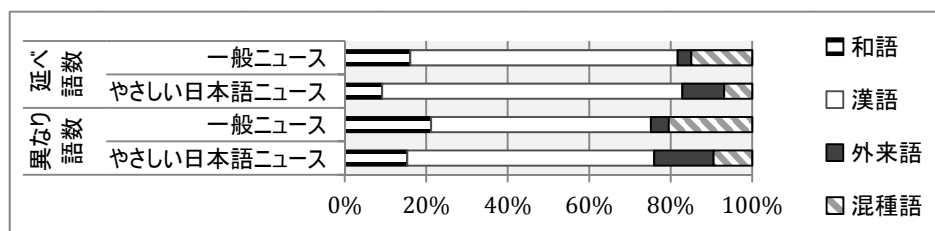


図 39 1 級語彙の構成（語種）

図 39 に示したとおり、1 級語彙では 2 級語彙と同様、漢語の使用が和語の使用を上回っていた。しかし、その比率は異なり、2 級では和語の比率がニュースの違いや延べ語数・異なり語数の違いを問わず総じて 20% 以上であったのに対し、1 級では和語の比率が 20% を下回っている項目が多かった。漢語の使用率は 1 級では非常に高く、全体の 60% を超えるものが多かった。4 級から順に 3 級、2 級、1 級の語彙を比べると、下位レベルでは和語の比率が高く漢語の比率が低いのに対し、上位レベルになるにつれ、和語の比率が低く、漢語の比率が高くなっている。この結果から、ニュース文に出てくる漢語と和語を比較した場合、漢語は和語よりも難易度が高い語彙が多いと言える。

また、1 級語彙で使われた和語の比率は漢語との比較だけでなく、外来語や混種語との比較からも低くなっていた。1 級の語種の構成では、和語は一般ニュースでは混種語と、やさしい日本語ニュースでは外来語とほぼ同じ使用率であった。品詞別の構成では名詞が高比率で推移していることと合わせて考えれば、いずれの級の語でも使用されている名詞は多いが、級が上がるにつれ、その語種は和語から漢語、一部外来語や混種語に割合が変化していると言える。以下、和語から順に具体例をみる。

やさしい日本語ニュースで使用された語彙のうち、本節で対象とした固有名詞と補助動詞を除く自立語の和語の総数は異なり語数で 775 語である。その中で 1 級語彙はわずか 19 語、

2.5% 程度しかない。また、一般ニュースについては1級語彙の和語の異なり語数はやさしい日本語ニュースの10倍程度ではあるが、和語の総数からすれば非常に少ない。やさしい日本語ニュースで使用された19語の和語のうち複数回用いられた語は頻度が高い順に「津波」「助け」「担う」「網」「取り締まる」「ひっかく」「潮」の7語で、そのうちやさしい日本語ニュースでのみ使用された語は(95)に例示した「取り締まる」の1語である。

一般ニュースで高頻度で使用された和語は「訪れる」60回、「津波」57回、「相次ぐ」43回が挙げられ、そのほかの語の使用回数は20回以下である。(101)に一般ニュースで「訪れる」が使用された箇所とやさしい日本語ニュースの対応箇所を示す。

(101) a. (前略) 訪れた鉄道ファンは興味深そうに見入っていました。(般: 62)

b. 会場に来た鉄道ファンたちは楽しそうに見ていました。(や: 62)

(101)に示したように、一般ニュースで「訪れる」が使用された箇所はやさしい日本語ニュースでは「来る」「行く」といった語に置き換えられていた。続いて、(102)に一般ニュースで「相次ぐ」が使用された例とその書き換え例を示す。

(102) a. 宗教活動を理由にした拘束や拷問が相次ぎ、(後略)。(般: 97)

b. 宗教の活動を理由にして、警察などが嫌がらせをしたり捕まえて自由をなくしたりする問題が続いています。(や: 97)

1級の語「相次ぐ」の書き換えには(102)に示したように、3級の語「続く」が用いられる例が多かった。先に漢語は和語と比較して難易度が高い語彙が多いと述べたが、こうした和語の「訪れる」や「相次ぐ」の語が別の和語に書き換えられているように、和語の中にも当然ながら、難易度の高い語も存在している。

次に、漢語について述べる。漢語は上述のように1級語彙に占める割合が高いが、その大半が名詞である。やさしい日本語ニュースで使用された漢語の異なり語数82語のうち、10回以上使用された語は18回使用された「がん」を筆頭に9語あり、そのすべてが名詞である。一般ニュースでは使用回数40回以上の語は最多の46回使用された「感染」を筆頭に24語あり、すべて名詞である。また、使用頻度の少ない語も合わせれば、1級の漢語語彙のうち、やさしい日本語ニュースでは82語中81語、一般ニュースでは477語中451語が名詞である。

1級語彙において、品詞では名詞が極めて多く、語種では漢語が最も多いが、そこに含まれる語をみると、そうした結果は名詞の漢語語彙が多いことから導かれたものだとわかった。なお、上記に挙げた一般ニュースの漢語で最も多く使用された「感染」はやさしい日本語ニュースでは使用されていない。(103)に「感染」の使用例を示す。

- (103) a. リベリアでは、政府が、感染が広がっている 3つの地域に（後略）。（般: 146）
 b. リベリアでは、軍隊が出て、エボラ出血熱の人が増えている 3つの地域へ（後略）。（や: 146）

「感染」を使用した例としては、「感染症」（般: 68）、「感染防止／感染が深刻」（般: 146）等さまざまな例がみられたものの、最も多いのは(103)に示した「感染が広がる」であり、それらは3級の語「増える」を伴った「増えている」に置き換えられていた。

続いて、外来語について述べる。表 45 に示したように、やさしい日本語ニュースの1級語彙は和語よりも外来語がわずかに多い。しかし、高頻度で用いられた語は少なく、やさしい日本語ニュースで10回以上用いられた1級の外来語は12回使用された「メッセージ」1語、一般ニュースで10回以上用いられたのは「メディア」16回を筆頭に「システム」「ポイント」「データ」「メッセージ」の5語であり、使用回数1回の語はやさしい日本語ニュース・一般ニュースでそれぞれ8語・12語あった。上述した一般ニュースで高頻度で使用された5語の外来語のうち、やさしい日本語ニュースでは「メディア」「ポイント」の2語は使用例がなかった。(104)に「メディア」の使用例及び書き換え例を示す。

- (104) a. アメリカのメディア大手「21世紀フォックス」が、同じメディア大手の「タイム・ワーナー」に対し、（後略）。（般: 59）
 b. 21世紀フォックスとタイム・ワーナーは両方とも、映画やテレビなどで情報を伝える仕事をしているアメリカの大きな会社です。（や: 59）

「メディア」は省略される例が多かったが、一部(104)に挙げたように語を説明する句を挿入して該当箇所を書き換えている例があった。次に、「ポイント」の使用例と書き換え例を(105)に示す。

- (105) a. 男女別にみますと、男性が去年より1.9ポイント減って30.3%、女性が0.7ポイント減って9.8%と初めて10%を下回りました。（般: 107）
 b. 男性はことし30.3%で、去年の32.2%より低くなりました。去年10.5%だった女性は9.8%になって、初めて10%より低くなりました。（や: 107）

(105)の例のように、一般ニュースで使用された「ポイント」はすべて、何らかのパーセンテージの比較をするために用いられていた。こうした一般ニュースで「ポイント」が使用された文脈は、書き換えに際しては比較対象のパーセンテージも併せて記されることで「ポイント」の使用が避けられていた。

最後に、混種語について述べる。やさしい日本語ニュースで使用された1級の混種語13語

のうち、10語はサ変動詞、3語は湯桶読み・重箱読みの語である。こうした混種語のうち、比較的高頻度で用いられた語として、やさしい日本語ニュースでは9回使用された「赤字」と7回使用された「避難する」、一般ニュースでは49回使用された「地元」と29回使用された「指摘する」が挙げられる。ただし、一般ニュースで多用された「地元」「指摘する」はいずれもやさしい日本語ニュースでの使用例はなかった。本章「2.4. 混種語」で例示した(71)を再掲し、併せてここでは「指摘する」の使用例とその書き換えられた例を(106)に示す。

(71) a. 福島県の人が地元の魚を食べる機会が少なくなっていることを受けて、6日、地元で取れたカニやメヒカリを味わってもらう試食会が福島県いわき市で開かれました。(般: 25)

b. 福島県の人がふるさとの魚を食べる機会も少なくなっています。このため、福島県いわき市の沖で取れた魚の料理を無料で食べる会をいわき仲買組合が開きました。(や: 25)

(106) a. 今回の報告で政府の業務怠慢や不正が改めて指摘されたことで、(後略)。(般: 33)

b. 監査院は、役所が仕事をしっかりしていなかったり、不正をしていたりしていたことがわかったと言っています。(や: 33)

「地元」は(71)のように2級の語「ふるさと」や地名を含む表現に置き換えられていた。「指摘する」は(106)のように4級の語「言う」を含む表現で置き換えられる例や2級の語「発表する」で置き換えられた例がみられた。対象としたニュースから得られた1級に該当する混種語はやさしい日本語ニュースと一般ニュースの語彙量の開きが和語等ほかの語種よりも大きく、例示した「指摘する」のように難易度の低い語に書き換え可能な語も少なくなかったものと思われる。

以上、ニュースで使用された1級語彙について述べた。品詞は1級語彙でも2-4級と同様、名詞の使用率が高かった。動詞について、その使用率は一般ニュースでは比較的高く、やさしい日本語ニュースでは比較的少なかったことから、やさしい日本語ニュースでは元のニュースで使用されていた1級の動詞の多くが難易度の低い動詞に書き換えられたと考えられる。語種は全体の約60%を漢語が占め、漢語の大半が名詞語彙であった。また、和語の使用率は下の級と比べ大幅に小さくなっていた。品詞の構成でみたとき、高い使用率を示しているのが級を問わず名詞であることを踏まえれば、難易度が高くなるにつれ使用される名詞の語種は和語から漢語へとその割合が変化していると言える。

3.4. 級外語彙

前項まで、ニュースから得られた出題基準の語彙について下位レベルから順に述べた。出題基準の範囲内には約10,000語の語彙が存在するが、それでもニュースの語彙の中にはその10,000語の範囲には収まらない語も本節冒頭で表38「難易度別使用数(語)」や図29「語彙

の構成（難易度）」に示したように数多く存在する。

級外の語は異なり語数でみた場合、やさしい日本語ニュースでも 342 語、比率にして 20% 弱使用されており、級外の語の中には田中他（2013a: 22）が 3-4 級での原則の書き換えから外れる語として挙げた「特殊な意味や広い意味を表す単語、ある分野や文化に強く関わる単語」に該当すると思われる語が数多くみられた。ここでは、そうした級外語彙の構成について品詞と語種の観点から述べる。はじめに、表 46 に品詞別の使用数、図 40 にその使用率を示す。

表 46 級外語彙の品詞別使用数（語）

		名詞	動詞	形容詞	副詞	連体詞	接続詞	感動詞
延べ 語数	一般ニュース	4,616	925	85	52	9	32	2
	やさしい日本語ニュース	973	48	1	4	0	1	2
異なり 語数	一般ニュース	1,437	389	59	29	4	4	1
	やさしい日本語ニュース	303	34	1	2	0	1	1

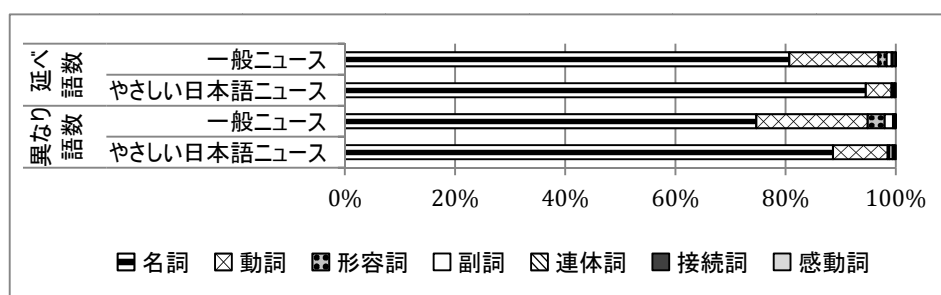


図 40 級外語彙の構成（品詞）

表 46 に示したように、一般ニュースでは調査対象とした 7 種類すべての品詞の級外語彙が使用されていた。やさしい日本語ニュースでも連体詞を除く 6 種類の品詞の語彙が使用されており、級外語彙の品詞の種類豊富さは 4 級語彙に次ぐものである。ただし、語彙の構成は 4 級語彙とは大きく異なり、図 40 に示したとおり名詞が極めて多い。こうした級外語彙の品詞別の語彙構成は図 38 「1 級語彙の構成（品詞）」に示した 1 級語彙のものと大きくは変わらないが、級外語彙では一般ニュースにおける名詞の使用率が 1 級語彙よりも若干高く、それに伴って動詞の使用率が低かった。以下、名詞から順に級外語彙の使用実態をみる。

名詞はやさしい日本語ニュースでは全体の 90% 前後を占め、一般ニュースでも全体の 80% 前後に及んでいる。こうした構成は上述のように 1 級語彙と似たものだが、異なり語数で比較すると、級外語彙はやさしい日本語ニュースで 1 級語彙の約 2 倍、一般ニュースで約 3 倍の語彙が使用されていた。それぞれのニュースでの高頻度の語として、やさしい日本語ニュースでは 30 回使用された「エボラ出血熱」をはじめ 15 回以上使用された語は「ワールドカップ」「危険ドラッグ」の 3 語が挙げられるが、これらはいずれも対象とした時事に影響を受けた語ばかりである。一般ニュースでは最多の 44 回使用された語が「値上げ」「引き上げ」「携

帯電話」「撤去」「再開」「流出」「運航」「被災」「想定」「支援」「管理職」の11語あったが、そのうちやさしい日本語ニュースでも使用されていた語は「携帯電話」「支援」の2語であった。また、一般ニュースの頻度が極めて高い語には時事を明確に反映した語はなかったものの、一般ニュースの級外の名詞語彙の中には、「土石流」「デング熱」等、時事に影響を受けた語も少なくはない。

次に動詞語彙について述べる。やさしい日本語ニュースで使用された級外の動詞は一般ニュースと比較し、異なり語数でおよそ10分の1、延べ語数でおよそ20分の1であり、一般ニュースで級外の動詞が使われていても、やさしい日本語ニュースでは別の出題基準内の語を使うことが多かったとわかる。それでも、級外の動詞が異なり語数にして34語使用されており、動詞の中にも出題基準に収まらない語が一定数存在することがわかる。ただし、最も使用回数が多い「見越す」でも4回しか使われておらず、高頻度で使用された級外の動詞はなかった。一方、一般ニュースにおいては「対する」が75回と高頻度で使用されていた。(107)(108)に「対する」とそれに対応するやさしい日本語ニュース文の例を示す。

(107) a. 黒人に対する差別だと抗議するデモが。(般: 145)

b. 黒人への差別だと言って、いろいろな所でデモがありました。(や: 145)

(108) a. 内閣官房の担当者は、「書籍を通して、日本の魅力や平和国家としての歩みなどが伝わることで、日本に対する理解が深まることを期待している」と話しています。(般: 122)

b. 政府は「世界の人たちが日本の本を読んで、日本のことをもっとわかるようになってほしいです」と言っています。(や: 122)

(107)(108) a に示したように、「対する」は「(名詞) に対する (名詞)」の形での使用が大半を占めた。書き換えにおいては(107) b のような対応箇所が明確な書き換えがある一方、(108) b のように語ではなく文のレベルで書き換えを行っているものもあった。

形容詞はやさしい日本語ニュースでは異なり語数・延べ語数ともに1語あり、使用された語は「細長い」である。使用例を(109) b に示す。

(109) a. 女性たちは、ねじり鉢巻きにはっぴ姿で(後略)。(般: 79)

b. 女性たちは「はっぴ」というお祭りの服を着て、鉢巻き(=頭に巻く細長い布)をしました。(や: 79)

(109) b に示したように、「細長い」は「鉢巻き」を説明する目的で用いられていたため、一般ニュース(109) a には現れていない。やさしい日本語ニュースでは(109) b で「鉢巻き」の説明を括弧書きでしているように、語の説明が文中に置かれる例も少なからずある。しかし、難易度を出題基準のみで考えた場合、「鉢巻き」も「細長い」も級外の語であり、こうした

説明は日本語をやさしくする働きはしていない。ただし、「細長い」という語を「細くて長い」のように自ら置き換えて読むことのできる読者であれば、語の難易度は自然と下げられるものと思われる。また、一般ニュースでは形容詞が5%弱使われていたが、その語は「こまめ」「真摯」「スムーズ」など1級語彙と同様にナ形容詞が大半を占めていた。

副詞について、使用数は少ないながらもやさしい日本語ニュースでも「もう少し」「互いに」の2語が用いられていた。一般ニュースでは異なり語数は比較的多いが、形容詞と同じく、高い頻度で使用されていた語はなかった。やさしい日本語ニュースに使用された級外語彙の連体詞はなく、一般ニュースでは「さらなる」「こういう」「確たる」「そうした」の4語が使用されていたが、いずれも使用頻度は低かった。

接続詞はやさしい日本語ニュースでは「次に」が、一般ニュースでは「次に」に加え「次いで」「そもそも」の計3語が使用されていた。そのうち使用回数が最多の「次いで」の使用例とその書き換えを(110)に示す。

- (110) a. 国別にみますと、アメリカが全体のおよそ3分の1に当たる41万2639人で最も多く、次いで、中国が13万5078人、オーストラリアが8万1981人（後略）。（般: 195）
- b. 1番多いのはアメリカに住んでいる人で、41万2639人です。2番目が中国で13万5078人、3番目がオーストラリアで8万1981人です。（や: 195）

(110)に示したように、「次いで」は「2番目」と書き換えられる例が多かった。感動詞のやさしい日本語ニュース・一般ニュースでそれぞれ異なり語数1語、延べ語数2語使用されていた語は本章「1.4. 副詞・連体詞・接続詞・感動詞」で(38)に例示した「わっしょい」である。

- (38) a. 23日は気温が33度を超えて厳しい暑さとなりましたが、女性たちは「わっしょい、わっしょい」と大きな声を出したり、（後略）。（般: 79）
- b. 23日の大阪はとても暑くて、気温は33°C以上になりました。女性たちは「わっしょい、わっしょい」と大きな声を出して元気に歩きました。（や: 79）

次に、級外語彙の語種別使用数を表47、使用率を図41に示す。

表47 級外語彙の語種別使用数（語）

		和語	漢語	外来語	混種語
延べ語数	一般ニュース	1,140	3,166	653	762
	やさしい日本語ニュース	189	373	353	114
異なり語数	一般ニュース	427	993	223	280
	やさしい日本語ニュース	78	129	104	31

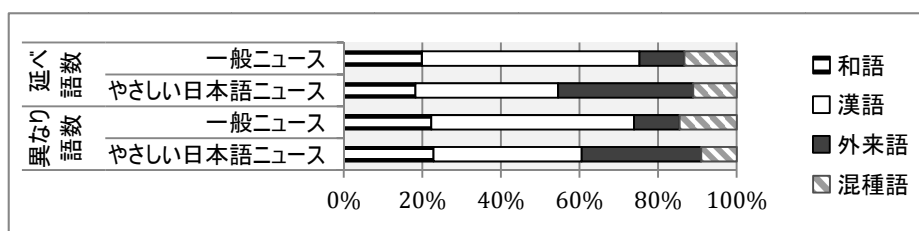


図 41 級外語彙の構成 (語種)

ニュースで使用された出題範囲内の語彙の語種について、3-4級の語彙では和語の使用率が高く(図33)、1-2級の語彙では漢語の使用率が高かった(図37, 39)。級外語彙は図41に示したように和語よりも漢語の使用率が高く、この点は1-2級と共通している。しかし、級外語彙特有の特徴も多かった。1-4級では級が上がるほど和語の使用率が高く漢語の使用率が低くなっており、1級語彙では和語の使用率はやさしい日本語ニュース・一般ニュース、延べ語数・異なり語数に分けた4分類中3分類で20%を下回っていた。他方、級外語彙では1級語彙よりも和語の比率が高かった。以下、級外語彙の語種構成について和語から順に述べる。

まず、級外語彙で1級よりも和語が高い比率を占めた原因として、和語には「見張り」「思い」など動詞の連用形と同形の名詞や、「水ぶくれ」「よりそう」などの和語の複合語等、出題範囲からは外れる語彙が多かったことが挙げられる。また、やさしい日本語ニュースにおける級外の高頻度上位10語のうち6語は「ウナギ」「蓮」等の動植物名であり、ニュースでこういった動植物をテーマに挙げるときには当然その名前を告げなければならないが、こうした語はほとんど出題基準には入っていないことも級外語彙の和語の使用率が高くなった一因である。なお、上記に挙げた例はすべて名詞だが、やさしい日本語ニュースの級外の和語のうち名詞は異なり語数で78語中54語、延べ語数で189語中153語と非常に多かった。

一般ニュースについてもやさしい日本語ニュースと同様に名詞語彙も多く、異なり語数で427語中205語、延べ語数で1,140語中605語が名詞だが、和語に占める比率はやさしい日本語ニュースほどには高くない。これは、一般ニュースの和語は、「向かい風」「たった今」「追い求める」「盛り込む」のように、名詞も含め多様な品詞の複合語が数多く出現したことが背景にある。

次に、漢語について述べる。漢語は図41に示したように4種類の語種の中で最も使用率は高いが、「3.3.1級語彙」で図39「1級語彙の構成(語種)」に示した1級の語彙と比べればその比率は低い。やさしい日本語ニュースで使用された漢語はすべて名詞であり、10回以上使用された語は「原発」「熱中症」の2語である。一般ニュースでは名詞以外にもナ形容詞が異なり語数34語・延べ語数46語、副詞が異なり語数3語・延べ語数9語あったが少数である一方、名詞は異なり語数956語・延べ語数3,111語あり、非常に多かった。使用頻度の高い語としては先に名詞の説明で挙げた「携帯電話」「撤去」「再開」「流出」「運航」「被災」「想定」「支援」「管理職」の9語が44回ずつ使用されていた。

続いて、外来語について述べる。図 41 から明らかなように、やさしい日本語ニュースにおいて級外語彙に分類される外来語は漢語と同程度に多い。やさしい日本語ニュースで使用された 104 語の外来語のうち 40 語は使用回数 1 回だけでもかかわらず平均して 1 語が 3.5 回程度使用されているという実態は、10 回以上使用された語が「インターネット」23 回をはじめ「ワールドカップ」「アニメ」「ウェブサイト」「イベント」「マウス」等 6 語あることなど、比較的高頻度で用いられている語も少なくなかったことから生じた。

しかし、なぜ級外の外来語がこれほどまでに多用されているかという根本的な原因は、出題基準には外来語があまり含まれていないことにある。「サッカー」「チケット」「インターネット」⁴⁸のような語は初級教科書にも取り入れられている語だが、出題基準にはなく級外に分類される。ただしそれ以外にも、やさしい日本語ニュースでは(111)の「ベクレル」ようにほかの語では置き換えられない語、(112)の「マウス」のように「実験用のネズミ」⁴⁹と言い換えられそうな語があっても必ずしも難易度を下げられるとは言えないような場合に外来語をそのまま使う例などがみられ、級外の外来語の使用率が押し上げられたと考えられる。

- (111) a. 東京電力は飛散した放射性物質の量が 1 時間当たり 2 8 0 0 億ベクレル、全体では 1 兆 1 0 0 0 億ベクレルに上るとの推定結果を 2 3 日開かれた原子力規制委員会の専門家会合で示しました。(般: 80)
- b. 東京電力は 2 3 日、飛んだ放射性物質は、1 時間に 2 8 0 0 億ベクレル、全部で 1 兆 1 0 0 0 億ベクレルと考えられると発表しました。(や: 80)
- (112) a. 研究グループは、(中略)このマウスを箱の中に入れ、電気刺激を与えて怖いと感じる体験をさせます。(般: 208)
- b. 研究グループは、このマウスを箱の中に入れて、電気ショックでマウスに怖い経験をさせました。(や: 208)

一方、一般ニュースについては外来語の使用率がそれほど高くはなかった。実際の語数では表 47 に示したように一般ニュースの外来語の語数はやさしい日本語ニュースの語数のおよそ 2 倍ありながら使用率が比較的低いのは、一般ニュースでは和語や漢語等別の語種の級外語彙がやさしい日本語ニュースに比べ非常に高い割合で使用されていたためである。

最後に、混種語について述べる。やさしい日本語ニュースの 1 級語彙の混種語はサ変動詞と湯桶読み・重箱読みの語しかなかった。しかし、級外語彙ではサ変動詞が異なり語数 15

⁴⁸ 「サッカー」「チケット」「インターネット」は、初級教科書『あきこと友だち』では順に 4 課、18 課、18 課、『みんなの日本語』初級では順に 6 課、9 課、18 課で提出されている。

⁴⁹ 「実験」「ネズミ」はどちらも 2 級の語であり、仮に「実験用のネズミ」とした場合、書き換え原則外の語を 2 語使うことになる。

語・延べ語数 22 語、重箱読みの語が異なり語数 2 語・延べ語数 13 語と一定数存在するのに加え、湯桶読み・重箱読み以外の混種語名詞も異なり語数 14 語・延べ語数 79 語あり、そうした混種語名詞はサ変動詞よりも延べ語数が多かった。そのうち使用頻度が高い語は「エボラ出血熱」30 回、「危険ドラッグ」15 回、「脱法ドラッグ」11 回のように漢語と外来語の組み合わせが多いが、収集した語をみると「お中元」「滑り台」「手足口病」「カラオケ」「ヨウ素」「デング熱」など、和語・漢語・外来語の組み合わせ、複合語・派生語等さまざまな種類の混種語があった。

一般ニュースではサ変動詞が異なり語数 196 語・延べ語数が 518 語で混種語全体の 3 分の 2 程度を占めていたが、やさしい日本語ニュースと異なるのは外来語を基にした混種語が「ハッキングする」「アピールする」「アクセスする」「プレーする」「リタイアする」「アドバイスする」「クリアする」「ノミネートする」「リストアップする」のように異なり語数 9 語・延べ語数 16 語含まれていたことである。やさしい日本語ニュースでも「ハッキングする」のほか「ドリブルする」「シュートする」の 3 語が使用されていたが、その種類は一般ニュースほどの豊富さはなかった。

また、一般ニュースには湯桶読み・重箱読みの語を含め、名詞の混種語も異なり語数 53 語・延べ語数 196 語と多いが、やさしい日本語ニュースとの違いとして、「義務づける」や「封じ込める」等のサ変以外の動詞、連体詞「確たる」、副詞「切に」や「総じて」、イ形容詞「愛くるしい」「いち早い」等、やさしい日本語ニュースよりもさまざまな分類の語が含まれていることが挙げられる。やさしい日本語ニュースの級外語彙にはこうした多様性がみられないことから、一般ニュースで使用された名詞とサ変動詞を除く級外の混種語は省略あるいは書き換えが可能な語であったと言える。

以上、ニュースで使用された出題基準に該当しない語彙、級外語彙について、品詞と語種の構成から述べた。品詞の構成は 1 級の語彙と比べて大きな違いはなく、級外語彙も含め、すべての級レベルを通して名詞の使用が最も多かった。動詞の使用率は一般ニュースでは 20% 前後あったが、やさしい日本語ニュースでは 10% 前後と低かった。

語種では漢語の使用率が高いことは 1-2 級語彙と同様だが、級外語彙ではやさしい日本語ニュースにおいて漢語に加えて外来語の使用も目立った。これは出題基準に含まれない外来語がニュースの中で多用されているためだが、その内訳として、①初級教科書にも載っている外来語が出題基準に含まれていない②ほかの語種で言い換えられない外来語がある③言い換えの候補となりうる語があっても難易度を下げることには結びつかないという 3 点を挙げた。混種語についてはやさしい日本語ニュースでは 1 級語彙よりも組み合わせの面で多様だが、一般ニュースのようにさまざまな品詞に分布してはいなかった。

第三章 やさしい日本語ニュースの高頻度語彙

本章では第二章に引き続き、調査の結果を示し、その考察を行う。第二章では2014年7-8月にNHKがWebサイトで発信したやさしい日本語ニュースNHK NEWS WEB EASYとその元の一般ニュースNHK NEWS WEBの語彙を比較し、それぞれのニュースがどのような語彙群で構成されているか、その特徴を捉えることを目標とした。本章では対象とする語彙の範囲を絞り、やさしいニュースで高頻度で使用されていた語彙に限って扱う。本章の目的はやさしい日本語ニュースでどのような語彙が高頻度で使われていたのかを明らかにし、その語彙について意味分野を中心に考察を加え、ニュースに必要とされる語彙の特性を明らかにすることにある。

なお、ここでいう高頻度語彙とはやさしい日本語ニュースでの出現数が多かった語彙を指し、やさしい日本語ニュースの2,584語の異なり語数を出現回数の順に並べ、使用頻度の高い上位100語、300語、600語で区切ったものである。ただし、それぞれの区切りでは上位100語では同列99位が4語、上位300語では同列280位が31語、上位600語は同列571位が105語あったため、それぞれ102語、310語、675語を分析対象とした。なお、それぞれのカバー率は43%、63%、79%である。

また、本章では地名等の固有名詞も出現したものについては除外せず、ほかの自立語と同様に分析対象とした。これは、高頻度語彙の調査はニュースを読むのに必要とされる語彙を抽出し、その中に含まれる難易度の高い語彙の意味分野等の特定を目的に行ったため、固有名詞であろうとなかろうとそれはニュースを読むのに必要な語であり、固有名詞を普通名詞やそのほかの自立語と区別する必要がないと考えたためである。なお、固有名詞の難易度については出題基準に含まれる「日本」「アフリカ」等は該当する級に分類したが、出題基準に含まれないそのほかの語彙は級外語彙とした。また、補助動詞は該当する級が明確でないことから難易度は「不明」とした。

本章は2節に分かれ、1節では高頻度語彙100語、300語、600語に出現したすべての語彙を取り上げ、その特徴を品詞、語種、意味分野等の観点から述べる。2節では100語、300語、600語の高頻度語彙の中に含まれた難易度の高い2級以上の語彙の意味分野について述べる。

1. 高頻度語彙

1.1. 上位100語（カバー率43%）

本項では、やさしい日本語ニュースで使用された語彙のうちの上位100(102)語、延べ語数7,791語について考える。本節を通しての目的は具体的な語1語1語をみることだが、まず100語の全体像をみるため、その品詞・語種・難易度（出題基準）の構成を図42に示す。

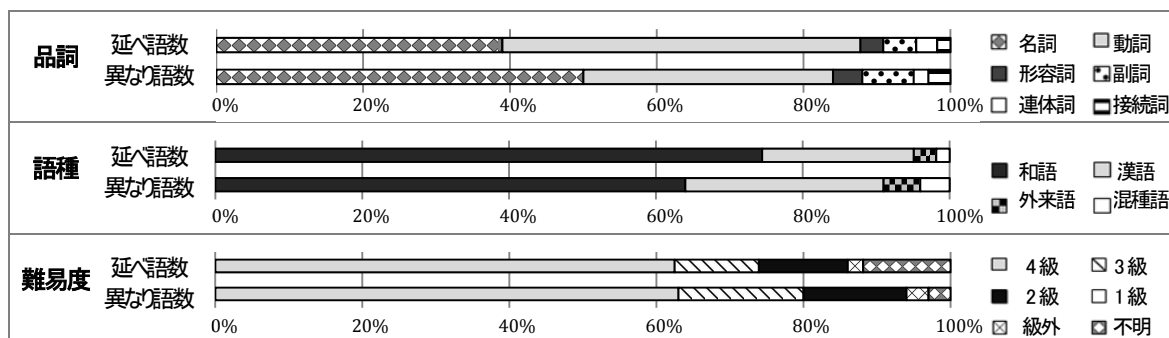


図 42 やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位 100 語の構成

図 42 に示したとおり、やさしい日本語ニュースで使用された上位 100 (102) 語の構成は、異なり語数・延べ語数ともに品詞では名詞と動詞、語種では和語、出題基準では 4 級の語彙が多かった。以下、品詞から順に第二章に記したやさしい日本語ニュースと一般ニュース全体で使用された語彙の特徴とやさしい日本語ニュースの高頻度語彙上位 100 語の語彙の特徴を比較する。

品詞別にみると、上位 100 語では異なり語数で名詞が 51 語、動詞が 34 語ある。名詞が全体の半数を占めており、動詞は名詞ほどには多くはない。しかし、延べ語数では動詞が 3,787 語、名詞が 3,010 語で異なり語数とは逆に動詞が全体の半数を占めている。また、名詞・動詞に次いで多いのは順に副詞、形容詞、接続詞・連体詞であり、異なり語数はそれぞれ 7 語、4 語、3 語・3 語であった。なお、感動詞は上位 100 語に 1 語も含まれていなかった。

名詞が延べ語数・異なり語数で全品詞のそれぞれ約 40%・50%、動詞が約 50%・35%という高頻度語彙上位 100 語の構成は、第二章でみたやさしい日本語ニュース・一般ニュースの全品詞の構成・それぞれの語種の構成・それぞれの難易度（出題基準）構成のいずれとも異なったものであり、高頻度語彙上位 100 語の品詞の構成は高頻度語彙特有のものである。第二章「1.1. 品詞別の特徴」冒頭で図 10「語彙の構成（品詞）」に示したように、高頻度語彙に限らず、やさしい日本語ニュースで使用されたすべての語彙でみた場合、名詞は延べ語数で全体の約 60%、異なり語数で約 75%であった。上位 100 語に占める名詞の比率はその約 3 分の 2 程度であり、延べ語数・異なり語数ともに上位 100 語に含まれた名詞の比率は比較的低かった。

一方、動詞がすべての語彙に占める比率は延べ語数・異なり語数でそれぞれ約 30%・15%であるため、上位 100 語に占める動詞の比率はどちらもその約 3 倍あり比較的高かった。こうしたことから、高頻度語彙上位 100 語には数多くの動詞が含まれており、動詞は名詞と比較した場合、高頻度で使用される語彙を特定しやすいと言える。

なお、上述のように高頻度語彙上位 100 語の品詞構成は第二章で述べた語彙特徴の語種別・難易度別の品詞構成とは異なっている。ただし、比較的近い構成の分類として、延べ語数では第二章「3.1. 3-4 級語彙」の図 31「3,4 級語彙の構成（品詞、延べ語数）」に示したや

やさしい日本語ニュース・一般ニュースの4級語彙、異なり語数では図32「3,4級語彙の構成（品詞、異なり語数）」に示したやさしい日本語ニュース・一般ニュースの3級語彙の構成を挙げることができる。このため、やさしい日本語ニュースの高頻度語彙上位100語の品詞構成は難易度の低い語彙の品詞構成に比較的近いと言える。

語種別にみた高頻度語彙上位100語では和語が最も多く、異なり語数64語で全体の約65%だが、延べ語数では全体の4分の3程度であり、延べ語数のほうが和語が全体に占める比率は高かった。和語に次いで多いのは漢語の異なり語数28語で、漢語は和語とは反対に異なり語数の比率が延べ語数よりも10%弱高く、上位50語以降で使用される語彙が多かった。外来語と混種語の異なり語数はそれぞれ5語、4語であり、両者を合わせてもその比率は異なり語数・延べ語数ともに10%に満たなかった。なお、外来語5語のうち2語は国名、2語はアルファベットや記号表記の語であった。

第二章の語彙特徴と比較すると、高頻度語彙上位100語の語種構成は第二章「3.1. 3-4級語彙」の図34「3,4級語彙の構成（語種、延べ語数）」及び図35「3,4級語彙の構成（語種、異なり語数）」で示した一般ニュース・やさしい日本語ニュースの4級語彙の延べ語数と異なり語数と非常に似通っていた。このような難易度の低い語彙の構成と似た語彙構成がみられた点は品詞と同様だが、品詞の構成は語種の構成ほど3級や4級の語彙の構成と類似したものではなかった。

また、上位100語語種構成を第二章「2. 語種別の特徴」の冒頭、図17「語彙の構成（語種）」に示したやさしい日本語ニュースのすべての語彙の語種構成と比べると、上位100語では和語が延べ語数・異なり語数でそれぞれ約15%・25%多く、漢語はそれぞれ約10%ずつ少なかった。こうした結果から、高頻度語彙上位100語の語彙はやさしい日本語ニュースで使用された語彙全体と比較した場合、和語が多く漢語が少ないことがわかった。

出題基準からみた難易度では4級の語が最も多く、異なり語数で63語あった。また、3-4級の語でみると、異なり語数は83語でその使用率は80%を超えていたが、延べ語数は異なり語数よりも若干使用率が低く80%には届いていなかった。3-4級以外のレベルでは2級の語が異なり語数12語で最も多く、級外と不明の語が3語ずつで、延べ語数では不明の語が最も多かった。なお、本節での不明の語とは、既述のように出題基準でレベルを判定できない補助動詞を指す。補助動詞が延べ語数で大きな割合を占めたのは、全体で使用数が1位の補助動詞「いる」が使用回数841回でほかの語より極めて多く使用されていたことに起因している。

高頻度語彙上位100語を第二章「3. 難易度別の特徴」冒頭、図29「語彙の構成（難易度）」と比較すると、上位100語では4級の語彙が多い。やさしい日本語ニュースの語彙全体では4級語彙は延べ語数で約50%、異なり語数で約25%だが、上位100語では延べ語数・異なり語数ともに約65%である。こうした4級語彙の多さに起因し、先に述べた品詞や語種の構成が難易度の低い語彙構成と近いものとなったと考えられる。次に、上位100(102)語に入った語彙を表48に示す。

表 48 やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位 100 語の品詞・語種の分類

種類		語彙	語数	
名詞	和語	人、ため、今、子ども、国、前、ことし、水、海、あと、家、とき、車、間、お金、近く、山、土	18	51
	漢語	県、◇日本、市、会社、◇東京、万、飛行機、去年、女性、世界、◇中国、事故、円、政府、駅、時間、計画、都、客、外国、情報、可能性、予定、被害、警察、物質	26	
	外来語	%、◇アメリカ、◇ロシア、m、グループ	5	
	混種語	場所、エボラ出血熱	2	
動詞	和語	◆いる、する、なる、ある、できる、言う、作る、考える、話す、出る、増える、使う、来る、亡くなる、いる、行う、調べる、よる(因)、入る、出す、見る、分かる、取る、◆くる、始める、◆いく、思う、始まる、住む、続く、続ける、落ちる	32	34
	混種語	発表する、利用する	2	
形容詞	和語	高い、新しい、多い、少ない	4	4
副詞	和語	初めて、これから、とても、どう、もっと	5	7
	漢語	約、たくさん	2	
連体詞	和語	この、大きな、その	3	3
接続詞	和語	そして、しかし、また	3	3

(枠内左上から頻度順。◇:固有名詞、◆:補助動詞)

以下、表 48 に示したそれぞれの分類の語について数の多い動詞の和語から順にどういった語が高頻度語彙上位 100 語に該当していたのかをみる。上位 100 語に含まれた語のうち最も数が多いのは動詞の和語で 32 語あり、その中には補助動詞も 3 語含まれていた。この語数について、やさしい日本語ニュースで使用されたすべての語と比較すると、その異なり語数は 2,584 語であり、上位 100 語はそのおよそ 26 分の 1 に過ぎない。しかし、動詞の和語に限れば異なり語数は 319 語であり、そのうち 32 語が高頻度語彙上位 100 語に入ったとすれば、動詞の和語はおよそ 10 分の 1 に相当する語が上位 100 語の中に含まれたことになり非常に多い。加えて動詞の和語が語彙全体の標準よりも 2.6 倍程度の高さで上位 100 語に入っていることから、動詞の和語の分類は高頻度で使用される語がほかの分類よりも多いとわかる。

なお、やさしい日本語ニュースの高頻度語彙上位 100 語に入った動詞はさまざまな名詞と結びつき多様な文脈で使用可能な語が多く含まれており、どういった内容のニュースでその動詞が使用されたのか想像するのは容易ではない。そうした語例として、「増える」が使用されたやさしい日本語ニュース文とそれに対応する一般ニュース文を (113)-(115) に挙げる。

- (113) a. 新しいタイプのボーイング 787 型機は、胴体が従来より 6 メートル長く、座席が 60 席ほど増えておよそ 400 人を乗せることができるほか、(後略)。(般: 134)
- b. この飛行機は、胴体が今までのボーイング 787 より 6 m 長いため、席が 60 増えて約 400 人が乗ることができます。(や: 134)
- (114) a. 「(前略) ましてや夜だと、川が増水したことが目で見てわかりづらいので極めて危険だ」としています。(般: 29)
- b. 夜は水が増えたことがはっきりわからないのでとても危ないです。(や: 29)

- (115) a. 今後、(中略)海外での自衛隊の活動は拡大していくものとみられ、(後略)。(般:4)
 b. この結果、自衛隊の活動が増えることとなります。(や:4)

「増える」の使用例としては、(113) b に示した「席が増える」のように事物の数の増加を表すもの、(114) に示した「増水する」のように増量を表すもの、(115) に示した「拡大する」のように、行為や病気の流行などを表すものがあり、このほかにも飛行機の増便、情報の増加等やさしい日本語ニュース文の中でさまざまな内容を伝えるのに使用されていた。こうした「増える」のように高頻度語彙上位 100 語に入った語にはさまざまな文脈で使用される語が多く、動詞 1 語からニュースの内容を推測するのは困難な場合が多い。ただし、「亡くなる」の 1 語に限っては事故や災害等のニュースで使われる語ではないかとある程度の類推は可能で、実際 (116) (117) のような使用例があった。ただし実際には、「亡くなる」は事故や災害のほか (118) (119) のように戦闘や病気などのニュースでも使用されていた。

- (116) a. 100号の会報には、当時29歳の夫を亡くした女性が手記を寄せ、(後略)。(般:143)
 b. 100号には、事故で29歳の夫が亡くなった女性が「『おすたか』は事故のあとの私を慰めてくれました。今でも心の支えです」と書いています。(や:143)
- (117) a. おとし9月に起きたマグニチュード5を超える地震では80人以上が死亡しています。(般:116)
 b. おとし9月にもマグニチュード5 (M5) 以上の地震があつて、80人以上が亡くなっています。(や:116)
- (118) a. 戦闘で、犠牲者はガザ地区で2100人、イスラエルで60人を超えました。(般:199)
 b. イスラエルとハマスの戦いは約50日続きました。ガザ地区で2100人以上、イスラエルで60人以上が亡くなりました。(や:199)
- (119) a. エボラ出血熱は、エボラウイルスが引き起こす致死率が極めて高い感染症で、(後略)。(般:109)
 b. 「エボラ出血熱」は高い熱が出て亡くなる危険がとても高い病気です。エボラウイルスというウイルスでうつります。(や:109)

やさしい日本語ニュースで「亡くなる」が使用された、書き換え前の一般ニュース対応箇所としては (117) a に示したような「死亡する」が最も多かった。特に事故や災害に関するニュースでは一部の例外を除き「死亡する」が用いられていた。次いで多く使用されたのは「亡くなる」で、原爆投下から年月を経ての死亡や病気の進行過程、原発事故に起因する自殺など、死に至る時間が比較的長い場合に「亡くなる」が用いられる傾向があった。そのほかに「亡くなる」と対応していた語として「亡くす」「犠牲」「致死」等の語が挙げられるが、これらの語は文脈に応じて一部使用されているだけだった。

このように、一般ニュースにおいては人の死を表す語でもある程度の使い分けがされているものと思われるが、やさしい日本語ニュースでは「亡くなる」の1語が事故・災害・戦闘・病気などに関連したニュース全般に使用されていた。そのため、やさしい日本語ニュースで使用される「亡くなる」の語からはその内容を事故・災害・戦闘・病気などと大まかに内容を推察することはできても、一般ニュースほどにはその内容を特定することはできない。こうしたことから、「亡くなる」も含め、高頻度語彙上位100語に含まれる動詞の和語1語でニュースの内容を類推することは難しいと言える。

動詞の和語に次いで2番目に多いのは名詞の漢語語彙の26語で、国名や地名も3語含まれていた。上位100位に入った名詞の漢語語彙は動詞の和語の語彙と異なり、「事故」「被害」「物質」などどういった内容のニュースで使われた語彙であるのかある程度の類推ができる語も少なくなかった。なお、列挙した3語はそれぞれ事故や補償、災害や戦争、医療や科学で使用されていた語である。(120)(121)にニュース文での「被害」の使用例を示す。

(120) a. 防衛省は、各地で台風や豪雨の被害が相次いでいるうえ、(後略)。(般:188)

b. 日本のいろいろな所で台風や大雨の被害が続いています。(や:188)

(121) a. 被害者に近づくことを禁じる禁止命令の手続きを現場判断で迅速に行えるよう簡略化する見直しが必要だとしています。(般:125)

b. 被害を受けている人の近くにストーカーが行かないように、命令を早く出す必要もあると言っています。(や:125)

(120)(121)に示したように、やさしい日本語ニュースにおいて2級の語「被害」が用いられていた箇所は一般ニュースでも「被害」が用いられていた。ただし、一般ニュースではやさしい日本語ニュースにおいては使用されていない「被害を免れる」「被害が広がる」といった連語が使用されているという違いがあった。また、対象としたニュースでは「被害」の語は災害や戦乱、犯罪等の内容を伝えるのに使用された例も一部あったが、大半は地震や大雨などの天災とその後の処理や復興に関するニュースでの使用であった。

また、「被害」は(120)のようにニュース文では天災や戦乱等で生じた目に見えて悪化した状況を指すことが多かったが、(121)のように具体物として残らない損害を指す例も一部あった。「被害」は『明鏡国語辞典 第二版』では「損害や危害を受けること・また、その害」と定義されており、目に見える損害か目に見えない損害かの区別はない。しかし(121)のように目に見えない「被害」の場合、何をもって「被害」とするかの解釈が必要であり、(120)のような目で確認できる「被害」と比べ、同じ定義で示される「被害」であっても難易度に違いが生じる場合もあるのではないだろうか。

しかし、語の定義が一つであることから「被害」は目に見える／見えないの区別なく、2級の語である。NHK ではやさしい日本語ニュースへの書き換えを出題基準を基に行っており、

本稿でも語の難易度を出題基準からみている。こうした場合、(120)(121)の「被害」の例のように、1語の中でも難易度が変わってくる可能性がある語がやさしい日本語ニュースの中でも使用されていること、語の難易度を語の「やさしさ」と置き換えた場合、出題基準からは測れない語の「やさしさ」があることについては留意すべきだと思う。

また、名詞の漢語には行政区域を表す語もあり、「都・県・市」は含まれているが、「府・道・区・町・村」は含まれていなかった。「県」と「市」が上位にあるのは都道府県・市町村のレベルでその数を考えれば妥当だが、「都」が含まれ「府・道」がないということは、大阪・京都・北海道のニュースよりも首都である東京に関するニュースのほうが多く発信されていたことになる。実際、都道府県名で上位100語に挙がった語彙は「東京」1語であった。

加えて、「女性」は高頻度語彙上位100語にあって「男性」はない。これは女性の社会進出に関する記事が3本取り上げられていたことに加え、イベントや祭りなどでのインタビューが211本のニュースを通し、男性は3件、女性は10件で、女性の発言が取り上げられる例が多かったことに起因する。さらに、漢数字のうち「万」だけ上位100語に含まれたのは、(122)(123)に例示するように、NHKニュースでは1,000以下の数は基本的に数字で表記されており漢字表記で示されることが多い最小の単位である「万」が必然的に使用回数の上位に入ったためである。

- (122) a. 去年販売した赤いダイヤモンドは、1カラット当たり日本円にして1億6000万円の値がついたということです。(般: 154)
- b. 去年、赤いダイヤモンドを1カラット1億6000万円で売りました。(や: 154)
- (123) a. 海外に在留している日本人の数を調べたところ、3か月以上の長期滞在者と永住者は合わせて125万8263人で、(後略)。(般: 195)
- b. 3か月以上外国に住んでいる人は125万8263人でした。(や: 195)

上位100語の分類で3番目に多いのは名詞の和語語彙の18語だが、具体的な語をみると「人(ひと)」「あと」などの語があり、こうした語では先に例示した「被害」などの漢語の名詞の語とは違い、ニュースの内容を特定することはできない。しかし中には「土」や「海」のように、それぞれ農業や輸送など多少は語から記事の内容を予測できるものもある。しかし、「土」を例に挙げれば(124)-(126)に示すように、園芸、発掘、工事、列車の脱線事故、大雨による災害、原子力発電所の方策などさまざまな内容のニュースで用いられており、こうした語は「被害」が使用されるニュースのように災害やその処理、復興に関連した内容であることが多いというようにニュースの内容を特定することは困難である。

- (124) a. 行田市の「古代ハス」は、公共施設の造成工事で1400年以上前の地層から掘り出された種が自然に発芽したもので、(後略)。(般: 17)
- b. この蓮は、行田市の建物を建てる工事のときに1400年以上前の古い土の中から出てきた種から育ちました。(や: 17)
- (125) a. 「凍土壁」は、福島第一原発の1号機から4号機の周りの地盤を1.5キロにわたって凍らせて氷の壁を作り、建屋などへの地下水の流入を防ぐもので、(後略)。(般: 34)
- b. 東京電力福島第一原子力発電所では、1号機から4号機の周り1.5kmの地下の土を冷やして氷の壁を作ります。(や: 34)
- (126) a. 干潟に土砂が堆積し、潮の流れが妨げられるようになったため、最近では満潮時でもめったに海に囲まれる姿が見られなくなっていました。(般: 77)
- b. 島の周りに土や砂がたまって、最近では潮が満ちても海に浮かんでいるように見えることが少なくなりました。(や: 77)

やさしい日本語ニュースで「土」と記されていても、(124)-(126)の例のように、一般ニュースで使用されていた元の語は「土」ではなく、「地層」や「地盤」「土砂」など別の語である例が目立った。一般ニュースのように「地層」「地盤」「土砂」等の書き分けがある場合に比べ、さまざまな文脈で使用可能なやさしい日本語ニュースにおける「土」は1語からニュース内容を予測することは難しい。

4番目に多い分類は名詞の外来語と副詞の和語でそれぞれ5語あり、3番目までの分類よりも一つの分類に含まれる語が大幅に少ない。ただし、4番目以降のそれぞれの分類の語数は大差がなく、いずれも上位100語に該当する語は2-5語含まれるのみである。

名詞の外来語のうち2語は記号やアルファベット表記によるもので、母語を問わず理解がたやすい語だと考えられる。なお、やさしい日本語ニュースからは「%」「m」をカタカナで「パーセント」「メートル」のように表記した例は収集できなかったが、一般ニュースでは「%」はカタカナ表記と記号とが併用され、「m」はニュースタイトルを除きカタカナが使用されていた。(127)(128)にその使用例を示す。

- (127) a. バス会社5社は、(中略)運賃を従来の30パーセントから70パーセントに抑えた格安バスを運行してきました。(般: 1)
- b. 5つのバス会社が、運賃を前より30%から70%も安くしています。(や: 1)
- (128) a. 東京スカイツリーでは、地上450メートル余りの展望台に願いごとを書いた短冊を飾りつけたさが展示され、訪れた人たちの目を楽しませています。(般: 27)
- b. 東京スカイツリーでは、高さ450mの所にある展望台に七夕飾りを用意しました。(や: 27)

また、名詞の外来語の中には「アメリカ」「ロシア」という国名も含まれていた。なお、漢語語彙には「中国」が含まれていたため、上位 100 語に入った外国名は 3 語である。記号・アルファベット表記の語、国名を除いて高頻度語彙上位 100 語に含まれた名詞の外来語は「グループ」1 語である。「グループ」の使用例 (90)-(92) を再掲する。

- (90) a. 研究グループでは、将来、宇宙空間で牛などの哺乳類を繁殖させることにつながる結果だとしています。(般: 106)
- b. 研究グループは、将来、宇宙で牛などの哺乳類を増やすことができるかもしれないと言っています。(や: 106)
- (91) a. ガザ地区でのイスラエル軍とイスラム原理主義組織ハマスとの戦闘を巡っては、(後略)。(般: 173)
- b. ガザ地区では、イスラエルの軍とパレスチナのハマスというイスラム教のグループが戦っています。(や: 173)
- (92) a. 恐竜のうち鳥に近いグループには羽毛があり、進化の過程で恐竜にいつ羽毛が備わったのか研究者の議論の対象となっていました。(後略)。(般: 88)
- b. 今まで専門家は、恐竜がいろいろな種類に分かれたあと、鳥に近い種類の恐竜の羽毛がいつ生えたかを研究していました。(や: 88)

先述のように、やさしい日本語ニュースと一般ニュースで使用された「グループ」は 3 種類に分けられる。最も多いのが (90) に示した「研究グループ」のように双方のニュースで使用された例、2 番目に多いのが (91) に示した「親ロシア派の武装集団」を「親ロシア派のグループ」に書き換えたようなやさしい日本語ニュースでのみ「グループ」が使用された例、最も使用例が少ないのが (92) に示した「鳥に近いグループ」のように一般ニュースでのみ「グループ」が使用された例である。

(92) で 3 級の語「グループ」が同じく 3 級の語「種類」に書き換えられた理由として、先に (92) で使用された「グループ」の語が (90) (91) で使用されていた「グループ」よりも解釈が難しかったためという考察をした。出題基準では「グループ」は 3 級以外には分類されておらず、先述の「被害」の語と同様に¹⁰出題基準でみた場合、語の難易度は「グループ」「被害」というそれぞれの語で一定しているはずである。それでも、「グループ」は 3 級の語でありながら意味によっては書き換えの対象として扱われる例があった一方、「被害」は目に見える／見えないという違いがなく一律に扱われていた。この 2 語の違いとして、「被害」の目に見える／見えないという違いは語の意味の違いにまでは及んでいないものの、「グループ」は『明鏡国語辞典 第二版』では 3 種類の意味が載せられているように多義語として捉えることが可能である点が挙げられる。

こうした違いから、やさしい日本語ニュースに相応しい語であるか否か、「やさしい」語であるか否かの解釈が「グループ」のほうが比較的容易であったと考えられる。しかし、出題基準で意味による語の難易度が定められていない以上、特定の一語が多義語であるか否か、その「多義語」が意味によって語の「やさしさ」が変化するか否かの判断は明確ではなく、出題基準だけでは測れない語の「やさしさ」についての判断がやさしい日本語ニュースへの書き換えで一部加えられていると言える。

名詞の外来語と同列 4 位の副詞の和語について、上位 100 語に入った 5 語の内訳をみると、時間に関わる語、程度に関わる語がそれぞれ 2 語含まれていた。時間に関わる 2 語は「初めて」と「これから」で、5 語の中でも使用頻度が高い。こうした語が高頻度語彙として抽出されたのは、「初めて」は (129) に例示するように、初めて入賞したり、初めて設置したり、初めての判決が出たりと「初めて」であればこそニュースとして取り上げられたと思われるものが多かったためである。「これから」も同様に (130) b の例のように、これからの課題、これからの動向、これからの運営等、今後の情勢を伝えるためにニュースになったと思われるものが多く、結果的に「初めて」や「これから」の語が高頻度で使用されることとなった。

- (129) a. 先月、ミャンマー最大の都市ヤンゴンでかば焼きにしたうな重などを提供する初めての店がオープンしました。(般: 95)
- b. ヤンゴンに、ミャンマーのうなぎで作った日本料理を出す店が初めてできました。(や: 95)
- (130) a. 文部科学省は「(中略) 政府全体で対策を検討する必要がある」と話しています。(般: 136)
- b. 文部科学省は「(中略) これから国がしっかり考えていく必要があります」と話しています。(や: 136)

「初めて」は (129) に示したように、やさしい日本語ニュースと一般ニュース対応箇所でも共通して用いられた例も多く、一般ニュースでも 73 回と高い頻度で使用されていた語である。一方、「これから」は第二章「1.4. 副詞・連体詞・接続詞・感動詞」で既述のように、一般ニュースでの使用は少なく 5 回のみであった。これは、やさしい日本語ニュースの「これから」に対応する箇所が以下に再掲する (34) のように一般ニュースの「今後」の書き換えである場合もあれば、(130) のように、やさしい日本語ニュースでは書き換えで「これから」が加えられているものの、その語を使用せずとも近い将来について述べていると文脈から解釈できるため、その語が必要とされない場合も少なくなかったためでもある。

- (34) a. 「今後はネガティブな感情を伴う記憶を多く持つ、うつ病のような症状のマウスで実験を行い、さらに脳の詳しい仕組みの解明を進めていきたい」と話しています。(般: 208)

- b. 「これからうつ病のようなマウスで実験をして、脳についてもっと研究していきたいです」と話しています。(や: 208)

程度を表す「とても」は(131) bに示すように形容詞を伴って使われる例が大半で「とても高い」(や: 109)、「とても上手」(や: 163)、「とても珍しい」(や: 190)のように使用されていた。そのほかにも、「とても大きな地震」(や: 69)のように連体詞を伴って使用された例、「とても多くの放射性物質」(や: 80)のように名詞を修飾した例、(132) bに示すような動詞を修飾した例もあり、「とても生き生きしている」のほか、「とても喜んでいました」(や: 67)、「とても役に立つ」(や: 70)のように使用されていた。さらに、(133) bのように副詞を2語重ねて使用された例も4例みられたが、今回対象としたやさしい日本語ニュースで使用されていたのはすべて「とてもたくさんの雨が降る」という大雨に関する文字列であった。

(131) a. 和歌山市は、日中の最高気温が32度3分と厳しい暑さとなり、(後略)。(般: 82)

b. 和歌山市は、気温が32.3°Cまで上がって、とても暑くなりました。(や: 82)

(132) a. 「病気をしたとは思えないほど躍動感にあふれ、(後略)」(般: 7)

b. 「病気になったとはわからないぐらい、とても生き生きしていました」(や: 7)

(133) a. 局地的な豪雨による広島市の土砂災害で、(後略)。(般: 181)

b. 広島市では、20日の朝まで、短い時間にととてもたくさんの雨が降りました。(や: 181)

やさしい日本語ニュースで「とても」が使用された箇所について、元の一般ニュースに戻ると、(131)-(133)に示したように、「とても」が使用されていない例が多い。実際、「とても」が一般ニュースにおいて使用されたのは13回で、やさしい日本語ニュースと比べ少なかった。このように、「とても」は一般ニュースにおいて多用される語ではないが、(132)(133) aにみられるような「躍動感にあふれる」「豪雨」というように一見つながりのないような語でも「とても」を使って言い換えることができるという点でとても有用な語だと言えるだろう。

「もっと」は一般ニュースでの使用例は皆無である。「もっと」対応箇所の書き換え前の文脈の例として、(81)(82)に再掲するように、「さらに」のように1対1で対応する語が存在する例も一部あったが、(82)で「歯止めがかからない状況」が「もっと広がってしまう」に書き換えられたように元のニュースとは全く別の表現に書き換えられた例のほうが多かった。

(81) a. 今後もさらに理解してもらえようPRを続けていきたい(般: 12)

b. もっと多くの人に協力してもらおうことができるようにPRを続けていきたいです(や: 12)

(82) a. 感染に歯止めがかからない状況に危機感を示しました。(般: 115)

b. NGOは、今のままではエボラ出血熱はもっと広がってしまうと言っています。(や: 115)

6番目に多い分類は形容詞の和語で、「高い」「新しい」「多い」「少ない」のイ形容詞4語が該当する。「高い」は(134)bに示すような「安い」の反対語よりも、「可能性が高い」(や:95)、「割合が高くなる」(や:101)、「高いビル」(や:92)など、(135)bに示すような「低い」の反対語としての意味で用いられている例が多かった。なお、「低い」の反対語の意味の「高い」は原形で用いられた例が多く、「安い」の反対語の「高い」は「高くなる」など「高く」の形で用いられた例が多いという違いがあった。

(134) a. 海外旅行も円安でツアー代金が上昇傾向にあるものの、(後略)。(般:18)

b. 海外旅行は、円安で代金が高くなっています(後略)。(や:18)

(135) a. 特区による規制緩和でビルの容積率を緩和するなど土地の有効活用を図り、(後略)。

(般:92)

b. 特別に規則を緩くして、高いビルを建てることができるようにしたりします。(や:92)

やさしい日本語ニュースで使用された「高い」対応箇所は一般ニュースでは(134)(135)aのように形容詞を用いずに表現されている例が多かった。「高い」がやさしい日本語ニュース・一般ニュースで共通して用いられていた例としては「可能性が高い」という句が挙げられるが、「可能性が高い」に使用されている程度の高さを表す「高い」は「値段が高い」や「高さがある」という意味の「高い」よりも難易度が高い。これは出題基準で4級の語の「高い」が「たかい『高い山』」「たかい『値段が高い』」(『日本語能力試験出題基準』2002:17)との記載があることから明らかである。このように、出題基準では「グループ」のように多義語であるか否かも定かではない語がある一方、「高い」のように意味により明確に難易度が定められているものもある。

「新しい」は、「新しい規則」(や:48)、「新しい車両」(や:15)、「新しくできた橋」(や:77)のようにいろいろな名詞と結び付いてさまざまな話題で使用されていた語である。「多い」と「少ない」とでは「多い」のほうが使用例が多い。「多い」「少ない」ともに数や量の多少を示すのに使用可能だが、やさしい日本語ニュースでは人数や回数など数の多少を表す(136)(137)bのような「多い」「少ない」の使用例が多く、「多い」はその大部分が人数の多さに言及した文脈で使用されていた。(138)(139)bに示すような量の「多い」「少ない」の使用例は比較的少なかった。

(136) a. クローゼ選手がワールドカップ通算16点目となるゴールを決め、歴代最多記録を更新しました。(般:181)

b. クローゼ選手は、ワールドカップでゴールがいちばん多い選手になりました。(や:181)

(137) a. 外務省は「留学生など長期滞在者の減少が目立っている。(中略)」と話しています。

(般:195)

- b. 外務省は「留学生などが少なくなっています。(中略)」と話しています。(や: 195)
- (138) a. これまでより4トン多い22トンの貨物を搭載できます。(般: 134)
- b. 今までより4t多い22tの荷物を運ぶことができます。(や: 134)
- (139) a. MR Jは(中略)高い省エネ性能を持ち(後略)。(般: 53)
- b. MR Jは少ない燃料で長い距離を飛ぶことができます。(や: 53)

一般ニュースの対応箇所と比較すると、中には(138)のように一般ニュースの「多い」がやさしい日本語ニュースでもそのまま「多い」が残されている例も中にはあったが、(136)(137)の例のように「多い」「少ない」は「最多」「減少」のような名詞からの書き換えに使用される例も少なくなかった。また、(139)のように「省エネ」という一見「少ない」とは関連が薄いかと思われるような語の説明に「少ない」が用いられている例もあった。

7番目に多い分類は、連体詞の和語と接続詞の和語のそれぞれ3語である。連体詞の和語は「この」「大きな」「その」の3語があり、「この」「その」は(140)(141)bに示すように文脈指示として使用されていた。(140)(141)の書き換え例では「この」は長い文を分割するために用いられており、一般ニュースでは1文に収まっている情報のため文脈指示の「この」が必要とはされなかったと考えられる。(141)bの「その」には文を分割するという意図はなく、(141)aの「盛り土された」という難易度の高い語を使用せずに内容を伝えるため「その」を用いた書き換えが施されていた。

- (140) a. 10日昼前、栃木県鹿沼市と栃木市、それに壬生町で突風による被害が相次ぎ、女性2人が割れたガラスでけがをしたほか、(後略)。(般: 141)
- b. 10日の午前、台風11号のため、栃木県鹿沼市と栃木市と壬生町で急に強い風が吹きました。この風でガラスが割れて女性2人がけがをしました。(や: 141)
- (141) a. 新しい校舎は震災の経験を踏まえ、元の校舎よりも1メートル高く盛り土された場所に建てられ(後略)。(般: 169)
- b. 新しい校舎は、土地を今までより1m高くして、その上にできました。(や: 169)

次に「大きな」について記す。高頻度語彙上位100語には4級の語の形容詞「大きい」は含まれなかったが、3級の語の連体詞「大きな」は含まれていた。「大きい」「大きな」については語の使用範囲がある程度共通すると思われるが、それぞれが名詞を修飾した例を比べると、具体名詞の修飾には(142)(143)bのように両者が使用されていた一方、「被害」「問題」等の抽象名詞の修飾に使用されたのは(144)bのように「大きな」に限られ「大きい」は1度も使用されていないという違いがあった。

ただし、「大きい」についても述部で使用される場合は文中の名詞に制限はなく、「期待より心配のほうが大きい」(や: 128)のように「期待」「心配」といった語とともに使用さ

れていた。一方、元の一般ニュースでは(142)-(144) bに対応する文はそれぞれ(142)-(144) aのように「大きい」を使っても名詞修飾ではなかったり、「巨大な」「深刻な」等、別の形容詞を用いたりする例がみられた。それでも、「大きい」と「大きな」が使用される文脈での語の書き分けについてはやさしい日本語ニュースと同様であった。

- (142) a. 現代のハスより花びらの枚数が少なく、大きいのが特徴です。(般: 17)
 b. 今の蓮より花びらが少なく、大きい蓮です。(や: 17)
- (143) a. 函館市の沿岸で、重さ1トンを超える巨大なマンボウが定置網にかかっているのが見つかりました。(般: 175)
 b. 函館市の海の中にある網に大きなマンボウが入っているのが見つかりました。(や: 175)
- (144) a. ワインの産地として知られるフランス中部、ブルゴーニュ地方の一部の地域では、28日に降ったひょうの影響で収穫前のぶどう畑に深刻な被害が出ています。(般: 60)
 b. ブルゴーニュ地方の一部の場所で約3分の間、ひょう(=小さな氷の塊)が強く降りました。このため、ワインの原料になるぶどうが大きな被害を受けました。(や: 60)

連体詞の和語と並んで7番目に多い分類である接続詞の和語では、「そして」「しかし」「また」の3語が上位100語に含まれている。これらの語はそれぞれに順接や逆接など機能が異なり、順接では「そして」、逆接では「しかし」というように一つの機能で複数の語が含まれることはなかった。なお、やさしい日本語ニュースにおいてはいずれの語もすべて文頭で使用され、文と文をつなぐ役割を担っており、文中で使用された例はなかった⁵⁰が、一般ニュースは「そして」が2か所、「また」が1か所、文中での使用例があった。また、いずれのニュースでも「そして」「しかし」「また」の後には読点が施される例が多かったが、読点なしに文が続けられる例も少なくはなかった。(145)(146)に「そして」の使用例を挙げる。

- (145) a. 西之島は、去年11月に島の南東側の海底から噴火しているのが確認され、去年の暮れには流れ出た溶岩でできた陸地が元の島と陸続きになりました。(般: 87)
 b. 西之島の南東の海で、去年11月に噴火が始まりました。そして、海に流れた溶岩でできた陸が、去年12月に西之島とつながって、1つの島になりました。(や: 87)
- (146) a. 宮崎監督の作品のうち「千と千尋の神隠し」が、2003年に長編アニメーション賞を受賞したほか、2006年には、「ハウルの動く城」が、そして、ことしも「風立ちぬ」がそれぞれ同じ長編アニメーション賞にノミネートされました。(般: 210)

⁵⁰ 副詞「また」はやさしい日本語ニュースで1例、一般ニュースで3例使用例を収集した。やさしい日本語ニュースでの使用例を次に示す。「東日本大震災で被害を受けた岩手県の鉄道が、また走ることができるようになるまでを紹介したグループもありました」(や: 153)

- b. 宮崎監督の映画は、2003年に「千と千尋の神隠し」がアカデミー長編アニメーション賞をもらいました。「ハウルの動く城」と「風立ちぬ」は賞の候補になったことがあります。（や: 210）

(145) b はやさしい日本語ニュースで文頭の「そして」が用いられた例である。これに対応する箇所は一般ニュースでは接続詞を伴わずに文が続けられていた。やさしい日本語ニュースへの書き換えで接続詞が挿入されたのは、上述の連体詞「この」と同じく1文の長さを短くする目的があったものと考えられ、こうした書き換え例は少なくなかった。また、(146) a は一般ニュースの文中で「そして」が用いられた例である。文の構造が違うため(146) b の「と」と単純な比較はできないが、(146) についても、書き換えの過程で1文が分割されており、こちらは文を分割することで逆に接続詞が不要となったと考えられる。次に「しかし」の使用例を(147)に示す。

- (147) a. 地元の消防や警察のほか軍の兵士2500人が派遣され救出活動を続けていますが、余震が続いているうえに土砂崩れで寸断された道路も多く作業は難航しています。（般: 116）
- b. 消防や警察や軍が、倒れた建物の下にいる人を助ける作業を続けています。しかし、余震が続いていて、雨も降っています。（や: 116）

(147) の例では、一般ニュースで接続助詞「が」で文を続けていた箇所が、書き換えで「しかし」を用いたことで文を分割することにつながっていた。こうした接続助詞「が」の接続詞「しかし」への書き換えは対象としたニュースでは頻繁に観察された。続いて、「また」の使用例を(148)(149)に挙げる。

- (148) a. こうした安全システムは、車どうしが位置情報を通信でやり取りして車間距離を保ったり、交差点などに設置されたセンサーから信号を送って車の出会い頭の衝突を避けたりするので、（後略）。（般: 166）
- b. 安全システムは、車についている無線で前の車と近くなりすぎないようにします。また、交差点などにセンサーをつけて、車と車がぶつからないようにします。（や: 166）
- (149) a. 審議会では、企業に数値目標の設定や計画の作成を義務づけるのか、また、どの程度の規模の企業までを対象とするのかが議論の焦点となる見通しです。（般: 108）
- b. （対応箇所なし）（や: 108）

(148) b はやさしい日本語ニュースで接続詞の「また」が文頭で使用された例だが、一般ニュースの対応箇所には(148) a に示したように「また」は現れず「～たり～たりする」という文型が用いられており、やさしい日本語ニュースとは異なり1文である。(149) a は、今回対

象としたニュースで唯一接続詞「また」が文中で使用された例である。ただし、(149) a 対応箇所はやさしい日本語ニュースでは削除されていたため、書き換え例は収集できなかった。こうした「そして」「しかし」「また」の例から、やさしい日本語ニュースにおいては文を分割する目的で接続詞が用いられる例が多かったと言える。

9 番目に多い分類は 3 種類あり、名詞の混種語・動詞の混種語・副詞の漢語でそれぞれ 2 語である。名詞の混種語 2 語は「場所」と「エボラ出血熱」である。「エボラ出血熱」は対象とした期間に西アフリカなどで病気が流行していたことから頻繁にニュースに取り上げられたため、全 211 本のニュース中 5 本がエボラ出血熱に関連のある記事であった。しかし、この語は病気の流行が落ち着けばニュースに取り上げられる頻度も落ち、高頻度語彙に入らなくなるだけではなく、多くの病名のように期間を限定したニュースでは全く使用されない語ともなりうると考えられ、ニュースにおける固定的な高頻度語であるとは考え難い。また、「場所」については分類上は混種語だが、湯桶読みの語である。(150)(151)に「場所」の使用例を示す。

(150) a. 現場付近は急な斜面が続く場所で、(後略)。(般: 155)

b. 事故は、急な坂が続く場所で起きました。(や: 155)

(151) a. スタンプは、製糸場をはじめ、世界遺産に登録された 3 つの史跡のほか、周辺の観光施設や道の駅など合わせて 20 か所に設置されています。(般: 13)

b. スタンプは、富岡製糸場の周りがある観光地など 20 の場所に置いてあります。(や: 13)

「場所」はやさしい日本語ニュースでの使用回数は 51 回だが、一般ニュースではその半数以下の 22 回しか使用されていない。実際は (150) のように双方のニュースで共通して「場所」が用いられる例はあったものの多くはない。やさしい日本語ニュースにおいては「場所」は建物も事故現場もさまざまなものを指して使われていた一方、一般ニュースにおいては建物や会場などを指す場合には (151) のように「施設」や「仮設校舎」等の名称を使用し、事故発生場所や工事をしている場所を指す場合には「現場」の語を使用する例が多かった。このように、やさしい日本語ニュースでは使用される語の数が減らされたことにより、1 語あたりの語の使用域が一般ニュースよりも広がっていた。

動詞の混種語は「発表する」「利用する」の 2 語でどちらも「漢語名詞+する」の形をとるサ変動詞である。第二章「1.2. 動詞」で述べたように、やさしい日本語ニュースで使用されていたサ変動詞は一般ニュースよりも数が限られ、使用率も低かった。しかし、やさしい日本語ニュースにおいても高頻度語彙上位 100 語にサ変動詞が 2 語含まれており、使用頻度の高いサ変動詞も一部存在していた。「発表する」の使用例を (152) に示す。

(152) a. J R 東日本は（中略）新しい鉄道路線の計画の具体的な内容を明らかにしました。
（般:176）

b. J R 東日本は（中略）新しい電車の線をつくる計画を発表しました。（や: 176）

やさしい日本語ニュースで「発表する」が用いられた箇所は、一般ニュースでは(152) a のように「明らかにする」が用いられている例が最も多かった。今回収集した動詞の書き換え例では、「漢語名詞+する」の形のサ変動詞を和語動詞に置き換えるというものが (6) (27) (43) に示したように非常に多かった。

(6) a. パリで3年ぶりとなる演奏会に臨み、スイスにみずから設置した音楽塾、スイス国際音楽アカデミーの若手の弦楽奏者25人と共に、バッハの協奏曲とバルトークの「ディベルティメント」の2曲を披露しました。（般: 7）

b. 小澤さんは1日、フランスのパリでコンサートを開きました。病気で休んだあと、パリで指揮をするのは初めてです。コンサートでは、小澤さんがスイスに作った音楽学校の25人がバッハとバルトークの曲を弾きました。（や: 7）

(27) a. このため気象庁はこれまでの予測を修正し、「この夏にエルニーニョ現象が発生する可能性は低くなった」と発表しました。（般: 43）

b. このため、気象庁は6月の発表を変えて、「ことしの夏、エルニーニョ現象が起きる可能性は低くなった」と発表しました。（や: 43）

(43) a. 猛烈な雨が降りました。（中略）プサン市では、浸水した地下道で（後略）。（般: 196）

b. プサン市でもたくさん雨が降って、地下の道に水が入って、（後略）。（や: 196）

しかしながら、一部には (152) (29) に示したように、和語動詞を「漢語名詞+する」の形のサ変動詞に置き換えるという例も存在していた。

(29) a. 訪れたい都市 京都市が世界1位（般: 16）

b. 旅行したい都市 京都市が世界で1番になる（や: 16）

なお、やさしい日本語ニュースの「発表する」に対応する一般ニュースの「明らかにする」以外の語としては「発表する」や「公表する」の使用例があった。続いて、(153)-(155)に「利用する」の使用例を示す。

(153) a. 東京オリンピックに訪れる外国人観光客などを呼び込みたいとしています。（般: 56）

b. オリンピックを見に来る外国人などに温泉を利用してらおうと考えています。（や: 56）

- (154) a. スカイマークは当初、成田空港を拠点にA380型機を使って、創業以来初めて国際線の定期便の運航に参入する計画でした。(般:124)
- b. スカイマークには、成田空港を利用して初めて国際線を作る計画がありました。(や:124)
- (155) a. 目の錯覚を利用して絵画を立体的に見せる「3Dアート」の展示会が、(後略) (般:148)
- b. 「3Dアート」は、壁や床にかいた絵を立体のように見せる作品です。(や:148)

「利用する」は一般ニュースからやさしい日本語ニュースへの書き換えでも語を変えず、そのまま使用されていた例が少なくなかった。しかし、そうした中には「情報を利用する」(や:128)のように、(154) bの「空港を利用する」等とは違って「利用する」という行為が目に見えないものも含まれており、語の難易度は利用する対象が何であるのかによって変化する可能性がある。この目に見える／見えないという違いについては先に述べた「被害」の例と同様である。

なお、(153)(154)に示したように語の難易度を下げる目的で「利用する」が「呼び込む」「拠点」等の書き換え語としても使用された例がある一方、(155)に挙げたように、中には一般ニュースでのみ「利用する」が用いられた例もあった。(155) aの例は「目の錯覚を利用する」という句の中で「利用する」が用いられ、こうした「利用する」の解釈はATM、飛行機、非常階段、パスワード等を「利用する」という語の解釈よりも難易度が高いと判断されたと考えられる。しかし、「情報を利用する」や「空港を利用する」の「利用する」は易しく、「目の錯覚を利用する」の「利用する」が難しいという明確な基準はないと思われる。

副詞の漢語は「約」「たくさん」の2語である。「約」は第二章「1. 品詞別の特徴」で(11)(12)に示したように、やさしい日本語ニュースでは数字の概算を表すのに多用されていた語だが、一般ニュースではタイトルを除いて使用例はなく、やさしい日本語ニュースの「約」に対応する語としては「程度」や「およそ」があった。

- (11) a. 日本ハムはハムやソーセージ、レトルト食品など、合わせて284品目を、伊藤ハムは230品目を対象に値上げや実質的な値上げを行い、上げ幅は平均で10%程度になるということです。(般:3)
- b. 日本ハムと伊藤ハムは200以上の品物の値段を平均で約10%上げます。(や:3)
- (12) a. ひょうは、およそ3分間、集中的に降ったということです。(般:5)
- b. 一部の場所で約3分の間、ひょう(=小さな氷の塊)が強く降りました。(や:5)

「たくさん」は既出の「多い」と語の使用範囲がある程度重なる語だが、「多い」は既述のとおり、量よりも数の多さを表すことが多かったのに対し、「たくさん」は対象としたやさしい日本語ニュース文では(156) bに示すような数の多さを表す例ばかりではなく、(59) b

に示した「経験がたくさんある」という豊富さや、(157) b のような量の多さを表す文脈でも比較的多く使用されていた。

- (156) a. サーフボードから落ちたりひっくり返ったりする犬が相次ぎました。(般: 49)
 b. サーフボードから落ちる犬がたくさんいました。(や: 49)
- (59) a. サーフィンの経験豊富な犬が姿勢を低くしてしっかりと波を捉え、(後略)。(般: 49)
 b. サーフィンの経験がたくさんある犬は、体を低くして(後略)。(や: 49)
- (157) a. 9日、猛烈な雨で土石流が起き、(後略)。(般: 41)
 b. 9日の夕方、非常にたくさんの雨が降った長野県南木曾町で土石流がありました。(や: 41)

(156) b は (156) a から、(157) b は (157) a から、同じ内容を伝えるために書き換えられた部分だが、「たくさんいる」と「相次ぐ」、「非常にたくさんの雨」と「猛烈な雨」はどちらも意味するところが変化していると思われる。「相次ぐ」は「類似の物事が次から次へと起こる」(『明鏡国語辞典 第二版』)だが、「たくさんいる」からは事態の連続性は感じられない。また、「猛烈」は「勢いが極めて激しいさま。程度がはなはだしいさま」(同辞典)だが、「非常にたくさん」からは量の多さは伝えられても、その激しさや強さは感じられない。いずれの例でも、描写された状況が変化したところで、ニュースの内容を伝えることには影響は及んでいない。それでも、やさしい日本語ニュースへの書き換えは語を置き換えているため、語が変われば意味が変化していくことは免れず、1文1文に目を向ければ、このように書き換えにより細部が変化している箇所も諸所にみられた。

以上、高頻度語彙上位 100 語に該当する語彙について品詞と語種による分類別にその具体例をみた。表 48 に挙げた語 1 語 1 語からのニュース内容の類推ができるかについて考えると、動詞よりも名詞が、和語よりも漢語や混種語等のほうが比較的容易だと思われる。しかし、動詞の和語でも「亡くなる」のように一部ニュース内容を類推できる語もあれば、名詞の和語の「土」のように語の使用範囲が広いものもあった。また、やさしい日本語ニュースでは「亡くなる」1語しか用いられていなくても、元のニュースではその内容により「死亡する」「亡くなる」などが書き分けられている例もあった。

こうしたことから、やさしい日本語ニュースで高頻度で使用されている語からニュースの内容を類推することは一般ニュースの語をとって行うよりも難しいと思われる。また、「多い」と「たくさん」、「大きな」と「大きい」のような類義語には名詞等との組み合わせにおいてある程度の使い分けがされていることがわかった。続いて、表 48 に示した語彙がどのような意味分野に属する語であるのかを表 49 に示す⁵¹。

⁵¹ 『角川類語新辞典』(2012)による分類。語彙分類体系の詳細は稿末資料4。

表 49 やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位 100 語の意味分野

大分類	中分類	小分類	使用された語	語数 ⁵²	大分類	中分類	小分類	使用された語	語数				
自然	暦日	年	こし、去年	2	行動	往来	出入り	出る、入る	8				
		地勢	陸地	土(つち)			3	見聞		目撃	見る	2	
	山	山	海	海		陳述	発言			言う、話す	2		
		生理		生死			亡くなる	1		談話	話す	1	
	物質	物質	物質	3		寝食	居住	住む			3		
		水	水			労役	実行	できる、する、行う					
鉱物		土(つち)	授受				徴収	取る		2			
性状	位置	位置		場所		8	26	取捨		取る	2		
		こそあど	この、その	所有						ある			
		前後左右	前、あと							操作		使用	使う、利用する ⁵³
		上下	高い					生産			製造	できる、作る	2
		周辺	間(あいだ)	耕作							作る		
		遠近	近く							心情	感覚	感じ	思う
	形状	大小	大きな	2		思考	思考	思う、考える			5		
	数量	数	万	6			判断	考える、予定					
		有無	ある、いる					認識		分かる			
		多少	たくさん、多い、少ない							立案		計画	
	実質	新古	新しい	1		学習	調査	調べる		1			
	時間	時間	とき、時間	8	意向	意	思う、考える	2					
先後			前、あと			誘導	願望		思う				
終始		新しい、初めて	1	妨害	被害								
今昔		前、今、これから		人物	人称	自他	人	1					
状態	難易	可能性	1		人	人	2						
価値	価格	高い	1	老若		男女		女性					
	良否	高い		少年	子ども								
程度	程度	高い	5	親族	子	子ども	1						
		大変			大きな、とても	仲間	仲間	グループ	3				
		一層			もっと		主客	客					
		大体			約			民衆	人				
こんな	どう	人物	偉人	人	1								
変動	移動	昇降	落ちる	1	16	性向	境遇	災難	事故、被害	2			
	離合	接続	取る、続く	2		社会	地域	場所	場所	6	20		
		出没	出し入れ	出る、入る、出す				3	領土			国	
	見え隠れ		出る、出す	変質				都道府県				県、都、市	
	変質	変質	する、なる				2	世界				世界	
	増減	生成	できる、作る				3		集団			群集	グループ
		増減	増える	加入								入る	
	情勢	発生	出る、出す、できる	4		団体	会社	3					
			成否				できる、なる			社会	世界		
	経過	開始	始める、始まる	5			施設		仕事場	会社			
到来		来る	駅・港		駅								
断続		続く、続ける			住居	家							
関連	因果	よる(因)	1	統治	機関	政府、警察	3						
行動	往来	去来	出る、来る	3	16	裁判	調べる						

⁵² 文脈により違う意味で使用された語はそれぞれの意味分野に分類しているため、合計数は102にならない。また、語数の左の列は中分類の、右の列は大分類の異なり語数であり、中分類の異なり語数の合計が大分類と一致しない場合がある。

⁵³ 表内サ変動詞の見出し語はサ変名詞(例:「利用する」の見出し語は「利用」)。

大分類	中分類	小分類	使用された語	語数	
社会	取引	損得	ため	3	
		収支	入る		
		貨財	お金 ⁵⁵		
	報道	報道	情報	2	
		発表	発表する		
社交	出欠	出る	1		
学芸	学術	作品	作る	7	
	論理	理由	ため		
		目的	ため		
	記号	名称	言う		5
		単位	%、円、m、時間		
物品	標識	貨幣	お金	3	
	工具	輪	車		
	機械	車両	車		
		航空機	飛行機		

区分	使用された語	語数	
分類不能 ⁵⁴	補助動詞	いる、くる、いく	3
	国名・地名	日本、東京、中国、アメリカ、ロシア	5
	接続詞	そして、しかし、また	3
	その他	エボラ出血熱	1

表 49 に示したように、上位 100 (102) 語に相当する語が 1 語も存在しない大分類はなく、10 分類すべてに 2 語以上の語が属していた。それぞれの大分類ごとの語数をみると、〔性状〕⁵⁶ に分類される語が最多の 26 語あり、中分類では {位置} {時間} の 8 語、{数量} {地域} {集団} の 6 語が多く、小分類では〈単位〉の 4 語が最多である。以下、大分類で最も多くの語を含む〔性状〕から順にそれぞれの大分類の中に含まれる語彙について述べる。

1 番多くの語を含む大分類は〔性状〕26 語であり、中分類は 10 分類中 {刺激} と {類型} の 2 分類を除く 8 分類に細分される。中分類の中では {位置} と {時間} の 8 語が最多で、{位置} には「場所・前・近く」等、{時間} には「とき・新しい・今」等の語が該当する。以下、多い順に {数量} が「万・ある・たくさん」等、{程度} が「とても・もっと」等のそれぞれ 6 語、{形状} が「大きな・どう」の 2 語、{実質} {状態} {価値} は 1 語ずつ、それぞれ「新しい」、「可能性」、「高い」が該当する。

このように多くの語を含む〔性状〕の中でも語の意味分野には偏りがあり、比較的多くの語を含む中分類としては {位置} {時間} {数量} {程度} の 4 分類が挙げられる。それぞれの中分類に含まれるのは {位置} では〈こそあど〉の「この・その」、〈前後左右〉の「前・あと」等、{時間} では〈終始〉の「新しい・初めて」、〈今昔〉の「前・これから」等、{数量} では〈有無〉の「ある・いる」、〈多少〉の「たくさん・多い」等、{程度} では〈大変〉の「大きな・とても」、〈大体〉の「約」等である。以下、{位置} から順に 4 種類の中分類に該当する語の使用例をみる。

まず、{位置} に属す語の使用例を (158) (159) に示す。やさしい日本語ニュース (158) (159) b では「外・前・場所・近く・この」の 5 語が使用されていた。一般ニュース (158) (159) a で

⁵⁴ 『角川類語新辞典』の見出し語にない語彙。

⁵⁵ 見出し語は「金 (かね)」。

⁵⁶ 本章内 [大括弧] {中括弧} 〈山括弧〉はそれぞれ、『角川類語新辞典』の [大分類] {中分類} 〈小分類〉を表す。

はその5語と必ずしも対応はしていないが、「軒先」「近所」「路上」という3語の{位置}の語が使用されていた。双方のニュースには1語も共通する語はないが、意味分野で見ればこのように{位置}という意味分野から必要とされる語を抽出することが可能である。

(158) a. ビルの敷地や商店の軒先に設置された喫煙所にたばこを吸う人が集中していて、(後略)。(般: 11)

b. 外でたばこを吸う人は、ビルや店の前の灰皿がある場所に集まっています。(や: 11)

(159) a. 近所の路上で生活している男性がジャナさんの家族と顔が似ていることに気づき、家族に連絡をとったところ、アリーフさんだと確認されました。(般: 177)

b. 近くの道で生活している男性の顔が、ジャナさんの家族と似ているので連絡すると、この男性が兄のアリーフさんだとわかりました。(や: 177)

(下線部: 高頻度上位 100 語の{位置}の語、点線部: その他の{位置}の語)

次に{時間}に属す語の使用例を(160)(161)に示す。やさしい日本語ニュース(160)(161)bでは「とき」「前」「古い」「今」「初めて」の5語が使用されていた。書き換え前の一般ニュース(160)(161)aではそのうち「前」「初めて」の語が共通し、「現代」という{時間}の「今」に対応する語も使用されていた。

(160) a. 公共施設の造成工事で1400年以上前の地層から掘り出された種が自然に発芽したもので、現代のハスより花びらの枚数が少なく、大きいのが特徴です。(般: 17)

b. 工事のときに1400年以上前の古い土の中から出てきた種から育ちました。今の蓮より花びらが少なく、大きい蓮です。(や: 17)

(161) a. 8日は、4号機の建屋のそばで行われている工事の様子が初めて公開されました。現場では、凍結用の管を埋める深さ30メートルの穴の掘削や、(後略)。(般: 34)

b. 東京電力は8日、6月から始まった4号機の建物のそばの工事を初めて見せました。今は、土を冷やすためのパイプを埋める深さ30mの穴を掘ったりしています。(や: 34)

(下線部: 高頻度上位 100 語の{時間}の語、点線部: その他の{時間}の語)

続いて{数量}の語の使用例を(162)(163)に挙げる。(162)(163)bでは「たくさん」「ある」「多い」「少ない」の4語が{数量}の語である。元のニュース(162)aでは「たくさん」「ある」は同じ語が使用されていたが、(163)aからは{数量}の語が得られなかった。これは、「多い」「少ない」に対応する「上昇する」「低下する」という語が[性状]の{数量}ではなく、[変動]の{移動}に属しているためである。このように、特定の文では対応するようにみえる語であっても意味分野で細分した場合、違う分類に属す語である場合があるとわかった。

- (162) a. 「(前略)。こんなに色鮮やかでたくさんの種類の稲があるのかと思いました」 (般: 63)
 b. 「(前略)。たくさんの種類のきれいな色の稲があって驚きました」 (や: 63)
- (163) a. 夏のボーナスについては、「1年前より増えた」という回答が17%で、去年より3ポイント上昇した一方、「減った」という回答は12%と去年より7ポイント低下し、(後略)。(般: 91)
 b. 夏のボーナスについては、「1年前より増えた」が去年より多い17%でした。「減った」は去年より少ない12%でした。(や: 91)

(下線部: 高頻度上位100語の{数量}の語、点線部: その他の{数量}の語)

{程度}の例として、(164)(165) bに「とても」「大きな」「最も」「高い」の例を挙げる。書き換え前のニュース(164)(165) aで使用された{程度}は「クラス」「およそ」「最も」「高い」であり、書き換えで変更されていない語もあった。ただし、「とても大きな」に対応する「巨大」は{程度}と同じく[性状]の語ではあるが、中分類{形状}の語にあたり、上述の「多い」と「上昇する」などと同様に、意味分野においては対応していなかった。

- (164) a. 訓練は(中略)南海トラフを震源とするマグニチュード9 クラスの巨大地震が発生し、3分後に大津波警報が発表されたという想定で行われました。(般: 69)
 b. 21日、とても大きな地震が起きて、大津波警報が出たと考えて、海岸から避難する訓練がありました。(や: 69)
- (165) a. 住宅全体に占める空き家の割合は13.5%とおよそ7戸に1戸に当たり、これまでで最も高くなりました。(般: 101)
 b. 人が住んでいない家の割合は13.5%で、今までで最も高くなりました。(や: 101)

(下線部: 高頻度上位100語の{程度}の語、点線部: その他の{程度}の語)

やさしい日本語ニュースで最も多くの高頻度語彙上位100語を含む大分類[性状]の中で、とりわけ多くの語が該当する中分類が、例示した{位置}{時間}{数量}{程度}である。こうした結果から、ニュースでは時間の前後関係等を表す{時間}、事物がある場所等を表す{位置}、物の数や量を表す{数量}、物事や事態の有様を表す{程度}の語彙が多用されていることがわかった。

2番目に多くの語を含む大分類は[社会]20語であり、[性状]の語数の80%弱にあたる。[社会]に属す20語は中分類では{習俗}{処世}{人倫}の3分類を除く7分類に分けられる。中分類は{地域}{集団}が6語ずつあり最も多く、{地域}には「国・県・世界」等、{集団}には「グループ・入る・外国」等の語が該当する。次に多いのが3語含まれた{施設}{統治}{取引}で、{施設}は「会社・駅・家」、{統治}は「政府・警察・調べる」、{取引}は「ため・入る・お金」が該当する。また、{報道}には「情報・発表す

る」の2語、{社交}には「出る」の1語が該当する。

語数の多い{地域}{集団}の使用例を(166)(167)に示す。(166)(167)bに示すやさしい日本語ニュースで使用された{地域}の語は「地方」「市」「町」「国⁵⁷」「世界」の5語である。一方、一般ニュース(166)(167)aの対応する箇所では「地方」「地域」「現地」というやさしい日本語ニュースとは異なる3語の{地域}の語が使用されていた。

- (166) a. 政府は（中略）地方自治体が大会に参加する国や地域と交流事業を行う際に間を取り持つなど支援を行う方針です。（般: 73）
- b. 政府は、地方の市や町などとオリンピックに参加する国などとの交流を手伝います。市や町などに相手の国について教えたりします。（や: 73）
- (167) a. 感染の拡大を防ぐためには感染症の専門家の派遣など、国際的な支援によって現地の医療体制を強化することが急務となっています。（般: 115）
- b. 世界の国が協力して、できるだけ早く専門家を送って治療することが必要になっています。（や: 115）（下線部：高頻度上位 100 語の {地域} の語、点線部：その他の {地域} の語）

次に{集団}の使用例を示す。やさしい日本語ニュース(168)(169)bで使用されていたのは「国」「外国」「会」「会社」「商社」「参加する」の6語である。一般ニュース(168)(169)aではそのうち「外国」を除く5語が使用されていた。なお、「外国」、「会社」に文脈上は対応している「海外」、「企業」はそれぞれ[社会]{取引}、[行動]{労役}の意味分野に属している。

- (168) a. アニメや漫画を巡っては世界中にファンが広がり、国も作品を海外発信する際には補助するなど日本の文化と位置づけて、輸出に力を入れています。（般: 93）
- b. 国はアニメや漫画を日本の文化の1つと考えて、外国にもっと輸出しようと考えています。（や: 93）
- (169) a. 大手就職情報会社が主催した面接会には、中国や東南アジアに拠点を持つ機械メーカーや商社など日本企業8社が参加し、（後略）。（般: 170）
- b. 会には、機械を作っている会社や商社など8つの日本の会社が参加しました。（や: 170）（下線部：高頻度上位 100 語の {集団} の語、点線部：その他の {集団} の語）

また、例示した語数の多い{地域}{集団}に関連したものとして、固有名詞の地名や組織名が挙げられる。地名や組織名を表す固有名詞は、第二章「1.1. 名詞」の表19「固有名詞の内訳（語）」に示したようにニュースの中で非常に多く使用されていた。実際、直接固有

⁵⁷ {地域}に分類される「国」は「国土」という意味で、「国家」という意味の「国」は{集団}に分類されており、例文中で明らかに{地域}に属しないと判断できる「国」には下線を施していない。

名詞を挙げられると思われる文脈でも地名や集団を明確にせず、{地域} {集団} に属す語で固有名詞の代用をするような例が (170) (171) b のようにみられた。(170) b における「国」は「日本」を指し、(171) b における「外国」は具体的な国名を明らかにすることも可能だと思われる内容である。このように地名や組織名などの固有名詞やそうした固有名詞を指す語を含め、地域や集団を示す語彙はニュースの中で多用されていることがわかった。

- (170) a. 群馬県の富岡製糸場が世界遺産に登録されてから1週間を迎え、(後略)。(般: 13)
- b. 群馬県の富岡製糸場は、1872年に国がつくった初めての製糸工場で、ことし6月21日に世界遺産になりました。(や: 13)
- (171) a. 現地に入って医療活動を続けている国際NGOからも、今の体制で対応するには限界だという声も出ています。(般: 115)
- b. 外国から来て治療などを行っているNGOは、今のままではエボラ出血熱はもっと広がってしまうと言っています。(や: 115)

なお、(170) (171) b に対応する一般ニュースはそれぞれ (170) (171) a であり、(170) a には (170) b にある日本語非母語話者向けの前提事項の確認と受け取れる「国」を含む「群馬県の富岡製糸場は、1872年に国がつくった初めての製糸工場」という記述はない。「国」が4級の語であり、「日本」が2級の語であるとはいえ日本語学習者が「日本」という語を知らない可能性はほぼないのではないだろうか。そのため、(170) b は「日本」ではなく「国」という {地域} の語が選ばれたことにより「国」がいずれの国を指すのか読者に判断させる負担を強いているともとれる。また、(171) b の「外国」については (171) a では「現地」という {地域} に属す別の語が使用されていた。

3番目に多くの語を含む大分類は [変動] と [行動] のそれぞれ16語で上位100語に該当する語数は最多の大分類 [性状] の3分の2弱である。高頻度語彙上位100語ではどちらの分類に属す語もすべて動詞であり⁵⁸、「利用する」の1語を除きすべて和語である。上位100語に入った動詞は34語であり、動詞に限って言えばその大半が [行動] [変動] に分類されており、この分類以外の語彙は大分類 [心情] 中の {思考} {意向} の語彙や、補助動詞など一部に限られていた。

[変動] の中分類は多い順に {経過} の「始める・来る・続く」等5語、{情勢} の「出す・できる・なる」等4語、{出没} 「出る・出す・入る」と {増減} 「できる・作る・増える」のそれぞれ3語、{離合} 「取る・続く」と {変質} 「する・なる」のそれぞれ2語、{移動} 「落ちる」と {関連} 「よる(因)」のそれぞれ1語で、上位100語に含まれる語がない中分類は {動揺} と {変形} の2分類である。最も多い中分類の {経過} は時間の流れ

⁵⁸ [変動] と [行動] に分類される品詞は本来名詞と動詞があり、[行動] では「動作」「話」「暮らし」、[変動] では「造形」「加除」「開始」等の名詞の語がある。

を表す「始める・続く」等の語があり、やさしい日本語ニュースでは(172)(173)bのように事態の開始や続行を表すのに多用されており、一般ニュース(172)(173)aにおいても語の違いはあっても同様の箇所では「経過」の語が使用されていた。

(172) a. ロシア軍の東部軍管区の報道官は、13日、NHKの取材に対して、北方領土の択捉島と国後島で、12日から軍事演習を始めたことを明らかにしました。(般: 156)

b. ロシア軍は12日から、北方領土の択捉島と国後島で訓練を始めました。(や: 156)

(173) a. 各地で台風や豪雨の被害が相次いでいるうえ、(後略)。(般: 188)

b. 日本のいろいろな所で台風や大雨の被害が続いています。(や: 188)

(下線部: 高頻度上位100語の「経過」の語、点線部: その他の「経過」の語)

他方、大分類では「変動」と同じ語数の「行動」の中分類には目立って多くの語を含むものではなく、「往来」「出る・入る・来る」、「労役」「できる・する・行う」がそれぞれ3語、「見聞」「見る・出す」、「陳述」「言う・話す」、「授受」「取る・ある」、「操作」「使う・利用する」、「生産」「できる・作る」がそれぞれ2語、「寝食」「住む」が1語で、上位100語の語を含まない分類は「動作」と「表情」の2分類であった。このように「行動」の語彙は多くの語を含む中分類がなく、大分類で多くの語を含む分類だとはいっても具体的にどのような意味分野に属す語が多用されるのかその詳細を特定するのは難しい。

大分類で5番目以降の分類はいずれも10語以下で比較的少ない。5番目の「自然」は8語で、最多の「性状」の3分の1弱の語数である。中分類では「地勢」「土・山・海」、「物質」「物質・水・土」のそれぞれ3語、「暦日」が「ことし・去年」の2語、「生理」が「亡くなる」の1語で、上位100語の語を含まないものは「天文」「気象」「景観」「植物」「動物」「物象」の6分類ある。「自然」は大分類の語自体が少なく、5語以上の語を含む中分類はないが、出現した中分類が4分類のみであることから、どのような語が「自然」の中で高い頻度で使用されるのか意味分野をある程度特定することはできる。

6番目に多い大分類は「心情」と「学芸」の2分類で、それぞれ7語ある。「心情」の中分類では「思考」が「予定・分かる・計画」など最多の5語、「意向」「思う・考える」2語、「感覚」「思う」、「学習」「調べる」、「誘導」「被害」がそれぞれ1語、上位100語の語を含まないのは「要求」「闘争」「栄辱」「愛憎」「悲喜」の5分類である。

ここでは、比較的語数の多い「思考」を例に取り上げる。(174)(175)bのやさしい日本語ニュースには「計画」「決める」「予定」「考える」「思う」の計5語「思考」の語が用いられた一方、書き換え前のニュース(174)(175)aには「知る」「分かる」の2語しかない。これは、(174)にみられるように文が語の入れ換えではなく大きく書き直されていることによるものであり、意味分野でみた場合、ニュースを部分的に取り上げれば同じ内容を伝えているとはいえ異なる分類の語が使用されている例も(174)(175)のようにみられた。

- (174) a. 「(前略) 今回の調査でウナギが好む環境を解明し、それを保全したり再生したりすることが必要だ」と話していました。(般: 58)
- b. ウナギを守るための計画を決める予定です。(や: 58)
- (175) a. 「名簿に込められた歴史に向き合うことが、戦争を知らない世代にとって大切なことだと思います」と話しています。(般: 152)
- b. 「この名簿を見て、戦争を知らない若い人たちに歴史について考えてほしいと思います」と話しています。(や: 152)

(下線部: 高頻度上位 100 語の {思考} の語、点線部: その他の {思考} の語)

[心情] と同数の語が属す大分類 [学芸] の中分類は {記号} の「言う・%・円」等 5 語、{学術} 「作る」、{論理} 「ため」がそれぞれ 1 語で、上位 100 語の語を含まない分類は {言語} {文書} {文学} {美術} {音楽} {芸能} {娯楽} の 7 分類あった。多くの語を含む {記号} については 5 語のうち 4 語が小分類 (単位) に該当する語「%・円・m・時間」で、ニュースで使用される数字が何を意味するのか(176)(177)に示す「764円」「18時間」のように (単位) の語を数字と併記させ意味の補足をしていた。また {記号} に属す「言う」は [行動] {陳述} (発言) の「言う」とは異なり「名称/名付ける」という解釈の「言う」だが『旧日本語能力試験出題基準』では意味分野がまたがる「言う」について別段難易度の区別はされておらず、やさしい日本語ニュースでも (177) b のような使用例がある。

- (176) a. 現在の全国平均の時給は764円で、(後略)。(般: 102)
- b. 今の1時間の平均の最低賃金は764円です。(や: 102)
- (177) a. 外国人の指導助手およそ100人を新たに採用しました。(中略) 週に18時間程度、主に1年生の授業を担当し、(後略)。(般: 152)
- b. この先生たちを「指導助手」と言います。外国人の先生は1週間に18時間ぐらい教えます。(や: 152)

(下線部: 高頻度上位 100 語の {記号} の語、点線部: その他の {記号} の語)

「言う」という高頻度語のように、複数の意味分野に属す語は少なからずあった。複数の意味分野に属す語にニュースの中で出合ったとき、読者はその語がどういった意味で使用されているかを判断する必要がある。特に複数の意味分野に属す語が「言う」のように高頻度で使用される語である場合、読者がその都度語の意味を判断していく必要があり、読解の負担になる可能性がある。そのため「言う」のように難易度が低いとされる語であっても、複数の意味分野に属す高頻度語については学習者に注意を向けさせる語であると言えよう。

大分類 [心情] と [学芸] の 2 分類はどちらも大分類でわずか 7 語しか上位 100 語の語がないのにもかかわらず中分類でそれぞれ 5 語が含まれる {思考} {記号} の分類があり、必要とされる語彙の意味分野の特定が容易である。そして、{思考} の語が多かったことから、

ニュースには[変動]でみられたような{経過}や{情勢}のように生じている事態を伝えるニュースばかりではなく、特定の集団や内閣などが考えたり、計画したりして行う人為的な話題や一個人の意見を取り上げられるニュースなども少なくないとわかった。

8番目に多い大分類は[人物]の5語で、中分類は{仲間}「グループ・客・人」の3語、{老若}「女性・子ども」の2語、{人称}「人」、{親族}「子ども」、{人物}「人」がそれぞれ1語であり、上位100語の語を含まないのは{地位}{役割}{生産的職業}{サービスの職業}{神仏}の5分類である。この分類では特に語数が多い中分類はないが、目立った語としては中分類で3分類、小分類で4分類に区分可能な1語、「人」が挙げられる。小分類〈人〉の「人」は「男の人。人は万物の霊長である⁵⁹」のように特定されない一般的な「人」の意味だが、〈自他〉〈民衆〉〈偉人〉における「人」は順に「自分以外の人」「世間一般の人々」「その任務や地位にふさわしい人。役に立つ人」と定義され、それぞれ順に(178)b〈人〉、(179)b〈自他〉、(180)b〈民衆〉、(181)b〈偉人〉のような使用例がある。

(178) a. 患者が少なく、治療や診断が難しい「希少がん」について、(後略)。(般: 23)

b. がんの中で、なる人が少ないがんを「希少がん」と言います。(や: 23)

(179) a. 星をかたどった短冊に「素敵な人に出逢えますように」などといった願いごとが書かれています。(般: 27)

b. 「素敵な人に会うことができますように」と書いた短冊もありました。(や: 27)

(180) a. パレスチナのマンスール国連大使が「パレスチナ人の流血はもう耐えられない。イスラエルによる占領ももうたくさんだ」と述べて、(後略)。(般: 40)

b. 会議では、パレスチナの大使が「パレスチナの人が血を流すことはもう我慢できない」と言いました。(や: 40)

(181) a. 参加した中学生は、「仲間意識を持って物事に取り組み、科学の歴史に貢献できる人になりたい」と話していました。(般: 130)

b. 講義のあと、中学生は「チームワークを大切にして、科学の歴史に残る人になりたいです」と話していました。(や: 130)

(178)-(181) b のやさしい日本語ニュースで「人」が用いられた文脈は一般ニュースではそれぞれ(178)-(181) a のような文脈と対応している。そのうち、(178) a については(178) b の使用例が「希少がん」の意味説明であったことから元のニュースには「人」が現れないが、そのほかの(179)-(181) a については(179)-(181) b と同様の〈自他〉〈民衆〉〈偉人〉に該当する「人」の使われ方がされていた。

9番目に多くの語を含む大分類は[物品]3語で中分類は{機械}「車」「飛行機」の2語、{標識}「お金」と{工具}「車」がそれぞれ1語あり、上位100語に該当する語がない7分

⁵⁹ 『角川類語新辞典』分類507からの引用。

類は {物資} {薬品} {食品} {衣類} {建物} {家具} {文具} である。

大分類に含まれる語が最も少なかったのは [性向] である。この分類では {境遇} {災難} に属す「事故」「被害」の2語が上位100語に含まれただけで、{体格} {容貌} {姿態} {身振り} {対人態度} {性格} {才能} {心境} の9種類の中分類に属す語はなかった。

以上、大分類で多くの語を含む [性状] から順に述べた。大分類によっては特定の中分類の語に偏りがあるものと全体的にどの中分類の語も少ない語数で分布しているものとがあった。中分類のうち、高頻度上位100語中の5語(5%)以上の語を含む分類は表50に示すとおり、9分類あった。続いて、やさしい日本語ニュース高頻度上位100(102)語の使用順位と使用頻度を一般ニュースの使用順位と使用頻度と比較する。得られた結果を表51に示す。

表50 5語(5%)以上の高頻度語を含む中分類(上位100語)

大分類	中分類
性状	位置、数量、時間、程度
変動	経過
心情	思考
社会	地域、集団、取引
学芸	記号

表51 やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位100語と一般ニュースとの比較

やさしい日本語		上位 100語	一般	
頻度	順位		順位	頻度
841	1	◆いる	1	1373
400	2	する	3	570
355	3	なる	4	389
317	4	人(ひと)	13	148
273	5	ある	5	257
205	6	ため	14	147
182	7	この	5	257
180	8	できる	67	57
145	9	言う	8	198
141	10	県	7	202
131	11	日本	12	149
122	12	約	2682	2
105	13	作る	210	34
104	14	考える	329	19
103	15	市(し)	10	165
95	16	会社	64	58
94	17	話す	9	169
90	18	東京	18	118
		出る	42	71
83	20	使う	49	66
		増える	56	62
81	22	来る	283	25
80	23	%	26	90
		今(いま)	227	31
78	25	子ども	33	81
76	26	高い	22	94
75	27	亡くなる	398	17
74	28	万(まん)	16	130
69	29	国(くに)	181	40
68	30	前(まえ)	26	90
66	31	いる	216	33
65	32	行う	11	159
		ことし	21	109
64	34	そして	227	31
63	35	たくさん	3789	4
62	36	飛行機	2056	3
61	37	よる(因)	19	115
		新しい	255	28
		調べる	303	23
57	40	多い	56	62
53	41	水(みず)	85	48
52	42	去年	29	86
		入る	244	29
51	44	女性	23	93
		出す	239	30
		場所	311	22
50	47	世界	35	78
48	48	見る	23	93
		事故	33	81
		分かる	42	71
		中国	47	67
47	52	取る	276	26
		少ない	468	15
46	54	しかし	303	23
45	55	アメリカ	40	72
		◆くる	63	59
		海	197	36
43	58	円	31	83
		始める	189	37
42	60	あと(後)	85	48

やさしい日本語		上位 100 語	一般	
頻度	順位		順位	頻度
41	61	ロシア	73	54
40	62	大きな	276	26
39	63	政府	40	72
		家	1005	7
38	65	初めて	42	71
		◆いく	53	64
37	67	駅	227	31
		とき	343	19
		m	28	87
		思う	78	51
35	71	時間	67	57
		計画	99	44
		その		
		グループ	189	37
33	76	車(くるま)	343	19
		始まる	81	50
		客	99	44
32	79	都	329	20
		とても	552	13
		住む	717	10
31	82	これから	1381	5
		続く	77	52

やさしい日本語		上位 100 語	一般	
頻度	順位		順位	頻度
31	82	情報	187	38
		可能性	202	35
		間(あいだ)	1670	4
		外国	3789	1
		発表する	75	53
		続ける	90	48
		どう	329	20
		もっと	—	0
30	91	また	17	119
		被害	64	58
		予定	99	44
		近く	283	25
		エボラ出血熱	343	19
		山(やま)	552	13
		お金	2056	3
29	99	土(つち)	2056	3
		警察	210	34
		利用する	266	27
		物質	366	18
		落ちる	1005	7

(◆:補助動詞)

表 51 にやさしい日本語ニュースで出現頻度の高かった語を順に示したとおり、上位 10 語までの語のうち 6 語が動詞であり、一般ニュースでもその 10 語については比較的高い出現順位にある語であった。ただし、やさしい日本語ニュースの上位 10 語に含まれる語のうち、「できる」は一般ニュースでの使用順位がさほど高くない。これは、やさしい日本語ニュースでは「～ことができる」の形で「できる」が多用された一方、元の一般ニュースでは「～ことができる」の表現を使わずに動詞の可能形が多用されたことから生じた結果である。それでも一般ニュースにおいても「できる」が 67 位と全体からすれば比較的高い順位に位置しているのは、一般ニュースでも「～ことができる」の使用も (182) a のように少なからずみられたのに加え、(183) のように可能以外の意味の「できる」も一般ニュース・やさしい日本語ニュースともに一定数使用されていたためである。なお、(182) a の文脈はやさしい日本語への書き換えにより削除されていた。

(182) a. しかし、大きな被害を免れることはできず、フランスのメディアは「この装置の効果は実証されていない」などと伝えています。(般: 5)

b. (対応箇所なし) (や: 5)

(183) a. 西之島は、去年 1 1 月に島の南東側の海底から噴火しているのが確認され、去年の暮れには流れ出た溶岩でできた陸地が元の島と陸続きになりました。(般: 87)

b. 西之島の南東の海で、去年 1 1 月に噴火が始まりました。そして、海に流れた溶岩でできた陸が、去年 1 2 月に西之島とつながって、1 つの島になりました。(や: 87)

上位 100 語を 25 語ずつの区切りで見ると、上位 1-25 語（異なり語数 25 語）の語彙では和語動詞が 13 語あり半数以上を占めている。そして、この分類でやさしい日本語ニュースと一般ニュースでの頻度が極端に違ったのは「約」である。「約」は (11)-(12) に例示するように、一般ニュースでは「程度」「およそ」という語が使われていた文脈がやさしい日本語ニュースでは「約」に置き換えられた例が多く、一般ニュースで 2 回しか使用されていないにもかかわらずやさしい日本語ニュースへの書き換えで 122 回使用された語である。このため「約」はニュース間で大幅な使用頻度の違いが生じていた。

- (11) a. 日本ハムはハムやソーセージ、レトルト食品など、合わせて 284 品目を、伊藤ハムは 230 品目を対象に値上げや実質的な値上げを行い、上げ幅は平均で 10%程度になるということです。（般:3）
- b. 日本ハムと伊藤ハムは 200 以上の品物の値段を平均で約10%上げます。（や:3）
- (12) a. ひょうは、およそ3 分間、集中的に降ったということです。（般:5）
- b. 一部の場所で約3 分の間、ひょう（＝小さな氷の塊）が強く降りました。（や:5）

上位 26-48 語（異なり語数 26 語）では動詞は 9 語で、上位 25 語よりもその数は少なかった。他方、上位 25 語ではゼロだった形容詞（イ形容詞）が上位 26-48 語では 3 語含まれていた。また、一般ニュースでは頻度が極めて低い語の「たくさん」「飛行機」も上位 26-48 語に含まれていた。「たくさん」は (162) に示したようにやさしい日本語ニュース・一般ニュースで共通して用いられた例や、(59) に示したように「経験豊富な」を「経験がたくさんある」に書き換えたような例も中にはあるが、使用数で見れば「たくさん」に対応する単語が存在するものよりも、(156) に示した「相次ぐ」から「たくさんいる」に書き換えられたものや、(184) に示す「大規模な攻撃に踏み切る」を「たくさんの爆弾を発射する」に書き換えたものなど、別の表現で同じ内容を表している例のほうが多かった。

- (162) a. 「（前略）。こんなに色鮮やかでたくさんの種類の稲があるのかと思いました」（般:63）
- b. 「（前略）。たくさんの種類のきれいな色の稲があって驚きました」（や:63）
- (59) a. サーフィンの経験豊富な犬が姿勢を低くしてしっかりと波を捉え、（後略）。（般:49）
- b. サーフィンの経験がたくさんある犬は、体を低くして（後略）。（や:49）
- (156) a. サーフボードから落ちたりひっくり返ったりする犬が相次ぎました。（般:49）
- b. サーフボードから落ちる犬がたくさんいました。（や:49）
- (184) a. イスラエル軍は 28 日夜から再び大規模な攻撃に踏み切りました。（般:96）
- b. イスラエルの軍隊も 28 日夜から、たくさんの爆弾を発射しました。（や:96）

「飛行機」については、やさしい日本語ニュース (185) (186) b で「飛行機」が使われていた

文脈は一般ニュースでは (185) (186) a に示す「旅客機」「機内」のほか、「便」「機体」「上空」など多様な語が対応していた。こうした使用実態から「たくさん」「飛行機」がやさしい日本語ニュースと一般ニュースとの間で使用頻度が大きく異なるものとなっていた。

(185) a. スペインの空港で、旅客機が着陸の最終段階に入ったところ、(後略)。(般: 31)

b. スペインのバルセロナの国際空港で、モスクワから来たロシアの飛行機が着陸しようとしていました。(や: 31)

(186) a. 電子機器は、飛行中の機内での使用が禁じられていますが、(後略)。(般: 83)

b. 飛行機の中では、携帯電話など電波が出る機械を使ってはいけません。(や: 83)

上位 52-75 語 (異なり語数 27 語) に該当する動詞は 6 語で、頻度が下がるほど動詞の数が少なくなっていた。なお、動詞 6 語のうち 2 語は補助動詞である。また、上位 52-76 語でやさしい日本語ニュースと一般ニュースで大きく使用頻度が異なる語として「家」が挙げられる。「家」は (187) (188) に示すように、「空き家」や「家屋」など「家」という文字を含むほかの語からの書き換え語として使用されていた例がみられた。

(187) a. 人が住んでいない空き家の戸数は 8 1 9 万 6 4 0 0 戸で、(後略)。(般: 101)

b. 人が住んでいない家の数は 8 1 9 万 6 4 0 0 でした。(や: 101)

(188) a. 1 万 2 0 0 0 以上の家屋が倒壊し、(後略)。(般: 116)

b. 1 2,0 0 0 以上⁶⁰の家が倒れて、(後略)。(や: 116)

上位 79-99 語 (異なり語数 24 語) に該当する動詞 6 語のうち和語は 4 語で、残りの 2 語は混種語のサ変動詞であった。また、上位 79-99 語に形容詞はなく、名詞、動詞、副詞の 3 種類の品詞で構成されていた。やさしい日本語ニュース上位 79-99 語の中には一般ニュースでの使用頻度順位が 1,000 を超える語もあり、そうした語に「これから」「間(あいだ)」「外国」「もっと」「お金」「土」「落ちる」の 7 語が該当する。以下、順にそれぞれの語のやさしい日本語ニュースでの使用例をみる。

まず、「これから」について述べる。「これから」は一般ニュースでの使用は 5 回のみである。これは、やさしい日本語ニュースの「これから」に対応する箇所が (34) に示したように一般ニュースの「今後」からの書き換えであったり、(130) や (189) に示す例のように、やさしい日本語ニュースの「これから」に相応する語が一般ニュースには存在しなかったりした場合も少なくなかったことから生じた結果である。

⁶⁰ (187) a,b や (188) a に例示したように、NHK ニュースにおいては「万」以上の単位は基本的に漢字で記されているが、まれに (188) b のように万の桁があっても数字で記されている場合があった。

- (34) a. 「今後はネガティブな感情を伴う記憶を多く持つ、うつ病のような症状のマウスで実験を行い、さらに脳の詳しい仕組みの解明を進めていきたい」と話しています。(般: 208)
- b. 「これからうつ病のようなマウスで実験をして、脳についてもっと研究していきたいです」と話しています。(や: 208)
- (130) a. 文部科学省は「(中略) 政府全体で対策を検討する必要がある」と話しています。(般: 136)
- b. 文部科学省は「(中略) これから国がしっかり考えていくことが必要です」と話しています。(や: 136)
- (189) a. 「(前略) 依然として400人近くの状況が分からないのは大きな問題で、政府全体で対策を検討する必要がある」と話しています。(般: 136)
- b. 「(前略) まだ約400人がどうしているかわからないのは大きな問題です。これから国がしっかり考えていくことが必要です」と話しています。(や: 136)

次に、「間(あいだ)」について述べる。やさしい日本語ニュース文では(190)-(192) bに示すように時間や位置等の「間」として使用されていたが、元の一般ニュース対応箇所ではそれぞれ(190)-(192) aに示すように多様な表現が使用されていた。なお、(190) (191) bの「間」はそれぞれ「時間的に、(物事がとだえた) ある一定の範囲」「空間的に、二つのものに挟まれて空いている部分。また、基準となる二つのものを結ぶ部分」(『明鏡国語辞典 第二版』)と考えられ、それぞれに日付け、地域という明確な事柄に挟まれたもので解釈に困難はないと思われる。一方、(192) bの「間」は「二者間に存在する抽象的な空間」(同辞典)と定義されており、二者の空間的な距離とは無関係であることから、解釈が比較的難しいのではないだろうか。こうした理由から「間」は語義による難易度の区別はされていないものの、3級の語だから難易度の低い語だと一様に扱うことは避けるべきだと思う。

- (190) a. 富士山の夏山シーズンは、山梨県側が1日から9月14日まで、静岡県側が今月10日から9月10日までです。(般: 2)
- b. 夏の間、山梨県側は9月14日まで、静岡県側は9月10日まで登ることができます。(や: 2)
- (191) a. 3月、ヨーロッパや東南アジアとを結ぶ国際線が増便されましたが、(後略)。(般: 189)
- b. 3月、ヨーロッパや東南アジアとの間を飛ぶ国際線が増えました。(や: 189)
- (192) a. 双方は(中略) エジプトの仲介の下、間接的な協議を重ね、(後略)。(般: 199)
- b. エジプトがイスラエルとハマスの間に入って、話し合いが続いていました。(や: 199)

続いて、「外国」の使用例をみる。「外国」は一般ニュースでは「海外」等の語が対応していることもあったが、中には(193)に示すように、元のニュースにはない情報であってもや

さしい日本語ニュースの対象者である日本語非母語話者が必要としていると思われる「相談は無料で、外国語でもできます」のように情報提供を目的として新しい内容が付け加えられている例もあった。こうした外国人向けの情報付加等も一因で、やさしい日本語ニュースにおける「外国」の使用が比較的多くなったものと思われる。

(193) a. 被災者や一般の人たちの困りごとについて24時間、電話相談を受けている「よりそいホットライン」に、(後略)。(般:19)

b. 「よりそいホットライン」は、困っていることについて24時間電話で相談ができます。相談は無料で、外国語でもできます。(や:19)

「もっと」は一般ニュースでは全く使用されていない語である。この語は(81)に示したような一般ニュースの「さらに」の書き換えとして用いられていた例もあったものの、(82)に示した「歯止めがかからない状況」が「もっと広がってしまう」に書き換えられていたように、元の文中に1対1で対応する語があるのではなく、表現をやさしく書き換える過程で「もっと」が使用されることになったと思われる例が目立った。

(81) a. 今後もさらに理解してもらえようPRを続けていきたい(般:12)

b. もっと多くの人に協力してもらうことができるようにPRを続けていきたいです(や:12)

(82) a. 感染に歯止めがかからない状況に危機感を示しました。(般:115)

b. NGOは、今のままではエボラ出血熱はもっと広がってしまうと言っています。(や:115)

「お金」について、一般ニュースでは「予算」「金」「日本円」などの語が使用されていたほか、(194)に示す例のように「もっと」の例と同じく、1対1で「お金」に対応する語がない例もあった。なお、一般ニュースで使用された「お金」は1本のニュースでのみ使用され、すべて(195) aに示すような「～に使うお金」の形式がとられていた。

(194) a. このままでは銀行口座が凍結されるので対策が必要(般:78)

b. 銀行からお金を出すことができなくなる心配があります。(や:78)

(195) a. ことしの夏休みに旅行やレジャーなどに使うお金は、(後略)(般:91)

b. ことしの夏休みに旅行やレジャーなどに使うお金は、(後略)(や:91)

「土」は(124)-(126)に示すように、園芸、発掘、工事、列車の脱線事故、大雨による災害、原子力発電所の方策などさまざまな内容のニュースで使われていたが、書き換え前の一般ニュースでは「土」ではなく、「地層」「土砂」「地盤」等の語が用いられていた。

(124) a. 行田市の「古代ハス」は、公共施設の造成工事で1400年以上前の地層から掘り出された種が自然に発芽したもので、(後略)。(般:17)

- b. この蓮は、行田市の建物を建てる工事のときに1400年以上前の古い土の中から出てきた種から育ちました。(や: 17)
- (125) a. 「凍土壁」は、福島第一原発の1号機から4号機の周りの地盤を1.5キロにわたって凍らせて氷の壁を作り、建屋などへの地下水の流入を防ぐもので、(後略)。(般: 34)
- b. 東京電力福島第一原子力発電所では、1号機から4号機の周り1.5kmの地下の土を冷やして氷の壁を作ります。(や: 34)
- (126) a. 干潟に土砂が堆積し、潮の流れが妨げられるようになったため、最近では満潮時でもめつたに海に囲まれる姿が見られなくなっていました。(般: 77)
- b. 島の周りに土や砂がたまって、最近では潮が満ちても海に浮かんでいるように見えることが少なくなりました。(や: 77)

なお、「土」は一般ニュースでは(196)-(198) aに挙げる3か所しか用いられていなかった。

- (196) a. 凍土壁は土の水分を凍らせるため、そもそも方法が違う。(般: 34)
- b. (対応箇所なし) (や: 34)
- (197) a. 京都市中心部の土の中から、室町時代に埋められたとみられる(後略)。(般: 35)
- b. (対応箇所なし) (や: 35)
- (198) a. 選手たちは観客の拍手を受けながら憧れの甲子園の土を踏みしめました。(般: 139)
- b. (対応箇所なし) (や: 139)

級外の語の「地層・土砂」、2級の語の「地盤」の書き換え語として2級の語の「土」が用いられたことにより、難易度の高い語の数は抑えられていた。しかし、「土」は難易度が高い語であっても、一般ニュースでの使用回数が極端に少ないことからニュースで高頻度で使用される語とは言い難い。「地層」「土砂」「地盤」の一般ニュースでの使用回数はそれぞれ6回・35回・2回であり、「地盤」を除いては「土」よりも使用回数が多い。一般ニュースへの通過点としてやさしい日本語ニュースを捉えた場合、「土」はやさしい日本語ニュースでは難しく一般ニュースではその使用が限られる語であることから、ニュースにおける有用性が低い語だと言える。

「落ちる」については(199)に示すように「墜落する」「転落する」等のサ変動詞の書き換えとして用いられている例が目立った。ただし、中には(200)のように一部やさしい日本語ニュース・一般ニュースで共通して用いられている例もあったほか、一般ニュースでは(201) aの「はがれ落ちる」ような複合動詞の使用もあった。ただし、やさしい日本語ニュースへの書き換えでは一般ニュースの「落ちる」を使った複合動詞を含む段落は省略されていた。

- (199) a. ウクライナ東部で、乗客乗員298人を乗せてオランダからマレーシアに向かっていたマレーシア航空の旅客機が墜落し、(後略)。(般: 66)

- b. オランダのアムステルダムからマレーシアのクアラルンプールに向かっていたマレーシア航空の飛行機が、ウクライナで落ちました。（や: 66）
- (200) a. 誤って海や川に落ちた場合は慌てずにしっかりと息を吸って浮かび、（後略）。（般: 183）
- b. 海などに落ちた場合は、慌てないでしっかりと息を吸って、（後略）。（や: 183）
- (201) a. 老朽化して屋根の一部がはがれ落ちるなどして近所から（後略）。（般: 101）
- b. （対応箇所なし）（や: 101）

以上、上位 100 語について 25 語ずつに区切りその中に含まれている語について一般ニュースで使用頻度の順位が 1,000 位を超えるものを中心にみた。表 51 に示したように、一般ニュースでの使用頻度がやさしい日本語ニュースと比べ大きく下がる語は例示した語のほかにも数多くある。そうしたやさしい日本語ニュースの上位 100 語に入っていながら、一般ニュースで比較的に出現順位が下位の語の特徴として、「調べる」「車」「少ない」など品詞を問わず和語の語が多い点を挙げることができる。これらの語は (202) (203) に示す例のように、一般ニュースでは「調査を行う／分析する」「車両／自動車」「少量／少数」のように和語ではなく漢語や漢語を含む語が使われている例が少なくなかった。

- (202) a. 国立がん研究センターに保存されている大量のがん患者の血液を詳しく分析し、（後略）（般: 171）
- b. 国立がん研究センターにある、たくさんのがんの人の血を詳しく調べます。（や: 171）
- (203) a. そして、当面の取り組みとして、温室効果ガスの削減に向けては、会場の移動手段として燃料電池で走る車両の技術開発を進めることや、（後略）（般: 123）
- b. 試合の会場と会場の間は、CO₂などを出さない車で行ったり来たりできるようにしようと考えています。（や: 123）

(199) (202) に示したような「墜落する」と「落ちる」、「分析する」と「調べる」のようにサ変動詞と和語動詞とで対応している語について、上原（2007）は「通う」と「通勤する」「通学する」等を例に「概念の基本レベルカテゴリー」という考えを展開している。上原（2007）は「通う」が概念の基本レベルカテゴリーに属す語である一方、「通勤する」や「通学する」はどこに「通う」のかまで特定された概念に属す語であると説明している。

調査から得られた和語動詞とサ変動詞の組み合わせをそうした概念の基本レベルカテゴリーという視点で考えれば、一般ニュースで使用された「墜落する」は「高い所から落ちること」（『明鏡国語辞典 第二版』）のように「落ちる」起点の高さを限定している点で、「分析する」は「複雑な事柄を細かな要素に分けて、その性質・構造などを明らかにすること」（同辞典）のようにどのように「調べる」のかにまで言及している点で、それぞれ「落ちる」「調べる」よりも語の概念が特定化された語だと言えるだろう。

また、動詞に限らず、一般ニュースで使用された「少量」は数ではなく量が「少ない」こ

とを表す語である点からやさしい日本語ニュースで多用された「少ない」よりも語の基本度が下がっている語であるとも考えられる。このように、上原（2007）の概念のレベルのカテゴリーという考えにしたがえば、やさしい日本語ニュースでは概念の基本レベルカテゴリーに属す語が多用された一方、一般ニュースでは特定化された概念を表せる語も数多く使用されていたと考えることができる。

ただし、ここまでやさしい日本語ニュースのほうが高頻度で使用された和語が多いとは述べてはきたものの、和語の中には「話す」「ことし」のようにやさしい日本語ニュースよりも一般ニュースのほうが出現順位が上位の語もあった。なお、例示した2語が一般ニュースのほうが出現順位が高いのは、書き換えによる省略の傾向が反映されたものである。やさしい日本語ニュースにおいては、ニュースの内容を左右しない発言の多くは削除され、結果的に「話していました」という発話の引用を示す表現がやさしい日本語ニュースでは一般ニュースよりも49回少ない。また「ことし」についても、一般ニュースにおいては(204)aのように今年状況を説明するような部分が挿入されている箇所が目立つものの、こうした内容はニュースを伝えるうえで不可欠な要素とは言えず、やさしい日本語ニュースにおいては(204)bのように省略される場合が比較的多かった。

(204) a. マンボウは（中略）例年7月ごろにかかりますが、ことしは親潮の流れなどの影響で海水温の低い状態が続き、1か月遅れて姿を現したとみられています。 巨大なマンボウが網から上げられるのに偶然立ち会った（後略）（般: 175）

b. マンボウは（中略）毎年7月ごろから魚を取る網に入ってきます。 14日、北海道函館市の海の中にある網に大きなマンボウが入っているのが見つかりました。（や: 175）

こうした理由により、「話す」や「ことし」といった和語の出現順位がやさしい日本語ニュースでは一般ニュースよりも下がったものと考えられる。そして、出現順位90位に現れた「エボラ出血熱」のように本調査で対象とした期間の社会情勢を反映した語で、常に上位に入ってくる病名だとは考え難い語もあった。しかし、こうした時事的な語であっても、期間を限って見た場合非常に高い頻度で使われる語が存在することがわかった。次に、やさしい日本語ニュース100語の語彙が一般ニュースのどのような出現順位にある語で構成されていたのか、その概要を表52に示す。

表52 やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位100語と一般ニュースの出現順位（語）

出現順位	一般ニュース								計	
	1-50	51-100	101-200	201-300	301-500	501-1000	1001-2000	2001-4000		
やさしい日本語ニュース	1-25	17	3	0	3	1	0	0	1	25
	26-50	13	2	1	5	3	0	0	2	26
	51-75	5	10	3	3	5	0	1	0	27
	76-100	1	5	1	4	3	3	3	4	24
計	36	20	5	15	12	3	4	7	102	

表 52 に示したとおり、やさしい日本語ニュース上位 25 位までの語ではその大半が一般ニュースでも出現順位 50 位以内の語であることから、最も頻度が高い語彙については、やさしい日本語ニュース・一般ニュースで高い確率で語彙を共有していると言える。ただし、やさしい日本語ニュース上位 25 語の中の語であっても、そのうちの 1 語は一般ニュースの出現順位が上位 2,000 を超えていた。この語は既述のように「約」である。

やさしい日本語ニュースの 26-50 位の語をみると、ここでも一般ニュースでは 1-50 位の語が最も多いが、その数は全体の約半数であり、上位 200-500 位の語も 8 語あることから、上位 1-25 位の語彙ほどには一般ニュースと高い頻度の語彙を共有していない。さらに、やさしい日本語ニュースの上位 51-75 の語彙は一般ニュースでも出現頻度が全体からみれば比較的に高い語彙ではあるが、100 位以内に入る語はそのうち 15 語で、そのほかは上位 500 位程度までに点在していた。やさしい日本語ニュースの上位 76-100 位の語彙は、一般ニュースでの出現順位が高い語も中にはあったが、出現順位が低い語もあり、高頻度から低頻度まで全体的に広く分布していた。

以上、やさしい日本語ニュースの上位 100 語に該当する語彙を上位 25 語ずつに区切った結果、中でも上位に位置するものは一般ニュースでも高頻度で使用される語も多いが、頻度が下がるにつれ、やさしい日本語ニュースの上位 100 語以内の語であっても一般ニュースでは使用頻度が低い語の割合が次第に増えることがわかった。続いて、(205) に一般ニュース語彙では上位 100 (171) 語に含まれたものの、やさしい日本語ニュースの上位 100 (102) 語に含まれなかった語を使用頻度順に示す。

(205) こと、およそ、これ、キロ、調査、ほか、もの、以上、受ける、対する、開く、進める、対策、分、それ、今後、影響、大会、国際、区、新た、今回、訪れる、全国、津波、会、研究、超える、ない、今月、大統領、合わせる、さらに、ほど、地元、選手、男性、結果、起きる、向ける、側、感染、現場、述べる、ドイツ、示す、値上げ、引き上げ、上（うえ）、撤去、組織、担当、導入、再開、報告、流出、運航、交流、携帯、携帯電話、合意、説明、注意、墜落、登山、分析、改善、規制、増加、上昇、生活、設置、相談、検査、公開、体験、展示、輸出、被災、避難、汚染、発見、強化、想定、優勝、会見、開発、再開発、期待、選挙、管理、管理職、拡大、連続、活動、支援、対応、検討、攻撃、監督、発生、建設、旅行、施設、代表、電話、指摘、審査、実験、販売、企業、地域、中心、がん、線、試合

一般ニュースでは同列 99 位の語が 73 語存在し、対象とした語彙がやさしい日本語ニュースと比べ非常に多いことから単純な比較は困難だが、やさしい日本語ニュースの上位 100 語に含まれなかった語彙で一般ニュース語彙の上位 100 語に含まれた語彙は (205) に示したとおり二字熟語の漢語名詞が非常に多く、その半数以上を占めた。また、一般ニュースの出現順位上位に現れた語でやさしい日本語ニュースの上位 100 語に含まれなかった語としては「こと」

「もの」が挙げられる。特に「こと」については一般ニュースでは補助動詞「いる」に次いで2番目に多く653回使用された語だが、やさしい日本語ニュースでは上位100語にすら該当していなかった。こうした「こと」「もの」に一般ニュース・やさしい日本語ニュースで使用頻度の違いが出たのは、一般ニュースでは(206)(207)aに示すように連体修飾が多く使用されていた一方でやさしい日本語ニュースでは連体修飾の使用が比較的少なかったためである。

(206) a. 現在、合わせて11往復しているバスを6往復に減らすということです。(般: 1)

b. 今は1日に11往復走っていますが、7月23日から6往復にします。(や: 1)

(207) a. このミステリーサークルは、ドイツ南部のバイエルン州にある小麦畑で見つかったもので、上空から見ると、直径75メートルの巨大なサークルの中には幾何学的な模様がくっきりと浮かび上がっています。(般: 112)

b. ドイツのバイエルン州にある畑で、小麦が倒されて直径75mの大きな丸い形ができているのが見つかりました。空からは、丸い形の中に四角や丸などの模様がはっきり見えます。このような不思議な丸い形を「ミステリーサークル」と言っています。(や: 112)

また、一般ニュースでは「キロ」が上位25位で91回用いられていた一方、やさしい日本語ニュースでは「km」のようにアルファベット表記で書かれている単位も少なくなく、やさしい日本語ニュースの出現順位の上位100語にカタカナで表記される単位は現れなかった。

1.2. 上位300語 (カバー率 63%)

ここでは上記の100(102)語を含めた上位300(310)語、延べ語数11,445語について述べる。まず300語がどのような語彙で構成されているのか、その全体像をみるため高頻度語彙上100語と同様、品詞・語種・難易度(出題基準)により語彙を分類し、図43に示す。

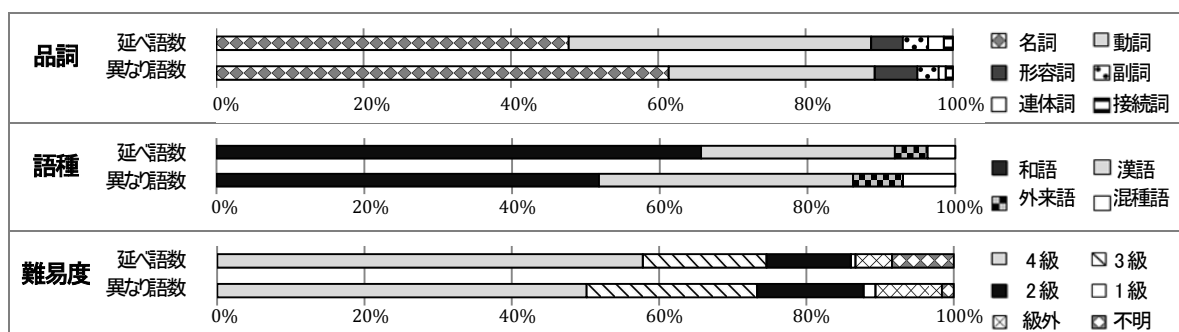


図43 やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位300語の構成

図43に示したように、やさしい日本語ニュースで使用された上位300(310)語の構成は、異なり語数・延べ語数ともに品詞では名詞と動詞、語種では和語、出題基準では4級の語彙が多い。こうした特徴は本章「1.1. 上位100語(カバー率43%)」の図42「やさしい日本語ニ

ユース高頻度語彙上位 100 語の構成」に示したやさしい日本語ニュースの上位 100 語のものと違いがない。以下、品詞、語種、難易度の順に高頻度語彙上位 300 語の特徴を述べる。

品詞については名詞の延べ語数・異なり語数が全体に占める比率が上位 100 語よりも高いという違いはあるものの、延べ語数よりも異なり語数のほうが名詞が全品詞に占める比率が高い点は上位 100 語と同様であった。動詞は名詞とは反対に、上位 100 語よりも延べ語数・異なり語数に占める比率が小さいが、上位 100 語と同様に異なり語数の比率が品詞全体に占める比率は延べ語数よりも小さかった。また、上位 100 語では形容詞より副詞の使用が多かったが、上位 300 語では副詞よりも形容詞の語彙が数多く含まれていた。連体詞と接続詞が少数であること、感動詞が 1 語も含まれないことは上位 100 語と同様である。

第二章のやさしい日本語ニュース・一般ニュースの全品詞の構成・それぞれの語種における品詞の構成・それぞれの難易度（出題基準）における品詞の構成と比べた場合、上位 300 語の品詞構成が延べ語数では第二章「3.1. 3-4 級語彙」の図 31「3,4 級語彙の構成（品詞、延べ語数）」に示した 3 級語彙の構成に、異なり語数では図 32「3,4 級語彙の構成（品詞、異なり語数）」に示した 4 級語彙の品詞構成に近かった。こうした結果から、上位 300 語では名詞が全品詞に占める比率が高くなったとはいえ、上位 100 語と同様に品詞の構成は難易度の低い語彙の構成に近いことがわかった。

語種では和語の比率が高く、全体の半分以上を和語が占めているのは上位 100 語と同様である。ただし、その比率は上位 300 語では漢語・外来語・混種語が上位 100 語よりも高い一方で、和語の比率は比較的低かった。第二章の語彙特徴の結果と比較すると、上位 300 語の構成は延べ語数では第二章「2. 語種別の特徴」冒頭の図 17「語彙の構成（語種）」に示した全品詞の語種構成と第二章「3.1. 3-4 級語彙の特徴」の図 33「3-4 級語彙の構成（語種）」に示した 3-4 級の語彙を合算した語種構成に近い。異なり語数では、図 35「3,4 級語彙の構成（語種、異なり語数）」に示した 3 級語彙の語種構成に近い。語種の構成について上位 100 語では 4 級語彙と非常に似通ったものであったが、上位 300 語では延べ語数は難易度が低い語彙に限らず、すべての語彙の語種構成とも近いものであり、上位 100 語と比較し、構成されている語種の比率に違いが生じていた。

難易度では 4 級語彙が異なり語数で約半数、延べ語数で 60% 弱を占めており高い比率だが、上位 100 語と比べるとその比率は低い。また、3-4 級の語は異なり語数・延べ語数ともに全体の 75% 程度あり、この比率も上位 100 語より少なかった。逆に比率が増えたのは 2 級以上の語彙で、特に級外語彙は上位 100 語と比べ比率が 2-3 倍になっていた。級外語彙の比率が高くなった主な要因としては上位 100 語よりも多くの固有名詞が含まれていたことが挙げられる。また、1 級語彙については増えたとはいえ、上位 100 語では該当する語がゼロであるのに対し、上位 300 語で異なり語数 5 語、延べ語数 71 語とわずかながら含まれたにすぎず、ほかの級レベルの語彙と比べて高頻度語彙に占める比率は極めて少なかった。次に、上位 300 (310) 語に入った語彙の内訳を表 53 に示す。

表 53 やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位 300 語の品詞・語種の分類

種類		語彙	語数	
名詞	和語	人、ため、今、子ども、国、前、ことし、水、海、あと、家、とき、車、間、お金、近く、山、土、雨、3つ、町、多く、場合、川、店、割合、夏、みんな、道、◇広島、体、上、数、島、ほか、建物、周り、外、まま、津波、朝、何、ウナギ、日、側、どこ、魚、戦い、夜、名前、1つ、◇山梨	52	188
	漢語	県、◇日本、市、会社、◇東京、万、飛行機、去年、女性、世界、◇中国、事故、円、政府、駅、時間、計画、都、客、外国、情報、可能性、予定、被害、警察、物質、家族、男性、7月、8月、番、全部、会、大統領、問題、研究、億、国際、6月、一緒、首相、選手、線、病気、今月、病院、区、実験、種類、先生、列車、回、結果、絵、工事、◇東京電力、発電、旅行、安全、がん、◇富士山、電気、軍、いちばん、日本人、専門家、分、調査、◇韓国、午前、原因、9月、年、◇厚生労働省、けが、来年、会場、地下、放射性、3月、相談、心配、関係、家庭、原発、地震、気、会議、戦争、必要、空港、写真、大会、文化、外国人、4月、携帯電話、生活、訓練、監督、熱中症	101	
	外来語	%、◇アメリカ、◇ロシア、m、グループ、km、◇イスラエル、◇ドイツ、インターネット、オリンピック、ワールドカップ、バス、◇フランス、アニメ、◇パレスチナ、チーム、◇ウクライナ、システム、cm、◇ハマス、◇ブラジル	21	
	混種語	場所、エボラ出血熱、値段、仕事、大勢、◇福島、◇成田空港、◇羽田空港、危険ドラッグ、◇ガザ地区、◇神奈川、試合、毎年、◇小保方	14	
動詞	和語	◆いる、する、なる、ある、できる、言う、作る、考える、話す、出る、増える、使う、来る、亡くなる、いる、行う、調べる、よる(因)、入る、出す、見る、分かる、取る、◆くる、始める、◆いく、思う、始まる、住む、続く、続ける、落ちる、終わる、乗る、上がる、開く(ひら)、吸う、売る、行く、降る、登る、飛ぶ、やめる、◆もらう、見つける、決める、走る、書く、壊れる、起きる、買う、知る、つける(付)、持つ、集める、置く、流れる、運ぶ、受ける、上げる、食べる、伝える、さがす、◆くださる、見える、見つける、入れる、聞く、踊る、撃つ、決まる、増やす、流す、教える、守る、集まる、生まれる、着る、落とす、逃げる、送る、もらう	82	87
	混種語	発表する、利用する、参加する、輸出する、協力する	5	
形容詞	和語	高い、新しい、多い、少ない、大きい、同じ、いろいろ、よい、ない、早い、長い、低い、強い、悪い、暑い、安い	16	19
	漢語	必要、元気、有名	3	
副詞	和語	初めて、これから、とても、どう、もっと、最も	6	9
	漢語	約、たくさん、いちばん	3	
連体詞	和語	この、大きな、その、どの	4	4
接続詞	和語	そして、しかし、また	3	3

(枠内左上から頻度順、グレーは上位 100 語。◇:固有名詞、◆:補助動詞)

表 53 に示したとおり、上位 101-300 語では名詞の漢語語彙が最も多く 75 語、上位 100 語内の語と合計で 101 語あり、これは上位 300 語の 3 分の 1 の語数にあたる。また、上位 100 語で最も多かった動詞の和語は上位 300 語でも比較的語数が多く、101-300 位の語彙は 50 語、上位 300 語全体で 82 語である。多くの語を含む品詞・語種別の分類は順に名詞の漢語、動詞の和語、名詞の和語、名詞の外来語、形容詞の和語、名詞の混種語、副詞の和語、動詞の混種語、形容詞の漢語・副詞の漢語・連体詞の和語・接続詞の和語である。それぞれの分類に該当する語数を上位 100 語と比較すると、語数の多い分類ではその順序が名詞の漢語と動詞の和語で入れ替わっており、上位 101-300 語の中には上位 100 語と比較した場合、名詞の漢語語彙が多く、動詞の和語語彙は少ないとわかる。

上位 300 語の語彙を品詞別にみると、名詞の多さが際立っている。名詞はすべての語種で

上位 101-300 の語彙が多く 137 語あり、そのうち 19 語が固有名詞である。上位 100 の語彙も合算すれば、300 語までの語彙のうち名詞語彙は 188 語で、24 語の固有名詞を含み、名詞語彙の 1 割以上が固有名詞であり非常に多い。また、固有名詞 24 語のうち国名や県名など地名を表す語は 17 語あり、第二章「1.1. 名詞」で固有名詞の中でも地名の使用数が多いことは既述のとおりだが、高頻度で使用された語彙にも地名が多く含まれていることがわかった。地名に限れば、上位 100 語では「東京」の 1 語を除いては国名しか含まれなかったが、上位 300 語では国名が大半を占めるとはいえ、地域名や県名も複数含まれていた。以下、品詞と語種による分類で数の多い名詞の漢語から順に上位 100 語以降に加わった語彙を中心に述べる。

名詞の漢語について、本章「1.1. 上位 100 語（カバー率 43%）」では「被害」の例を挙げ、大半は地震や大雨などの天災とその後の処理や復興に関するニュースで使用されていたことに触れ、名詞の漢語は動詞の和語等よりは語からニュースの類推がしやすい語があると述べた。上位 300 語内の語についてそうした語からのニュース内容の類推のしやすさという観点からみると、ニュースの取得期間を限定した場合、第一に挙げられるのは固有名詞である。

今回対象とした期間では、政策や原子力発電所事故の補償に関するニュースで頻出した「東京電力」、登山や世界遺産のニュースで話題にあがった「富士山」など特定の話題のニュースで高い頻度で用いられていた固有名詞があった。しかし、ニュースの具体的な期間を限定しない場合、「東京電力」や「富士山」といった固有名詞であっても、その語からどういった内容をのニュースであるかを予測することは困難である。また、ニュース期間を限定しても、「日本」のように語からニュース内容を類推する以前に、国内ニュースか国際ニュースかさえ特定できないような語もあった。

普通名詞で比較的語の使用範囲を絞りやすいものとしては「発電」「旅行」「がん」「軍」「家庭」「監督」といった語が挙げられる。例えば「がん」という語がニュースで使用されていたら、そのニュースは自然環境や貿易などのニュースよりも、医療に関連した研究や治療、健康診断、平均寿命、死因等に関わるニュースである可能性のほうが高い。実際、「がん」が使用されたのは (208) に示すような研究に関わるニュースが最も多かった。加えて、(209) に示すような病気の治療や健康診断に関わるニュースなどでも使用がみられた。

(208) a. 細胞ががん化すると分泌されるマイクロRNAの種類や量が変わることが最新の研究で分かってきたということです。（般: 171）

b. 最近の研究で、がんになると、マイクロRNAの種類や量が変わることが分かってきました。（や: 171）

(209) a. 坂本龍一さん がん治療で活動休止（般: 39）

b. 音楽家の坂本龍一さん がんの治療でしばらく休む（や: 39）

なお、「がん」は固有名詞ではないが、病名であることからその名称を変えることはできず、一般ニュース・やさしい日本語ニュースで書き換えはされていない。また、医療に関連

した研究や治療といったニュース内容の推測は「がん」に限らずさまざまな病名から可能だが、病気が「エボラ出血熱」や「デング熱」のような感染症である場合、病気の感染経路や流行など別のテーマのニュースでも使用されている可能性が高くなる。

また「監督」という語について、「監督」は指導する立場にある人のことを指し、使用される領域がある程度特定できる語である。第一に挙げられるのは敬称として使用されるスポーツや舞台などの指揮をとる人物としての「監督」だが、そのほかにも工事や試験等にも監督者はいる。対象としたニュースから得られた「監督」は(210)(211)に示す「サッカーの監督」と「映画の監督」の2種類に限られた。

(210) a. 日本サッカー協会は、(中略) 次の監督候補の人選を進めていました。(般: 84)

b. 日本サッカー協会は次の監督を誰にするか考えていました。(や: 84)

(211) a. 世界で高い評価を受けるアニメーション作品を制作した宮崎駿監督に(後略)。(般: 210)

b. 宮崎監督は世界でも有名なアニメーション映画の監督です。(や: 210)

こうしたことから、「監督」という語にニュースで出合った場合、何の監督かを把握することができればおのずとニュースの理解も容易になるのではないだろうか。「がん」や「監督」とは反対に語からニュースの内容の推測が難しい名詞の漢語としては「7月」「会」「一緒」「種類」「結果」「関係」などが挙げられる。「一緒」を例に挙げれば、やさしい日本語ニュースでは(212)(213)のbに示すような使用例があり、そのニュース内容は工事、介護のほか、実験、情報公開、観光、子育て、企業活動等多岐にわたっていた。

(212) a. 建屋の海側の凍土壁は、汚染水のたまっている地下のトンネルと交わるように作られるため、(後略)。(般: 34)

b. 土で作る壁は、建物の海側でトンネルと一緒になります。(や: 34)

(213) a. 主に介護を担っている人について尋ねたところ、▽同居する家族と答えた人は全体の62%を占め、(後略)。(般: 55)

b. 調査では、誰が介護をしているか質問しました。62%が「一緒に住んでいる家族」と答えました。(や: 55)

また「一緒」の箇所に対応する書き換え前の一般ニュース文をみると、「立ち会う」「交わる」「同居する」のほか、「立ち会う」や「一括する」等さまざまな語が用いられており、その大半が動詞であった。なお、対象としたやさしい日本語ニュースにおける「一緒」の使用数は23回だが、一般ニュースでは10回であり半数に満たなかった。やさしい日本語ニュース・一般ニュースで共通して「一緒」が使用された例として(214)を挙げる。(214)は実験の手順を示した文章の一部だが、このように双方のニュースで共通して「一緒」が使用された例は(214)を含め2例しかなく、もう1例はインタビューの発言を引用した箇所であった。

- (214) a. 次にマウスを別の場所に移し、メスのマウスと一緒に過ごさせながら（後略）。（般: 208）
 b. 次に、このマウスを雌のマウスと一緒の別の場所に入れました。（や: 208）

そのほかの上位 300 語の名詞の漢語の特徴として、「専門家」「日本人」等の複合名詞が数語含まれていたことが挙げられる。また、個々の語をみると日本は大統領制をとっていないにもかかわらず「首相」よりも「大統領」のほうが多用されていたような例もあるが、今回収集した資料で「首相」が日本の首相を指す例は 1 例もなかった。ただし、これはニュースで日本の首相を指す場合「首相」ではなく「総理大臣」という語が使用されていたため、日本の首相に関連した話題がニュースで取り上げられなかったわけではない。

2 番目に多くの語を含む分類は動詞の和語である。この分類に属す語を上位 101-300 語と上位 100 語で比べると上位 101-300 語の語のほうが抽象度の低いものも多く、「踊る」「撃つ」等、限られたニュースでしか使われないと思われる語も数語含まれていた。調査対象のやさしい日本語ニュース文から得られた「踊る」はすべて (215) のように身体の動きを表すものであり、(215) に示した例では「踊る」の書き換え前の語として「披露する」が対応しているように、「踊る」はやさしい日本語ニュースでの使用が 14 回で一般ニュースの 4 回を上回っていた。

- (215) a. ギエムさんは（中略）代表作「ボレロ」を披露しました。（般: 163）
 b. ギエムさんのバレエでいちばん人気がある「ボレロ」を踊りました。（や: 163）

ただし、先に抽象度の低い語が上位 100 語よりも多いと述べたものの、「終わる」「伝える」「知る」「受ける」「決まる」のようにその動詞 1 語からはニュースの内容を全く推測できないような語も上位 100 語と同様に数多く含まれていた。「受ける」を例に挙げれば、(216)-(218) に示すように教育・医療など多様なニュースで使用されていた。また、(217) はバスケットボールの国際大会誘致のニュースだが、「受ける」という 1 語ではなくこのように節や文を引用しても、そこからニュースの内容を推し量ることができないものも少数ながらみられた。

- (216) a. 児童たちはおよそ 1 キロ離れた中学校の仮設校舎で授業を受けていました。（般: 169）
 b. 子どもたちは、約 1 km 離れた別の場所で授業を受けていました。（や: 169）
 (217) a. 東日本大震災の復興支援の意味も込めて、（後略）。（般: 28）
 b. 東日本大震災で被害を受けた東北地方を応援するという意味もあります。（や: 28）
 (218) a. 坂本さんは（中略）自宅があるアメリカで治療に専念するということです。（般: 39）
 b. 坂本さんは家があるアメリカで治療を受けます。（や: 39）

また上位 300 語の和語動詞には「上がる」「上げる」のように自動詞・他動詞の対になる

語も含まれていた。まず「上がる」の使用例を(219)(220)に示す。やさしい日本語ニュースに用いられていた「上がる」は(219)に示すような消費税をはじめ、最低賃金や商品の値段など金銭に関連した文脈での使用が多かったが、中には(220)のように金銭とは関係のない文脈で使用されていた例もあった。

- (219) a. (前略) 各社は店頭とネットの両面で販売に力を入れることで、消費増税の影響が残る消費の本格的な回復につなげたい考えです。(般: 26)
- b. ことし4月に消費税が上がりましたが、デパートは店とインターネットの両方でお中元の品物をたくさん売りたいと考えています。(や: 26)
- (220) a. 地球温暖化による海面上昇がこのまま進めば津波などによって島が水没してしまうのではないかという懸念が強まっています。(般: 190)
- b. このまま地球の気温が上がりて海の水の高さが上がると、津波などがあつたときに島が海に沈んでしまうと心配しています。(や: 190)

(219)(220)に示したように一般ニュースの「上がる」の対応箇所は「増税」「温暖化」「上昇」等、「上がる」とは別の語が使用されていた。こうしたことから、やさしい日本語ニュースでは「上がる」は26回使用されている一方、一般ニュースでは15回しか使用されていなかった。それでも、中には一般ニュースでのみ「上がる」が使用されていた文脈もあり、そうした文脈としては(221)に示す「歓声が上がる」のほか、「懸念する声上がる」(般: 34)、「拍手が上がる」(般: 64)、「湯気が上がる」(般: 87)等があった。

- (221) a. 浜辺に集まった人たちから大きな歓声が上がりていました。(般: 49)
- b. 海岸に集まった人たちは声を出して喜んでいました。(や: 49)

続いて、(222)(223)に「上げる」の使用例を示す。「上げる」についても「上がる」と同じく、金銭に関連のある名詞と共に使用される例が最も多かった。また、(220)(222)のbにそれぞれ示しているように、いずれの語も「気温」と共に用いられていた例もあった。

- (222) a. 東京都と周辺の3つの県の温室効果ガスの排出量が日本全体の20%を占めている現状を踏まえ、(後略)。(般: 123)
- b. 東京都では、地球の気温を上げるCO2 (=二酸化炭素) やメタンなどのガスがたくさん出しています。(や: 123)
- (223) a. 挑戦は空の様子を見ながら、雲が日ざしを遮る時間を避けて行われ、ソーラーカーに乗り込んだ篠塚さんは、助走区間を走ってスピードを上げていきました。(般: 182)
- b. 天気を見ながら、晴れている時間にソーラーカーに乗りました。篠塚さんは、だんだんスピードを上げていきました。(や: 182)

そして、「上げる」も「上がる」と同じく、やさしい日本語ニュースでの使用回数が一般ニュースでの使用回数を上回っており、「上げる」はやさしい日本語ニュースで 15 回、一般ニュースで 7 回使用されていた。しかし「上げる」を語基として含む複合動詞に注目すれば、やさしい日本語ニュースでは複合動詞が全く使用されていなかった一方、一般ニュースでは「くみ上げる」「引き上げる」「盛り上げる」「作り上げる」「読み上げる」「仕上げる」「申し上げる」の異なり語数 7 語・延べ語数 28 語が使用されていたという違いがあった。

表 53 に示した分類で 3 番目に多いのは名詞の和語である。名詞の漢語、動詞の和語と同様に 1 語からのニュース内容の推測のしやすさを考えると、「津波」「ウナギ」の 2 語については比較的容易かと思われる。そのうち「津波」は対象とした期間では (224) に挙げるような災害にまつわる話や復興、防災訓練などをテーマにしたニュースで使用されていた。

(224) a. 2 人は津波に流されたあと木の板に乗って助かり、(後略)。(般: 177)

b. 2 人は津波に流されたあと、木の板に乗って助かりました。(や: 177)

また、「ウナギ」は (225) に示す生態調査に関わるニュースや、(226) 示したように日本食に関わるニュースで使用されていた。なお、生物としての「ウナギ」はカタカナ表記、食材としての「うなぎ」はひらがな表記が多い傾向があったが、完全な使い分けはされていなかった。例示する (225) (226) はニュースで伝えている内容は異なるものの、どちらもニホンウナギが絶滅危惧種に登録されたことを受けての話題であるという点では共通していた。

(225) a. 捕獲したウナギは、今後、標識をつけて放流して行動を追跡するというので、調査を通じて国内での生息分布や保全に必要な河川の環境を明らかにすることを目指しています。

(般: 58)

b. 捕まえたウナギは、印を付けて川に戻します。そのあと、どこへ行くか調べます。そして、ウナギがどんな所に住んでいて、どんな環境が必要か調べることにしています。(や: 58)

(226) a. ミャンマー最大の都市ヤンゴンでかば焼きにしたうなぎを提供する初めての店がオープンしました。(般: 95)

b. ヤンゴンに、ミャンマーのうなぎで作った日本料理を出す店が初めてできました。(や: 95)

上記に「津波」「ウナギ」をニュース内容を 1 語から推測しやすい語の例として挙げたが、実際には和語の名詞 1 語からはニュース内容の推測ができないものが大半で、そうした語として「場合」「割合」「上」「ほか」「周り」「まま」などが挙げられる。「場合」を例にとれば、(227) (228) に示すようにニュース間に関連はなく「場合」からニュース内容を予測することは不可能である。

- (227) a. 最終段階の飛行試験で問題がなければ現在の予定どおり、早ければ3年後の平成29年4月に第1号機が航空会社に導入される見通しです。(般: 53)
- b. 最後の飛行試験で問題がなかったら、最初のMR Jはいちばん早い場合、2017年4月に航空会社に渡す予定です。(や: 53)
- (228) a. 熱中症対策として日傘を差したり、水でぬらしたタオルを首にまいたりした場合と、何もしていない場合で感じる暑さの違いを体験していました。(般: 118)
- b. 親や子どもは、日傘をさしたり水で冷たくしたタオルを首に巻いたりして歩きました。そして、何もしないで歩いた場合とは感じる暑さが違うことを知ってもらいました。(や: 118)

また、ニュース内容を推測可能かという観点から名詞の和語をみると、上位300語では対象期間を反映してか「夏」は含まれたが「春」「秋」「冬」は含まれず、「雨」「川」「ウナギ」など夏に関連があると思われる語も含まれていた。また、「何」「どこ」といった疑問詞も含まれていた。

名詞の和語に次いで4番目に多い分類は名詞の外来語である。なお、上位300語中の外来語は名詞以外は得られていない。また、固有名詞を除いては英語からの借用語ばかりである。上位300語に該当する外来語21語のうち固有名詞が9語、記号・アルファベット表記による語が4語で、そのほかの語は8語である。名詞の外来語の2語という数は名詞の漢語語彙と比較すれば少ないが、形容詞の和語の半数に達することと比較すれば多いとも言える。

外来語の普通名詞を名詞の和語と比較すると「オリンピック」「ワールドカップ」「アニメ」など1語からニュースの内容を特定しやすいものが多い。なお、「オリンピック」は4年に1度のスポーツの祭典のほか、「数学オリンピック」のような使われ方もすることから、「ワールドカップ」はサッカーやバレーボールなどさまざまなスポーツの世界選手権大会を指すことから普通名詞として計上したが、実際には対象としたニュースでは「オリンピック」はすべて4年に1度のスポーツの祭典を指し、「ワールドカップ」はすべて歴史が最も古いサッカーの大会を指していた。

また、一般ニュースにおいてはニュースタイトルに限って「ワールドカップ」を「W杯」と表記していたが、やさしい日本語ニュースではすべてカタカナ表記であった。加えて、「ワールドカップ」を高頻度語彙として収集したのは、対象期間にサッカーのワールドカップが行われていたことにほかならず、時事に影響を受けた高頻度語だと言える。「アニメ」は(229)のように日本文化に関わるテーマで使用されることが多かったが、(230)のように直接日本文化とは関わりがない列車の運行を扱ったニュースの中で使用されていた例もあった。

- (229) a. フランスでは、日本文化はアニメから和食まで高い人気があり、(後略)。(般: 22)
- b. フランスでは、アニメや漫画、和食など日本の文化に高い人気があります。(や: 22)

- (230) a. アニメ「きかんしゃトーマス」のキャラクターに改装したSL列車の(後略)。(般: 47)
 b. アニメ「きかんしゃトーマス」の顔を付けた蒸気機関車の運転が(後略)。(や: 47)

なお、「アニメ」が多く使用された一方、「アニメーション」は「アニメーション映画」(や: 210)、「アニメーション賞」(や: 210)、「アニメーション作品」(般: 210)というより限定された範囲でのみ使用されていた。ただし、外来語にも「アニメ」のように使用範囲が限られる語ばかりでなく「チーム」「システム」のように1語からニュースの内容を考えるのは難しい語もある。例えば「システム」は(231)-(233)のように犯罪・運送・入国管理などさまざまな内容のニュースで使用されていた。

- (231) a. 顧客データベースの保守管理を委託されていた外部業者の(後略)。(般: 51)
 b. 客の情報システムを管理している会社に来ていた(後略)。(や: 51)
 (232) a. W i F i の場合、電波のやり取りが機内に限られ飛行システムへの影響はないとして、(後略)。(般: 83)
 b. 飛行機の中の無線のW i F i でインターネットに接続する場合は、飛行機のシステムが間違えて動くことはないと考えられています。(や: 83)
 (233) a. 出入国審査にかかる時間を短縮しようと、旅行者の顔とパスポートの顔写真を自動的に照合するシステムの実証実験が(後略)。(般: 119)
 b. パスポートを確認する時間を短くするための新しいシステムの実験が(後略)。(や: 119)

5番目に多い分類は形容詞の和語である。この分類は上位100語では4語だったが、上位300語では4倍の16語あり、「同じ」「いろいろ」の2語のナ形容詞も含まれていた。また、形容詞の和語で最も使用回数が多い「高い」の反対語「低い」「安い」も含まれていた。ここでは「いろいろ」「低い」「安い」の使用例をみる。

「いろいろ」は(234)-(236)に示すように色や所、アイデア等さまざまな名詞を修飾する語として用いられていた。ただし、例示する3例とも書き換え前の語が「いろいろ」ではないように、一般ニュースでは「いろいろ」は3回しか用いられておらず、24回使用されたやさしい日本語ニュースと比べるとその使用頻度は極端に低い。そして、一般ニュースの3例の「いろいろ」についてはすべて発言の引用の中で用いられていた。

- (234) a. 水田をキャンバスに見立て色とりどりの稲を植えて大きな絵を描く、青森県田舎館村の「田んぼアート」が見頃を迎えています。(般: 63)
 b. 「田んぼアート」は田んぼにいろいろな色の稲を植えて作る大きな絵です。(や: 63)
 (235) a. 「伝書鳩」は、通信手段が途絶えるなか、伝書鳩で各地へ被災の状況を知らせる姿が描かれています。(般: 202)
 b. 「伝書鳩」という絵は、鳩を使っていろいろな所へ地震の被害を知らせるところを描いています。(や: 202)

(236) a. 住友商事では、家庭への電力販売も視野に入れて、再生可能エネルギーを使った発電事業に力を入れていく方針です。(般: 46)

b. このため、住友商事は家庭に電気を売ることも考えて、いろいろな新しい発電の仕事をしていく予定です。(や: 46)

「低い」は(237)に示すような「背が低い」という使われ方や「気温が低い」(や: 43)という使われ方も一部あったが、多くは(238) bのような「割合が低くなる」及び「可能性は低い」(や: 99)という使われ方であった。一般ニュースの「割合が低くなる」対応箇所は(238) aのような「減る」のほか、「下回る」という語が使用されている例が多かったが、「可能性が低い」という表現については双方のニュースで共通して高頻度で用いられていた。

(237) a. (前略) 小中学生でも身長が低いため地面の照り返しなどの影響を受けやすく、熱中症のリスクが高いということです。(般: 118)

b. 日の光が跳ね返って地面の近くは気温が上がるため、背が低い子どもは熱中症になる危険が大きくなります。(や: 118)

(238) a. J Tは「喫煙に対する規制の強化なども影響して、ほとんどの年代でたばこを吸う人の割合は減っており、この傾向は今後も続くのではないかとしています。(般: 107)

b. J Tは「ほとんどの世代でたばこを吸う人の割合は低くなっています。これからも低くなっていくと思います」と言っています。(や: 107)

「安い」は(239)に示す低価格という意味での使用しかない。ただし、一般ニュースでは価格が低いことを表すのにも(239) aに示すように「値下がりする」という語や長い表現からその意味を導くような例も少なくなく、やさしい日本語ニュースで12回使用された「安い」という語は一般ニュースでは全く使用されていなかった。

(239) a. 「このところ原油価格は小幅に値下がりしているが、これまで転嫁できなかった分を小売価格に反映させる動きは今後も続くことが予想される」と話しています。(般: 37)

b. 「最近、輸入するときの石油の値段は少し安くなっていますが、ガソリンはすぐには安くならないと思います。(中略)」と話しています。(や: 37)

6番目に多い分類は名詞の混種語である。上位6番目までの分類に名詞の全4種類の語種が入り、ほかの品詞の分類が2種類しか入っていないことから名詞の語彙は語種を問わず多用される語が多いとわかる。上位300語の名詞の混種語の大半は重箱読み・湯桶読みの語であり、それらの語と固有名詞を除けば、純粋な混種語は「エボラ出血熱」と「危険ドラッグ」の2語だけである。「エボラ出血熱」については既述のとおり、対象とした期間に西アフリカで病気が流行していたためニュースに上る回数が多く、「危険ドラッグ」についても調査期間中に「脱法ドラッグ」から「危険ドラッグ」に名称が改められたこともあり、ニュース

に取り上げられる回数が多かった。こうした時事的な語を除き、上位 300 語に位置するほど高頻度で使用されていた名詞の混種語はなかった。

7 番目に多い分類は副詞の和語だが、上位 101-300 語では「最も」1 語しか得られていない。その「最も」の使用例を (240) (241) に挙げる。やさしい日本語ニュースでは (240) (241) b に示したように「最も多い」「最も高い」のように形容詞とともに使用されることが多かったが、書き換え前の一般ニュース対応箇所では「最も」だけではなく、「最多」「トップ」「最悪」「最年長」などの語が使用されていた。

(240) a. 空き家の戸数は 8 1 9 万 6 4 0 0 戸で、前回の 5 年前を 6 2 万 8 5 0 0 戸上回り、過去最多を更新しました。(般: 101)

b. 人が住んでいない家の数は 8 1 9 万 6 4 0 0 でした。前の調査より 6 2 万以上増えて、今までで最も多くなりました。(や: 101)

(241) a. 平均寿命が女性だけでなく男性も 8 0 歳を超えたのは、世界でも香港やスイスなど一部の国や地域に限られていて日本人の長寿は世界のトップレベルとなっています。(般: 113)

b. 女性だけではなくて男性も平均寿命が 8 0 歳以上の国や地域は、香港やスイスなど少しだけです。日本人の寿命は世界で最も高いレベルになっています。(や: 113)

8 番目に多い分類は動詞の混種語である。ただし、多いとはいっても上位 300 語に 5 語の語が該当するだけである。また、上位 300 語の 5 語の動詞の混種語はすべて漢語名詞をもとにしたサ変動詞であった。そうした 5 語のうち上位 101-300 語の語は「参加する」「輸出する」「協力する」の 3 語あった。順にその使用例を示す。「参加する」は (242) b に示すように、人が何らかの行事等に参加することを表す例が最も多かったが、(243) のように人に限らず車両等について用いられる例や、企業がイベントに参加する例等でも用いられていた。

(242) a. 1 0 日、警察に抗議するデモが行われ、およそ 1 0 0 0 人が参加しましたが、夜にかけてデモ隊の一部が暴徒化し、商店を破壊したり略奪したりする事態となりました。(般: 145)

b. デモに参加した人の中には、店を壊したり、店の品物をとったりする人もいました。(や: 145)

(243) a. 演習には 1 0 0 0 人以上の兵士のほか、5 機の攻撃用ヘリコプターやおよそ 1 0 0 台の軍用車両が参加するということです。(般: 156)

b. ロシア軍によると、1 0 0 0 人以上の兵士と、5 機の兵器があるヘリコプター、約 1 0 0 台の軍の車が訓練に参加します。(や: 156)

「参加する」に関連して、一般ニュースでは「参加者」の語が比較的多く用いられていたが、やさしい日本語ニュースでは「参加者」ではなく、「集まった人たち」(や: 274) のような説明的な表現が用いられていたという違いがあった。また、一般ニュースでは (244) a に

示すように何かの大多数の集団に構成員として加わるという「参加する」ばかりではなく、夫婦という2人しか構成員がいない中で一つの仕事を協力して行うといった場合にも「参加する」が使用されていた。

- (244) a. 妻がフルタイムで働く世帯では、夫の7人に1人が全く家事に参加しておらず、(後略)。
(般: 209)
- b. 妻が会社などで長い時間働いている家では夫の7人に1人が家事を全然していませんでした。(や: 209)

「輸出する」は(245)に示すように、基本的にやさしい日本語ニュース・一般ニュースで共通して使用された語である。ただし、(246)に示すように「売る」ということよりも「広める・紹介する」といったことに主眼をおいた「輸出」の場合には一般ニュースでは「発信する」という語が使用される場合があった。こうした(246) bのような「輸出する」の場合、(245)のような「米を輸出する」という意味よりも多少難易度が上がる可能性がある。

- (245) a. 福島県は全国有数のコメの産地で、東京電力福島第一原発の事故の前は、香港や台湾などに年間100トン余りのコメを輸出していましたが、(後略)。(般: 172)
- b. 福島県で作った米は、3年前に原子力発電所の事故が起きるまで、香港や台湾などに1年で約100tを輸出していました。(や: 172)
- (246) a. アニメや漫画を巡っては世界中にファンが広がり、国も作品を海外発信する際には補助するなど日本の文化と位置づけて、(後略)。(般: 93)
- b. 日本のアニメや漫画は世界中で人気があります。国はアニメや漫画を日本の文化の1つと考えて、外国にもっと輸出しようと考えています。(や: 93)

なお、「輸出」は『明鏡国語辞典 第二版』では「自国の産物・製品・技術などを他国に送り出すこと。特に、自国の商品を他国に売り渡すこと」との定義があり、「売る」以外の「輸出」について記されてはいるが、『角川類語新辞典』では「外国へ品物を売ること」というように「売る」という意味でしか記載がない。このように辞典でも種類によっては「売る」という意味しか載せられていないことから「輸出」の第一の意味としては「売る」という意味を考えることに問題はないと思うが、「他国に送り出す」という解釈は「他国に売り渡す」という解釈を内包するものである。そのため、「輸出」は先述の「言う」のように文脈によって読者が判断する必要はないが、(246) bのような意味での使用例は限られており、使用が認められた場合には注意が必要であろう。

続いて、「協力する」について示す。「協力する」は(247) bに示すような使用例があり、書き換え前の一般ニュースでは「提携する」「支援する」「連携する」等の語が対応していた。こうした書き換えにより「協力する」の使用数はやさしい日本語ニュースで12回ある一方、一般ニュースでは6回で一般ニュースでの使用は少なかった。

- (247) a. 「準エリート」枠は、東京マラソンと提携する全国の大会の成績上位者が対象で、（後略）。（般: 20）
- b. 「準エリート」には、東京マラソンと協力しているマラソン大会で成績がよかった人が入ることができます。（や: 20）

一般ニュースで「協力する」が使用された箇所は発言の引用が目立ったが、中には引用箇所以外で使用された例もあった。やさしい日本語ニュース・一般ニュースに共通して「協力する」が使用されたのは個人対個人、団体対団体の協力ではなく、団体が個人にお願いをするといった(248)のような例である。

- (248) a. 去年6月の世界文化遺産登録を受け、これまで以上に環境保全を進めようと登山者にも協力を求めるもので、任意で1人1000円を（後略）。（般: 2）
- b. 富士山は去年6月に、世界遺産になって、今まで以上に環境を守る必要があります。このために必要なお金を、富士山に登る人に協力してもらいます。（や: 2）

9番目に多くの語を含む分類は連体詞の和語で、上位100語の3語「この」「大きな」「その」に加え、上位101-300語には「どの」1語が該当している。「どの」はやさしい日本語ニュースで24回使用されたが、そのうち10回は「どのくらい」、7回は「どのよう」という連語を構成する一部として(249)のようにそれぞれ用いられており、(250)のように事物を表す名詞とともに用いられる例は多くはなかった。なお、一般ニュースで使用された「どの」は16回で、そのうち8回は「どのよう」であるが、「どのくらい」の使用例はなかった。

- (249) a. このデータを基に、流出した土砂の範囲や量、それに土石流の広がり方などを詳しく分析することにしています。（般: 193）
- b. 撮った写真を使って、どのくらいの土がどのように広がって流れたかなどをコンピューターで詳しく調べます。（や: 193）
- (250) a. 委員会で、ことしの秋までに対象とする書籍を選ぶことにしています。（般: 122）
- b. どの本を翻訳するか選ぶため、（後略）。（や: 122）

10番目に多くの語を含む分類はそれぞれ3語の語が属す形容詞の漢語、副詞の漢語、接続詞の和語の3種類ある。以下、形容詞の漢語から順に述べる。形容詞の漢語は上位100語には1語もなかったが、上位101-300語には「必要」「元気」「有名」の3語があった。この3語のうち「必要」はやさしい日本語ニュース・一般ニュースの使用回数がそれぞれ20回・35回であり、一般ニュースでも比較的多く使用されていた。他方、「元気」「有名」は一般ニュースでの使用回数が非常に限られていた。こうした3語について「必要」から順に例示する。

「必要」は(251)に示すように、やさしい日本語ニュースでは「必要な電気」、「必要なお金」（や: 2）などの使用例があった。一般ニュースでも「必要」の使用例は多いが、伴って

使用される名詞は異なり、「必要なケース」（般: 81）、「必要な検討」（般: 125）、「必要な物資」（般: 173）等さまざまである。

- (251) a. 政府は、ことし夏の全国の電力需給について、安定供給に最低限必要とされる電力は確保できる見通しを示しているものの、（後略）。（般: 6）
 b. 政府は、ことしの夏、必要な電気は何とか足りると考えています。（や: 6）

「元気」はやさしい日本語ニュースで 13 回使用されていたが、一般ニュースでは発言の引用で 2 回使用されただけである。やさしい日本語ニュースでは (252) b に示したように人を含めた動物の健康状態がいい、あるいは活力があるといった意味で用いられているものばかりではなく、(253) b のように植物の生育状況についての説明、(254) b の地方経済の活性化に関する内容などにも少なからず使用されていた。(253) (254) b は「元気」という難易度の低い語で表現されてはいるものの、「元気」の持つ健康状態がいい、活力があるといった意味を広げて考えなければ語の解釈ができず、「元気」が 4 級の語であるとはいえ、この場合必ずしも難易度が低い語だとは言えない。

- (252) a. 「（前略）恐竜の繁栄の理由としてほかの動物よりも活発に動けたことが挙げられているが、羽毛で体温を暖かく保ったことが活発な理由かもしれない」と話しています。（般: 2）
 b. 「（前略）羽毛で体を暖かくしていたため、元気に動いていたと考えることもできます」と話しています。（や: 2）
 (253) a. 農作物の生育状況を調査したりする用途を検討しています。（般: 205）
 b. 農作物が元気に育っているかどうかを調べることもできると考えています。（や: 205）
 (254) a. 政府は（中略）地方経済の活性化や観光の振興につなげようと、（後略）。（般: 73）
 b. 政府は（中略）東京以外の地方も元気にしようと考えています。（や: 73）

「有名」はやさしい日本語ニュースでは 12 回使用されていたが、一般ニュースでは 1 回も使用されていなかった。やさしい日本語ニュースで「有名」に書き換えられた箇所の一般ニュースの対応箇所をみると、(80) a に示した「三大〇〇」といったものや、(255) a の「〇〇の産地」、(256) a の「世界的な」のような語が対応していた。

- (80) a. 大阪の三大夏祭りの一つ「天神祭」が 2 4 日から始まるのを前に、（後略）。（般: 79）
 b. 大阪の有名な夏のお祭り「天神祭」をみんなに楽しんでもらおうと、（後略）。（や: 79）
 (255) a. フランスのワインの産地で、（後略）。（般: 5）
 b. フランスのブルゴーニュ地方は、ワインの生産で有名です。（や: 5）
 (256) a. 世界的な指揮者、（後略）。（般: 7）
 b. 世界でも有名な指揮者（＝オーケストラの指揮をする人）の（後略）。（や: 7）

次に、副詞の漢語について述べる。副詞の漢語は上位 100 語では「約」「たくさん」の 2 語あったが、上位 101-300 語では「いちばん」の 1 語のみだった。なお、「いちばん」は表 53 に示したように名詞でも上位 300 語に入っている。ただし、名詞の「いちばん」は 16 回、副詞の「いちばん」は 28 回使用されており、副詞の「いちばん」のほうが使用例が多い。ただし、一般ニュースでは副詞「一番⁶¹」の使用例はなく、名詞の「一番」も発言の引用で 2 回使用されているだけである。そして、やさしい日本語ニュースで「いちばん」が用いられていた部分には (257) (258) に示す例のように「最大規模」「先頭に行く」などいろいろな語や表現が対応していた。

- (257) a. 住友商事はこのバイオマス発電で近く国内最大規模となる発電所を愛知県半田市に建設する方針を固めました。(般: 46)
- b. 住友商事は、日本でいちばん大きい「バイオマス発電」の発電所を愛知県半田市に建てることにしました。(や: 46)
- (258) a. 山鉾巡行は、先頭に行く「長刀鉾」(なぎなたぼこ)に乗った稚児が、通りに張られたしめ縄を刀で断ち切ったのを合図に始まりました。(般: 64)
- b. いちばん前の山車に乗っている子どもが道に張った縄を刀で切って、「山鉾巡行」が始まりました。(や: 64)

最後に、接続詞の和語について述べる。上位 300 語の 3 語は上位 100 語の 3 語と同じであり、上位 101-300 語に該当する語はなかった。そのため、接続詞については非常に多く使用される語はあるが、それよりも多少頻度が下がる語はないことがわかった。次に、図 44 としてやさしい日本語ニュース上位 100 語・300 語の使用数の内訳を示す。

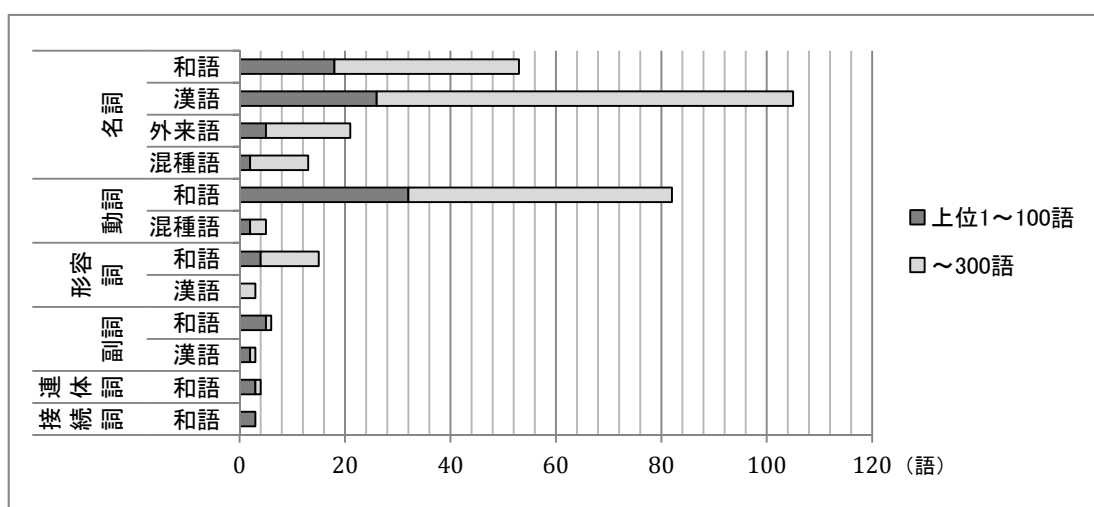


図 44 やさしい日本語ニュース上位 100 語・300 語の品詞・語種 (異なり語数)

⁶¹ 一般ニュースでは「いちばん」は漢字表記である。

高頻度語彙は上位 100 語・300 語で区切っているため、語彙が偏りなく分布している場合、上位 100 語・101-300 語の構成は 1 対 2 となるはずである。しかし、実際には図 44 に示したように、その構成は品詞や語種により多様であった。副詞・連体詞・接続詞ではその大半が上位 100 語のもので、上位 101-300 語の語はゼロか 1 語である。そのため、この 3 品詞には突出して多く使用される上位 100 語に位置する語があり、それ以外の語はあまり多くは使用されていないことがわかる。

上位 100 語・101-300 語の語数が同程度、あるいは上位 101-300 語の語彙が上位 100 語の 2 倍に至らない分類として、動詞が挙げられる。こうした動詞の分布から動詞は上述の副詞等ほどには明確に極めて多く使われる語を特定することはできないものの、高頻度語彙 300 語の中でも頻度が高く使用される語が多いと言える。

上位 100 語・101-300 語の構成がほぼ 1 対 2 であるのは名詞の和語のみで、名詞の漢語・外来語・混種語、形容詞の和語は上位 101-300 語の語数が上位 100 語の語数の 2 倍以上であり、形容詞の漢語は上位 100 語の語はない。こうした結果から、和語を除く名詞や、形容詞は高頻度で使用される語があるものの、動詞などと比較した場合、極めて高い頻度で使用される上位 100 語内の語よりも、多少使用頻度の下がる上位 101-300 語程度に位置する語が多いと言える。続いて、上位 300 語の語彙が属す意味分野を表 54 に示す。

表 54 やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位 300 語の意味分野

大分類	中分類	小分類	使用された語	語数 ⁶²	
自然	天文	朝夕	朝	2	33
		昼夜	夜		
	暦日	夏	夏	8	
		年	ことし、去年、 年、来年、毎年		
		月	今月		
		日	日(ひ)		
	気象	雨	雨、降る	4	
		天変地異	地震、津波		
	地勢	陸地	土(つち)	5	
		山	山		
		海	海		
		川	川		
		島	島		
景観	道路	線、道	2		
動物	魚介	魚、ウナギ	2		
生理	生死	亡くなる、生まれる	4		
	発病	けが			
	呼吸	吸う			

大分類	中分類	小分類	使用された語	語数		
自然	物質	物質	物質	3	69	
		水	水			
		鉱物	土(つち)			
	物象	光	放射性 ⁶³	4		
		力	原発 ⁶⁴			
		電気	電気、発電			
性状	位置	位置	場所	18		
		こそあど	この、その、どの、 ほか、何(なに)、 側、どこ			
		内外	上(うえ)、外、 地下			
		前後左右	前、あと、側			
		上下	高い、低い			
		周辺	間(あいだ)、周り			
		遠近	近く、周り			
		形状	点・線		線	4
			長短		長い	
			大小		大きな、大きい	

⁶² 文脈により違う意味で使用された語はそれぞれの意味分野に分類しているため、合計数は 310 にならない。また、語数の左の列は中分類の、右の列は大分類の異なり語数である。

⁶³ 見出し語は「放射」。

⁶⁴ 見出し語は「原子力」。

大分類	中分類	小分類	使用された語	語数
性状	数量	数	万、3つ、億、1つ	18
		数量	割合、数、回	
		有無	ある、いる、ない	
		多少	たくさん、多い、 少ない、大きい、 多く、大勢	
		全部	全部、みんな	
	実質	強弱	強い	2
		新古	新しい	
	刺激	冷温	暑い	2
		喧騒	大きい	
	時間	時間	とき、時間	14
		時刻	場合、午前	
		期間	長い	
		先後	前、あと、番、 いちばん、早い	
		終始	新しい、初めて	
		今昔	前、今、これから	
	状態	状態	場合、まま	5
		過激	強い	
		安危	安全	
		難易	可能性	
	価値	価格	高い、値段、安い	6
		良否	高い、よい、悪い	
		適不適	よい、悪い	
		有用	必要	
	類型	種類	いろいろ、種類	4
		系統	システム	
		同一	同じ	
	程度	程度	高い、上(うえ)、低い	12
限度		いちばん、割合、 最も		
大変		大きな、とても、 大きい		
細大		大きい		
一層		もっと		
大体		約		
変動	動揺	運動	踊る	1
		移動	走る	
	移動	昇降	落ちる、上がる、 上げる、落とす	8
		飛翔	飛ぶ	
		流動	流れる、流す	
		離合	附着	
	接続	取る、続く		
	集散	集める、集まる		
	出没	出し入れ	出る、入る、 出す、入れる	6
			見え隠れ	
		開閉	開く(ひら)	
		浸透	吸う	

大分類	中分類	小分類	使用された語	語数		
変動	変形	破壊	壊れる	1		
		変質	する、なる	3		
	増減	強化	壊れる	6		
		生成	できる、作る			
		増減	増える、増やす			
		加除	つける(付)			
	包含	包含	入れる	6		
		情勢	場合			
		発生	出る、出す、 できる、起きる			
	成否	成否	できる、なる	6		
		経過	過程		まま	8
		開始	始める、始まる、 終わる			
	到来	来る				
	断続	断続	続く、続ける、 やめる(止)	5		
		関連	関係		関係	
	因果	因果	よる(因)、原因、 結果	5		
		影響	関係、受ける			
		行動	動作		手の動作	持つ
	足の動作	踊る	7			
	往来	疾走		走る	7	
往復		行く、登る				
去来		出る、来る				
出入り		出る、入る				
乗降	乗降	乗る	5			
	逃亡	逃げる				
	見聞	目撃		見る、見える		
聴取	聴取	聞く	5			
	提示	出す				
	書き	書く				
	陳述	発言		言う、話す		
談話	談話	話す	5			
	相談	相談、会議				
	問答	聞く				
	寝食	生活		生活	4	
居住	住む					
食事	食べる					
装い	着る					
労役	実行	できる、する、 行う、開く	5			
	仕事	仕事				
	職業	仕事				
授受	授受	もらう	5			
	徴収	取る				
	取捨	取る				
	集配	集める				
	所有	ある、持つ				
操作	使用	使う、利用する ⁶⁵	7			
	設置	置く				

⁶⁵ 表内サ変動詞の見出し語はサ変名詞（例：「利用する」の見出し語は「利用」）。

大分類	中分類	小分類	使用された語	語数
行動	操作	運搬	送る、持つ、運ぶ	3
		打撃	撃つ	
	生産	製造	できる、作る	
		土木	工事	
耕作		作る		
心情	感覚	感じ	思う、気	2
	思考	思考	思う、考える	8
		判断	考える、予定、決める、決まる	
		認識	分かる、知る	
		立案	計画	
	学習	練習	訓練	9
		研究	研究	
		調査	調べる、調査	
		搜索	見つかる、さがす、見つける	
		試験	実験	
		出題	問題	
	意向	意	思う、考える	4
		願望	思う	
		注意	心配	
		奮起	元気	
	要求	協力	協力する	3
		約束	決める	
		権利	持つ	
	誘導	指導	教える	4
		妨害	被害、逃げる	
保護		守る		
闘争	闘争	戦争、戦い	4	
	競争	試合、戦い		
	討伐	守る		
悲喜	安心	心配	1	
人物	人稱	自他	人	2
		人	人、みんな	
	老若	男女	女性、男性	3
		少年	子ども	
	親族	家族	家族	2
		子	子ども	
	仲間	仲間	グループ	4
		主客	客	
		民衆	人	
		国民	外国人	
	地位	治者	大統領、首相	3
		師弟	先生	
	役割	担当者	監督	2
選手		選手		
サービスの職業	教育者	先生	1	
人物	偉人	人	2	
第一人者	専門家			
性向	体格	身体	体	5

大分類	中分類	小分類	使用された語	語数
性向	体格	健康	元気	1
		病気	病気、けが、がん	
	態度	積極的	まま	1
	対人態度	有縁	一緒	1
	性格	剛健	強い	1
	才能	力	強い	1
	境遇	貴賤	有名	4
		安否	安全	
		災難	事故、被害	
	心境	安心	心配	1
社会	地域	場所	場所、会場	9
		領土	国	
		都道府県	県、都、市、区	
		都会	町(まち)	
	世界	世界		
	集団	群集	グループ、集める	14
		集まる	集まる	
		集会	会、大会	
		加入	入る、参加する	
		団体	会社、会	
		軍隊	軍	
		党派	チーム	
		家庭	家庭	
	社会	世界		
国家	国、外国			
施設	施設	置く	7	
	公共施設	病院		
	仕事場	会社		
	駅・港	駅、空港		
	住居	家		
店舗	店			
統治	機関	政府、警察、厚生労働省	4	
	裁判	調べる		
取引	経済	生活	9	
	取引	輸出する		
	売買	売る、買う		
	騰落	上がる、上げる		
	損得	ため		
	収支	入る		
貨財	お金 ⁶⁶			
報道	報道	情報	4	
	伝達	伝える		
	発表	発表する		
	流布	流す		
習俗	伝承	伝える	2	
	文化	文化		
処世	出処進退	やめる(辞)	2	
	任免	送る		
社交	交際	国際	2	
	出欠	出る		
人倫	間柄	関係	1	

⁶⁶ 表内見出し語は「金(かね)」。

大分類	中分類	小分類	使用された語	語数	
学芸	学術	著作	書く	2	27
		作品	作る		
	論理	理由	ため、原因	2	
		目的	ため		
	記号	名称	言う、名前	17	
		番号	いちばん		
		単位	%、円、m、時間、7月 ⁶⁷ 、km、8月、6月、分、9月、年(ねん)、3月、4月、cm		
	美術	絵画	絵	2	
		写真	写真		
	芸能	映画	アニメ ⁶⁸	1	
娯楽	旅行	旅行	3		
	スポーツ	試合、オリンピック			
物品	建物	建物	建物	1	7
	標識	貨物	お金	1	
	工具	輪	車	1	
	機械	電気機具	携帯電話	5	
車両		車、バス、列車			
航空機		飛行機			

区分		使用された語	語数	
分類不能	補助動詞	いる、くる、いく、もらう、くださる	5	37
	国名・地名	日本、東京、中国、アメリカ、ロシア、イスラエル、ドイツ、福島、広島、韓国、フランス、ガザ地区、パレスチナ、神奈川、ウクライナ、ブラジル、山梨	17	
	組織名	成田空港、東京電力、羽田空港、ハマス	4	
	固有名詞(除:地名・組織名)	富士山、小保方	2	
	接続詞	そして、しかし、また	3	
	その他	エボラ出血熱、インターネット、日本人、ワールドカップ、危険ドラッグ、熱中症	6	

(グレーは上位 100 語)

表 54 に示したとおり、上位 300 語も上位 100 語と同様に、大分類では〔性状〕が最も多く、全体の 4 分の 1 弱の 69 語ある。〔性状〕以下、多いのは順に〔社会〕49 語、〔変動〕41 語、〔行動〕40 語、〔自然〕33 語で、30 語以下の分類は〔心情〕29 語、〔学芸〕27 語、〔人物〕15 語、〔性向〕13 語、〔物品〕7 語である。上位 100 語では使用数が多い分類の順に〔性状〕、〔社会〕、〔変動〕・〔行動〕、〔自然〕、〔心情〕・〔学芸〕、〔人物〕、〔物品〕、〔性向〕であったため、上位 300 語では〔変動〕と〔心情〕がそれぞれ〔行動〕と〔学芸〕よりも若干多く、〔物品〕と〔性向〕の多少が入れ替わっているが、大分類で意味分野をみる限りにおいては上位 100 語と上位 300 語の間に極めて大きな違いがあるとは思われない。以下、各意味分野の語彙を多い分野から順にみる。

〔性状〕に分類した 69 語の語彙の中分類で最も多いのは〔数量〕 {位置} のそれぞれ 18 語で、上位 101 語以降の語として {数量} には「3つ・割合・全部」等、{位置} には「何・低い・周り」等の語が該当する。次いで多いのは {時間} の「場合・午前・番」等 14 語、{程度} の「上・最も・大きい」等 12 語で、10 語以下の分類は {価値} の「値段・よい・悪い」等 6 語、{状態} の「場合・まま・安全」等 5 語、{形状} の「線・長い・大きい」等と {類型} の「いろいろ・種類・同じ」等 4 語、{実質} の「強い・新しい」と {刺激} の「暑い・大きい」2 語であり、すべての中分類に属す語が得られた。小分類で多いのは〈こそ

⁶⁷ 「～月」の見出し語は「月(がつ)」。

⁶⁸ 見出し語は「アニメーション」。

あど)の「どの・ほか・側」等7語と〈多少〉の「大きい・大勢・多く」等6語、〈先後〉の「いちばん・番・早い」等5語である。

[性状]の中分類について、{位置}{数量}{時間}{程度}の語彙が多いのは上位100語と同様だが、{数量}が{位置}と並んで最も数が多い分類となった点に違いがみられる。以下、{位置}から順に4種類の中分類について述べる。

{位置}に属す18語のうち、101-300語に位置する語は10語あり、小分類〈こそあど〉〈上下〉〈周辺〉等は上位100語にもあった分類だが、〈内外〉は上位101語以降で初めて出てきた分類にもかかわらず3語の語がある点で特徴がある。(259)(260)に〈内外〉に属す語の使用例を示す。

(259) a. 高濃度の汚染水が地中に漏れ出し、これに汚染された地下水⁶⁹およそ200トンが毎日、海に流れ出しているといわれています。(般:133)

b. 高い濃度の汚染水(=放射線を出す物質で汚れた水)が建物の外の土の中に出ています。(や:133)

(260) a. 調査団は(中略)一帯の気温が上昇したことで地下の氷がとけ、氷の中に閉じ込められていたガスが何らかの理由で爆発したことが原因ではないかとの説を示しています。(般:99)

b. 周りの気温が上がって地下の氷がとけたため、氷の中に入っていたガスが爆発したことがたぶん原因だろうと言っています。(や:99)

(下線部:上位300語の〈内外〉の語、点線部:その他の〈内外〉の語)

(259)(260)に示した例の中に〈内外〉の語は「地中・外・中・地下」の4語ある。対象とした調査では「地下」の語は(259)に示すような原子力発電所事故に関わるニュースで使用されていた例が多かったが、そのほかにも大雨等の災害や鍾乳洞等観光をテーマにしたニュースでも使用されていた。なお、(259)(260)に含まれる〈内外〉を除く{位置}の語は(260)aで使用された「一帯」のみである。

次に、{数量}の語の具体例をみる。上位300語では上位100語で挙げた「万」と同分類の「億」や「1つ」、「たくさん」「多い」等と同分類の「大勢」「多く」等、{数量}の上位101-300語の語彙には上位100語の類義語が多かった。なお、{数量}の〈数〉の、ものを数えるときに使う「1つ、2つ」といった語のうち、「1つ」や「2つ」ではなく「3つ」が最も使用頻度が高かったことに特別な意味はなく、(261)(262)に示す使用例のように偶然の結果である。

⁶⁹ 「地下」は〈内外〉の語だが、「地下水」は〈内外〉の語ではなく[自然]{物質}{水}に属す語である。

- (261) a. 町では10日、土砂災害の専門家が土石流が起きた梨子沢を中心に上流部の状況を確認したところ、設置された3つの砂防施設に大量の土砂がたまっていて、(後略)。(般: 41)
- b. 10日、専門家が土石流があった山の上を調査しました。その結果、土や石を止める3つの場所にたくさんの土や石がたまっているのが見つかりました。(や: 41)
- (262) a. 東京貨物ターミナルから先は現在は使われていない貨物線を活用するなどして、東京、新宿、新木場とを結ぶ3路線で開業を目指すということです。(般: 176)
- b. 東京貨物ターミナルから、東京駅、新宿駅、新木場駅まで3つの電車の線をつくります。(や: 176)

また、上位100語にはなかった小分類として〈数量〉〈全部〉があり、〈数量〉には「割合・数・回」3語、〈全部〉には「全部・みんな」2語が該当する。(263)に示すのは〈数量〉の語が使用された文脈で、「総数・度・割合・数」の4語が使用されていた。(263)のように調査結果を述べるときなどに〈数量〉の語が用いられる傾向にあった。

- (263) a. 総務省の「住宅・土地統計調査」は、住宅の総数や居住の状況などを調べるため、5年に1度行われていて、29日、去年10月1日現在の調査の結果を公表しました。(中略)住宅全体に占める空き家の割合は、(後略)。(般: 101)
- b. 総務省は、家などの数や人が住んでいるかなどを5年に1度調べています。(中略) 割合が高い都道府県は、(後略)。(や: 101)

(下線部: 上位300語の〈数量〉の語、点線部: その他の〈数量〉の語)

続いて〈全部〉の使用例を(264)(265)に挙げる。(264)(265)に示すように〈全部〉の語が一つの文脈で複数語用いられることはほとんどなかった。また、(265) bには「みんな」の使用例を示したが、ニュースで使用された「みんな」は[人物]{人称}〈人〉に属す語が大半で、人以外の〈全部〉の意味で使用されたのは(265) bに示した1例のみである。

- (264) a. ことしのチケットは祭りの数週間前にすべて売り切れたということです。(般: 207)
- b. ことしのチケットはお祭りのだいぶ前に全部売れたそうです。(や: 207)
- (265) a. 中国の動物園で先月、パンダの3つ子の赤ちゃんが生まれ話題を呼んでいます。(中略)3つ子の赤ちゃんは(中略)健康状態に問題はないということです。(般: 151)
- b. 先月29日、パンダの3つ子(=同じ母親から一度に生まれた3匹)の赤ちゃんが生まれました。(中略) みんな元気です。(や: 151)

(下線部: 上位300語の〈全部〉の語、点線部: その他の〈全部〉の語)

{時間}について、上位100語では[性状]の中で{位置}と並んで最も語数が多い分類

だったが、上位 300 語では {数量} の語が多いことから 3 番目に多い分類となった。{時間} の特徴ある小分類としては〈先後〉が挙げられる。〈先後〉は上位 300 語中 {時間} で最も多くの語を含む小分類であり、上位 100 語の語が 2 語、上位 101-300 語に 3 語の語がある。

〈先後〉の語の使用例を (266) に示す。

(266) a. 最終段階の飛行試験で問題がなければ現在の予定どおり、早ければ 3 年後の平成 29 年 4 月に第 1 号機が航空会社に導入される見通しです。(般: 53)

b. 最後の飛行試験で問題がなかったら、最初の MR J はいちばん早い場合、2017 年 4 月に航空会社に渡す予定です。(や: 53)

(下線部: 上位 300 語の〈先後〉の語、点線部: その他の〈先後〉の語)

(266) で使用された〈先後〉の語は「早い・最後・いちばん」で、こうした語は計画などを述べる文で多用されていた。なお、(266) に使用されている「最終・最初」は〈終始〉に属す語であり、これらの語も計画などを述べる文で〈先後〉に属す語とともに用いられていた。

最後に {程度} について述べる。{程度} の小分類をみると、上位 100 語では 1 語も該当する語がなかった小分類〈限度〉の語が 3 語含まれるなど、上位 100 語にはない意味分野で比較的多くの語を含む小分類があった。(267) に〈限度〉の使用例を示す。〈限度〉の「いちばん・割合・最も」などの語は (267) に示すような調査結果など統計を述べるのに用いられる場合が多かった。

(267) a. 17 歳以下の子どものうち、貧困の状態にある子どもの割合は推計で 16.3% で、3 年前の調査より 0.6 ポイント増え、調査を始めた昭和 60 年以降最も高くなりました。

(般: 57)

b. 発表によると、17 歳以下の子どものうち、貧しい生活をしている子どもの割合は 16.3% でした。1985 年に調べ始めてから最も高くなりました。(や: 57)

(下線部: 上位 300 語の〈限度〉の語)

大分類 [性状] の個々の語を中分類・小分類の区分を越えてみると、「上」「外」はあっても「下」「内」がなく、「午前」「必要」はあっても「午後」「不要」がないというように、対義語や類義語が存在する語でありながらその一方だけが上位 300 語に含まれている語も少なくなかった。午前・午後を例にとれば、どちらも時間の長さは同じで、(268) に示すような飛行機の発着や事件・事故の発生は午前・午後も同程度に起こりうるが、「午前」のほうが使用回数が多かったのは (269) に示す例のように「日の出」など午前しか対象とならない内容がニュースになっていたこと、方策の開始が (270) に示す例のように 1 日の始まりである午前 0 時に設定されていることなどが理由として挙げられる。

- (268) a. 1日午前7時ごろ、最初の便が成田から広島に向けて出発しました。(般: 110)
- b. 1日の午前7時、春秋航空日本の最初の飛行機が成田空港から広島空港に向かって出発しました。(や: 110)
- (269) a. 日の出の時間から20分ほどたった1日午前4時40分すぎに、厚い雲の上から御来光が見られました。(般: 2)
- b. 午前4時40分ごろ、雲の上に太陽が出てくると、(後略)。(や: 2)
- (270) a. 山梨、静岡両県ではことしの夏山シーズンから、富士山の登山者を対象に任意で1000円の協力金を集め、これまで以上に環境保全や安全対策に力を入れていくことにしています。(中略)山開きの1日午前0時から現地での徴収を富士山の5合目の2か所で始めました。(般: 12)
- b. 山梨県と静岡県はことしの7月から、富士山に登る人の中で協力してくれる人から1000円の「富士山保全協力金」を集めることになりました。(中略)山梨県では1日午前0時から富士山の5合目で集め始めました。(や: 12)

また、「必要」は先に示した(57)(58)(250)のように、政策や社会保障、調査等いろいろなニュース文の中で用いられていたが、「不要」はやさしい日本語ニュースでは1回も用いられていなかった。ただし、一般ニュースにおいては「予約は不要で」(般: 52)という「不要」の使用例が1例あった。

- (57) a. 必要であれば今後も空爆を続ける意向を示しており、(後略)。(般: 140)
- b. 必要な場合はこれからもイスラム過激派組織に空爆を続けるつもりです。(や: 140)
- (58) a. インフラの整備が欠かせないことから、(後略)。(般: 166)
- b. 交差点などに機械をつける工事が必要なので、(後略)。(や: 166)
- (250) a. 政府は、ことし夏の全国の電力需給について、安定供給に最低限必要とされる電力は確保できる見通しを示しているものの、(後略)。(般: 6)
- b. 政府は、ことしの夏、必要な電気は何とか足りると考えています。(や: 6)

2番目に多い大分類[社会]に属す49語の語は、中分類では{集団}の「集める・会・チーム」等14語を除いては特に多い分類はないものの、{地域}{取引}がそれぞれ9語で比較的多く、{地域}は「会場・区・町」等、{取引}は「輸出する・売る・上げる」等が該当した。それ以外には、{施設}に「置く・病院・店」等の7語、{報道}に「伝える・流す・情報」等、{統治}に「政府・厚生労働省・調べる」等のそれぞれ4語、{習俗}に「伝える・文化」、{処世}に「やめる・送る」、{社交}に「国際・出る」のそれぞれ2語、{人倫}に「関係」の1語が該当し、10の中分類すべてに1語以上の語が分類された。

こうした結果から、中分類は{集団}に属す語が一番多いとはいえ、{集団}に属す語は大分類[社会]の3分の1以下であり、[社会]の語彙は特定の中分類や小分類に限られてい

るのではなく、大分類 [社会] 全体に広くに分布していると言える。ここでは [社会] の語について相対的に語数の多い中分類 {集団} {地域} {取引} に属す語について順に述べる。

上位 100 語において、{集団} に属す語は {地域} に属す語と同じく 6 語あったが、上位 300 語では {集団} は {地域} よりも 5 語多い 14 語あった。そしてその 14 語は〈界〉を除く 9 の小分類に 1-3 語ずつ分布していた。なお、上位 100 語にはなかった小分類に〈集会〉〈軍隊〉〈党派〉〈家庭〉があり、それぞれ「会・大会」「軍」「チーム」「家庭」の語が含まれていた。そのほかに上位 101-300 語で得られた語としては〈群集〉の「集める・集まる」、〈加入〉の「参加する」、〈団体〉の「会」がある。

ここでは、自動詞・他動詞の組み合わせが得られた「集める・集まる」について例示する。まず使用数 16 回の他動詞「集める」の例を (271)-(273) に示す。

- (271) a. 選挙の投票が 10 日、行われ、選挙管理委員会はエルドアン首相が過半数の得票を獲得して当選を決めたと発表しました。(般: 142)
- b. 投票の結果、エルドアン首相が 50% 以上の票を集めて、新しい大統領になることが決まりました。(や: 142)
- (272) a. 国内外の資料を集めたりシベリアの墓地を訪ねたりして、およそ 4 万 6 3 0 0 人の名簿を作りました。(般: 152)
- b. 日本やロシアなどの資料を集めたりシベリアの墓へ行ったりして、約 4 万 6 3 0 0 人の名簿を作りました。(や: 152)
- (273) a. 厚生労働省は、来週にも労働者側と経営者側が参加する審議会を開いて、法案の具体的な中身について議論を始める方針を固めました。(般: 108)
- b. 厚生労働省は会社を経営している人と働いている人を集めて、来週から話し合いを始めることにしました。(や: 108)

「集める」は (271) に示した選挙に関連した「票を集める」という使用例が最も多かった。そのほかにも、「案を集める」(や: 73)、「呼び方を集める」(や: 76)、「情報を集める」(や: 86) のように実際に集めたものを目で確認することが困難なものも多く、(272) (273) に示したような人や物などを「集める」ことのほうが例外的であった。なお、一般ニュースにおける「集める」の使用数は 13 回で、やさしい日本語ニュースと大差はない。

次に、自動詞「集まる」の使用例を (274) (275) に示す。「集まる」は上述の「集める」とは異なり、(274) に示すような人が集まることを示す例が最も多かったが、(275) に示す「注目が集まる」という目では集まったものが確認できない表現も 2 か所で使用されていた。なお、「集まる」のやさしい日本語ニュースでの使用回数は 12 回、一般ニュースでは 17 回だが、一般ニュースで使用された語彙はやさしい日本語ニュースの 2 倍以上あり、書き換えによる省略箇所を除けばやさしい日本語ニュースでの使用数のほうが多い。

- (274) a. 祭りのスタッフがトラックの荷台から120トンを超えるトマトを配ると、参加者たちは先を争うようにつかみ取り、1時間にわたって投げ合っていました。(般: 207)
- b. お祭りのスタッフが大きな車で運んできた120t以上のトマトを渡すと、集まった人たちは大きな声を出しながらトマトを投げ始めました。(や: 207)
- (275) a. 大手電機メーカーのソニーがドローンの実用化に向けた開発に乗り出したことが明らかになりました。(中略) 本業の立て直しが課題となっているソニーにとって、新たな事業を収益の柱に育てられるのか注目されそうです。(般: 205)
- b. 無人飛行機を開発して、会社の利益を増やすことができるかどうか注目が集まっています。(や: 205)

続いて、中分類 {地域} の語について述べる。{地域} は上位 100 語では〈都道府県〉の「県・都・市」のほか「場所・国・世界」の計 6 語があり語数の多い分類だったが、上位 101-300 語ではそれに〈場所〉の「会場」、〈都道府県〉の「区」、〈都会〉の「町」の 3 語が加わっただけで、取り立てて語数の多い分類ではない。なお、「区」については一部「新疆ウイグル自治区」のように使用される例もあったが、大半は国内大都市の「東京都中央区」「横浜市西区」といった行政区画としての使用されていた。

中分類 {取引} では上位 100 語に該当する語は「ため・お金・入る」の 3 語で語数の多い分類ではないが、上位 300 語では {地域} と同様に 9 語の語が該当し、比較的多い分類となった。

(276) (277) に {取引} に属す語の使用例を示す。

- (276) a. (前略) 各社は店頭とネットの両面で販売に力を入れることで、消費増税⁷⁰の影響が残る消費の本格的な回復につなげたい考えです。(般: 26)
- b. ことし4月に消費税が上がりましたが、デパートは店とインターネットの両方でお中元の品物をたくさん売りたいと考えています。(や: 26)
- (277) a. 「低所得の家庭は生活に余裕がないため、買い置いて子どもだけでも食べられる食品を多く利用しているのではないか。(後略)」(般: 187)
- b. 「収入が少ない家庭では、子どもだけでも簡単に食べることができる物を買って、家に置いておくことが多いのかもしれない。(後略)」(や: 187)

(下線部: 上位 300 語の {取引} の語、点線部: その他の {取引} の語)

やさしい日本語ニュースでは「消費・税・売る・収入・買う」が使用され、一般ニュースでは「消費・所得・生活」といった語が使用されていた。こうした {取引} の語は (276) のような物の売買に関連した話題のほか、(277) のような生活環境などの話題でも用いられていた。

[社会] に属す語について中分類・小分類の枠を越えて具体的な語例をみると、「家庭」

⁷⁰ 「税」は [社会] {取引} (税) の語だが、「増税」は [変動] {増減} (増減) に属す語である。

「病院」「店」等の場所に関する語や、「売る」「買う」等、社会生活に関連の深い語が多く含まれていた。対義語・類義語がある語としては、「上げる」「上がる」「輸出する」は上位 300 語に入ったが、「下げる」「下がる」「輸入する」は入っていなかった。「上げる」「上がる」についてはその大半が(278)(279)の例のように商品の値上げや賃金の改善等に関するもので、上がることはあっても下がることは滅多にないことから、対義語の一方だけがよく使われる結果となったと考えられる。

- (278) a. こうした原材料費の上昇による相次ぐ値上げが、今後、消費にどの程度影響するか注目されます。(般: 3)
- b. 7月からいろいろな食べ物の値段が上がって、影響が出るかもしれません。(や: 3)
- (279) a. 審議会では(中略)全国平均の時給で16円引き上げ、780円とする目安を示し、厚生労働省に答申しました。(般: 102)
- b. 厚生労働省の審議会は、2014年度の最低賃金について話し合いました。そして、今の平均より16円上げて780円にするという基準をつくりました。(や: 102)

また、「輸入・輸入する」の使用回数はやさしい日本語ニュース・一般ニュースでそれぞれ6回・9回で、「輸出・輸出する」はそれぞれ19回・50回である。対象としたニュースで輸入に関わるニュースは非常に少なく、貿易収支の語の説明を除けば(280)に示すニュースや石油価格の変動、経済制裁に関わるものなどごく限られたものしかなかった。

- (280) a. 中国・上海の食品加工会社が使用期限を超えた鶏肉を加工していたことなどが指摘されている問題で、(中略)この問題では、「日本マクドナルド」と「ファミリーマート」がこの会社から材料を仕入れていたことを明らかにして、(後略)。(般: 75)
- b. 中国の上海市にある上海福喜食品という会社では、使用期限(=この日までだったら使ってもいいと決めた日)を過ぎた鶏肉で食べ物の材料を作っていました。(中略)日本では「日本マクドナルド」と「ファミリーマート」が、この会社から食べ物の材料を輸入していたと発表しました。(や: 75)

3番目に多い大分類[変動]に分類した41語は、中分類では語数が6-8語の分類が6分類で、取り立てて多くの語彙が含まれる分類はないが10分類すべてに該当する語があった。{移動}と{経過}が8語ずつで最も多く、{移動}には「走る・落とす・飛ぶ」等、{経過}には「終わる・やめる・まま」等の語が該当した。{出沒}{増減}{情勢}は6語ずつあり、{出沒}は「入れる・開く・吸う」等、{増減}は「増やす・つける・入れる」等、{情勢}は「場合・出る・起きる」等の語が該当した。{関連}と{離合}は5語ずつあり、{関連}は「関係・原因・結果」等、{離合}は「つける・集まる・取る」等が該当した。{変質}

には「する・なる・壊れる」の3語、{動揺}と{変形}は1語ずつ、それぞれ「踊る」「壊れる」の語が該当した。

小分類では最も多くの語が含まれる分類でも4語であり、特別多くの語が含まれる分類があるとは言えない。そのため[変動]の分類についても[社会]の語彙と同じく、それぞれの中分類・小分類で高頻度300語程度で使用される語彙は数語ずつ広く分布していると言える。こうした結果は[変動]に属す上位101-300語の語が上位100語の語が多く含まれた小分類とは別の小分類に属す語が多いことから生じたものである。また、上位100語で使用数ゼロだった中分類の{動揺}{変形}はどちらも上位101-300語では1語あったが、いずれにしても数は非常に少ない。なお、上位100語では[変動]では動詞しか含まれていなかったが、上位300語では動詞に加え「関係・結果・原因」といった名詞も含まれていた。

4番目に多い[行動]に分類した40語は、中分類は{表情}のみ含まれなかった。最も語数が多い分類は順に{往来}と{操作}の7語で、{往来}は「行く・登る・逃げる」等、{操作}は「送る・置く・撃つ」等が該当した。次に多いのは{見聞}「見える・聞く・書く」等、{陳述}「相談・会議・聞く」等、{労役}「する・行う・仕事」等、{授受}「もらう・集める・持つ」等がそれぞれ5語である。{寝食}は「生活・食べる・着る」等4語、{動作}「持つ・踊る・走る」と{生産}「できる・作る・工事」がそれぞれ3語である。小分類は最多で4語で[変動]と同様に広く分布していた。また、上位300語では[行動]も[変動]と同じく、動詞語彙に加え「相談・仕事・工事」などの名詞語彙も含まれていた。なお、上位100語で動詞の大半が[行動][変動]に分類されると既述のように、上位300語でも[行動][変動]に分類される動詞はほかの分類と比べて多かったが、上位300語では「心情」の分類にも比較的多くの動詞語彙が含まれていた。

大分類で5番目に多い[自然]33語の中分類には{暦日}の「来年・今月・日」等8語、{地勢}の「川・山・島」等5語、{気象}「雨・降る・地震」、{生理}「生まれる・けが・吸う」等、{物象}「放射性・電気・発電」等それぞれ4語、{物質}の「物質・水・土」3語、{天文}「朝・夜」、{景観}「線・道」、{動物}「魚・ウナギ」それぞれ2語があり{植物}に該当する語はなかった。また、小分類で比較的多くの語を含む分類に〈年〉がある。〈年〉は「ことし・去年」などの語で構成されていることから、ニュースでは2014年や「昭和」などの年号に加え、年については現在を基軸とした時間表現が多用されているとわかる。実際、年・月・日をみた場合、上位300語では〈年〉は「ことし・去年・来年・毎年」と複数の語が含まれたが、〈月〉は「今月」1語で、〈日〉については現在を基準とした時間的前後関係を表す「明日」などの語は含まれていなかった。

6番目に多い大分類[心情]29語の中分類は{学習}の「訓練・研究・見つかる」等9語、{思考}の「考える・決める・知る」等8語、{意向}「思う・心配・元気」等、{誘導}「教える・逃げる・守る」等、{闘争}「戦争・試合・守る」等それぞれ4語、{要求}の「協力する・決める・持つ」3語、{感覚}の「思う・気」2語、{悲喜}の「心配」1語で、

{栄辱} と {愛憎} の2分類の語はなかった。上位 100 語では [心情] の中分類では {思考} が多かったが、上位 300 語では {学習} の語が {思考} を上回った。(281)(282) に {学習} の使用例を挙げる。例示した箇所のやさしい日本語ニュースで使用された {学習} の語は「調査・測量・調べる・勉強する・訓練」で、一般ニュースでは「分析する」といった語も使用されていた。こうした {学習} に属す語は(281)のような調査や、研究成果やその過程を伝えるニュース(282)のような学業に関連したニュースで多用されていた。

- (281) a. 大規模な土砂災害が起きた広島市の現場上空に小型ヘリコプターを飛ばして、撮影した画像から現場の状況を立体的に再現しようという調査が始まり、今後、流出した土砂の範囲などが詳しく分析されることになっています。この調査は、広島市安佐南区にある測量会社が国や県の依頼を受けて今月 21 日から始めました。(般: 193)
- b. 国と広島県は、災害があった場所の調査を広島市にある測量の会社に頼みました。21日、この会社が小さいヘリコプターを使って調べ始めました。(や: 193)
- (282) a. 北京ではこの夏、民間の団体が主催して、日本語を専攻する 270 人の大学生が、1 か月近い合宿生活をしながら日本語を特訓していて、(後略)。(般: 153)
- b. 中国の北京で、日本語を専門に勉強している大学生 270 人が、1 か月ぐらい合宿をして日本語の訓練をしています。(や: 153)

(下線部: 上位 300 語の {学習} の語、点線部: その他の {学習} の語)

7 番目に多い [学芸] 27 語の中分類は多い順に {記号} の「名前・7月・km」等 17 語、{娯楽} の「旅行・試合・オリンピック」3 語、{学術} 「書く・作る」、{論理} 「ため・原因」、{美術} 「絵・写真」がそれぞれ 2 語、{芸能} の「アニメ」1 語で {記号} の語が際立って多い。また、{言語} {文書} {文学} {音楽} の 4 分類の語は得られなかった。上位 300 語の語が属す {記号} の小分類は 3 種類あり、〈名称〉は「言う・名前」の 2 語、〈番号〉は「いちばん」の 1 語で、その他の 14 語は〈単位〉に属す「7月・km・分」等である。〈単位〉が多かったのは上位 100 語と同様だが、上位 300 語に高頻度語の範囲を広げたことで具体的な「7月」などの月の名前が該当するようになった。また、単位の中には記号やアルファベット表記の語が 4 語含まれていた。

(283) に示す例では、やさしい日本語ニュースでは「m・km・年・日」一般ニュースでは「メートル・キロ・年・か月・日」の〈単位〉の語が使用されている。既述のように、やさしい日本語ではアルファベットや記号で単位が記されていた例が多いが、一般ニュースではカタカナで記される例も多かった。いずれにしても、こうした〈単位〉の語はニュースの内容を問わず非常に多く用いられていた。また、「3年・5か月・18日」の中で使用される「年・か月・日」については『明鏡国語辞典 第二版』では造語成分とされているため、自立語としての集計はしておらずやさしい日本語ニュースの高頻度語彙には入っていない。

- (283) a. 長瀬小学校は震災のとき、押し寄せた高さ1.8メートルの津波で1階が浸水して使えなくなり、児童たちはおよそ1キロ離れた中学校の仮設校舎で授業を受けていました。そして震災から3年5か月たって元の小学校の敷地内に新しい校舎が完成したことから、18日、夏休み中の児童も集まって完成を祝う落成式が行われました。(般:169)
- b. 長瀬小学校は、3年前の東日本大震災のとき、高さ1.8mの津波がきて、校舎の1階を使うことができなくなりました。このため、子どもたちは、約1km離れた別の場所で授業を受けていました。18日、新しい校舎ができて、お祝いする式がありました。(や:169)
- (下線部：上位300語の〈単位〉の語、点線部：その他の〈単位〉の語)

8番目に多い[人物]15語は最多の中分類が{仲間}の「グループ・客・外国人」等4語で数は少ない。そのほかの中分類としては{老若}「女性・男性・子ども」、{地位}「大統領・首相・先生」がそれぞれ3語、{人称}「人・みんな」、{親族}「家族・子ども」、{役割}「監督・選手」、{人物}「人・専門家」がそれぞれ2語、{サービスの職業}「先生」が1語で、{生産的職業}と{神仏}の2分類に該当する語はなかった。

9番目に多い大分類は[性向]である。[性向]は上位100語では[物品]よりも数が少なく中分類は{境遇}のみだったが、上位300語では7種類の中分類があった。多い分類から順に{体格}の「体・元気・病気」等5語、{境遇}の「有名・安全・事故」等4語、{態度}「まま」、{対人態度}「一緒」、{性格}「強い」、{才能}「強い」、{心境}「心配」が1語ずつで、{容貌}{姿態}{身振り}の3分類の語はなかった。

また、最も語数が少ない大分類は[物品]の7語であり、{機械}の「バス・列車・飛行機」等5語、{建物}「建物」、{標識}「お金」、{工具}「車」がそれぞれ1語で、{物資}{薬品}{食品}{衣類}{家具}{文具}の6分類に該当する語はなかった。また、『角川類語新辞典』(2012)では意味分野の特定ができないものの、上位300語には地名が比較的多い12語含まれていた。

最後に、上位300語で多くの語が属す分類について、上位100語の結果と比べる。上位100語では中分類で5語(5%)以上の語を含む分類は表50「5語(5%)以上の高頻度語を含む中分類(上位100語)」に示したように9分類あった。一方、上位300語の中分類で15語(5%)以上の語を含む分類をみると、表55に示すように3分類しかない。9語(3%)の語を含む分類では表56に示すように9分類である。こうした結果から、高頻度語彙300語は高頻度語彙100語と比較した場合、さまざまな意味分野に語彙が広く分布していると言える。また、表55の中分類と表50の上位100語で5語以上の

表55 15語(5%)以上の高頻度語を含む中分類(上位300語)

大分類	中分類
性状	位置、数量
学芸	記号

表56 9語(3%)以上の高頻度語を含む中分類(上位300語)

大分類	中分類
性状	位置、数量、時間、程度
心情	学習
社会	地域、集団、取引
学芸	記号

語彙を含む9分類を比べると上位100語と上位300語は7分類で共通しているが、残る2分類は上位100語では[変動]の{経過}と[心情]の{思考}であり、上位300語では[心情]の{学習}と[社会]の{取引}であるという違いがあった。なお、上位100語では{取引}は3語(約3%)、{学習}は1語(約1%)、上位300語では{思考}と{経過}はそれぞれ8語(約2.7%)である。

そして、上位300語において中分類に該当する語が1語もない分類は表57に示すように19分類(19%)ある。中分類で最も多くの語を含む分類には18語の高頻度語がある一方、高頻度語がゼロの分類が19分類あることから、上位300語では上位100語よりもさまざまな意味分野に高頻度語彙が属しているとはいえ、分布の偏りも大きいことがわかる。また、[物品]では中分類の語で上位300語に該当する語が1語もない中分類が半分以上あるという結果から、物の名称などは安定して高頻度で使用される語はほかの意味分野と比較し少ないと言える。

表57 高頻度語を含まない中分類
(上位300語)

大分類	中分類
自然	植物
行動	表情
心情	栄辱、愛憎
人物	生産的職業、神仏
性向	容貌、姿態、身振り
学芸	言語、文書、文学、音楽
物品	物資、薬品、食品、衣服 家具、文具

1.3. 上位600語(カバー率79%)

ここまで、上位100(102)語、上位300(310)語の語彙について述べたが、ここではさらに語彙を増やし、上位600(675)語、延べ語数14,295語、カバー率約79%の語彙について述べる。上位100語、上位300語の語彙の構成と比較するため、まず600語がどのような語彙で構成されているのか、品詞・語種・難易度(出題基準)により語彙を分類し、図45に示す。

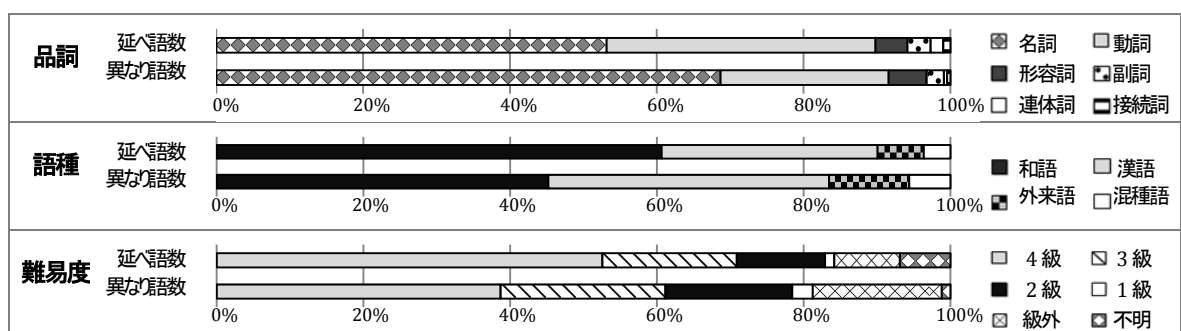


図45 やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位600語の構成

図45に示したように、やさしい日本語ニュースで使用された上位600(675)語の構成を品詞でみると、名詞の比率は延べ語数・異なり語数ともに上位100語・上位300語の構成よりも高く、延べ語数で50%以上、異なり語数では約70%あり、やさしい日本語ニュースで使われたすべての語彙に占める名詞の比率、延べ語数60%弱、異なり語数約75%という数値にかなり近い。また、動詞は名詞とは反対に上位100語・上位300語よりも比率が低いものの、延べ語

数は異なり語数の約2倍の使用率であり、動詞の使用頻度はほかの品詞の語彙と比べ高い。形容詞・副詞・連体詞・接続詞の比率は上位100語・300語と比べて大きな違いはなかった。

前項「1.2. 上位300語（カバー率63%）」のやさしい日本語ニュースと一般ニュースの品詞の構成と比較すると、上位600語の構成は上述のとおりやさしい日本語ニュース全体の語彙構成（第二章1節図10「語彙の構成（品詞）」）に近いが、加えて、延べ語数では3級語彙の構成（第二章3.1. 図31「3,4級語彙の構成（品詞、延べ語数）」）に、異なり語数では2級語彙の異なり語数の構成（第二章3.2. 図36「2級語彙の構成（品詞）」）にも近い。

本節1-2項で分析した上位100語・300語の品詞の構成は延べ語数ではそれぞれ4級語彙・3級語彙、異なり語数ではそれぞれ3級語彙・4級語彙のものに近かった。上位600語ではそれに対し、異なり語数では2級語彙の構成に近いことから、高頻度語彙の範囲を広げると品詞の構成の上では次第に難易度の低い語彙の構成ではなくなっていくとわかった。しかし延べ語数では依然として難易度の低い3級語彙の構成に近いことから、難易度の低い高頻度語のほうが難易度の高い高頻度語よりも高い頻度で用いられる語が多いことがわかる。

語種では、和語の異なり語数が50%程度で、上位100語・上位300語よりも割合が低いことから、上位100語・300語・600語と高頻度語彙を取り出した場合、上位600語の中でも高い頻度で使われる上位100語や上位300語などの語彙群の中に和語が多く含まれていることがわかる。ただし、和語は上位600語でも延べ語数で見れば半数以上あり、和語の使用率は全語種の約60%にあたる。また、漢語と混種語の比率は上位300語と比べて大きな違いはみられなかったが、外来語は上位100語・上位300語と比べ、異なり語数・延べ語数ともに1.5倍程度使用率が高かった。こうしたことから、外来語は和語とは反対に上位600語の高頻度語彙の中では比較的頻度が低い上位300語以降の語彙が多いと言える。

第二章の語彙特徴でみたやさしい日本語ニュースと一般ニュースの語種の構成と比較すると、延べ語数では「2. 語種別の特徴」冒頭の図17「語彙の構成（語種）」に示したやさしい日本語ニュースのすべての語彙の語種の構成とほぼ同じであり、異なり語数も難易度別の語種構成よりもやさしい日本語ニュースのすべての語種の構成に近い。こうした語種の構成について、本節1-2項で述べた上位100語・300語の延べ語数はそれぞれ4級の語種構成・3-4級の語種構成に、異なり語数はそれぞれ4級の語種構成・3級の語種構成に近かった。そのため、語種の構成においても品詞の構成と同様に対象とする高頻度語彙の語数を増やすことで、難易度の低い語彙の構成から難易度の高い語種の構成、あるいはやさしい日本語ニュース全体の語彙の構成に近づくとと言える。

難易度に関して3級語彙と2級語彙の割合は上位100語・300語・600語でほとんど違いがない（図42、図43、図45）。4級語彙は上位100語・300語・600語と大きな語彙の括りで見ると割合が低く、延べ語数が異なり語数を大きな差で上回ることから、4級の語彙は極めて高い頻度で使用される上位100語内の語彙が多いということがわかった。反対に、1級と級外の語彙は上位100語・300語・600語と語の数を増やすほど特に異なり語数で全体に占める割

合が高くなる。そのため、1級と級外で高い頻度で用いられている語彙は上位600語の中でも頻度の高い上位100語の語彙よりはそれほど頻度が高くない語彙に含まれるものが多いことがわかった。また、上位600語の難易度の構成を図29「語彙の構成（難易度）」と比較すると依然として高頻度語彙では難易度の低い語彙が高い割合を示していた。次に、上位600(675)語の品詞と語種別の内訳を表58に示す。

表58 やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位600語の品詞・語種の分類

種類	語彙	語数	
名詞	和語	118	
	漢語	244	
	外来語	74	
	混種語	26	
動詞	和語	139	154

種類		語彙	語数	
動詞	和語	集まる、生まれる、着る、落とす、逃げる、送る、もらう、帰る、働く、売れる、変える、楽しむ、かかる、つく、◆なる、選ぶ、払う、歩く、崩れる、減る、祈る、建てる、見せる、広がる、助ける、進む、足りる、動く、変わる、離れる、過ぎる、うつる、呼ぶ、残る、通る、遊ぶ、捕まえる、戻る、育てる、会う、回る、確かめる、喜ぶ、向かう、手伝える、かける(掛)、たまる、片付ける、話し合う、◆しまう、◆おく、泳ぐ、休む、急ぐ、止める(と)、似る、勝つ、待つ、直す、読む、比べる、止まる、乗せる、なくす(無)	15	36
	混種語	発表する、利用する、参加する、輸出する、協力する、紹介する、運転する、出席する、研究する、相談する、招待する、避難する、出発する、連絡する、説明する		
形容詞	和語	高い、新しい、多い、少ない、大きい、同じ、いろいろ、よい、ない、早い、長い、低い、強い、悪い、暑い、安い、近い、若い、短い、小さい、詳しい、涼しい、いい、ひどい、速い、貧しい、怖い	27	36
	漢語	必要、元気、有名、大切、安全、危険、急、きれい	8	
	混種語	すばらしい	1	
副詞	和語	初めて、これから、とても、どう、もっと、最も、いつも、すぐ、まだ、また、しっかり、少し	12	16
	漢語	約、たくさん、いちばん	3	
	混種語	特に	1	
連体詞	和語	この、大きな、その、どの	4	4
接続詞	和語	そして、しかし、また	3	3

(枠内左上から頻度順、グレーは上位 300 語。◇:固有名詞、◆:補助動詞)

表 58 に示したとおり、上位 600 語の語彙で特に多い分類は 4 種類あり、多い順に、名詞の漢語の 244 語、動詞の和語の 139 語、名詞の和語の 118 語、名詞の外来語の 74 語である。比較的数が少ない 50 語以下の分類には、形容詞の和語の 27 語、名詞の混種語の 26 語、動詞の混種語の 15 語、副詞の和語の 12 語、形容詞の漢語の 8 語、連体詞の和語の 4 語、副詞の漢語と接続詞の和語の 3 語、形容詞と副詞の混種語の 1 語がある。なお、連体詞と接続詞については高頻度上位 600 語のうち、上位 100 語以降の語はなく、感動詞は上位 600 語に含まれる語はなかった。以下、品詞・語種による分類で多くの語を含むものから順に該当する語彙について述べる。

最も多いのは名詞の漢語であり、上位 301-600 語では 143 語、上位 600 語全体では 244 語が該当する。なお、上位 100 語で最も多かった分類は動詞の和語だが、上位 600 語では名詞の漢語より 100 語以上少なく、名詞の漢語は動詞の和語の約 1.8 倍の語が上位 600 語に含まれていた。また、この分類で特に目を引くのは二字漢語の多さである。「3 月」「けが」など漢字 2 字での表記が可能でありながら別の表記であるものを除外しても、244 語中 167 語、70% 弱の語が二字漢語である。こうした漢字 2 字で表記される語の中には漢字 1 字の意味を知っていれば「羽毛」「列車」のように、何を意味する語であるのか類推できる語もある。しかし、「細胞」「事故」のように二つの漢字に分解しても意味の解釈が困難な語も少なくない。なお、この分類には 19 語の固有名詞があり、上位 300 語以降の語には「環境省」「警視庁」「総務省」といった役所名を含む組織の名称も含まれていた。

上位 301-600 語に位置した名詞の漢語について、上位 100 語・300 語の語と同様に 1 語からのニュース内容の類推のしやすさについて考えれば、「爆弾」「宇宙」「台風」「制裁」「温泉」「消費税」「麻薬」「虐待」など、使用されるニュースの範囲がある程度限られると思

われる語が多い。例えば「麻薬」については対象としたニュースでは(284)に示すような「脱法ドラッグ」あるいは「危険ドラッグ」に関連したニュースでしか使用されていなかった。

- (284) a. 脱法ドラッグが入った袋が複数見つかり、鑑定した結果、指定薬物の成分が検出されたということです。(般: 60)
- b. 「脱法ドラッグ」には、麻薬と同じように人の体に入ると悪い影響が出るため法律で禁止されている物質が入っていました。(や: 60)

反対に、1語からニュース内容を類推することが難しいと思われる語も少なからずあり、そうした語としては「一部」「将来」「最初」「経験」「発表」「活動」「対策」などが挙げられる。そのうち「活動」については(285)に示す「宗教活動」や検索活動、学生の部活動など人が行う活動を指す例が多かったが、中には(286)の「火山活動」のように人以外の動きについて述べる場合に使用されていた例もあった。こうした人以外の「活動」はやさしい日本語ニュースでは「火山の活動」の1例だが、一般ニュースでは「噴火活動」(般: 87)、「脳の活動」(般: 180)という使用例があった。なお、やさしい日本語ニュースではそれらに対応する箇所は省略されていた。

- (285) a. 宗教活動を理由にした拘束や拷問が相次ぎ、(後略)。(般: 97)
- b. 宗教の活動を理由にして、警察などが嫌がらせをしたり捕まえて自由をなくしたりする問題が続いています。(や: 97)
- (286) a. 月は従来、およそ10億年前までに火山活動を終え、全体が冷えて固まったとみられてきましたが、(後略)。(般: 117)
- b. 今までの研究では、月は10億年ぐらい前までに火山の活動が終わって、冷えて固くなったと考えられていました。(や: 117)

2番目に多い分類は動詞の和語139語で、そのうち8語は補助動詞である。動詞の和語の中には「泳ぐ」など一部にはニュースが配信された季節を反映して高頻度語彙に入ったと思われる語もあった。なお「泳ぐ」は(287)のように人が海で泳ぐことを述べたものが多かった。

- (287) a. スノーケリング中に足がつって泳げなくなり、仲間とはぐれたと話しているということです。(般: 94)
- b. 途中で足が痛くて泳ぐことができなくなって、友達と離れてしまいました。(や: 94)

しかし、動詞の和語のうち例示した「泳ぐ」のように時事を反映したと思われる語の数は少なかった。上位600語でも上位100語・300語と同様に具体的なニュースの内容が動詞1語

からでは判断のつかない、分野を問わず使用可能な「進む」「確かめる」といった語が多かった。「進む」を例にとれば、対象としたニュースでは実際に前方に移動するという内容を表した使用例はなく、やさしい日本語ニュースでは(288)に示すような次の段階に進むことや、(289)に示すような計画に沿って実行することなどを表すのに用いられていた。

- (288) a. サッカーワールドカップブラジル大会の準決勝、ブラジル対ドイツは、ドイツが7対1の大差で勝利し、3大会ぶりに決勝に進みました。(般: 32)
- b. ドイツは、ゴールの前に速いパスをしたりして、前半に5点、後半に2点取って、7-1でブラジルに勝ちました。ドイツが決勝に進むことになりました。(や: 32)
- (289) a. 日本やアメリカなどが共同で進めている世界最大の望遠鏡の建設開始が、日本時間の29日、正式に発表され、(後略)。(般: 98)
- b. 世界でいちばん大きくて、直径が30mの望遠鏡をつくる計画が進んでいます。(や: 98)

また、一般ニュースにおいては(290)に示すような「高齢化が進む」という物事の状況が進行するという内容を表すのに用いられた「進む」もあった。こうした実際に前進するのが目に見えない「進む」は、前進が目で確認できるものと比べ、先述の「被害」同様、語の難易度が上がる可能性があり、一概に難易度が低い語だと括ることは避けるべきであろう。

- (290) a. 高齢化が進むなか、(後略)。(般: 55)
- b. 日本の社会ではお年寄りの割合が増えています。(や: 55)

続いて、「確かめる」の使用例をみる。「確かめる」は上述の「進む」ほどには幅広い内容を表すのに使用される語ではないが、使用されていた文脈は(291)に示す災害に関わるニュースや、実験や犯罪、開発等に関わるニュースなど分野を問わない。なお、やさしい日本語ニュースで「確かめる」が使用された文脈は書き換え前の一般ニュースでは(291) aのように「確認する」が使用されていた例が多かった。

- (291) a. 捜索は、被害が大きかった安佐南区の八木地区と緑井地区で、およそ2800人の態勢で安全を確認しながら進められています。(般: 186)
- b. 約2800人が、被害が大きかった安佐南区の八木地区と緑井地区で安全を確かめながらさがしています。(や: 186)

3番目に多い分類、名詞の和語は118語あり、最多の分類である名詞の漢語のおよそ半数である。また、名詞の漢語ではおよそ70%の語が二字漢語だった一方で、和語では漢字1字の語が多く61語(50%強)あった。また、数は多くはないが「つかみ取り」や「夏休み」など

の複合語、「クロマグロ」や「蓮」のような動植物名もあり、固有名詞も 11 語含まれていた。

また、名詞 1 語からニュースの内容を推測可能かという視点に立つと、先述の「つかみ取り」「クロマグロ」などに加え、「年寄り」「山車」「田んぼ」など語の使用範囲が広くはない語もある。ただし、こうした 1 語からニュースの内容を予測しやすいと思われる語はそれほど多くはなく、「ところ」「次」「もの」「これ」「話」「考え」「形」のように語の使用範囲が広いものも数多くあった。ここでは、「考え」と「形」の例を示す。

まず「考え」について、「考える」が 3 級の語であるのに対し「考え」は 2 級の語である。そのため、「考える」が使用できる文脈では「考え」を使用する必要はないと思われるが、(292) b に示すような文では「考え」が使用されていた。「考え」が使用された文脈は書き換え前の (292) a 「用意がある」に対応しており、「用意がある」という表現からは単に考えているだけではなく、物事に対応できる準備ができているという内容が伝わってくる。この表現が (292) b のように「考えがある」と書き換えられた場合、単に考えているとの解釈もできるが「考えがあると強く言う」と後ろの表現とのつながりをみれば、考えていることに一定の根拠があるという解釈もできる。「考える」と「考え」には品詞だけでなくこうした違いもあり「考える」ではなく「考え」が必要とされる文脈もあったと考えられる。

(292) a. 国連が主導的な役割を果たす用意があると強調しました。(般: 173)

b. 国連が中心になっていく考えがあると強く言いました。(や: 173)

次に「形」の例を (293) に示す。やさしい日本語ニュースでは「形」はミステリーサークルや月の変形などの自然現象や写真からみた地形など、2 次元・3 次元の実態が存在するものを指していた。

(293) a. 画面の中央部分を指で触ると円形の入力画面が表示され、指を 8 方向にスライドさせて文字を選択する動作を繰り返すとひらがなを入力できます。(般: 192)

b. 画面の真ん中を指で触ると、周りに文字が書いてある丸い形が出てきます。(や: 192)

一方、一般ニュースでは (294) に示すように「形式」という線で描くことができないものが「形」で示される例も「今の形の統計となった」(般: 137) や「これを無視する形で実施に踏み切った」(般: 157) など複数あった。

(294) a. 政府は 1 日から 9 月末まで、沖縄を除く全国の家庭や企業に対して、数値目標を設けない形で節電を呼びかけます。(般: 6)

b. 政府は、(中略) 家や会社で節電 (= 使う電気を少なくすること) するように言っています。(や: 6)

表 58 に示した分類で 4 番目に多いのは名詞の外来語で 74 語である。そして、74 語中固有名詞は 28 語で名詞の外来語の 3 分の 1 強あり、比較的多い。そして、記号やアルファベット表記による語は 9 語で、そのうち単位等を示すものは「%・m・cm・km・℃・t」の 6 語、そのほかの語は「WHO」「ATM」「MR J」の 3 語あった。なお、上位 600 語の外来語にはひらがな表記の「たばこ」、漢字表記の「香港」も含まれていた。名詞の外来語の中には「ニュース」や「メッセージ」のようにニュースの内容の語による推測が難しいものの中にもあったが、多くは「ロボット」「エルニーニョ」「バター」のように使用範囲がある程度狭いと思われる語だった。

ここでは、「ニュース」「メッセージ」の使用例を示す。まず、「ニュース」についてはやさしい日本語ニュース・一般ニュースともにすべてメディアが報道する出来事という意味で (295) b のように使用されていた。また、(295) a では「ニュース」ではなく「メディア」の語が使用されているが、やさしい日本語ニュースにおいては「メディア」は 1 回も使用されていなかった。

(295) a. 地元のメディアは、少年は一切、抵抗していなかったという目撃証言も伝えており、（攻略）。（般: 145）

b. 新聞やテレビのニュースは、少年は逆らっていなかったという見ていた人の話を伝えます。（や: 145）

次に、「メッセージ」の使用例を (296) (297) に示す。「メッセージ」はその多くがスポーツ選手や音楽家、ダンサーなどがファンなどに宛てて出したコメントを指していたが、(296) (297) に示すような伝言や電子媒体を用いた文書のやり取りについて使用された例もあった。

(296) a. 舛添知事は、（中略）日韓関係を改善したいとする安倍総理大臣のメッセージを伝えることにしています。（般: 85）

b. 舛添知事は（中略）日本と韓国の関係をよくしたいという安倍総理大臣のメッセージを伝えました。（や: 85）

(297) a. インターネットの SNS を悪用してしつこくメッセージを送る行為や、被害者の自宅の周辺を理由もなく歩き回る「はいかい」行為も規制すべきだとしています。（般: 125）

b. インターネットの SNS で何度もメッセージを送ったり、家の周りを理由がないのに歩いたりできないようにすることも必要だと言っています。（や: 125）

なお、(296) においてやさしい日本語ニュースと一般ニュースの時制が一致していないのはそれぞれのニュースが発信された時刻に影響を受けたものである。一般ニュースは 7 月 25 日午前 4 時 14 分に発信されており、午前に予定されている韓国大統領と東京都知事の会談の時

刻には至っていないが、やさしい日本語ニュースの発信は同日午後5時であり、その時点ですでに会談は終了していた。やさしい日本語ニュースは一般ニュースよりも数時間から数日遅れて発信されているため、まれにこのようにニュースの時制が変えられていたり、事前事後のインタビューが差し替えられているような例もあった。

名詞の外来語に次いで5番目に多いのは形容詞の和語27語で、そのうち25語はイ形容詞、残る2語はナ形容詞「同じ」と「いろいろ」である。5番目に多い分類とはいえ、この分類の語数は外来語に含まれる固有名詞の数よりも少ない。こうした結果からも、ニュースにおいて名詞が自立語に占める割合が非常に高く、固有名詞も決して少なくないことがわかる。形容詞の例として「短い」「貧しい」を取り上げる。「短い」はニュースの中では(298)(299)に示すように時間や事物の長さ等測ることができるものに限って使用されていた。

- (298) a. 成田空港で、出入国審査にかかる時間を短縮しようと、旅行者の顔とパスポートの顔写真を自動的に照合するシステムの実証実験が始まりました。(般: 119)
- b. 外国から日本に入るときなどに、パスポートを確認する時間を短くするための新しいシステムの実験が成田空港で始まりました。(や: 119)
- (299) a. サイトの6割パスワードに課題(般: 168)
- b. サイトの60% 短いパスワードで利用できるので危ない(や: 168)

また、「貧しい」は(300)に示すような生活が苦しいという意味でのみ使用されていた。なお、形容詞の和語には広範囲で使用される語が多くニュース内容の推測は難しいが、比較的にニュース内容が想像しやすいものとしてこの「貧しい」が挙げられる。ただし、生活が苦しいという限定的な意味で使用されていた語とはいえ、(300)のように選挙に関わるニュースで使用されていたり、食に関するニュースで使用されていたりといずれにしても「貧しい」1語からのニュース内容の特定は難しい。

- (300) a. 貧しい大工の家庭で生まれ育ったジョコ氏は、(後略)。(般: 74)
- b. ジョコ氏は、貧しい大工の家庭で生まれました。(や: 74)

6番目に多いのは名詞の混種語の26語であり、そのうち固有名詞は11語、重箱読み・湯桶読みの普通名詞は9語あった。なお、重箱読みの語は「仕事・試合・毎年・半年」の4語、湯桶読みの語は「場所・値段・大勢・赤字・荷物」の5語で湯桶読みの語のほうが多いが、大差はない。こうした9語のうち、「試合」「値段」「赤字」「荷物」についてはある程度どういったニュースで使用されるか考えることはできるが、「仕事」「毎年」「半年」「場所」「大勢」についてはその内容を推し量ることはできない。ここでは、例として「荷物」「仕事」「大勢」が使用された文脈をみる。

「荷物」は(301)(302)にみられるように電車や飛行機などに持ち込む比較的大型の品物を指すことが多かった。ただし、(301)は東京オリンピックへ向けての政策、(302)はサービス収支について、というように「荷物」が使用されやすいニュースを特定することは難しかった。

(301) a. 大きな荷物を持った乗客のための座席のないスペースが設けられ(後略)。(般: 15)

b. 観光客も大きな荷物を置くことができ便利です。(や: 15)

(302) a. 海外旅行や貨物運賃などのやり取りを示す「サービス収支」は、1兆5780億円の赤字でした。(般: 137)

b. 旅行や荷物を運ぶ運賃などの「サービス収支」も赤字でした。(や: 137)

「仕事」は職業を指すよりも、(303)のように何らかの業務や作業を指すことが多かった。ただし、作業とはいっても人が行うことばかりではなく、中には(304)のように機械によって行われる作業を指す例もみられた。

(303) a. 「監査院」が、政府機関の対応が適切だったかどうかを調べ(中略)迅速に救助に向かわなかったなどさまざまな業務怠慢や不正があったと指摘しました。(般: 33)

b. 監査院は、役所が仕事をしっかりしていなかったり、不正をしていたりしていたことがわかったと言っています。(や: 33)

(304) a. 2つのロボットアームによって、物をつかみながら切断するなどの複雑な作業ができる新たな装備2両を購入するため、(後略)。(般: 188)

b. 2本の長い腕のようなロボットアームが付いた大きな機械を2台買いたいと考えています。物をつかみながら切るなどの複雑な仕事ができます。(や: 188)

「大勢」は(305)に示す例のように大勢の人が集まったり、あるいは大勢の人が避難したりというように大多数の人がとっている行為を表す場面で使用されることが多く、(306)のように多くの人に期待すること、あるいは多くの人を対象に何かを計画するといった文脈で用いられる例はあまり多くはなかった。

(305) a. ハスは朝の咲き始めが美しく見えるということで、公園の池には朝から大勢の人が見物に訪れ、(後略)。(般: 17)

b. 蓮は咲き始める朝、特に美しく見えるため、池には朝から大勢の人が来ています。(や: 17)

(306) a. 将来的には多くの患者に治験への参加を呼びかけて、治療薬の開発につなげたいとしています。(般: 23)

b. 将来は大勢の人たちに協力してもらって、新しい薬を作りたいと考えています。(や: 23)

そして、例示した重箱読み・湯桶読みの語、固有名詞を除く名詞の混種語は「エボラ出血熱・危険ドラッグ・行方不明・脱法ドラッグ・デング熱・気持ち」の6語あり、漢語と外来語の組み合わせが多かった。また、「行方不明」「気持ち」を除いては対象とした期間の時事を反映した語だと言え、「気持ち」以外はニュース内容の類推が比較的容易だと思われる語であった。「気持ち」は(307)に示すように心情を表す意味で用いられている例が多かったが、(308)のように「気持ちがいい」という身体の状態を表すのに用いられた例もあった。

- (307) a. 誕生日を迎えたドイツのメルケル首相に対し、各国首脳が、(中略)プレゼントする一幕がありました。(中略)このときばかりは和やかな雰囲気に包まれ、ヨーロッパの経済大国として、日頃からEUの議論を引っ張るメルケル首相の労をねぎらいました。(般: 67)
- b. 大統領たちはメルケル首相に「お疲れさま」という気持ちで誕生日のプレゼントをあげました。(や: 67)
- (308) a. 男が「脱法ハーブを吸うと、フワフワして気持ちがいいのでやった。過去にも10回くらい買って、吸ったことがある」などと供述していることが、(後略)。(般: 29)
- b. 男は「気持ちがいいので吸った。今までも10回くらい買って吸ったことがある」などと話しています。(や: 29)

なお、(307)に示した「労をねぎらう」の「『お疲れさま』という気持ちで」への書き換えは(10)(70)に示した「感謝したい」の「ありがとうございます」への、「断る」の「だめだと言う」への書き換えに似たものである。これらの3例はいずれも一般ニュースでは難易度の高い語や表現が使用されているが、発言のような形で「ありがとう」「だめ」「お疲れさま」といったわかりやすい語や表現を使って書き換えが行われたことで日本語のレベルが大きく下げられていた。

- (10) a. ネイマール選手は「(中略)僕のために書いてくれたメッセージなどすべての応援と愛情に感謝したい」と心境を話しました。(般: 24)
- b. ネイマール選手は「(中略)皆さんからの応援と愛情、ありがとうございます」と話しました。(や: 24)
- (70) a. 「タイム・ワーナー側が断ったため、現在は協議していない」(般: 59)
- b. 「タイム・ワーナーがだめだと言ったため、今は相談していない」(や: 59)

ここまで、上位600語の6番目までの分類について述べたが、上位600語は上位300語と同様に6番目までの分類に名詞の4種類の語種がすべて入り、1番目が漢語、3番目が和語、4番目が外来語、6番目が混種語の名詞である。4種類の名詞の語種の語彙をニュースにおける語の使用範囲、あるいは1語からのニュース内容の類推のしやすさという観点から捉えると、

外来語と混種語については使用範囲の限られる語が多い。ただし、混種語のうち重箱読み・湯桶読みの語についてはその限りではない。和語と漢語は外来語や混種語と比べると1語からニュース内容の類推ができないものも多いが、和語と漢語では和語のほうが広い範囲で使用される語を多く含んでいた。

7番目に多いのは動詞の混種語15語で、すべて二字漢語を基にしたサ変動詞である。そうした二字漢語を基にしたサ変動詞の中には、上原(2007)が「通う」と「通学する」を例に説明したサ変動詞⁷¹による概念の特定化に該当すると思われる語がみられた。

例えば、「出席する」「出発する」はどちらも「出る」という概念の基本カテゴリーにある和語を基にしたサ変動詞であろう。「出る」は『明鏡国語辞典 第二版』では35の意味を持つ多義動詞として扱われており、たとえ「出る」が4級の語に属すとはいえ、どういった意味で使用されているかは読み手が文脈から判断しなければならず、その負担は大きい。ここで、「出席する」というサ変動詞に注目すると、「出席」は「授業や集会・儀式などに出ること」(同辞典)と定義されており、これは「出る」の35のうちの11番目の意味「特定の場に臨む。特に、人目の立つところに現れる」(同辞典)という意味とほぼ同じであり、「出る」の意味が限定、特殊化された語だと考えることができる。さらに、対象としたやさしい日本語ニュース・一般ニュースに限っては「出席する」は、(309)に示すような国際会議、あるいは授賞式や平和祈念などの式典についてのみ使用されており、語の使用範囲は「出る」と比べ極端に狭い。

- (309) a. ガーナで、周辺の11か国の保健相や担当者らによる会議を開き、(後略)。(般:21)
 b. 会議にはガーナの近くの11の国が出席しました。(や:21)

同様のことは「出発する」についても言える。「出発」は「①目的地に向かって出かけること②新しく物事を始めること」(『明鏡国語辞典 第二版』)と定義され、ここで使用可能な「出る」の意味は同辞典が定義する35の意味のうち「①一定の範囲内から外に移る②乗り物が発進する③生活の基盤としてきた所を離れる⑤ある目的のために特定のところにいく⑥到達点としての、その場所に行く⑦緊急事態に対して、軍隊や警察隊が出動する」という六つの意味に限定されていると考えられる。ただし、やさしい日本語ニュース・一般ニュースで使用された「出発する」の使用範囲はその六つの意味よりもさらに狭く、(310)に示すように、「②乗り物が発進する」という意味で使用される例がほぼすべてで、語の使用範囲は「出席する」と同様に非常に狭かった。「乗り物が発進する」以外の例としては、やさしい日本語ニュースで(311)に示す東京を目指して行われた聖火リレーの模擬イベントで使用された「⑤ある目的のために特定のところにいく」という文脈が1例あるだけだった。

⁷¹ 上原(2002)はサ変名詞と記述。

- (310) a. 羽田空港に近く、将来、リニア中央新幹線の始発駅ができる品川駅の周辺地域について、
（後略）。（般: 92）
- b. 品川駅は羽田空港に近くて、将来はリニア中央新幹線（＝リニアモーターカーを使った新幹線）が出発する駅ができます。（や: 92）
- (311) a. 「1000キロ縦断リレー」は、東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレーを想定して行われたもので（中略）先月24日に青森をスタートし、（後略）。（般: 135）
- b. 東京オリンピックとパラリンピックでは、（中略）聖火のリレーをする計画があります。この計画と同じようにリレーをして、震災で被害があった地域を元気にしようというイベントがありました。7月24日に青森県を出発して、（後略）。（や: 135）

こうした「出席する」「出発する」の例にみるように、サ変動詞の中には和語動詞の意味を特殊化していると思われるものも少なくない。このため、「出る」が4級の語、「出席する」「出発する」がそれぞれ3級の語だとはいえ、「出る」の35の意味の中から文脈に適した意味を考えることよりも、「出席する」「出発する」という限定された意味の語が使用されたほうが難易度が低くなるという場合もあると思われる。実際、難易度が低いサ変動詞のうち、やさしい日本語ニュースで高頻度で使用されていた語もあった。

動詞の混種語に続き8番目に多いのは副詞の和語で、12語ある。副詞の和語は上位100語に該当する語は5語あったものの、上位101-300語では1語しか該当しなかった。しかし、上位301-600語では6語が該当することから、副詞の和語の高頻度語は非常に頻度が高い上位100語内の語と、頻度が比較的に落ちる上位300語以降の語に2分することができる。ここでは上位301-600語に位置する6語「いつも」「すぐ」「まだ」「また」「しっかり」「少し」のうち、「すぐ」と「しっかり」の使用例を示す。

「すぐ」は、やさしい日本語ニュースではすべて(312)に示すような「時間の隔たりがない」（『明鏡国語辞典 第二版』）という意味で用いられていた。一方、一般ニュースでは時間ばかりではなく、(313)に示すような「距離の隔たりがない」（同辞典）という意味での使用例もみられたが、やさしい日本語ニュースでは「すぐ」を含む前後の文脈は削除されていた。

- (312) a. 「（前略）。とても貴重なもので、店に並べるとすぐに売れるほど人気があるので、ぜひ獲得したいです」と話していました。（般: 154）
- b. 「（前略）。人気があって店に並べるとすぐに売れるので、ぜひ欲しいです」と話していました。（や: 154）
- (313) a. ガザ中心部の病院の建物のすぐ外でも爆発が起きました。（般: 96）
- b. （対応箇所なし）（や: 96）

「しっかり」は(314)に示すような堅固なシステムを築くといった意味で使用される例や

(315) に示すように一個人の行為に対して用いるような例があった。また、やさしい日本語ニュース・一般ニュースともに使用がみられた「しっかり」と「しっかりと」について、やさしい日本語ニュースでは(314)のように直後に動詞が続く場合は「しっかりする」、「しっかり治す」(や: 39)、「しっかり教える」(や: 138)のように「しっかり」が使用される一方で、(315)のように直後に動詞が続かない場合は「しっかりと息をする」、「しっかりと波に乗る」(や: 49)のように「しっかりと」が使用されており、完全な使い分けがされていた。しかし一般ニュースではこの限りではなく、「しっかりと審査する」(般: 61)、「しっかりと伝える」(般: 161)といった動詞の前に「しっかりと」が使用されている例もみられた。

(314) a. 選挙では、経済成長と共に社会保障の充実を公約に掲げて(後略)。(般: 74)

b. インドネシアの経済をよくして社会保障をしっかりすると言ってきました。(や: 74)

(315) a. 誤って海や川に落ちた場合は慌てずにしっかりと息を吸って浮かび、助けを待つことが大切だと説明を受けました。(般: 183)

b. 海などに落ちた場合は、慌てないでしっかりと息を吸って、水に浮かんで助けを待ちます。(や: 183)

9番目に多い分類は形容詞の漢語の8語であり、上位300語の語は「必要・元気・有名」の3語、上位301-600語に位置する語は「大切・安全・危険・急・きれい」の6語でこれら8語はすべてナ形容詞である。このうち「きれい」は漢語であっても、漢字ではなくひらがなで表記⁷²されていた。ここでは8語の形容詞漢語のうち「急」「きれい」の使用例をみる。「急」は(316)に示すように、突然ある物事が発生するという意味で使用される例が大半だったが、やさしい日本語ニュース・一般ニュースで(317)の1例、傾斜が大きいという意味の「急」も使用されていた。

(316) a. 旅客機が着陸の最終段階に入ったところ、突然、別の旅客機が滑走路を横切り始めたため、(後略)。(般: 31)

b. モスクワから来たロシアの飛行機が着陸しようとしていました。そのとき、別の飛行機が、急に横から滑走路に入ってきました。(や: 31)

(317) a. 現場付近は急な斜面が続く場所で、(後略)。(般: 155)

b. 事故は、急な坂が続く場所で起きました。(や: 155)

「きれい」は(318)に示すようにすべて美しいという意味で使用されていた。また、一般ニュースで使用された「美しい」は(319)に示す発言の引用文1例のみである。この(319)につ

⁷² 上原(2007: 116)は、外国語由来の漢語や外来語が日本語の中で即座に基本語彙になるとは考えにくいと述べるが、その例外として「きれい」のように今では漢語で書かれることのほうが少ないほど基本的なものもあると述べている。

いて、(319) a では4級の語「きれい」が使用されている一方、書き換えられた(319) b では3級の語「美しい」が使用されていた。「きれい」と「美しい」の1語ずつの対応では書き換えにより語の難易度が上がっているにもかかわらず「美しい」の語が選択されたのは(319) a で「きれい」に続く「街並み」が「町の中」に書き換えられたためだと考えられる。「街並み」といった場合、「きれい」は美しいと解釈されるが、「きれい」が「町の中」を修飾した場合、「きれい」が清潔さを意味するのか美しさを意味するかは読み手の判断に委ねられる。そうした曖昧さを排除する目的で(319) では敢えて書き換えにより級レベルが上の語が選ばれたと思われる。

(318) a. 巡行する23基の山や鉾は、いずれも豪華な刺しゅうが施された胴掛（どうかけ）や水引などで飾りつけられていて、（後略）。（般: 64）

b. 山車は、美しく刺しゅうした布やきれいな色のひもなどで飾ってあります。（や: 64）

(319) a. 「こんなにきれいな街並みで踊ることができて、とても楽しいです」（般: 157）

b. 「こんなに美しい町の中で踊ることができて、とても楽しいです」（や: 157）

10番目に多い分類は該当する語が4語の連体詞の和語、11番目に多いのは該当する語が3語の副詞の漢語と接続詞の和語であった。これら3分類にはいずれも上位300語までの語しか含まれていなかった。最も該当する語が少ない分類は形容詞の混種語と副詞の混種語で、1語ずつであり、形容詞の混種語「すばらしい」と副詞の混種語「特に」はどちらも上位301-600語に位置する語であった。

「すばらしい」はやさしい日本語ニュースでは(320) b に例示するように立派だ、見事だといった意味で「すばらしい仕事」、「すばらしい景色」（や: 155）のように名詞を修飾する形、あるいは「すばらしいです」（や: 22）というように文末でもニュースの地の文か発言の引用箇所かを問わず広く使用されていた。一方、一般ニュースで「すばらしい」が用いられたのは(321) に示すような発言の引用箇所に限られていた。

(320) a. アカデミー名誉賞は、映画界における長年の業績や貢献をたたえるもので、（後略）。（般: 210）

b. アカデミー名誉賞は、映画のために長い間すばらしい仕事をした人などに贈る賞です。（や: 210）

(321) a. 「すばらしい車を出品することができ誇らしい」（般: 167）

b. 「すばらしい車を出すことができてうれしいです」（や: 167）

副詞の混種語の「特に」は(322) に示すようにやさしい日本語ニュース・一般ニュースで共通して用いられる例が多く、「特に増えている」、「特に気をつける」（や: 8）、「特に美しい」（や: 17）などの使用例があった。

- (322) a. 児童虐待の件数は（中略）特に都市部で増加する傾向が見られました。（般: 121）
 b. 子どもの虐待は（中略）特に都会で増えています。（や: 121）

以上、やさしい日本語ニュースで使用された高頻度語彙上位 600 語について品詞と語種で分類し、語数の多い分類から順に述べた。品詞別に総括すれば、名詞は漢語には漢字 2 字の語が、和語には漢字 1 字の語が多い。また、「おとし」「案」「ニュース」等、ある程度幅広い話題で使用可能だと思われる語彙のほかに、「鍾乳洞」「羽毛」「ウオータースライダー」等、ごく限られたニュースを除いては使用されないと思われる語も数多く含まれていた。こうした「鍾乳洞」等の語については今回取得したニュース記事による影響を受けたものだと考えられるが、こうした特定の記事の内容を反映した語であっても、約 200 本という本数を限った語彙調査においては比較的高頻度の語としてあがることがわかった。また、固有名詞も数多く含まれていた。

動詞は和語が最も多く、補助動詞も 8 語含まれていた。また、名詞と同様に幅広い話題で使用可能だと思われる語が多かったが、中には「泳ぐ」等取得したニュース期間が影響したと思われる夏に関連した語もあった。形容詞は上位 600 語に該当する 36 語中 26 語がイ形容詞である。さらに、イ形容詞は 26 語中 25 語が和語である。一方、ナ形容詞はその大半が漢語であり、形容詞全体ではナ形容詞よりもイ形容詞のほうが高頻度で使用された語が多い。副詞は和語を中心に上位 301-600 語に 7 語含まれたが、連体詞・接続詞・感動詞には 1 語もなかった。続いて、上位 100 語・上位 101-300 語・上位 301-600 語の語彙の構成をに示す。

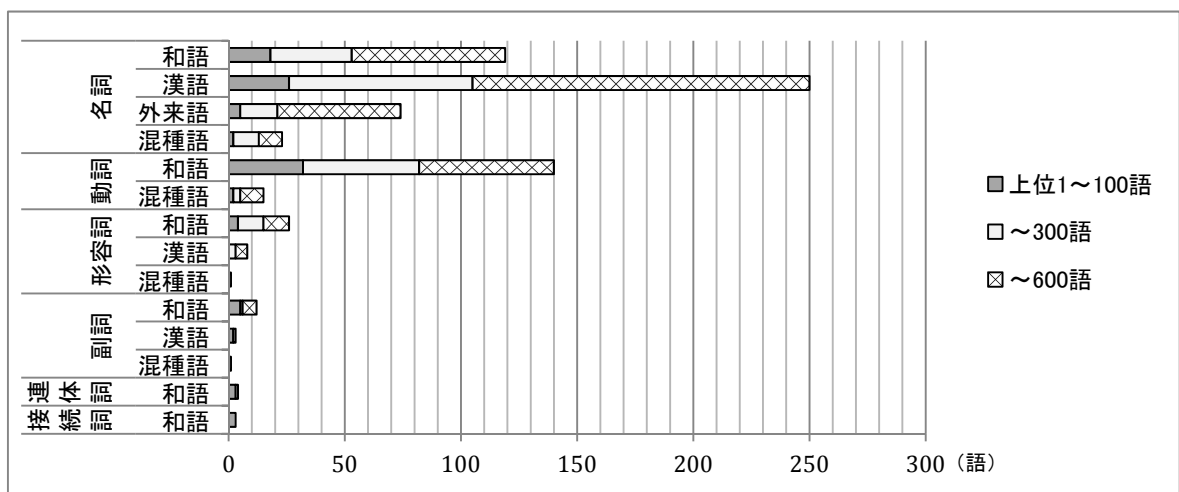


図 46 やさしい日本語ニュース上位 100 語・300 語・600 語の品詞・語種（異なり語数）

上位 1-300 語と上位 301-600 語は同数である。しかし、それぞれの品詞・語種に語彙を分類すると、図 46 に示したように分類によって高頻度語彙の分布にばらつきがあった。上位 1-300 語が上位 301-600 語よりも多い分類は動詞・連体詞・接続詞の和語と副詞の漢語である。

両者がほぼ同数なのは、名詞の和語と混種語、形容詞の和語と漢語、副詞の和語であり、上位 1-300 語が上位 301-600 語よりも少ないのは名詞の漢語と外来語、動詞の混種語、形容詞の混種語である。こうした結果から上位 1-300 語よりも上位 301-600 語が多い、つまり頻度が下がるほど全体に占める割合が大きくなるのは名詞の漢語と外来語、動詞の混種語、形容詞の混種語の語彙だとわかった。次に、表 58 に示した語彙の意味分野を表 59 に示す。

表 59 やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位 600 語の意味分野

大分類	中分類	小分類	使用された語	語数 ⁷³	大分類	中分類	小分類	使用された語	語数				
自然	天文	宇宙	宇宙	5	自然	生理	生死	亡くなる、生まれる	8				
		空	空				成育	育てる					
		月	月				発病	けが、治療、 うつる(感染)					
		朝夕	朝				生理	熱					
		昼夜	夜				呼吸	吸う					
	暦日	夏	夏	13			物質	万物		もの	10		
		秋	秋					物質		物質			
		年	ことし、去年、年、 来年、毎年、半年、 おとし、年度					水		水、氷			
		月	今月、先月			鉱物		土(つち)、石、砂、 ダイヤモンド、 土石流 ⁷⁴ 、土砂					
		日	日(ひ)			物象	熱	熱	8				
	気象	雨	雨、降る	光			放射性 ⁷⁵ 、放射線						
		風	台風	力			原発 ⁷⁶ 、原子力、 力(ちから)						
	地勢	天変地異	地震、津波	9		電気	電気、発電						
		陸地	土(つち)			性状	位置	位置	場所、ところ	34	132		
		山	山、鍾乳洞									こそあど	この、その、どの、 ほか、何、側、 どこ、これ、どちら 別
		海	海、沖									点	ゴール
		川	川									内外	上(うえ)、外、地下、 下、国内
		泉	温泉									前後左右	前、あと、側、最後
	岸	海岸	上下	高い、低い、頂上									
	島	島	周辺	間(あいだ)、周り、 中心									
	景観	耕地	畑、田んぼ	6		遠近	近く、周り、隣、 近い						
		道路	線、道、橋、線路										
	植物	草	蓮	3									
花		花											
細胞		細胞											
動物	動物	動物、マウス ⁷⁷ 、熊	9										
	魚介	魚、ウナギ、あゆ、 クロマグロ ⁷⁸											
	虫類	恐竜											
	脚・尾	羽毛											

⁷³ 文脈により違う意味で使用された語はそれぞれの意味分野に分類しているため、合計数は 675 にならない。また、語数の左の列は中分類の、右の列は大分類の異なり語数である。

⁷⁴ 見出し語は「土石」。

⁷⁵ 見出し語は「放射」。

⁷⁶ 見出し語は「原子力」。

⁷⁷ 見出し語は「ねずみ」。

⁷⁸ 見出し語は「まぐろ」。

大分類	中分類	小分類	使用された語	語数
性状	位置	方向	西、東、 行方不明、ほう	10
		形状	形	
	点・線		線、点	
	面		急、穴	
	長短		長い、短い	
	大小	大きな、大きい、 小さい		
	数量	数	万、3つ、億、 1つ、5つ、兆	33
		数量	割合、数、回、度、 点、量、金額	
		度	度、気温、温度、 時速	
		度量衡	直径	
		年齢	若い	
		有無	ある、いる、ない	
		多少	たくさん、多い、 少ない、大きい、 多く、大勢、下、 小さい	
	全部	全部、みんな、 半分、一部		
	実質	強弱	強い、しっかり	3
		新古	新しい	
	刺激	色彩	色	4
		冷温	暑い、涼しい	
		喧騒	大きい	
	時間	時間	とき、時間	27
		時刻	場合、午前、午後	
		期間	長い	
		常時	いつも、また	
		遅速	速い、急、すぐ	
		先後	前、あと、いちばん、 番、早い、次、最後	
		終始	新しい、初めて、 最初、最後、まだ	
		今昔	前、今、これから、 昔、将来、最近	
状態	状態	場合、まま、症状	9	
	過激	強い、ひどい		
	安危	安全、危険、 しっかり		
	難易	可能性		
価値	価格	高い、値段、安い	13	
	良否	高い、よい、悪い、 いい、すばらしい		
	適不適	よい、悪い		
	有用	必要、大切		
	真偽	うそ		
	正否	不正		
	精粗	詳しい		

大分類	中分類	小分類	使用された語	語数	
性状	価値	美醜	きれい	6	
		類型	種類		いろいろ、種類
	特徴		特に		
	系統		システム		
	同一		同じ		
	相応	近い			
	程度	程度	高い、上(うえ)、 低い、下、最低	17	
		基準	基準		
		限度	いちばん、割合、 最も、最低		
		大変	大きな、とても、 大きい、ひどい、 少し		
		細大	大きい		
		一層	もっと		
		大体	約		
	こんな	どう			
	変動	動揺	運動	踊る、動く、 止める(と)、止まる	4
			移動	進退	
		通過		通る	
接近		離れる			
昇降		落ちる、上がる、 上げる、落とす			
飛翔		飛ぶ			
流動		流れる、流す			
離合		離合	離れる	8	
		付着	つける(付)、つく(付)		
		接続	取る、続く		
		集散	集める、集まる		
下垂		かける(掛)			
出没		出し入れ	出る、入る、 出す、入れる	8	
			見え隠れ		出る、出す
		包囲	捕まえる		
		開閉	開く(ひら)		
		浸透	吸う		
	注ぎ	かける(掛)			
変形	破壊	壊れる、崩れる	3		
	拡大	広がる			
変質	変質	する、なる、変わる	5		
	美化	汚染			
	強化	壊れる			
増減	生成	できる、作る、 なくす(無) ⁷⁹	12		
	残存	残る			
	増減	増える、増やす、 減る、たまる			
	附着	つける(付)、つく(付)			
	満ち欠け	たまる			
	補充	平均			

⁷⁹ 見出し語は「無くする」。

大分類	中分類	小分類	使用された語	語数			
変動	増減 情勢	包含	入れる	11			
		情勢	場合				
		勢い	力(ちから)				
		発生	出る、出す、できる、起きる				
		成否	できる、なる				
		変動	変える、変わる、戻る、直す				
	経過	経過	過ぎる	14			
		過程	まま				
		開始	始める、始まる、終わる				
		到来	来る				
		断続	続く、続ける、やめる(止)、止める(と)、止まる				
		進捗	急ぐ、進む、たまる				
	関連	関係	関係	7			
		因果	よる(因)、原因、結果				
		影響	関係、受ける、かかる				
		類似	似る				
	行動	動作	手の動作	持つ、捕まえる	5	73	
			足の動作	踊る			
			歩行	歩く			
疾走			走る				
往来		往復	行く、登る、戻る、帰る、向かう	15			
		去来	出る、来る				
		出入り	出る、入る				
		発着	出発する				
		乗降	乗る、乗せる				
		運行	航空				
		逃亡	逃げる				
		巡回	回る				
		滞在	残る				
		表情	声		声		1
見聞		目撃	見る、見える	10			
		聴取	聞く				
		提示	出す、見せる、展示、展覧				
		読み	読む				
		書き	書く、記録				
陳述		発言	言う、話す、話	9			
		談話	話す、話し合う				
		相談	相談、会議、相談する ⁸⁰ 、話し合う				
		問答	聞く				
		説明	説明する				
寝食		生活	生活	6			
		居住	住む				
行動		寝食	在宅	無人	10		
			食事	食べる、食事			
			装い	着る			
	労役	実行	できる、する、行う、開く	10			
		労働	働く、活動				
		従業	休む				
		休業	夏休み、休む				
		仕事	仕事				
		職業	仕事				
	授受	授受	もらう	7			
		徴収	取る				
		取捨	取る、つかみ取り				
		集配	集める				
		選択	選ぶ				
	所有	所有	ある、持つ	10			
		操作	操作				
		使用	使う、利用する				
		処置	片づける				
		設置	置く				
		運搬	送る、持つ、運ぶ				
	打撃	打撃	撃つ	5			
		生産	製造				
		修繕	直す				
		建造	建てる				
		土木	工事				
	心情	感覚	感じ	思う、気	2	64	
			思考	思考			
		思考	思考	思う、考える、意見、考え	18		
			判断	考える、予定、決める、決まる			
			認識	分かる、知る			
比較			比べる				
識別			別				
信疑			容疑、確かめる、疑い				
過誤			直す				
立案			計画、案、対策				
学習			練習	訓練			12
			研究	研究、研究する			
			調査	調べる、調査、検査			
			搜索	見つかる、さがす、見つめる			
	試験	実験、経験					
	出題	問題					
意向	意	思う、考える、考え	7				
	願望	思う、祈る					
	注意	心配					
	用意	待つ					
要求	奮起	元気	4				
	協力	協力する					

⁸⁰ 表内サ変動詞の見出し語はサ変名詞(例:「相談する」の見出し語は「相談」)。

大分類	中分類	小分類	使用された語	語数			
心情	要求	約束	決める	12	30		
		権利	持つ、力(ちから)				
	誘導	指導	教える、教育、授業、育てる				
		妨害	被害、逃げる、避難する				
		救助	力(ちから)、手伝う、助ける				
		保護	守る、介護				
		闘争	闘争			戦争、戦い	10
	競争	試合、戦い、比べる、決勝					
	勝敗	勝つ					
	攻防	空爆					
	討伐	守る、自衛隊 ⁸¹					
	侵害	消防					
	愛憎	威嚇	デモ			2	
		待遇	虐待				
	悲喜	感情	気持ち			5	
		苦楽	楽しむ				
		悲喜	喜ぶ				
		安心	心配				
		満足	足りる ⁸²				
	人物	人稱	不定稱			誰	4
			自他			人、自分	
			人			人、みんな	
老若		男女	女性、男性、男	7			
		少年	子ども、男の子、少年				
		老人	年寄り				
親族		家族	家族	4			
		父母	親				
		子	子ども、子				
仲間		仲間	グループ	4			
		主客	客				
		民衆	人				
		国民	外国人				
地位		治者	大統領、首相、知事	4			
		師弟	先生				
役割		担当者	監督	3			
		当事者	エリート				
		選手	選手				
サービスの職業		役人	警察官	5			
		教育者	先生、学生、大学生 ⁸³				
		医者	医者				
人物		偉人	人	2			
	第一人者	専門家					
性向	体格	身体	体、遺体	8	28		
		手足	手				
性向	体格	健康	元気	17	101		
		病氣	病氣、けが、がん、症状				
	容貌	目	目			1	
	姿態	美麗	きれい			1	
	態度	積極的	ままた			1	
	対人態度	有縁	一緒			2	
		丁重	大切				
	性格	剛健	強い			1	
	才能	力	強い、力(ちから)			4	
		能力	力(ちから)				
		学識	詳しい				
		業績	記録				
	境遇	貴賤	有名			8	
		貧富	貧しい				
		安否	安全、危険				
		災難	事故、被害、災害、事件				
	心境	気持ち	気持ち			3	
		安心	心配				
		無気味	怖い				
	社会	地域	範囲			地域、地方	17
			場所			場所、会場、ところ	
			領土			国	
都道府県			県、都、市、区、町(ちょう)、村、都道府県、州				
都会			町(まち)				
村落			村、地方				
世界		世界、アフリカ					
集団		群集	グループ、集める、集まる	16			
		集会	会、大会、コンサート				
		加入	入る、参加する				
		団体	会社、会				
		軍隊	軍				
		党派	チーム				
		家庭	家庭				
		社会	世界				
		国家	国、外国				
	施設	施設	置く		14		
役所	役所、警視庁						
学校	学校、高校、小学校、大学						
公共施設	病院						
仕事場	会社						
駅・港	駅、空港						
住居	家						

⁸¹ 見出し語は「自衛」。

⁸² 見出し語は「足る」。

⁸³ 見出し語は「学生」。

大分類	中分類	小分類	使用された語	語数	
社会	施設	店舗	店、デパート	9	
		統治	機関		政府、警察、厚生労働省、環境省、総務省
	掟		規則、法律		
	裁判		調べる		
	取引	刑罰	制裁		18
		経済	生活、銀行		
		取引	輸出する、輸出		
		売買	売る、買う、売れる		
		騰落	上がる、上げる		
		損得	ため、赤字		
		収支	入る、払う、収支、収入		
	貨財	賃金	お金 ⁸⁷		
		賃金	賃金		
		税	消費税 ⁸⁸		
	報道	報道	情報、連絡、ニュース、連絡する	11	
		伝達	伝える		
		発表	発表する、発表		
		流布	流す、広がる		
		評判	人気		
		通信	電話		
	習俗	伝承	伝える	6	
		文化	文化		
		儀式	式		
		宗教	イスラム教、宗教		
		行事	お祭り		
	処世	出処進退	やめる(辞)	5	
		任免	送る		
推挙		選ぶ、選挙			
進退		進む			
社交	交際	国際	8		
	出会い	会う			
	招致	呼ぶ、招待する			
	送迎	待つ			
	出欠	出る、出席する			
	仲介	紹介する			
	人倫	間柄		関係	2
人道		不正			
学芸	学術	学問	科学	3	
		著作	書く		
		作品	作る		
				57	

大分類	中分類	小分類	使用された語	語数
学芸	論理	事柄	ところ、もの	6
		要点	中心	
		理由	ため、原因、理由	
	記号	目的	ため	25
		文字	文字	
		名称	言う、名前、呼ぶ	
		番号	いちばん	
		単位	%、円、m、時間、7月 ⁸⁴ 、km、8月、6月、分、9月、年(ねん)、3月、4月、cm、10月、5月、1月、°C ⁸⁵ 、t	
		助数詞	号 ⁸⁶	
		言語	言葉	
	話	うそ、英語、語話		
	文書	文書	メッセージ	2
		書物	本	
	文学	説話	話	2
		記録	記録	
	美術	絵画	絵、漫画	3
		写真	写真	
	音楽	音楽	音楽	1
	芸能	映画	アニメ ⁸⁹ 、映画	3
		舞踊	踊り	
娯楽	遊び	遊ぶ	9	
	見物	観光		
	旅行	旅行		
	スポーツ	試合、オリンピック、泳ぐ、サッカー、マラソン		
	球技用語	ゴール		
物品	物資	物品	もの、品物、荷物	5
		物資	材料	
		油	ガソリン	
	薬品	薬剤	麻薬	1
	食品	食物	食事、食べ物	7
		穀物	米	
		調味料	バター、チーズ	
		野菜	野菜	
	食品	飲料	たばこ	
	衣類	衣服	服	1
建物	建物	建物、校舎	5	
	部屋	部屋		
				37

84 「～月」の見出し語は「月(がっ)」。

85 「°C」の見出し語は「度」、「t」の見出し語は「トン(噸)」。

86 『明鏡国語辞典 第二版』には名詞として見出し語にある。

87 見出し語は「金(かね)」。

88 見出し語は「税」。

89 見出し語は「アニメーション」。

大分類	中分類	小分類	使用された語	語数	区分	使用された語	語数	
物品	建物	建物 ⁹⁰	壁	14	分類不能	補助動詞	いる、くる、いく、もらう、くださる、なる、しまう、おく	8
		建物	台			国名・地名	日本、東京、中国、アメリカ、ロシア、イスラエル、ドイツ、福島、広島、韓国、フランス、ガザ地区、パレスチナ、神奈川、ウクライナ、ブラジル、山梨、静岡、大阪、長野、栃木、岩手、品川、京都、北海道、新宿、群馬、香港、インドネシア、米、アルゼンチン、シエラレオネ、オランダ、シベリア、ギニア、スペイン、ネパール、ミャンマー、リビア、宮城	40
	家具	容器	つぼ			組織名	成田空港、東京電力、羽田空港、ハマス、全日空、理化学研究所、日本航空、春秋航空、国連、福島第一原子力発電所、WHO、スカイマーク、マクドナルド	13
	文具	本・巻物	本			固有名詞 (除:地名・組織名)	富士山、小保方、花子、坂本、おすたか、サルコジ、エルドアン、メルケル、ジョコ、STAP細胞、東日本大震災、MRJ	12
		人形	ロボット			接続詞	そして、しかし、また	3
	標識	貨幣	お金			その他	エボラ出血熱、インターネット、日本人、ワールドカップ、危険ドラッグ、熱中症、マンボウ、日本語、通信教育、ウェブサイト、イベント、ビル、パラリンピック、サイト、ATM、パスワード、ウォーターライダー、エルニーニョ、世界遺産、アート、ストーカー、脱法ドラッグ、デング熱	23
	工具	輪	車					
	機械	機械	機械					
			電気機			携帯電話、テレビ、ビデオ、スマートフォン ⁹¹		
		兵器	爆弾、原爆					
車両		車、バス、列車、車両、山車						
	航空機	飛行機、ヘリコプター						

(グレーは上位 300 語)

表 59 に示したとおり、上位 600 語で最も多い分類は上位 100 語・300 語と同様に [性状] であり 132 語あった。以下、多い順に [社会] の 101 語、[自然] 74 語、[行動] の 73 語、[変動] の 67 語、[心情] の 64 語、[学芸] の 57 語、[物品] の 37 語、[人物] の 30 語、[性向] の 28 語が挙げられる。上位 300 語で多くの語彙が含まれた意味分野は順に [性状]、[社会]、[変動]、[行動]、[自然]、[心情]、[学芸]、[人物]、[性向]、[物品] だったため、上位 600 語では上位 300 語と比較すると [変動] [人物] [性向] の順位が下がり、[行動] [自然] [物品] の順位が上がった。語数の多かった [性状] の分類から順にその特徴をみる。

最も多い分類である [性状] には上位 600 語全体の 20% 程度にあたる 132 語の語が含まれていた。[性状] の中分類で多いのは {位置} の「ところ・中心・西」等 34 語、{数量} の「兆・金額・半分」等 33 語、{時間} の「午後・いつも・将来」等 27 語である。20 語以下の中分類は {程度} の「最低・基準・ひどい」等 17 語、{価値} 「いい・大切・詳しい」等 13 語、{形状} の「形・点・小さい」等 10 語、{状態} の「症状・ひどい・危険」等 9 語、{類型} の「種類・特に・近い」等 6 語と {刺激} の「色・暑い・涼しい」等 4 語、{実質} の「強い・しっかり・新しい」3 語である。小分類で多いのは〈こそあど〉の「これ・どち

⁹⁰ 「建物」が属するのは小分類 940 (建物) で「人が住んだり物を置いたりするために建てたもの」と定義される。「壁」が属するのは小分類 942 (建物) で「部分 屋根・天井・床・柱・壁・窓など」と定義される。「台」が属するのは 943 (建物) で「付属 縁側・露台・廊下・階段など」と定義され、それぞれ別の分類である。

⁹¹ 「携帯電話」「スマートフォン」の見出し語は「電話機」。

ら・別」等 10 語、〈多少〉の「たくさん・少ない・大勢」等 8 語、〈数量〉の「度・量・金額」等と〈先後〉の「前・次・最後」等 7 語である。中分類については上位 100 語・300 語とほぼ同様の結果であり、ニュースで多く使用される〔性状〕の語彙の中でも、{位置} {数量} {時間} の 3 分類には高頻度で使用されていた語が特に多かった。

「もののある場所」と定義される {位置} の小分類〈前後左右〉〈上下〉〈内外〉〈周辺〉〈遠近〉などに特別の偏りもなくそれぞれ 3-5 語程度の語が属していた。こうした小分類の使用実態をみるため、まず小分類〈周辺〉の語が用いられた例を (323) に示す。〈周辺〉は「外れ・山間・真ん中・両端」などの語を擁する分類であり、上位 600 語では「間・周り・中心」の 3 語が該当する。(323) b では「中心・間」の 2 語が使用され、書き換え前のニュースでも「都心」という〈周辺〉に属す語が使用されていた。こうした〈周辺〉の語は (323) の都心に向かう新しい線を引く計画やヒートアイランド現象、オフィス街など大都市とその周辺地域を比較するようなニュースで目立って使用されていた。

(323) a. J R 東日本は、羽田空港の利用客増加を見込んで検討していた空港と東京都心^{下線部}を結ぶ新しい鉄道路線について、(後略)。(般: 176)

b. J R 東日本は 19 日、羽田空港と東京の中心地^{点線部}の間を走る新しい電車の線をつくる計画を発表しました。(や: 176)

(下線部: 高頻度上位 600 語の〈周辺〉の語、点線部: その他の〈周辺〉の語)

(324) に示すのは {位置} 〈方向〉に属す語の使用例である。一般ニュース (324) a では「東・西・南北」の 2 語が使用されていた一方、やさしい日本語ニュース (324) b では「東・西・南・北」の 4 語が使用されていた。こうした〈方向〉に関わる語は風の流れる方角や病気の流行している地域を伝える文脈などで多く用いられていた。

(324) a. 島の大きさは東西におよそ 1550 メートル、南北におよそ 1350 メートルで、(後略)。(般: 87)

b. 島の大きさは東から西が約 1550 m、南から北が約 1350 m になりました。(や: 87)

(下線部: 高頻度上位 600 語の〈方向〉の語、点線部: その他の〈方向〉の語)

また、{位置} には例示した〈周辺〉や〈方向〉のように相対的な位置を表す語のほか、多くの語を含む小分類〈こそあど〉も該当する。〈こそあど〉の語は代名詞が多く、上位 600 語中にも「その・これ・どこ」といった代名詞が多く含まれていた。ニュースにおける代名詞の使用は第二章「1.1.名詞」で記したように、名詞語彙全体からみればやさしい日本語ニュース・一般ニュースを問わずごく限られたものであった。しかし、意味分野でみると高頻度語彙として代名詞が多くあがっており、ニュースでは代名詞の総数は多くないものの高頻度で使用される代名詞は少なくないことがわかった。そうした代名詞を含む〈こそあど〉の語

は(325)のように使われており、(325) aで「商品の購入情報」「カーナビの位置情報」とされていたものがそれぞれ bでは「どこで何を買ったか」「今どこにいるか」といった〈こそあど〉を用いた表現に置き換えている例などがあつた。

(325) a. 全国の20代から60代の男女にビッグデータの活用について尋ねたもので、およそ1000人から回答を得ました。それによりますと、商品の購入記録やカーナビの位置情報などを企業が利用することについて、(後略)。(般:128)

b. 質問では、どこで何を買ったかや今どこにいるかなどの情報を、会社が利用することをどう思うか聞きました。(や:128)

(下線部: 高頻度上位600語の〈こそあど〉の語、点線部: その他の〈こそあど〉の語)

[性状]の中で{位置}に次いで多くの語が属す中分類は「物の数と量」と定義される{数量}であり、{数量}に属す語は〈数〉〈数量〉〈多少〉〈全部〉といった小分類に分けられる。このうち、〈数〉には「万・億・兆・1つ・3つ・5つ」が該当し、これらは数そのものを表す語である。また〈数量〉には「割合・数・回・量」などが該当し、ニュースでは(326)のように使用されていた。

(326) a. 1人当たりの可処分所得が一定レベルを下回り貧困状態にある家庭の子どもは、「インスタント麺などを週1回以上食べる」という確率が、貧困状態ではない子どもに比べて2.7倍に上ることが分かりました。(般:187)

b. 収入が少ない家庭の子どもは「インスタントの麺などを1週間に1回以上食べる」の割合が、ほかの子どもの2.7倍になることが分かりました。(や:187)

(下線部: 高頻度上位600語の〈数量〉の語、点線部: その他の〈数量〉の語)

上述した〈数〉や〈数量〉などの小分類に属す語は{数量}の語として認識しやすいが、実際は{数量}に属す語には「温度」「時速」のような小分類〈度〉の語や、〈多少〉〈有無〉〈全部〉に属す具体的な数字を示さずに数量を表す「みんな」「一部」「大勢」といった語も含まれている。(327)に「一部」「大勢」の使用例を挙げる。ここでは「一部」は「川の一部」を指しているが、ニュースの中では「背中の骨の一部」(や:24)、「飛行機の一部」(や:84)、「壊れた建物などの一部」(や:188)などいろいろな名詞とともに使用され、そうした名詞が表す事物全体ではなくその部分であることを示していた。「大勢」は既述のように大勢の人が集まったり、大勢の人が避難したりというように大多数の人がとっている行為を表す場面での使用が多かった。

(327) a. あゆのつかみ取りがおよそ20年ぶりに復活し、夏休み中の家族連れなどでにぎわいました。(中略)川の一部をせき止めていけすを作りました。(後略)。(般:132)

- b. 相模川の水を一部止めて、つかみ取りができるようにした場所に、夏休み中の家族などが大勢来ました。(や: 132)

[性状] で {位置} {数量} に次いで多くの語が得られた中分類は {時間} である。{時間} には小分類〈先後〉〈終始〉〈今昔〉に属す「最初」「将来」のような語に加え、〈常時〉〈遅速〉など時間に関するさまざまな語が含まれる。ニュースでは世論調査等を除いて時事が話題に上がることが多く、時事において時間関係を把握するのに {時間} の語彙は欠くことのできないものである。(328) に中分類 {時間} のうち小分類〈終始〉に該当する語の使用例を示す。やさしい日本語ニュース文 (328) b で使用された〈終始〉の語は「最後・最初」の2語、書き換え前の (328) a では「初めて・最終・新た・これまで」の4語である。〈終始〉の語はこのように計画や手順などを伝える文脈で多く用いられていた。

- (328) a. MR J は (中略) 初めての試験飛行を国内で来年4月にも行う計画ですが、最終段階となる特殊な気象条件での離着陸などの飛行試験を来年秋からアメリカで実施することが新たに決まりました。MR J は設計を一部見直したことなどから、これまで引き渡し時期の延期が相次いでいました (後略) 最終段階の飛行試験で問題がなければ現在の予定どおり、早ければ3年後の平成29年4月に第1号機が航空会社に導入される見通しです。(般: 53)
- b. MR J を航空会社に渡す前に、最後の飛行試験 (=客を乗せる前に安全などを確かめるために飛ぶこと) を来年秋からアメリカで行うことにしました (中略) 最後の飛行試験で問題がなかったら、最初のMR J はいちばん早い場合、2017年4月に航空会社に渡す予定です。(や: 53)

(下線部: 高頻度上位600語の〈終始〉の語、点線部: その他の〈終始〉の語)

[性状] の中分類 {程度} の語は上位301-600語の語は〈程度〉の「下・最低」、〈基準〉の「基準」、〈限度〉の「最低」、〈大変〉の「ひどい・少し」の異なり語数5語と少数である。しかし上位600語全体では16語の語が該当し、比較的語数が多い分類である。

大分類で2番目に多い [社会] は上位600語の約6分の1にあたる101語の語彙が該当する分類である。[社会] では [性状] の中分類のように20語を超える中分類はないが、比較的多くの語を含む分類としては {取引} の「銀行・売れる・赤字」等18語、{地域} の「地方・州・アフリカ」等17語、{集団} の「大会・会社・家庭」等16語が挙げられる。15語以下の分類としては、{施設} の「役所・高校・デパート」等14語、{報道} の「連絡・発表・広がる」等11語、{統治} の「環境省・規則・制裁」等9語、{社交} の「会う・招待する・紹介する」等8語、{習俗} の「式・宗教・お祭り」等6語、{処世} の「やめる・選挙・お祭り」等5語、{人倫} 「関係・不正」2語がある。小分類では〈都道府県〉の「県・州・都道府県」等8語、〈機関〉の「政府・警察・総務省」等5語が比較的が多い。

上位 600 語において最多の中分類は {取引} だが、{取引} は上位 100 語では 5 番目、上位 300 語では 2 番目に多い分類であり、{取引} は非常に高い頻度で用いられる語は多くはないものの比較的高い頻度で使用される語が多い分類だとわかった。{取引} に含まれる語彙は〈売買〉の「買う・売れる」、〈損得〉の「ため・赤字」、〈収支〉の「収支・収入」など売買・貿易など事物の取り引き関わる語彙が多い。{取引} の語の使用頻度が高かったのは (329) (330) に示す例のように企業の生産活動や売れ行きのよい製品や、輸出入や貿易収支等に関わる話題がニュースに取り上げられることが少なくなかったためである。

- (329) a. アメリカで自動車の販売が拡大していることを追い風に、SUV＝多目的スポーツ車を中心に販売台数を増やしたことなどによるものです。(般: 105)
- b. アメリカでも SUV というスポーツタイプの車などがよく売れました。(や: 105)
- (330) a. 財務省によりますと、輸出から輸入を差し引いたことし 1 月から 6 月までの上半期の貿易収支は 6 兆 1 1 2 4 億円の赤字と、半年間としては今の形の統計となった平成 8 年以降で最大になりました。(般: 137)
- b. 貿易収支では、1996 年から今まででいちばん大きな赤字になりました。(や: 137)
- (下線部: 高頻度上位 600 語の {取引} の語、点線部: その他の {取引} の語)

ただし、{取引} に属す語の中には売買や貿易等の事物のやり取りに関わる語ばかりではなく、(331) のように「賃金」「生活」など個人の生活と関連の深いと思われる語も含まれている。

- (331) a. 最低賃金は労働者の生活を守るため企業が最低限支払わなければならない賃金で、(後略)。(般: 102)
- b. 「最低賃金」は、働く人の生活を守るために会社などが払わなければならない賃金です。(や: 102) (下線部: 高頻度上位 600 語の〈経済〉〈賃金〉の語)

[社会] で 2 番目に多い中分類 {地域} では〈都道府県〉が多く、ここには具体的な地名は含まれないものの、実際は上位 600 語に 47 都道府県中およそ 3 分の 1 の 14 の都道府県名があった。また、上位 600 語では {地域} の上位 300 語までには該当する語がなかった小分類〈範囲〉「地域・地方」、〈村落〉「村・地方」の語が得られた。なお、{地域} は(164) に示したように「地方・町」のように場所に関連のある分類である。

- (164) a. 政府は (中略) 地方自治体が大会に参加する国や地域と交流事業を行う際に間を取り持つなど支援を行う方針です。(般: 73)

- b. 政府は、地方の市や町などとオリンピックに参加する国などとの交流を手伝います。市や町などに相手の国について教えたりします。(や: 73)

(下線部: 高頻度上位 100 語の {地域} の語、点線部: その他の {地域} の語)

しかし、場所に関連した分類としては {地域} のほかに前述の [性状] {位置} がある。{位置} では (332) の例のように事物の基準に対しての上下等の相対的な位置であるのに対し、[社会] の {地域} は (164) の例のように社会的に区分された行政地区を中心とした分類であるという違いがある。{地域} {位置} のいずれの中分類にも多くの高頻度語が含まれたことから、こうした場所に関連のある語がニュースでは必要とされていることがわかった。

- (332) a. フランス北西部にあるモンサンミシェルは、干潟の中の小島に築かれた修道院で、(中略) 最近では満潮時でもめったに海に囲まれる姿が見られなくなっていました。(般: 77)
- b. フランスのモンサンミシェルは小さい島の上にある修道院です。潮が満ちると海に浮かんでいるように見えます。(中略) 島の周りに土や砂がたまって、最近では潮が満ちても海に浮かんでいるように見えることが少なくなりました。(や: 77)

[社会] で 3 番目に多い中分類 {集団} には〈群集〉〈集会〉〈加入〉等に分類される「グループ」「参加する」「国」「大会」などの語が該当するが、例示した語はすべて上位 300 語までに位置する語である。上位 301-600 語に位置する語は「コンサート」1 語である。「コンサート」が高頻度語となったのは有名な指揮者が行ったコンサート、あるいは音楽家の活動の休止、過去の作曲家を偲んでのコンサートなどがニュースとして取り上げられていたためである。

大分類で 3 番目に多いのは [自然] の 74 語である。特別多くの語を含む中分類はなく、10 語以上含む分類は {暦日} 「秋・年度・先月」等 13 語、{物質} 「もの・氷・土砂」等 10 語の 2 分類である。10 語以下の分類は多い順に {地勢} の「鍾乳洞・沖・温泉」等と {動物} の「熊・恐竜・羽毛」等がそれぞれ 9 語、{生理} の「育てる・治療・熱」等と {物象} の「放射線・原子力・力」等がそれぞれ 8 語、{景観} の「畑・橋・線路」等が 6 語、{天文} の「宇宙・空・月」等と {気象} の「降る・台風・地震」等がそれぞれ 5 語、{植物} 「蓮・花・細胞」の 3 語であり、すべての中分類に 3 語以上の語が該当していた。

また、中分類の {暦日} の小分類には〈年〉が「ことし・半年・年度」等 8 語あり、{物質} では〈鉱物〉が「砂・ダイヤモンド・土砂」等 6 語あり比較的が多い。{暦日} の語は年月日や季節など時を表す語彙であり、[性状] の {時間} についても記したように、ニュースでは時を表す語彙が多用されていた。〈年〉の語は (333) b に示すように使用され、計画も含め、時事を伝える上で不可欠な要素である。

(333) a. 国土交通省は女性の技術者を配置することを条件とした公共工事のモデル事業を今年度から全国で実施するとしています。(般: 178)

b. 国土交通省は、女性が必ず参加する国の工事を2014年度から行う予定です。(や: 178)

〈鉱物〉は〈年〉とは違い時事による影響も受けて高頻度語彙に数多くの語が該当したと思われ、(334) b に示すような使用例があった。

(334) a. 島の3か所の火口から噴煙が上がっているほか、このうち2つの火口からは数分に1回の間隔で赤い噴石が吹き上がるなど活発な噴火活動が続いていました。(般: 87)

b. 噴火口から煙がたくさん出たり、赤い石が高く上がったりして、活発な噴火が続いていました。(や: 87)

大分類で4番目に多い分類は〔行動〕73語である。〔行動〕で比較的多い中分類は〔往来〕の「戻る・回る・残る」等15語であり、以下の分類は多い順に〔見聞〕の「展示・記録・読む」等、〔労役〕の「働く・活動・休む」等、〔操作〕の「運転・片付ける・運ぶ」等それぞれ10語、〔陳述〕の「話・相談する・説明する」等9語、〔授受〕の「もらう・選ぶ・つかみ取り」等7語、〔寝食〕の「生活・無人・食事」等6語、〔動作〕の「捕まえる・歩く・走る」等と〔生産〕の「直す・建てる・工事」等がそれぞれ5語、〔表情〕「声」の1語である。〔行動〕ではすべての中分類の語が得られたが、小分類には目立って多くの語を含む分類はない。中分類で最多の〔往来〕には〈往復〉の「戻る・帰る・向かう」等、〈出入り〉の「出る・入る」、〈乗降〉の「乗る・乗せる」など移動を表す語が多く、そうした語は(335)のように、人物の移動のほか航空機や鉄道の運航に関するニュースでも使用されていた。

(335) a. およそ560人を乗せた7両編成の「トーマス」列車が、島田市の新金谷駅からおよそ40キロ先の千頭駅に向けて出発しました。(般: 47)

b. 約560人が乗って、新金谷駅から出発しました。(や: 47)

大分類で5番目に多い〔変動〕の語彙は67語で、中分類は多い順に〔経過〕の「過ぎる・止まる・急ぐ」等14語、〔増減〕の「残る・減る・平均」等12語、〔情勢〕の「力・変える・直す」等11語、〔移動〕の「通る・離れる・飛ぶ」等10語がある。10語以下の中分類は〔離合〕の「離れる・取る・集まる」等と〔出没〕の「捕まえる・開く・かける」等それぞれ8語、〔関連〕の「関係・結果・似る」等7語、〔変質〕の「変わる・汚染・壊れる」等5語、〔動揺〕の「動く・止まる・止める」等4語、〔変形〕の「壊れる・崩れる・広がる」3語で、すべての中分類に3語以上の語が該当している。

なお、上位100語・300語でも既述のように、〔変動〕には多くの動詞語彙が含まれるという

特徴があり、この点は上位 600 語でも同様である。[変動]の中分類で最も語数の多い{増減}には〈生成〉「できる・作る・なくす」、〈増減〉「増やす・減る・たまる」などの語が含まれ、それぞれ(336)(337)のbに示すような使用例がある。

- (336) a. 国は国内のアニメ制作会社や出版社など 15 社と連携して、新たに海賊版サイトの大規模な駆除作戦に乗り出すことになりました。(般: 93)
- b. 国はアニメや本などを作っている日本の 15 の会社と「海賊版サイト」をなくす計画を作りました。(や: 93)
- (337) a. 新たな事業を収益の柱に育てられるのか注目されそうです。(般: 205)
- b. 会社の利益を増やすことができるかどうか注目が集まっています。(や: 205)

[変動]で{増減}に次いで多い中分類{経過}には〈開始〉「始める・始まる・終わる」や〈断続〉「続く・やめる・止まる」などの語が含まれ、〈開始〉〈断続〉の語はそれぞれ(338)(339)bに示すように使用されていた。

- (338) a. 大学教授ら有識者 7 人を委員とする書籍の選定委員会を設置し、(後略)。(般: 122)
- b. 大学の先生など 7 人が集まって、7 月から会議を始めました。(や: 122)
- (339) a. オバマ大統領は、必要であれば今後も空爆を続ける意向を示しており、(後略) 軍事作戦は長期化する可能性があります。(般: 140)
- b. 空爆などは長く続く可能性があります。(や: 140)

6 番目に多い大分類は[心情]の 64 語である。中分類は多い順に{思考}の「意見・比べる・容疑」等 18 語、{学習}の「研究する・検査・経験」等と{誘導}の「教育・避難する・助ける」等のそれぞれ 12 語である。10 語以下の分類では{闘争}の「決勝・勝つ・空爆」等 10 語、{意向}の「考え・祈る・待つ」等 7 語、{悲喜}の「気持ち・楽しむ・喜ぶ」等 5 語、{要求}の「協力する・決める・力」等 4 語、{感覚}「思う・気」と{愛憎}「デモ・虐待」それぞれ 2 語が順に多く、{栄辱}の 1 分類のみ該当する語がなかった。

[心情]の中分類で最多となった{思考}は上位 100 語でも最多の分類だが、上位 300 語では{学習}よりも語数が少なかった。しかし、上位 600 語では名詞を中心に複数の語が加わり、[心情]内の中分類に限らず、上位 600 語全体からしても比較的語数が多い中分類となった。{思考}の上位 301-600 語で特徴的なのは小分類〈信疑〉の語である。上位 300 語までに〈信疑〉の語はなかったが、上位 301-600 語では「容疑・確かめる・疑い」の 3 語が該当した。そうした語が使われた文脈としてニュースタイトル(340)bを例に示す。このように〈信疑〉の語は逮捕に関わる文脈で使用されることが最も多かったが、ほかに実験や搜索活動などでも使用されていた。

(340) a. “1000万件余を不正にコピー”で逮捕 (般: 65)

b. 会社の秘密の情報をコピーした容疑で男を逮捕 (や: 65)

[心情] に次いで7番目に多い大分類は [学芸] 57語である。中分類は {記号} の「文字・呼ぶ・t」等25語が目立って多い。{記号} を除けば [学芸] の中分類にはそれぞれ10語以下の分類しかなく、{娯楽} の「遊ぶ・観光・サッカー」等9語、{論理} の「もの・中心・理由」等6語、{言語} の「うそ・英語・話」等4語、{学術} の「科学・書く・作る」、{美術} の「絵・漫画・写真」、{芸能} の「アニメ・映画・踊り」がそれぞれ3語、{文書} 「メッセージ・本」と {文学} 「話・記録」がそれぞれ2語、{音楽} 「音楽」の1語がそれぞれの分類における高頻度語としてあがった。

また、中分類で語数が最多の {記号} では25語中19語が小分類 (単位) の語であり、そのうち「7月」等の月名が9語、記号やアルファベット表記の語が6語あった。先述のとおり [性状] の {数量} の語彙は上位600語に数多く含まれたが、そうした語彙は(341)(342)の例のように「数量+単位」形で使用されていた例が目立った。

(341) a. この海域の水温が、ことし3月ごろから上昇し始め、先月には平年より1度近く高くなったことなどから、(後略)。(般: 43)

b. ペルーの沖の海の温度は6月には1°Cぐらい高くなりました。(や: 43)

(342) a. 日本で初めて時速200キロを超えた「0系」と呼ばれる(後略)。(般: 62)

b. 0系は日本で初めて時速200km以上で走りました。(や: 62)

また、2番目に多い中分類の {娯楽} は9語のうち5語が「試合」「サッカー」など小分類 (スポーツ) の語であり、そのほかにも (球技用語) の「ゴール」も高頻度語彙に入った。

大分類で8番目に多いのは [物品] 37語である。中分類は多いものから順に {機械} の「機械・テレビ・爆弾」等14語、{食品} の「食事・バター・野菜」等7語、{物資} の「品物・材料・ガソリン」、{建物} の「校舎・部屋・壁」等それぞれ5語ずつ、{文具} の「本・ロボット」2語、{薬品} 「麻薬」、{衣服} 「服」、{家具} 「つぼ」、{標識} 「お金」、{工具} 「車」がそれぞれ1語で、すべての中分類に属す語があった。

語数が最多の中分類 {機械} には (車両) 「バス・列車」、(電気機具) 「テレビ・ビデオ」、(兵器) 「爆弾・原爆」といった物の名称が該当する。対象としたニュースでは「列車」や「原爆」を扱ったものもあり、そうしたニュースの場合、この分類の語彙を知っていなければ何がテーマなのかさえ把握できない可能性が高いが、[物品] の語彙は既述のように高頻度語の中でも非常に高い頻度で用いられていた上位100語などに該当する語は少なく、時事の影響を削除し、高頻度で使用される語を特定することは困難である。

9番目に多い大分類は [人物] 30語である。中分類の語数はすべて10語以下で、多い順に

{老若}の「男・少年・年寄り」等7語、{サービスの職業}の「警察官・学生・医者」等5語、{人称}「誰・自分・みんな」等、{親族}「家族・親・子ども」等、{仲間}「グループ・客・外国人」等、{地位}「大統領・知事・先生」等がそれぞれ4語、{役割}の「監督・エリート・選手」3語、{人物}の「人・専門家」2語で、{生産的職業}と{神仏}の2分類には該当する語がなかった。

大分類で最も語数が少ないのは[性向] 28語で、中分類では{体格}の「手・症状・遺体」等と{境遇}の「貧しい・危険・災害」等がそれぞれ8語、{才能}の「詳しい・記録・力」等4語、{心境}の「気持ち・心配・怖い」3語、{対人態度}の「一緒・大切」2語、{容貌}「目」、{姿態}「きれい」、{態度}「まま」、{性格}「強い」が1語ずつで、{身振り}に該当する語はなかった。なお、分類ができなかった語彙には「国名・地名」が40語あり、「組織名」も13語あった。

以上、やさしい日本語ニュースで高頻度で使用された上位600語について大分類で多くの語を含んだ分類から順に述べた。語数の多い大分類は、上位100語・上位300語と同じく[性状]である。

中分類では全体の5%の語を含む分類は上位100語は9分類、上位300語は3分類であったが、上位600(675)語では全体の5%(約33語)の語が該当する分類は[性状]の{位置}と{数量}の2分類に限られた。なお、この2分類は、上位100語・上位300語でも全体の5%以上の語が含まれていた分類である。

また、多くの語を含む中分類を9種類取り出す場合、上位100語では全体の5%、上位300語では全体の3%以上の語が含まれた意味分野が対象となるが、上位600語でも同様に使用頻度の高い意味分野を9分野挙げるとすれば、表60に示したような分類が挙げられ、1分野に含まれる語は最小の分類で16語(約2.4%)である。また、上位100語・300語と比べると、すべての分類で{位置}{数量}{時間}{程度}{地域}{集団}{記号}が共通し、{思考}は上位100語と、{取引}は上位300語と共通していた。

反対に、中分類に含まれる語が1語もないのは表61に示したように4分類あり、上位300語の19分類よりも大幅に少なかった。ただし、表62に示したように、それぞれの中分類に該当する語が2語以下(0語を含む)の分類は23分類あり、分類内に1-2

表60 16語(2.4%)以上の高頻度語を含む中分類(上位600語)

大分類	中分類
性状	位置、数量、時間、程度
心情	思考
社会	地域、集団、取引
学芸	記号

表61 高頻度語を含まない中分類(上位600語)

大分類	中分類
心情	栄辱
人物	生産的職業、神仏
性向	身振り

表62 高頻度語が2語以下の中分類(上位600語)

大分類	中分類
行動	表情
心情	感覚、栄辱、愛憎
人物	生産的職業、人物、神仏
性向	容貌、姿態、身振り、態度、対人態度、性格
社会	人倫
学芸	文書、文学、音楽
物品	薬品、衣服、家具、文具、標識、工具

語しか含まれない分類が全体 100 分類中の 4 分の 1 近くあることがわかった。こうした結果から、上位 100 語・300 語・600 語と、対象とする範囲を広げるにつれ、幅広い意味分野に属す語彙が該当するようになり、結果的に多くの語彙が属す意味分野を特定することが困難にはなるものの、中分類に含まれる語数が 0-2 語の分類は高い割合で存在していることから、高頻度で使用される語彙をあまり含まない分類を特定することは可能だと言える。

2. 難易度が高い語彙の意味分野

前節では高頻度語彙を上位 100 語・300 語・600 語で区切り、それぞれの語彙にどのような特徴があり、どのような意味分野の語が含まれているのかについて述べた。本節では前節と同じく高頻度語彙を上位 100 語・300 語・600 語に区切り、それぞれの語彙の中に含まれている難易度の高い語、すなわち 2 級・1 級・級外の語に限って取り上げ、難易度の高い高頻度語にはどのような語があり、どのような意味分野に属しているのかについて考える。

2.1. 上位 100 語（カバー率 43%）

やさしい日本語ニュースに高頻度で使用されていた語彙上位 100 (102) 語のうち、2 級以上の語は 19 語、20% 弱あった。19 語の内訳としては名詞が 17 語、動詞と副詞が 1 語ずつで、名詞のうち 5 語は国名・地名を表す固有名詞である。また、語種でみると和語 1 語、漢語 12 語、外来語 3 語、混種語 3 語であり、漢語が 60% 以上である。そして、19 語のうち『角川類語新辞典』（2012）の見出し語にない語は、固有名詞「日本・東京・中国・アメリカ・ロシア」の 5 語と「エボラ出血熱」の計 6 語である。本項ではこの 6 語を除く 13 語「土・物質・場所・可能性・約・被害・グループ・県・都・市・政府・情報・発表する」について述べる。まず、この 13 語の意味分野を表 63 に示し、上位 100 語の 3-4 級語彙の意味分野とその分布を比較する。

表 63 難易度別の高頻度語彙の意味分野（やさしい日本語ニュース上位 100 語中）

分類			語彙	
大	中	小	3-4 級	1-2 級, 級外
自然	暦日	年	ことし ⁹²	
	地勢	陸地		土(つち)
		山	山	
		海	海	
	生理	生死	亡くなる	
	物質	物質		物質
		水	水	
鉱物			土(つち)	

分類			語彙	
大	中	小	3-4 級	1-2 級, 級外
性状	位置	位置		場所
		こそあど	この ^②	
		前後左右	前 ^②	
		上下	高い	
		周辺	間(あいだ)	
		遠近	近く	
		形状	大小	大きな
	数量	数	万	

⁹² 表内の②などの丸数字は例示した語を含めた該当する分類の語数。

分類			語彙		
大	中	小	3-4 級	1-2 級, 級外	
性状	数量	有無	ある②		
		多少	たくさん③		
	実質	新古	新しい		
		時間	時間	とき②	
	先後		あと②		
	終始		初めて②		
	今昔		今③		
	状態	難易		可能性	
	価値	価格	高い		
		良否	高い		
	程度	程度	高い		
		大変	とても②		
		一層	もっと		
大体			約		
こんな	どう				
変動	移動	昇降	落ちる		
	離合	接続	取る②		
		出没	出し入れ	出す③	
	見え隠れ		出る②		
	変質	変質	なる②		
		増減	生成	作る②	
	増減		増える		
	情勢	発生	出る③		
		成否	できる②		
	経過	開始	始める②		
		到来	来る		
断続		続く②			
関連	因果	よる(因)			
行動	往来	去来	来る②		
		出入り	出る②		
	見聞	目撃	見る		
		提示	出す		
	陳述	発言	言う②		
		談話	話す		
	寝食	居住	住む		
	労役	実行	行う③		
	授受	徴収	取る		
		取捨	取る		
		所有	ある		
操作	使用	使う②			
生産	製造	できる②			
	耕作	作る			
心情	感覚	感じ	思う		
	思考	思考	考える②		
		判断	予定②		

分類			語彙	
大	中	小	3-4 級	1-2 級, 級外
心情	思考	認識	分かる	
		立案	計画	
	学習	調査	調べる	
		意向	意	思う②
	願望		思う	
	誘導	妨害		被害
人物	人称	自他	人	
		人	人	
	老若	男女	女性	
		少年	子ども	
	親族	子	子ども	
		仲間	仲間	
	主客		客	
	民衆		人	
人物	偉人	人		
性向	境遇	災難	事故	被害
	地域	場所		場所
		領土	国	
		都道府県		県、都、市
		世界	世界	
	集団	群集		グループ
		加入	入る	
		団体	会社	
		社会	世界	
		国家	国②	
	施設	仕事場	会社	
駅・港		駅		
住居		家		
統治	機関	警察	政府	
	裁判	調べる		
取引	損得	ため		
	収支	入る		
	貨財	お金		
報道	報道		情報	
	発表		発表する	
社交	出欠	出る		
学芸	学術	作品	作る	
		理由	ため	
	論理	目的	ため	
		記号	名称	言う
単位	%④			
物品	標識	貨幣	お金	
	工具	輪	車	
	機械	車両	車	
		航空機	飛行機	

表 63 に示したように、上位 100 語では難易度の高い 2 級以上の語が非常に少ない。ただし、少ないとはいえ、[変動] や [行動] のように 1 語も難易度の高い語がない大分類がある一方、[社会] のように高頻度語の数が多いとはいえ比較的多くの難易度の高い語を含む大分類もあり、難易度の高い語の分布には偏りがある。

表 64 は 10 の大分類に属す語の数と各分類での難易度の高い語の比率を示すものである。難

易度の高い語が属す大分類としては〔社会〕8語、〔性状〕3語、〔自然〕2語、〔心情〕〔性向〕〔人物〕それぞれ1語の順に語の数が多く、それぞれの分類には順に「被害・場所・県・都・市・グループ・政府・情報・発表する」、「場所・可能性・約」、「土・物質」、「被害」、「被害」、「グループ」が含まれていた。ただし、先述のようにそれぞれの分類に該当する上位100語の分布には偏りがあり、語数が多い分類が必ずしも難易度の高い語の割合が高い分類だとは言えない。

全体数に占める難易度の高い語の比率をみると、表64に示すように難易度の高い語の比率は〔性向〕50%、

〔社会〕40%、〔自然〕25%、〔人物〕20%、〔心情〕14%、〔性状〕12%の順に高く、〔変動〕〔行動〕〔学芸〕〔物品〕の4分類には上位100語内の語に難易度の高い語は1語もなかった。こうした実態より、分類内において難易度の高い語の数が多く、その比率も高い分類として〔社会〕を挙げることができる。また、語数はさほど多くはないものの、比較的比率が高い分類として〔自然〕がある。このため、上位100語の難易度が高い語を大分類でみた場合、〔社会〕と〔自然〕の分類に特徴があるとわかった。

中分類は、表63に示したように、〔自然〕には{地勢}「土」と{物質}「物質・土」の2分類、〔性状〕には{位置}「場所」、{状態}「可能性」、{程度}「約」の3分類、〔心情〕には{誘導}「被害」の1分類、〔人物〕には{仲間}「グループ」の1分類、〔性向〕には{境遇}「被害」の1分類、〔社会〕には{地域}「場所・県・都・市」、{集団}「グループ」、{統治}「政府」、{報道}「情報・発表」の4分類、全体で12分類に難易度の高い語が含まれていた。

これら12分類における難易度の高い語の数とその比率は表65に示すとおりである。12分類中9分類では難易度の高い語は1語しかないが、{物質}と{報道}では2語、{地域}では4語該当する語があった。また、大分類でも述べたように各分類内の高頻度語に占める難易度の高い語の比率にはばらつきがある。

{状態} {誘導} {報道}の中分類に属す語は分類内のすべての高頻度語が2級以上の難易度の高い語であったが、分類内の語は1-2語であり、多くはない。それでも、一つの意味分野に上位100語に含まれる語がわずか1-2語しかない中で、その語が例外なく難易度の高い語であることは一つの特徴と言えるだろう。

表64 難易度が高い高頻度語の数と比率（上位100語、大分類）

大分類	上位100語(語)		2級以上の比率
	すべて	2級以上	
自然	8	2	25%
性状	26	3	12%
変動	16	0	0%
行動	16	0	0%
心情	7	1	14%
人物	5	1	20%
性向	2	1	50%
社会	20	8	40%
学芸	7	0	0%
物品	3	0	0%

表65 難易度が高い高頻度語の数と比率（上位100語、中分類）

中分類	上位100語(語)		2級以上の比率
	すべて	2級以上	
地勢	3	1	33%
物質	3	2	67%
位置	8	1	13%
状態	1	1	100%
程度	6	1	17%
誘導	1	1	100%
仲間	3	1	33%
境遇	2	1	50%
地域	6	4	67%
集団	6	1	17%
統治	3	1	33%
報道	2	2	100%

また、中分類で難易度の高い語の数が多かった分類として {地域} が挙げられる。{地域} には上位 100 語のうち 6 語が属すが、そのうち 4 語、全体の 3 分の 2 の語が難易度の高い語である。加えて {物質} についても 3 語中 2 語が難易度の高い語である。そのため、高頻度語彙上位 100 語の中分類については該当する語すべてが難易度の高い語の {状態} {誘導} {報道}、分類内の 3 分の 2 が難易度の高い語の {地域} と {物質} が語の難易度の観点で注意が必要な意味分野だとわかった。

小分類では表 63 に示したように、難易度の低い語と難易度の高い語が併存している分類はほとんどない。ただし例外が 2 例あり、[性向] {境遇} 〈災難〉の「事故」と「被害」、[社会] {統治} 〈機関〉の「警察」と「政府」では難易度の低い語と高い語が同分類内に併存していた。こうした結果から、やさしい日本語ニュースの高頻度語彙において難易度の低い語が分布する小分類で高頻度で使用される難易度の高い語は限られているものの、全くないとは言えないことがわかった。なお、小分類で 2 語以上の難易度の高い語を含む分類は一つで、[社会] {地域} の〈都道府県〉である。

続いて、上述の大分類・中分類・小分類における高頻度上位 100 語の分布を図 47 に示す。図 47 は大分類 10 種類をそれぞれ別のグラフに表し、『角川類語新辞典』(2012) の提出順に左から各大分類内の 10 種類の中分類を並べ、さらに小分類内に含まれる語の全体数を白地に黒の枠線、難易度の高い 2 級以上の語の数を黒塗りの面グラフで表したものである。

ただし、図 47 に示すグラフは実際には面の形ではない。面グラフが面の形をとらなかったのは、それぞれの中分類に属す 10 種類の小分類のうち、高頻度の語を含む小分類がごく一部に限られており、隣接する小分類が続けて高頻度の語を含むような分類がほとんどなかったためである。高頻度語が含まれる分類は図 47 に示すように点在しているが、大分類によって、高頻度語が属す中分類や小分類の数およびその広がりや大分類内の高頻度語の数の違いはさまざまである。

図 47 に示す高頻度語のうち、黒塗りにした 2 級以上の難易度が高い高頻度語の有無を大分類ごとにみると、難易度が高い 2 級以上の語を含んでいる大分類は [自然] [性状] [心情] [人物] [性向] [社会] の 6 分類あった。このうち [自然] [性状] [社会] の 3 分類は難易度が高い語が含まれていた小分類は 1 種類ではなく、複数の意味分野にまたがって分布していた。そして、表 65 にも示したように {物質} {地域} {報道} の 3 種類の中分類には難易度の高い語が複数語あり、中でも {地域} には難易度の高い語が 4 語含まれ、ほかの分類と比べ難易度が高い高頻度語の数が多かった。

しかし、中分類内に含まれる難易度の高い語が 1 語であるか複数であるかということと同じ中分類内に高頻度で使用される難易度の低い語が併存しているかということとの関連はなく、表 65 にも示したように、難易度が高い語がある 12 種類の中分類のうち 9 種類の分類には難易度の低い語も含まれていた。それでも、先にも述べたように、同一の小分類内に難易度の高い語と低い語の高頻度語が併存している分類は極めて少なかった。

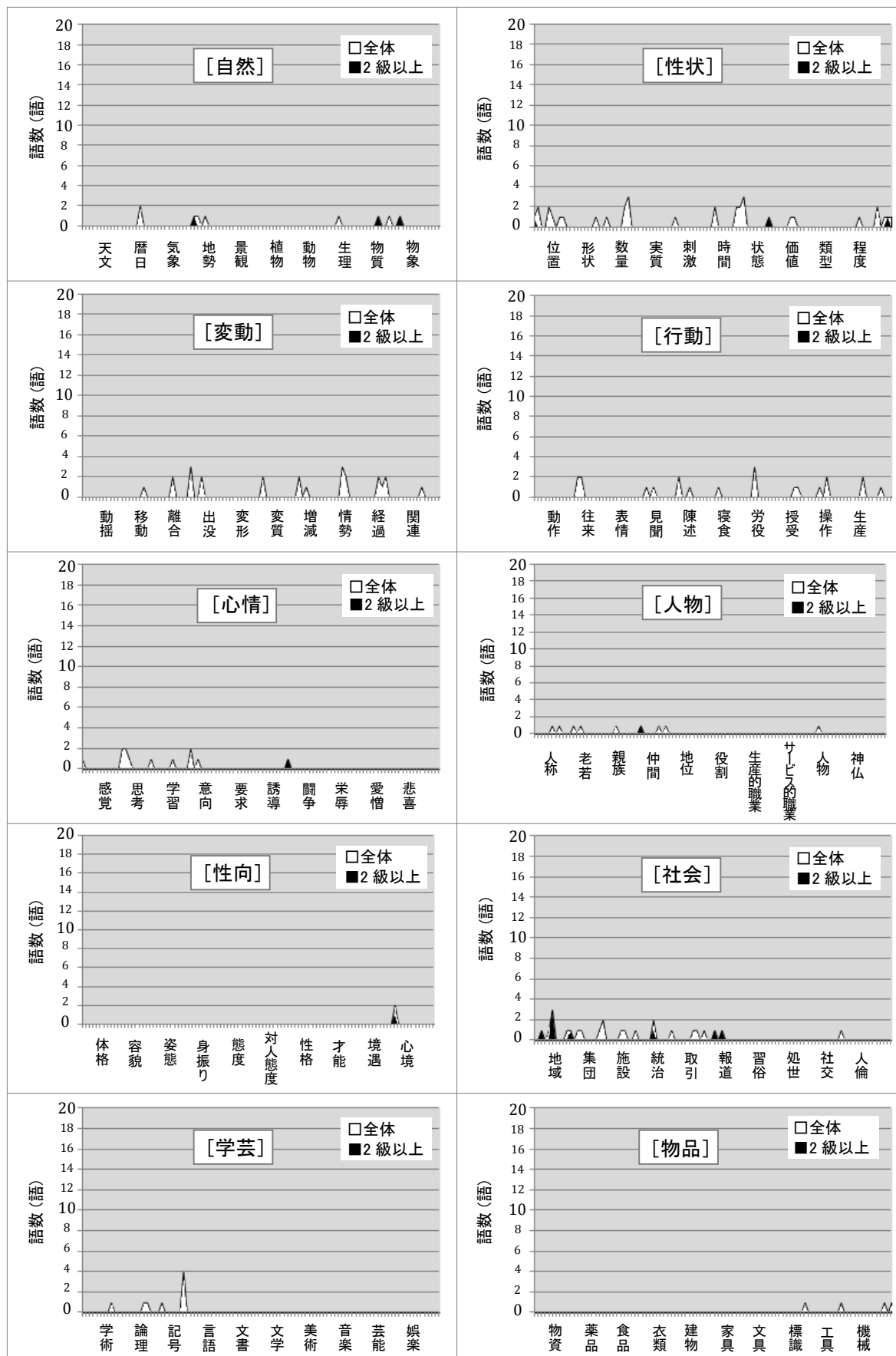


図 47 やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位 100 語の分布

ここでは、一つの小分類内には難易度の低い高頻度語か難易度の高い高頻度語のどちらか一方しかないことが大半だという結果について考える。難易度の低い語が高頻度語としてあがることは、3-4級語彙での書き換え原則があるため特別なことではない。しかし、書き換え対象とされているはずの難易度の高い語が高頻度語としてあがったことには難易度の低い語を使って書き換えられなかった理由があるはずである。

第二章の「やさしい日本語ニュースと一般ニュースの語彙特徴」で繰り返し示したように、やさしい日本語ニュースへの書き換えは常に1語1語が対応しているわけではない。しかし、(343)に示すように、(343) aの「書籍」が(343) bの「本」に対応するような難易度が高い語から難易度が低い語への書き換えもあり、これらの「書籍」「本」はいずれも同じ小分類、[学芸] {文書} 〈書物〉に属す語である。

(343) a. 対象とする書籍を選ぶことにしています。(般: 122)

b. どの本を翻訳するか選ぶため、(後略)。(や: 122)

こうしたことから、難易度の高い語が高頻度語にあがった一因として、同じ小分類に書き換え可能な難易度の低い語がなかった可能性が考えられる。そのため、難易度の高い高頻度語が属す15種類の小分類内には3-4級の語が含まれているのか、また含まれている場合、具体的にどのような語が含まれているのかをみる。表66に難易度の高い語と同じ小分類に属す難易度の低い語を示す。

表66 難易度が高い高頻度語と小分類内の難易度が低い語(上位100語)

大分類	中分類	小分類	上位100語	小分類内の3-4級の語 ⁹³	
自然	地勢	陸地	土		
		物質	物質		
	物質	鉱物	土	石、砂	
性状	位置	位置	場所	所、点	
	状態	難易	可能性	難しい、無理、易しい、簡単、駄目	
	程度	大体	約	大体、殆ど、位、程	
心情	誘導	妨害	被害	邪魔、故障、開く(ひら)、逃げる	
人物	仲間	仲間	グループ		
性向	境遇	災難	被害	事故、大事	
社会	地域	場所	場所	所、席、会場、住所、先(さき)	
		都道府県	県、都、市	村(むら)	
	集団	群集	グループ	集まる、集める、寄る	
	統治	機関	政府	警察	
	報道	報道	情報	情報	ニュース、知らせる、案内、連絡、放送
		発表	発表	発表する ⁹⁴	

⁹³ 本節では『角川類語新辞典』(2012)の見出し語を取り上げる場合、その表記に従うが、ニュースで使用された語について述べる場合にはニュースでの表記に従っている。そのため、本節では「殆ど」「ほとんど」のように表記に揺れが生じている。

⁹⁴ 『角川類語新辞典』の見出し語は「発表」。

表 66 に示したように、難易度が高い語が属す 15 種類の小分類のうち、4 分類〈陸地〉〈物質〉〈仲間〉〈発表〉には 3-4 級の語は 1 語もない。このことから、3-4 級の語を初級の語だと仮定した場合、初級で学習する語が全く含まれていない意味分野が存在すること、初級の語が含まれていない以上、初級段階ではテーマに上らない語彙群が属す意味分野が存在すること、そうした意味分野の中にはニュースで高頻度で使用される語が属す分類もあることがわかった。このように、ニュースで頻出する語が属す意味分野でありながら初級で学習する語が 1 語もないという実態がニュースを日本語学習初期の段階から導入することを困難にしている一因とも言えるだろう。

ただし、上述の 4 分類〈陸地〉〈物質〉〈仲間〉〈発表〉を除く、残りの 11 分類には 3-4 級の語が 1 語以上あった。同一の小分類内に難易度が低い語がありながら、なぜ難易度の高い高頻度語が同分類内の難易度の低い語に置き換えられていなかったのかについて考えたい。

まず、[自然] {物質} 〈鉱物〉の 2 級の語「土」と 3-4 級の語「石・砂」について考える。〈鉱物〉は「岩石などを造っている天然の無機物」（『角川類語新辞典』2012）と定義される分類であり、「土・石・砂」の間に共通点が認められ、これらの語の関係としては同位関係、類縁的關係などが考えうる。しかし、これらは (343) に示した「書籍」と「本」の組み合わせとは異なり、意味するものがそれぞれに異なっており、(126) b の「土」を仮に「石・砂」で置き換えようとする、「砂」では語が重複し「石」ではニュースが伝えている内容を変えてしまうことから置き換えは不可能である。

(126) a. 干潟に土砂が堆積し、潮の流れが妨げられるようになったため、最近では満潮時でもめったに海に囲まれる姿が見られなくなっていました。（般: 77）

b. 島の周りに土や砂がたまって、最近では潮が満ちても海に浮かんでいるように見えることが少なくなりました。（や: 77）

〈鉱物〉の「土・石・砂」と同様に、同位関係、あるいは類縁的關係などにあると思われ、置き換えができない語としては、[性向] {境遇} 〈災難〉の「被害」と「事故・大事」や、[社会] {統治} 〈機関〉の「政府」と「警察」などが挙げられる。そのほかの語の置き換えが困難だと思われる組み合わせとしては、[性状] {状態} 〈難易〉の「可能性」と「難しい・駄目」や、[社会] {集団} 〈群集〉の「グループ」と「集まる・集める・寄る」などが挙げられる。これらの分類では分類内に難易度が低い語があるとはいっても、高頻度語に挙げた語とは品詞が異なるもの、[性状] {状態} 〈難易〉の「可能性」と「駄目」のように、語の関係を推測するのさえ困難なものなどがあつた。

表 66 のリストからこうした置き換えが困難だと思われる語の組み合わせを除外したとき、難易度が低い語に置き換えが可能かと思われる難易度の高い高頻度語が「場所」と「約」の 2 語、3 分類あつた。「場所」は [性状] {位置} 〈位置〉と [社会] {地域} 〈場所〉に属す

語で、ここでは難易度が低い語である「所・点」と比較する。もう1語の「約」は〔性状〕〔程度〕〈大体〉に属す語で難易度が低い語である「大体・殆ど・位・程」と比較する。

まず、「場所」と「所（・点）」の組み合わせについて述べる。先に記したように、やさしい日本語ニュースの中で「場所」は〔性状〕の〈位置〉と〔社会〕の〈場所〉の意味で使用されていた。使用例としては、(344) (151) の b に示すようなものがある。

(344) a. スタート台に立つまでに264段の階段を上ります。（般: 42）

b. 階段を264段上がって、滑り始める場所まで行きます。（や: 42）

(151) a. スタンプは、製糸場をはじめ、世界遺産に登録された3つの史跡のほか、周辺の観光施設
や道の駅など合わせて20か所に設置されています。（般: 13）

b. スタンプは、富岡製糸場の周りにある観光地など20の場所に置いてあります。（や: 13）

『角川類語新辞典』では〈位置〉の「場所」については「物事のある所。行われる所」と定義されており、「物事」をコトと解釈すれば、(344) がその使用例にあたる。ただし「物事」をコトやモノと解釈すれば(344)に限らず(151)も該当する。〈場所〉の「場所」については詳細な定義がないが、小分類〈場所〉は「存在したり行われたりする所」と定義されており、(344) (151) とともに該当する。以下、「所・点」と「場所」と語の関係について「所」、「点」の順に述べる。

「所」は〈位置〉では「もののある所」（『角川類語新辞典』）との定義があるが〈場所〉では詳細な語の定義はない。ただし、上述のように小分類〈場所〉には「存在したり行われたりする所」という定義がある。こうした〈位置〉〈場所〉の「所」のもつ意味領域は上述の同分類内の「場所」が持つ意味領域とほぼ同じだと考えられる。

そこで、例文をみると(344)では「滑る始める場所」を「滑り始める所」に置き換えても、ニュースが伝える情報が変わるようには思われない。このように「場所」の「所」への書き換えが可能かと思われる文脈としては、やさしい日本語ニュースの中でほかに「涼しい場所で休む」（や: 8）「別の場所で授業を受ける」（や: 169）などがあつた。

一方、(151)については「観光地など20のところ」とした場合、多少不自然さがある。これは『明鏡国語辞典 第二版』で空間的な意味としての「所」は「《連体修飾を受けて》物が置かれたり事が行われたりする、具体的な場所」と定義されていることから、(151)の「場所」は連体修飾を受けていないことから用法的な不自然さを拭えなかったものと考えられる。実際、やさしい日本語ニュースで使用された空間的な意味での「ところ」は(345)に示すようにすべて連体修飾を受けて使用されていた。

(345) a. マウスは当初、電気刺激の体験を思い出すと脳の中で「怖い」という感情を示す領域が活性化していましたが、（後略）。（般: 208）

- b. 電気ショックの経験を思い出したマウスは、初めは脳の「怖い」という気持ちを示すところが活発になっていました。（や: 208）

ただし、やさしい日本語ニュースではひらがな表記の「ところ」だけではなく、漢字表記の「所」も使用されており、「ところ」と「所」の使用傾向は異なっていた。「所」は(346)のようにすべて「長さの単位+の所」の形で使用されていた。

(346) a. 研究グループが地表から1メートル50センチで気温を測定すると（後略）。（般: 118）

b. 研究グループが地面から1m50cmの所の気温を調べると（後略）。（や: 118）

また、「点」は小分類〈位置〉の中で「指し示した所。話題の箇所」（『角川類語新辞典』）と定義されている語であり、その意味する範囲は上述の「場所」の定義よりも狭い。しかし、例文(344)(151)の「場所」との関係を考えてみると、(151)の「観光地など20の場所」の「場所」は「話題の箇所」とも考えられるが、「観光地など20の点」と置き換えると日本語の自然さに問題がある。このように〈位置〉の「点」は「場所」よりも意味の範囲が狭い語であることもあり、〈位置〉としての「点」が対象としたニュース用いられていたのは、複合語の「交差点」の語基に限られ、「点」1語での使用例はなかった。ただし、形状、あるいは得点を表す〈点〉や〈数量〉の「点」はやさしい日本語ニュースの中でも使われていた。

続いて、やさしい日本語ニュースで多用された2級の語「約」と3-4級の語「大体・殆ど・位・程」について記す。これらの語は『角川類語新辞典』の〈大体〉の分類内で「約」は「大体。およそ」、「殆ど」は「大部分。その状態であるかないかのぎりぎりのさま。『ほとんど』の転」、「位」は「およその数量を示す。『ぐらい』とも」、「程」は「…くらい（見当）。大体」という定義や説明がある。また、「大体」には詳細な語の定義はないが、小分類〈大体〉は「物事のあらまし」と定義されている。こうしたそれぞれの定義には共通点が多いが、やさしい日本語ニュースで多用されたのは難易度の低い語である「大体・殆ど・位・程」ではなく、2級の語「約」である。「約」は繰り返し述べてきたようにやさしい日本語ニュースにおいては非常に特徴的な語で、(12)に示したように「およそ」や「程度」などの書き換え語として多用されていた。

(12) a. ひょうは、およそ3分間、集中的に降ったということです。（般: 5）

b. 一部の場所で約3分の間、ひょう（＝小さな氷の塊）が強く降りました。（や: 5）

他方、難易度の低い4語のうち「大体・程」の2語はやさしい日本語ニュースでの使用例はない。なお、一般ニュースでも「大体」は使用されていないものの「ほど」は49回使用されていた。そして、「殆ど」はやさしい日本語ニュース・一般ニュースともに概数を表す目的

では用いられておらず、「ほとんどの世代で」（や: 107）、「ほとんどが1年生の授業」（や: 138）のように用いられていた。「ぐらい」は(347) bのように数字と用いられているが、「ぐらい」は「約」ほどには多用されておらず、やさしい日本語ニュースにおいて数字とともに用いられたのは31回であった。

- (347) a. クマは体長1メートル50センチほどで男性を襲ったあと山へ（後略）。（般: 114）
 b. 熊は1m50cmぐらいの大きさで、男性をひっかいたあと山へ（後略）。（や: 114）

こうした「場所」や「約」の例から、難易度が高い高頻度語の中には、同じ小分類内の難易度が低い語での書き換えが可能ではないかと思われる語が一部あることがわかった。しかし、難易度が高い語でありながら高頻度で使用された語の多くは、同一の小分類内に難易度が低い語がなかったり、難易度が低い語があっても書き換え語として適当ではない場合が大半であることがわかった。

以上、やさしい日本語ニュースので使用された上位100語の中の難易度の高い語19語のうち、意味分野が特定できる13語についてみた。大分類では難易度の高い語の数が多くその比率も高い[社会]と[自然]、中分類では分類内の語すべてが難易度の高い語の{状態}{誘導}{報道}および分類内の3分の2が難易度の高い語の{地域}と{物質}、小分類では〈都道府県〉がやさしい日本語ニュースの高頻度語彙上位100語内で特徴的に難易度が高い語が含まれていた分類である。

2.2. 上位300語（カバー率63%）

やさしい日本語ニュースで使用された上位300(310)語のうち、難易度の高い語は81語ある。この81語という語数は高頻度語彙上位100語中19語の約4倍である。こうした結果、高頻度語彙全体に占める難易度の高い語彙の比率も異なり、上位100語では難易度の高い語彙が全体に占める比率は20%弱だったのに対し、上位300語では25%強であり、高頻度語彙全体に占める難易度が高い語彙の比率は上位100語よりも高かった。

上位300語のうち難易度の高い80語の内訳をみると、名詞70語、動詞9語、副詞2語であり、圧倒的多数(約88%)が名詞である。語種では和語14語、漢語39語、外来語16語、混種語12語であり漢語がおよそ半分(約49%)である。上位100語では漢語がおよそ60%を占めたが、上位300語ではその比率が10%程度小さくなっていた。反対に目立って増えたのは和語であり、上位100語では難易度が高い語として1語(約5%)しか該当しなかったが、上位300語では14語(約17%)となっていた。

なお、81語の中には『角川類語新辞典』（2012）では意味分野による分類ができない語が29語あり、そのうち23語は固有名詞、6語は普通名詞であった。固有名詞は使用頻度の高い

順に「日本、東京、中国、アメリカ・ロシア、イスラエル、ドイツ、福島、広島・成田空港・東京電力、富士山、韓国・羽田空港、フランス、ガザ地区・パレスチナ・神奈川、ウクライナ・小保方、ブラジル・山梨・ハマス」の23語、普通名詞は使用頻度の高い順に「エボラ出血熱、インターネット、日本人、ワールドカップ、危険ドラッグ、熱中症」の6語である。ここでは81語のうち、『角川類語新辞典』で意味分野の特定ができない名詞29語を除く52語について述べる。まず、その意味分野を高頻度上位300語内の難易度の低い語と併せて表67に示す。

表67 難易度別の高頻度語彙の意味分野（やさしい日本語ニュース上位300語中）

分類		語彙		
大	中	小	3-4級	1-2級, 級外
自然	天文	朝夕	朝	
		昼夜	夜	
	暦日	夏	夏	
		年	とし ⁹⁵	
		月	今月	
		日	日(ひ)	
	気象	雨	雨 ^②	
		天変地異	地震	津波
	地勢	陸地		土(つち)
		山	山	
		海	海	
		川	川	
	島		島	
	景観	道路	道 ^②	
	動物	魚介	魚	ウナギ
		生理	生死	亡くなる ^②
			発病	けが
	呼吸		呼吸	吸う
		物質	物質	
水			水	
鉱物			土(つち)	
物象	光		放射性 ⁹⁶	
	力		原発 ⁹⁷	
	電気	電気	発電	
性状	位置	位置		場所
		こそあど	この ^⑦	
		内外	上(うえ) ^②	地下
		前後左右	前 ^③	
		上下	高い ^②	
		周辺	間(あいだ) ^②	
		遠近	近く ^②	
	形状	点・線	線	
		長短	長い	
		大小	大きな ^②	
分類		語彙		
大	中	小	3-4級	1-2級, 級外
性状	数量	数	万 ^④	
		数量	割合 ^②	数
		有無	ある ^③	
		多少	たくさん ^⑥	
		全部	全部 ^②	
	実質	強弱	強い	
		新古	新しい	
	刺激	冷温	暑い	
		喧騒	大きい	
	時間	時間	とき ^②	
		時刻	場合 ^②	
		期間	長い	
		先後	前 ^⑤	
		終始	初めて ^②	
		今昔	今 ^③	
	状態	状態	場合 ^②	
		過激	強い	
		安危	安全	
		難易		可能性
	価値	価格	値段 ^③	
良否		よい ^③		
適不適		よい ^②		
有用		必要		
	類型	種類	いろいろ	種類
		系統		システム
同一		同じ		
程度	程度	高い ^③		
	限度	いちばん ^②	最も	
	大変	大きな ^③		
	細大	大きい		
	一層	もっと		
	大体		約	
こんな	どう			
変動	動揺	運動	踊る	

⁹⁵ 表内の⑤などの丸数字は例示した語を含めた該当する分類の語数。

⁹⁶ 見出し語は「放射」。

⁹⁷ 見出し語は「原子力」。

分類			語彙	
大	中	小	3-4 級	1-2 級, 級外
変動	移動	進退	走る	
		昇降	落ちる④	
		飛翔	飛ぶ	
		流動		流れる、流す
	離合	付着	つける(付)	
		接続	取る②	
		集散	集める②	
	出没	出し入れ	出る④	
		見え隠れ	出る②	
		開閉	開く(ひら)	
	浸透	浸透	吸う	
		浸透		
	変形	破壊	壊れる	
		変質	する②	
	変質	変質	する②	
		強化	壊れる	
	増減	生成	できる②	
		増減	増える	増やす
		加除	つける(付)	
		包含	入れる	
	情勢	情勢	場合	
		発生	出る④	
		成否	できる②	
	経過	過程	まま	
		開始	始める③	
		到来	来る	
		断続	続く③	
関連	関係	関係		
	因果	よる(因)②	結果	
	影響	関係②		
行動	動作	手の動作	持つ	
		足の動作	踊る	
		疾走	走る	
	往来	往復	行く②	
		去来	出る②	
		出入り	出る②	
		乗降	乗る	
		逃亡	逃げる	
	見聞	目撃	見る②	
		聴取	聞く	
		提示	出す	
		書き	書く	
	陳述	発言	言う②	
		談話	話す	
		相談	相談②	
		問答	聞く	
	寝食	生活	生活	
		居住	住む	
		食事	食べる	
		装い	着る	
	労役	実行	できる④	
		仕事	仕事	
		職業	仕事	
	授受	授受	もらう	
		徴収	取る	
		取捨	取る	

分類			語彙	
大	中	小	3-4 級	1-2 級, 級外
大行動	授受	集配	集める	
		所有	ある②	
	操作	使用	使う②	
		設置	置く	
		運搬	送る③	
		打撃		撃つ
	生産	製造	できる②	
		土木		工事
		耕作	作る	
	心情	感覚	感じ	思う②
思考			思う②	
思考		判断	考える④	
		認識	分かる②	
		立案	計画	
学習		練習		訓練
		研究	研究	
	調査	調べる	調査	
	搜索	見つかる③		
	試験		実験	
意向	出題	問題		
	意	思う②		
	願望	思う		
	注意	心配		
要求	奮起	元気		
	協力		協力する	
	約束	決める		
誘導	権利	持つ		
	指導	教える		
	妨害	逃げる	被害	
闘争	保護		守る	
	闘争	戦争	戦い	
	競争	試合	戦い	
悲喜	討伐		守る	
	安心	心配		
人物	人称	自他	人	
		人	人②	
	老若	男女	女性②	
		少年	子ども	
	親族	家族	家族	
		子	子ども	
	仲間	仲間		グループ
		主客	客	
		民衆	人	
		国民	外国人	
地位	治者		大統領、首相	
	師弟	先生		
役割	担当者		監督	
	選手		選手	
サービスの職業	教育者	先生		
	人物	偉人	人	
性向	体格	第一人者	専門家	
		身体	体	
		健康	元気	

分類			語彙		
大	中	小	3-4 級	1-2 級, 級外	
性 向	体格	病気	病気②	がん	
	態度	積極的	まま		
	対人態度	有縁	一緒		
	性格	剛健	強い		
	才能	力	強い		
	境遇	貴賤	有名		
		安否	安全		
災難		事故	被害		
心境	安心	心配			
社 会	地域	場所	会場	場所	
		領土	国		
		都道府県		県、都、市、区	
		都会	町(まち)		
		世界	世界		
	集団	群集	集める②	グループ	
		集会	会	大会	
		加入	入る	参加する ⁹⁹	
		団体	会社②		
		軍隊		軍	
		党派		チーム	
		家庭		家庭	
		社会	世界		
	国家	国②			
	施設	施設	置く		
		公共施設	病院		
		仕事場	会社		
		駅・港	駅②		
		住居	家		
		店舗	店		
	統治	機関	警察	政府、 厚生労働省	
		裁判	調べる		
	取引	経済	生活		
取引		輸出する			

分類			語彙	
大	中	小	3-4 級	1-2 級, 級外
社 会	取引	売買	売る②	
		騰落	上がる②	
		損得	ため	
		収支	入る	
		貨財	お金 ⁹⁸	
	報道	報道		情報
		伝達	伝える	
		発表		発表する
		流布		流す
	習俗	伝承	伝える	
		文化	文化	
	処世	出処進退		やめる(辞)
		任免	送る	
社交	交際	国際		
	出欠	出る		
人倫	間柄	関係		
学 芸	学術	著作	書く	
		作品	作る	
	論理	理由	原因②	
		目的	ため	
	記号	名称	言う②	
		番号	いちばん	
		単位	% ¹⁴	
	美術	絵画	絵	
		写真	写真	
	芸能	映画		アニメ ¹⁰⁰
娯楽	旅行	旅行		
	スポーツ	試合	オリンピック	
物 品	建物	建物	建物	
	標識	貨幣	お金	
	工具	輪	車	
機械	電気機具		携帯電話 ¹⁰¹	
	車両	車②	列車	
	航空機	飛行機		

表 67 に示したように、高頻度語彙上位 300 語においても、上位 100 語と同様に難易度の高い 2 級以上の語は難易度の低い 3-4 級の語と比較した場合少ない。しかし、上述のとおり、高頻度語彙を上位 100 語から上位 300 語へと対象とする語を 3 倍にしたところ、その中に含まれる難易度の高い語は 4 倍になり、その割合は高くなっていた。上位 300 語に該当する語彙を意味分野で分類すると、上位 100 語では大分類の中に難易度の高い語が 1 語も含まれていない分類は [変動] [行動] [学芸] [物品] の 4 分類あったが、上位 300 語では 10 種類すべての大分類に難易度が高い語が含まれていた。

⁹⁸ 見出し語は「お金」。

⁹⁹ 「する」を除く表内サ変動詞の見出し語はサ変名詞(例:「協力する」の見出し語は「協力」)。

¹⁰⁰ 見出し語は「アニメーション」。

¹⁰¹ 見出し語は「電話機」。

ただし、語数には分類ごとに大きな違いがあり、難易度の高い語が多く含まれた大分類は表 68 に示すように、順に [社会] の「大会・参加する・家庭」等 17 語、[性状] の「数・システム・最も」等 8 語、[自然] の「津波・ウナギ・発電」等と [心情] の「調査・戦い・守る」等それぞれ 7 語である。5 語以下の分類としては [人物] の「グループ・首相・選手」等 5 語、[変動] の「流れる・増やす・結果」等 4 語、[行動] の「撃つ・工事」と [性向] の「がん・被害」、[学芸] の「アニメ・オリンピック」[物品] 「列車」のそれぞれ 2 語が挙げられる。

上位 100 語と比較し、大きな違いが出た分類は [心情] と [人物] であり、上位 100 語ではどちらも 1 語しか難易度の高い語がなかったが、300 語ではそれぞれ 7 語・5 語あり、比較的多かった。そのほかには難易度の高い語を多く含む分類の順序は大きくは変わらず、上位 100 語でほかの分類を大きく上回る難易度の高い語が該当した [社会] は上位 300 語でも同様にほかの分類と比べ、桁違いに多い。また、上位 100 語で 2-3 語の難易度の高い語があった [性状] と [自然] には上位 300 語でも比較的多くの難易度の高い語があり、[性状] が [自然] よりも 1 語多いという点も上位 100 語・上位 300 語で共通していた。

高頻度語彙上位 300 語の意味分野での広がりを見ると、それぞれの大分類に均一に分布しているのではなく、それぞれの大分類に該当する語数は表 68 に示したように 7 語から 69 語まで大きな開きがある。このため、先に述べた難易度の高い語を多く含む分類であっても必ずしもその分類における難易度の高い語の比率が高いとは限らない。実際、表 68 に示したようにそれぞれの分類で最も難易度の高い語の比率が高いのは語数が最多の [社会] だが、[社会] 以下、難易度の高い語の比率が高い分類は語数が多い分類とは異なり、比率が高い順に [人物] 33%、[物品] 29%、[心情] 24%、[自然] 21% である。20% 以下の分類は [性向] 15%、[性状] 12%、[変動] 10%、[学芸] 7%、[行動] 5% である。

この比率を上位 100 語と比べた場合、上位 300 語のほうが難易度の高い語彙の比率が大きいのは [変動] (0%から 10%)、[行動] (0%から 5%)、[心情] (14%から 24%)、[人物] (20%から 33%)、[学芸] (0%から 7%)、[物品] (0%から 29%) の 6 分類であり、上位 100 語で難易度の高い語が 1 語も存在しなかった 4 分類のほか、[心情] と [人物] の 2 分類が該当した。なお、この 6 分類で 10% 以上比率が変化したのは [人物] [物品] の 2 分類¹⁰²である。また、上位 100 語と難易度の高い語が分類内に占める比率が同じ大分類は [性状] の 1 分類のみで、上位 100 語よりも難易度の高い語彙の比率が小さい分類は [自然]

表 68 難易度が高い高頻度語の数と比率 (上位 300 語、大分類)

大分類	上位300語(語)		2級以上の比率
	すべて	2級以上	
自然	33	7	21%
性状	69	8	12%
変動	41	4	10%
行動	40	2	5%
心情	29	7	24%
人物	15	5	33%
性向	13	2	15%
社会	49	17	35%
学芸	27	2	7%
物品	7	2	29%

¹⁰² [自然] と [心情] の変化は 10% に近いが厳密には 9% 台の変化で 10% には満たない。

(25%から21%)、[性向] (50%から15%)、[社会] (40%から35%)の3分類である。

以上、上位300語の難易度の高い語彙の大分類についてみた。10種類の大分類のうち難易度が高い語の数がほかの分類よりも多く、その比率も高いのは[社会]である。加えて、[自然]と[心情]も比較的難易度の高い語が多くその比率も高い分類である。一方、上位300語の分類で最も多くの69語が該当する大分類[性状]は、難易度が高い語は[社会]に次いで2番目に多い分類ではあるものの、その比率は低い。

中分類については、表67に示したように[自然]には{気象}の「津波」、{地勢}の「土」、{動物}の「ウナギ」、{物質}の「物質・土」、{物象}の「放射性・原発・発電」の5分類、[性状]には{位置}の「場所・地下」、{数量}の「数」、{状態}の「可能性」、{類型}の「種類・システム」、{程度}の「最も・約」の5種類の難易度の高い語を含む分類がある。[変動]には{移動}の「流れる・流す」、{増減}の「増やす」、{関連}の「結果」の3分類、[行動]には{操作}「撃つ」と{生産}「工事」の2分類があり、大分類[変動]と[行動]には難易度の高い高頻度語が1語も含まれない中分類が多い。[心情]は{学習}の「訓練・調査・実験」、{要求}の「協力する」、{誘導}の「被害・守る」、{闘争}の「戦い・守る」の4分類がある。

[人物]は{仲間}の「グループ」、{地位}の「大統領・首相」、{役割}の「監督・選手」の3分類、[性向]は{体格}の「がん」、{境遇}の「被害」の2分類で、[人物]と[性向]の大分類も[変動]と[行動]と同じく、分類内に2級以上の語が全く含まれない中分類が多い。[社会]は{地域}の「場所・県・都・市・区」、{集団}の「グループ・大会・参加する・軍・チーム・家庭」、{統治}の「政府・厚生労働省」、{報道}の「情報・発表する・流す」、{処世}の「やめる」の5分類で、{集団}と{地域}に数多くの難易度の高い語が含まれている点に特徴がある。[学芸]は{芸能}の「アニメ」と{娯楽}の「オリンピック」の2分類、[物品]は{機械}「携帯電話・列車」の1分類に該当する語があり、[学芸]と[物品]の中分類で難易度の高い語を含む分類は少ない。

表69 難易度が高い高頻度語の数と比率(上位300語、中分類)

中分類	上位300語(語)		2級以上の比率	
	すべて	2級以上		
自然	気象	4	1	25%
	地勢	5	1	20%
	動物	2	1	50%
	物質	3	2	67%
	物象	4	3	75%
性状	位置	18	2	11%
	数量	18	1	6%
	状態	5	1	20%
	類型	4	2	50%
	程度	12	2	17%
変動	移動	8	2	25%
	増減	6	1	17%
	関連	5	1	20%
行動	操作	7	1	14%
	生産	3	1	33%
	学習	9	3	33%
心情	要求	3	1	33%
	誘導	4	2	50%
	闘争	4	2	50%
人物	仲間	4	1	25%
	地位	3	2	67%
	役割	2	2	100%
性向	体格	5	1	20%
	境遇	4	1	25%
社会	地域	9	5	56%
	集団	14	6	43%
	統治	4	2	50%
	報道	4	3	75%
	処世	2	1	50%
学芸	芸能	1	1	100%
	娯楽	3	1	33%
物品	機械	5	2	40%

以上 32 種類の中分類ごとの語数、難易度の高い語の数と比率は表 69 に示したとおりである。32 分類中 16 分類は分類内に難易度の高い語は 1 語しかないが、分類内に 3 語以上の難易度の高い語を含む中分類も {物象} {学習} {地域} {集団} {報道} の 5 分類ある。中でも {集団} は 6 語と多くの難易度の高い語を含んでいた。分類内の高頻度語に占める難易度の高い語の比率をみると、{役割} {芸能} の 2 分類では 100% で、同分類内に難易度の低い高頻度語彙はなかった。難易度の高い語が 50% 以上 100% 未満の分類は {動物} {物質} {物象} {類型} {誘導} {闘争} {地位} {地域} {統治} {報道} {处世} の 11 分類あった。

比較的に中分類内の高頻度語が多い分類で、かつ難易度が高い語の比率が高い分類としては、先に難易度が高い語の数が多い分類として挙げた {集団} {地域} の分類がある。{集団} は高頻度上位 300 語のうち 14 語が該当し、そのうち 6 語が 2 級以上の語で、{地域} は 9 語中 5 語が 2 級以上の語で、どちらも難易度が高い語の比率は 50% 前後である。反対に高頻度語が多く難易度が高い語が少ない分類としては 18 語中 1 語しか 2 級の語がない大分類 [性状] 内の {数量} が挙げられる。こうした結果から中分類でみた場合、やさしい日本語ニュースを読むにあたって難易度の観点から注意が必要と思われる意味分野として、[社会] の {集団} と {地域} の分類を挙げることができる。

小分類については表 67 に示したように、高頻度語彙上位 300 語は 242 種類の小分類に分類される。そのうち難易度の低い 3-4 級の語は 211 種類の小分類、難易度の高い 2 級以上の語は 53 種類の小分類に分かれ、難易度の低い語と難易度の高い語の両方を含む分類は 22 種類あり、難易度の高い語が属す 53 種類の小分類のおよそ 42% を占めていた。こうした結果は高頻度語彙上位 100 語とは異なるものである。上位 100 語では既述のように難易度の高い語がある意味分野には難易度の低い高頻度語が存在しない小分類がほとんどであった。

なお、上位 300 語の難易度の高い語と難易度の低い語の両方を含む小分類内でのそれぞれの語の関係としては、「戦い」と「試合」、「魚」と「ウナギ」のような上位/下位の階層的関係にあるもの、「地震」と「津波」、「警察」と「厚生労働省」のような並列関係にあるもののほか、「増える」と「増やす」のような自動詞と他動詞の組み合わせや「調べる」と「調査」のような品詞の異なる語の組み合わせなどさまざまなものがあつた。

続いて、高頻度語彙上位 100 語と同様に、ここまで順にみてきた大分類・中分類・小分類の語の分布を図 48 に示し、語の広がりや語の偏りをみる。図 48 は図 47 と同様に、10 種類の大分類をそれぞれ 1 枚ずつ面グラフに表し、それぞれの大分類内の中分類を『角川類語新辞典』（2012）の分類順に左から並べ、さらに小分類に含まれる語の数のうち高頻度語彙上位 300 語に該当するすべての語を黒の枠線の白抜き、上位 300 語のうち難易度が高い語を黒塗りで示したものである。図 48 に示した 10 枚の面グラフは、図 47 「やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位 100 語の分布」に示した上位 100 語の面グラフと同じく、面グラフの形をとってはいない。これは上位 100 語と同様に隣り合った小分類に連続して高頻度語が属しているような中分類が多くはないためである。

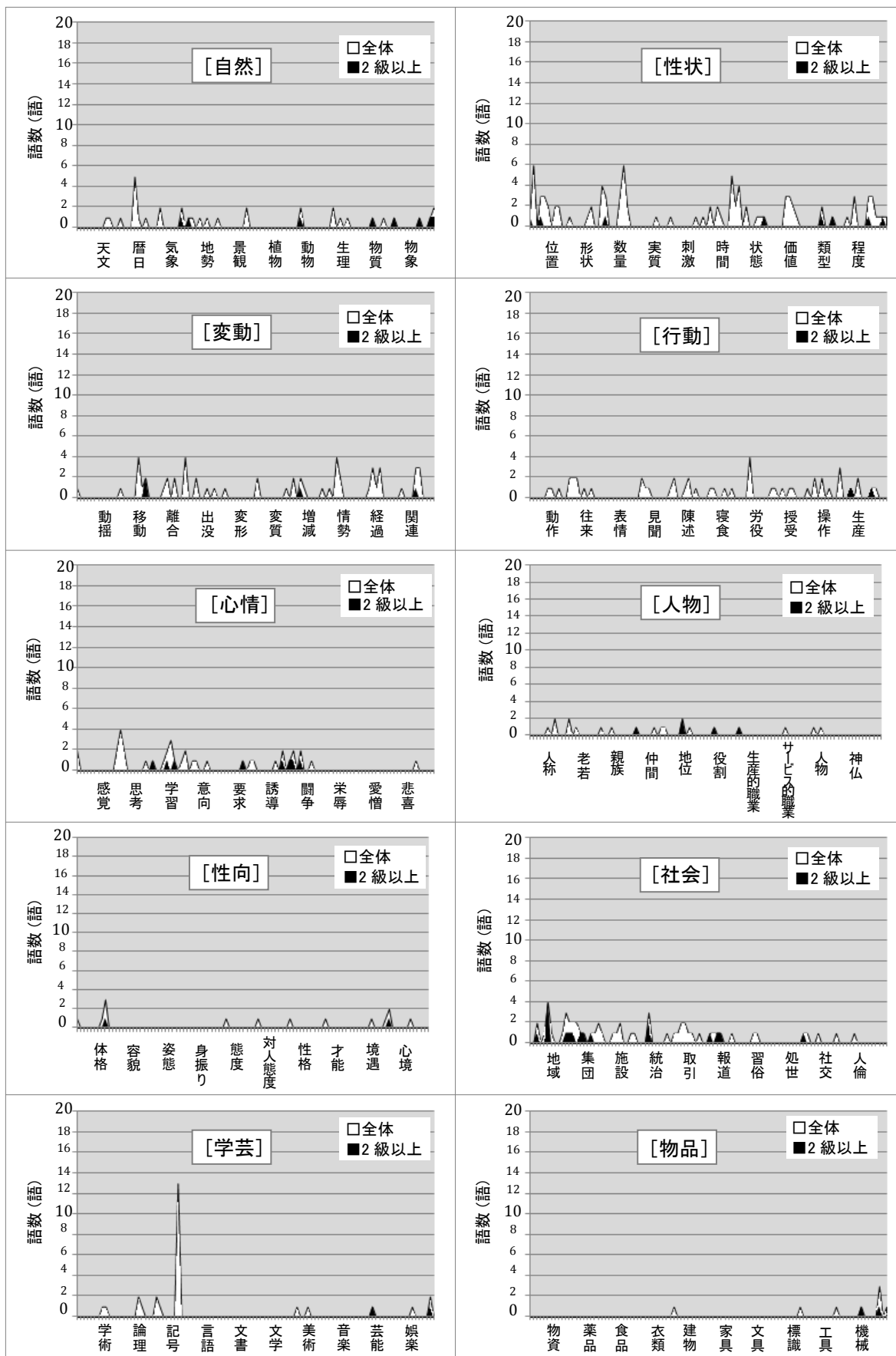


図 48 やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位 300 語の分布

図 48 に示したように、大分類ごとに高頻度語の分布をみると、大分類内の 10 種類の中分類に広く語が分布しているのは〔性状〕〔変動〕〔社会〕の 3 分類であった。ただし、この 3 分類でも分布の様子はそれぞれに異なっていた。〔性状〕では比較的語数の多い小分類があるが、難易度の高い語が 2 語以上含まれる分類はない。〔変動〕では 10 種類の中分類に属す語があるとはいえ、その数はさほど多くはなく、小分類に含まれる語の数は 1-2 語の分類が多い。それでも、〔移動〕〈流動〉では、「流れる・流す」という自動詞・他動詞の難易度が高い語の組み合わせがどちらも高頻度語に入るなど特徴的な分類もあった。

〔社会〕は 10 種類の中分類に属す語があるものの、その偏りは大きく、中分類内の語数は 1 語から 14 語まで広がりがあり、中分類内に含まれる語が多い分類としては〔地域〕〔集団〕〔取引〕の分類を挙げることができる。そして、この 3 分類でも内部の小分類の分布は異なり、〔地域〕は〈場所〉と〈都道府県〉に語が集中しているが、〔集団〕と〔取引〕は大きな偏りはなく中分類内に広く分布していた。また、〔社会〕では難易度の高い 2 級以上の語の分布に偏りが激しく、難易度が高い語の多くは〔地域〕と〔集団〕に集中しており、〔地域〕の〈都道府県〉のように、小分類に属す 4 語すべてが難易度の高い語であるという分類もあった。

〔性状〕〔変動〕〔社会〕以外の大分類で比較的広範囲に語が分布している大分類としては〔自然〕〔行動〕が挙げられる。〔自然〕は〈植物〉、〔行動〕は〈表情〉に該当する語はないが、そのほかの中分類には広く語が分布し、小分類についてもその大半が 1-2 語ずつ分布しており、〔自然〕では小分類〈年〉に 5 語、〔行動〕は小分類〈実行〉に 4 語、1 分類だけ多くの語を含む分類があるというように、〔自然〕と〔行動〕の語の分布はとてもよく似たものである。ただし、語の難易度は少々異なり、〔行動〕では難易度が高い語はわずか 2 語「撃つ」と「工事」しかないのに対し、〔自然〕では難易度の高い語が 3.5 倍の 7 語あるという違いがあった。

〔心情〕と〔人物〕は 8 種類の中分類に属す語がある大分類だが、分類内に含まれる語の数は〔心情〕のほうが多く、〔心情〕には〔思考〕〔学習〕という比較的多くの語が含まれる中分類もある一方で、〔人物〕はどの中分類・小分類も語数が少なかった。大分類内の語の偏りが特に大きいのは〔性向〕〔学芸〕〔物品〕の 3 分類である。ただし、〔性向〕と〔物品〕は大分類内の語がそれぞれ 13 語、7 語であり数は多くない。〔学芸〕については先述のように、〔記号〕の〈単位〉に 14 語の語が該当し、特徴的な分類である。〔性向〕〔学芸〕〔物品〕の 3 分類はいずれも難易度の高い語はほとんど含まれていないが、〔物品〕の中分類〔機械〕には 2 級以上の語が 2 語あった。

先述のように、上位 300 語では上位 100 語よりも同一小分類内に難易度の高い語と難易度の低い語が両方含まれる分類は多かった。それでも、図 48 の 10 枚のグラフに示したように、白抜きの中に黒が入っている、つまり、難易度の高い語と難易度の低い語が両方含まれている小分類は〔社会〕や〔心情〕など一部に限られ、分類の数は多いとは言えない。なぜこのよ

うに難易度の高い語が属す小分類と難易度の低い語の属す小分類が分かれているのか、表 70 に上位 300 語に属す難易度の高い語と、その小分類内の 3-4 級の語を示し、考察を加える。

表 70 難易度が高い高頻度語と小分類内の難易度が低い語（上位 300 語）¹⁰³

小分類	上位 300 語	小分類内の 3-4 級の語	小分類	上位 300 語	小分類内の 3-4 級の語
天変地異	津波	地震	競争	戦い	競争、比べる、試合
陸地	土		討伐	守る	
魚介	ウナギ	魚(さかな)	仲間	グループ	
物質	物質		治者	大統領、首相	政治家
鉱物	土	石、砂	担当者	監督	
光	放射性 ¹⁰⁴	日(ひ)、月(つき)、点く、点ける、消える、消す	選手	選手	
力	原発 ¹⁰⁵	力	病氣	がん	病氣、怪我、風邪
電気	発電	電気	災難	被害	事故、大事
位置	場所	所、点	場所	場所	所、席、会場、住所、先(さき)
内外	地下	中、以内、外、表、上、裏、下	都道府県	県、都、市、区	村(むら)
数量	数	人口、回、度(ど)、点、割合	群集	グループ	集まる、集める、寄る
難易	可能性	難しい、無理、易しい、簡単、駄目	集会	大会	会、パーティー、コンサート、運動会
種類	種類	いろいろ	加入	参加する	入る
系統	システム	血	軍隊	軍	
限度	最も	良く、結構、十分(じゅうぶん)、沢山、一番、割合、なかなか、だいぶ、やっと	党派	チーム	右、左
大体	約	大体、殆ど、位、程	家庭	家庭	家(いえ、うち)、お宅
流動	流れる、流す		機関	政府、厚生労働省	警察
増減	増やす	増える	報道	情報	ニュース、知らせる、案内、連絡、放送
因果	結果	因る、原因、生きる、死ぬ	発表	発表する	
打撃	撃つ	打つ、投げる	流布	流す	飛ぶ、移る
土木	工事	開く	出处進退	やめる(辞)	座る、降りる
練習	訓練	練習、慣れる	映画	アニメ ¹⁰⁶	映画
調査	調査	調べる、洗う	スポーツ	オリンピック	運動、スポーツ、試合、水泳、泳ぐ
試験	実験	試験、テスト、経験、味、踏む	電気機具	携帯電話 ¹⁰⁷	ラジオ、テレビ
協力	協力する ¹⁰⁸		車両	列車	車、自転車、オートバイ、自動車、タクシー、バス、電車、特急、急行、エレベーター
妨害	被害	邪魔、故障、開(ひら)く、逃(に)げる			
保護	守る	世話、見る			
闘争	戦い	戦争			

¹⁰³ 『角川類語新辞典』（2012）の分類を基準に述べるときは同辞典の表記、ニュースで使用された語について述べるときにはニュースでの表記に従っているため、同一の語でも「一番」「いちばん」のように揺れがある場合がある。

¹⁰⁴ 見出し語は「放射」。

¹⁰⁵ 見出し語は「原子力」。

¹⁰⁶ 見出し語は「アニメーション」。

¹⁰⁷ 見出し語は「電話機」。

¹⁰⁸ 表内サ変動詞の見出し語はサ変名詞（例：「協力する」の見出し語は「協力」）。

表 70 に示したとおり、上位 300 語に含まれた難易度の高い語が属す小分類 53 種類のうち、およそ 5 分の 1 の 10 種類の小分類には分類内に難易度の低い語が全く含まれていなかった。そのほかの 43 種類の小分類における難易度の高い語と難易度の低い語の関係はさまざまで、「魚」と「ウナギ」、「政治家」と「首相」のような上位語／下位語の階層的関係や、「結果」と「原因」のような反義関係、「守る」と「見る」のような並列関係、「訓練」と「慣れる」のような類縁的關係のほか、「システム」と「血」、「実験」と「味」のように一見関連のない語の組み合わせかと思われるような関係にあるものなどがあつた。

このような関係にある語のうち、階層的関係にある語については、上位語が難易度の低い語である場合、語の置き換えが可能だと思われる。しかし、先に挙げた「魚」と「ウナギ」、「政治家」と「首相」の例では対象としたニュースでは「ウナギ」がテーマに挙がっていたり、一国の政治指導者について述べられていたりしたため、階層的関係にある語であっても、下位語の「ウナギ」や「首相」から上位語の「魚」や「政治家」への置き換えはされてはいなかった。

階層的関係以外で、難易度の高い高頻度語が同じ小分類内の難易度の低い語に置き換えが行われなかったことについて、前項「2.1.上位 100 語」では〈位置〉と〈場所〉の「場所」と「所（・点）」と、〈大体〉の「約」と「大体・殆ど・位・程」について考えた。ここでは、〈限度〉の「最も」と「一番」、〈調査〉の「調査」と「調べる」、〈集会〉の「大会」と「会」、〈加入〉の「参加する」と「入る」、〈車両〉の「列車」と「電車」の 5 組を例に取り上げ、なぜやさしい日本語ニュースの中で難易度の低い語のほうが用いられず、難易度の高い「最も」「調査」「大会」「参加する」「列車」の語が用いられているのかについて順に考えていく。

まず、〈限度〉の「最も」と「一番」について述べる。出題基準でみた場合「最も」は 2 級、「一番」は 4 級の語であり、語の使用範囲が重なる場合、やさしい日本語ニュースでは「一番」が用いられると考えられる。それでも、「最も」はやさしい日本語ニュースでも 15 回、一般ニュースでは 40 回使用されており、「一番」では代用できない「最も」の使用範囲があると考えられるが、「最も」と「一番」の 2 語についてはやさしい日本語ニュースにおいて明確に使用範囲が分けられているか多少疑問も残る。

『角川類語新辞典』（2012）では、〈限度〉の「最も」は「（同性質の物事の中で）とりわけ」、「一番」は「何よりも。最も」と定義されている。「一番」の定義の中に「最も」という語が含まれていることから、「最も」「一番」は極めて近い意味を持つ語だと思われる。ただし、「一番」には「一」という数字が含まれていることから「一番」を使う場合には唯一の事物を指す必要があり、唯一の事物ではない場合、「一番」が使えず、「最も」を使わざるをえないという語の書き分けがあるのではないだろうか。しかし、(348) の例をみると、一般ニュース・やさしい日本語ニュースともに「最も」が 2 回使用されていた。

- (348) a. OECDがことし5月に公表した加盟する34か国のデータによりますと、貧困の状態にある子どもの割合が最も低いのは、デンマークの3.7%で、次いでフィンランドの3.9%でした。反対に最も高いのは、イスラエルの28.5%、次いでトルコの27.5%で、日本は9番目に高くなっています。(般:57)
- b. OECDに入っている34の国の中で、貧しい生活をしている子どもの割合が最も高い国はイスラエルで、28.5%でした。最も低い国はデンマークで、3.7%でした。日本は9番目に高くなっています。(や:57)

(348)の例では、それぞれに割合が最も高い国／低い国は1国であり、「最も」が使用された後で「9番目」というように「番」を用いられていることから、必ずしも2級の語である「最も」を用いる必要はなく「一番」の代用が可能ではないかと思う。このように「一番」で置き換え可能かと思われる文脈における「最も」の使用例は複数みられた。(349)についても、スピードの数値が明確に示されていることから「最も」を「一番」で置き換えられるのではないかと考えられる文である。ただし、(349)は「ウオーターライダー」について説明した文で、最速70kmのスピードで滑り落ちるのは1度ではなく、繰り返し行われている事柄である。こうしたことから、「最も」速くはあっても、そのスピードが出るのは1度きりではないことから、「一番」を避けるという語の使い分けが生じていたと考えることができる。

(349) a. 最高時速70キロの速度で急勾配を滑り落ちていきました。(般:142)

b. 最も速いときは時速70kmで、プールまで滑り落ちていきました。(や:142)

先に例示した(240)でもやさしい日本語ニュースで「最も」が用いられていた。(240)の場合、「最も高いレベル」にあるのは日本だけではなく、香港やスイス等も含まれている。

- (240) a. 平均寿命が女性だけでなく男性も80歳を超えたのは、世界でも香港やスイスなど一部の国や地域に限られていて日本人の長寿は世界のトップレベルとなっています。(般:113)
- b. 女性だけではなくて男性も平均寿命が80歳以上の国や地域は、香港やスイスなど少しだけです。日本人の寿命は世界で最も高いレベルになっています。(や:113)

これを(349)と同様に考えれば、たった一つではないことから、「一番」は相応しくないという語の選択があったと思われる。こうした例から、「一番」「最も」の例において、語の使い分けが完全に明確なものであるかは不明だが「一番」で代用できない「最も」の使用範囲があると考えられる。このため、「最も」と「一番」が非常に近い意味をもつ語であり、「最も」が2級の語であっても、「最も」と「一番」は完全に語の使用範囲が重ならず、高頻度語に含まれるほど頻繁に使用されていたと考えられる。

次に、小分類〈調査〉の「調査」と「調べる」について考える。「調査」は2級、「調べる」は3級に該当する語であり、「調査」は『角川類語新辞典』での語の定義がないが、小分類〈調査〉は「ある事柄を明らかにするために調べること」、「調べる」は「不明な点を捜して明らかにする」と定義されており、「調査」と「調べる」には事柄を指すのか行為を指すのかという以外には大きな違いはない。なお、「調査」は災害や生態系、暮らしなどの実態についての調査報告で使用される例が多く、(281)のような使用例があった。

- (281) a. 大規模な土砂災害が起きた広島市の現場上空に小型ヘリコプターを飛ばして、撮影した画像から現場の状況を立体的に再現しようという調査が始まり、今後、流出した土砂の範囲などが詳しく分析されることになっています。この調査は、広島市安佐南区にある測量会社が国や県の依頼を受けて今年21日から始めました。(般: 193)
- b. 国と広島県は、災害があった場所の調査を広島市にある測量の会社に頼みました。21日、この会社が小さいヘリコプターを使って調べ始めました。(や: 193)

名詞の「調査」に限ってはやさしい日本語ニュースで16回、一般ニュースで87回使用されていたが、動詞の「調査する」を合算してもそれぞれのニュースで順に17回、93回使用されていたにすぎず、「調査」と「調査する」を比べた場合、名詞の「調査」の使用数が圧倒的に多い。そのため、「調査」を「調べる」に置き換えることは難しく、やさしい日本語ニュースにおいても「調査」を使わざるをえない文脈が(281) bのようにあったと考えられる。

続いて、小分類〈集会〉の2級の語「大会」と3級の語「会」について述べる。「大会」は『角川類語新辞典』の〈集会〉において「全部が集まる会。盛大な会」と定義されていることから、「集まり。集会。会合」と定義される「会」と階層的關係にある語だとも考えられる語である。ただし、ニュースの中では「大会」は(350)に示すニュースタイトルのようにスポーツ競技に関する話題での使用が多く、「大会」が必ずしも「会」の下位語であるとは言えない。ただし、「大会」がすべてスポーツの話題で使用されていたわけではなく、「カラオケ大会」のようにスポーツに限らず勝負事に関するほかの話題で使用されることもあった。

- (350) a. 「3×3」の世界大会を仙台で(般: 28)
- b. バスケットボール「3×3」の世界大会を仙台で開く(や: 28)

一方、「会」は(351)のように勝負事とは無関係に人が集う話題に限って使用されており、「大会」と「会」の2語は完全な使い分けがされていた。

- (351) a. 地元で取れたカニやメヒカリを味わってもらおう試食会が福島県いわき市で開かれました。
試食会は福島県いわき市の仲買人の組合が開き、(後略)。(般: 79)
- b. いわき市の沖で取れた魚の料理を無料で食べる会をいわき仲買組合が開きました。(や: 79)

こうしたニュースの使用例をみる限りにおいて、「大会」と「会」の関係は階層的関係ではなく、並列関係に近いのではないかと思われる。いずれにしても、これら2語には明確な使い分けがあり、難易度が高い語であっても「大会」はニュースの中で使用を避けられない語として挙げられたと考えられる。なお、「大会」「会」はやさしい日本語ニュースで順に12回・25回、一般ニュースで順に64回・56回とどちらの語もニュースで広く使用されていた。

続いて、〈加入〉の「参加する」と「入る」について述べる。「参加」は「仲間に加わること」、「入る」は「仲間に入ること（這入る）」と『角川類語新辞典』の小分類〈加入〉の中で定義されており、この定義からはほぼ同じ意味を持つ語だと思われる。ただし、同辞典では〈加入〉の「参加」の項目に「〔注〕「加入」は組織・団体に加わってその一員となることであり、「参加」は仕事・出来事に加わって、みんなと一緒に何かをすることである」という注意書きがある。この注意書きから、「参加」は加わるだけではなく、共同で何かを行うという点に「入る」との違いがあるとわかる。

実際にニュースでの使用例をみると、(352) a, b の下線部1番目の「参加する」では、すでに参加している国々によって計画が進められており、仲間に入っているだけではなく、みんなと一緒に何かをしている事実があることから、「入る」で置き換えることのできない使用例だと考えられる。ただし、やさしい日本語ニュースへの書き換えでは(352) b の2番目の下線部の「参加する」のように「加わる」の書き換え語として用いられている例もみられた。

(352) a. この計画は、直径が30メートルある世界最大の反射望遠鏡をアメリカ・ハワイ島の標高4000メートルの山の頂上に建設するもので、(中略)計画には日本とアメリカ、中国が参加し、今後、カナダやインドも加わる意向で、(後略)。(般:98)

b. 計画には日本とアメリカ、中国が参加していて、カナダやインドもこれから参加したいと言っています。(や:98)

なお、「入る」は多義語であり、『角川類語新辞典』では〈加入〉の意味のほかに〈出し入れ〉「入れられる(這入る)」、〈出入り〉「中に入り込む(這入る)」、〈授受〉「自分のものになる」、〈収支〉「収入がある」の4種類の小分類に「入る」が分類されている。本稿で調査対象とした期間では、やさしい日本語ニュース・一般ニュースともに〈加入〉の意味での「入る」の使用は一例もなかった。そのため、多義語の「入る」のうち〈加入〉の意味の「入る」がほかの意味分野の「入る」と比べニュースで使用する語として一般的ではない可能性、また多義語を複数の意味で用いることを極力避ける目的で「参加する」という語が選ばれた可能性も考えられる。

最後に、〈車両〉の「列車」と「電車」の例を取り上げる。「列車」は2級の語で、やさしい日本語ニュース・一般ニュースでは観光、新路線の計画、鉄道会社の企画などのほか、事故や事件、国際問題に関わるニュースなどでそれぞれ20回・25回使用されていた。一方、

4級の語「電車」はやさしい日本語ニュースでは5回、一般ニュースでは2回しか用いられておらず、「列車」よりもニュースの中での使用頻度が低かった。「電車」の使用例をみると、やさしい日本語ニュースの中では「東京を走る電車の山手線で（後略）」（や: 15）、「新しい電車の線をつくる」（や: 176）、「駅に水が入って電車が動かなくなる」（や: 196）の3種類の文脈で使用されていた。一方、一般ニュースの中では「通勤電車」「路面電車」というように「複合語」¹⁰⁹の中での使用例しかなかった。

この「列車」と「電車」の2語について『角川類語新辞典』での定義をみると、小分類〈車両〉において「列車」は「機関車に引かれる一連の車両」、「電車」は「電力によってレールの上を走る車両」とされており、「列車」はつながりのあるモノ、「電車」は電力によって走るモノというように、語の使い分けがあると考えられる。

この2語について『明鏡国語辞典 第二版』でも語の定義を確認すると、「列車」は「旅客・貨物の輸送のために連結された鉄道車両」、「電車」は「電気を動力源として起動上を走る鉄道車両」との記述がある。同辞典からは「列車」と「電車」が、「列車」がモノであり、「電車」が動きを伴うモノであるという考えは否定されない。この考えを基に実際に「列車」の使用された例(353)(354)について考える。

(353) a. 2人の女性は線路と列車の間の25センチの隙間に収まり、無事でしたが、（後略）。

（般: 103）

b. 列車と線路の間は25cmあって2人は助かりました。（や: 103）

(354) a. マレーシア機撃墜 遺体の捜索終了し移送始まる（般: 71）

b. 撃たれて落ちた飛行機 遺体を列車で運び始める（や: 71）

(353)の例ではa,bともに二つのものに挟まれた間、という表現の中で「列車」と「線路」の2語を用いている。そのうち「線路」は固定されて動かずに特定の場に存在するものである。そうした「線路」と対にして「線路と___の間」という表現を使用しようとした場合、モノの「列車」であっても、動きを伴うモノの「電車」であっても解釈が可能だと思われる。しかし、「線路と___の間」というときに表すべきなのは二者によって作り出された空間であり動きを伴うという情報は余分である。そのため、適切さからすれば(353)で用いられるべきは「電車」よりも「列車」であると考えられる。

(354)はニュースタイトルからの引用である。(354)bの「列車で運び始める」という表現の中で「電車」ではなく「列車」が用いられていることも(354)の例と同様により適切なのは「列車」なのか「電車」なのかという観点から考えることができる。「運び始める」という

¹⁰⁹ 「通勤電車」「路面電車」は『明鏡国語辞典 第二版』の見出し語にないことから、本研究における語彙調査では複合語とは考えず、それぞれ「通勤」と「電車」、「路面」と「電車」の2語からなる言葉と考えている。

のは車両というモノがその行為を始めることを示せば十分であり、仮にその車両が「電車」の語を使って動きを伴うモノであるということを示した場合、「運ぶ」という行為を行える主体であるという概念と重複する。そのため、(354) bにおいて車両が動きを伴うモノであるという情報は不要であり、「電車」よりも「列車」がより用いられるにより相応しい語だと考えられる。このように動きを伴うモノという「電車」が持つ情報が必要とされない文脈では「電車」よりも動きについて言及のないモノとしての「列車」が使用される傾向にあると考えられる。さらに、(355) bにみられるような「列車」の使用例からは、動きを伴うという情報が付加されていないという以外にも「列車」には「電車」とは異なる語の使用域があるように思われた。

(355) a. 雄大な景色を楽しむために日本人を含めた観光客もしばしば利用する路線だということです。(般: 155)

b. この列車は、すばらしい景色を楽しむことができるため、日本人などたくさんの人が観光に利用しています。(や: 155)

(355) bでは(355) aで使用された「路線」の書き換え語として「列車」が使用されている。「路線」は『角川類語新辞典』では〔自然〕{景観}〈道路〉に属し、「道路・鉄道などの交通線」と定義され、『明鏡国語辞典 第二版』では「交通機関の、ある地点から他の地点までの道筋」と定義されており、先に確認した「列車」がもつ車両の意味は含まれていない。このため、「列車」が「路線」の書き換えに使用されていたことから、「列車」が「路線」の意味に近づく形で語が使用されていたと思われる。

「列車」は『広辞苑 第六版』では「鉄道の本線路を運転する車両または車両の連なり」、『百科事典 マイペディア』では「停車場外の線路を運転する目的で組成された鉄道車両」との説明がある。これらの説明で共通しているのは「線路を運転する」という列車の特徴が示された部分である。一方、「電車」は『広辞苑 第六版』では「主電動機を備えた旅客車・貨車およびこれと連結運転される旅客車などの総称。ひろく電化された鉄道一般の意味にも用いる」、『百科事典 マイペディア』では「架線その他から電力の供給を受けて運転される鉄道車両で、旅客または貨物を積載するもの」との説明があり、「電車」の説明の中には「列車」の説明の中にみられた「線路を運転する」という表現はない。

(355) bで「列車」が「路線」の書き換え語に使用された背景には、「電車」には含まれない「線路を運転する」という「列車」の性質から、「列車」の語を使用すれば「列車」が運転される線路、さらには路線のイメージを語の中に含めることができるという判断がなされたためではないだろうか。こうしたことから、明確な語の使い分けは明らかにできなかったものの、「列車」と「電車」は動きを伴うモノであるか、「路線」のイメージを語に背負わせることができるかといったような差異があり、ニュースの中では難易度の低い語である「電車」よりも難易度の高い語である「列車」が多用される傾向にあったと考えられる。

このように、〈限度〉の「最も」と「一番」、〈調査〉の「調査」と「調べる」、〈集会〉の「大会」と「会」、〈加入〉の「参加する」と「入る」、〈車両〉の「列車」と「電車」の5組の組み合わせについてみると、一見置き換えが可能かと思われがちな語であっても、語の使用範囲が異なったり、一方の語がほぼ使用されていないような場合もあった。こうしたことから、表 67 や図 48 に示したように、難易度の高い高頻度語と難易度の低い高頻度語が同一の小分類内に存在する分類が少ないという実態があると考えられる。

以上、やさしい日本語ニュースにおいて高頻度で使用された上位 300 語の難易度の高い 81 語のうち、『角川類語新辞典』（2012）で分類可能な 52 語について述べた。同辞典をもとに難易度が高い語の属す意味分野を大分類、中分類、小分類で分けたところ、大分類では〔社会〕に属す語が最も多く、また〔社会〕は高頻度語に占める難易度の高い語の割合が最も高い分類でもあった。加えて、大分類〔自然〕と〔心情〕についても比較的難易度の高い語の数が多く、その割合も比較的高い分類である。中分類では〔社会〕に属す〔集団〕と〔地域〕が難易度が高い語の数が多く、その割合も高い分類に挙げた。小分類では上位 100 語と比べれば難易度の高い高頻度語と難易度の低い高頻度語の双方が含まれる分類が多かったものの、どちらか一方しか含まれない分類のほうが多かった。

2.3. 上位 600 語（カバー率 79%）

日本語ニュースで使用された高頻度上位 600 (675) 語の中に難易度が高い語は 271 語ある。高頻度語彙に難易度の高い語彙が占める比率は上位 100 語ではおよそ 19%、上位 300 語ではおよそ 25%、上位 600 語ではおよそ 40% であり、高頻度語彙の範囲を広げるに従い、難易度の高い語彙の比率は大きくなっていった。

上位 600 語の難易度が高い 271 語のうち、固有名詞 65 語を含む 86 語については『角川類語新辞典』（2012）での分類ができなかった。そのため、本項で対象とするのは残りの 185 語である。なお、意味分野を特定できない語はすべて名詞であり、具体的な語は本章「1.3. 上位 600 語（カバー率 79%）」表 59「やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位 600 語の意味分野」の末尾にある「分類不能」として挙げた固有名詞「国名・地名」「組織名」「固有名詞（除：地名・組織名）」の計 65 語と、「その他」に挙げた普通名詞のうち「ATM¹¹⁰」を除く 21 語、合計 86 語である。

意味分野を特定できた難易度が高い 185 語の内訳は、名詞 158 語、動詞 24 語、形容詞 2 語、副詞 1 語であり、そのおよそ 85% が名詞の語である。なお、名詞は上位 100 語、上位 300 語でも難易度が高い語を品詞別にみた場合、名詞が最も語数が多く、その比率は上位 100 語ではおよそ 89%、上位 300 語ではおよそ 88% であり、大きな違いはみられなかった。

¹¹⁰ 既述のとおり、本稿では出題基準にない語であっても、記号やアルファベット表記の語は難易度が低いと考え、4級の語として計上している。

また、上位 600 語で意味分野を特定できた難易度が高い 185 語の語種別の内訳は和語 50 語、漢語 110 語、外来語 19 語、混種語 6 語で、漢語はそのうちおよそ 59% を占める。漢語の比率は上位 100 語ではおよそ 63%、上位 300 語ではおよそ 49% であり、その比率は 50-60% 程度であった。なお、上位 600 語に含まれた難易度が高く、意味分野を特定できた漢語は副詞の「約」1 語を除いてすべて名詞であり、漢語に占める名詞の比率は非常に高かった。こうした 185 語がどういった意味分野に属するのか、上位 600 語に位置する難易度の低い語と併せて表 71 に示す。

表 71 難易度別の高頻度語彙の意味分野（やさしい日本語ニュース上位 600 語中）

分類		語彙			分類		語彙		
大	中	小	3-4 級	1-2 級, 級外	大	中	小	3-4 級	1-2 級, 級外
自然	天文	宇宙		宇宙	自然	動物	魚介		クロマグロ ¹¹¹
		空	空				虫類		恐竜
		月	月				脚・尾		羽毛
		朝夕	朝			生理	生死	亡くなる②	
		昼夜	夜				成育	育てる	
	暦日	夏	夏				発病	けが	治療、うつる(感染)
		秋	秋				生理	熱	
		年	ことし⑥ ¹¹²	半年、年度		呼吸	吸う		
		月	今月②			物質	万物	もの	
	日	日(ひ)		物質				物質	
	気象	雨	雨②				水	水	氷
		風	台風		水		石②	土(つち)、 ダイヤモンド、 土石流 ¹¹³ 、土砂	
		天変地異	地震	津波	物象	熱	熱		
	地勢	陸地		土(つち)		光		放射性 ¹¹⁴ 、放射線	
		山	山	鍾乳洞		力	力(ちから)	原発 ¹¹⁵ 、原子力	
		海	海	沖		電気	電気	発電	
		川	川			性状	位置	位置	ところ
		泉		温泉	こそあど			この⑨	別
		岸	海岸		点			ゴール	
	島	島		内外	上(うえ)③		地下、国内		
	景観	耕地		畑、田んぼ	前後左右		前④		
		道路	道③	線路	上下	高い②	頂上		
	植物	草		蓮	周辺	間(あいだ)②	中心		
花		花		遠近	近く④				
動物	動物	動物	マウス ¹¹⁶ 、熊	方向	西②	行方不明 ¹¹⁷ 、ほう			
	魚介	魚	ウナギ、あゆ、						

111 見出し語は「まぐろ」。

112 表内の⑥などの丸数字は例示した語を含めた該当する分類の語数。

113 見出し語は「土石」。

114 見出し語は「放射」。

115 見出し語は「原子力」。

116 見出し語は「ねずみ」。

117 見出し語は「行方」。

分類			語彙	
大	中	小	3-4 級	1-2 級, 級外
性状	形状	形	形	
		点・線	線②	
		面	急	穴
		長短	長い②	
		大小	大きな③	
	数量	こんな	どう	
		数	万⑤	兆
		数量	割合④	数、量、金額
		度	度	気温、温度、時速
		度量衡		直径
		年齢	若い	
		有無	ある③	
		多少	たくさん⑧	
		全部	全部③	一部
		実質	強弱	強い②
	新古		新しい	
	刺激	色彩	色	
		冷温	暑い②	
		喧騒	大きい	
	時間	時間	とき②	
		時刻	場合③	
		期間	長い	
		常時	いつも②	
		遅速	速い③	
		先後	前⑦	
		終始	新しい⑤	
		今昔	前⑥	
	状態	状態	場合②	症状
		過激	強い②	
		安危	安全③	
		難易		可能性
	価値	価格	高い③	
		良否	高い⑤	
		適不適	よい②	
		有用	必要②	
		真偽	うそ	
		正否		不正
		精粗		詳しい
		美醜	きれい	
	類型	種類	いろいろ	種類
		特徴	特に	
		系統		システム
		同一	同じ	
		相応	近い	
	程度	程度	高い④	最低
		標準		基準
		限度	いちばん②	最も、最低
大変		大きな⑤		
細大		大きい		
一層		もっと		
大体			約	
変動	動揺	運動	踊る④	

分類			語彙	
大	中	小	3-4 級	1-2 級, 級外
変動	移動	進退	走る	
		通過	通る	
		接近		離れる
		昇降	落ちる④	
		飛翔	飛ぶ	
		流動		流れる、流す
	離合	離合		離れる
		付着	つける(付)	つく(付)
		接続	取る②	
		集散	集める②	
		下垂	かける(掛)	
		出没	出し入れ	出る④
		見え隠れ	出る②	
		包囲	捕まえる	
		開閉	開く(ひら)	
		浸透	吸う	
		注ぎ	かける(掛)	
	変形	破壊	壊れる	崩れる
		拡大		広がる
	変質	変質	する③	
		美化		汚染
		強化	壊れる	
	増減	生成	できる③	
		残存	残る	
		増減	増える	増やす、減る、たまる
		加除	つける(付)	つく(付)
		満ち欠け		たまる
		補充		平均
		包含	入れる	
	情勢	情勢	場合	
		勢い	力(ちから)	
		発生	出る④	
		成否	できる②	
変動		変える④		
経過	経過	過ぎる		
	過程	まま		
	開始	始める③		
	到来	来る		
	断続	続く⑤		
	進捗	急ぐ	進む、たまる	
	関連	関係	関係	
	因果	原因②	結果	
	影響	関係③		
	類似	似る		
行動	動作	手の動作	持つ②	
		足の動作	踊る	
		歩行	歩く	
		疾走	走る	
		往来	往復	行く⑤
		去来	出る②	
		出入り	出る②	
		発着	出発する ¹¹⁸	

118 表内「する」を除くサ変動詞の見出し語はサ変名詞(例:「出発する」の見出し語は「出発」)。

分類		語彙			
大	中	小	3-4 級	1-2 級, 級外	
行動	往来	乗降	乗る	乗せる	
		運行		航空	
		逃亡	逃げる		
		巡回	回る		
		滞在	残る		
	表情	声	声		
	見聞	目撃	見る②		
		聴取	聞く		
		提示	出す②	展示、展覧	
		読み書き	読む	記録	
		書き	書く		
	陳述	発言	言う③		
		談話	話す	話し合う	
		相談	相談③	話し合う	
		問答	聞く		
	説明	説明	説明する		
		寝食	生活		
		居住	住む		
		在宅		無人	
	食事	食事	食べる②		
		装い	着る		
		労役	実行	できる④	
	労働	労働	働く	活動	
		従業	休む		
		休業	夏休み②		
		仕事	仕事		
		職業	仕事		
	授受	授受	もらう		
		徴収	取る		
		取捨	取る	つかみ取り	
		集配	集める		
		選択	選ぶ		
所有	所有	ある②			
	操作	操作	運転②		
		使用	使う②		
		処置	片づける		
		設置	置く		
運搬	運搬	送る③			
	打撃		撃つ		
	生産	製造	できる②		
修繕		直す			
建造		建てる			
土木			工事		
耕作	耕作	作る			
	心情	感覚	感じる	思う②	
		思考	思考	思う③	考え
			判断	考える④	
			認識	分かる②	
比較	比べる				
識別		別			

分類		語彙			
大	中	小	3-4 級	1-2 級, 級外	
心情	思考	信疑		容疑、確かめる、疑い	
		過誤	直す		
		立案	計画	案、対策	
	学習	練習			訓練
		研究	研究②		
		調査	調べる	調査、検査	
		搜索	見つかる③		
		試験	経験	実験	
	出題	出題	問題		
		意向	意	思う②	考え
			願望	祈る②	
			注意	心配	
	用意		待つ		
	奮起	奮起	元気		
		要求	協力		協力する
	約束	約束	決める		
		権利	持つ②		
		誘導	指導	教える④	
	妨害	妨害	逃げる	被害、避難する	
		救助	手伝う②	助ける	
		保護		守る、介護	
		闘争	闘争	戦争	戦い
	競争		試合②	戦い、決勝	
	勝敗		勝つ		
	攻防			空爆	
	討伐			守る、自衛隊 ¹¹⁹	
	侵害			消防	
	愛憎	威嚇		デモ	
		待遇		虐待	
	悲喜	感情	気持ち		
		苦楽		楽しむ	
		悲喜	喜ぶ		
安心		心配			
満足		足りる ¹²⁰			
人物	人稱	不定稱	誰		
		自他	人②		
		人	人②		
老若	男女	女性③			
	少年	子ども②	少年		
	老人		年寄り		
親族	家族	家族			
	父母		親		
	子	子ども②			
仲間	仲間		グループ		
	主客	客			
	民衆	人			
	国民	外国人			
地位	治者		大統領、首相、知事		

119 見出し語は「自衛」。

120 見出し語は「足る」。

分類			語彙		
大	中	小	3-4 級	1-2 級, 級外	
人物	地位	師弟	先生		
	役割	担当者		監督	
		当事者		エリート	
		選手		選手	
	サービスの職業	役人		警察官	
		教育者	先生③		
		医者	医者		
	人物	偉人	人		
		第一人者	専門家		
	性向	体格	身体	体	遺体
手足			手		
健康			元気		
病気			病気②	がん、症状	
容貌		目	目		
姿態		美麗	きれい		
態度		積極的	まま		
対人態度		有縁	一緒		
		丁重	大切		
性格		剛健	強い		
才能		力	強い②		
		能力	力(ちから)		
		学識		詳しい	
		業績		記録	
境遇		貴賤	有名		
		貧富		貧しい	
		安否	安全②		
		災難	事故	被害、災害、事件	
心境		気持ち	気持ち		
		安心	心配		
		無気味	怖い		
社会		地域	範囲		地域、地方
			場所	会場②	場所
			領土	国	
			都道府県	村	県、都、市、区、町(ちょう)、都道府県、州
			都会	町(まち)	
			村落	村	地方
	世界		世界	アフリカ	
	集団	群集	集める②	グループ	
		集会	会②	大会	
		加入	入る	参加する	
		団体	会社②		
		軍隊		軍	
		党派		チーム	
		家庭		家庭	
		社会	世界		
	国家	国②			
	施設	施設	置く		
		役所		役所、警視庁	
		学校	学校④		
		公共施設	病院		

分類			語彙		
大	中	小	3-4 級	1-2 級, 級外	
社会	施設	仕事場	会社		
		駅・港	駅②		
		住居	家		
	統治	店舗	店②		
		機関	警察	政府、厚生労働省、環境省、総務省	
		掟	規則②		
	取引	裁判	調べる		
		刑罰		制裁	
		経済	生活②		
	報道	取引	輸出②		
		売買	売る②	売れる	
		騰落	上がる②		
		損得	ため	赤字	
		収支	払う②	収支、収入	
		貨財	お金		
		賃金		賃金	
		税		消費税 ¹²¹	
		報道	報道	連絡③	情報
		伝達	伝える		
	発表		発表する、発表		
	流布		流す、広がる		
	評判		人気		
	通信	電話			
	習俗	伝承	伝える		
		文化	文化		
		儀式	式		
		宗教		イスラム教、宗教	
行事	お祭り				
処世	出処進退		やめる(辞)		
	任免	送る			
	推挙	選ぶ	選挙		
	栄達		進む		
社交	交際	国際			
	出会い	会う			
	招致	呼ぶ②			
	送迎	待つ			
	出欠	出る②			
	仲介	紹介する			
人倫	間柄	関係			
	人道		不正		
学芸	学術	学問	科学		
		著作	書く		
		作品	作る		
	論理	事柄	ところ②		
		要点		中心	
		理由	ため③		
	記号	目的	ため		
		文字		文字	
名称		言う③			
番号	いちばん				

¹²¹ 見出し語は「税」。

分類			語彙	
大	中	小	3-4 級	1-2 級, 級外
学 芸	記号	単位	% ^{①⑨}	
		助数詞		号 ¹²²
	言語	言葉	うそ ^③	
		話	話	
	文書	文書		メッセージ
		書物	本	
	文学	説話	話	
		記録		記録
	美術	絵画	絵 ^②	
		写真	写真	
	音楽	音楽	音楽	
	芸能	映画	映画	アニメ ¹²⁴
		舞踊	踊り	
	娯楽	遊び	遊ぶ	
見物			観光	
旅行		旅行		
スポーツ		試合 ^②	オリンピック、 サッカー、マラソン	
球技用語			ゴール	
物 品	物資	物品	もの ^③	
		物資	材料	
		油	ガソリン	
	薬品	薬剤	麻薬	

分類			語彙	
大	中	小	3-4 級	1-2 級, 級外
物 品	食品	食物	食事 ^②	
		穀物	米	
		調味料	バター	チーズ
		野菜 飲料	野菜 たばこ	
	衣類	衣服	服	
	建物	建物 ¹²³	建物	校舎
		部屋	部屋	
		建物	壁	
	家具	容器		台
	文具	本・巻物	本	つぼ
		人形		ロボット
	標識	貨幣	お金	
	工具	輪	車	
	機械	機械	機械	
		電気 機具	テレビ	携帯電話 ¹²⁵ 、 ビデオ、 スマートフォン
		兵器		爆弾、原爆
		車両	車 ^②	列車、車両、 山車
航空機	飛行機		ヘリコプター	

表 71 に示したように、高頻度語彙 600 語の難易度の高い語彙は大分類、中分類、小分類といずれの分類でみてもさまざまな意味分野に広く分布している。ただし、上位 600 語においても分類によって語の分布に偏りはあり、表 71 の右側、難易度の高い 2 級以上の語が多く含まれた分類として、[自然] [心情] [社会] といった大分類が挙げられる。特に [社会] については上位 100 語・300 語でも難易度の高い語の数が最も多く、その比率も最も大きかった分類だが、上位 600 語でも同様に多くの難易度の高い語を含み、その比率も高かった。

しかし、表 72 に示すように [社会] は語数の上では

表 72 難易度が高い高頻度語の数
と比率（上位 600 語、大分類）

大分類	上位600語(語)		2級以上の比率
	すべて	2級以上	
自然	74	32	43%
性状	132	29	22%
変動	67	13	19%
行動	73	11	15%
心情	64	26	41%
人物	30	11	37%
性向	28	9	32%
社会	101	42	42%
学芸	57	11	19%
物品	37	16	43%

¹²² 『明鏡国語辞典 第二版』には名詞として見出し語にある。

¹²³ 「建物」が属するのは小分類 940 〈建物〉で「人が住んだり物を置いたりするために建てたもの」と定義される。「壁」が属するのは小分類 942 〈建物〉で「部分 屋根・天井・床・柱・壁・窓など」と定義される。「台」が属するのは 943 〈建物〉で「付属 縁側・露台・廊下・階段など」と定義され、それぞれ別の分類である。

¹²⁴ 見出し語は「アニメーション」。

¹²⁵ 「携帯電話」「スマートフォン」の見出し語は「電話機」。

依然として多いが、割合でみると〔自然〕〔心情〕〔人物〕〔物品〕と比べ、上位 600 語では大きな違いはなかった。ただし、これは図 49 に示すように、上位 600 語で〔社会〕に占める難易度の高い語の比率が上位 100 語・300 語と比べて低いのではない。〔自然〕〔心情〕〔物品〕といった上位

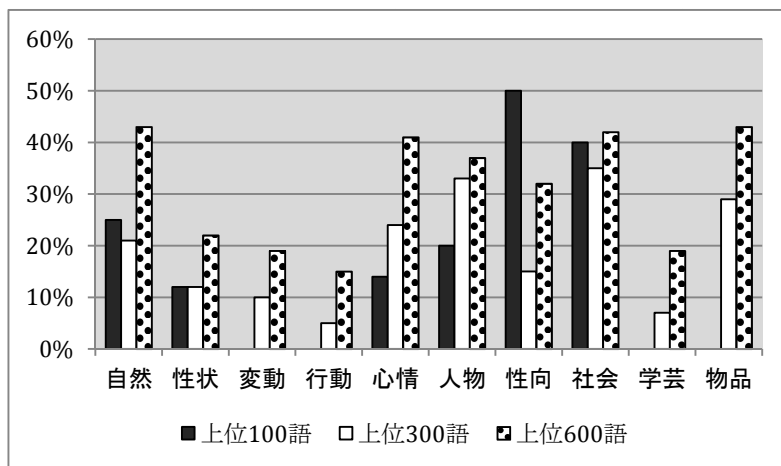


図 49 やさしい日本語ニュース高頻度語彙に占める難易度の高い語の比率（大分類）

100 語・300 語では難易度の高い語の比率が 30% を下回っていた分類に含まれる難易度の高い語の比率が上位 600 語では大きな値を示したことから、難易度の高い語の比率 41% という〔社会〕の数値が取り立てて多くは見えなくなったということである。

実際、図 49 に示したように 10 種の大分類中〔性向〕を除く 9 種の分類で難易度の高い語の比率は上位 100 語・300 語・600 語の中で上位 600 語の値が最も高かった。なお、〔性向〕では上位 100 語で難易度の高い語の比率は 50% だったが、この結果は分類内の高頻度の語 2 語のうち 1 語が 2 級以上の語であったため招かれたものであり、最頻出の語のうち〔性向〕が難易度の高い語の比率が高い分類であると位置づけることはできない。こうした結果から、高頻度の中でも特に頻度が高い語には 3-4 級の難易度が低いものが多いが、高頻度語の範囲を広げるにつれ難易度の高い語も徐々に高頻度語に占める比率を増していることがわかった。

大分類ごとの難易度の高い語の数については表 72 に示したように、最も語数が多いのは上述の〔社会〕の「収入・宗教・進む」等 42 語である。それに次ぐものとしては、20 語以上含まれる〔自然〕の「半年・治療・頂上」等 32 語、〔性状〕の「国内・量・詳しい」等 29 語、〔心情〕の「容疑・案・楽しむ」等 26 語が挙げられる。そのうち〔性状〕は高頻度 600 語に最多の 132 語の語が該当した分類であることから、難易度の高い語の比率は 22% と比較的低かった。難易度の高い語が 20 語以下の分類は多い順に〔物品〕の「材料、校舎、車両」等 16 語、〔変動〕の「離れる、減る、平均」等 13 語、〔行動〕の「話し合う・展覧・記録」等、〔人物〕の「少年・知事・警察官」等、〔学芸〕の「文字・観光・サッカー」等がそれぞれ 11 語、〔性向〕の「症状・記録・事件」等 9 語である。このうち、〔物品〕は上位 600 語に含まれる語が 36 語と比較的少ない中で 16 語の 2 級以上の語が含まれたことから、難易度の高い語の比率は 10 種類の大分類で〔自然〕と並んで最大の 43% であった。また、〔変動〕〔行動〕〔学芸〕の 3 分類は難易度の高い語が少ない一方、分類内の上位 600 語に位置する語は 60-70 語前後と比較的多くあったことから、難易度の高い語の比率は 20% 未満で低かった。

以上、やさしい日本語ニュースの高頻度語彙上位 600 語に含まれる難易度の高い語を『角川類語新辞典』（2012）の意味分野、大分類でみた。難易度の高い語の数が多く、その比率も高いものの筆頭には上位 100 語・300 語と同様に [社会] が挙げられる。また、語数は [社会] には及ばないものの、難易度が高い語の比率が [社会] と同程度に高い分類としては [自然] [心情] [人物] [物品] があり、[自然] と [心情] は難易度が高い語の数も比較的多かった。続いて、表 71 に示した上位 600 語の難易度が高い 185 語を同辞典の中分類でみる。まず、表 73 に難易度が高い語の数とその比率を示す。

表 73 難易度が高い高頻度語の数と比率（上位 600 語、中分類）

分類	上位 600 語(語)		2 級以上の比率	分類	上位 600 語(語)		2 級以上の比率	分類	上位 600 語(語)		2 級以上の比率				
	大	中			すべて	2 級以上			大	中		すべて	2 級以上	大	中
自然	天文	5	1	20%	行動	往来	15	2	13%	社会	才能	4	2	50%	
	暦日	13	2	15%		見聞	10	3	33%		境遇	8	4	50%	
	気象	5	1	20%		陳述	9	1	11%		地域	17	11	65%	
	地勢	9	4	44%		寝食	6	1	17%		集団	16	6	38%	
	景観	6	3	50%		労役	10	1	10%		施設	14	2	14%	
	植物	3	2	67%		授受	7	1	14%		統治	9	5	56%	
	動物	9	7	78%		操作	10	1	10%		取引	18	6	33%	
	生理	8	2	25%		生産	5	1	20%		報道	11	6	55%	
	物質	10	6	60%		心情	思考	18	7		39%	習俗	6	2	33%
	物象	8	5	63%			学習	12	4		33%	処世	5	3	60%
性状	位置	34	9	26%	意向		7	1	14%	人倫	2	1	50%		
	形状	10	1	10%	要求		4	1	25%	学芸	論理	6	1	17%	
	数量	33	9	27%	誘導		12	5	42%		記号	25	2	8%	
	状態	9	2	22%	闘争		10	6	60%		文書	2	1	50%	
	価値	13	2	15%	愛憎		2	2	100%		文学	2	1	50%	
	類型	6	2	33%	悲喜		5	2	40%		芸能	3	1	33%	
	程度	17	4	24%	人物		老若	7	2		29%	娯楽	9	5	56%
	変動	移動	10	3			30%	親族	4		1	25%	物品	物資	5
離合		8	2	25%		親族	4	1	25%		薬品	1		1	100%
変形		3	2	67%		仲間	4	1	25%	食品	7	1		14%	
変質		5	1	20%		地位	4	3	75%	建物	5	2		40%	
増減		12	5	42%		役割	3	3	100%	家具	1	1		100%	
経過		14	2	14%	サービスの職業	5	1	20%	文具	2	1	50%			
関連		7	1	14%	性向	体格	8	3	38%	機械	14	9		64%	

表 71、表 73 に示したように難易度が高い語を含む中分類は 100 分類中 71 分類あり、非常に多かった。それでも、それぞれの大分類内にある 10 種類の中分類のうち、すべての中分類に 1 語以上の難易度の高い語がある大分類は [自然] の 1 分類に限られ、やさしい日本語ニュースに頻出する難易度の高い語の分布には上位 600 語でもみてもある程度偏りが認められた。また、[自然] は上位 600 語に位置する語が 74 語であり、ほかの大分類と比べ特別多くの語数を含む分類ではないものの、すべての中分類に属す難易度の高い語があることから、難易度の高い語が分類内に広く分布しているという特徴があると言える。ただし、難易度の高い語の比率は [自然] の 10 種類の中分類で均一ではなく、分類ごとに異なっていた。

また、9 種類の中分類に 1 語以上の難易度が高い語がある分類は [社会]、8 種類の中分類

に属す難易度が高い語がある大分類は〔心情〕〔行動〕2分類、7種類の中分類に属す難易度が高い語がある大分類は〔性状〕〔変動〕〔物品〕の3分類である。6種類の中分類に属す難易度が高い語がある大分類は〔人物〕と〔学芸〕で、〔性向〕は難易度の高い語は3種類の中分類にあるだけで、ほかの分類と比べ、少ない。ただし、〔性向〕は上位600語に属す語が28語で10種類の大分類中最も高頻度語が少ない分類であることから、難易度が高い語に限らず、ニュースで高頻度で使用される語自体が少ない分類だと言える。

中分類に含まれる上位600語に位置する語がすべて難易度の高い語である分類は〔愛憎〕〔役割〕〔薬品〕〔家具〕の4分類あった。これらの4分類に該当する語はいずれも1-3語と少数で、それぞれ順に「デモ・虐待」、「監督・エリート・選手」、「麻薬」、「つぼ」が該当する。そのうち、少数ながらも最多の3語の語がすべて難易度の高い語の〔役割〕については役割を表す「監督・選手」といった語が挙がったが、こうした語には適当な書き換え語がない。第二章で人名を含む固有名詞がニュースでは多用されていることについて述べたが、人名に限らず、人物を指す「監督・選手」などもニュースでは多用されており、そうした語は3-4級の範囲の中にはない語が高頻度で使用されているとわかった。

難易度の高い語の比率が60%以上100%未満の分類は比率が高い順に〔動物〕78%、〔地位〕75%、〔植物〕と〔変形〕の67%、〔地域〕65%、〔機械〕64%、〔物象〕63%、〔物質〕〔闘争〕〔処世〕の60%の9分類ある。それぞれの分類には順に「熊・あゆ・恐竜」等7語、「大統領・首相・知事」の3語、「蓮・細胞」の2語、「崩れる・広がる」の2語、「地域・州・都道府県」等11語、「爆弾・山車・ヘリコプター」等9語、「放射線・原子力・発電」等5語、「物質・氷・土砂」等6語、「戦い・空爆・消防」等6語、「やめる(辞)・選挙・進む」3語の難易度の高い高頻度語が属している。

ここで取り上げた9分類はいずれも難易度の高い語が多い分類だが、中でも〔動物〕〔地域〕〔機械〕は分類内の語の総数が多く、難易度が高い語が頻出した分類である。ただし、〔動物〕と〔機械〕の分類で得られた難易度の高い高頻度語の中には時事に影響を受けたと思われる「あゆ」や「山車」などといった語も少なからずあり、この2分類については分類に属す語がニュースで使用される頻度は低くないと考えられるものの、実際にニュースで具体的にどのような語が高い頻度で使用されるかはその時々により報道されるニュースの影響を免れないと思われる。他方、〔地域〕は行政区画等の名称が中心であり、中分類の中でもニュースで必要とされる語を比較的特定しやすい分類である。

難易度の高い語の比率が40%以上60%未満の分類は〔統治〕と〔娯楽〕の56%、〔報道〕の55%、〔景観〕〔才能〕〔境遇〕〔人倫〕〔文書〕〔文学〕〔文具〕のそれぞれ50%、〔地勢〕の44%、〔増減〕と〔誘導〕の42%、〔悲喜〕と〔建物〕の40%の計15分類ある。それぞれに含まれる語は順に「政府・総務省・制裁」等5語、「観光・オリンピック・ゴール」等5語、「発表・情報・流す」等6語、「畑・田んぼ・線路」3語、「詳しい・記録」2語、「貧しい・被害・災害」4語、「不正」1語、「記録」1語、「メッセージ」1語、「ロボ

ット」1語、「沖・温泉・鍾乳洞」等4語、「増やす・たまる・平均」等5語、「避難する・助ける・介護」等5語、「楽しむ・足りる」2語、「校舎・台」2語である。

難易度の高い語が40-60%含まれる分類には難易度の低い語と合わせても特別多くの語を含む分類はないが、上位600語の語を10語以上の語を含む分類としては[心情]{誘導}と[社会]{報道}が挙げられる。{誘導}は〈妨害〉〈救助〉〈保護〉の3種類の小分類に難易度が高い語が属し、被災後の救助活動や高齢者の介護などのニュースで使用された語が多かった。{報道}は小分類〈報道〉〈発表〉〈流布〉〈評判〉に属す難易度の高い語があり、メディアについてのニュースに限らず、企業や研究所などから発信されるさまざまな情報を伝達するニュースの中で用いられていた。

他方、難易度の高い語を全く含まない中分類は29分類あった。そのうち難易度の低い語も含めて上位600語に位置する語が1語もないのは[心情]の{栄辱}、[人物]の{生産的職業}と{神仏}、[性向]の{身振り}の4分類であり、分類内にある上位600語がすべて難易度の低い語である25種類の中分類は[性状]の{実質}{刺激}{時間}、[変動]の{動揺}{出沒}{情勢}、[行動]の{動作}{表情}、[心情]の{感覚}、[人物]の{人称}と{人物}、[性向]の{容貌}{姿態}{態度}{対人態度}{性格}{心境}、[社会]の{社交}、[学芸]の{学術}{言語}{美術}{音楽}、[物品]の{衣類}{標識}{工具}である。

なお、25分類の中でも上位600語中27語が該当する[性状]の{時間}、11語が該当する[変動]の{情勢}については比較的語数が多いにもかかわらずそのすべてが3-4級語彙であり、難易度の低い語でまかなうことができる意味分野も少数とはいえ、存在することがわかった。そのため、ここで{時間}{情勢}の2分類を取り上げ、分類内の語の使用例をみる。表74にやさしい日本語ニュースで使用されていた2分類に属す語をすべて挙げる。

表74 難易度が低い高頻度語しかない中分類と分類内の低頻度語
(10語以上の高頻度語を含む分類)

分類			高頻度語(上位600語)	低頻度語(使用頻度5回以下)	
大	中	小	3-4級の語	3-4級の語	2級以上の語
性状	時間	時間	とき、時間		
		時機		機会、頃、ちょうど、いつ、いつでも	契機、期限
		時刻	場合、午前、午後		危機
		期間	長い	久しぶり、短い、しばらく	
		常時	いつも、また	ずっと、一度、よく	平日、さらに
		遅速	速い、急、すぐ	ゆっくり、一度	緊急、突然、一度に
		先後	前、あと、いちばん、番、早い、次、最後	先(さき)、遅い、まず	順番、前半、トップ、後半、今回
		終始	新しい、初めて、最初、最後、まだ	初め、中頃、中(なか、ちゅう)、古い、もう	やっと、ほとんど
		今昔	前、今、これから、昔、将来、最近	先(さき)	元
		時代			時代、室町、江戸、昭和

分類			高頻度語(上位 600 語)	低頻度語(使用頻度 5 回以下)	
大	中	小	3-4 級の語	3-4 級の語	2 級以上の語
変動	情勢	情勢	場合		
		勢い	力(ちから)		暴力
		発生	出る、出す、できる、起きる	起こす、無くなる	
		成否	できる、なる	倒れる	まとめる、完成、破れる、倒す
		興亡			
		盛衰			発展
		進歩		遅れる、下がる	
		変動	変える、変わる、戻る、直す		
		混乱			
		緊張			

表 74 に示したように、高頻度語を多く含む中分類で、そこに属す高頻度語がすべて難易度の低い 3-4 級の語である {時間} {変動} の二つの分類はそれぞれの低頻度語の出現傾向が異なっていた。異なり語数が多い {時間} では使用頻度 5 回以下の低頻度語は難易度の低い語・難易度の高い語ともに小分類内に数語ずつみられたが、{変動} では低頻度語がある小分類はさほど多くはなかった。また、低頻度語をここでは頻度 5 回以下の語としているが、難易度の高い 2 級以上の語について、表 74 に示した語では 5 回使われた「ほとんど」を除けば、すべて使用回数は 1-2 回であり、非常に少なかった。

また、高頻度語彙上位 600 語の小分類の数は表 75 に示すように 395 種類あり、上位 300 語の約 1.6 倍である。また、難易度が低い小分類の数は 315 種類で 395 種類中およそ 80% を占め、分類の数は上位 300 語の約 1.5 倍である。一方、難易度の高い語を含む小分類は上位 600 語では 154 分類あり、上位 300 語の約 2.9 倍である。そして、難易度の低い高頻度語と難易度の高い高頻度語をどちらも含む分類は上位 600 語では 74 種類で、上位 300 語の約 3.4 倍で 5 種類の小分類におよそ 1 分類、難易度の高い／低い高頻度が重なる分類があるとわかった。

表 75 高頻度語が属す小分類数の比較 (上位 100 語・300 語・600 語)

	上位 100 語	上位 300 語	上位 600 語
小分類数	106	242	395
3-4 級の語がある分類	93	211	315
2 級以上の語がある分類	15	53	154
難易度の重なりがある分類	2	22	74

上位 600 語では難易度の高い語と難易度の低い語の重なりがある分類が多いが、語と語の関係は上位 300 語と大きくは変わっていない。具体的には、上位語／下位語の階層的関係にある「力」と「原子力」、「動物」と「熊」など、並列関係にある「計画」と「対策」、「崩れる」と「壊れる」など、自動詞・他動詞の関係にある「乗る」と「乗せる」、「売る」と「売れる」など、類縁的關係にある「チーズ」と「バター」、「けが」と「治療」などの組み合わせの語があった。続いて、図 50 に上位 600 語の分布を示す。上位 100 語・上位 300 語と同様、グラフの白抜きは高頻度語全体、黒塗りは 2 級以上の語の数である。

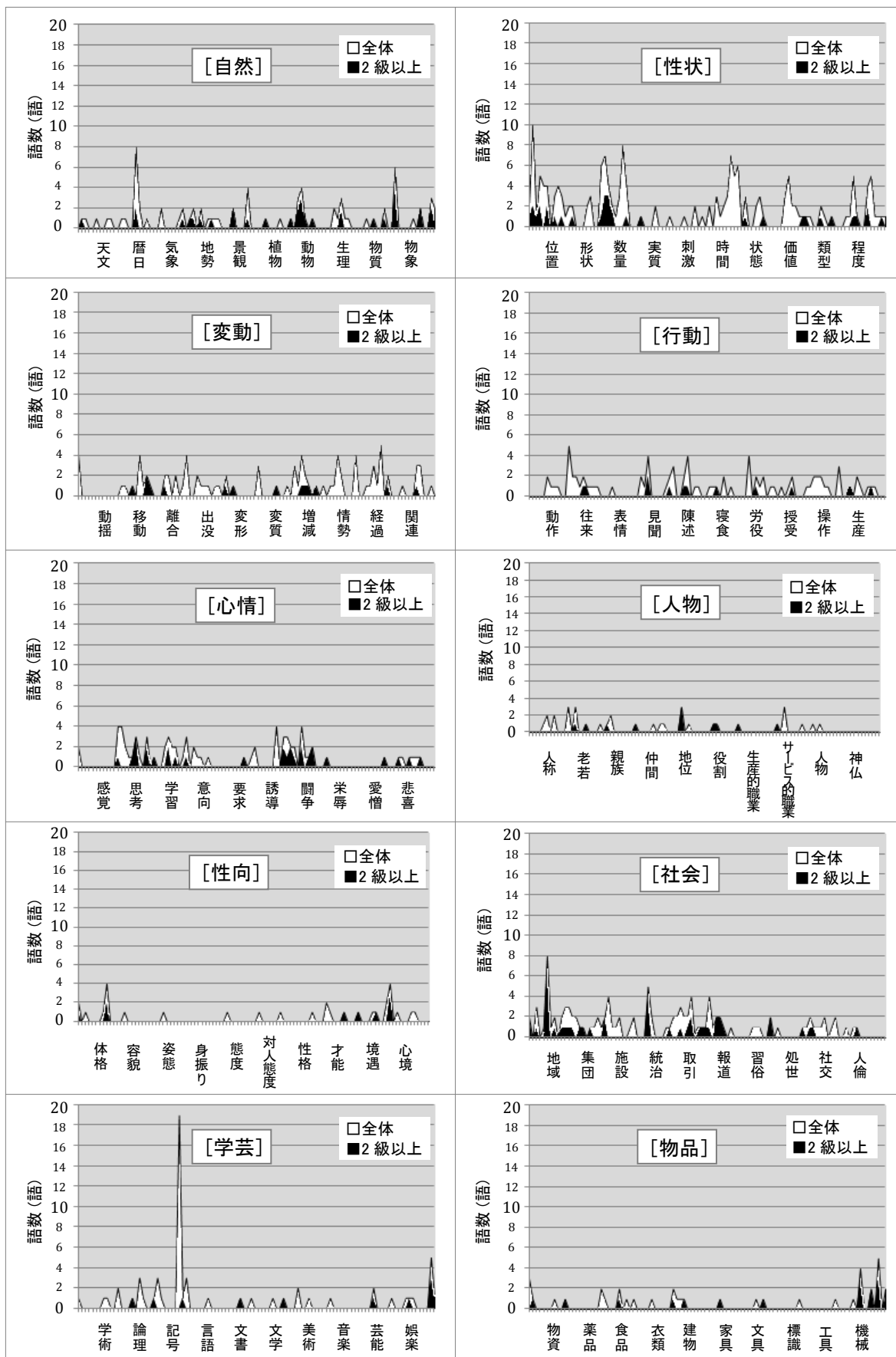


図 50 やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位 600 語の分布

上位 600 語では図 50 に示したように、いずれの大分類にも高頻度語が広く分布していた。ただし、分類内の語の偏りは残り、中分類では〔性状〕の〔位置〕や〔時間〕などほかの分類とは異なり、多くの小分類に属す語が集中している分類がある一方、〔性向〕の中分類のように、中分類内の語が 1 語ずつだけ、といった分類もあった。小分類では〔学芸〕〔記号〕の〔単位〕が群を抜いて多くの語を含んでいるのは上位 300 語と同様であった。そのほかの小分類では〔単位〕ほどには際立って多くの語が属す分類はないが、〔自然〕〔性状〕〔社会〕分類内の小分類には比較的語数の多い分類があった。

難易度の観点、つまり図 50 に示した 10 枚のグラフの黒塗り箇所の多さをみると、図 47・図 48 で示した上位 100 語・上位 300 語よりも黒い部分が多く、高頻度語に占める難易度の高い語の比率が比較的高い。このため、高頻度で使用された語の数を 100 語、300 語、600 語と増やすにつれ、難易度の高い語が含まれる比率が高くなっていったことがわかる。特に、〔自然〕〔心情〕〔社会〕〔物品〕の語は黒塗りした難易度の高い語の分布が比較的多かった。

そして、そうした難易度の高い語が属す分類の半分以上は表 75 にも示したように難易度の低い語が 1 語も含まれていなかった分類である。こうした結果について考えるため、表 76 に難易度が高い高頻度が属す小分類内にはどのような 3-4 級の語があるのかを示す。

表 76 難易度が高い高頻度語と小分類内の難易度が低い語（上位 600 語）

小分類	上位 600 語	小分類内の 3-4 級語彙	小分類	上位 600 語	小分類内の 3-4 級語彙
宇宙	宇宙		脚・尾	羽毛	齒
年	半年、年度	年(とし、ねん)、今年、去年、来年、一昨年(おとし)、再来年、毎年(まいとし、まいねん)	発病	治療、うつる(感染)	怪我、治る、注射
天変地異	津波	地震	物質	物質	
陸地	土		水	氷	水、湯
山	鍾乳洞	山	鉱物	土、ダイヤモンド、土石流 ¹²⁶ 、土砂	石、砂
海	沖	海	光	放射性 ¹²⁷ 、放射能	日(ひ)、月(つき)、点く、点ける、消える、消す
泉	温泉		力	原発 ¹²⁸ 、原子力	力(ちから)
耕地	畑、田んぼ		電気	発電	電気
道路	線路	線、道、橋	位置	場所	所、点
草	蓮	草	こそあど	別、ほう	ここ、こちら、この辺、こっち、そこ、そちら、その辺、あそこ、あちら、あの辺、どこ、どちら、どの辺、どっち、これ、それ、あれ、どれ、側、以外、何(なに、なん)、両方、この、その、あの、どの
細胞	細胞				
動物	マウス ¹²⁹ 、熊	動物、鳥			
魚介	ウナギ、あゆ、クロマグロ ¹³⁰	魚(さかな)			
虫類	恐竜	虫			

¹²⁶ 見出し語は「土石」。

¹²⁷ 見出し語は「放射」。

¹²⁸ 見出し語は「原子力」。

¹²⁹ 見出し語は「ねずみ」。

¹³⁰ 見出し語は「まぐろ(鮪)」。

小分類	上位 600 語	小分類内の 3-4 級語彙
点	ゴール	点、出発点、目
内外	地下、国内	中、以内、外、表、上、裏、下
上下	最低、頂上	上(うえ)、上側、下(した)、下側、高い、低い
周辺	中心	間(あいだ)、周り、中、真ん中、耳、先(さき)
方向	行方不明 ¹³¹	手、横、先(さき)、東、西、南、北、こちら、こっち、そちら、あちら、どちら、どっち
面	穴	急
数	兆	一、二、三、四、五、六、七、八、九、十(じゅう、とお)、百、千、万、億、一つ、二つ、三つ、四つ、五つ、六つ、七つ、八つ、九つ
数量	数(かず)	回、度(ど)、点、量、金額、割合
度	気温、温度、時速	度
度量衡	量、直径	背、程、肉
全部	一部	皆(みな、みんな)、全部、すっかり、綺麗、半分
構造	システム	
状態	症状	表、まま、訳、裏、場合
難易	可能性	難しい、無理、易しい、簡単、駄目
正否	不正	是非、正しい、無理
精粗	詳しい	細かい
種類	種類	いろいろ
系統	システム	血
程度	最低	程、辺、度、余り、高い、上、下、低い
基準	標準	以上、以下、以内、以外
限度	最も、最低	良く、結構、十分(じゅうぶん)、沢山、一番、割合、なかなか、だいぶ、やっと
大体	約	大体、殆ど、位、程
接近	離れる	寄る、置く
流動	流れる、流す	
離合	離れる	割れる、合う
付着	つく(付)	
破壊	崩れる	壊れる、壊す、割れる
拡大	広がる	太る
美化	汚染	汚(よご)れる
増減	増やす、減る、たまる	増える
加除	つく(付)	足す、引く
満ち欠け	たまる	落ちる、落とす、飛ぶ、空(あく)
補充	平均	足す

小分類	上位 600 語	小分類内の 3-4 級語彙
進捗	進む	急ぐ、運ぶ、遅れる
因果	結果	因る、原因、生きる、死ぬ
乗降	乗せる	乗る、乗り換える、降りる
運行	航空	泊まる
提示	展示、展覧	見せる、出す、並べる
書き	記録	書く、ノート、メモ
談話	話し合う	話す、話、会話
相談	話し合う	話す、話、相談、会議
在宅	無人	居(いる)、いらっしゃる、留守、泊まる
労働	活動	働く、運動、踊る、使う
取捨	つかみ取り	取る、拾う、盗む、捨てる
打撃	撃つ	打つ、投げる
土木	工事	開く
思考	考え	考える、意見、思う、心
識別	別	
信疑	容疑、疑い 確かめる、	
立案	案、対策	計画
練習	訓練	練習、慣れる
調査	調査、検査	調べる、洗う
試験	実験	試験、テスト、経験、味、踏む
意	考え	積もり、考える、思う
協力	協力する ¹³²	
妨害	被害、避難する	邪魔、故障、開く(ひら)、逃げる
救助	助ける	手伝う、力(ちから)
保護	守る、介護	世話、見る
闘争	戦い	戦争
競争	戦い	競争、比べる、試合
攻防	空爆	
討伐	守る、自衛隊 ¹³³	
侵害	消防	
威嚇	デモ	
待遇	虐待	
苦楽	楽しむ	困る、参る、晴れる、楽しみ
満足	足りる	
少年	少年	子供、男の子、女の子
老人	年寄り	お爺さん、お婆さん
父母	親	両親、父(ちち)、お父さん、母(はは)、お母さん
仲間	グループ	
治者	大統領、首相、知事	政治家
担当者	監督	
当事者	エリート	
選手	選手	
役人	警察官	公務員、警官
身体	遺体	体、肉

¹³¹ 見出し語は「行方」。

¹³² 表内サ変動詞の見出し語はサ変名詞(例:「協力する」の見出し語は「協力」)。

¹³³ 見出し語は「自衛」。

小分類	上位 600 語	小分類内の 3-4 級語彙
病気	がん、症状	病気、怪我、風邪
学識	詳しい	眼鏡、明るい、暗い
業績	記録	
貧富	貧しい	
災難	被害、災害、事件	事故、大事
範囲	地域、地方	
場所	場所	所、席、会場、住所、先(さき)
都道府県	県、都、市、 区、町(ちょう)、 都道府県、州	村(むら)
村落	地方	村(むら)、田舎
世界	アフリカ	世界
群集	グループ	集まる、集める、寄る
集会	大会	会、パーティー、コンサート、運動会
加入	参加する	入る
軍隊	軍	
党派	チーム	右、左
家庭	家庭	家(いえ、うち)、お宅
役所	役所、警視庁	大使館、郵便局、交番
機関	政府、 厚生労働省、 環境省、総務省	警察
刑罰	制裁	
売買	売れる	売る、買う、買い物
損得	赤字	ため
収支	収支、収入	入る、上がる、払う、出る
賃金	賃金	
税	消費税	
報道	情報	ニュース、知らせる、案内、 連絡、放送
発表	発表する、発表	
流布	流す、広がる	飛ぶ、移る
評判	人気	音、鳴る、通る、売る

小分類	上位 600 語	小分類内の 3-4 級語彙
宗教	イスラム教、宗教	
出処進退	やめる(辞)	座る、降りる
推挙	選挙	選ぶ
栄達	進む	上がる、上げる、下がる、 下げる、落とす
人道	不正	道
要点	中心	
文字	文字	字、平仮名、片仮名、
助数詞	号 ¹³⁴	番、目、度、回、周り、倍、 軒、口、個、つ、点、台、階、 杯、人、匹、冊、枚
文書	メッセージ	
記録	記録	歴史、日記
映画	アニメ ¹³⁵	映画
見物	観光	見物、花見
スポーツ	オリンピック、 サッカー、マラソン	運動、スポーツ、試合、水泳、 泳ぐ
球技用語	ゴール	
物資	材料	
薬剤	麻薬	薬
調味料	チーズ	塩、砂糖、醤油、味噌、 バター、ジャム
建物 ¹³⁶	校舎	家(いえ、うち)、建物
建物	台	階段、エスカレーター、ベッド、 棚、本棚
容器	つぼ	花瓶、灰皿、船
人形	ロボット	人形
電気機具	携帯電話、ビデオ、 スマートフォン ¹³⁷	ラジオ、テレビ
車両	列車、車両、 山車	車、自転車、オートバイ、 自動車、タクシー、バス、電車、 特急、急行、エレベーター
航空機	ヘリコプター	飛行機

同一の意味分野に属している難易度が高い高頻度語と難易度が低い高頻度の関係として、先に並列関係や自動詞・他動詞の関係にある語を例示した。しかし実際には、難易度が高い高頻度語が属す小分類には表 76 に示したように、高頻度語として挙げられなかった語も含め、難易度の低い語も数多く存在していた。ただし、小分類内に難易度の低い 3-4 級語彙が全くない分類も 35 分類あり、3-4 級語彙を初級の語彙と考えた場合、初級の語彙がカバーしていない意味分野が少なくないと言える。

¹³⁴ 『明鏡国語辞典 第二版』には名詞として見出し語にある。

¹³⁵ 見出し語は「アニメーション」。

¹³⁶ 「校舎」が属すのは小分類 940 (建物) で「人が住んだり物を置いたりするために建てたもの」と定義される。「台」が属すのは 943 (建物) で「付属 縁側・露台・廊下・階段など」と定義され、それぞれ別の分類である。

¹³⁷ 「携帯電話」「スマートフォン」の見出し語は「電話機」。

ここでは、表 76 に示した小分類で 3-4 級の語が存在する意味分野の難易度が高い高頻度語について、同分類内に難易度が低い語がありながら難易度が高い語が高頻度で使用された背景について考える。対象とするのは、[性状] {価値} 〈精粗〉の「詳しい」と「細かい」、[人物] {老若} 〈少年〉の「少年」と「子供・男の子・女の子」、同じく [人物] の {親族} 〈父母〉の「親」と「両親・父・お父さん・母・お母さん」、[社会] {处世} 〈榮達〉の「進む」と「上がる」、[学芸] {記号} 〈文字〉の「文字」と「字」、同じく [学芸] の {娯楽} 〈見物〉の「観光」と「見物」、以上 6 種類である。

まず、[性状] {価値} 〈精粗〉の「詳しい」と「細かい」について考える。『角川類語新辞典』（2012）で「詳しい」は「調査や知識が詳細で行き届いている」、「細かい」は「細部にわたっている」と定義されている。この定義からは「詳しい」に「調査や知識」という具体的な事柄が示される一方、「細かい」には具体的な事柄が示されていないことから、「詳しい」は「細かい」と上位語／下位語の階層的関係にある可能性が考えられる。〈精粗〉「詳しい」の具体的な使用例として、(356) を挙げるが、やさしい日本語ニュースにおいては〈精粗〉の「詳しい」はほぼ例外なく (356) b のように「詳しく調べる」の形で連語のようにして用いられていた。ただし、(357) に示す「詳しい原因」という名詞を修飾する形で 1 例用いられていた。

(356) a. 「(前略) 事故の危険性は無かった (中略) 詳しい状況について調査する」と発表しました。(般: 31)

b. 「(前略) 危険はありませんでしたが、詳しく調べます」と言っています。(や: 31)

(357) a. 現地に専門家のチームが向かって事故原因の本格的な調査を始めました。(般: 81)

b. 専門家が事故の詳しい原因を調べています。(や: 81)

こうした (356) (357) で用いられている「詳しい」は意味の観点ではどちらも「細部にわたっている」と定義される 3 級の語「細かい」に置き換え可能ではないかと思われる。ただし、文の中での語の使われ方をみると、2 語ではその性質が異なる。

上述のように「詳しい」は「詳しく調べる」のように動詞を修飾する形で用いられている例が多く、「調査や知識が詳細で行き届いている」という意味の「詳しい」の使用例として『角川類語新辞典』では「いきさつを詳しく話す」、『明鏡国語辞典 第二版』では「経過を詳しく説明する」、『広辞苑 第六版』では「詳しく調べる」のように動詞修飾の形が挙げられていたが、「細部にわたっている」という意味の「細かい」については 3 冊の辞典のいずれも動詞修飾の使用例はなく、名詞修飾と述語としての使用例があるだけだった。このため、「細かい」の動詞修飾の形は「詳しい」の動詞修飾ほどには一般的でないと考えられる。こうしたことから、(356) のような文の構造をとる場合、「細かい」を使用することは意味上は問題はなくとも、構造上自然さの面で支障があると判断され、「細かい」ではなく、

「詳しい」が使用されたと思われる。

なお、「詳しい」は『角川類語新辞典』では〈精粗〉のほか、[性向] {才能} 〈学識〉にも分類可能されており、〈学識〉の「詳しい」は「博学—広く学問に通じていること／事細かく知っている」と定義されている。やさしい日本語ニュースでは〈精粗〉と〈学識〉の「詳しい」はそれぞれ7回、1回使用され、一般ニュースでは順に13回、7回使用されていた。(358)に示すような〈学識〉の例では、当然ながら「詳しい」を「細かい」に置き換えることはできない。

- (358) a. 就職情報会社によりますと、日本語が堪能で現地の文化や習慣にも詳しい学生は日本の本社との橋渡しをする人材として採用を希望する企業が増えていて、(後略)。(般: 170)
- b. このような会社は、日本語が上手で、その国の文化や習慣にも詳しい学生を社員にしたいと考えています。(や: 170)

次に、2組目の例として[人物] {老若} 〈少年〉の「少年」と「子供¹³⁸・男の子・女の子」の組み合わせについて考える。まず、それぞれの語の定義を『角川類語新辞典』で確認すると、「少年」には語の明確な定義はないが、小項目〈少年〉は「年の若い男子」と定められている。また、「子供」は「少年や少女」、「男の子」は「男の子供。若い男性をさしても」、「女の子」は「女の子供」と定められている。こうした定義からはこれら4語は性別の違いが語に含まれるか否かを除けばさして語の意味に違いがあるとは思われない。しかし、ニュース文では18歳を境に18歳未満と18歳以上で明確に語が使い分けられていた。まず、18歳以上の人物を指すのに用いられた「少年」の使用例を(359)に示す。

- (359) a. 18歳の黒人の少年が路上で警察官に射殺される事件が起きました。(般: 145)
- b. 18歳の黒人の少年が道で警察官に撃たれて亡くなりました。(や: 145)

対象としたニュースではやさしい日本語ニュース・一般ニュースともに(359)のように海外の事件等で犠牲となった人物を指していた。ただし、犠牲者については「男の子」等も使用された例があったことから(359)のような文脈で「少年」の語が選ばれたのは話題ではなく、年齢によるものだと考えられる。

次に、18歳未満の人物を指すのに使用されていた語の例を(360)(361)に示す。(360)は「17歳以下の子ども」、(361)は「18歳未満の子ども」の使用例で、18歳に到達していない人物を指すのに「少年」の語が使用されることはなかった。

¹³⁸ 『角川類語新辞典』(2012)の分類を基準に述べるときは同辞典の表記、ニュースで使用された語について述べるときはニュースでの表記に従っているため、同一の語でも「子供」「子ども」のように揺れがある場合がある。

- (360) a. 17歳以下の子どものうち、貧困の状態にある子どもの割合は推計で16.3%で、(攻略)。(般:57)
- b. 17歳以下の子どものうち、貧しい生活をしている子どもの割合は16.3%でした。(や:57)
- (361) a. 先月末までの2か月間に熱中症で搬送された18歳未満の子どもは全国で3700人余りに上り、(後略)。(般:118)
- b. (対応箇所なし) (や:118)

(360)(361)に挙げた「子ども」の使用例はいずれも具体的な一人物を特定しないもので、ほかにこうした「子ども」の使用例は「利用している子どもなどの名前や住所など」(や:51)、「子どもの虐待の数は」(や:121)のようにみられ、18歳未満の人物を指して「子ども」の語が使用される場合には個人が特定できない例が大半であったが、対象としたニュースでは(362)に示す一例、具体的に個人が特定できる場合にも「子ども」が使用されていた。

- (362) a. 山鉾巡行は、先頭に行く「長刀鉾」(なぎなたぼこ)に乗った稚児が、通りに張られたしめ縄を刀で断ち切ったのを合図に始まりました。(般:64)
- b. いちばん前の山車に乗っている子どもが道に張った縄を刀で切って、「山鉾巡行」が始まりました。(や:64)

また、「子ども」の使用例としては(363)のように、研究や調査の対象である動物の子どもを指すものもあった。こうした例では「少年」の語は当然ながら相応しくはない。

- (363) a. 調査は神奈川県小田原市の酒匂川の支流で行われ、サンプルとなるおよそ200匹のニホンウナギの稚魚や成魚を網などで捕獲しました。(般:58)
- b. 環境省の研究グループは、神奈川県小田原市の川で、子どものウナギと成長したウナギを全部で約200匹捕まえました。(や:58)

なお、「少年」と語の使用域が重ならない語として18歳未満の人物を指す「男の子」「女の子」もあるが、これらの語はすべて国内のニュースにおける災害や戦争の犠牲者、あるいは(364)のようなイベント等の参加者をあらわすのに使用されていた。

- (364) a. 小学5年生の女の子は「ただの絵なのに、絵の中に見えるように見えてとてもおもしろいです」と話していました。(般:148)
- b. 展覧会に来た小学校5年生の女の子は「自分が絵の中に見えるように見えて、とてもおもしろいです」と話していました。(や:148)

「男の子」や「女の子」は(364)に示した「小学校5年生の女の子」の例のほか、「男の子は7年以上前、5歳のときに(や:136)」、「中学校1年生だった男の子のズボンは(や:162)」のように、特定できる一人物を指しており、「子ども」とは語の使用域が異なった。

続いて、3組目として、「少年」と同じ大分類[人物]に属す{親族}〈父母〉の「親」と「両親・父・お父さん・母・お母さん」について述べる。それぞれの語は『角川類語新辞典』では「親」は「父母の総称」、「両親」は「父親と母親」、「父」は「男である親」、「お父さん」は「『お父様』よりくだけているが、父をさす標準的な語」、「母」は「女である親」、「お母さん」は「母。母親に対していう最も標準的な語」と定義され、「父」と「母」、「お父さん」と「お母さん」は性別により区別され、「両親」は二親を指すが、こうした定義からはそれぞれに「親」と語の使用範囲が重なることが多いように思われた。しかし実際に「親」の使用例をみると、(365)のように、二親を指すのでも、どちらかの性別の親に限って指すのでもないような場合には「親」を使うというように、「両親」や「父」「母」等と重ならない「親」の使用域があるように思われた。ただし、書き換え前の一般ニュース(365)aでは「親」ではなく「夫婦」が使用されているように、「親」は一般ニュースの「夫婦」や「親子」などの書き換えの過程で生じた語で、一般ニュースにおける使用は限定的で2語しかなかった。

(365) a. 近所づきあいが少なくなるなど悩みを抱え込む夫婦が増えていることや(後略)。(般:121)

b. 子育ての悩みを相談する人が近くにいない親が増えています。(や:121)

4組目の例である[社会]{処世}〈栄達〉の「進む」と「上がる」について、『角川類語新辞典』では「進む」は「階級・地位などが高くなる」、「上がる」は「地位・資格などが高くなる」と定義されている。ただし、「進む」「上がる」ともに多義語であり、「進む」は対象としたやさしい日本語ニュースの中では〈栄達〉のほか、[変動]の{移動}〈進退〉と{経過}〈進捗〉の3分類の意味で使用されていた。同辞典では〈進退〉の「進む」を「前進一前方へ進むこと/前方へ行く」、「進捗」の「進む」を「はかどる」と定義しており、〈栄達〉は(366)、〈進退〉は(367)、〈進捗〉は(368)に示すような使用例があった。

(366) a. 監督として(中略)メキシコをいずれもベスト16に導きました。(般:84)

b. メキシコは決勝トーナメントに進みました。(や:84)

(367) a. アルゼンチンはエースのメッシ選手のドリブル突破などを起点に攻めましたが、(後略)。(般:44)

b. アルゼンチンは、メッシ選手がドリブルしながら進んでいきました。(や:44)

(368) a. 土砂崩れで寸断された道路も多く作業は難航しています。(般:116)

- b. 山が崩れて通ることができない道もあるため、作業はなかなか進みません。(や: 116)

こうした3分類の「進む」のうち、最もその解釈が容易なのは「前方へ行く」という一つの動作としてイメージできる(367) bのような例だろう。しかし、ニュースを取得とした期間にサッカーのワールドカップが開催されていたこともあり、(366) bの「決勝トーナメントに進む」のような〈栄達〉の意味で用いられる「進む」が最も多かった。次いで多いのは自然災害の処理に関係した(368) bのような〈進捗〉の意味での使用で、〈進退〉の使用は(367) bの1例しかなかった。「上がる」は対象とした期間のやさしい日本語ニュースでは〈栄達〉での使用例はなく、使用されていたのは[社会]{取引}〈騰落〉、[変動]{移動}〈昇降〉の2種類の意味であった。〈騰落〉の「上がる」は「値段が高くなる(騰がる)」、〈昇降〉の「上がる」は「上昇—昇ること／下から高い所に移る」と定義された語で、〈騰落〉は(218) b、〈昇降〉は(219) bのような使用例がみられた。

- (218) a. (前略) 各社は店頭とネットの両面で販売に力を入れることで、消費増税の影響が残る消費の本格的な回復につなげたい考えです。(般: 26)
- b. ことし4月に消費税が上がりましたが、デパートは店とインターネットの両方でお中元の品物をたくさん売りたいと考えています。(や: 26)
- (219) a. 地球温暖化による海面上昇がこのまま進めば津波などによって島が水没してしまうのではないかという懸念が強まっています。(般: 190)
- b. このまま地球の気温が上がって海の水の高さが上がると、津波などがあつたときに島が海に沈んでしまうと心配しています。(や: 190)

こうした使用実態から、〈栄達〉の意味においては、3級の語「上がる」よりも2級の語「進む」のほうが難易度の低い語であると考えられている可能性がある。ただし、「進む」の〈栄達〉の意味での使用をみると、(366) bに示した「決勝トーナメントに進む」のようなものがあり、ここでは「進む」を単純に「上がる」に変えようとすれば、語の結合に不自然さが生じる。こうしたことから、日本語の自然さの面からも〈栄達〉の「上がる」ではなく、「進む」を使用せざるをえない理由があつたと考える。

5組目の語例、[学芸]{記号}〈文字〉の「文字」と「字」について、『角川類語新辞典』では「文字」は「言葉。文章の意でも」、「字」は「文字。筆跡」と定義されている。「字」の定義の中に「文字」の言葉が入っていることから両者の語の使用範囲はある程度重なるのではないと思われるが、今回は「字」の使用例は得られず、ニュースではすべて「文字」が使用されていた。具体的には「文字」はやさしい日本語ニュースではウェブサイトで入力するパスワードやスマートフォンの新機能の開発など、電子媒体の中で使用される文字を指し、(369)のように使用されていた。

- (369) a. スマートフォンは、文字を入力するキーに凹凸がないため、目の不自由な人にとってキーの位置を把握するのが難しく、(後略)。(般: 192)
- b. スマートフォンでは画面を触って文字を入れます。しかし、ボタンがないため、目に障害がある人には文字を選ぶことが難しく、(後略)。(や: 192)

既述のように、「字」は「文字。筆跡」と定められており、こうした(369)のような電子媒体の中で使用される書き手がない文字は「字」よりも「文字」が好ましいと判断された可能性はあるが、今回は「字」の使用例が得られていないため詳しい書き分けはわからない。また、電子媒体上の文字とは別に「頭文字」の使用例が1例得られ、これについては「文字」を「字」に置き換えることはできない。

最後に6組目の語例として[学芸]{娯楽}<見物>の「観光」と「見物」を取り上げる。「観光」と「見物」はやさしい日本語ニュースでは順に11回、0回、一般ニュースでは順に47回、2回使用されており、どちらのニュースでも「観光」の使用が圧倒的に多い。語の定義としては、『角川類語新辞典』では「観光」は「風光・名所などを見物して歩くこと」と定められ、「見学」は語としての定義はないが、小分類<見物>は「楽しみなどのために物や場所をみること」とあり、語の意味はあまり重ならず、「観光」の定義の中に「見物」の語がみられることから「観光」は「見物」の下位語であるとも考えられる。「観光」の使用例としては(370)のような例があり、こうしたお祭りに参加することについては「物や場所をみる」というよりも実際に参加して楽しむという意味合いが強く、「見物」ではなく「観光」の語が選ばれたのだと思う。

- (370) a. 去年の祭りからは、スペインの厳しい財政状況を反映して観光客を対象に、10ユーロ(日本円で1300円余り)をチケットという形で徴収(後略)(般: 207)
- b. 去年のお祭りから観光に来た人たちに10ユーロ(約1300円)のチケットを売るようになりました。(や: 207)

一方、一般ニュースで使用された「見学」の例としては(371)のようなものがあり、ここでの目的は「見る」ことであり、「見学」の語が使われるに相応しい文脈だと考えられる。

- (371) a. ハスは朝の咲き始めが美しく見えるということで、公園の池には朝から大勢の人が見物に訪れ、(後略)。(般: 17)
- b. 蓮は咲き始める朝、特に美しく見えるため、池には朝から大勢の人が来ています。(や: 17)

こうしたことから、高頻度語彙上位600語内の語も一部、同じ分類内の難易度が低い語との使い分けをはっきりとできないものがあるものの、大半は書き分けの基準があるものと思われた。

以上、やさしい日本語ニュースで高頻度で使用された上位 600 語の難易度の高い 271 語のうち、『角川類語新辞典』（2012）で分類可能な 185 語について述べた。同辞典をもとに難易度が高い語の属す意味分野を大分類、中分類、小分類で分けたところ、大分類では〔社会〕に属す語が最も多いことは上位 100 語、上位 300 語と同様であったが、分類内における難易度の高い語が占める比率は上位 300 語と異なり、〔自然〕〔心情〕〔物品〕も〔社会〕と同様に高く、40% 前後であった。中分類では〔自然〕の〔動物〕、〔社会〕の〔地域〕、〔物品〕の〔機械〕が難易度が高い語の数が多く、その割合も高い分類に挙げられた。反対に分類内に高頻度語が 10 語以上ありながら 1 語も難易度の高い語が含まれなかった中分類として、〔性状〕の〔時間〕と〔変動〕の〔情勢〕の 2 分類があった。小分類では上位 100 語、上位 300 語とは異なり、難易度の高い高頻度語と難易度の低い高頻度語の双方が含まれる分類が多く、5 種類の小分類におよそ 1 分類、双方の語が含まれる分類があった。

第四章 結論

第二章、第三章では NHK のやさしい日本語ニュースと一般ニュースを資料に行った調査の結果と考察を述べた。本章では先行研究、本調査の結果・考察から明らかになった NHK のやさしい日本語ニュースと一般ニュースの語彙の違いとやさしい日本語ニュースの高頻度語彙の特徴についての内容をまとめ、結論とする。そして、そうした結論を基に、やさしい日本語ニュースの教室内での活用について考える。最後に本調査で残された課題を示し、本稿の結びとする。

1. まとめ

本稿では、2014 年 7 月と 8 月の 2 か月間の NHK NEWS WEB EASY（やさしい日本語ニュース）と NHK NEWS WEB（書き換え前の元の一般ニュース）それぞれ 211 本を対象に、「やさしい日本語」で書かれたニュースと一般のニュースの語彙の特徴を調べ、その違いを明らかにすること、「やさしい日本語」のニュースで高頻度で使用される語彙を抽出し、どのような種類の語彙が多いのか、意味分野を中心に語彙の特徴を明らかにすることの 2 点を目的にニュース語彙の調査、分析を行った。

1 点目のニュース間の違いを明らかにすることを目的とした調査では、自立語の特徴を品詞・語種・難易度の観点から分析した。2 点目のやさしい日本語ニュースの高頻度語彙についての調査では NHK NEWS WEB EASY で高頻度で使用された自立語を上位 100 語・300 語・600 語で区切り、その特徴について意味分野を中心に考えた。本節では 2 種類の調査と分析から得られた結論を述べる。

1.1. やさしい日本語ニュースと一般ニュースの語彙の違い

やさしい日本語で書かれたニュースと一般のニュースを構成している語彙の違いを明らかにすることを目的として行った、やさしい日本語ニュースと一般ニュースの語彙特徴をみるための調査では、表 77 に示す 63 項目について分析を行った。

表 77 やさしい日本語ニュースと一般ニュースの語彙特徴をみる調査の項目

		やさしい日本語ニュース／一般ニュースの延べ語数・異なり語数
0. ニュース全体		a. 語数 b. 実質語 1 語の平均使用回数
品詞	1. 実質語全体	a. 品詞別内訳(語数) b. 品詞別内訳(比率) c. 書き換えによる語の増減
	1.1. 名詞	a. 名詞全体と普通名詞／固有名詞の語数 b. 普通名詞と固有名詞の内訳(比率) c. 名詞全体と普通名詞／固有名詞 1 語の平均使用回数 d. 代名詞の語数と普通名詞に占める比率 e. 固有名詞の種類別(地名／組織名／人名／その他)の内訳(語数) f. 固有名詞の種類別(地名／組織名／人名／その他)の内訳(比率) g. ニュース 1 本あたりの固有名詞の種類別の平均使用回数
	1.2. 動詞	a. 語数 b. ニュース 1 文あたりの動詞の平均使用回数 c. 本動詞・補助動詞の語数 d. 動詞全体と本動詞／補助動詞の 1 語の平均使用回数 e. 本動詞の種類(サ変／その他)別の語数 f. 本動詞に占めるサ変動詞の比率
	1.3. 形容詞	a. 形容詞全体とイ形容詞／ナ形容詞の語数 b. イ形容詞／ナ形容詞の内訳(比率) c. 形容詞全体とイ形容詞／ナ形容詞 1 語の平均使用回数
	1.4. 副詞ほか	a. 副詞／連体詞／接続詞／感動詞が実質語全体に占める比率 b. 副詞／連体詞／接続詞／感動詞 1 語の平均使用回数
語種	2. 語種全体	a. 語種別内訳(語数) b. 語種別内訳(比率) c. 国立国語研究所調査との比較
	2.1. 和語	a. 品詞別内訳(語数) b. 品詞別内訳(比率) c. 各品詞 1 語の平均使用回数
	2.2. 漢語	a. 品詞別内訳(語数) b. 品詞別内訳(比率) c. 各品詞 1 語の平均使用回数
	2.3. 外来語	a. 品詞別内訳(語数) b. 実質語全体に占める外来語の比率 c. 外来語の表記(アルファベット・記号／カタカナ)の比率 d. 品詞／表記別の 1 語の平均使用回数
	2.4. 混種語	a. 実質語全体に占める混種語の比率 b. 品詞別内訳(語数) c. 品詞別内訳(比率) d. 混種語動詞の内訳(サ変とその他) e. 混種語名詞に占める湯桶／重箱読みの語の比率 f. 品詞／表記別の 1 語の平均使用回数
難易度	3. 全級分類	a. 級別の内訳(語数) b. 級別の内訳(比率) b. 各級 1 語の平均使用回数
	3.1. 3-4 級語彙	a. 3-4 級の語の品詞別内訳(語数) b. 3-4 級の語の品詞別内訳(比率) c. 3-4 級の語の語種別内訳(語数) d. 3-4 級の語の語種別内訳(比率) e. 3 級／4 級の語の品詞別内訳(比率) f. 3 級／4 級の語の語種別内訳(比率)
	3.2. 2 級語彙	a. 品詞別内訳(語数) b. 品詞別内訳(比率) c. 語種別内訳(語数) d. 語種別内訳(比率)
	3.3. 1 級語彙	a. 品詞別内訳(語数) b. 品詞別内訳(比率) c. 語種別内訳(語数) d. 語種別内訳(比率)
	3.4. 級外語彙	a. 品詞別内訳(語数) b. 品詞別内訳(比率) c. 語種別内訳(語数) d. 語種別内訳(比率)

(大きな違い¹³⁹がみられたものに網かけ)

¹³⁹ 判断基準は調査項目が「数」の場合、二つ以上あるいは半分以上の細目でやさしい日本語ニュース・一般ニュースの違いが 2 倍以上のもの。ただし、比べる細目が一つの場合はその違いが 1.5 倍以上のもの。「比率」の場合、二つ以上、あるいは半分以上の細目でやさしい日本語ニュース・一般ニュースの違いが 1.5 倍以上のもの。

表 77 に示したように、大きな違いがみられた項目は 31 項目あった。そして、そうした違いを生じさせた原因は、表 78 に示すように語彙と語彙以外の要素に二分できる。そのうち語彙に関連した要素の内訳として、難易度・品詞・語種、またはその組み合わせの 4 種類がある。他方、語彙以外の要素も、配信されるニュースの長さによるもの、文長に関連したもの、表記に関連したもの、特定の語が語彙に影響を与えたものの 4 種類がある。

表 78 やさしい日本語ニュースと一般ニュースで大きな違いがみられた原因¹⁴⁰

語彙	難易度のみ	3.a,b/ 3.2.a,c / 3.3.a,c
	品種＋語種(＋難易度)	1.2.e/ 1.3.a/ 2.2.a/ 2.4.b,d
	品詞(＋難易度)	1.4.b/ 2.4.a/ 3.3.b/ 3.4.a,b
	語種(＋難易度)	2.a,b/ 3.3.d/ 3.4.a,b
語彙以外	ニュースの長さ	0.a/ 1.a./ 1.1.a,e/ 1.2.a/ 2.1.a
	文長	1.2.b
	表記	2.3.c
	語	2.2.b,c

以下、表 78 に示した項目について語彙、語彙以外の順に述べる。なお、ここで述べるのは大きな違いを発見する要因となった表 78 に網掛けで示した調査細目で得られた個別の結果ではなく、発見された大きな違いに関連のある調査細目で明らかになった、結果の総括である。例えば、漢語語彙の調査細目、品詞別内訳（語数）を調べたことにより、漢語の名詞に大きな違いがあると認められた場合、2 級語彙や級外語彙の細目から得られた漢語の名詞についても併せて述べる。あるいは、混種語の動詞に大きな違いがあると認められたものの、その混種語の動詞をサ変動詞と置き換えて考えても割合等にほぼ違いがみられないような場合、項目を分けず、得られた結果を総括する。

はじめに語彙の難易度の違いについて述べる。やさしい日本語ニュースと一般ニュースを構成する語彙の難易度が大きく異なっていることは、やさしい日本語ニュースの書き換え原則の一つに旧日本語能力試験の 3-4 級語彙を使う（田中他 2013a: 22）ことが掲げられていることからいわば当然の結果である。ここではまず、そうしたやさしい日本語ニュース・一般ニュースの語彙について、どういった構成の違いがあるのかその全体像を出題基準による難易度の観点から確認する。図 51 にやさしい日本語ニュースと一般ニュースでそれぞれの級に属す語がどの程度使用されていたかを延べ語数・異なり語数で示す。

図 51 に示すように、延べ語数、異なり語数ともに一般ニュースからやさしい日本語ニュースへの書き換えにより、語彙量は大きく減らされていた。ただし、難易度の低い 3-4 級語彙についてはその限りではなく、4 級語彙は延べ語数・異なり語数ともに書き換え作業を経てもほぼ語彙量に変化はみられず、3 級語彙もほぼ語彙量に変化していなかった。

¹⁴⁰ 表内細目には重複がない。語彙の要素と語彙以外の要素の組み合わせ、例えば語数の違いを引き起こしている原因が品詞の種類とニュース文の長さによるものだと判断される場合、語彙に關係する要素を優先して分類した。

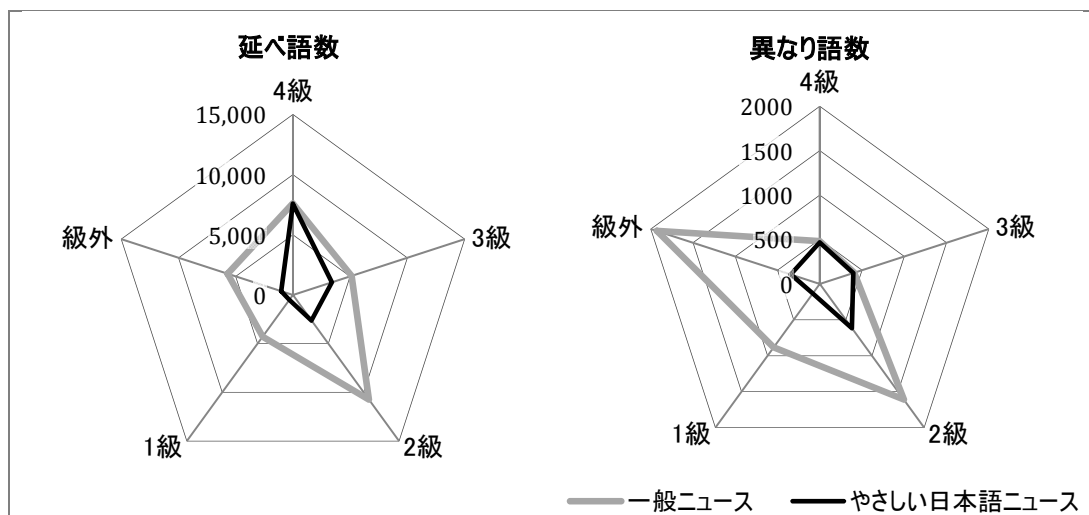


図 51 やさしい日本語ニュース・一般ニュース語彙の難易度別使用数（語）

つまり、語彙量が大きく減らされたのは2級以上の語彙であり、延べ語数でみた場合、やさしい日本語ニュースでは特に1級と級外の語彙が非常に少ない。2級の語彙については依然として2,600語強使用されていたものの、一般ニュースでは2級語彙はほかの級の語彙と比べ極めて多く使用されていたことから、図51に示したように、書き換えによりその使用は大幅に抑えられていたと言える。異なり語数でみた場合、やさしい日本語ニュースでは2級の語彙が最も多く、級外語彙も比較的多い。しかし、一般ニュースで目立って多く使用されていたのは2級と級外の語彙であり、書き換えにより2級や級外の語彙の使用が大きく減らされていたことは延べ語数と同様である。

図52に一般ニュース語彙を100とした場合のやさしい日本語ニュースで使用された語彙の級別の比率を示す。図51にも示したように、3-4級語彙の使用はやさしい日本語ニュースへの書き換えでも大きくは変わらなかった。2級以上の語彙でも減少率は一定ではなく、2級語彙は異なり語数では40%近くの語彙が書き換え後も使用されていたが、1級と級外の語彙は20%以下に抑えられていた。

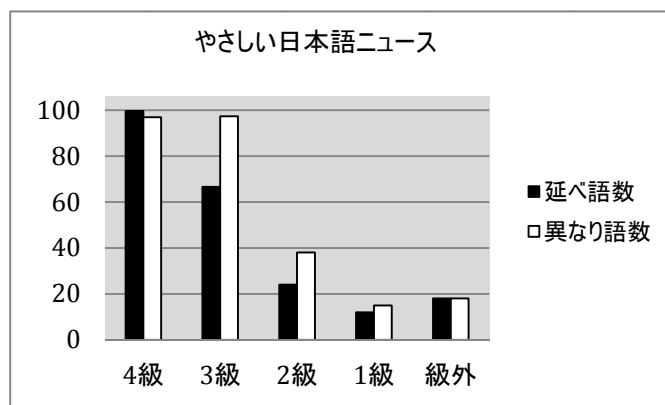


図 52 書き換えによる難易度別語彙量の変化
(一般ニュース語彙を100とした場合)

次に、品詞と語種の組み合わせに関してわかった大きな違いを四つ述べる。まず一つ目の違いとして挙げられるのはやさしい日本語ニュースで使用された漢語名詞の延べ語数が一般ニュースと比べ少なくなっていたことである。やさしい日本語ニュースの実質語全体の延べ語数は一般ニュースの約47%だが、やさしい日本語ニュースで使用された漢語名詞の延べ語

数は一般ニュースの約 29% である。こうした結果は一般名詞で使用された漢語名詞には難易度が高い語が多く、延べ語数でみた漢語名詞における 2 級以上の語の比率が約 78% と非常に高かったことに影響を受けたものである。やさしい日本語ニュースへの書き換えでは延べ語数で 3-4 級の漢語名詞が 900 語弱、2 級以上の漢語名詞が 10,000 語強減らされていた。やさしい日本語ニュースにおいては漢語名詞に占める 2 級以上の語の比率は延べ語数で一般ニュースの 90% 強から約 45% となり、大きく減らされていた。こうした結果から一般ニュースでは難易度の高い漢語名詞が頻用されている一方、やさしい日本語ニュースでは難易度の高い漢語名詞の使用が大幅に少ないという違いがあることがわかった。

品詞と語種の組み合わせに関する二つ目の違いは、サ変動詞¹⁴¹の使用数の違いである。やさしい日本語ニュースで使用されたサ変動詞は延べ語数で 386 語、異なり語数で 126 語あり、その使用数は延べ語数・異なり語数ともに一般ニュースの 20% 前後である。やさしい日本語ニュースの本動詞全体の使用数を一般ニュースと比べると、延べ語数は 60% 弱、異なり語数は 30% 強であり、サ変動詞の使用がやさしい日本語ニュースでは非常に少ない。また、サ変動詞は単純語の「する」を除けば、「びっくりする」「参加する」「コピーする」のように和語名詞、漢語名詞、外来語名詞から派生した語に分けられるが、やさしい日本語ニュース・一般ニュースで使用されたサ変動詞を延べ語数・異なり語数でみると、その 94-99% は漢語名詞由来のサ変動詞であった。このため、この二つ目のサ変動詞の使用数の違いは、上述した一つ目の漢語名詞の使用数の違いと共通するものだと言える。

品詞と語種の組み合わせに関する三つ目の違いは、イ形容詞とナ形容詞の使用数の違いである。イ形容詞を語種に分類すると、やさしい日本語ニュース・一般ニュースの延べ語数・異なり語数のうち 88-98% は和語である。一方、ナ形容詞ではやさしい日本語ニュース・一般ニュースの延べ語数・異なり語数のうち 66-77% は漢語である。このため、イ形容詞とナ形容詞の使用数の違いは形容詞の和語と漢語の違いとも重なる。形容詞の使用内訳をみると、第二章「1.3. 形容詞」の表 26「形容詞の内訳（イ形容詞・ナ形容詞（語））」、図 15「形容詞の内訳（イ形容詞・ナ形容詞）」に示したように、やさしい日本語ニュースはイ形容詞の比率が比較的高く、一般ニュースはナ形容詞の比率が比較的高かった。つまり、形容詞も名詞と同様にやさしい日本語ニュースへの書き換えで漢語が和語に置き換えられていたと言える。

品詞と語種の組み合わせに関する四つ目の違いは、混種語動詞に占めるサ変動詞以外の動詞の比率がやさしい日本語ニュースでは一般ニュースよりも小さいことである。やさしい日本語ニュースの混種語動詞はサ変動詞以外には「頑張る」1 語しか使用されておらず、延べ語数でみても異なり語数でみてもその使用率は 1% 前後である。他方、一般ニュースでは 3-4% 程度の使用率でサ変動詞以外の混種語動詞が使用されていた。ただし、一般ニュースではやさしい日本語ニュースより使用率は高いとはいえ、その比率は小さなものである。

¹⁴¹ 単純語「する」を除く。

続いて、品詞に関して明らかになった大きな違いを二つ述べる。一つ目は1級・級外の動詞の使用がやさしい日本語ニュースでは非常に少ないことである。やさしい日本語ニュースで使用された1級・級外語彙は一般ニュースの6分の1程度であり、その数は少ない。しかし、双方のニュースで使用された1級語彙・級外語彙を100として、その中に占める動詞の割合をみても、やさしい日本語ニュースで使用された動詞の少なさは際立っており、一般ニュースと比べると、延べ語数で4分の1程度、異なり語数で3分の1程度の割合しか使用されていない。このため、動詞は最も多用されていた名詞と比べると、やさしい日本語ニュースへの書き換えにより低い級の語彙で相当数補われていることがわかった。

品詞に関する二つ目の大きな違いは、やさしい日本語ニュースでは一般ニュースと比べ、限られた少数の副詞・連体詞・接続詞を高い頻度で使用していることである。やさしい日本語ニュースにおいては副詞・連体詞・接続詞はそれぞれの品詞の語が順に1語あたり9回・62回・28回程度使用されており、その使用頻度は一般ニュースの2倍前後であった。

語種に関して明らかになった大きな違いは二つある。一つ目の大きな違いはやさしい日本語ニュースでは和語の使用率が高く、漢語の使用率が低いということである。第二章の「2. 語種別の特徴」で表29「語種別使用数(語)」に示したように、やさしい日本語ニュースでは和語：漢語は延べ語数で2：1、異なり語数で1：1程度の割合で和語が漢語よりも高い割合で使用されている一方、一般ニュースでは延べ語数で7：8、異なり語数で3：5程度で漢語が和語よりも高い割合で使用されていた。こうした漢語と和語のやさしい日本語ニュースと一般ニュースでの違いを生んだ具体的な要因としては、上述のように、やさしい日本語ニュースでは一般ニュースと比べ漢語名詞の使用が少ないこと、漢語が多いナ形容詞よりも和語が多いイ形容詞が多く使用されていることなどが挙げられる。

語種に関する二つ目の大きな違いは、やさしい日本語ニュースでは一般ニュースと比べ、1級や級外語彙に占める外来語の割合が高いことである。先述のように、1級・級外語彙のやさしい日本語ニュースでの使用数は一般ニュースでの使用数の6分の1程度である。しかし、外来語はやさしい日本語ニュースでも一般ニュースの2分の1程度の語彙が使用されていた。そのため、ほかの語種の語と同じく、外来語も1級や級外語彙の使用数は一般ニュースよりもやさしい日本語ニュースのほうが少ないとはいえ、該当級に占める外来語の割合はやさしい日本語ニュースのほうが一般ニュースよりも3倍程度大きいという結果になった。

続いて、語彙以外の要因についてニュースの長さ、文長、表記、語について順に述べる。ニュースの長さの違いについては、第二章冒頭、図7「調査対象とする自立語(延べ語数・異なり語数)」に示したように、やさしい日本語ニュースと一般ニュースの延べ語数はそれぞれ38,736語・18,153語、異なり語数はそれぞれ6,413語・2,584語であり、延べ語数・異なり語数のどちらでもやさしい日本語ニュースでの語彙量は一般ニュースでの語彙量の半数以下となっていた。語彙量がやさしい日本語ニュースで比較的少ないのは、ニュース文の長さが違うからにはほかならず、田中他(2013a: 23)にはNHKのやさしいニュースについて、ニ

ニュースをやさしくすると表現の説明がつくため元のニュースより長くなるが、読む量が増えるということは読者の負担につながるので、重複の部分や周辺の情報を削除し、基本的に元のニュースより短くするという説明がある。実際、ニュースの長さを文字でみた場合、第一章「4.1. 資料」の表8「資料の概要」に示したように、ニュース1本あたりの文字数はやさしい日本語ニュースでは約340字、一般ニュースでは約662字である。このように、ニュースの長さ（文字数）が違うことで、ニュースで使用された語彙量にも違いが生じ、それぞれの分類において語数の違いとして表出されていた。

文長による違い、すなわち、やさしい日本語ニュースと一般ニュースの1文あたりの長さの違いに起因した、双方のニュースの大きな違いとして挙げたのは、ニュース1文あたりの動詞の平均使用回数の違いである。1文あたりの長さについては、第一章、「4.1. 資料」の表8「資料の概要」に示したように、ニュースタイトルを除いたニュース1文あたりの文字数平均はやさしい日本語ニュースで約40字、一般ニュースで約72字である。文長が短くなった結果、1文あたりの動詞の平均使用回数はやさしい日本語ニュースでは一般ニュースの約5.3回のおよそ3分の2に当たる約3.5回になっていた。

やさしい日本語ニュースの文長については、田中他（2013b: 38-39）に、一般ニュースでは1文が150字以上になることもあるが、やさしい日本語ニュースでは1文を50字程度以下に極力抑えるということについて説明がある。文字数を抑える必要については、「文が長くなると、入れ子になった複雑な係り受けや距離の遠い係り受けが入りやすくなり、わかりにくくなりがち」（同: 38）だという説明がある。つまり、1文が長くなるというのは、文法的な難しさに直結するということであり、実際、田中他（2013b）では文長がやさしい日本語への書き換え規則の文法項目として扱われている。

表記の違いとは、外来語がカタカナ表記が多いのか、アルファベットや記号の表記が多いのかといった違いを指す。やさしい日本語ニュース・一般ニュースで使用された外来語の総数をそれぞれ100とした場合、アルファベット表記の「km」や記号の「%」等の比率は、やさしい日本語ニュースでは異なり語数・延べ語数の順に11%・23%だが、一般ニュースでは順に5%・9%であり、やさしい日本語ニュースでのアルファベットや記号表記の外来語の比率は一般ニュースよりも2倍以上高い。なお、「ATM」「LCC」等はいずれのニュースでもアルファベット表記であり、違いが生じたのは「キロ」「トン」「センチ」「メートル」などの単位の表記であり、一般ニュースではカタカナ表記も少なからずみられた一方、やさしい日本語ニュースではカタカナ表記が比較的少ないという違いがあった。

語の違いがやさしい日本語ニュース・一般ニュース間で生じていることは当然だが、語彙特徴に影響を与えるほどに大きな違いのあった語は2語である。1語目は漢語副詞の「約」であり、やさしい日本語ニュースでは122回使用されたが、一般ニュースではニュースタイトルで2回使用されただけだった。2語目は漢語接続詞「一方」であり、やさしい日本語ニュースでの使用はないが、一般ニュースでは34回使用されていた。「一方」を除いては双方のニ

ユースで使用された接続詞はすべて和語であるため、数値の上では大きな違いとして挙げられた。

以上、やさしい日本語ニュースと一般ニュースの語彙特徴の大きな違いをみた。多くの項目において観察されたのは、語種の違い、特に、和語と漢語の使用が双方のニュースでは違うという点であった。そのため、語種全体に占める和語と漢語の割合を第二章「2. 語種別の特徴」の図 17「語彙の構成（語種）」を元に再度確認したい。和語と漢語を合わせた比率はやさしい日本語ニュース・一般ニュースのどちらも延べ語数では 90% 弱、異なり語数では 80% 弱である。

しかし、その中に占める和語と漢語の内訳は異なり、やさしい日本語ニュースは一般ニュースよりも延べ語数・異なり語数でそれぞれ約 20%・約 10% 和語が多かった。これは、田中・美濃（2011a: 5）が「ニュースをやさしい日本語で書き換える場合、一般に漢語を和語に開く」と指摘しているように、やさしい日本語ニュースへの書き換えでは漢語を和語に置き換えるという作業が諸所で行われており、(41)に示した「早期発見」という漢語が「早く見つける」という和語に置き換えられた例のように、やさしく書き換えるという作業は漢語を和語に置き換えるという作業ともよく似た作業であったことが背景にある。

(41) a. がん早期発見の新たな血液検査法開発へ（般: 171）

b. 血の検査でがんを早く見つける方法を研究する（や: 171）

実際、図 53, 54 に示すように、それぞれの難易度別の使用数を和語と漢語別にみると、延べ語数・やさしい日本語ニュースともに、和語よりも漢語のほうがやさしい日本語ニュースと一般ニュースとの使用数の開きが大きく、やさしく書き換える過程で、漢語が大きく減らされていた。そして、漢語がやさしく書き換える過程で大きく減らされた理由については、図 53, 54 に示すように、一般ニュースでは漢語は和語と比べ 2 級以上の語が数多く使用されていたことが挙げられる。

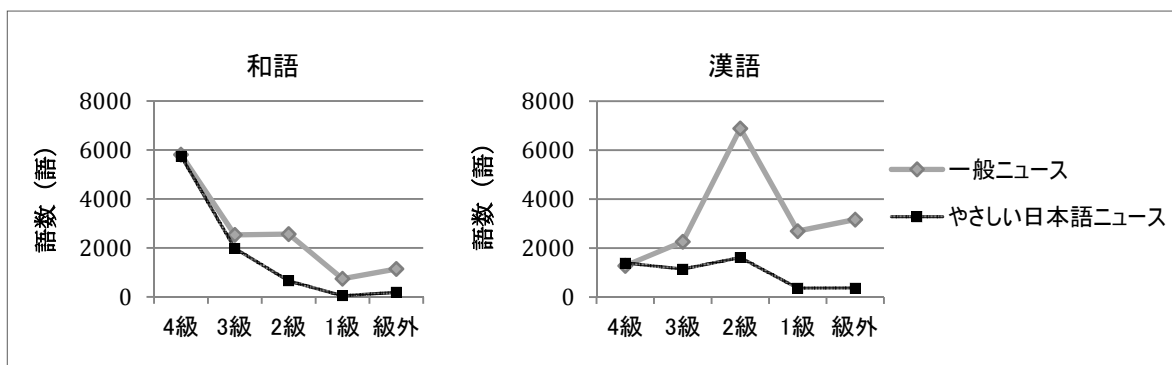


図 53 和語語彙・漢語語彙の難易度別使用数（延べ語数）

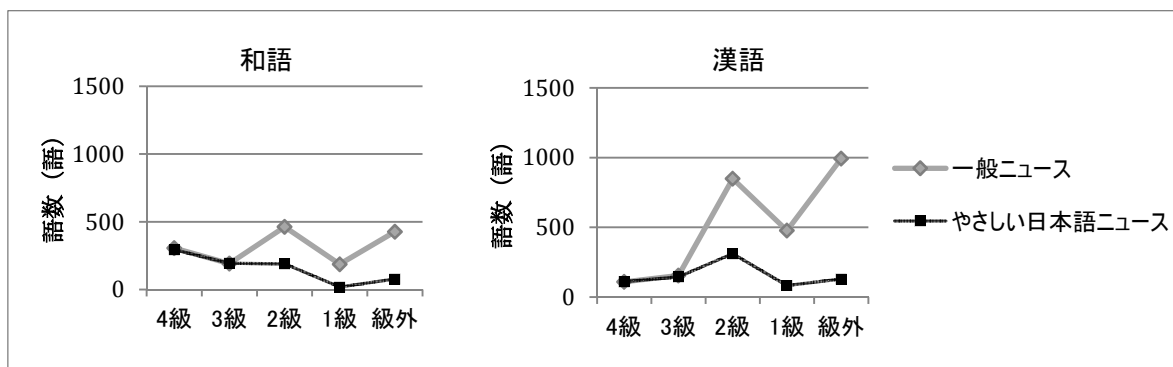


図 54 和語語彙・漢語語彙の難易度別使用数（異なり語数）

こうした結果から、ニュースで使用される語彙は一般に、和語よりも漢語のほうが難易度が高いということが出来る。また、語種により難易度が異なるために、書き換え前の一般ニュースとやさしく書き換えられたニュースで、使用された語種が大きく異なる、という結果が導かれることとなった。

1.2. やさしい日本語ニュースの高頻度語彙

二つ目のやさしい日本語ニュースで高頻度で使用される語彙を抽出し、その意味分野を示すことを目的として行った調査では、NHK NEWS WEB EASY で高頻度で使用された自立語を上位 100 語・300 語・600 語で区切り、その語彙の特徴について意味分野を中心に考えた。本項ではその結果をまとめる。表 79 に示すのはやさしい日本語ニュースで高頻度で使用された語彙の意味分野である。

表 79 やさしい日本語ニュース高頻度語彙の意味分野（大分類）

	全体	難易度が高い語彙
上位 100 語	① 性状 ② 社会 ③ 変動／行動	① 社会 ② 性状 ③ 自然
上位 300 語	① 性状 ② 社会 ③ 変動	① 社会 ② 性状 ③ 自然／心情
上位 600 語	① 性状 ② 社会 ③ 自然	① 社会 ② 自然 ③ 性状

表 79 に示したとおり、やさしい日本語ニュースにおいて多くの高頻度語彙が属していたのは、語彙全体では 1 番目が大分類 [性状]¹⁴²、2 番目が [社会] であり、3 番目に多い分類は

¹⁴² 本項内 [大括弧] {中括弧} 〈山括弧〉はそれぞれ『角川類語新辞典』（2012）の [大分類] {中分類} 〈小分類〉を指す。

対象とした高頻度語彙の範囲により〔変動〕〔行動〕〔自然〕など異なる分類が挙げられた。他方、高頻度語彙のうち難易度が高い語彙を多く含んでいるのは、上記の3分類のうち2番目に高頻度語彙が多い大分類〔社会〕であり、2-3番目には〔性状〕〔自然〕が位置したが、〔心情〕も比較的語数が多く、上位300語では〔自然〕とともに同列3番目の分類となった。

このように、高頻度語彙の大分類で語数の多い分類が安定していなかったのは、図55に示すように、高頻度語彙全体では〔性状〕〔社会〕の2分類に続いて多い分類が拮抗しており、安定して3番目に多い分類がなかったためである。また、難易度が高い語彙については、〔社会〕の1分類が常に語数の多い分類であることを除けば、2番目に語数の多い分類は〔自然〕〔性状〕〔心情〕で拮抗しており、安定して2番目、3番目に位置する分類はなかったためである。

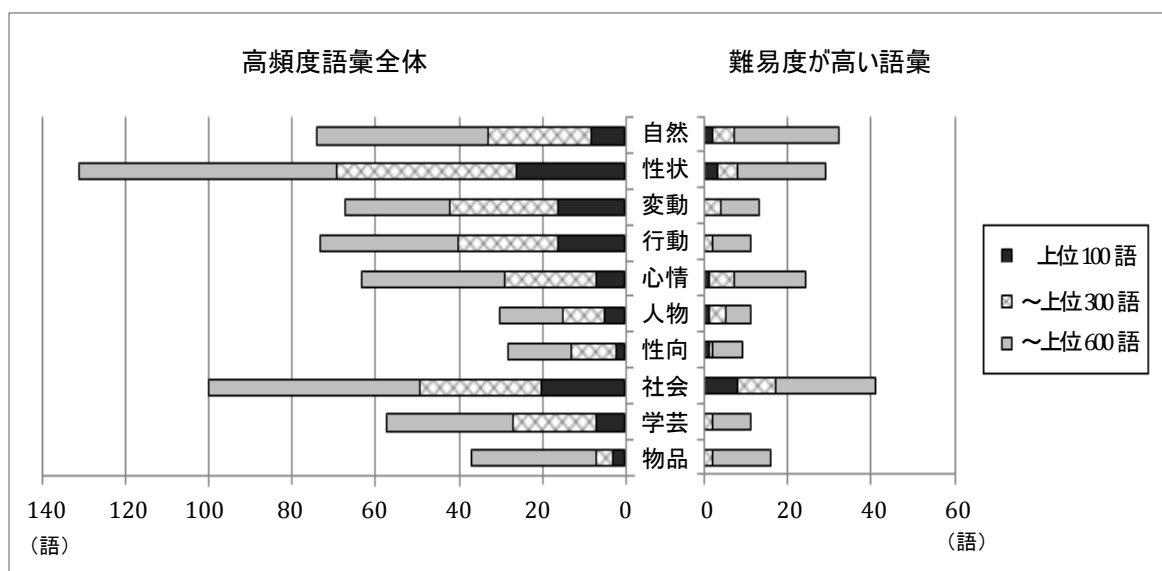


図55 やさしい日本語ニュース高頻度語彙の意味分野（大分類）

続いて、高頻度語彙の意味分野と品詞・語種との関連について考える。ここでは、表79に示した高頻度語彙が多く属す意味分野〔性状〕〔社会〕〔変動〕〔行動〕〔自然〕〔心情〕の6種類の大分類の語彙を対象とする。品詞・語種については第三章の図42「やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位100語の構成」、図43「やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位300語の構成」、図45「やさしい日本語ニュース高頻度語彙上位600語の構成」に示したように、高頻度語彙上位100語・300語・600語は品詞では名詞と動詞が、語種では和語と漢語がそれぞれの語彙群の85-90%程度を占めていた。このため、表79に示した、やさしい日本語ニュースの高頻度語彙が多く属す大分類としてあがった〔性状〕〔社会〕〔変動〕〔行動〕〔自然〕〔心情〕6分類の意味分野の高頻度語彙100語・300語・600語に占める和語名詞、漢語名詞、和語動詞、その他の比率を図56に示す。

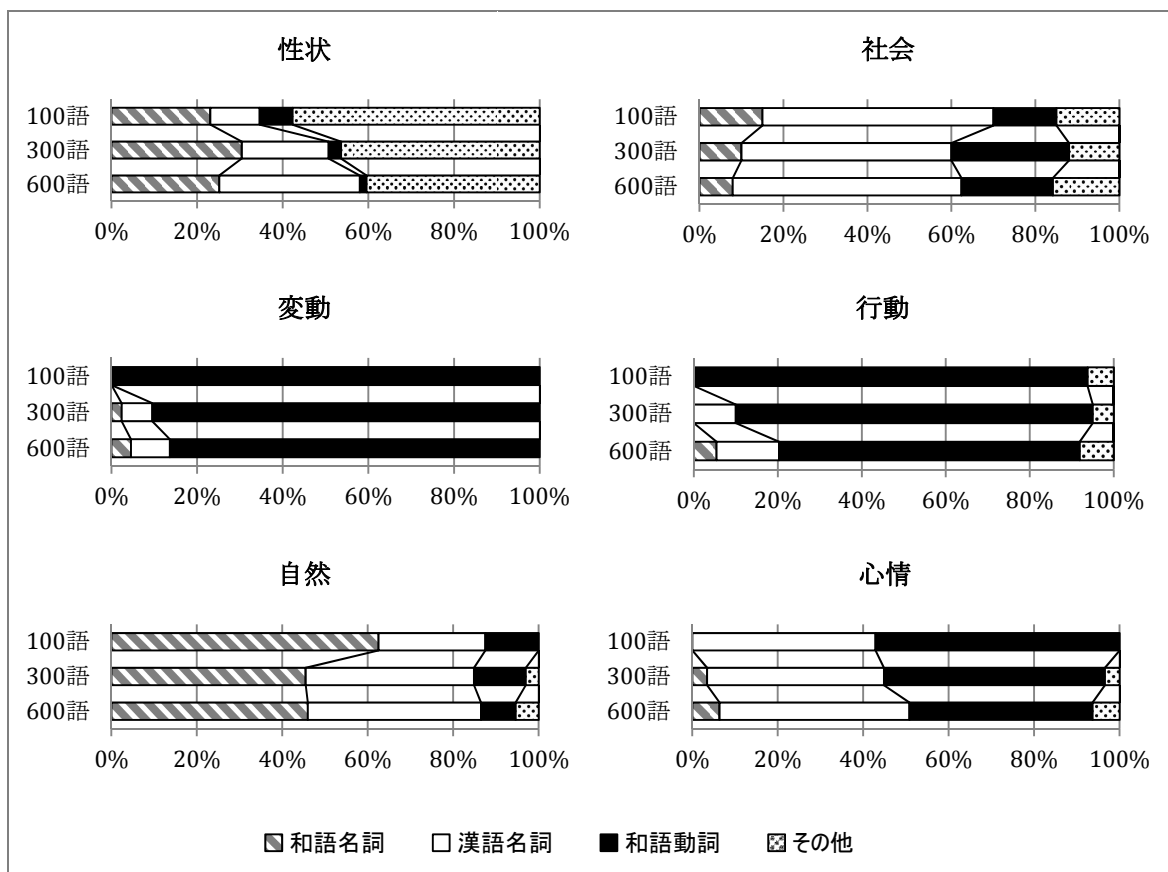


図 56 やさしい日本語ニュース高頻度語彙の意味分野別の構成（大分類、品詞・語種）

図 56 に示したように、高頻度語彙のうち多くの語彙が属していた [性状] [社会] [変動] [行動] [自然] [心情] の分類は [変動] と [行動] が比較的類似した構成であるほかは、それぞれにその大分類を構成する語彙の属性が大きく異なっていた。高頻度語彙全体で特に多くの語が属す [性状] と [社会] では、[性状] は副詞や形容詞等など和語名詞・漢語名詞・和語動詞以外の分類の語がおよそ半分を占めていたが、対象とする語彙の範囲を増やすにつれ、和語名詞・漢語名詞を合算した比率が増えていた。[社会] は漢語名詞がおよそ半分で、和語動詞がおよそ 20%、和語名詞が 10% 前後あった。なお、[社会] は図 55 に示したように難易度が高い高頻度語彙の筆頭に挙げられる大分類である。

[変動] と [行動] は図 55 に示したように高頻度語彙の出現傾向が似ているのに加え、分類内に占めている語彙の属性も図 56 に示したように非常によく似ており、和語動詞が 70-90% 程度と非常に高い比率を占めていた。この 2 分類は高頻度語彙全体では上位 3 番目に位置することもあったが、難易度の高い高頻度語彙の分類としては上位に挙がらなかった。これは、前項「1.1. やさしい日本語ニュースと一般ニュースの語彙の違い」で述べたように、一般に和語は漢語よりも難易度が低いためである。分類内の大部分が和語動詞である [変動] と [行動] は第三章「2.3. 上位 600 語（カバー率 79%）」の図 49「やさしい日本語ニュース高頻度語彙に占める難易度の高い語の比率（大分類）」に示したように、10 種類の大分類の中で難

易度の高い語の比率が低い分類の1-2番目に該当する大分類であった。

残る2分類〔自然〕と〔心情〕について、〔自然〕は上位600語では高頻度語彙全体でも上位3番目に挙げたものの、図55に示したようにこの2分類は高頻度語彙が多い分類というよりも、難易度の高い高頻度語彙が多い分類である。〔自然〕は名詞語彙が多く、その比率は90%近くを占めており、とりわけ和語名詞の比率が高かった。先述のように一般に和語は漢語よりも難易度が低いが、〔自然〕に属す和語名詞は自然界の事物を示す名称など級外語彙も多かった。〔心情〕は図56に示したように、漢語名詞と和語動詞がおよそ半々である。このうち、和語動詞については一部「確かめる・楽しむ」のように2級以上の語もあるが数は少なく、難易度の高い語は〔心情〕の高頻度語彙のうち漢語名詞が大半を占めていた。

次に、中分類について述べる。はじめに、やさしい日本語ニュースで高頻度で使用された語が多く属していた中分類を図57に示す。

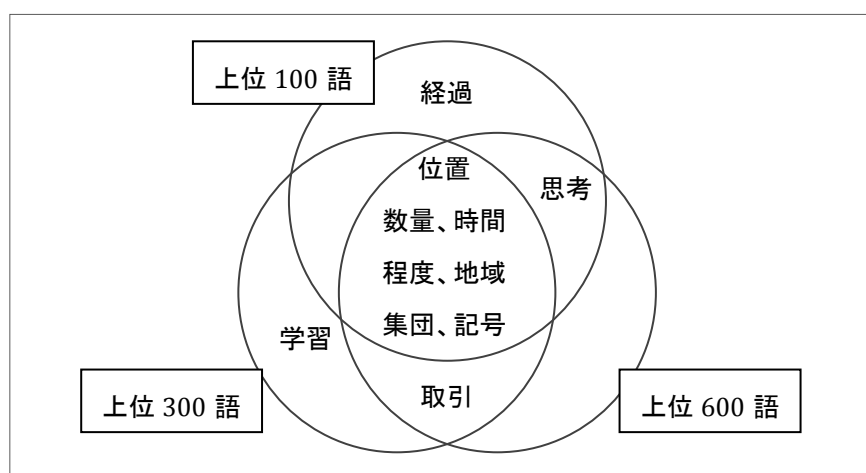


図57 やさしい日本語ニュース高頻度語彙の意味分野（中分類）

図57に示したように、高頻度上位100語・300語・600語で共通して高頻度で使用された分類は7分類で、{位置} {数量} {時間} {程度} {地域} {集団} {記号}である。そのうち、{位置} {数量} {時間} {程度}の4種類の中分類は大分類で最も多くの高頻度語彙が属す〔性状〕の下位分類である。また、{地域} {集団}は2番目に多くの高頻度語彙が属していた大分類〔社会〕の中分類である。

ただし、残る一つの中分類{記号}は多くの高頻度語が属す大分類には挙げられなかった〔学芸〕に属しており、前述の6種類の中分類とは異なっている。加えて、{記号}に特徴的なのは、中分類{記号}の語が多いというよりも正確にはそのさらに下位の分類、小分類〈単位〉が多いという点である。〈単位〉は高頻度上位100語・300語・600語のいずれの区切りにおいても、最も多くの高頻度語を含む小分類であった。

また、高頻度上位100語・300語・600語で共通して高頻度語彙が多い7分類を除いて、図56に示した分類で特徴的なのは大分類〔変動〕に属す{経過}である。{経過}は上位100

語の区切りでのみ、多くの語を含む中分類として現れており、非常に高い頻度で使用される語は一定数あるものの、多少頻度が下がる語はやさしい日本語ニュースの中でさほど多くは使用されていないかった。

続いて中分類で難易度の高い高頻度語彙の分類をみる。表 80 に示すように、上位 100 語・上位 300 語・上位 600 語の分類により、また、難易度の高い語を多く含む分類と難易度の高い語を高い比率で含む分類により、それぞれにさまざまな意味分野が挙げられた。

表 80 やさしい日本語ニュース高頻度語彙の意味分野（中分類、難易度が高い語彙）

		語数が多い分類(語)		比率が高い分類(%)	
100 語	①	地域	4 語	状態、誘導、報道	100%
	②	物質、報道	2 語	物質、地域	67%
	③	地勢、位置、状態、程度、誘導、 仲間、境遇、集団、統治	1 語	境遇	50%
300 語	①	集団	6 語	役割、芸能	100%
	②	地域	4 語	物象	75%
	③	物象、学習、報道	3 語	物質、地位	67%
600 語	①	地域	11 語	愛憎、役割、薬品、家具	100%
	②	位置、数量、機械	9 語	動物	78%
	③	動物、思考、取引	7 語	地位	75%

(3 か所以上の項目に挙げられた分類に網かけ)

表 80 に示したように 100 語・300 語・600 語の語数の区切りと語数・比率の 6 種類の種別で、3 か所以上で難易度が高い語の分類として挙げられた中分類は {地域} {物質} {報道} の 3 分類である。そのうち、{地域} と {報道} は大分類 [社会] に、{物質} は大分類 [自然] に属す中分類である。また、語数が多い中分類としては [社会] [性状] [自然] に属す分類が多い一方、難易度の高い語の比率が高い分類としては [自然] [人物] [社会] の分類が多いという違いがあった。このことから、[性状] 内の中分類は難易度が高い語の数は多くてもその比率が高い分類は少なく、[人物] は難易度が高い語の数は少なくともその比率が高い分類が多いことがわかった。

以上、やさしい日本語ニュースの高頻度語彙についての特徴をみた結果、大分類では [性状] [社会] に該当する語が多く、難易度の高い語彙が多い分類としては [社会] が挙げられることがわかった。高頻度語彙が多く属す分類のうち、[社会] は漢語名詞、[自然] は和語名詞と漢語名詞、[心情] は漢語名詞と和語動詞、[変動] と [行動] は和語動詞、[性状] は名詞・動詞以外の語彙が多い分類である。なお、難易度が高い分類としては、漢語名詞が多い [社会] [心情] [自然] の分類が挙げられ、こうした結果は語彙特徴の語彙分析から得られた一般に漢語は和語よりも難しいという結果と重なるものだが、[自然] については漢語名詞に限らず、和語名詞にも難易度が高い語彙が少なからずあった。

中分類では [性状] の {位置} {数量} {時間} {程度}、[社会] の {地域} と {集団}

の語が多かった。加えて、上位 100 語では [変動] の中分類 {経過} の語も多かった。小分類では [学芸] {記号} の小分類 (単位) が上位 100 語・300 語・600 語のいずれの区切りでも最も多かった。

2. 教室活動に向けて

第一章「2.2. 学習者とニュース」で、日本語主専攻の学部卒業生に対して行ったアンケートの結果を示した。アンケートでは、「もっとニュース、新聞の読み方の授業があったら、いいなと思います」「1年生のときから勉強したほうがいいじゃないかと思う」というように、ニュース授業の拡大や前倒しを望む声があり、従来よりも早い段階からニュースの授業を受けたいという需要はあると考え、難易度の下げられたやさしい日本語ニュースの語彙分析を行った。語彙の難易度を調べた結果、図 58、図 59 に示すように、やさしい日本語ニュースと一般ニュースでのニュース語彙の難易度別の構成は当然ながら大きく異なっていた。

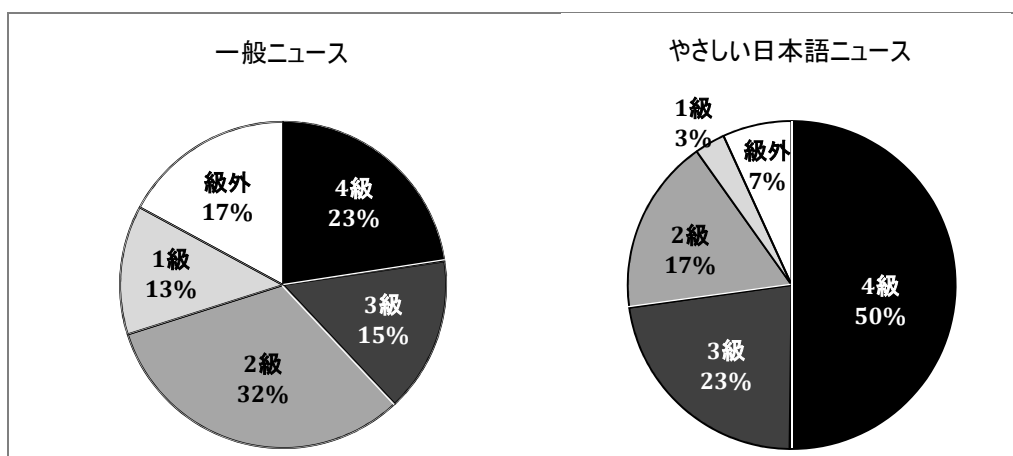


図 58 語彙の構成 (難易度、延べ語数)

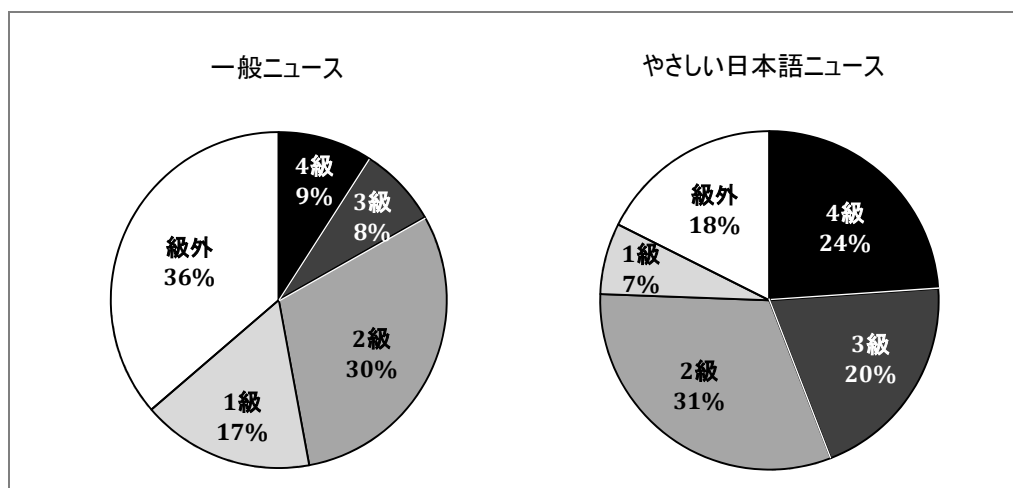


図 59 語彙の構成 (難易度、異なり語数)

図 58 に示したように、延べ語数でみた場合、やさしい日本語ニュースでは 50%、2 語に 1 語は 4 級語彙である。初級前半修了時点の学習者がやさしい日本語ニュースをみた場合、2 語に 1 語わからなければ、内容理解は難しい。それでも、自分がわかる語がニュースでたくさん使われているという感覚をつかむことはできると思われる。

3 級レベルを初級修了レベルとした場合、3-4 級語彙は延べ語数で 73% あり、初級修了者はおよそ 4 語に 3 語はやさしい日本語ニュースに出てくる語がわかるということになる。それでも 4 語に 1 語わからなければ、読解にはかなりの困難が伴う。しかし、一般ニュースでは 3-4 級語彙は全体の 37%、およそ 3 語に 1 語しか初級修了時点の語彙でわからないことを考えれば、やさしい日本語ニュースは一般ニュースよりも初級の範囲内の語の比率が非常に高いニュースであり、初級修了時点からニュースの内容を理解することを目指すのであれば、3 語に 2 語わからない一般ニュースよりも、4 語に 3 語わかるやさしい日本語ニュースを用いたほうが、ニュースの内容が理解できる可能性は高い。

ただし、やさしい日本語ニュースであれば、初級修了レベルで本当にニュース授業が展開できるかということについては、図 59 に示したように異なり語数では 3-4 級語彙の比率はやさしい日本語ニュースでも 50% に届いておらず、内容理解を目的とした授業を展開することは難しいと思われる。実際にやさしい日本語ニュースを使って授業が展開できるのは、延べ語数で 90%、異なり語数で 75% の語彙をカバーする 2 級到達レベル、あるいは 2 級を目指して学習している段階であろう。

加えて、難易度について語彙調査の過程で出題基準では測れない語の意味の多義性が存在することがわかった。例えば「言う」は〔行動〕〔陳述〕〔発言〕と〔学芸〕〔記号〕〔名称〕の分野にまたがって分布している語だが、出題基準では意味による難易度の違いは示されていない。また、「被害」「間」「進む」のように目で確認ができるものと目で確認ができないもので語の難易度に違いが生じる可能性がある語や、「輸出する」のように「自国の産物・製品・技術などを他国に送り出すこと」（『明鏡国語辞典 第二版』）という広い意味で使用されている語もあった。こうした語の使用例を踏まえ、やさしい日本語ニュースを扱う場合には、ニュースで使用されている語を出題基準だけで難易度を判断するのではなく、該当級より「難しい」意味で使用されている語が存在する可能性があることに留意すべきだと思う。

次に、本稿の語彙分析から得られた結果がニュース授業を行う上で活かすことができるとされる二つの学習段階について述べる。一つ目の段階はやさしい日本語ニュースであっても、その日本語がまだまだ「難しい」段階であり、二つ目の段階は一般ニュースではニュース読解はまだ「難しい」ものの、やさしい日本語ニュースであればほぼ理解できるという段階である。なお、ここで述べる内容は本稿で実施した語彙調査・語彙分析に基づくものではなく、筆者の提案にとどまる。

一つ目の段階として、やさしい日本語ニュースであってもその日本語がまだまだ「難しい」ものの、できるだけ早い段階からニュース授業の展開を目指す場合に必要なのは、やさしい日本語ニュースにはどのような語彙が使用されていて、どのような語彙が難しいのかという情報である。これについては、高頻度語彙を対象に行った分析で答えを示した。やさしい日本語ニュースで多用される語彙は〔性状〕〔社会〕〔変動〕〔行動〕〔自然〕の分類に属し、難易度が高い語彙は〔社会〕〔自然〕〔性状〕〔心情〕に多く属している。難易度が高い語彙の対処法としては2点考えられる。

1点目は難易度が高い語彙を避けることである。難易度が高い語が多く含まれそうなニュースを避けることは、例えば〔自然〕については比較的容易である。災害や事故、動植物や航空科学に関するニュースを避ければ、難易度の高い〔自然〕の語に数多く遭遇することはない。これは幅広いニュースを扱う必要がない場合には有効な手段だと思う。

2点目は、難易度が高い語を積極的に習得させていく方法である。やみくもにニュースに出てきた語をすべて覚えていくことは負担が大きい。しかし、〔社会〕の漢語名詞、〔自然〕の和語名詞、〔心情〕の漢語名詞と和語動詞、これらの語を中心に、ニュースで使用されていた語を積極的に習得させていけば、やさしい日本語ニュースの読解で頻出する語彙に占める「わかる」語彙を効率的に増やしていくことができると考えられる。この手段は、幅広い記事を読むことを前提に学習させる場合に有効だと思う。

二つ目の段階は、一般ニュースはまだ「難しい」が、やさしい日本語ニュースであればほぼ理解できるという段階である。やさしい日本語ニュースと一般ニュースとで使用される語彙に違いがあることは本稿の語彙特徴についての調査で示した。やさしい日本語ニュースの語彙が一般ニュースの語彙と大きく異なるのは、漢語が大幅に少ない点である。しかし、漢語語彙を増やすとはいっても容易ではない。

ここで考えられる手段として、やさしい日本語ニュースと一般ニュースの併用がある。一般ニュースを提示し「難しい」漢語語彙の存在を把握したあと、それがどのような意味を持つ語であるのか、やさしい日本語ニュースとの対応で考えれば、「行方不明」は「どこにいるかわからない」、「上昇する」は「高くなる」のように、未知の語を既知の日本語で置き換えていくことが可能となる。

ただし、このようにやさしい日本語ニュースと一般ニュースを併用する場合に気をつけるべきことは、双方のニュースでは必ずしも一文一文に対応がみられるとは限らないことである。やさしい日本語ニュースへの書き換えにより、ニュース文の長さが5分の1程度になっているものの中にはあり、2種類のニュースを併用する場合には双方のニュースが伝えている情報量に大差がないものを選択する必要がある。

その上で、双方のニュースの語と語の対応、文脈からの推測という作業を通して、漢語が比較的少ないというやさしい日本語ニュースの特徴を逆手にとり、一般ニュース読解を念頭に、一般ニュースで使用されている漢語を学習するための材料としてやさしい日本語ニュー

スを活用することができるだろう。こうした段階を踏むことにより、やさしい日本語ニュースが読める段階から一般のニュースが読める段階に徐々に移行させていくことができると思われる。

3. 今後に向けて

本稿ではNHKのやさしい日本語ニュースと一般ニュースの語彙について調査し、それぞれのニュースでの特徴とやさしい日本語ニュースの高頻度語彙について考えた。今回の調査は、初級などまだ学習初期の段階からニュースを学びたいと考える学習者に対し、通常のニュース授業よりも早い段階から使える教材があるのではないかと考え行った調査であった。

しかし、本稿では現在市販されているニュース教材等は調査の対象にしておらず、今回対象としたNHKのやさしい日本語と語彙の観点でどういった違いがあるかは明らかにはしていない。また、本稿の調査を通し、ニュース語彙についての特徴をとらえようとはしたもの、実施した語彙調査はその対象がNHKニュース2か月分であり、ごく限られた小規模なものであった。高頻度語彙については、限られた対象期間を反映して高頻度語に挙げられたと思われる語も複数あり、語彙特徴についても時事的な語の違いが全体の構成に影響を与えていないとも言いきれない。このため、今後は既存のニュース教材との比較、より長い期間のニュース記事を対象とした調査に取り組んでいきたい。

参考文献

1. 辞典・事典類

- 岩淵匡・桜井光昭・武部良明・森田良行編（1989）『日本文法用語辞典』三省堂
- 大野晋・浜西正人（2012）『角川類語新辞典』角川学芸出版
- 鎌田正・米山寅太郎（1999）『新漢語林 第二版』大修館書店
- 北原保雄編著（2010）『明鏡国語辞典 第二版』大修館書店
- 島本基（1989）『日本語学習者のための副詞用例辞典』凡人社
- 小学館辞典編集部編（1993）『現代国語例解辞典 第二版』小学館
- 高見澤孟・伊藤博文・ハント蔭山裕子・池田悠子・西川寿美・恩村由香子（2004）『新・はじめての日本語教育 基本用語辞典』アスク
- 新村出編（2008）『広辞苑 第六版』岩波書店
- 林巨樹・池上秋彦・安藤千鶴子編（2005）『日本語文法がわかる事典』第3版、東京堂出版
- 日立ソリューションズ編（2012）『百科事典 マイペディア』電子辞書版、平凡社
- 飛田良文・浅田秀子（1994）『現代副詞用法辞典』第5版、東京堂出版

2. 教科書

- บุษบา, บรรจงมณี. วันชัย, สีสพัทธ์กุล. วรุฒิ, จิราสมบัตติ. ทศนีย์, เมธาพิสิฐ. ภารดี, อึ้งจรกุล. เบญจลักษณ์, สว่างเนตร. พงษ์, ปิ่นท้วม. สุพรพันธ์, จิตรบรรเทา. ดวงใจ, จงธนากร. นิภาพรรณ, อุดลย์กิตติชัย. ประภา, แสงทองสุข. Aki, IMAEDA. ภาษาญี่ปุ่น อากิโกะโตะโทโมคางิ 2 (ฉบับปรับปรุง) (あきこと友だち 2、改訂版) มูลนิธิญี่ปุ่น, กรุงเทพมหานคร : บริษัท คิโนะคุนิยะ บุกส์โตร จำกัด, 2549
- บุษบา, บรรจงมณี. วันชัย, สีสพัทธ์กุล. ทศนีย์, เมธาพิสิฐ. ภารดี, อึ้งจรกุล. เบญจลักษณ์, สว่างเนตร. พงษ์, ปิ่นท้วม. สุพรพันธ์, จิตรบรรเทา. ดวงใจ, จงธนากร. นิภาพรรณ, อุดลย์กิตติชัย. ประภา, แสงทองสุข. Aki, IMAEDA. ภาษาญี่ปุ่น อากิโกะโตะโทโมคางิ 6 (ฉบับปรับปรุง) (あきこと友だち 6、改訂版) มูลนิธิญี่ปุ่น, กรุงเทพมหานคร : บริษัท คิโนะคุนิยะ บุกส์โตร จำกัด, 2550
- 岡崎志津子・小西正子（1994）『ひとりで計画する聴解練習（2）初級からニュースを』凡人社
- スリーエーネットワーク編著（2013）『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版本冊』スリーエーネットワーク

3. 書籍

- 秋元美晴（2010）『日本語教育能力検定試験に合格するための語彙 12』アルク
- 庵功雄・イ・ヨンスク・森篤嗣編（2013）『「やさしい日本語」は何を目指すか—多文化共生社会を実現するために』ココ出版
- 国際交流基金・日本国際教育支援協会編（2002）『日本語能力試験出題基準』改定版、凡人社
- 国際交流基金編（2013）『海外の日本語教育の現状 2012年度日本語教育機関調査より』くろしお出版
- 国立国語研究所（1987）『国立国語研究所報告 89 雑誌用語の変遷』秀英出版
- 国立国語研究所（1996）『国立国語研究所資料集 6 分類語彙表』第 30 版、大日本図書
- 国立国語研究所（1999）『国立国語研究所報告 115 テレビ放送の語彙調査Ⅲ』大日本図書
- 国立国語研究所「外来語」委員会編（2006）『分かりやすく伝える 外来語言い換え手引き』ぎょうせい
- 此島正年（1983）『助動詞・助詞概説』桜楓社
- 日本語教材リスト編集委員会編（2008）『日本語教材リスト No.38』凡人社
- 早津恵美子監修、アクマタリエワ-ジャクシルク・金俸呈・辺純影編著（2010）『初級教科書の語彙分析—動詞編（1）語彙的な性質—』コーパスに基づく言語学教育研究資料 2、グローバル COE プログラム「コーパスに基づく言語学教育研究拠点」東京外国語大学大学院総合国際学研究院
- 姫野昌子（1999）『複合動詞の構造と意味用法』ひつじ研究叢書言語編第 16 巻、ひつじ書房
- 森田良行（1991）『語彙とその意味』NAFL 選書 11、アルク

4. 論文等

- 庵功雄（2009）「地域日本語教育と日本語文法：『やさしい日本語』という観点から」『人文・自然研究』3号、126-141、一橋大学、<<http://hdl.handle.net/10086/17337>> [2014年4月18日閲覧]
- 庵功雄（2011）「日本語文法からみた『やさしい日本語』の構想：初級シラバスの再検討」『語学教育研究論叢』28号、255-271、一橋大学、<<http://hdl.handle.net/10086/23116Right>> [2013年7月21日閲覧]
- 庵功雄・岩田一成・森篤嗣（2011）「『やさしい日本語』を用いた公文書の書き換え—多文化共生と日本語教育文法の接点を求めて」『人文・自然研究』5号、115-139、人文・自然研究編集委員会

- 市川智子（1991）「上級聴解クラスにおけるテレビ報道番組ビデオの利用—米国国務省日本語」『日本語教育』73号、127-139
- 今田滋子（1963）「日本語の疑問名詞とその周辺—朝日新聞—か月分を調査して—」『日本語教育』3号、55-60
- 岩田一成（2013）「7章 文法から見た『やさしい日本語』」庵功雄・イ-ヨンスク・森篤嗣編『「やさしい日本語」は何を目指すか—多文化共生社会を実現するために』117-140、ココ出版
- 岩田一成（2014）「看護師国家試験対策と『やさしい日本語』」『日本語教育』158号、36-48
- 上原聡（2007）「第4章 認知語形成論」山梨正明編、上原聡・熊代文子著『音韻・形態のメカニズム—認知音韻・形態論のアプローチ—』講座認知言語学のフロンティア①、99-151、研究社
- 宇佐美洋（2014）「公的機関における日本語とはどうあるべきか—不特定多数に対する対応と、『個』への対応と—」『公開シンポジウム「やさしい日本語」研究の現状とその展開発表予稿集』21-22、一橋大学
- 遠藤裕子（1988）「大学生のための聴解—ニュース番組の特集を利用して—」『日本語教育』64号、109-121
- 岡崎志津子（1993a）「初級段階でのニュース教材の導入」『日本語教育』79号、148-159
- 岡崎志津子（1993b）「ラジオニュースの型と日本語教育への応用」『世界の日本語教育』3号、1-16、<<http://www.jpfi.go.jp/japanese/survey/globe/03/01.pdf>> [2014年11月19日閲覧]
- 岡典栄（2013）「16章 ろう児への日本語教育と『やさしい日本語』」庵功雄・イ-ヨンスク・森篤嗣編『「やさしい日本語」は何を目指すか—多文化共生社会を実現するために』299-319、ココ出版
- 荻野綱男（1990）「意味分野」玉村文郎編『日本語の語彙・意味（下）』講座日本語と日本語教育7、278-297、明治書院
- 落合由治（2008）「日本語教材としての新聞報道記事の表現技法—見出しにおける『引用』『意見』『レトリック』の問題点」『比較文化研究』84号、13-31、弘前日本比較文化学会
- 金庭久美子・川村よし子（1999）「TVニュース構成の特徴分析とそれを支える表現」『日本語教育』101号、1-10
- 金庭久美子（2002）「ニュース語彙の指導に関する一考察」『横浜国立大学留学生センター紀要』9号、3-17、<<http://hdl.handle.net/10131/1188>> [2014年9月10日閲覧]
- 金庭久美子（2004）「リソースの活用を目指した授業—ニュース教材を利用した聴解授業—」『日本語教育』121号、86-95

- 金庭久美子 (2010) 「ニュース語彙の特徴分析」 『横浜国立大学留学生センター教育研究論集』 17号、65-82、<<http://kamome.lib.ynu.ac.jp/dspace/bitstream/10131/7815/1/IN17-05.pdf>> [2014年9月21日閲覧]
- 川村よし子 (2013) 「11章 リーディング・チュウ太と『やさしい日本語』」 庵功雄・イ・ヨンスク・森篤嗣編 『「やさしい日本語」は何を目指すか—多文化共生社会を実現するために』 199-217、ココ出版
- 木谷直之・築島史恵 (2014) 「非母語話者日本語教師による『やさしい日本語』—学習者のために教師自身の日本語をどう調整するか」 『日本語教育』 158号、66-79
- 佐藤和之 (1999) 「災害時に外国人にも伝えるべき情報」 『月刊言語』 28巻8号、32-41、大修館書店
- 佐藤勢紀子 (1989) 「中級段階における速読の試み—新聞を主教材として」 『日本語教育』 67号、181-193
- 椎名紀久子・楊昉 (2001) 「テレビニュースを活用した日本語 CALL 教材の開発—基礎的研究—」 『言語文化論叢』 9号、23-28、千葉大学、<<http://mitizane.ll.chiba-u.jp/meta-bin/mt-pdetail.cgi?cd=00024321>> [2014年7月1日閲覧]
- 柴崎秀子 (2014) 「リーダビリティ研究と『やさしい日本語』」 『日本語教育』 158号、49-65
- 柴田武 (1999) 「『緊急言語』を“保険”のつもりで—応用言語学の課題—」 『月刊言語』 28巻8号、26-31、大修館書店
- 鈴木庸子・横田淳子 (1992) 「テレビニュースを中心とした日本語学習用コースウェアの開発—学習内容の選択と整理—」 『日本語教育』 76号、88-100
- 田中健二 (1996) 「100年前と現代の新聞英語語彙および文法比較」 『時事英語学研究』 XXXV号、27-37、<www.jstage.jst.go.jp/article/jaces1962/1996/35/.../pdf> [2014年7月28日閲覧]
- 田中英輝・美野秀弥 (2010) 「やさしい日本語によるニュースの書き換え実験」 『研究報告 自然言語処理』 11号、1-8、情報処理学会、<<http://id.nii.ac.jp/1001/00071035/>> [2014年9月10日閲覧]
- 田中英輝・美野秀弥 (2011a) 「『やさしい日本語』ニュースの理解度テスト—ニュースのための『やさしい日本語』の設計に向けて—」 『電子情報通信学会技術研究報告』 111巻227号、1-6、電子情報通信学会
- 田中英輝・美濃秀弥 (2011b) 「日本語母語話者による『やさしい日本語ニュース』の読解実験」 『言語処理学会第17回年次大会予稿集』 758-762、<http://www.anlp.jp/proceedings/annual_meeting/2011/pdf_dir/B3-8.pdf> [2014年11月30日閲覧]

- 田中英輝・美野秀弥・越智慎司・柴田元也（2012）「やさしい日本語ニュースの公開実験サイト『NEWS WEB EASY』の評価実験」『研究報告自然言語処理（NL）』9号、1-9、
<<http://id.nii.ac.jp/1001/00086988/>> [2013年8月12日閲覧]
- 田中英輝・美野秀弥・越智慎司・柴田元也（2013a）「やさしい日本語ニュースの公開実験」20-29、NHK、<<http://www.nhk.or.jp/str/publica/rd/rd139/PDF/P20-29.pdf>> [2013年8月12日閲覧]
- 田中英輝・美野秀弥・越智慎司・柴田元也（2013b）「3章『やさしい日本語』による情報提供—NHKのNEWS WEB EASYの場合—」庵功雄・イ-ヨンスク・森篤嗣編『「やさしい日本語」は何を目指すか—多文化共生社会を実現するために』31-57、ココ出版
- 中野真規子（2004）「ニュース教材を利用した聴解実践研究」『日本語教育実践研究』創刊号、181-188、<http://dspace.wul.waseda.ac.jp/dspace/bitstream/2065/3599/1/35032_a.pdf> [2014年6月27日閲覧]
- 中山恵利子（2001）「日本語教科書の外来語と新聞の外来語」『日本語教育』109号、90-99
- 野田尚史（2014）「『やさしい日本語』から『ユニバーサルな日本語コミュニケーション』へ—母語話者が日本語を使うときの問題として—」『日本語教育』158号、4-18
- 伴紀子・山本雅子・佐藤恵美・高橋直美・津田幸子・松崎成子（1995）「中上級教材としての新聞記事—トピック別表現分析と日本語教育への応用—」『アカデミア』文学・語学編、58号、267-292、南山大学
- 松田陽子（1999）「外国人のための災害時の日本語」『月刊 言語』28巻8号、42-51、大修館書店
- 水野義道（2006）「災害時のための外国人向け『やさしい日本語』」『月刊 言語』35巻7号、54-59、大修館書店
- 森篤嗣（2013）「6章 語彙から見た『やさしい日本語』」庵功雄・イ-ヨンスク・森篤嗣編『「やさしい日本語」は何を目指すか—多文化共生社会を実現するために』99-115、ココ出版
- 光元聰江（2014）「取り出し授業と在籍学級の授業とを結ぶ『教科書と共に使えるリライト教材』」『日本語教育』158号、19-35
- 柳田直美（2013）「5章『やさしい日本語』と接触場面」庵功雄・イ-ヨンスク・森篤嗣編『「やさしい日本語」は何を目指すか—多文化共生社会を実現するために』79-95、ココ出版
- 柳田直美（2014）「話し言葉の『やさしい日本語』—会話における『やさしい日本語』研究の現状と今後の展開—」『公開シンポジウム「やさしい日本語」研究の現状とその展開 発表予稿集』23-28、一橋大学

湯浅千映子 (2014) 「ネットのニュース記事における見出しの機能—Yahoo トピックスを用いて—」『早稲田日本語研究』23号、13-23、早稲田大学日本語学会、<<http://hdl.handle.net/2065/41443>> [2014年7月3日閲覧]

5. Web上のデータ等（論文を除く）

NHK NEWS WEB <<http://www3.nhk.or.jp/news/>> [2014年7月1日－8月31日閲覧]

NHK NEWS WEB EASY <<http://www3.nhk.or.jp/news/easy/index.html>> [2014年7月1日－8月31日閲覧]

RADIO BERRY やさしい日本語地域ニュース 76.4 FM <<http://www.ajiken.jp/blog/>> [2014年9月27日閲覧]

庵功雄「『やさしい日本語』と『やさしい日本語ニュース』」、「やさしい日本語」科研グループ（代表者：庵功雄）web サイト<http://www13.plala.or.jp/yasashii-nihongo/news_web_easy.pdf> [2014年9月27日閲覧]

栗又由利子・世良時子・神山英子・松浦真理子 (2013) 「『やさしい日本語地域ニュース』の発信とその活用—多文化共生環境を目指す試みとして—」『日本語教育実践研究フォーラム報告』WEB版、日本語教育学会、<http://www.nkg.or.jp/kenkyu/Forumhoukoku/2013forum/2013_P13_kurimata.pdf> [2014年10月3日閲覧]

減災のための「やさしい日本語」研究会、FMアップルウェーブ、<www.applewave.co.jp/aw2012/aw_o_files/nihongo/01.pdf> [2014年9月27日閲覧]

国立国語研究所日本語教育基盤情報センター (2009) 「『生活のための日本語：全国調査』結果報告<速報版>」<http://www.ninjal.ac.jp/archives/nihongo-syllabus/research/pdf/seika_sokuhou.pdf> [2014年10月3日閲覧]

田中英輝「『やさしい日本語』ニュース NEWSWEB EASY」日本語教育大会 2014年8月29日、<http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/kyouiku/taikai/26/program/pdf/shiryo_05.pdf> [2014年9月30日閲覧]

弘前大学社会言語学研究室（佐藤和之）<<http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/index.html>> [2014年9月27日閲覧]

使用プログラム

語彙計量ソフト「KH Coder」<<http://khc.sourceforge.net/>> [2014年9月2日取得]

読解学習支援システム（語彙チェッカーツール）「リーディング・チュウ太」<<http://language.tiu.ac.jp/tools.html#input>> [2014年10月7日－11月28日利用]

資料1 アンケートの質問項目

修了論文執筆のため、大学で日本語を専攻された方に「ニュースに関するアンケート」を行っております。いただいた回答はどなたのものかわからないようになっていきますので、ありのままを教えてください。ご協力をお願い致します。

チューラーロンコーン大学大学院文学部

東洋言語学科日本語講座「外国語としての日本語」修士課程

近藤めぐみ

【質問1】職業を教えてください。

- 日本語通訳 日本語教師 大学院生 その他 ()

【質問2】大学で日本語を専攻しましたか。

- はい いいえ

【質問3】出身校(学部)はどちらですか。

- Assumption College
 Bangkok University
 Burapha University
 Chiang Mai University
 Chulalongkorn University
 Kasetsart University
 Khon Kaen University
 King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang
 Mae Fah Luang University
 Mahasarakham University
 Mahidol University
 Naresuan University
 Payap University
 Rajamangala University of Technology Krungthep
 Silpakorn University
 Srinakharinwirot University
 Thammasat University
 その他 ()

【質問 4】大学入学前にどのくらい日本語を勉強しましたか。

- 0時間 1-50 時間未満 50-150 時間未満
 150-300 時間未満 300 時間以上

【質問 5】何年に大学を出ましたか。

- 2014(2557)年 2013(2556)年 2012(2555)年
 2011(2554)年 2010(2553)年 2009(2552)年
 2008(2551)年 2007(2550)年 2006(2549)年
 2005(2548)年 2004(2547)年以前

【質問 6】卒業時の日本語能力試験 (JLPT) の合格級を教えてください。

- 1 級 2 級 3 級 4 級
 N1 N2 N3 N4 N5
 不合格 受けていない

【質問 7】普段、ニュースを見たり聞いたりしますか。

- 毎日する ときどきする ほとんどしない 全然しない

【質問 8】ニュースを得る場合、何を利用しますか。(複数回答可)

- インターネット テレビ ラジオ
 新聞 雑誌 その他()

【質問 9】どうしてニュースを見たり聞いたり します／しません か。

【質問 10】日本語のニュースを見たり聞いたりしますか。

- 毎日する ときどきする ほとんどしない 全然しない

【質問 11】日本語のニュースを得る場合、何を利用しますか。(複数回答可)

- インターネット テレビ ラジオ
 新聞 雑誌 その他()

【質問 12】どうして日本語のニュースを見たり聞いたり します／しません か。

【質問 13】大学 1 年次 新聞やニュースを含むメディアを扱った授業がありましたか。

- なかった
- あった：「新聞読解」や「ニュース聴解」など、科目として勉強した
(具体的に_____)
- あった：「日本語1」や「読解」などの授業の中で、勉強した
(具体的に_____)

【質問 14】大学 2 年次 新聞やニュースを含むメディアを扱った授業がありましたか。

- なかった
- あった：「新聞読解」や「ニュース聴解」など、科目として勉強した
(具体的に_____)
- あった：「日本語1」や「読解」などの授業の中で、勉強した
(具体的に_____)

【質問 15】大学 3 年次 新聞やニュースを含むメディアを扱った授業がありましたか。

- なかった
- あった：「新聞読解」や「ニュース聴解」など、科目として勉強した
(具体的に_____)
- あった：「日本語1」や「読解」などの授業の中で、勉強した
(具体的に_____)

【質問 16】大学 4 年次 新聞やニュースを含むメディアを扱った授業がありましたか。

- なかった
- あった：「新聞読解」や「ニュース聴解」など、科目として勉強した
(具体的に_____)
- あった：「日本語1」や「読解」などの授業の中で、勉強した
(具体的に_____)

【質問 17】

どうしてあなたの大学では新聞やニュースの授業が あった／なかった と思いますか。

【質問 18】新聞やニュースの授業を受けた場合、どんな感想を持ちましたか。小さなことでもいいので、思い出せる限り具体的に書いてください。

【質問 19】新聞やニュースの授業を受けなかった場合、それについて何か意見があれば書いてください。

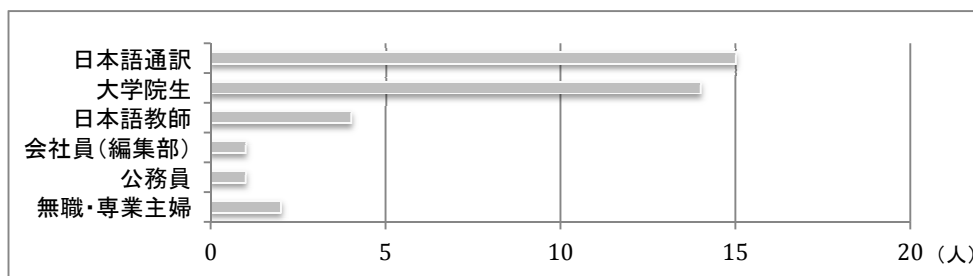
【質問 20】新聞やニュースの授業を受けた場合、今振り返って何か意見があれば書いてください。

【その他】ニュースに関して何かご意見等があれば、お聞かせください。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

資料2 アンケートの回答

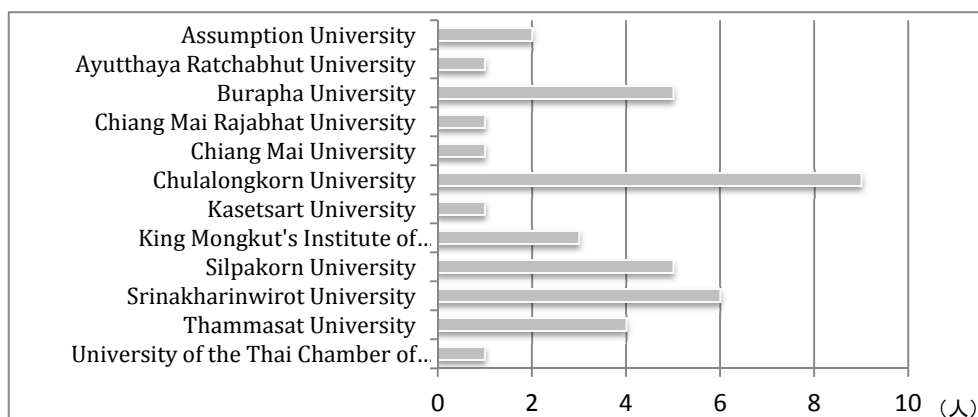
質問1 職業を教えてください。



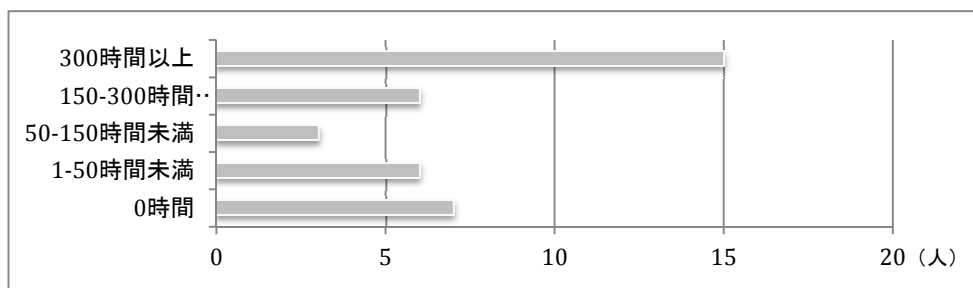
質問2 大学で日本語を専攻しましたか。

はい 37名 いいえ 1名¹⁴³

質問3 出身校(学部)はどちらですか¹⁴⁴。



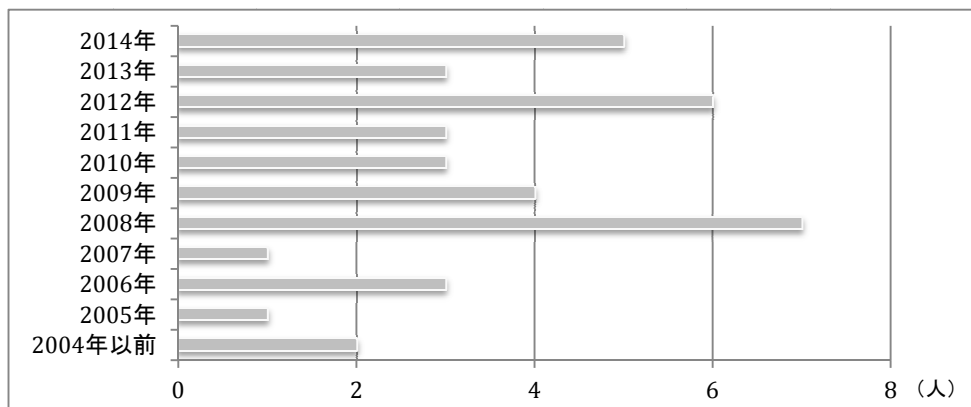
質問4 大学入学前にどのくらい日本語を勉強しましたか。



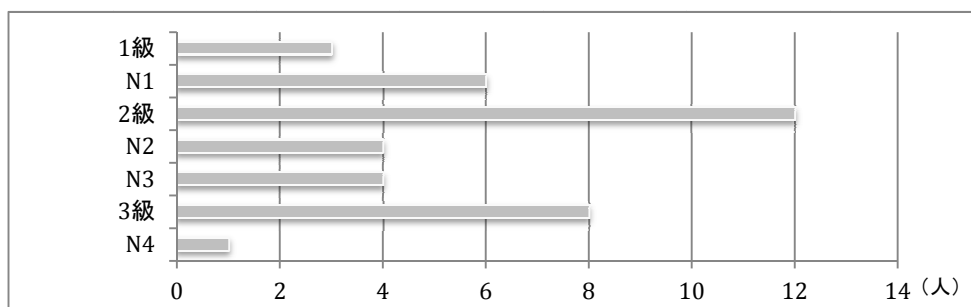
¹⁴³ 質問2を除き、日本語非専攻の1名の回答はアンケート結果に反映させていない。

¹⁴⁴ 協力者のうち2名は2校に通学していたため、合計は協力者数を上回る。King Mongkut's Institute of.. は King Mongkut's Institute of Technology Ladkrabang、University of Thai Chamber of.. は University of the Thai Chamber of Commerce。

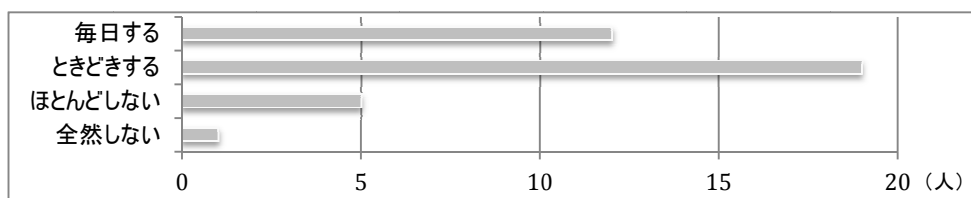
質問 5 何年に大学を出ましたか。



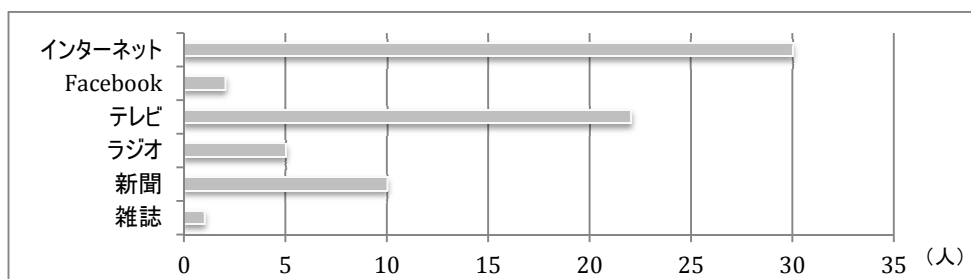
質問 6 卒業時の日本語能力試験 (JLPT) の合格級を教えてください¹⁴⁵。



質問 7 普段、ニュースを見たり聞いたりしますか。



質問 8 ニュースを得る場合、何を利用しますか。(複数回答可)



¹⁴⁵ 複数回答者がいたため、合計数は協力者数を上回る。

質問9 どうしてニュースを見たり聞いたり します／しません か。

【毎日見る・聞く】

- 社会状態を知りたいからです。
- 情報を知りたいからです。
- アップデートするため。
- 事情知りたいからです。
- 現在の状況を得るため。
- 今、社会や世界でどんなこと起こっているか、情報をアップデートしたいです。
- 毎日何か起こるか知りたいからです。
- 私にとっては、ニュースは自分の世界がもっと広く、世界中の状況、経済、政治、教育などの色々なことがわかりますから。
- ニュースを見るとこによって、身の回りの出来事や事情を把握でき天気予報など生活に必要な情報も入手することが可能になるから。
- 特に理由ないですが、ただいつの間にか毎日のはじまりはニュースを見ないと何かが物足りないと感じるようになったです。
- 習慣になっているので
- 普段はよむことが好きだから、ニュースは一つのいい読み話です

【ときどき見る・聞く】

- 世の中で起こっていることを知るため
- 今、自分の知らないところはどうなっているのかを知りたいからである。
- 今日はどこで何かあったのが知れば、いいと思います。
- 最新のニュースを見たり聞いたりする
- 現在のことを知るため。
- 社会の現状や情報を得るためです。
- 情報アップデートのため
- 情報のため
- 物事をしりたいからです。
- ニュースを見るのは日常の事情をアップデートすることができますから。
- タイでの事情が知りたいから
- 日本語練習と現状把握

- 新しい方法を得るからです。
- 生活するために、ニュースを分かることは必要です。
- テレビ見る時ニュースあれば見る
- 食事の暇つぶしが主。だがタイのニュースは政治関係、犯罪が多いのです正直ウンザリ。
「つまらない」と判断すると消す。
- 部屋にテレビがありませんが、Facebook やよく見るサイトは大きいニュースが時々出ます。
- 人気があることとかをみますけど、最近あまり時間がないから、なかなか見られません。
- 時間があまり無いんです。

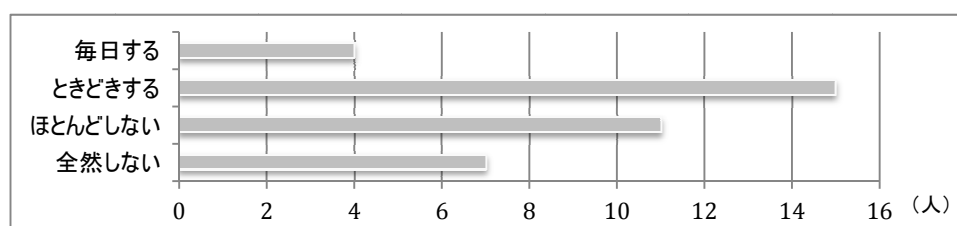
【ほとんど見ない・聞かない】

- 知識を向上します。
- テレビを見る時間はあまりないです。
- あまり時間があまりないからです。
- あまり、興味がないですけど。

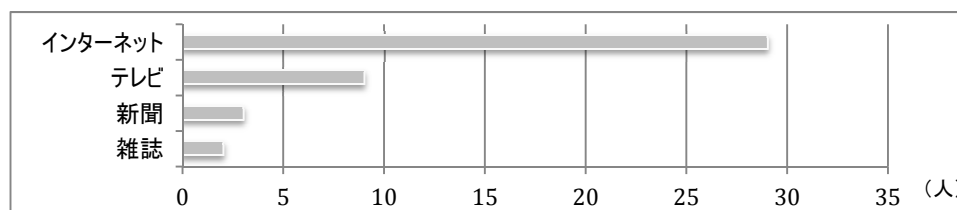
【全然見ない・聞かない】

- 寮にはテレビなくて、インターネットもないのです。得る場合は土日実家に戻る時にテレビで見ます。平日はたまたま職場でインターネットで見ます。
- 住んでいるところにテレビなどが無いからほとんど見ていません。自分が興味を持っているニュースの場合はインターネットで調べます。

質問 10 日本語のニュースを見たり聞いたりしますか。



質問 11 日本語のニュースを得る場合、何を利用しますか。



質問 12 どうして日本語のニュースを見たり聞いたり します／しません か。

【毎日見る・聞く】

- 日本の事情を知りたくて、日本語も学びたいからです。
- 上記の理由¹⁴⁶を含め、自然な日本語を生で習得できるし、現在、日本で話題になっていることがわかるから。
- 面白そうなニュースがいっぱいあるから
- 習慣になっているので

【ときどき見る・聞く】

- 日本で起こっていることが知りたいから
- 日本のことが知りたいからです。
- 今日本に留学しているので、たまに日本での事情を知っておけばいいと思うから
- 今、日本にいるからです。普段、タイ語のニュースより日本語のニュースを聞いています。
- 日本のニュースは面白いと思うので、見たんです。
- 日本語能力を向上し、情報アップデートするため
- 日本語練習と現状把握
- 日本語を勉強しているので、日本のことも知るべきだと思うし、日本語のニュースの書き方に興味があるからである。
- 日本語のニュースは日本のことだけではなく、日本語も読解や、漢字、単語などを勉強できますから。
- 私はもともと日本のさまざまなノウハウやファッションに興味を持っていますから。そして、ちょっと日本語の聞き練習もしたいです。
- ニュースを得るための同時に漢字や文章や聴く勉強などをするからです。
- 日本語をべんきょうするため。
- 日本語を練習したいからです。
- 聞く練習になるからです。
- 日本人と仕事してるから、たまに日本人と話しかける度には日本に関するニュースの方が話が早いです

¹⁴⁶ ニュースを見るとことによって、身の回りの出来事や事情を把握でき天気予報など生活に必要な情報も入手することが可能になる (原文そのまま)

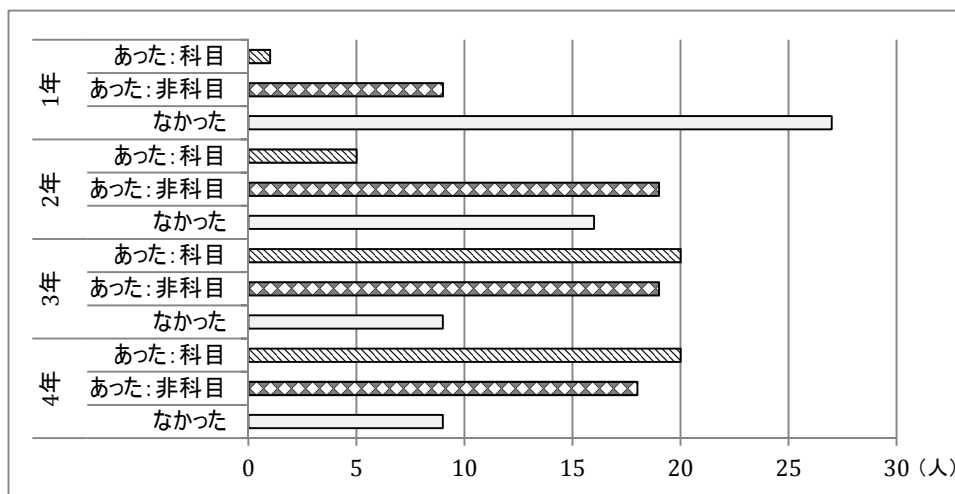
【ほとんど見ない・聞かない】

- 日本のものごとが知りたい
- 知識を向上します。
- 日本では何か起こるか知りたいし、日本語のスキルを練習したいからです。
- 日本語を練習する
- 日本語を練習したい。
- 日本のニュースをアップデートしたい。 2. 日本語の聞くことを練習したい。 3. 新しい語彙を勉強したい。 4. 日本語を忘れないように。 5. 日本人の友達と話題として話したい。
- タイに関係のあるニュースをメインにするメディアは新聞の形しかありませんが(私が知っている限り)、値段が高いと思います。例えば、80 パーツ以上とか。
- あまり時間がありません。タイにいる間にタイ語で見たり、読んだりするのが楽です。
- 読むの時間かかるからそんなに時間ないです。漢字が難しいし、日本のニュースをみたい場合はタイ語に訳されたやつで見ます。
- 時間があまり無いんです。

【全然見ない・聞かない】

- Facebook で友達のシェアから見ます。
- 日本語のニュースを見るときは日本にいる時（出張など）のみで普段見ていません。
- テレビやラジオでできませんので。
- ニュースならテレビで見ますので、家で日本語の番組がないです。ありましたら、日本語のニュースを見るかもしれません。
- 時間がないから。
- タイにいるときは余程ない限り日本のニュースは出ない。上司からたまに日本の新聞を貰うが、読む時間がない。また国が違うせいか、日本のニュースを知っても知らなくても影響がないから、あんまり興味ない。
- 興味が余りありません。そして、日本のニュースでも、タイ語でのニュースがありますからタイ語でニュースを読んだ方がらくだと思います。
- あまり興味がありませんから。また、読みにくいです。

質問 13-16 大学 1-4 年次 新聞やニュースを含むメディアを扱った授業がありましたか。(複数回答可)



【大学1年次】

—あった：非科目—

- 1年次の際には、日本語を読むのができるレベルになっていなかったなので、直接に新聞やニュース勉強ではなく先生で一つずつ一緒に読みながら、意味を教えてくださいました。
- 何年も前の事なので、何について勉強したか覚えてない。
- 読解の授業には日本の当時のニュースとか事情とか情報を勉強しました。

【大学2年次】

—あった：非科目—

- 話し話を読む。
- 教科書の中にニュースのコラムが書いてある。
- 2年次の際には、1年次よりある程度日本語を読むのができレベルになっていたの、直接に簡単な新聞やニュースを勉強し、友達と一緒に読みながら、自分で翻訳し、先生に詳しく教えてくださいました。
- 日本社会と文化の授業の中で 日本社会や、歴史、料理、日本人などの内容について 新聞や雑誌を読みました。
- 文法の例
- 読解の授業で簡単な技術的なニュースが含まれました。
- 基本的な日記や手紙など
- 読解の授業に日本語のニュースを読んだり、翻訳したりしてた
- ニュースの文章で漢字と単語を勉強した

- 何年も前の事なので、何について勉強したか覚えてない。
- ちょっと長いニュースを読んで、友達と理論をしました。

【大学3年次】

—あった：科目—

- 新聞読解授業。日本語の新聞の読み方について勉強し、日本の実際の新聞に通じて練習した。
- 3年次の際には、2年次よりある程度日本語を読むのができレベルになっていたのので、2年生の際よりも複雑な新聞読解や短いニュース聴解などのメディアで勉強し、授業にて自分で読み、聞きながら、翻訳し、各文章に対して授業の友達と意見を出し、先生に詳しく教えて頂きました。
- 聴解の練習
- Japanese News Papers という授業があります。
- JAPAN TODAY という科目にはニュース読んだり、分析したりしてた
- ニュースの文章分析などを勉強した
- 日本の自然災害の資料を勉強した。
- 新聞読解の教科書を勉強しました。2-3Paragraph くらいの内容を翻訳するようになりました。
- 先生は新聞からニュースのヘッドライン文章を学生みんなに配って、クラスの中で一緒に翻訳する。

—あった：非科目—

- 日本語のニュースを学習者が探して、授業に持ってくる。または、先生が持ってきた日本語ニュースの難しい言葉や、新しい表現などを学習者は授業の前に準備する。そして、次の授業に、朗読する。
- 読解の授業で勉強した。ニュースを見ながら、新聞を読む練習だった。
- 3年生の時、「読解」の科目として勉強して、ファッション、政治、経済、環境などニュースに関する短くて簡単な文章である読解も勉強した。
- 新聞の記事を読んで、まとめて発表する形
- 日本語の新聞から簡単なニュースなど
- 長いニュースとか論文を読んで、内容をまとめて、友達と理論をしました。

【大学3年次】

—あった：科目—

- 読解の授業で読み物の資料として扱った。小惑星探査機「はやぶさ」地球帰還、菅首相の政府、大相撲野球賭博問題などについての新聞記事を読んで、内容をまとめて、漢字や単語を勉強した。
- 授業内で教授が新聞のコピーを配り、それを宿題として読み、訳し、次のクラスに出るときに翻訳した内容を発表する。
- 4年次の際には、たくさん漢字が出る日本語を読むようになったため、日本人が普通に読むレベルの複雑な新聞読解やNHKより経済ニュースや、観光、日本人の生活、習慣ドキュメタリー、日本人の仕事仕方の習慣などの聴解を勉強しました。授業にて自然に日本語の発音を日本人と同じよう学ぶために自分で読みながら、翻訳し、各文章に対して授業の友達と意見を出し、先生に詳しく教えて頂きました。
- 記事、ニュースの主なポイントのまとめ
- Japanese Translation という授業があり、ニュースや新聞の翻訳練習などに含まれました。
- よく覚えていんですが、テレビニュースを見たり新聞記事を読みました。
- メディア AND 文化という科目には日本のニュースを分析して、意見を述べた
- 文章と意味の分析、聴解力など
- 難しいニュースを読んで、わからない言葉のリストをして、意味を調べて、先生に出しました。先生は当時のニュースに対して質問をして、皆と答えを考えました。
- 先生は新聞から短いニュースを学生のみんに配って、クラスの中で一緒に翻訳して分析する。

—あった：非科目—

- 日本語のニュースを学習者が探して、授業に持ってくる。または、先生が持ってきた日本語ニュースの難しい言葉や、新しい表現などを学習者は授業の前に準備する。そして、次の授業に、その内容について、意見や質問を答える。
- 「読解」との科目ですが、書材は新聞の記事です。
- 日本語通訳の授業の中でニュースを聞いたり、タイ語に直したり、練習しました。
- 3,4年生の時、「読解」の科目として勉強しましたが、4年生は色々な分野のニュースについて長い文章である読解を勉強しました。表現とか文法とか専門語とかかなり難しく、いつも電子辞書を調べて勉強しました。

—なかった—

- 2－3年も前の事なので、何について勉強したか覚えてない。

質問 17 どうしてあなたの大学では新聞やニュースの授業が あった／なかった と思いますか。

【ニュース授業受講未経験者の意見】

- レベル的に適切ではないかと思う。難しすぎる。
- うちの大学の学生のレベルはまだまだ低いし、ことばや漢字もニュースを聞いたり新聞を読んだりするのに足りないからだと思う
- 学生の日本語能力はばらばらですから
- 教育学部なので、文法の授業や教授法の授業の方が必要だともいます。実は新聞やニュースの授業があるそうですが、私は一年間日本で留学しましたので、その授業を習いませんでした。

【ニュース授業受講経験者の意見】

- やはりニュースは生教材として使えるし、日本の社会や文化を理解するためにも利用できる。また、ニュースで使う表現や漢字などが豊富で学習する項目としていい道具だと思う。
- 言葉や表現を増やすため。
- 読解は大切からだと思う。
- わかりません。（2名）
- 学生に日本語のさまざまな書き方を勉強させるためだと思う。
- 将来の仕事に必要なものがきっかけだと思います。
- 日本語を勉強していると、将来日本に関する仕事に就くことも多い。そこで、日本のニュースを読まなければならない人も少なくないはず。だが、新聞には独特な書き方があるため、慣れないと読みにくい。そこで、学生を新聞を読めるようにするため、この授業があったと思う。
- 実際の生活に必要なだと思う。
- 日本語を勉強する人は日本人がしゃべり、読めるレベルになれるために、新聞やニュースの授業がある必要だと思います。
- 同時に日本の社会が分かりながら、勉強になった。
- 大学で読解と聴解の授業がありましたから。その授業のなかでは新聞やニュースだけではなく、日本語の雑誌や小説などどんなものも使って勉強できると思います。

- 正しい日本語の練習。きれいな発音の例。実際使っている例文を見せる。
- 漢字を勉強したいから。
- 実際に使われた日本語を実感させるためにあつただと思います。
- 新聞やニュースの授業はかなり内容が難しいから、この授業はなかったです。でも、ブラパー大学の日本語授業は色々な分野のニュースに関連する内容を吸収して「読解」の科目を構成されています。目的は学生に専門語とか複雑な文とか分かりにくい表現などを見せて練習させますから。日本語能力試験の「読解」パートに役に立つと思います。それだけではなくて、固い表現や書き言葉の使い方ももっと理解するようになります。
- 理解力を高めるため 2. 新聞やニュースの中で使われていることばを慣れてもらうため 3. 日本の事情や考え方、日本人の見方を理解してもらうため
- 読解の能力増やすため 語彙を増やす
- 新聞やニュースは日本語の生教材だと思います。学習者の日本語能力を向上させるために、教科書に留まらず、生教材も必要です。また、生教材である新聞やニュースを通して、言葉遣い、日本の事情、日本人の考え方を学ぶことができます。
- 新聞記事の読み方を練習させたりニュースを聞く練習させるとおもいます。さらに、日本の現在のことをしらせたいと思います
- 重要ですから
- 日本語をちゃんと理解するように、新聞やニュースの授業が必要です。
- 読解のスキルを練習してほしいし、いろいろな言葉を覚えてほしいと思います。
- 学生達が日本語を上手に使えるようにする
- 日本語の勉強とともに、日本情報や事情を学ぶことは必要だからです。
- 練習のためです。
- ニュースからすべての日本語のスキルをアップできると思います。文法、単語、読解、聴解などです。そして、ニュースの文章は書き言葉なので、日本語の日常会話とちがって、使い分けを理解する必要があります。
- 外国人だから、日本語に関わる機会はあるまいないので、授業に勉強したらどんどん慣れてくると思ってます
- 日本の現在の文化、状況を理解するため。
- 日本の事情とか情報を分かるようになり、又は難しい単語も学ぶためだと思っています。

- 日本語の教科書では、日常言葉だけありますので、新聞を勉強すると日本語知識をアップします。
- 教科書だけの日本語はまだ足りないと思う。 もっとうまく日本人とコミュニケーションができるように、新しい単語、辞書に載っていないはやっている単語、現在社会なども知るべき。
- 日本の状況を知りながら日本語を勉強する。

質問 18 新聞やニュースの授業を受けた場合、どんな感想を持ちましたか。

【マイナス意見】

- ストレスが高まること。
- 難しい。つまらない。
- 漢字が難しかった。書き方も普段勉強している日本語と違うので、分かりにくかった。
- 真面目な内容が多くてあまり楽しくなかったです。
- 結構難しい。特に政治のニュース。知らない人の名前や日本政治に関するの長い漢字が出てくるので、意味がわからない。「誰がどこで何をやった」ということでさえ時々わからない。
- 新聞の授業がありました。そのときの感想は難しいと思っていました。勉強してきた文法や言葉の使い方が違ったため、慣れませんでした。略された言葉が多く、その言葉を理解するためにいろいろなことを勉強していました。
- その時は大変だったと思います。毎回新聞を読んで、タイ語訳させました。言葉や漢字が難しく、負担になりました。
- 新聞記事を読んでもよくわかりませんでした。ニュースを聞いても分からない所が多かったです。
- あまり聞き取れませんから、緊張でした。また、そのときに、読みにくいと思いました。
- いろいろな話題があるけど、面白い話題は面白いけど、経済とか政治とかの話題はまったくつまらない、外国人はそんなこと知ってなくてもいいと思ってます。
- 特に何も。授業だから受けたみたいない感じ。あえて言えば新聞を読んだ後にレポート提出など面倒だった。
- 難しく、長すぎて、興味がないコラムだったら、イライラしました。

【プラスの意見】

- 面白いだと思います。
- とても良い勉強になりました。日本語の勉強になるだけでなく、日本文化・日本人の見方も勉強になりました。日本では、今はやっていることは何かも勉強になりました。
- 日本語の勉強はもっと上手になれると思います。特にニュースの聴解は日本語の発音や、日本人と同じぐらい自然に日本語がしゃべれるようになると思います。
- よかったです。知らないことがいっぱいなので、勉強になります。
- 最初にニュースを聞くとき、内容が全部分からないですが、何回も聞くと文法や言葉が自然に覚えた。
- 難しかったです。知っておけば、将来にとっても役立つと思います。
- このような授業があって、感謝しています。その時は日本語のニュースをよく理解できなかったですが、自分が日本語のニュースを読めるなんて、自分に誇りを持っています。要するに、ニュースの授業を通して、日本語の力が伸びたと気がします。
- いろいろな新聞やニュースの授業を受けました。日本の習慣の勉強になりました。
- いい授業だと思います。新聞やニュースの言葉は基本的な言葉をあまり使わないから、いい勉強になりました。
- 日本のもう一面が見えたこと。普段、日本語を勉強するひとは日本に好印象を持って日本語を勉強し始めた。しかし、japan today を受けた後、日本は他の国のようにいいことしかないじゃないと思った
- 漢字が難しかったです。最初はそれしか考えてなかったのですが、3・4年生になってから、漢字と単語がたくさんわかるようになって、ニュースに関する授業が楽しくなりました。言葉がわかったら、つぎは理解することですね。よくニュースを見たり、聞いたりしたら、内容の理解力がアップした気がします。
- 新聞の言葉は、日本語の教科書より難しかったです。内容を理解し次第、日本のことをもっと面白くなりました。
- 日本の現状、社会の考えを勉強になったなあと思った。
- 書き方はわかるようになりました。聞いたこともない見たこともない漢字が出てくるので、面白い。

【その他】

- 先生は先に新聞やニュースを学生に渡し、学生から新しい語彙を調べたり、内容を読んだりしておいてもらいます。授業の中で学生の皆さんもう一度読んだり、翻訳したりします。
- よく覚えていません。「新聞読解」や「ニュース聴解」は確かにあったと思いますが、もう何年も昔の事なので、もう覚えていません。

質問 19 新聞やニュースの授業を受けなかった場合、それについて何か意見があれば書いてください。

【ニュース授業受講未経験者の意見】

- ニュース等を学ぶことにより、漢字・語彙・日本事情もより分かるようになる支援で、いい生教材だと思う。
- 日本語の新聞は難しい漢字で書かれているので、読みたくない。ニュースも大学1-3年生にとってスピードが早すぎて聞きたくない。その時、大学にこの授業があっても、取らないと思う。
- 読解の授業で教えたらいいと思います。

【ニュース授業受講経験者の意見】

- いいです
- 文法が分かりますが、日本語の発音や、日本人と同じぐらい自然に日本語がしゃべれるようにならないと思います。
- 新聞やニュースの授業がなくても、色々な分野のニュースに関する内容がある「読解」の授業を受けました。私の考えは新聞やニュースについて内容をもっと加えて勉強すればいいと思います。
- 新聞やニュースでよく使われている表現が分からなくなると思います。
- なかったら、今の能力までいかないと思います。
- 授業に出なくても自分が興味を持つニュースがあったら見たりしているので、授業に出なくてもニュースが分かりようになると思います。
- 本当の日本は分からないと思う
- 言語専攻してる学生に対する言葉を理解するだけではなく、理解して実際使えるかどうかというのは大切だと思います。ですので、教科書だけではなくて色々なメディアを使用し、授業を工夫したほうが効果し、学生にいいと思います。
- 現在の日本の状を知る機会が減ると思われる。（自分から進んで調べる必要がないため）

- 残念だと思います。本、小説の読み方が違いますし、入社するときにニュースの読解試験があるかもしれません。

質問 20 新聞やニュースの授業を受けた場合、今振り返って何か意見があれば書いてください。

【マイナス意見】

- 自分が興味がないニュースなら、読む気がなかった。
- 細か過ぎることとか、日本人でも理解できないこととか。授業に入れないほうがいいと思います

【プラスの意見】

- 難しかったが、新しい漢字や単語を勉強できて、よかった。そして、日本は今何が話題になっているのか、新聞の書き方はこのような形だと分かるようになった。
- 楽しくなかったが、やはり仕事に役立ってると感じています。
- この授業を受けなかったら、今でも日本の政治ニュースを読めないだろう。この授業は難しいが役に立ったと思う。
- 1年生のときから勉強した方がいいじゃないかと思う。
- 私の発音などの日本語は日本人と同じぐらいのレベルできたと思います。日本のことも広く、日本の習慣や、日本人の仕事仕方、生活などはどうなのかと分かるようになりました。卒業してから、日本会社で働き、順調に仕事ができたと考えています。
- 短い時間で色々なスキル(文法、読解、発音など)を学べるのはいい道具です。
- いいと思います。語彙や日本事情分かるチャンス
- いい授業でした。聞き取れるし、読解できます。

【その他】

- もっとニュース、新聞の読み方の授業があったら、いいなと思います。
- 時々、学生の興味に対するニュース、例 文化や社会やファッションなどのニュースも読みたかったです。
- 読んだり、意見交換はいいが、レポートは困る。
- 日本語で新聞やニュースを勉強する前に自国語の新聞やニュースに出た言葉など勉強しないと理解が難しいから面白くないと思います。但し、知識を少し持っていれば、イメージがつくから勉強が楽しめると思います。

- 新聞より、テレビのニュースの方がいいと思いますが、授業に使われたのは新聞だけでした。
- ニュースを読んだり聴いたりするだけでなく、分析と実際内容を理解しているかどうかを確認することも必要だと思います。

その他 ニュースに関して何かご意見等があれば、お聞かせください。

- 学習者が興味があるニュースを読む必要がある。
- ニュースで日本語を勉強することは一つのいい方法だと思う。日本のニュースだけではなく、タイのニュースを日本語で読んだりすることもいいと思う。
- 聴解勉強はニュースよりだけではなく、授業にて日本の映画、ドラマなどを見せながら、教えたほうが良いと思います。「ニュースはつまらない、勉強する感じが無いなあ」と思っている学生もいますから、上記のようなメディアで教えたら、学生の勉強魅力が引け、勉強したくなるでしょう。
- 日本語教育現場において、ニュースの聴解という授業を教える外ら手ジーが必要だと思います。ただ、学習者に日本語を聞かせるのではなく、関連語彙の導入や聞くポイントを掴むことなどのストラテジーを効果的に利用する必要があります。また、ニュースの聴解の評価の仕方や試験問題の作りも重要なことです。
- 学生にもっと勉強させた方がいいと思います。
- 単語と文法だけではなく、日本の文化、歴史についての説明も必要だと思います。新聞の記事を読んで、意味をまとめるだけではなく、その背景について考える力を育成すべきです。
- ニュースを聞くことは意外と人生に役に立つ。機会があれば、ちょっと聞いてみて方がいいと思います
- 新聞だと文字びっしり。テレビなら多少いいが専門用語が多すぎて内容を理解できない。例えば野球なら意味不明のチームの略称やら、選手の変な呼び名やら

資料3 やさしい日本語ニュースと一般ニュースのタイトル一覧

	一般ニュース (NHK NEWS WEB)	やさしい日本語ニュース (NHK NEWS WEB EASY)
1	LCC減便の影響で格安バスも減便へ	成田空港 安い飛行機が減って安いバスも減る
2	富士山 山梨側で山開き 御来光に歓声	富士山で山開き 日の出を見にたくさんの人が登る
3	ハムやチョコレート菓子など 値上げへ	ハムやチョコレートなどの値段が上がる
4	集团的自衛権行使容認 閣議決定	「集团的自衛権」を使うことができると閣議で決まる
5	フランス ひょうで収穫前のぶどうに被害	フランス ひょうが降ってぶどうに大きな被害
6	原発未稼働の夏 節電呼びかけへ	ことしの夏も家や会社で節電してください
7	小澤征爾さん 3年ぶりパリで演奏会	小澤征爾さんがパリで久しぶりのコンサート
8	「熱中症予防強化月間」始まる	「7月は熱中症にならないように気をつけよう」
9	香港の中国批判デモ 50万人余が参加	香港 中国の政府に抗議して約50万人がデモを行う
10	仏サルコジ前大統領 起訴視野に本格捜査へ	フランスの前の大統領 サルコジ氏に不正の疑い
11	商店前などの屋外喫煙所規制する条例施行	ビルや店の前の灰皿をなくすように言うことができる
12	富士山“入山料”67万円余に	富士山に登る人から集めたお金 2日の朝までに67万円
13	世界遺産登録1週間 記念スタンプラリー	世界遺産の富岡製糸場でスタンプラリー
14	小保方氏 成果なければ実験打ち切りも	STAP細胞を作ることができるか 小保方さんが実験
15	山手線 五輪見据え新型車両導入へ	オリンピックの観光にも便利 山手線に荷物を置く場所
16	訪れたい都市 京都市が世界1位	旅行したい都市 京都市が世界で1番になる
17	「古代ハス」の花が見頃迎える	1400年以上前の種から育った蓮の花が美しく咲く
18	この夏の国内旅行 過去最高の見込み	ことしの夏 旅行をする人が増えそう
19	被災地からのDV相談 他地域の2倍近く	DVなどの相談の割合は震災で被害があった県が多い
20	東京マラソンに「準エリート」枠	東京マラソンに新しいグループ「準エリート」
21	エボラ出血熱対策で連携強化の拠点設置	エボラ出血熱の流行を止める管理センターをつくる
22	仏で「ジャパンエキスポ」開催	フランス 日本文化のイベントに大勢の人が来る
23	「希少がん」専門の診療拠点設置へ	「希少がん」の人のために治療や研究を行う
24	ネイマールがビデオメッセージ	けがをしたネイマール選手がビデオでメッセージ
25	試験的な漁で取れた魚試食 福島・いわき	福島県いわき市 ふるさとの海で取れた魚を食べる会
26	中元商戦ピーク 店頭とネットで販売に力	デパートが店とインターネットの両方で「お中元」を売る
27	スカイツリー展望台に七夕飾り	東京スカイツリーの展望台に七夕飾り
28	「3×3」の世界大会を仙台で	バスケットボール「3×3」の世界大会を仙台で開く
29	「脱法ハーブ 気持ちいいのでやった」	「ハーブ」を吸ったあと運転した事故が何度も起きる
30	草間彌生さんデザインの高速バス完成	草間彌生さんがデザインしたバスができる
31	スペインの空港であわや大惨事	スペインの空港で「もう少しで大きな事故？」
32	W杯 独7対1で勝ち3大会ぶり決勝へ	ワールドカップ ドイツがブラジルに勝って決勝に進む
33	韓国の旅客船沈没 さまざまな不正や怠慢	韓国の客船の事故 役所の不正などがわかる

	一般ニュース (NHK NEWS WEB)	やさしい日本語ニュース (NHK NEWS WEB EASY)
34	福島第一原発 凍土壁の建設現場 初公開	原子力発電所の周りの地下に壁を作る工事を見せる
35	京都 銅銭4万枚余入ったつぼ出土	京都市で昔のお金が4万枚以上入ったつぼが見つかる
36	全日空と日航 国際線で立場きつ抗	全日空と日本航空 国際線の成績が同じくらいになる
37	ガソリン価格 11週連続値上がり	ガソリン 11週間続けて値段が上がる
38	アルゼンチン 6大会ぶり決勝進出	ワールドカップの決勝はアルゼンチンとドイツ
39	坂本龍一さん がん治療で活動休止	音楽家の坂本龍一さん がんの治療でしばらく休む
40	国連安保理 ガザ空爆で非難の応酬	パレスチナとイスラエルが国連で言い争う
41	長野・南木曾町 土砂撤去など支援要請へ	長野県南木曾町 「土や石を早く片づけて」
42	世界一高いウオータースライダー	アメリカで世界で1番高いウオータースライダー
43	エルニーニョ「この夏の可能性は低い」	「ことしの夏エルニーニョが起きる可能性は低くなった」
44	サッカーW杯 ドイツが4回目の優勝	サッカーのワールドカップ ドイツが4回目の優勝
45	山形・南陽 ボランティアが復旧作業	雨の被害があった山形県南陽市でボランティアが手伝う
46	国内最大規模のバイオマス発電所建設へ	日本でいちばん大きいバイオマス発電の発電所を建てる
47	大井川鉄道に「トーマス」SL 静岡	静岡県 人気のアニメ「トーマス」の蒸気機関車が走る
48	病院内の携帯電話使用 指針見直しへ	病院で携帯電話を使うときの新しい規則の案ができる
49	犬のサーフィン大会 アメリカ	アメリカ 犬のサーフィン大会
50	カネボウ化粧品 白斑原因の研究結果公表	カネボウ化粧品 肌がまだらに白くなる原因を発表
51	派遣社員「名簿は金になると思った」	通信教育のベネッセ 客の情報が会社の外に出る
52	鉄道おもちゃで遊べる新幹線特別列車	山陽新幹線 おもちゃで遊ぶことができる列車が走る
53	国産ジェット機「MRJ」3年後にも導入へ	新しいジェット機「MRJ」来年秋に最後の飛行試験
54	「ハリー・ポッター」の世界を USJに施設オープン	大阪のUSJに「ハリー・ポッター」の世界ができる
55	同居介護の半数が「老老介護」厚労省調査	65歳以上の家族がお年寄りを介護」が半分以上
56	東京・大手町の地下から温泉採掘	東京の大手町で地下から温泉が出る
57	貧困状態の子ども 16%超える	子どもの16%以上が貧しい生活をしている
58	ニホンウナギの生息環境調査を開始	環境省がニホンウナギの調査を始める
59	米 フォックスがワーナーに買収を提案	アメリカ フォックスがワーナーを買いたいと相談
60	元神奈川県議逮捕 脱法ドラッグ所持容疑	「脱法ドラッグ」で神奈川県議会の議員だった男が逮捕
61	川内原発 安全対策「合格」の審査書案了承	原子力規制委員会 川内原発の安全対策は「合格」
62	東海道新幹線50周年記念 特別展	東海道新幹線が走って50年 記念の展覧会を開く
63	青森 田んぼアート見頃迎える	青森県 田んぼにいろいろな色の稲を植えて絵を作る
64	京都の夏彩る祇園祭「山鉾巡行」	祇園祭の山鉾巡行 山車が京都の町を回る
65	“1000万件余を不正にコピー”で逮捕	会社の秘密の情報をコピーした容疑で男を逮捕
66	マレーシア航空機「撃墜された」主張対立	マレーシア航空の飛行機が落ちる 撃たれた可能性が高い
67	独首相 誕生日に代表ユニフォーム	ドイツの首相 誕生日にサッカーのユニフォームをもらう
68	子どもの夏かぜなど 都内で急増	子どもの夏のかぜなどが東京都で急に増える
69	海水浴場で津波避難訓練 愛知	海水浴に来た人たちが津波から避難する訓練を行う

	一般ニュース (NHK NEWS WEB)	やさしい日本語ニュース (NHK NEWS WEB EASY)
70	日本初の「ロボット白書」まとまる	日本で初めての「ロボット白書」
71	マレーシア機撃墜 遺体の捜索終了し移送始まる	撃たれて落ちた飛行機 遺体を列車で運び始める
72	携帯電話紛失・盗難によるトラブルに注意	携帯電話をなくしたり盗まれたりするトラブルが増える
73	政府 五輪に向け自治体の交流事業支援へ	オリンピックで東京以外の地方も元気にする
74	インドネシア大統領に「庶民派」ジョコ氏	インドネシア ジョコ氏が次の大統領になる
75	調達先の確認急ぐ 期限超え鶏肉問題	中国の会社が使用期限を過ぎた鶏肉を使って問題になる
76	「脱法ドラッグ」新呼称は「危険ドラッグ」に	「脱法ドラッグ」の呼び方を「危険ドラッグ」に変える
77	仏 モンサンミシエルに新たな橋	フランスのモンサンミシエルに新しい橋ができる
78	情報流出に便乗 不審電話に注意	「あなたの情報が外に出た」うその電話に気をつけて
79	大阪 天神祭の前に「ギャルみこし」	大阪 天神祭の前に若い女性の「ギャルみこし」
80	がれき撤去で飛散 1兆ベクレル超と推定	原発のがれきの片づけ とても多くの放射性物質が飛ぶ
81	台湾旅客機事故の死者48人に 調査開始	台湾で飛行機が着陸に失敗 48人が亡くなる
82	和歌山城に霧状の水を吹く忍者	和歌山城で忍者がお客さんにミストをかける
83	機内でネット 国内線の一部でも可能に	飛行機でインターネット 国内線でもできるようになる
84	サッカー日本代表新監督にアギーレ氏決定	サッカー 日本の新しい監督はメキシコのアギーレさん
85	舛添都知事 きょうパク大統領と会談	東京都の知事が韓国の大統領と会う
86	アルジェリア航空 マリで機体の残骸発見	アルジェリア航空の壊れた飛行機の一部が見つかる
87	西之島 面積が噴火前の約6倍に	西之島 噴火が続いて6倍の大きさになる
88	恐竜 種分化の前から羽毛あった可能性	全部の種類の恐竜に羽毛があった可能性
89	ATM 外国人旅行者への対応拡大を	旅行に来た外国人が利用できるATMを多くしたい
90	メタボ健診の受診低調 対策強化へ	メタボリックシンドロームかどうか調べた人は半分以下
91	夏休みに使うお金 2年連続で増加	夏休みに使うお金 2年続けて前の年より増える
92	品川駅周辺 東京都が国際交流拠点に	東京都の品川駅の周りを国際交流の街にする計画
93	アニメなど海賊版サイトを駆除へ	アニメなどの「海賊版サイト」をなくす計画を始める
94	40キロ漂流か 不明男性を救助 静岡	海を40km流された男性が見つかる
95	ミャンマーでもウナギの争奪戦始まる	ミャンマーのうなぎ「将来日本に輸出したい」
96	ガザ地区 双方が攻撃を再開	ガザ地区 イスラエルとハマスの戦いがまた始まる
97	米 中国で宗教活動理由に拘束など相次ぐ	中国で宗教の自由がないことをアメリカが批判する
98	世界最大の望遠鏡 10月にハワイで起工	世界でいちばん大きい望遠鏡 10月に工事が始まる
99	直径60mの巨大な穴出現 シベリア	ロシアのシベリアに直径60mの大きな穴ができた
100	危険ドラッグ 深刻な合併症で死亡例も	「危険ドラッグ」を吸って亡くなった人もいる
101	「空き家」戸数 過去最多を更新	人が住んでいない家の数が今までで最も多くなる
102	最低賃金 16円引き上げを目安と答申	最低賃金の基準を16円上げる
103	列車と線路の間隙逃げ込み危機一髪の生還	アメリカで女性2人が列車と線路の間に入って助かる
104	北海道でクロマグロ水揚げ相次ぐ	さけで有名な北海道でクロマグロが取れる

	一般ニュース (NHK NEWS WEB)	やさしい日本語ニュース (NHK NEWS WEB EASY)
105	トヨタ 上半期の販売台数3年連続で世界一	トヨタ 半年に売った車の数が3年続けて世界で1番
106	宇宙で保存の精子から初めてマウス誕生	冷凍したまま宇宙に置いておいた精子からマウスが生まれる
107	喫煙者率 初めて20%下回る	たばこを吸う人の割合が初めて20%より低くなる
108	女性管理職の増加に向け具体的議論へ	女性の部長などを増やす法案を作る
109	エボラ出血熱 シエラレオネが緊急事態宣言	シエラレオネ エボラ出血熱が広がって国の危機
110	LCC「春秋航空日本」国内線運航開始	LCCの春秋航空日本の飛行機が国内線を飛び始める
111	家庭用のチーズやバター 値上げ	8月からチーズやバターの値段が上がる
112	独のミステリーサークルに観光客	ドイツの「ミステリーサークル」を大勢の人が見に来る
113	日本人男性の平均寿命80歳超える	日本人の男性の平均寿命が初めて80歳以上になる
114	わなの熊が暴れて逃げる男性大けが	畑のわなの中にいた熊が暴れて逃げる 男性がけが
115	エボラ出血熱医療従事者も感染相次ぐ	エボラ出血熱 医者などにも広がって治療ができない
116	中国・雲南省地震余震続き救出活動難航	中国の雲南省でM6.5の地震 助ける作業が進まない
117	月の中心部今も1300度超の高温か	月の真ん中は今も1300℃以上の可能性
118	親子で熱中症対策の大切さ体験する催し	子どもは熱中症になりやすいので気をつける
119	顔認証で出入国成田空港で実験開始	パスポートの確認を速くする新しいシステムの実験
120	「中州でキャンプ極めて危険」全国に注意へ	「川の中州でのキャンプはとても危ない」
121	児童虐待全国で初の7万件超に	子どもの虐待 7万以上に増える
122	日本文化発信で書籍の英訳を支援へ	日本の本を英語に翻訳 世界の人たちに読んでほしい
123	東京五輪 環境負荷軽減へ新たな指針	東京オリンピックのためにCO2などを少なくしたい
124	スカイマーク 成田空港から撤退へ	スカイマーク 成田空港の利用をやめることにする
125	「SNS悪用も規制すべき」提言まとまる	ストーカー もっと厳しく取り締まる規則が必要
126	原爆の日 広島で平和祈念式典	原爆が落とされた広島で平和を祈る式を行う
127	認知症の身元不明者 ネットで一括閲覧可能に	名前がわからない認知症の人を捜すための情報サイト
128	ビッグデータの活用 半数が「期待より不安」	ビッグデータを会社が利用 「期待より心配が大きい」
129	涼を求めて鍾乳洞にぎわう 群馬	暑い日が続く 涼しい鍾乳洞に大勢の人が来る
130	“未来の科学者”に星出さんが講演	将来の科学者に宇宙飛行士の星出さんが講義をする
131	ロシアが初の対抗措置 農産物輸入を制限	ロシアもアメリカやEUの国に制裁を始めると発表
132	あゆつかみ取り20年ぶりに復活 神奈川・厚木	あゆの「つかみ取り」が神奈川県相模川でまた始まる
133	汚染地下水を浄化し海へ 東電が計画	東京電力 放射性物質を少なくして汚染水を海に流す計画
134	胴長タイプのB787型機が就航	ボーイング787 胴体が長い新しい飛行機が飛ぶ
135	被災地と東京つなぐリレー 最終走者ゴール	900人がリレー 震災で被害があった地域を回る
136	所在不明の小・中学生 全国で397人	どこにいるかわからない小学生と中学生が397人もいる
137	上半期経常収支昭和60年以降初の赤字	1月から6月の半年の経常収支が初めて赤字になる
138	英語教育強化へ指導助手約100人採用	外国人の新しい英語の先生100人が東京の高校で教える
139	台風で2日遅れて夏の全国高校野球開幕	台風で2日遅れて夏の全国高校野球が始まる
140	米軍3日連続でイラク北部を空爆	アメリカ軍 3日続けてイラクで空爆をする

	一般ニュース (NHK NEWS WEB)	やさしい日本語ニュース (NHK NEWS WEB EASY)
141	栃木の突風気象きょう調査	栃木県で強い風のため家が壊れる
142	トルコエルドアン大統領誕生へ	トルコ エルドアン首相が新しい大統領に決まる
143	日航機墜落遺族発行の会報100号に	29年前の事故 家族が書く会報が100号になる
144	よさこい祭り本祭2日目	高知県高知市で「よさこい祭り」
145	米中西部黒人少年射殺でデモ一部が暴徒化	アメリカでデモ「警察官が黒人の少年を撃って殺した」
146	エボラ出血熱医療機関など危機的な状況	エボラ出血熱 病気の人を治療できない
147	危険ドラッグの110番通報1.7倍に急増	危険ドラッグ 警察への連絡が1.7倍に増える
148	3Dアートを楽しむ展示会埼玉	3Dアートを楽しむことができる展示会
149	「阿波おどり」開幕熱気に包まれる	徳島県徳島市で「阿波おどり」が始まる
150	日航機事故29年追悼慰霊式	ジャンボ機の事故から29年 亡くなった人のために祈る
151	3つ子のパンダの赤ちゃん誕生中国	中国でパンダの3つ子の赤ちゃんが生まれる
152	シベリア抑留の資料大学で保管へ	シベリア抑留についての資料を大学に置くことになる
153	北京で日本語のアナウンス大会	中国の大学生が日本語でアナウンスをする会
154	豪華少な赤いダイヤモンド公開	オーストラリア 赤いダイヤモンドを宝石会社に見せる
155	スイスで列車脱線日本人含む11人けが	スイスの山の中で列車が脱線 日本人など11人がけが
156	北方領土で軍事演習影響を懸念	北方領土でロシア軍が訓練 日本とロシアの関係が心配
157	岐阜・郡上「徹夜おどり」始まる	岐阜県郡上市 朝まで踊る「徹夜おどり」が始まる
158	富士山の混雑状況山梨県が調査へ	富士山がどのくらい混んでいるか山梨県が調べる
159	ロシア首相のツイッター ハッキングされる	ロシアの首相のツイッターがハッキングされる
160	台風などで野菜の卸売価格が値上がり	台風が来たり、晴れた日が少なかったため野菜が高くなる
161	終戦から69年 全国戦没者追悼式	戦争が終わって69年 亡くなった人のために祈る
162	東京で戦争の悲惨さ伝える原爆展	原爆で亡くなった人が着ていた物などの展示会
163	世界的ダンサー シルヴィ・ギエムさん引退へ	有名なバレエダンサーのギエムさん「来年でやめます」
164	ネパールとインドで大雨 100人以上死亡	ネパールとインドで大雨 100人以上が亡くなる
165	多言語対応の取り組み紹介サイト開設	オリンピック用 外国語の看板をウェブサイトで紹介
166	車の安全システム「将来4割に搭載」	車の安全システム「2030年には40%の車につく」
167	60年代のフェラーリ 39億円で落札	1962年の車「フェラーリ」が39億円で売れる
168	サイトの6割 パスワードに課題	サイトの60% 短いパスワードで利用できるので危ない
169	宮城 被災小学校の新校舎落成式	津波で被害を受けた小学校 新しい校舎ができる
170	アジアの学生招き就職面接会 東京	アジアの学生を東京に招待して就職の面接
171	がん早期発見の新たな血液検査法開発へ	血の検査でがんを早く見つける方法を研究する
172	福島県産米 輸出再開を正式発表	原発事故のあとに福島県で作った米の輸出が始まる
173	国連安保理 ガザの被害状況報告	ガザ地区の被害がどのくらいか国連で報告
174	アルプス山頂で記念コンサート	オーストリア アルプスの山の頂上でピアノを弾く
175	“重さ1トン超”のマンボウが網に	重さが1t以上の大きなマンボウが網に入る
176	JR東 羽田と都心結ぶ3路線を検討	羽田空港から東京の中心地まで新しい電車の線をつくる

	一般ニュース (NHK NEWS WEB)	やさしい日本語ニュース (NHK NEWS WEB EASY)
177	津波で不明10年ぶり家族と再会 インドネシア	津波から10年 インドネシアの兄と妹が家族と会う
178	建設現場で働く女性 倍増へ行動計画	工事の仕事をする女性を2倍に増やす計画
179	東京モノレール 東京駅への延伸検討	モノレール 羽田空港から東京駅まで延ばしたいと考える
180	水族館で海の生き物を夜に観察	夜の水族館で海の動物を見るツアー
181	広島の大規模土砂災害 死者39人不明7人	広島市 大雨で山が崩れるなどして39人が亡くなる
182	ソーラーカーの世界最速記録達成	太陽電池で走るソーラーカーがスピードの世界記録
183	教師が水の事故の対処法を学ぶ	子どもが海や川に落ちた場合どうするかを先生が勉強
184	ロシア マクドナルドを一部営業停止に	ロシアがマクドナルドの3つの店を閉める
185	「花子」のラジオ番組を紹介	花子さんのラジオ番組の展示 「子どもに夢と勇気を」
186	広島市で捜索再開	広島市の土砂災害 行方不明の人が増える
187	貧困家庭の子ども食生活に偏りか	収入が少ない家庭 子どもの栄養のバランスが悪い可能性
188	自衛隊の災害対応能力を強化へ	災害があったとき自衛隊が助ける能力をもっと高くする
189	国際線利用者成田から羽田に移る傾向	国際線の客 成田空港は少なくなって羽田空港が増える
190	南太平洋の島水没懸念で全住民移住へ	海に沈むことを心配して隣の島にみんなで引っ越す
191	土石流時速40キロほどの速さか	広島市 土石流が時速約40km になった場所もある
192	目の不自由な人の文字入力を支援	目に障害のある人にも使いやすいスマートフォン
193	土砂災害現場 小型ヘリで撮影 分析へ	広島市 災害の場所をヘリコプターから撮って調べる
194	交番設置140年「交番の日」の催し	交番ができてから140年「交番の日」をつくる
195	海外在留邦人 過去最多の125万人余	外国に住む日本人 今までで最も多くなる
196	韓国でも大雨 バス流されるなどして5人死亡	韓国でもたくさん雨 5人が亡くなる
197	農水産物の輸出額 上半期 過去最高	農産物と水産物の輸出の金額 いちばん多くなる
198	中国が日本の学生100人招待へ	中国が日本の大学生100人を招待する
199	イスラエルとハマス 長期的な停戦で合意	パレスチナ イスラエルとハマスが戦いをやめる
200	日本海側の津波の高さ 想定を公表	日本海の地震 早い場合1分で30cm以上の津波
201	「自殺と原発事故に因果関係」東電に賠償命令	「自殺は原発事故と関係がある」初めての判決
202	関東大震災の幻の絵画公開	3年前に見つかった関東大震災の絵の展示が始まる
203	被災地から転校の子 定着傾向か	震災でほかの県に移った子ども 1万人以上戻らない
204	STAP検証実験 4か月試みるも作製できず	STAP細胞 「4か月実験してもできなかった」
205	ソニー 無人飛行機「ドローン」開発へ	ソニーが無人飛行機「ドローン」の開発を始める
206	デング熱 成田空港では水際対策を継続	デング熱 成田空港が暑い国から帰った人を調べる
207	スペイン 恒例のトマト投げ祭り	スペイン トマトを投げるお祭りに2万2000人が来る
208	怖い体験を楽しい体験に“記憶し直しに成功”	怖いと記憶した経験を楽しい記憶に変える実験に成功
209	働く女性の「保健室」丸の内にオープン	働く女性のための「保健室」が東京にできる
210	宮崎駿監督にアカデミー名誉賞	アニメーション映画の宮崎駿監督にアカデミー名誉賞
211	エボラ出血熱でWHO 感染者2万人超のおそれ	WHO 「2万人以上がエボラ出血熱になる可能性」

資料4 『角川類語新辞典』（2012）の語彙分類体系

大分類	中分類	小分類				
0 自然	00 天文 (天体とその現象)	000天文 005月	001宇宙 006星	002空 007地球	003天体 008朝夕	004太陽 009昼夜
	01 暦日 (暦で定めてある日)	010季節 015節気	011春 016年	012夏 017月	013秋 018週	014冬 019日
	02 気象 (大気の状態と現象)	020気象 025露・霜	021寒暖 026雲	022晴曇 027霧・霞	023雨 028風	024雪 029天変地異
	03 地勢 (地形の起伏の状態)	030地勢 035湖沼	031陸地 036川	032山 037泉	033平野 038岸	034海 039島
	04 景観 (地表にあるものの眺め)	040景色 045庭園	041風土 046墓地	042用地 047道路	043耕地 048海流	044森林 049波
	05 植物(生物の中で動物に 対するもの)	050植物 055枝葉	051樹木 056花	052草 057果実	053芽 058樹皮果皮	054茎 059細胞
	06 動物(生物の中で植物に 対するもの)	060生物 065脚・尾	061動物 066筋骨	062魚介 067内臓	063虫類 068卵	064器官 069性
	07 生理 (生物の生命の現象)	070生命 075呼吸	071生死 076血行	072成育 077排出	073発病 078分泌	074生理 079生殖
	08 物質 (物を形作っている実質)	080万物 085水	081物体 086空気	082物質 087金属	083酸・塩 088鉱物	084栄養 089塵埃
	09 物象(生命のない物質が 起こす現象)	090物象 095光	091反応 096音	092燃焼 097波動	093熱 098力	094煮沸 099電気
1 性状	10 位置 (ものある場所)	100位置 105上下	101こそあど 106入り口	102点 107周辺	103内外 108遠近	104前後左右 109方向
	11 形状(物を形作っているそ の形・様子)	110形 115模様	111点・線 116長短	112面 117大小	113角 118広狭	114立体 119擬態語
	12 数量 (物の数と量)	120数 125有無	121数量 126多少	122度 127全部	123度量衡 128単複	124年齢 129幾ら
	13 実質(事物の実際の内容・ 性質)	130実質 135強弱	131構造 136硬軟	132疎密 137濃淡	133繁簡 138乾湿	134軽重 139新古
	14 刺激(感覚を起こさせる外 的な条件)	140刺激 145匂い	141明暗 146冷温	142光沢 147痛痒	143色彩 148喧騒	144風味 149擬声語
	15 時間(過去から現在・未来 へ移り行く現象)	150時間 155遅速	151時機 156先後	152時刻 157終始	153期間 158今昔	154常時 159時代
	16 状態(外部から見た物事の ありさま)	160状態 165難易	161調子 166明瞭	162隆盛 167不変	163過激 168気配	164安危 169地味
	17 価値 (もの持っている値打ち)	170価値 175真偽	171価格 176正否	172良否 177精粗	173適不適 178美醜	174有用 179雅俗
	18 類型 (似通った型や形式)	180類型 185正副	181種類 186類例	182特徴 187特異	183箇条 188同一	184系統 189相応
	19 程度 (物事の度合い)	190程度 195大変	191標準 196細大	192等級 197一層	193並み 198大体	194限度 199こんな

大分類	中分類	小分類				
2 変動	20 動揺 (物が動き揺れること)	200運動 205回転	201動揺 206滑り	202震動 207弾み	203傾斜 208翻り	204転倒 209浮動
	21 移動(物の位置・場所が 他へ変わること)	210移動 215接近	211旋回 216指向	212進退 217昇降	213通過 218飛翔	214渡り 219流動
	22 離合(事物が離れること 合うこと)	220離合 225接続	221混合 226並列	222交錯 227集散	223接触 228堆積	224付着 229下垂
	23 出没(出入りして見え隠れ すること)	230出し入れ 235包囲	231抜き差し 236開閉	232埋没 237浮沈	233見え隠れ 238浸透	234露出 239注ぎ
	24 変形 (物の形が変ること)	240変形 245起伏	241破壊 246角立ち	242伸縮 247締めり	243拡大 248畳み	244曲折 249巻き
	25 変質(物の性質・物質が 変わること)	250変質 255美化	251凝固 256色付き	252乾燥 257腐敗	253濃縮 258強化	254清濁 259散乱
	26 増減(数量が増えること 減ること)	260生成 265過不足	261残存 266補充	262増減 267総括	263加除 268包含	264満ち欠け 269限定
	27 情勢(物事の変化・進展し て行く有様)	270情勢 275盛衰	271勢い 276進歩	272発生 277変動	273成否 278混乱	274興亡 279緊張
	28 経過 (時間が過ぎてゆくこと)	280経過 285存廃	281過程 286進捗	282開始 287進み	283到来 288繰り上げ	284断続 289短縮
	29 関連(物事と物事の間につ ながりがあること)	290関係 295影響	291独立 296均衡	292対応 297適合	293本末 298類似	294因果 299勝り
3 行動	30 動作(何かをするときの体の 動き)	300動作 305手の動作	301全身動作 306足の動作	302立ち居 307歩行	303俯仰 308疾走	304横臥 309口の動作
	31 往来 (行ったり来たりすること)	310道筋 315乗降	311往復 316運行	312去来 317逃亡	313出入り 318巡回	314発着 319滞在
	32 表情(気持ちを顔付きや身 振りに表すこと)	320表情 325感嘆	321笑い 326身震い	322泣き 327狼狽	323目の動き 328気取り	324声 329凄み
	33 見聞 (見たり聞いたりすること)	330見聞 335表現	331目撃 336描写	332聴取 337署名	333提示 338読み	334合図 339書き
	34 陳述(意見や考えを口で 述べること)	340発言 345議論	341沈黙 346問答	342進言 347説明	343談話 348演説	344相談 349主張
	35 寝食(寝たり食べたりする 日常生活のこと)	350生活 355炊事	351居住 356装い	352在宅 357美容	353寝起き 358掃除	354食事 359裁縫
	36 労役(体を動かして仕事を すること。その仕事)	360行為 365休業	361実行 366営業	362成敗 367仕事	363労働 368職業	364従業 369産業
	37 授受(物品や物事をやり取 りすること)	370授受 375預け	371需給 376交換	372徴収 377集配	373取捨 378選択	374貸借 379所有
	38 操作 (物を操って役立てること)	380操作 385積載	381使用 386運搬	382処置 387押し	383設置 388突き	384包装 389打撃
	39 生産(生活に必要なものを 作り出すこと)	390生産 395土木	391製造 396耕作	392修繕 397牧畜	393装飾 398狩猟	394建造 399採取

大分類	中分類	小分類					
4 心情	40 感覚(外からの刺激に対する心身の反応)	400 感じ 405 疲労	401 意識 406 飢渴	402 狂気 407 味見	403 酔い 408 痛み	404 睡眠 409 痙攣	
	41 思考(問題の解決を求めて思い巡らすこと)	410 心 415 識別	411 思考 416 信疑	412 判断 417 過誤	413 認識 418 証明	414 比較 419 立案	
	42 学習(知識や行動の能力を身につけること)	420 学習 425 調査	421 練習 426 搜索	422 模倣 427 試験	423 記憶 428 計算	424 研究 429 出題	
	43 意向(心がある物事を目ざして動くこと)	430 意 435 決意	431 欲望 436 奮起	432 願望 437 執着	433 注意 438 勤怠	434 用意 439 忍耐	
	44 要求(相手に対して自分の意志を通じること)	440 要求 445 賛否	441 頼み 446 協力	442 諾否 447 交渉	443 許否 448 約束	444 認否 449 権利	
	45 誘導(人の心を誘って、ある状態に導くこと)	450 勧誘 455 指導	451 奨励 456 欺瞞	452 命令 457 妨害	453 束縛 458 救助	454 誘導 459 保護	
	46 闘争(相手に逆らって打ち負かそうとすること)	460 闘争 465 討伐	461 紛争 466 征服	462 競争 467 叛服	463 勝敗 468 復讐	464 攻防 469 侵害	
	47 栄辱(名誉になることと恥になること)	470 褒貶 475 尊重	471 賞罰 476 感謝	472 叱責 477 栄辱	473 非難 478 自尊	474 尊敬 479 驕り	
	48 愛憎(愛することと憎むこと)	480 人情 485 威嚇	481 愛憎 486 同情	482 恋愛 487 恩恵	483 思慕 488 親近	484 好悪 489 待遇	
	49 悲喜(悲しみや喜びなど人間感情の動き)	490 感情 495 満足	491 感動 496 焦慮	492 苦楽 497 恐怖	493 悲喜 498 怒り	494 安心 499 驚き	
5 人物	50 人称(話し手・聞き手・話題の人などの区別)	500 人称 505 自他	501 自称 506 公私	502 対称 507 人	503 他称 508 接尾辞	504 不定称 509 接辞	
	51 老若(年寄りと若い人)	510 老若 515 成人	511 男女 516 老人	512 幼児 517 障害者	513 少年 518 病人	514 青年 519 死人	
	52 親族(血統・結婚によってつながる人々)	520 家族 525 兄弟	521 夫婦 526 祖父母	522 父母 527 先祖	523 子 528 親族	524 孫 529 伯父伯母	
	53 仲間(一緒に物事をする人)	530 仲間 535 主客	531 成員 536 住民	532 相手 537 民衆	533 友人 538 国民	534 恋人 539 民族	
	54 地位(位・身分などからみた人)	540 君臣 545 師弟	541 主従 546 将卒	542 首長 547 貴賤	543 治者 548 貧富	544 目上目下 549 労資	
	55 役割(各人に割り当てられた役割)	550 創始者 555 所有者	551 首脳 556 仕手	552 担当者 557 筆者読者	553 当事者 558 役者	554 使者 559 選手	
	56 生産的職業(生産する仕事に携わる人)	560 業者 565 商人	561 作業員 566 農民	562 職人 567 牛飼い	563 運送人 568 猟師	564 乗務員 569 樵	
	57 サービス的職業(生産する仕事に直接携わらない人)	570 役人 575 俳優	571 軍人 576 僧俗	572 教育者 577 医者	573 文筆家 578 事務員	574 芸術家 579 使用人	
	58 人物(人柄・才能などからみた人)	580 偉人 585 趣味人	581 賢者 586 変人	582 第一人者 587 善人	583 勇者 588 賊	584 働き者 589 罪人	
	59 神仏(神や仏、またそのような存在)	590 神仏 595 靈魂	591 天帝 596 魔物	592 化身 597 鬼	593 天使 598 化け物	594 仙人 599 憑き物	

大分類	中分類	小分類				
6 性向	60 体格(からだの骨組みや肉付きの様子)	600 身体 605 体毛	601 胴体 606 体格	602 手足 607 健康	603 乳房 608 病気	604 皮膚 609 不全
	61 容貌(顔かたち。顔の様子)	610 顔 615 耳	611 容貌 616 毛髪	612 頭 617 ほころ	613 目 618 口	614 鼻 619 歯
	62 姿態(体つき・体の様子)	620 姿態 625 男性的	621 裸 626 魅惑的	622 上品 627 可愛げ	623 威厳 628 滑稽	624 美麗 629 若気
	63 身振り(考えや気持ちを表す体の動き)	630 身振り 635 足取り	631 機敏 636 話し振り	632 乱暴 637 笑い方	633 平静 638 目付き	634 茫然 639 食べ振り
	64 態度(ことをする時の心・身の構え方)	640 態度 645 慎重	641 熱心 646 悠長	642 積極的 647 真面目	643 執拗 648 勇敢	644 入念 649 贅沢
	65 対人態度(他人に対するときの心・身の構え方)	650 人当たり 655 寛厳	651 有縁 656 高慢	652 親疎 657 丁重	653 愛想 658 公平	654 親切 659 公然
	66 性格(その人に特有の行動の傾向)	660 性格 665 強情	661 習性 666 剛健	662 温和 667 気長	663 善良 668 陽気	664 無欲 669 好色
	67 才能(物事を理解したり実行したりする力)	670 力 675 学識	671 能力 676 趣味	672 知恵 677 技量	673 賢愚 678 巧拙	674 敏感 679 業績
	68 境遇(社会における人の置かれた位置)	680 境遇 685 運命	681 身上 686 禍福	682 地位 687 安否	683 貴賤 688 災難	684 貧富 689 繁忙
	69 心境(物事について考える心の状態)	690 気持ち 695 無気味	691 愉快 696 満足	692 上機嫌 697 優越感	693 安楽 698 好き嫌い	694 安心 699 痛切
7 社会	70 地域(ある一定の区切られた土地)	700 範囲 705 都道府県	701 跡形 706 都会	702 場所 707 村落	703 土地 708 郷里	704 領土 709 世界
	71 集団(多くの人が集まった一塊)	710 群集 715 党派	711 集会 716 界	712 加入 717 家庭	713 団体 718 社会	714 軍隊 719 国家
	72 施設(ある目的のための建物や設備)	720 施設 725 駅・港	721 役所 726 城塞	722 学校 727 社寺	723 公共施設 728 住居	724 仕事場 729 店舗
	73 統治(主権者が国・人民を治めること)	730 支配 735 犯罪	731 統治 736 検拳	732 治乱 737 訴訟	733 機関 738 裁判	734 掟 739 刑罰
	74 取引(売買での金銭と商品との受け渡し)	740 経済 745 収支	741 取引 746 費用	742 売買 747 貨財	743 騰落 748 賃金	744 損得 749 税
	75 報道(出来事を広く世間に告げ知らせること)	750 報道 755 音信	751 伝達 756 通信	752 発表 757 編集	753 流布 758 印刷	754 評判 759 出版
	76 習俗(習慣や風俗)	760 習俗 765 慶弔	761 流行 766 参拝	762 伝承 767 宗教	763 文化 768 信仰	764 儀式 769 行事
	77 処世(世間でうまく暮らして行くこと)	770 処世 775 学事	771 経歴 776 出処進退	772 籍 777 任免	773 相続 778 推挙	774 結婚 779 栄達
	78 社交(世間における人と人との付き合い)	780 交際 785 出欠	781 出会い 786 訪問	782 招致 787 応対	783 同伴 788 仲介	784 送迎 789 挨拶
	79 人倫(人と人との関係。また人として守るべき道徳)	790 間柄 795 奉仕	791 人道 796 信頼	792 道徳 797 善悪	793 節操 798 罪惡	794 恩義 799 姦淫

大分類	中分類	小分類				
8 学芸	80 学術(学問とその応用に関する事柄)	800 学問 805 資料	801 分科 806 題目	802 論説 807 著作	803 主義 808 作品	804 奥義 809 翻訳
	81 論理(考えを進めてゆくときの筋道)	810 論理 815 要点	811 事柄 816 概要	812 実体 817 理由	813 概念 818 目的	814 意味 819 方法
	82 記号(一定の思想・事柄を表すための印)	820 記号 825 式	821 文字 826 暦	822 名称 827 干支	823 番号 828 単位	824 図表 829 助数詞
	83 言語(音声や文字で思想・感情を表し伝えるもの)	830 言葉 835 文・句	831 音韻 836 話	832 文法 837 諺	833 単語 838 洒落	834 接辞 839 修辞
	84 文書(文字によって人の意思を書き記したものの)	840 文章 845 文書	841 章節 846 書簡	842 文体 847 刊行物	843 表記 848 書物	844 原稿 849 目録
	85 文学(言語によって表現される芸術)	850 芸術 855 小説	851 文学 856 構想	852 詩歌 857 記録	853 創作 858 戯曲	854 説話 859 文芸用語
	86 美術(主として人間の視覚に訴える芸術)	860 美術 865 撮影	861 絵画 866 肖像	862 図画 867 彫刻	863 書芸 868 工芸	864 写真 869 意匠
	87 音楽(音をもとにして作る芸術)	870 音楽 875 調子	871 演奏 876 音階	872 歌謡 877 拍子	873 歌唱 878 旋律	874 楽曲 879 声域
	88 芸能(映画・演劇・舞踊・寄席演芸・芸事など)	880 芸 885 見世物	881 演劇 886 芸当	882 映画 887 舞踊	883 出演 888 諸芸	884 興行 889 武芸
	89 娯楽(心に楽しみや慰みを与えるもの)	890 娯楽 895 納涼	891 遊び 896 遊猟	892 見物 897 ゲーム	893 旅行 898 スポーツ	894 散歩 899 球技用語
9 物品	90 物資(人間の生活に必要な物品・資材)	900 物品 905 鉄材	901 物資 906 燃料	902 紙 907 油	903 木材 908 肥料	904 石材 909 屑・粕
	91 薬品(病気・傷を治すために用いるもの)	910 薬剤 915 香料	911 医薬類 916 塗料	912 薬品類 917 染料	913 農薬類 918 接着剤	914 化粧品類 919 火薬
	92 食品(食物または飲み物となる品物)	920 食物 925 調味料	921 穀物 926 食肉	922 飯 927 野菜	923 料理 928 菓子	924 食品 929 飲料
	93 衣類(体に着る物のすべて)	930 衣料 935 衣服	931 糸 936 帽子	932 織物 937 履き物	933 衣服 938 寝具	934 衣服 939 装身具
	94 建物(人が住んだり物を置いたりするために建てたもの)	940 建物 945 敷物	941 部屋 946 幕	942 建物 947 日覆い	943 建物 948 門	944 建具 949 塀・垣
	95 家具(家の中で使用する道具)	950 道具 955 袋	951 卓 956 食器	952 箱類 957 冷暖房具	953 容器 958 灯火	954 籠 959 家庭用具
	96 文具(ものを書くのに用いる道具など)	960 学用品 965 人形	961 筆記具 966 遊戯具	962 帳面 967 運動具	963 本・巻物 968 楽器	964 玩具 969 鐘
	97 標識(目印として作られたもの)	970 標識 975 貨幣	971 記章 976 くじ	972 碑 977 指針	973 旗 978 印章	974 札 979 飾り物
	98 工具(工作に使う小道具・刃物類)	980 工具 985 輪	981 錠・鍵 986 管	982 ハンドル 987 針金	983 針・ねじ 988 農具	984 棒・竿 989 刃物
	99 機械(一定の動きを繰り返し作業する仕掛け)	990 機械 995 兵器	991 原動機 996 乗り物	992 電気機具 997 車両	993 光学器械 998 船舶	994 計器 999 航空機